NTT DoCoMo

取扱説明書

FOMA® D901i

'05.2

i mode®

『Dimo i 絵文字メール SUPER』について

D901i にプリインストールされております『Dimo i 絵文字メール SUPER』では、別途”ボイスデータ”をダウンロードすることにより、メール送受信時やアラーム時等にお好みのキャラクター音声によってお知らせすることができ、『Dimo ｉ絵文字メール SUPER』を、より楽しんでご使用いただくことが可能になります。
”ボイスデータ”については、下記方法によりダウンロード可能です。
※なお、ダウンロードの際には、パケット通信料がかかります。

① 『Dimo i 絵文字メール SUPER』TOP 画面で決定キー（ ）を押下
② メニュー（ ）より「HELP」（ ）を押下
③ 『ヘルプ』画面で「接続」（ ）を押下
④ 『サイト接続しますか？』で『はい』を選択
⑤ 「Dimo のみんなが声でお知らせするよ！」を選択
⑥ 「ボイスのダウンロード」よりダウンロード

860D156A

ドコモ　W-CDMA 方式

このたびは、「FOMA D901i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先にご連絡ください。
FOMA D901i は、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA 端末のご使用にあたって

- FOMA 端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所および FOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが 3 本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA 端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様は SSL をご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様による SSL のご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対し SSL の安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- この FOMA 端末は、ドコモの提供する FOMA ネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

取扱説明書（本書）のご使用にあたって

FOMA 端末、FOMA カードをお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。なお、取扱説明書はなくさないよう大切に保管してください。

本書の引きかた

- 表紙とインデックスから引く
  表紙や本書中のインデックスから、操作したい項目や機能を選んで引きます。
- 目次から引く
  目次（☛P2）から操作したい項目や機能を選んで引きます。
- 索引から引く
  索引（☛P580）から操作したい項目や機能名を選んで引きます。
- 特徴から引く ☛P4
- クイックマニュアルを利用する ☛P588

- この「FOMA D901i取扱説明書」の本文中においては、「FOMA D901i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中では miniSD メモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。
  miniSD メモリーカードについて ☛P389
- 本書の内容を一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

※「安全上のご注意」は、P8 に記載しています。ご使用の前に必ずお読みください。

本書の見かた　＜クイックマニュアル記載☛P588＞

ここでは、本取扱説明書の構成や説明方法について紹介します。

- 操作の方法は、主にショートカット操作（☛P29）で説明しています。
  各メニュー項目のショートカット操作については、メニュー一覧（☛P526）をご覧ください。
- 本書では、（イージーセレクタープラス）で項目にカーソルを合わせ、（決定キー）を押して項目を選ぶ操作を、「選択」と表記しています。また、画面の入力欄に文字を入力する操作においては、最後に を押す操作を省略しています。
- 操作方法が複数ある場合は、最も簡単な操作方法を記載しています。
- 文字の入力方法は、主にインライン入力（入力欄を選択して文字を直接入力する方法）で説明しています。☛P514
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

タイトル
操作するときに気をつけること
インデックス章タイトル
操作時の画面や操作手順内の重要な画面
操作に関する補足説明
お買い上げ時の設定
機能の概要
基本的な操作
右の画面に続く場合
おしらせ　知っていると便利な情報や参照ページ

応答保留ガイダンス設定

応答保留ガイダンスを設定する

お買い上げ時　保留音：内蔵音

電話のかけかた／受けかた

自分の声を応答保留ガイダンスとして録音することもできます。
- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
- 音声電話、テレビ電話とも、応答保留中はここで設定したガイダンスが流れます。

例 録音データをガイダンスに設定するとき

1 待受画面で Menu 8 6 7 を押す

2 保留音欄を選択して 2 を押す
- お買い上げ時のガイダンスに戻すときは 1 を押し、操作4に進みます。

3 ガイダンスの編集欄の「録音」を選択して発信音の後に応答保留ガイダンスを話す

録音できる残り時間の目安が表示されます。

メッセージが表示された後、録音が開始されます。
- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- ガイダンスの録音を途中で停止するときは を押します。
- 既に録音データを登録してあるときは「録音」は選択できません。「削除」を選択し、「はい」を選択して録音データを削除してから録音を行ってください。
- 録音した応答保留ガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

4 を押す

おしらせ
- 保留音を「内蔵音」に設定すると、応答保留時に相手に「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
- 録音した応答保留ガイダンスを削除すると、お買上げ時の応答保留ガイダンスに戻ります。

72

目次
Contents

FOMA D901iの特徴

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

iモードだからスゴイ！

iモードは、iモード端末のディスプレイを利用して、iモードのサイト（番組）やiモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

D901iの主な特徴

3D×3D

強化された3Dグラフィックと進化した3Dサウンドの相乗効果により、カーレースゲームなどの臨場感を体感することができます。内蔵のゲーム「電車でGO! 3Dサウンド 山手線一周」などが対応しています。☛P129、P327、P331

デコメール

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。☛P253

キャラ電

テレビ電話中に、自分の映像の代わりに内蔵キャラクタやダウンロードしたキャラクタを表示させることができます。キー操作によりキャラクタに表情や動きを付けられます。☛P87、P378

赤外線通信／赤外線リモコン

赤外線を利用して他のFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。また、テレビの赤外線リモコンに対応した機器を操作することもできます。☛P408、P415

あんしん設定

プロテクトキーロック

FOMA端末を閉じているときのキーの誤操作を防ぎます。☛P163

シークレットモード

電話帳やスケジュールに「シークレット属性」を設定すると、シークレットモード中以外は表示されなくなります。☛P165

プライバシーモード

端末暗証番号を入力しないと電話帳、メール、画像、スケジュール、着信履歴、リダイヤルなどを表示できないように設定できます。FOMA端末を一定時間操作しないと自動的にプライバシーモードにする設定もできます。☛P161

※その他のあんしん設定については☛P151

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）※1 ☛P465
- 転送でんわサービス（無料）※1 ☛P468
- ショートメッセージサービス（SMS）（無料）※2 ☛P311
- キャッチホン（有料）※1 ☛P467
- デュアルネットワークサービス（有料）※1 ☛P472

※1：お申し込みが必要です。

※2：お申し込みは不要です。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

多彩な機能

スライド連動機能

●着信中にFOMA端末を開くだけで電話に出ることができます。☛P64
また、通話中にFOMA端末を閉じるだけで通話を終了したり保留できます。☛P64
●受信メールやスケジュール表示中にFOMA端末を開くだけで、返信画面やスケジュールの編集画面を表示できます。☛P427

テレビ電話

自分と相手の映像を同時に表示しながら通話できます。通話中にアウトカメラに切り替えて、景色などの映像を送ることもできます。☛P82

高画質な動画を撮影・再生

動きのなめらかな動画を撮影・再生できます。また、QVGAサイズ（240×320ドット）の大画面で動画を撮影・再生できます。☛P184、P368

美しい音質でメロディ再生

PCM音源64和音、声や効果音などの着信音（ADPCM音源）にも対応しています。

カメラ搭載

アウトカメラと自分撮り用のインカメラを搭載しており、切り替えて撮影できます。どちらのカメラでもFOMA端末を閉じたまま、大きなディスプレイで見ながら撮影できます。オートフォーカス対応で最大2Mピクセルの静止画を撮影できます。また、最大20倍のズームのほか、接写やフレーム付き撮影、連続撮影など、さまざまな撮影方法を選択できます。☛P174
アウトカメラ：有効画素数200万画素（最大記録画素数200万画素）
インカメラ　：有効画素数32万画素（最大記録画素数31万画素）

iアプリ／iアプリDXに対応

ソフトをサイトから取り込むことによりFOMA端末を便利に活用いただけます。iアプリ待受画面、iアプリDXにも対応しています。☛P322

マルチイルミネーション

電話がかかってきたときなどに、各種パターンでマルチイルミネーションランプが点滅します。さまざまな点滅パターンが選べます。☛P146

高精細、大画面ディスプレイ

240×320ドット、2.4インチのTFT液晶を搭載。細かい画像や文字などを美しく表示します。

iモーション

サイトやインターネットから映像や音を取り込んで楽しむことができます。FOMA端末に保存したiモーションを、着信音や着信画像に設定することもできます（着モーション）。☛P348

iモーションメール

内蔵カメラで撮影した動画やサイトから取り込んだiモーションを、iモードメールに添付して送ることができます。☛P261

iショット

内蔵カメラで撮影した静止画を、iモードメールに添付して送ることができます。☛P261

チャットメール

メンバーをFOMA端末に登録しておくと、会話するような感覚でメールをやりとりできます。☛P304

マルチアクセス機能

音声通話とパケット通信を同時に利用できます。iモード中の通話や、通話中のメールの送受信ができます。☛P422

マルチタスク機能

複数の機能を同時に実行し、切り替えながら利用できます。例えば、電話しながら受信メールを読んだり、電話帳を登録したりできます。☛P424

バーコードリーダー

内蔵カメラでJANコード、QRコードを読み取れます。読み取り結果を利用して電話帳登録やサイト接続、メール送信などさまざまな操作ができます。☛P194

高度な外部連携

miniSDメモリーカード対応

FOMA端末内の画像、メロディ、電話帳、メールなどをminiSDメモリーカードにバックアップできます。☛P389

USBストレージ

FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続すれば、FOMA端末に挿入したminiSDメモリーカードをパソコンの外部メモリとして利用できます。☛P481

D901iを使いこなす！

D901iの多彩なビジュアルコミュニケーションを紹介します。

キャラ電で気持ちを伝える

テレビ電話で通話するとき、自分の映像の代わりにキャラクタを相手の画面に表示できます。キー操作でアクション（動きや表情）を付ければ、気持ちも表現できます。☛P87、P378

自分の画面

©BVIG

キーを押してアクションを指示します。

相手の画面

©BVIG

キャラクタが動きます。

ワンショットメールで画像を送る

音声電話で通話中にカメラ撮影をして、通話中の相手にすぐにメールで画像を送信できます。☛P193

通話中

通話したままカメラ撮影できます。

電話帳から宛先が設定されるので、簡単にメールを作成・送信できます。

着モーションで着信やアラームを知らせる

ｉモーションや内蔵カメラで撮影した動画を着信音に設定すれば、映像と声や音で着信をお知らせします。電話帳に相手の動画を登録することもできます。☛P371
また、アラームにｉモーションや動画を設定すれば、指定時刻に映像と声や音でお知らせします。☛P429、P434

動画を電話帳に登録できます。

電話がかかってくると、映像と声や音で着信を知らせます。

多彩な待受画面

スライド式のため、大きな画面で表示をすばやく確認できます。時計の表示もいろいろ選べます。☛P148
待受画面には未読メール、不在着信などの新着情報や、カレンダー、スケジュールなどを表示でき、簡単な操作で内容を確認できます（カスタム待受画面）。☛P138

時計表示の例

カスタム待受画面

を押して選びます。

内容を確認できます。

G ガイド番組表リモコン搭載

番組情報を見ながらテレビ、ビデオ、DVD のリモコン操作ができる i アプリ「G ガイド番組表リモコン」を搭載しています。ジャンルやタレントなどのキーワードで番組を検索したり、番組を FOMA 端末のスケジュール帳に登録し、開始時刻にアラームを鳴らすこともできます。☛P333

番組表※　キーワード検索

テレビ、ビデオ、DVD

番組情報

iアプリサーバ

※：画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

デコメール対応

メールの文字色や背景色を変えたり、画像や写真をつけたり、メールを自由に装飾できます。あらかじめデコメールピクチャが内蔵されているので、簡単に画像を設定できます。☛P253
また、デコメールテンプレートを利用すると、簡単にデコメールを作成できます。☛P263

デコメールピクチャの例

デコメールテンプレートの例

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- **次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

表示	内容
危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- **次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。**

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

- **「安全上のご注意」は下記の 6 項目に分けて説明しています。**

危険

指示

FOMA 端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

● 指定品以外のものを使用した場合は、FOMA 端末や電池パック、その他機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック　D03　　卓上ホルダ　D03　　リアカバー　D03
FOMA AC アダプタ　01　　FOMA DC アダプタ　01
その他互換性のある商品については当社窓口までお問い合わせください。

警告

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

● プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

● 電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

● 発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA 端末やアダプタ（充電器含む）を入れないでください。

● 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA 端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

指示

発煙、異臭などの異常が発生したり、破損したりした場合は、直ちに次の作業を行ってください。

1.電源プラグをコンセントやソケットから抜く。

2.FOMA端末の電源を切る。

3.電池パックを FOMA 端末から取り外す。

● そのまま使用（充電）すると、発火などの事故の原因となります。電池パックを取り外したあと、当社窓口までご連絡ください。

⚠注意

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

● 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

● けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

● 故障の原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

● 落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

● 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

FOMA 端末の取扱いについて

⚠警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA 端末の電源を切ってください。

● 電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられることがあります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA 端末の電源を切ってください。

● 電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

● FOMA 端末を医用電気機器などの近くで携行および使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

● 心臓に影響を与える可能性があります。

警告

自動車などを運転中に使用しないでください。

禁止

- 安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。道路交通法の改正により、2004年11月1日から運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。

スピーカーホン機能を動作させて通話するときは、必ずFOMA 端末を耳から離して使用してください。

指示

- 難聴になる可能性があります。

分解、改造をしないでください。

分解禁止

- 火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

禁止

- 目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

自動車などの運転者に向けてコンパクトライトを点灯しないでください。

禁止

- 目がくらんで運転ができなくなり、事故の原因となります。

注意

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

指示

- 下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	材　質
ディスプレイ背面のスライドレール、アウトカメラの周囲、イージーセレクタープラスなどのキーの周囲（ディスプレイ側）	アルミニウム
イージーセレクタープラス（中央のキーを除く）、Menu、[本]、[i]、[メール]、[電話]、[電源]	クロムメッキ（アズライトブルーはメタリック塗装されています）
[マナー]、[カメラ/クリア]	クロムメッキ

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

指示

- 落雷、感電の原因となります。

ストラップなどを持ってFOMA 端末を振り回さないでください。

禁止

- 本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

⚠注意

水ぬれ禁止

FOMA 端末を濡らさないでください。

● 水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

磁気カードなどを FOMA 端末に近づけないでください。

● キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

コンパクトライトをカメラ撮影以外の用途に使用しないでください。

● カメラが終了するとコンパクトライトは消灯します。急に暗くなり、事故の原因となります。

禁止

FOMA端末を閉じるときは、指をはさまないようにしてください。

● けがの原因となることがあります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

● 安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

コンパクトライトを目に近づけて点灯しないでください。また、コンパクトライト点灯時は、照明部分を直接見ないようにしてください。

● 視力低下など、目に影響を与えることがあります。

禁止

miniSDメモリーカードスロット、FOMA 端末内の FOMA カード挿入口に、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

● 火災、感電、故障などの原因となります。

電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
リチウムポリマー	リチウムポリマー電池

⚠危険

指示

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

● 失明の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

● 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

● 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

● 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

● 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水ぬれ禁止

電池パックを濡らさないでください。

● 電池パックに水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

電池パックを FOMA 端末に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。

● 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、直接はんだ付けしないでください。

● 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。

● 皮膚に傷害をおこす原因となります。

禁止

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、FOMA 端末から取り外し、使用しないでください。

● そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

● 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

● 漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

禁止

直射日光の強いところや炎天下の車などの高温の場所で使用、放置しないでください。

● 漏液、発熱や性能、寿命を低下させる原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

● 発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

警告

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

● 火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

AC アダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。

● 感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 感電、火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。

● 感電、発煙、火災の原因となります。

分解禁止

分解、改造はしないでください。

● 感電、火災、故障の原因となります。

ぬれ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

● 感電の原因となります。

水ぬれ禁止

アダプタ（充電器含む）を濡らさないでください。

● 水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

● 感電、発熱、火災の原因となります。

指示

AC アダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

● 感電、ショート、火災の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。

● 誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA 海外兼用 AC アダプタ01を使用してください。

AC アダプタ：AC100V
FOMA 海外兼用 AC アダプタ
：AC100～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DC アダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）

⚠警告

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指示

● 誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。

禁止

● 火災の原因となります。

充電中は、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

禁止

● FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

指示

● 火災の原因となります。

電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。

禁止

● 破損し、感電や事故の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。

禁止

● タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

⚠注意

お手入れの際は、コンセントやソケットから抜いて、行ってください。

電源プラグを抜く

● 感電の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

禁止

● 感電、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らないでください。

禁止

● コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。

禁止

● 電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。

警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にFOMAカードを入れないでください。

● 溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

注意

指示

FOMA カードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

● 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

禁止

FOMA カードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。

● 溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止

IC を傷つけないでください。

● 故障の原因となります。

禁止

FOMA カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

● 故障の原因となります。

水ぬれ禁止

FOMA カードを濡らさないでください。

● 水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

禁止

FOMA カード保管の際には、直接日光が当たる場所や高温多湿な場所に置かないでください。

● 故障の原因となります。

指示

FOMA カード（IC 部分）を取り外す際はご注意ください。

● 手や指を傷つける可能性があります。

禁止

FOMA カードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。

● 溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止

IC を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

● データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMA カードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。

● 故障の原因となります。

分解禁止

FOMA カードを分解、改造しないでください。

● データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMA カードはほこりの多い場所には保管しないでください。

● 故障の原因となります。

⚠注意

指示

FOMA カードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。

- 指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については当社窓口までお問い合わせください。

医用電気機器近くでの取扱いについて

本記載の内容は『医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針』（電波環境協議会〔旧不要電波問題対策協議会〕）に準ずる。

⚠警告

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA 端末の電源を切るようにしてください。

- 電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には FOMA 端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA 端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA 端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から FOMA 端末は 22cm 以上離して携行および使用してください。

- 電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

- 電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

●水をかけないでください。

FOMA 端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）は防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかるようなことはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れなどによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。

なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

●お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

・お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で行ってください。

・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●FOMA 端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

●電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA 端末についてのお願い

●極端な高温、低温は避けてください。

FOMA 端末は周囲温度が 5 ℃～ 35 ℃、湿度が 45%～ 85%の範囲でご使用ください。

●一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

●お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●ズボンやスカートの後ろポケットに FOMA 端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

故障の原因となります。

●ストラップなどを挟んだまま、FOMA 端末を閉じないでください。

故障、破損の原因となります。

●ストラップに手を通してお持ちください。

落下し、故障の原因となることがあります。

●通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、miniSD メモリーカードスロットのカバーをはめた状態でご使用ください。

ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。

●カメラを直射日光に向けて放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こすことがあります。

●使用中、充電中、FOMA 端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。

●ディスプレイの背面やダイヤルキーのある面に厚みのあるシールなどを貼らないでください。

故障、破損の原因となります。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

電池パックについてのお願い

●電池パックは消耗品です。

使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

●充電は、適正な周囲温度（5 ℃～ 35 ℃）の場所で行ってください。

●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

●電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

●不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り付け絶縁してから、当社窓口へお持ちいただくか、電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

●電池パックは、長期間使用しない場合でも 6 か月に一度は充電してください。

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

●充電は、適正な周囲温度（5 ℃～ 35 ℃）の場所で行ってください。また、次のような場所では、充電しないでください。

・湿気、ほこり、振動の多い場所　・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

●充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。

●DC アダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

車のバッテリーを消耗させる原因となります。

●抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

FOMA カードについてのお願い

●IC 部分の取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

●ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

●使用中に FOMA カードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

●他の IC カードリーダー／ライター（外部装置）などに、FOMA カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

●IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

●お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。

●お客様ご自身で FOMA カードに登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管するようお願いします。

万一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●環境保全のため、不要になった FOMA カードは当社窓口にお持ちください。

●極端な高温・低温は避けてください。

miniSD メモリーカードについてのお願い

●miniSD メモリーカード使用中は、miniSD メモリーカードを抜いたり、電源を切ったり、強い衝撃を与えたりしないでください。

データが壊れる恐れがあります。

【撮影・画像送信について】
メール添付を利用して撮影・画像送信を行う際は、著作権等の知的財産権、肖像権、プライバシー権等の他人の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、これらの他人の権利を侵害する行為、メール添付を利用した迷惑行為や公序良俗に反する画像の撮影・画像送信行為等は法令等により罰せられる場合や損害賠償請求を受ける場合がございます。

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 「FOMA／フォーマ」「mova／ムーバ」「ｉモーション／アイモーション」「ｉモード」「ｉアプリ／アイアプリ」「ｉアプリサーチ／アイアプリサーチ」「ｉメロディ／アイメロディ」「ｉアニメ／アイアニメ」「mopera／モペラ」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ｉモーションメール／アイモーションメール」「デコメール／デコレーションメール」「着モーション」「キャラ電」「マルチアクセス」「ｉアプリDX」「ｉショット／アイショット」「ｉエリア／アイエリア」「デュアルネットワーク」「クイックキャスト」「FirstPass／ファーストパス」「sigmarion／シグマリオン」「セキュリティスキャン」および「FOMA」ロゴ「ｉ-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Java及びJavaに関連するすべての商標は、米国及びその他の国において米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 本製品は、インターネット機能としてNetFront v3.0 for FOMAを搭載しています。
  NetFront v3.0は、株式会社ACCESSの製品です。Copyright©1996-2004 ACCESS CO., LTD.
  NetFront及びNetFrontは、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

- 本製品は Macromedia, Inc. の Macromedia® Flash™ テクノロジーを搭載しています。

Macromedia、Flash、Macromedia Flash は Macromedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー® は米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- miniSD™ および miniSD ロゴは SD アソシエーションの商標です。
- Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
Mascot Capsule® は株式会社エイチアイの登録商標です。
- G ガイドモバイル、G-GUIDE Mobile、G ガイドモバイルロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. の日本国内における商標、G ガイド、G-GUIDE、G ガイドロゴ、および G コード、G-Code は、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. の日本国内における登録商標です。
- 「電車で GO！」は、株式会社タイトーの商標です。

JR 東日本・JR 西日本・JR 九州・北越急行商品化許諾済
- 「FLIPULL」は、株式会社タイトーの商標です。

- その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において、以下に記載する場合のみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visual の規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録された MPEG-4 Video を再生する場合
  - MPEG LA よりライセンスを受けた提供者により提供された MPEG-4 Video を再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人 MPEG LA,LLC にお問い合わせください。
- 本製品の動画機能は、MPEG-4 Systems 特許の下で MPEG-4 Systems 規格に準拠した符号化を行うことが許諾されています。ただし、以下の場合には、追加のライセンスとロイヤルティの支払いが必要です。
  - 物理的媒体に保存または複製されてタイトルごとに支払いが必要なデータの符号化を行う場合
  - エンドユーザに送信され、保存・使用され、タイトルごとに支払いが必要なデータの符号化を行う場合

  追加のライセンスは米国法人 MPEG LA, LLC から入手できます。詳細については米国法人 MPEG LA, LLC にお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,600,754	5,267,261	5,506,865	5,710,784
5,504,773	5,416,797	5,568,483	5,228,054	5,778,338
5,109,390	5,490,165	5,414,796	5,544,196	
5,535,239	5,101,501	5,659,569	5,337,338	
5,267,262	5,511,073	5,056,109	5,657,420	

本体付属品および主なオプション品について

本体付属品

FOMA D901i
（保証書、リアカバー D03 含む）

取扱説明書（本書）

クイックマニュアル記載 ☛P588

FOMA D901i用 CD-ROM

主なオプション品

FOMA AC アダプタ 01（別売）
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ D03（別売）
（取扱説明書付き）

電池パック D03
（取扱説明書付き）

・その他オプション品について ☛P551

ご使用前の確認

各部の名称と機能

サイズ（mm）：高さ106×幅50×厚さ26
※閉じているとき
質量（g）　：約136
※電池パック装着時

❶ **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

❷ **ディスプレイ** ☛P26

❸ Menu **MENU／左上ソフト／マナーモードキー**
メニューの表示、ガイド行左上に表示される操作の実行などに使います。また、マナーモードの設定／解除に使います。

❹ **テレビ電話開始／スクロール／左下ソフトキー**
テレビ電話をかける／受ける、スピーカーホン機能でのテレビ電話発信、メールやサイト画面の1画面スクロール、文字入力時の大文字／小文字切り替え、ガイド行左下に表示される操作の実行などに使います。

❺ **音声電話開始／スピーカーホン／文字キー**
音声電話をかける／受ける、スピーカーホン機能での音声電話発信や通話切り替え、文字入力時の入力モード切り替えなどに使います。

❻ クリア **クリアキー**
文字入力時の入力内容の消去や、1つ前の画面に戻る、セルフモードの設定／解除などに使用します。また、iアプリ待受画面を設定中に押すとiアプリソフトが起動します。

❼ **ダイヤルキー**
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行などに使います。

❽ **＊／ドライブモードキー**
「＊」の入力、ドライブモードの設定／解除、カメラ使用時の画面表示モードの切り替えなどに使います。

❾ **送話口／マイク**
自分の声を伝えます。

❿ **赤外線ポート** ☛P409
赤外線でデータをやりとりする際にここから通信します。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

⑪ **インカメラ ☛P93、P174**
静止画や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手に自分の映像を送信したりするときに使います。

⑫ **イージーセレクタープラス**
決定キー
選択した操作の実行、フォーカスモードの実行、ワンタッチボタン登録したｉアプリソフトの起動などに使います。
データBOX／ビデオカメラ／↑キー
データBOXメニューの表示、ビデオカメラの起動、カーソルの上方向への移動、音量の調整などに使います。
ｉモード／ｉアプリ／↓キー
ｉモードメニューの表示、ｉアプリフォルダ一覧の表示、カーソルの下方向への移動、音量の調整などに使います。
着信履歴／←（前へ）キー
着信履歴の表示、画面の切り替え、カーソルの左方向への移動、プライバシーモードの起動／解除などに使います。
リダイヤル／→（次へ）キー
リダイヤルの表示、画面の切り替え、カーソルの右方向への移動などに使います。

⑬ **電話帳／スケジュール／右上ソフトキー**
電話帳やスケジュールの表示、ガイド行右上に表示される操作の実行などに使います。

⑭ **メール／スクロール／右下ソフトキー**
メールメニューの表示、新規メール作成、メールやサイト画面の１画面スクロール、ガイド行右下に表示される操作の実行などに使います。

⑮ **電源／終了／応答保留キー**
電源を入れる／切る、通話の終了、操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除などに使います。

⑯ **マルチイルミネーションランプ**
電話着信時やメール受信時、FOMA端末開閉時、カメラ起動時などの場合、青く点滅します。点滅させるかどうかや点滅パターンを設定できます（☛P146）。また、充電中は赤く点灯します。イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定すると、新着情報があるときに青く点滅してお知らせします。

⑰ **#／マナーモード／改行キー**
「#」の入力、マナーモードの設定／解除、文字入力時の改行などに使います。カメラ使用時、通常モードと接写モードを切り替えます。

⑱ **充電端子**
卓上ホルダ（別売）を使用して充電するときの端子です。

⑲ **外部接続端子 ☛P42、P482**
各種オプション類などを接続します。

⑳ **コンパクトライト ☛P95、P174**
カメラ起動中やテレビ電話中に点灯できます。また、静止画、動画撮影時に赤く点灯または点滅します（ただし、コンパクトライトを使用して撮影していると、赤の点灯／点滅がわかりにくい場合があります）。

㉑ **アウトカメラ ☛P93、P174**
静止画や動画を撮影したり、テレビ電話中に相手に風景などの映像を送信したりするときに使います。

㉒ **ストラップ取付口**
ここにストラップを取り付けます。

㉓ **アンテナ部（アンテナ内蔵）**
よりよい条件で電話を利用するためには、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

㉔ **スピーカー**
着信音などがここから聞こえます。また、スピーカーホン機能使用時は、相手の声がここから聞こえます。

㉕ **リアカバー**

㉖ **miniSDメモリーカードスロット ☛P392**
miniSDメモリーカードを使用する際、ここに挿入します。

㉗ **プロテクトキー ☛P163**
プロテクトキーロックの設定／解除に使います。

㉘ **イヤホンマイク端子**
スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続します。

㉙ **TASKキー ☛P422、P424**
マルチアクセス・マルチタスク中の画面切替、通話中／操作中の別機能の実行などに使います。

㉚ **伝言メモ／シャッター／クリアキー**
伝言メモ／音声メモメニューの表示、クイック伝言メモの録音、カメラの起動や撮影、着信音／アラーム音の停止、１つ前の画面に戻る、文字入力時の内容の消去などに使います。
※ には、カメラのオートフォーカス撮影時に使用するため、半押しと全押しがあります。このため、他のキーと押したときの感触が異なります。

スイッチ付イヤホンマイクの接続方法

※平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを差し込んで使用できます。また、イヤホンジャック変換アダプタ P001 を使うと、従来のイヤホンマイクを使うことができます。

おしらせ
● 本体の色によってキーの文字の書体が異なります。
（例）1、1、1
この取扱説明書では、P24のキーイラストを使って説明しています。

FOMA 端末を開く／閉じる

FOMA 端末を開くときは、前面部（ディスプレイが付いている部分）をスライドさせてください。閉じるときは、逆方向にスライドさせてください。

開く

閉じる

- FOMA端末を開くことで、メールの返信画面の表示やスケジュール、メモ帳編集画面の表示などの操作を簡単に行えます。
☛P272、P434、P453
- 通話中にFOMA端末を閉じて通話を継続できます。また、FOMA 端末を開いて電話に出たり、FOMA 端末を閉じて通話を終了、保留したりできます。☛P64

ディスプレイの見かた

ここではディスプレイの上下に表示されるマーク（アイコン）の説明をします。

❶❷❸❹❺❻❼❽❾❿⓫⓬⓭ ⓮ ⓯⓰⓱⓲ ⓳⓴㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚

※取扱説明書の説明用の待受画面の背景は、架空のものです。待受画面の表示はお好みの画像に変更できます。☛P135

❶ ：電池残量表示☛P44
漢／ ／ ／ ／ ／ ／ ／ ：文字入力モード表示☛P515

❷ ：受信レベル☛P45
圏外：圏外表示☛P45
self：セルフモード中☛P159
：データ転送モード中／データリンクソフトの使用中☛P478、P551
赤外線起動中☛P412

miniSD メモリーカードコピー中／移動中／削除中／バックアップ中／復元中／初期化中／情報更新中☛P393、P397、P400
miniSDモード中☛P481

❸ ：ｉモード中（ｉモード接続中）☛P204
：ｉモード中（パケット通信中）☛P230、P268

❹ ：赤外線通信中／赤外線リモコン使用中☛P410、P415

❺ ：スピーカーホン機能動作中☛P51
：USBハンズフリー通信中☛P60

❻※1 ：センターにｉモードメールとメッセージR/F満杯※2☛P269、P231
／ ／ ：センターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯☛P269、P231
：センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり☛P269、P231
／ ／ ：センターに未受信のｉモードメールまたはメッセージR/Fあり☛P269、P231

❼※1 ：未読ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）満杯でFOMAカードにショートメッセージ（SMS）満杯☛P314

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

:未読ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）満杯☛P269、P314
:FOMAカードにショートメッセージ（SMS）満杯☛P314
:未読ｉモードメール、ショートメッセージ(SMS)あり☛P268、P313
:未読ｉモードメールあり☛P268
:未読ショートメッセージ（SMS）あり☛P313

⑧ ／
:未読メッセージRあり／満杯☛P230

⑨ ／
:未読メッセージFあり／満杯☛P230

⑩ :ｉアプリ実行中☛P326
:ｉアプリ待受画面表示中☛P137
:ｉアプリ待受画面からのソフト起動中に点滅☛P338
:ｉアプリDX実行中☛P326
:ｉアプリDX待受画面表示中☛P137
:ｉアプリDX待受画面からのソフト起動中に点滅☛P338

⑪ :SSLページ表示中およびSSLページからダウンロードしたソフトでSSL通信中☛P205

⑫ :シークレットモード中☛P165

⑬ :ｉアプリ自動起動失敗☛P337

⑭ 日付・時刻☛P46

⑮ :不在着信件数☛P35

⑯ :伝言メモ件数☛P35

⑰ :留守番電話新メッセージ件数☛P35

⑱ :未読メール件数☛P35

⑲ :マナーモード中☛P133
:オリジナルマナーモード中☛P134

⑳ :電話着信音消音☛P68
:音声電話のバイブレータ☛P131
:電話着信音消音と音声電話のバイブレータを同時に設定中☛P68、P131

㉑ :ドライブモード中☛P74

㉒ :伝言メモ設定中☛P76
:伝言メモ満杯☛P76

㉓ :プロテクトキーロック中（一時解除中はグレー）☛P163

㉔ :USB経由で外部機器からテレビ電話使用中☛P99
USB接続ケーブル接続状態表示☛P482

㉕ ／
:フォーカスモード時のイージーセレクタープラスの有効キーの表示☛P35

㉖ :miniSDメモリーカード装着中☛P392

㉗ :FOMAカード読み込み中☛P45

㉘ :PIMロック中☛P159

※1 :ダイヤル発信制限中☛P160

㉙ :アラーム設定中☛P429
:スケジュールアラーム設定中☛P434
:アラームとスケジュールアラームを同時に設定中

㉚ :ソフトウェア更新予約中☛P568

※1：現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2：ｉモードメール、メッセージR/Fのうち1種類が満杯で、その他に未受信のメール／メッセージがあるときに表示されます。

ガイド行の見かた

ガイド行には、Menu、、、、を押して実行できる操作が表示されます。

例 メール作成画面表示中のガイド行

表示位置とキーは、図のように対応しています。本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するキー（Menu）を用いて説明しています。
ガイド行に表示される操作は画面により異なります。
- ガイド行のは、イージーセレクタープラスのに対応しています（使用する機能やサイトの作りかたによっては異なる場合があります）。

メール作成<新規>
MENU 選択 送信
電話帳 宛先追加
Menu
ガイド行

タスクバーの見かた

タスクバーには、使用中・動作中の機能（タスク）を示すアイコンが最大 9 個表示されます。
マルチアクセス・マルチタスク中は、複数の機能を同時に実行しているため、2つ以上のアイコンが表示され、使用中・動作中の機能を確認できます。
また、メール／メッセージを受信すると、タスクバーに受信結果がスクロール表示されます。

例 テレビ電話通話中にスケジュール帳のカレンダーを表示したときのタスクバー

10:00
2005/ 4
日 月 火 水 木 金 土
27 28 29 30 31 1 2

タスクバー

タスクバーに表示されるアイコン一覧

：音声電話発着信中・通話中
：テレビ電話発着信中・通話中（64K）
：テレビ電話発着信中・通話中（32K）
：64Kデータ通信中
：メール作成・表示中
：ｉモードメール受信中
：ショートメッセージ（SMS）受信中
：チャットメール起動中
：メッセージR/F表示中
：ｉモード問合せ／ショートメッセージ（SMS）問合せ中
：ｉモード中
：Bookmark／Internet／ラストURL／画面メモ一覧／ツータッチサイト表示中
：ｉアプリ起動中・一覧表示中
：USB経由で発信・通信中
：USB経由でパケット送受信中
：「マイピクチャ」起動中
：「ｉモーション」起動中
：「メロディ」起動中
：「キャラ電」起動中
：サウンドレコーダー起動中
：カメラ起動中
：ビデオカメラ起動中
：バーコードリーダー起動中
：電話帳表示中
：伝言メモ・音声メモ起動中
：メモ帳表示中
：スケジュール帳表示中
：スケジュールアラーム起動中
：電卓表示中
：着信履歴表示中
：リダイヤル表示中
：外部データ連携中
：赤外線通信の受信設定中・INBOX保存中
／（紺／グレー）：
miniSDメモリーカードへアクセス中／アクセス待機中
／（紺／グレー）：
USB経由でminiSDモード中／USB未経由でminiSDモード中
：アラーム設定起動中
：自局番号表示中
／（紺／グレー）：各機能の設定中／保留中
：ソフトウェア更新中
：ソフトウェア更新の通知あり
：パターンデータ更新中／バージョン表示中
：各種ネットワークサービス設定中
：外部機器によるテレビ電話通話中

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

一覧画面の見かた

例 カラーテーマ設定画面

カラーテーマ設定 1/3
1 ダイヤモンドブルー
2 プライマリーブラック
3 ホワイトスモーク
4 ブルシャンブルー
5 アフリカ
6 グリーンインディゴ
7 パーシアンレッド
8 ジャングルグリーン
9 クロームグリーン
選択

一覧が複数ページにわたる場合、現在表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。

▲▼は、カーソル位置の項目の上下に選択項目があることを示しています。
- を押してカーソルを移動します。
- ページの最後の項目で を押すと次ページ、ページの先頭の項目で を押すと前ページが表示されます。

◀▶は、選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。
- を押してページを切り替えます。

※アイコンの選択画面などでは切り替わりません。

おしらせ

● 次の現象は液晶ディスプレイの特性であり、FOMA 端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。
- FOMA 端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- しばらくの間、同じ画面を表示していると、何か操作を行って画面表示が切り替わったときに、前の画面表示の残像がディスプレイに残る場合があります。

メニューから機能を選択する

機能を選択する

機能を選択するには、メニュー項目に対応したダイヤルキーを押して選択する方法と、イージーセレクタープラスでメニュー項目を選択する方法の 2 とおりあります。
- 各種ロック機能や FOMA カード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが で表示されたり文字が薄く表示されたりして選択できません。

ダイヤルキーでメニューを選択するには（ショートカット操作）

メニュー項目にはそれぞれ番号が割り当てられており（項目番号）、対応するダイヤルキー（1 ～ 9）を押して選択できます。項目の位置とダイヤルキーは次のように対応しています。

MENU

1	2	3
4	5	6
7	8	9

本書では、主にこの方法で操作の説明をしています。

例「受話音量調整」を実行するとき

1 待受画面で Menu 8 1 3 を押す

受話音量を調整します。☛P67

イージーセレクタープラスでメニューを選択するには

例「受話音量調整」を実行するとき

1 待受画面で Menu を押す

・カスタムメニューが表示されたときは、[m] を押してノーマルメニューを表示させます。☛P442

2 を押して「設定」を選択する

カーソル位置のアイコンの色が変わります。

3 を押して「音／バイブ」を選択する

4 を押して「受話音量調整」を選択する

受話音量を調整します。

メニューの説明が見たいとき（機能説明表示）

を押し、メニュー項目にカーソルを合わせてしばらくすると、機能説明が表示されます。

・機能説明はしばらくすると自動的に消えます。
・機能説明を表示しないように設定することもできます。☛P31

「メール」の説明が表示された状態

メニューを選択した後で待受画面や 1 つ前の画面に戻すには

PWR ：待受画面に戻ります。
クリア ：1 つ前の画面に戻ります。
/クリア ：1 つ前の画面に戻ります。※
※：カメラの撮影画面など、画面によっては /クリア を押しても 1 つ前の画面に戻りません。

メニューの表示方法を設定する<メニュー設定>

お買い上げ時　ノーマル：タイルアイコン　カスタム：タイルアイコン　機能説明表示：ON
アイコンデザイン：タイプ 1　アイコン拡大表示：OFF　起動メニュー：ノーマル
カスタムメニューショートカット：カスタム

メニューの表示形式は次の 3 種類から選択できます。また、メニューを選択した際にそのメニューの説明を表示させるかどうかなども選択できます。

リスト　　タイルアイコン　　3D アイコン

1 待受画面で Menu を押す

2 各項目を選択して設定する

ノーマル　：ノーマルメニュー使用時のメニューの表示形式を設定します。
カスタム　：カスタムメニュー使用時のメニューの表示形式を設定します。
機能説明表示　：メニュー項目選択時に機能説明を表示するかどうかを設定します。
アイコンデザイン　：ノーマルメニュー使用時のタイルアイコンのデザインを設定します。
アイコン拡大表示　：アイコン選択時にアイコンを拡大表示するかどうかを設定します。
起動メニュー　：メニュー表示時にノーマルとカスタムのどちらで表示するかを設定します。
カスタムメニューショートカット
：カスタムメニュー使用時のショートカットの操作方法を設定します。
- 「ノーマル」に設定すると、ノーマルメニューと同じ項目番号でショートカット操作ができます。
- 「カスタム」に設定すると、カスタムメニューに登録された各機能の位置に対応した項目番号でショートカット操作ができます。

3 [📖] を押す

設定した内容が登録されます。

リストメニューでの選択方法

リストメニューでは、項目番号と項目名のリストが表示されます。
[上下キー] を押して項目にカーソルを合わせ、[決定キー] を押します。

1 メール
2 iモード
3 iアプリ
4 電話帳/履歴
5 データBOX
6 ツール
7 ステーショナリー
8 設定
9 NWサービス

カーソル位置の項目の色が変わります。

選択できない項目は、文字が薄く表示されます。

▶は次の階層のメニュー項目があることを示します。

- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
- [上下キー] を押して項目にカーソルを合わせ、[右キー] を押しても選択できます。
- メニュー表示中に [左キー]、[クリア]、[クリア] を押すと 1 つ前の画面に戻ります。

3D アイコンメニューでの選択方法

3D アイコンメニューでは、機能のアイコンがリング状に並んで表示されます。
[左右キー] を押してアイコンのリングを回転させ、目的の項目を最前面にし、[決定キー] を押します。

NWサービス iモード
メール

- [右キー] を押すと時計回りで回転します。
- [左キー] を押すと反時計回りで回転します。
- [上下キー] を押すと奥のアイコンが最前面に表示されるように回転します（[上キー] で反時計回り、[下キー] で時計回り）。
- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。項目番号はタイルアイコンやリストメニューに切り替えて確認してください。
- メニュー表示中に [クリア] または [クリア] を押すと 1 つ前の画面に戻ります。

アイコンデザインの種類

ノーマルメニューのタイルアイコンのデザインは、次の 3 種類から選択できます。

タイプ 1	タイプ 2	タイプ 3
1 メール 2 iモード 3 iアプリ 4 電話帳/履歴 5 データBOX 6 ツール 7 ステーショナリー 8 設定 9 NWサービス	1 メール 2 iモード 3 iアプリ 4 電話帳/履歴 5 データBOX 6 ツール 7 ステーショナリー 8 設定 9 NWサービス	1 メール 2 iモード 3 iアプリ 4 電話帳/履歴 5 データBOX 6 ツール 7 ステーショナリー 8 設定 9 NWサービス

- アイコンデザインで選択できるのは、[Menu] を押したとき最初に表示される一階層目のメニューのデザインです。
- 「カスタム 1」、「カスタム 2」は、メニューアイコンを変更してオリジナルメニューを作成するためのものです。☞P145

サブメニューから機能を選択する

機能によっては、ガイド行の左上に「MENU」が表示されるものがあります。このときには、サブメニュー項目を選択することで、さまざまな操作ができます。

例 リダイヤルのサブメニューを表示するとき

1 待受画面で ◎ を押す

ガイド行の左上に「MENU」が表示されます。

2 Menu を押す

カーソル位置の項目の色が変わります。

▶は次の階層のメニュー項目があることを示します。

3 ◎ を押してサブメニュー項目を選択する

- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
- ◎ を押して項目にカーソルを合わせ、◎ を押しても選択できます。
- サブメニュー表示中に Menu を押すと、サブメニューが閉じます。

おしらせ

● サブメニューの項目番号は操作する画面により異なる場合があります。

画面の各項目を設定する

確認画面で「はい／いいえ」を選択するには

登録内容の削除や設定などの操作中に、機能を実行するかどうかの確認画面（ポップアップ画面）が表示される場合があります。

例 電話帳データを削除するとき

1 を押して「はい」または「いいえ」を選択する

・「はい」を選択すると、目的の機能が実行されます。「いいえ」を選択すると、操作が中止されます。
・機能によっては「はい／いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

プルダウンメニューから項目を選択するには

設定する項目内の項目をプルダウンメニューから選択する場合があります。

例 電話の着信音を設定するとき

1 を押して設定する項目にカーソルを合わせる

2 を押してプルダウンメニューを表示させ、を押して項目にカーソルを合わせる

・項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。

プルダウンメニュー

3 を押す

ご使用前の確認

チェックボックスで項目を選択するには

チェックボックスをチェックして項目を選択します。

例 スケジュール登録で繰り返しの設定をするとき

1 を押してチェックボックスにカーソルを合わせて を押す

曜日選択
1 □ 日曜日
2 □ 月曜日
3 ☑ 火曜日
4 □ 水曜日
5 □ 木曜日
6 □ 金曜日
7 □ 土曜日

チェックボックスが□から☑に変わり、選択されます。
- 既に選択されている項目（☑）を選択すると、選択が解除（□）されます。ただし、機能によっては項目を全選択／全解除できないことがあります。
- Menu を押すとすべての項目を選択または解除できます。
- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。

情報をすばやく表示する＜フォーカスモード＞

待受画面に次のマークが表示されているときに、マークを選択して、対応する情報をすばやく表示できます。

2：不在着信（電話に出なかった履歴）あり
1：留守番電話サービスの新メッセージあり
1：未再生の伝言メモあり
2：未読の受信メールあり

- それぞれのマークの右に、蓄積されている情報の件数が表示されます。
- カスタム待受画面を設定しているときは、待受画面に情報が表示されます。表示されている情報を選択して、詳細情報を手早く確認できます。☛P138、P139

1 待受画面で を押し、 を押してマークにカーソルを合わせる

カーソル位置のマークの色が変わります。

有効なイージーセレクタープラスの方向を表示します。

2 を押す

選択したマークに対応する画面が表示されます。

■ 2のとき

着信履歴の一覧が表示され、着信日時を確認できます。発信者番号が通知されていれば、相手の電話番号も確認でき、電話もかけられます。☛P65

■ 1のとき

伝言メモ一覧が表示され、伝言メモを再生できます。☛P79

■ 1のとき

留守番電話サービスのメッセージ再生確認画面が表示され、メッセージを再生できます。☛P466

■ 2のとき

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。フォルダ一覧から未読メールを表示できます。☛P279

つづく

おしらせ

- ● マークを選択して クリア を1秒以上押すと、マークは一時的に消去されますが、新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再度表示されます。
- ● PIMロックなど各種ロック機能の設定により、対応する画面が表示されない場合があります。
- ● 待受画面設定でカレンダーを設定、またはカスタム待受画面でエリアにカレンダーを設定した場合には、待受画面で を押し、カレンダーを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。☛P432
マークを選択するときは、待受画面で を押して を押し、 でカーソルを移動させてマークを選択します。

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種別		保存・登録件数	保護件数
メール	受信メール※1、※2	最大1000件	最大500件
	送信メール※1、※2	最大200件	最大100件
	未送信メール※1、※2	最大200件	最大100件
	メールテンプレート※1	最大100件	―
FOMAカードのショートメッセージ(SMS)※3		最大20件	―
メッセージR※4		最大100件	最大50件
メッセージF※4		最大50件	最大25件
ブックマーク		最大100件	―
画面メモ※1		最大100件	最大50件
iアプリのソフト※5		最大100件	最大100件
画像※1		最大1000件	―
メロディ※1		最大500件	―
動画/iモーション/サウンドレコーダーで録音した音声※1		最大100件	―
キャラ電※1		最大50件	―

※1:保存・登録するデータのサイズにより、実際に保存・登録できる件数が少なくなる場合があります。
※2:iモードメールとショートメッセージ(SMS)の合計件数です。
※3:送信ショートメッセージ(SMS)、受信ショートメッセージ(SMS)の合計件数です。
※4:保存できる件数はメッセージR/Fのサイズによって変わります。
※5:メール連動型iアプリは最大5件(ソフトの最大保存件数100件に含む)保存できます。保存するソフトのサイズにより、実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

おしらせ

- ● FOMA端末に保存・登録されているデータは、電池パックを外したままの状態や電池残量が空の状態でも約1ヶ月は保持されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ● FOMA端末に保存した画像、メロディ、動画/iモーションなどはminiSDメモリーカードに保存することをおすすめします。保存できるデータについては☛P393
- ● パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Dシリーズデータリンクソフトをご利用いただくことにより、メール、ブックマーク、画像、メロディ、動画/iモーションなどのデータをパソコンに転送・保管することができます。☛P551
- ● 保存・登録したデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じることがあります。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

FOMA カードを使う

FOMA カードとは、電話番号などのお客様情報が記録されるカードです。
FOMA 対応の端末に挿入して使用します。

・FOMA カードの詳しい取り扱いについては、FOMA カードの取扱説明書をご覧ください。

FOMA カードの取り付けかた／取り外しかた

FOMA 端末は FOMA カードを取り付けた状態で使用します。カードが取り付けられていないときは、まず、FOMA カードを取り付けてください。

・FOMA カードの取り付けや取り外しは、電源を切ってから行ってください。
・FOMA カードの取り付けや取り外しは、FOMA 端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。

取り付けかた

トレイが止まるところまで引き出した状態

トレイ

FOMA カード差込み口カバーの切り欠き部分

切り欠き部分

IC

FOMA カード

❶リアカバーを外し、電池パックを取り外す
☛P40

❷FOMA カード差込み口カバーを引き出す
FOMA カード差込み口カバーの切り欠き部分に指先をかけ、トレイが止まるところまで引き出します。

❸IC 面を下にして FOMA カードを差し込む

❹FOMA カード差込み口カバーをトレイと水平になるように戻す
FOMA カードと FOMA カード差込み口カバーの切り欠き部分を合わせてください。

❺電池取付部の壁まで押し込む

❻電池パックとリアカバーを取り付ける
☛P40

取り外しかた

❶FOMA カード差込み口カバーを引き出す
・「取り付けかた」の❶～❷と同じです。

❷FOMA カードを引き抜く

FOMA カードトレイが外れたとき

突起部分

突起部分を差込み口に合わせ、まっすぐに押し込んでください。
● FOMA カードを外してから行ってください。

おしらせ

- FOMA カードを無理に取り付けようとすると、FOMA カードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外した FOMA カードはなくさないようにご注意ください。
- 電池パックを取り付けるときは、必ず FOMA カードのトレイが出ていないことを確認してください。トレイが出ていると電池パックを取り付けることができません。無理に取り付けようとすると FOMA カードやトレイが壊れることがあります。
- FOMA カードが FOMA カード差込み口カバーに乗り上げたままトレイを押し込むと、動作異常の原因となりますのでご注意ください。

FOMA カードの暗証番号について

FOMA カードには、「PIN1 コード」「PIN2 コード」という 2 つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、 4～8桁の任意の数字に変更できます。
☛P152、P155

PIN ロック解除コード

- PIN ロック解除コードは、PIN1 コード、PIN2 コードがロックされた状態を解除するための 8 桁の番号です。お買い上げ時にお客様にお知らせします。
- PIN ロック解除コードの入力を 10 回連続して失敗すると、FOMA 端末が自動的にロックされます。PINロック解除コードはメモに控えるなどしてお忘れにならないようご注意ください。なお、PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。PINロック解除 ☛P156

FOMA カード動作制限機能について

FOMA 端末にはお客様のデータやファイルを保護するための機能として FOMA カード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA 端末にお客様の FOMA カードを取り付けている状態でサイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付のデータを取得すると、それらのデータやファイルには FOMA カード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMA カードを差し替えた場合や FOMA カードが取り付けられていない場合、FOMA カード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできなくなります。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - 画像（アニメーション、Flash を含む）
  - ｉ モーション・メロディ
  - キャラ電
  - ｉ アプリ（ｉ アプリ待受画面を含む）
  - 画面メモ
  - メッセージ R/F
  - ｉ モードメールに添付されているファイル
  - デコメール本文中に挿入されている画像
- FOMA カード動作制限機能が設定されている ｉ アプリは、別の FOMA カードに差し替えた場合や FOMA カードを差し込んでいない場合に次の操作ができなくなります。
  - 起動
  - 自動起動
  - バージョンアップ
  - ソフト詳細情報の表示
  - 自動起動設定の変更
  - ツータッチ ｉ アプリ登録
  - ソフト情報設定
  - ｉ アプリ待受画面の設定

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

おしらせ

- FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを待受画面や発着信画像、着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。この場合、設定されている音や画像と、実際に鳴動する音や表示される画像が異なることがあります。データを受信・ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データの動作制限は解除され、設定は元の状態に戻ります。
- 赤外線通信やminiSDメモリーカード、データリンクソフトを利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した画像には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルやデータは、赤外線通信やminiSDメモリーカードへコピー／移動できません。

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには緑色と青色の2種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMAカード（緑色）	FOMAカード（青色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大26桁	最大20桁	P108
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可	P238
WORLD WINGサービスの利用	利用可	利用不可	P39
サービスダイヤル	「ドコモ故障問合せ」および「ドコモ総合案内・受付」の利用 ※「故障お問い合わせ先」および「DoCoMoインフォメーションセンター」に接続されます。	利用不可	P473

WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応の海外用携帯電話（GSM方式）に差し替えることにより、海外でのご利用時も、日本で契約している携帯電話番号のままで発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。WORLD WINGのご利用にはお申込みが必要です。詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

・電池パックの取り付け／取り外しは、必ず電源を切り、FOMA 端末を閉じた状態で行ってください。
・カメラに触れないように注意してください。

取り付けかた

止め具

❶止め具を矢印の方向にスライドさせる
❷止め具をスライドさせた状態で、リアカバーを持ち上げて取り外す

❸電池パックの印字面を上にして、FOMA 端末と電池パックの端子が合うように図のような角度で差し込む
電池パックの端子を無理に差し込むと、本体のコネクタや電池パックの端子部を破損する恐れがあります。ご注意ください。
❹電池パックをはめ込む

❺リアカバーを FOMA 端末の溝に合わせ、矢印の方向に「カチッ」と音がするまではめ込む
正しい手順で取り付けないと、リアカバーを破損させることがあります。

取り外しかた

❶リアカバーを外す
・「取り付けかた」の ❶ 〜 ❷ と同じです。
❷電池パックを取り外す
◯の部分に指先を入れて電池パックを取り外します。

電池パックのリサイクルについて

この製品に使用されているリチウムポリマー電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。環境保全のため、不要になった電池は NTT DoCoMo または代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。
● リサイクルの際、以下のことにご注意ください。
・端子にテープなどを貼り、絶縁してください。
・分解、改造をしないでください。

Li-ion
(Li-polymer)

おしらせ

● FOMA 端末のディスプレイはアクティブ液晶を使用しています。アクティブ液晶の特性上、電池パックの取り付け／取り外しの際、残像や横縞が数秒間表示されることがありますが、故障ではありません。

充電する

電池残量が少なくなった場合は、充電してください。

- 電池残量は、電池マークで確認します。
  - ：電池残量は十分あります。
  - ：少なくなっています。
  - ：ほとんど残っていません。充電してください。
  - ※：電池マーク設定でマークを変更できます。☛P146

充電時間・電池使用時間の目安

充電時間	連続通話時間	連続待受時間
約 140 分	音声電話時　約 170 分 テレビ電話時　約 100 分	静止時　約 600 時間 移動時　約 450 時間

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは FOMA 端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉ モード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話や ｉ モード通信をしなくても、ｉ モードメールを作成したり、ダウンロードした ｉ アプリ、ｉ アプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA 端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA 端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用などによっても、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。

電池パックについて

● 電池パック D03 をご使用ください。

● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに 1 回の使用時間が短くなっていきます。1 回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命と考えてください。電池パックの寿命の目安は、約 1 年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

充電の開始／終了とその他の留意事項

FOMA 端末の電源は、切ってからでも入れたままでも充電できます。ただし、電源を入れたままで充電した場合は、充電時間が長くなります。

- 充電を開始すると、マルチイルミネーションランプが赤く点灯します。
  電源を入れたままで充電を開始すると、充電確認音が鳴り、電池マークが点滅します。

マーク	マルチイルミネーションランプ	意　味
（充電中：点滅 充電完了：点灯）	充電中：点灯（赤） 充電完了：消灯	正常に充電しています。

※電池マーク設定でマークを変更できます。☛P146

  - 充電を開始してもマルチイルミネーションランプが赤く点灯しなかった場合や、赤で点滅している場合は、正常に充電できていません。再度充電を行っても正常に充電できない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
  - 充電確認音は鳴らないように設定することもできます。☛P132
- 充電が完了すると、マルチイルミネーションランプが消灯します。
  電源を入れたままで充電したときは、充電確認音が鳴り、電池マークが点灯状態になります。（電池マークが点滅中は充電が完了していません。）
  - 充電確認音は鳴らないように設定することもできます。☛P132
- 電源を入れたまま長時間（1 日以上）充電しないでください。充電が完了しても FOMA 端末の電源が入っていると、電池残量が減少します。このような場合、AC アダプタや DC アダプタは再度充電を行いますが、再充電の途中で FOMA 端末を取り外した場合は、次のような状態になることがあります。
  - 電池残量が少ない　・電池切れのメッセージが表示される　・短時間しか使えない
- 電池残量が十分にある場合は、AC アダプタや DC アダプタに接続しても充電しないことがあります。
- AC アダプタまたは DC アダプタを接続して、充電しながら長時間使用すると、温度待機中になる場合があります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないよう、ゆっくり確実に行ってください。

コンセントから充電する

FOMA AC アダプタ 01（別売）や卓上ホルダ D03（別売）を使用して充電できます。
FOMA 端末を閉じた状態でも、開いた状態でも充電できます。

- 電池パック単体では充電できません。
- カメラに触れないように注意してください。

■ AC アダプタだけで充電する場合

❹マルチイルミネーションランプ
AC100V コンセント
電源プラグ
本体接続コネクタ（表示面が表です）
AC アダプタ
リリースボタン

❶**AC アダプタの電源プラグを起こし、AC 100V コンセントに差し込む**
❷**FOMA 端末の外部接続端子の端子キャップを開く**
❸**本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む**
❹**充電の開始を確認する**

充電が完了したら、本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、AC アダプタをコンセントから引き抜きます。次に端子キャップを閉じます。

- AC アダプタの本体接続コネクタは、水平になるように抜き差ししてください。

■ 卓上ホルダに差し込んで充電する場合

❶AC アダプタの電源プラグを起こし、AC 100V コンセントに差し込む
❷卓上ホルダに本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む
❸FOMA 端末を卓上ホルダに垂直に押し込んでから後方に傾ける
❹充電の開始を確認する
マルチイルミネーションランプが赤く点灯したことを確認してください。充電が完了したらFOMA 端末を手前に傾け卓上ホルダから取り出します。

- AC アダプタの本体接続コネクタは、水平になるように抜き差ししてください。
- FOMA 端末を卓上ホルダへ取り付ける際は、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。

おしらせ

● 詳しくは、AC アダプタと卓上ホルダの取扱説明書をご覧ください。

自動車の中で充電する

専用の FOMA DC アダプタ 01（別売）を使用すると、自動車の中でも充電できます。マイナスアース車（12V 車・24V 車）で使用できます。

❶DC アダプタのシガーライタプラグを自動車のシガーライタソケットに差し込む
❷FOMA 端末の電源を切り、外部接続端子の端子キャップを開く
❸DC アダプタの本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む
❹充電の開始を確認する
充電が完了したら、DC アダプタの本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、シガーライタプラグをシガーライタソケットから引き抜きます。次に端子キャップを閉じます。

おしらせ

● 詳しくは、DC アダプタの取扱説明書をご覧ください。
● 自動車のエンジンを切った状態で充電すると、車のバッテリーを消耗させることがあります。必ずエンジンをかけた状態で充電してください。
● 充電しない場合は、DC アダプタはシガーライタソケットから取り外してください。
● DC アダプタのヒューズ（DC アダプタ：2A）は消耗品です。交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた

ディスプレイに電池残量の目安が表示されます。

- 3 段階で表示されます。
- 電池残量表示は、あくまでも目安としてご覧ください。

電池マーク

	電池残量 3（十分残っています）	電池残量 2（少なくなっています）	電池残量 1（充電することをおすすめします）
お買い上げ時			
マーク変更時 ☛P146			

電池残量を音と表示で確認する

- 次の場合は確認音は鳴りません。
  - キー確認音を「OFF」に設定している場合
  - マナーモードを設定している場合
  - 電話着信音量を消音に設定している場合

1 待受画面で Menu 8 4 3 を押す

電池残量が表示され、しばらくするとメニュー一覧表示に戻ります。

（電池残量 3）
電池レベル表示
「ピピピッ」と鳴ります

（電池残量 2）
電池レベル表示
「ピピッ」と 2 回鳴ります

（電池残量 1）
電池レベル表示
「ピッ」と 1 回鳴ります

電池が切れそうになると

電池が切れそうになると、ディスプレイのメッセージ表示や電池アラーム音でお知らせします。充電を開始すれば電池アラーム音は止まりますが、電池アラーム音をすぐに止めたい場合は PWR を押してください。

例 待受中のとき

ディスプレイに電池残量がない旨のメッセージが表示されます。● を押すとメッセージが消えますが、しばらくすると電池アラーム音が鳴り、再度メッセージが表示されます。このとき、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、約 1 分後に自動的に電源が切れます。

例 通話中のとき

受話口から電池アラーム音が聞こえ、ディスプレイに電池残量がない旨のメッセージが表示されます。●、クリア、PWR を押すと、メッセージが消えます。電池アラーム音が聞こえてから約 20 秒後に通話が切れて、待受画面に戻ります。その後、約 1 分後に自動的に電源が切れます。

電池アラーム音が鳴らないようにする<電池アラーム音設定>

お買い上げ時　ON

・本機能の設定に関わらず、次の場合は電池アラーム音は鳴りません。
　・マナーモードを設定している場合
　・ドライブモードを設定している場合

1 待受画面で Menu 8 1 5 を押す

2 2 を押す

・電池アラーム音を設定するときは 1 を押します。

おしらせ

●「OFF」に設定しても、通話中に電池が切れそうになったときは、受話口から電池アラーム音が鳴り、ディスプレイに電池残量がない旨のメッセージが表示されます。

電源 ON ／ OFF

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 PWR を 2 秒以上押す

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。

電池マーク
受信レベル
日付・曜日・時刻
待受画像

FOMA カード読み込み中にが表示され、終わると消えます。

受信レベルの状態	
→ →	圏外
強 → 弱	サービスエリア外や電波の届かないところ

・日付・時刻が設定されていないときは、その旨のメッセージが表示されます。を押して、日付時刻設定の操作 2 から行ってください。☛P46
・FOMA カードが取り付けられていない場合、FOMA カードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMA カードを取り付けてから電源を入れ直してください。
・待受画像や日付・時刻の表示形式、電池マークは変更できます。☛P135、P146、P148
左の画面の背景は架空のものです（お買い上げ時の設定とは異なります）。

電源を切る

1 PWR を 2 秒以上押す

・プロテクトキーロック中に FOMA 端末を閉じている場合、電源を切ることはできません。プロテクトキーロックを解除するか、FOMA 端末を開いてから電源を切ってください。

つづく

おしらせ

- サービスエリア外や電波が届かないところで 圏外 が表示されているときは、表示が消える場所まで移動してください。なお、Yil が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れることがあります。
- 照明設定の点灯時間を「常時」以外に設定しているとき、約90秒間何も操作せずにいると、ディスプレイが自動的に消灯します（カメラ撮影中などを除く）。キー操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。

日付時刻設定

日付・時刻を合わせる

1 待受画面で Menu 8 5 1 を押す

2 日付欄を選択し、日付を入力する

日付時刻設定
日付 2005/01/01(土)
時刻 00時00分

西暦は下2桁を入力します。月、日が1～9のときは、前に0を付けます。

- 2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。
- を押して数字を増減することもできます。
- を押して変更する数字にカーソルを合わせてから入力することもできます。

3 時刻欄を選択し、時刻を入力する

24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

- 0時0分から23時59分まで設定できます。
- を押して数字を増減することもできます。
- を押して変更する数字にカーソルを合わせてから入力することもできます。

4 を押す

おしらせ

- 設定した時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その場合は、再度、日付・時刻の設定を行ってください。
- 日付・時刻を設定していないときは、次の機能は利用できません。
  - スケジュール☛P432、P434
  - 自動電源ON設定☛P428
  - 自動電源OFF設定☛P428
  - アラーム設定☛P429
  - ｉアプリの自動起動機能☛P336
  - 時刻設定を必要とするｉアプリDX☛P322
  - 再生・保存期間や期限が設定されているｉモーションの取り込み☛P370
  - データ（スケジュール）送受信☛P410、P412
  - ソフトウェア更新☛P565
  - パターンデータ更新☛P572
  - ユーザ証明書の操作☛P238
- 日付・時刻を設定していないときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」「---------------」などと表示されます。さらに細分化するための番号（枝番）が付く場合もあります。
  - リダイヤル／着信履歴☛P53、P65
  - 伝言メモ、音声メモ☛P76、P449
  - カメラで撮影した静止画／動画の日時☛P177
  - バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名の日時☛P196
  - ソフトのダウンロード日時☛P328
  - 送信メール・未送信メールの日時☛P283
  - 静止画やメロディ、キャラ電、ｉモーション、メールテンプレートなどのダウンロード日時☛P405、P260
- 音声通話中に Menu 3 を押して、日付・時刻を設定できます。

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたとき、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 発信者番号通知はお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、発信者番号通知の設定操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
- 詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 待受画面で Menu 9 5 1 を押す

■ **設定内容を確認するとき**

① **待受画面で Menu 9 5 2 を押し、「はい」を選択する**

設定内容が表示されます。

② **◉ を押す**

2 ネットワーク暗証番号を入力する

3 1 を押す

発信者番号通知設定
1 通知する
2 通知しない

発信者番号通知が設定されます。

■ **発信者番号を通知しないとき**

① **2 を押す**

4 ◉ を押す

おしらせ

● 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからかけ直してください。

● ネットワーク暗証番号 ☛P152

自局番号

自分の電話番号を確認する

自分の電話番号（自局電話番号）や名前、メールアドレスなどを確認します。

1 待受画面で Menu 0 を押す

- お買い上げ時は自局電話番号のみ表示されます。
- ｉモードのメールアドレスを確認するには、待受画面で 1 を押してｉMenuを表示し、「オプション設定」→「メール設定」→「アドレス確認」を選択します。
  あらかじめ登録されているブックマークからも確認できます。待受画面で 2 を押し、「フォルダ 1」→「アドレス確認」を選択します。

おしらせ

- 通話中に自分の電話番号（自局電話番号）を確認するには、 0 を押します。
- 自局番号のメールアドレス欄を変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、自局番号のメールアドレス欄は自動的には変更されません。ｉモードのメールアドレスを確認・変更する方法については、『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- 電話番号以外の情報を登録する ☛P447
- 赤外線機能を搭載した他の FOMA 端末などと自局番号を交換できます。☛P410、P412

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかける

ここでは、音声電話のかけかたと、音声電話とテレビ電話での共通の操作を説明します。

・ダイヤル発信制限中は、ダイヤルキーを押して電話をかけることはできません。☛P160
・通話中はアンテナ部を手で覆わないようにしてください。

1 待受画面で電話番号を入力する

090XXXXXXXX

一般電話にかける	市外局番－市内局番－電話番号 ・同一市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
携帯電話にかける	090 － XXXX － XXXX 080 － XXXX － XXXX
PHS にかける	070 － XXXX － XXXX

・電話番号は 80 桁まで入力できます。ただし、表示されるのは 24 桁です。
・電話番号を訂正するときは [クリア] または [クリア] を押します。
・[クリア] または [クリア]（半押し）を 1 秒以上押すと、待受画面に戻ります。

2 [発信] を押す

通話中
090XXXXXXXX
08秒

「プッププッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。

・相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。[PWR] を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。☛P53
・相手の携帯電話や PHS の電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない場所にいるときには、ガイダンスで接続できないことをお知らせします。

3 通話が終わったら [PWR] を押す

・FOMA 端末を閉じても電話を切ることができます。閉じて電話を切るようにするには、「通話中クローズ設定」で設定を変更します。☛P64

おしらせ

● 操作 2、操作 1 の順に操作しても電話をかけられます。[発信] を押して電話番号を入力した後、約 5 秒経過すると自動的に音声電話がかかります。
● 他の機能を実行中に電話をかけることができない場合があります。☛P548
● 電話帳データの画像選択に動画を設定した相手に電話をかけると、発信中の画面に動画の最初のコマが表示されます。☛P105
● 2 つの通信機能を同時に利用できます。☛P422、P546
● 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
● 相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けないで番号を入力したときや、カスタム発信で「番号通知」を設定せずに電話番号を入力して電話をかけた場合は、発信者番号通知の設定に従って動作します。☛P47
● 音声電話通話中にパケット着信があった場合には、優先通信モード設定に従った着信画面が表示されます。☛P70
● スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話をかけることができます。☛P456

通話中に保留にする<通話中保留>

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。
・保留中も、電話をかけた側に通話料金がかかります。

1 通話中に ⓔ を押す

通話が保留になり、ガイダンスが流れます。テレビ電話通話のときは、自分と相手にはテレビ電話通話中保留画像が表示されます。

保留中
090XXXXXXXX
13秒

音声電話保留中

保留中

テレビ電話通話中保留画像

テレビ電話保留中

・音声電話の保留中に ⓔ または ⓒ を押すと、保留が解除されます。
・テレビ電話の保留中に ⓔ を押すと、保留が解除され、保留前に送信していた画像に戻ります。ⓘ を押すと保留が解除されカメラ画像が、ⓒ を押すと保留が解除され代替画像が相手に送信されます。☛P91

おしらせ

● FOMA 端末を閉じても通話を保留にできます。閉じて保留にするには、「通話中クローズ設定」で設定を変更します。☛P64
● FOMA 端末を閉じて通話を保留にしたときは、FOMA 端末を開くと保留を解除できます。
● 保留中にメロディを流せます。☛P73
● テレビ電話通話中保留画像は変更できます。☛P92
● 通話保留音に設定した 3D サウンド対応メロディには、通話相手の端末で音質が劣化して聞こえるものがあります。

スピーカーホン機能を利用する

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で電話をかけることができます。

1 待受画面で電話番号を入力して ⓒ または ⓘ を 1 秒以上押す

・発信中は ⓒ、通話中は ⓒ または ⓜ を押すたびに通常の受話口からの通話と、スピーカーホン機能を利用したスピーカーからの通話とを切り替えることができます。
・スピーカーホン機能利用中は、ディスプレイに 🔈 が表示されます。
・電話帳一覧、リダイヤルの一覧、着信履歴の一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。

おしらせ

● スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなり耳に傷害を与える恐れがありますので、FOMA 端末を耳から離して使用してください。
● 通話中、周囲や相手側の雑音が大きく、聞き取りにくい場合は、通常の通話を行ってください。
● FOMA 端末に向かって約 30cm 以内の距離でお話しください。
● マナーモード設定中でもスピーカーホン機能を利用できます。

音声電話通話中の操作について

• 音声電話通話中にサブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 着信履歴	着信履歴を表示します。	P65
2 リダイヤル	リダイヤルを表示します。	P53
3 日付時刻設定	日付・時刻を設定します。	P46
4 再接続アラーム設定※	電波状態が悪くて途切れた通話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。	P59
5 通話品質アラーム設定※	電波状態が悪くて通話が途切れそうになったときに、アラーム音で知らせるように設定します。	P133
6 通話中クローズ設定	FOMA 端末を閉じて通話を終了するかどうかを設定します。	P64
7 ダイヤル入力	キャッチホンをご契約の場合、通話中に別の相手に電話をかけられます。	P468
8 受話音量調整	受話音量を調整します。	P67

※ :アラーム鳴動中でも設定を変更できます。アラームが鳴り止んだ後に変更した設定が反映されます。

• 通話中には、次のキーで操作できます。
  ・ [電話帳キー] を押して電話帳を起動できます。
  ・ [カメラ/クリアキー] を 1 秒以上押して、通話中音声メモで相手の声を録音できます。☛P449
  ・ [上下キー] を押して受話音量を調整できます。
  ・ [左キー] を押して着信履歴を、[右キー] を押してリダイヤルを表示できます。

ポーズ、タイマー、「+」を入力する

ポーズ、タイマー、「+」を入力して電話をかけられます。
• ポーズとタイマーは音声電話のみ有効です。

例「03XXXXXXXXP12345」(ポーズ「P」を入力)で発信したとき

電話がつながった後に [決定キー] を押すと、ポーズ以降の番号が送出されます。

通話中
P12345
13秒

→

通話中
03XXXXXXXX
14秒

ポーズ「P」を入力する

ポーズ(P)は、ポケットベル※へのメッセージ送信や自宅の留守番電話の操作、チケットの予約などに利用します。ポーズ(P)が入力された箇所でダイヤルを区切ってプッシュ信号(DTMF)を送出します。

1 **[*キー] を 1 秒以上押す**

• 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号をダイヤルするときなどにタイマー（T）を利用します。外線番号と内線番号の間に「T」を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されるようになります。

1 **[#] を 1 秒以上押す**

- タイマーは連続して入力できます。
- タイマー 1 つにつき、約1秒の間隔をとります。
- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

「＋」を入力する

電話番号の先頭に「＋」を入力して、簡単に国際電話をかけることができます。

1 **[0] を 1 秒以上押す**

- 国際ダイヤル自動付加設定が「自動付加」の場合は、国際電話用の「009130010」が付加されて発信されます。

おしらせ

- プッシュ信号（DTMF）を送出する際、受信側の機器によっては信号を受信できない場合があります。
- チケットの予約など、音声ガイダンスに従ってプッシュ信号（DTMF）を送出する必要がある場合には、スピーカーホン機能を利用すると便利です。この場合、スピーカーホンに切り替えた後で、プッシュ信号（DTMF）を入力してください。
- キャッチホンをご契約の場合、お話し中の通話を保留にして別の相手にポーズ（P）、タイマー（T）を入力して電話をかけることはできません。

リダイヤル

前にかけた相手にかけ直す

こちらからかけた電話を発信履歴（リダイヤル）として記録しておく機能です。相手が話し中で電話がつながらなかった場合などに、簡単な操作でかけ直すことができます。

- リダイヤルは最大 30 件記録されます。30 件を超えると、古いものから順に消去されます。
- FOMA 端末で日付・時刻が設定されていない場合は、リダイヤルに日時が記録されません。
- 同じ電話番号にかけた場合は、番号通知選択の「指定なし」、「通知」、「非通知」のそれぞれについて最新の 1 件のみが記録されます。
- シークレットモードで電話をかけた場合でも、リダイヤルの一覧には相手の電話番号が記録されます。

1 **待受画面で [◎] を押し、リダイヤルの一覧でかけ直す相手にカーソルを合わせる**

リダイヤル 1/1
+XXXXXXXXXXX
青木一郎
岸本陽子
04/15(金) 10:00
+XXXXXXXXXXX

相手の電話番号が電話帳に登録されている場合には、名前が表示されます。☛P103

No.：カスタム発信で発番号通知を設定した音声電話／テレビ電話の発信

No.：カスタム発信で発番号非通知を設定した音声電話／テレビ電話の発信

選択されている相手への発信日時、電話番号が表示されます。相手の画像が電話帳に設定されている場合は、画像も表示されます。

[アイコン]：テレビ電話の発信

[アイコン]：国際電話の発信

※：2001 年 1 月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

つづく

■ リダイヤルの一覧から電話帳に登録するとき

① 登録するリダイヤルにカーソルを合わせて Menu 1 を押す

・登録済みの電話帳データに追加するときは、Menu 2 を押して 1 または 2 を押し、登録先の電話帳データを選択します。☛P116

② 1 または 2 を押し、名前やメールアドレスなどを登録する ☛P104

■ リダイヤルの一覧からショートメッセージ（SMS）を作成するとき

① 宛先にするリダイヤルにカーソルを合わせて ✉ を 1 秒以上押す

リダイヤルの電話番号を宛先にしたショートメッセージ（SMS）の作成画面が表示されます。

・✉ を押すと、リダイヤルの電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、1 件目のメールアドレスが宛先に設定された i モードメールの作成画面が表示されます。それ以外の場合は、リダイヤルの電話番号が宛先に設定された i モードメールの作成画面が表示されます。

■ 着信履歴の一覧に切り替えるとき

① 📖 を押す

・📖 を押すたびにリダイヤル／着信履歴の一覧画面が切り替わります。

2 ☎ を押す

音声電話がかかります。

・テレビ電話をかけるときは 📹 を押します。

・◉ を押すと、選択しているリダイヤルと同じ発信方法（リダイヤルが音声電話ならば音声電話、テレビ電話ならばテレビ電話）で電話をかけます。

おしらせ

● プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要になります。

● ダイヤル発信制限や PIM ロックを設定するとそれまでに記録されていたリダイヤルは削除されます。ダイヤル発信制限や PIM ロック設定後に電話をかけた場合はリダイヤルに記録され、リダイヤルから発信できます。

● 電話番号の通知／非通知を切り替えて電話をかける ☛P56

● プレフィックス設定で登録されている番号を付けてから電話をかける ☛P56、P58

リダイヤルを削除する

1 待受画面で ◎ を押す

2 削除するリダイヤルにカーソルを合わせて Menu 4 1 を押す

・リダイヤルを全件削除するときは Menu 4 2 を押します。

3 「はい」を選択する

1 回の通話ごとに電話番号を通知するかしないかを設定する

電話をかけたとき、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号（発信者番号）を表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 自分の電話番号を相手に通知／非通知にするには、次のような方法があります。

あらかじめ一括して設定	電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。	P47
電話帳データに設定	電話帳データごとに、発信者番号の通知／非通知を設定します。	P121
ダイヤルするときに設定	実際に電話をかけるときに、発信者番号の通知／非通知を設定します。	P55、P56

「186（*31#)」／「184（#31#)」を付けてダイヤルする

実際に電話をかけるときに、電話番号の先頭に特定の番号を付加する方法です。

■ 発信者番号を通知するとき

「1 8 6 ＋相手の電話番号＋ 発信」または「* 3 1 # ＋相手の電話番号＋ 発信」

- テレビ電話をかけるときは、「1 8 6（または * 3 1 #）＋相手の電話番号＋ テレビ電話」を押します。

■ 発信者番号を通知しないとき

「1 8 4 ＋相手の電話番号＋ 発信」または「# 3 1 # ＋相手の電話番号＋ 発信」

- テレビ電話をかけるときは、「1 8 4（または # 3 1 #）＋相手の電話番号＋ テレビ電話」を押します。

おしらせ

- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
- 以下の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次のような順位（① → ③）で番号通知動作が行われます。
  ① 発信時にサブメニューのカスタム発信から番号通知方法を選択した場合
  ② 相手の電話番号の前に「186（*31#)」／「184（#31#)」を付けた場合
  ③ 発信者番号通知の設定をした場合
  また、上記の番号通知方法を同時に設定・操作すると、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。
- 国際電話では「186（*31#)」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 相手の電話番号に「186（*31#)」／「184（#31#)」を付けて発信した場合、「186（*31#)」／「184（#31#)」がリダイヤルに記録されます。

条件を設定して電話をかける

音声電話／テレビ電話をかけるたびに、発信方法や発信者番号の通知／非通知、発信番号の選択、プレフィックスを付加するかどうかを設定できます。

1 待受画面で電話番号を入力して Menu 3 を押す

- リダイヤルの一覧、着信履歴の一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。
- 電話帳一覧で Menu 5 を押してもカスタム発信ができます。

2 各項目を選択して発信条件を設定する

発信方法：発信方法を音声電話、64K テレビ電話または 32K テレビ電話から選択します。

番号通知：発信者番号の通知／非通知を設定します。「指定なし」を選択すると、発信者番号通知の設定に従って動作します。☛P47

マルチナンバー：☛P474

プレフィックス：電話番号の前に付加する番号（プレフィックス）を選択します。
- お買い上げ時は国際電話用の「009130010」が登録されています。
プレフィックス設定について☛P58

3 Menu を押して「はい」を選択する

設定した内容で音声電話またはテレビ電話がかかります。
- 「発信方法」で 64K テレビ電話または 32K テレビ電話を選択した場合には、「キャラ電選択発信」を選択して、通話中に表示するキャラ電を選択できます。

おしらせ

- 電話帳の電話番号に「186（＊31#)」／「184（#31#)」を付けて登録していても、本機能の番号通知が優先されます。
- FOMA 端末電話帳の詳細（TOP）／詳細（電話）画面、FOMA カード電話帳の詳細画面、自局番号の詳細（電話）画面から操作する場合は Menu を押し、「カスタム発信」を選択します。
- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
- 国際電話では番号通知で「通知」を選択しても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

- 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
- 通話方法

0 0 9 1 3 0 ▶ 0 1 0 ▶国番号▶市外局番▶相手先電話番号▶発信 ※上記の電話番号を FOMA 端末の電話帳に登録できます。 ※市外局番が「0」で始まる場合には「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です）。

- 通話先は世界約 220 の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月の FOMA サービスの通信料金と合わせてご請求します。
- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
  ※ FOMA サービスをご契約のお客様は、ご契約時に併せて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  ※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

• 海外の特定 3G 携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。 ※ 接続可能な国及び通信事業者等の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。 ※ 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA 端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

簡単な方法で「WORLD CALL」を利用する<国際ダイヤル自動付加設定>

お買い上げ時　自動付加

国際ダイヤル自動付加設定を「自動付加」に設定すると、「+」の後に国番号からの電話番号を入力することで国際電話用の「009130010」を自動的に付けて国際ダイヤルを簡単にかけることができます。
- 「+」の後に日本の国番号「81」を先頭に付けて発信した場合は、国際ダイヤル自動付加設定が「自動付加」に設定していても、国際電話用の「009130010」は付加されません。

1 **待受画面で Menu 8 7 6 を押す**

2 **1 を押す**

■ **国際ダイヤル自動付加設定を解除するとき**
① **2 を押す**

■ 国際ダイヤル自動付加設定を利用して国際電話をかけるとき
① 国際ダイヤル自動付加設定を「自動付加」に設定する
② 国番号の前に「＋」を入力して電話番号を入力する
• [0] を 1 秒以上押すと、「＋」が入力されます。
③ [発信] を押す

「WORLD CALL」以外の番号を設定する＜プレフィックス設定＞

お買い上げ時　009130010

電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ登録しておくと、電話番号を入力した後でも、簡単にプレフィックスを付加して国際電話をかけることができます。
• お買い上げ時は、国際電話用の「009130010」が登録されています。「009130010」は、他のプレフィックスに変更もできます。

1 待受画面で [Menu][8][7][5] を押す

2 プレフィックス欄を選択し、番号を入力する
• 最大 3 件、1 件につき最大 10 桁入力できます。
• 電話番号にはポーズ、タイマーを含めないでください。ポーズ、タイマーを含めてプレフィックスを設定すると、そのプレフィックスを付加して電話をかけることはできません。

3 [📖] を押す
■ プレフィックスを選択して国際電話をかけるとき
① 待受画面で国番号を含めた電話番号を入力する
② [Menu][3] を押し、プレフィックス欄を選択する
③ 利用するプレフィックス番号を選択する

カスタム発信
XXXXXXXXXX
発信方法 音声電話
番号通知 指定なし
マルチナンバー 指定なし
プレフィックス 1 指定なし
2 009130010

④ [Menu] を押して「はい」を選択する

電話のかけかた／受けかた

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時　ON

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すように設定します。

・映像配信サービス「M-stage V ライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 待受画面で Menu 8 7 7 を押す

2 1 押す

■ サブアドレス設定を解除するとき

① 2 を押す

サブアドレスを指定して電話をかける

電話番号の後に、＊ を押して「＊」（サブアドレスの区切り）とサブアドレスを入力して、音声電話のときには ☎ を、テレビ電話のときには ◙ を押します。ただし、相手の電話機や通信機器にサブアドレスが設定されている必要があります。

おしらせ

● サブアドレス設定を「ON」に設定していても、電話番号の先頭に「＊」を入力した場合やプレフィックスで付加した番号内に「＊」がある場合は、「＊」以降の番号はサブアドレスとして認識されず、「＊」を含んだ番号として発信されます。

● サブアドレス設定を「ON」に設定していても、ポーズやタイマーを入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号 (DTMF) として送信されます。

再接続アラーム設定

途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する

お買い上げ時　アラーム高音

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話やテレビ電話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。

・電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。

・利用状態や電波状態により、再接続が可能な時間は異なります。目安は最長 10 秒間です。

・再接続されるまでの時間（最長 10 秒間）も通話料金がかかります。

・利用状態や電波状態により、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

1 待受画面で Menu 8 7 2 を押す

2 1 ～ 3 を押す

ノイズキャンセラ設定

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

お買い上げ時　ON

通話中の周囲の騒音を抑える機能（ノイズキャンセラ）を備えています。ノイズキャンセラを設定すると、通話時に明瞭な声を相手に送ることができます。また、相手の声も明瞭に聞こえるように調整します。

• 通常は、「ON」に設定した状態でのご使用をおすすめします。

1　待受画面で Menu 8 7 1 を押す

2　1 を押す

■ ノイズキャンセラ設定を解除するには

① 2 を押す

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す

あらかじめ市販のハンズフリー機器（カーナビなど）と FOMA 端末を FOMA USB 接続ケーブル（別売）で接続しておくと、運転中にハンズフリー機器を利用して手を使わずに電話をかけたり、受けたりできます。
ハンズフリー機器の操作については、各ハンズフリー機器の取扱説明書をご覧ください。
※この機能は、対応機器がリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。

おしらせ

● 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA 端末の設定に従います。
ただし、ハンズフリー機器から音を鳴らす設定にしている場合、ハンズフリー機器の接続中は、FOMA 端末でマナーモード設定中や音の設定を「OFF」に設定していても、電話の着信時にはハンズフリー機器から着信音が鳴ります。
● ドライブモード設定中の着信動作は、FOMA 端末の設定に従います。☛P74
● ハンズフリー機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー機器からの通信速度設定に従います。設定されていない場合は、64K 固定でテレビ電話を発信します。
● ハンズフリー機器からテレビ電話をかけた／受けた場合、相手には代替画像が送信されます。☛P91
● ハンズフリー機器に接続中に FOMA 端末から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中に FOMA 端末を閉じると通話中クローズ設定の設定に従って動作します。ハンズフリー機器から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中クローズ設定の設定に関わらず FOMA 端末を閉じても通話は継続されます。
● 伝言メモ設定中は、ハンズフリー機器と接続中でも伝言メモの設定に従い動作します。☛P76
● ハンズフリー機器から着信音量や受話音量の調整はできません。
※ 2004 年 12 月現在、対応機器はリリースされておりません。

電話を受ける

ここでは、音声電話の受けかたと、テレビ電話と共通の操作を説明します。

- 音声着信の場合、[通話] 以外に [0] ～ [9]、[*]、[#] を押しても電話を受けることができます（エニーキーアンサー）。☛P63

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ディスプレイのバックライトが点灯し、マルチイルミネーションランプが点滅します。

- [PWR] を押すと応答保留の状態になります。☛P71

2 [通話] を押す

通話中
03XXXXXXXX
08秒

お話しください。通話時間が表示されます。

- [保留] を押すと通話中保留の状態になります。☛P51
- [通話] または [メール] を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えることができます。☛P51
- FOMA 端末を開いても電話を受けられます。☛P64

3 通話が終わったら [PWR] を押す

- FOMA 端末を閉じても電話を切ることができます。閉じて電話を切るようにするには、「通話中クローズ設定」で設定を変更します。☛P64

ディスプレイの表示について

着信中の相手からの発信状況や FOMA 端末の設定に従って、電話番号や名前、静止画／動画などがディスプレイに表示されます。名前や電話番号を表示しないようにしたり、名前の大きさを変更したりできます。☛P143

■ 相手の電話番号が通知されたとき

着信中
03XXXXXXXX

相手の電話番号が電話帳に登録されていない場合は、ディスプレイには相手の電話番号と電話発着信画像設定で設定した画像が表示されます。
音の設定の電話／テレビ電話に「着モーション」を設定している場合は、着モーションの映像が再生されます。☛P128
ただし、着モーションが音声のみ（歌手の歌声など映像のない i モーション）の場合は、お買い上げ時の着信画像が表示されますが、電話発着信画像設定で画像を変更できます。

着信中
青木一郎
090XXXXXXXX

相手の電話番号が電話帳に登録されている場合には、ディスプレイに名前や電話帳に設定している静止画／動画が表示されます。☛P103
各着信音の設定に「着モーション」を設定している場合は、「1. 電話帳（メモリ番号）→ 2. 電話帳（グループ）→ 3. 音の設定の電話／テレビ電話」の優先順位で設定した着モーションの映像が再生されます。着モーションや電話帳の画像を設定していない場合は、電話発着信画像設定で設定した画像が表示されます。

電話のかけかた／受けかた

つづく

■ 相手の電話番号が通知されなかったとき

着信中
非通知設定

発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知理由	理　由
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります）

音声電話がかかってきた場合は、発番号なし動作設定で設定した着信動作やイメージ表示が優先されます。
テレビ電話がかかってきた場合は、着信画像はテレビ電話発着信設定に従って動作します。

着信中の操作について

・音声電話がかかってきたとき、着信音が鳴っている間にサブメニューから次の操作ができます。通話中着信動作選択で「通常着信」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときも同様に操作できます。

サブメニュー	説　明
1 **留守番電話**※1	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターへ転送します。
2 **着信拒否**	電話が切れます（相手側に通話料金はかかりません）。
3 **転送でんわ**※2	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。

※1：留守番電話サービスをご契約いただき、音声電話がかかってきた場合のみ有効です。
※2：転送でんわサービスをご契約いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

・[カメラ/クリア]を1秒以上押して伝言メモで応対することもできます（クイック伝言メモ）。☛P76
・着信音量を調整したり、バイブレータの動作を止めたりできます。☛P68

お話し中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作が可能です。

ご契約の内容	動　作	参照先
留守番電話サービス	留守番電話サービスセンターへ転送します。	P465
キャッチホン	通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答します。	P467
転送でんわサービス	転送登録先へ転送します。	P468

・留守番電話サービス、転送でんわサービスの場合、通話中着信設定を「開始」に設定し、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定した場合に限り、上記の各動作が選択できます。☛P473、P474

おしらせ

- 電話帳に登録されていない相手からの着信に対して、着信を拒否したり、着信音やバイブレータなどでの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。☛P169、P170
- 電話帳に登録されている相手に対して着信拒否を設定しておくことにより、その相手からの着信を拒否できます。☛P166
- ビル電話・PBX など、ダイヤル市外通話のできない電話機からの電話は、FOMA 端末へもかけられません。
- 音声電話通話中にパケット着信があった場合には、優先通信モード設定に従った着信画面が表示されます。☛P70
- 2 つの通信機能を同時に利用できます。☛P422、P546
- 転送された他の FOMA 端末からの電話を着信した場合は、着信中画面の左下に転送元の電話番号が表示されます。転送元の電話番号が電話帳に登録されていても、名前は表示されません。転送元によっては、転送元の電話番号が表示されないことがあります。
- 電話帳データの電話着信音や音の設定の電話／テレビ電話に動画／ｉモーションが設定されている場合は、画像選択の設定に関わらず、着信音に設定された動画／ｉモーション（映像と音声）が再生されます（着モーション)。ただし、着信音に設定した動画／ｉモーションが音声のみ（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合には、着信中はディスプレイに発着信画像設定で設定した画像が表示されます。
- 電話帳や電話発着信設定などで電話着信時にｉモーションを再生するように設定していても、通話中に電話の着信があった場合はｉモーションは再生されず、最初のコマが表示されます。
- ソフトウェア更新中に音声電話の着信があった場合、着信音に動画／ｉモーションを設定していても再生されません。
- 音の設定でｉモーションを設定している場合、ｉモーションの削除や保存を行っているときに電話の着信があると、設定に関わらず着信音が「パターン 1」になることがあります。メロディや発着信画像を設定している場合も、メロディや画像の移動、削除や保存を行っているときに電話の着信があると、「パターン 1」、「標準画像」になることがあります。
- 国際電話がかかってきた場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。
- スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使って電話をかけることができます。☛P456

エニーキーアンサー設定

ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時　ON

電話がかかってきたとき、[電話]以外に[0]～[9]、[*]、[#]を押して電話に出られるようにします。

・エニーキーアンサーは音声電話にのみ有効です。ただし、通話中着信時は無効です。

1 待受画面で[Menu][8][6][8]を押す

2 [1]を押す

■ **エニーキーアンサー設定を解除するとき**

① [2]を押す

着信中オープン応答

FOMA 端末を開いて通話を開始するように設定する

お買い上げ時　OFF

着信中に FOMA 端末を開くだけで、音声電話を受けられるように設定します。
・本機能は音声電話にのみ有効です。

1 待受画面で Menu 8 7 9 を押す

2 1 を押す

■ 着信中オープン応答を解除するとき
① 2 を押す

おしらせ
● サブメニュー表示中や、マルチタスク中で着信画面以外を表示しているときに FOMA 端末を開いても、本機能は動作しません。

通話中クローズ設定

FOMA 端末を閉じて通話を終了／保留するように設定する

お買い上げ時　通話継続

FOMA 端末を閉じて、音声通話／テレビ電話通話を終了、継続、保留するように設定します。
・64K データ通信中、パケット通信中は、本機能は動作しません。

1 待受画面で Menu 8 7 8 を押す

2 1 ～ 3 を押す

通話中クローズ設定
1 切断
2 通話継続
3 通話保留

おしらせ
●「通話継続」に設定している場合、音声通話中／テレビ電話通話中に FOMA 端末を閉じても、通話が継続されます。テレビ電話通話中の場合は、そのままの画像で通話を継続できます。
●「切断」に設定している場合、保留中に FOMA 端末を閉じると通話が終了します。
● 通話中画面以外の画面表示中（サブメニュー表示中やマルチタスク中など）は、FOMA 端末を閉じても、通話中クローズ設定 (「切断」、「通話継続」、「通話保留」) に関わらず、通話を継続します。
● スイッチ付イヤホンマイク（別売）や市販のハンズフリー機器を接続して通話中に FOMA 端末を閉じた場合、接続中の機器から音を鳴らすように設定しているときは、通話中クローズ設定の設定にかかわらず通話を継続できます。

着信履歴を利用する

かかってきた電話に応答した履歴や、電話に出られなかったとき（不在着信）の履歴を記録しておく機能です。伝言メモに録音されたときも記録されます。

- 着信履歴は最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- FOMA端末で日付・時刻設定がされていない場合は、着信履歴には日時が記録されません。

着信履歴を表示する

1 待受画面で◎を押し、着信履歴の一覧で目的の着信履歴にカーソルを合わせる

電話番号または発信者番号非通知理由が表示されます。☛P62
相手の電話番号が電話帳に登録されている場合には、名前が表示されます。☛P103

選択されている相手の着信日時、電話番号が表示されます。不在着信の場合は呼出時間も表示されます。相手の画像が電話帳に設定されている場合は、画像も表示されます。

- ：テレビ電話の着信／：64Kデータ通信の着信
- ：国際電話の着信
- ：不在着信（未確認）
- ：不在着信（確認済み）
- ：伝言メモあり
- ：伝言メモ削除済み

■ 着信履歴の一覧から電話帳に登録するとき

① 登録する着信履歴にカーソルを合わせて Menu 1 を押す

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、Menu 2 を押します。

② 1 または 2 を押し、名前やメールアドレスなどを登録する ☛P104

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、1 または 2 を押し、登録先の電話帳データを選択します。☛P116

■ 着信履歴の一覧からショートメッセージ（SMS）を作成するとき

① 宛先にする着信履歴にカーソルを合わせて ✉ を1秒以上押す

着信履歴の電話番号を宛先にしたショートメッセージ（SMS）の作成画面が表示されます。

- 発信者番号非通知の着信履歴にカーソルを合わせた場合は、✉ を1秒以上押すと宛先が設定されていないショートメッセージ（SMS）の作成画面が表示されます。
- ✉ を押すと、着信履歴の電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、1件目のメールアドレスが宛先に設定されたｉモードメールの作成画面が表示されます。それ以外の場合は、着信履歴の電話番号が宛先に設定されたｉモードメールの作成画面が表示されます。
  発信者番号非通知の着信履歴にカーソルを合わせた場合は、✉ を押すと宛先が設定されていないｉモードメールの作成画面が表示されます。

■ リダイヤルの一覧に切り替えるとき

① 📖 を押す

- 📖 を押すたびに着信履歴／リダイヤルの一覧画面が切り替わります。

着信履歴から電話をかける

① **着信履歴の一覧で目的の着信履歴にカーソルを合わせて または を押す**
- を押すと、選択している着信履歴の着信方法（音声電話／テレビ電話）と同じ方法で電話をかけられます。
- 電話番号の通知／非通知を切り替えて電話をかける☛P56
- プレフィックス設定で登録されている番号を付けてから電話をかける☛P56、P58

かかってきた電話に出られなかったとき（不在着信）

かかってきた電話に出られなかったときは、待受画面は不在着信件数を示すマーク（ 1）が表示されます。
- イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、着信履歴を表示するまでの間はマルチイルミネーションランプが点滅します。
- 待受画面のマークを選択して着信日時などをすばやく確認できます。☛P35
- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

おしらせ

● 着信呼出動作設定を「ON」に設定時、時間内不在着信表示を「表示しない」にしているときは、呼出開始時間内の不在着信は表示されません。☛P169
該当する不在着信を表示する場合は着信履歴の一覧で Menu 5 3 を押します。通常の着信履歴に戻す場合は着信履歴の一覧で Menu 5 2 を押します。すべての着信履歴を表示する場合は着信履歴の一覧で Menu 5 1 を押します。

● 呼出開始時間内の不在着信のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面で を押すと、表示されていない着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、呼出開始時間内履歴が表示されます。

● 会社などでダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。

● プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要になります。

● ダイヤル発信制限や PIM ロックを設定すると、それまでに記録されていた着信履歴は削除されます。ダイヤル発信制限や PIM ロック設定後に受けた電話は着信履歴に記録され、PIM ロック中の場合は着信履歴から発信できます。

● メモリ登録外着信拒否を設定しているときは、電話帳に登録されていない相手からの着信は拒否され、着信履歴に記録されます。

着信履歴を削除する＜着信履歴削除＞

1 待受画面で を押す

2 削除する着信履歴にカーソルを合わせて Menu 4 1 を押す
- 着信履歴を全件削除するときは Menu 4 2 を押します。呼出開始時間内履歴も含めたすべての着信履歴が削除されます。☛P169

3 「はい」を選択する

受話音量調整

相手の声の音量を調整する

お買い上げ時　レベル 4

- レベル 1（最小）～レベル 6（最大）の 6 段階で調整できます。
- キー確認音、伝言メモ・音声メモの再生音の音量も連動します。
- 通話中に変更された音量は、通話終了後も保持されます。
- 受話音量は電源を切っても保持されます。

通話中に調整する

1 通話中に ◎ を押して音量を調整する

◎ を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。

- 音量を大きくするには ◎ または ◎ を押します。また、音量を小さくするには ◎ または ◎ を押します。
- テレビ電話通話中の音量調整は Menu 9 を押します。

待受中に調整する

1 待受画面で Menu 8 1 3 を押す

2 ◎ を押して音量を調整する

3 ◎ を押す

着信音の音量を調整する

お買い上げ時　レベル 4

電話やメール、メッセージ R/F の着信音の音量を調整します。

- 消音、レベル 1 ～レベル 6 の 7 段階で調整できます。待受中はステップトーン（3 秒ごとに消音→レベル 1 →…→レベル 6 で着信音が鳴る）も設定できます。
- 電話着信中に変更された着信音量は、通話を終了すると電話着信音量調整の設定に戻ります。
- 待受中に変更された着信音量調整設定は、電源を切っても保持されます。

着信中に調整する

例 電話着信音量を調整するとき

1 着信中に を押して音量を調整する

電話着信音量調整

レベル5

を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。

おしらせ

- 着信中に を押すと、着信音が消音になり、バイブレータの動作が止まります。
- 着信音をステップトーンに設定している場合、着信中に調整を行うと、レベル 6 からの変更になります。

待受中に調整する

例 電話着信音量を調整するとき

1 待受画面で Menu 8 1 2 1 を押す

■ **メール着信音量を調整するには**

① **待受画面で Menu 8 1 2 2 を押す**

2 を押して音量を調整する

- レベル6のときに、 または を押すと、ステップトーンになります。また、レベル1のときに、 または を押すと、消音になります。

3 を押す

おしらせ

● 電話の着信音を消音に設定した場合は、待受画面に[icon]が表示されます。また、同時に音声電話のバイブレータを設定した場合は、[icon]が表示されます。
● 着信音を消音に設定しても、電話がかかってきたときやメールを受信したときに、ディスプレイのメッセージ表示の他にバイブレータの振動やマルチイルミネーションランプの点滅でお知らせするように設定できます。☛P131、P146
● スケジュールアラームの音量も連動します。

電話発着信設定

電話発着信時の動作を設定する

お買い上げ時　着信音：メロディ／パターン１　人物画像表示：ON　イメージ表示：標準画像
バイブレータ：OFF　イルミネーション：パターン４

・本機能の設定は、音の設定の電話着信音、イルミネーション設定の音声着信イルミネーションパターン、バイブレータ設定の電話バイブレータ、電話発着信画像設定の人物画像表示およびイメージ表示にも反映されます。

1 待受画面で [Menu] [8] [6] [1] を押す

2 各項目を選択して設定する

着信音：電話がかかってきたときの着信音を設定します。
・「OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
・「メロディ」を選択したときは、着信音欄を選択してメロディを選択します。
・「着モーション」を選択したときは、着信音欄を選択して動画／ｉモーションを選択します。

人物画像表示：電話帳に登録されている相手から電話がかかってきたときに、画像を表示するかどうかを設定します。
・電話帳グループ設定の発着信画像の設定には反映されません。

イメージ表示：電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
・「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を設定します。
・「[icon]モーション」を選択したときは、「画像選択」を選択して動画／ｉモーションを選択します。

バイブレータ：音声電話がかかってきたときの振動を設定します。

イルミネーション：マルチイルミネーションランプの点滅パターンを設定します。

3 [📖] を押す

つづく

おしらせ

- 着信音の「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になり、着モーションが再生されます。このとき、発信画像は「標準画像」に設定されます。
- 着信音の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定すると、イメージ表示に Flash 画像または動画／ｉモーションが設定されていた場合、イメージ表示は「標準画像」に切り替わりますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像を変更できます。
- 音声と映像のある動画／ｉモーションを着信音に、発着信画像を「着信音連動」に設定しているときに着信音を「OFF」に設定し直すと、着モーションは再生されますが着信音量は消音になります。
- 電話帳に画像が登録されていない場合は、人物画像表示の設定に関わらずイメージ表示欄で設定した画像が表示されます。ただし、グループ設定で画像を設定している場合は、設定した画像が表示されます。

優先通信モード設定

通話中やパケット通信中の着信時に優先して表示する画面を設定する

お買い上げ時　設定なし

音声電話通話中にパケット通信の着信があったとき、またはパケット通信中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。

・本設定により画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。

1 待受画面で Menu 8 6 9 を押す

2 1 ～ 3 を押す

優先通信モード設定
1 設定なし
2 音声通話表示優先
3 ﾊﾟｹｯﾄ通信表示優先

- 表示の優先を決めずに後から着信した方の画面を表示するときは 1 を押します。
- 2 を押すと音声電話通話中の画面を、3 を押すとパケット着信中の画面を優先して表示します。

表示される画面について

優先通信モードの設定内容によって、画面の表示は次のようになります。

・音声電話通話中

設定内容	ｉモード以外のパケット着信時
設定なし	音声電話通話中の画面
音声通話表示優先	音声電話通話中の画面
パケット通信表示優先	パケット着信中の画面

※電話着信時に表示される画面は、通話中着信動作選択の設定に従って動作します。☛P473

※ｉモード以外のパケット着信にはｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fの受信は含まれません。

• パケット通信中

設定内容	電話着信時
設定なし	音声電話通話中の画面
音声通話表示優先	音声電話通話中の画面
パケット通信表示優先	i モード中の画面

※i モード中に i モード以外のパケット着信は受けられません。☛P546

応答保留

すぐに電話に出られないとき保留にする

• 応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に [PWR] を押す

応答保留になります。相手には応答保留ガイダンスが流れます。
テレビ電話がかかってきたときは、自分と相手にはテレビ電話応答保留画像が送信されます。

音声電話応答保留中

テレビ電話応答保留中

2 電話に出られる状態になったら [発信] を押す

• 音声電話の場合は、FOMA 端末を開いても電話に出られます。☛P64
• テレビ電話の場合は [テレビ電話] を押します。[テレビ電話] の代わりに [発信] を押すと、相手には代替画像が送信されます。☛P91
• 応答保留中に [PWR] を押すか、相手が電話を切ると、通話は切れます。

おしらせ

● 留守番電話サービスや転送でんわサービスをご利用の場合は、着信中にサブメニュー「留守番電話」または「転送でんわ」を選択すると、留守番電話への切り替えや電話の転送ができます。
● テレビ電話応答保留画像は変更できます。☛P92

応答保留ガイダンスを設定する

お買い上げ時　保留音：内蔵音

自分の声を応答保留ガイダンスとして録音することもできます。
- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
- 音声電話、テレビ電話とも、応答保留中はここで設定したガイダンスが流れます。

例 録音データをガイダンスに設定するとき

1 待受画面で Menu 8 6 7 を押す

2 保留音欄を選択して 2 を押す

- お買い上げ時のガイダンスに戻すときは 1 を押し、操作4に進みます。

3 ガイダンスの編集欄の「録音」を選択して発信音の後に応答保留ガイダンスを話す

応答保留ガイダンス録音中

録音できる残り時間の目安が表示されます。

応答保留ガイダンス設定
保留音　録音データ
ガイダンスの編集　再生
録音
削除

メッセージが表示された後、録音が開始されます。
- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- ガイダンスの録音を途中で停止するときは ◉ を押します。
- 既に録音データを登録してあるときは「録音」は選択できません。「削除」を選択し、「はい」を選択して録音データを削除してから録音を行ってください。
- 録音した応答保留ガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

4 📖 を押す

おしらせ

- 保留音を「内蔵音」に設定すると、応答保留時に相手に「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
- 録音した応答保留ガイダンスを削除すると、お買上げ時の応答保留ガイダンスに戻ります。

通話保留音を設定する

お買い上げ時　内蔵音（保留音・ボイス）

• FOMA 端末にあらかじめ登録されているメロディだけでなく、ｉモードのサイトやメールから保存したメロディを設定することもできます。
• 音声電話、テレビ電話とも、通話保留中はここで設定したメロディが流れます。

1 待受画面で Menu 8 7 3 を押す

2 保留音欄を選択して 1 を押す

• お買い上げ時のメロディに戻すときは 2 を押し、操作 4 に進みます。

3 保留音メロディを設定する

① **保留音メロディ欄を選択する**
「メロディ」のフォルダ一覧が表示されます。
② **フォルダを選択し、一覧からメロディを選択する**
メロディが設定され、通話保留音設定画面に戻ります。
• メロディを選択して [m] を押すとメロディが再生されます。再生中は ◀▶ を押して音量調整、▲▼ を押して前後のメロディの再生ができます。● を押すと設定されます。

4 [m] を押す

おしらせ

● 通話保留時に流れる保留音の音量は変更できません。
● 保留音を変更後に PIM ロックを設定すると、保留メロディにメロディの「プリインストール」フォルダ内のメロディを設定した場合を除き、内蔵音が再生されます。

ドライブモード

運転中に電話を受けないようにする

ドライブモードは、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。ドライブモードに設定すると、運転中のために電話に出られないことを伝えるガイダンスが相手に流れ、通話を終了します。

- ドライブモード中は、電話の着信やメール・メッセージR/Fの受信、スケジュールやアラームの起動などがあっても、着信音、スケジュールアラーム、アラームなどは鳴らず、バイブレータやマルチイルミネーションランプも動作しません。また、ドライブモード中にメールやメッセージR/Fを受信しても、受信中画面や受信結果画面は表示されません。
- 電源が入っていないときや圏外にいるときは、相手には圏外時のガイダンスが流れ、ドライブモードのガイダンスは流れません。
- ドライブモード中でも、次の音は鳴ります。
  - ・キー確認音
  - ・FOMA 端末開閉時のスライドオープン／スライドクローズの効果音
  - ・カメラ撮影時の撮影確認音（シャッター音）
- 圏外 が表示されているときでも、ドライブモードの設定や解除ができます。
- ドライブモードはお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
- 詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

ドライブモードを起動する

1 待受画面で ＊ を 1 秒以上押す

ドライブモード
を設定しました

- ドライブモード中は待受画面に が表示されます。

■ **ドライブモードを解除するとき**

① **ドライブモード中に ＊ を 1 秒以上押す**

ドライブモードが解除され、待受画面から が消えます。

おしらせ

● 待受中にドライブモードを設定していて電話がかかってきたときは、次のように動作します。
- 音声電話をかけてきた相手の端末にドライブモードのガイダンスが流れ、切断されます。お客様のFOMA 端末は着信動作を行いません。待受画面には不在着信件数を示すマーク（ 1）が表示され、着信履歴に記録されます。
- テレビ電話をかけてきた相手の端末に、運転中のため電話に出られない旨のメッセージが表示され、切断されます。お客様の FOMA 端末は着信動作を行わず、待受画面には不在着信件数を示すマーク（ 1）が表示され、着信履歴に記録されます。

● ドライブモードを設定していても、電話をかけられます。

● マナーモードを同時に設定しているときは、ドライブモードの設定が優先されます。

● ドライブモード中の着信と、各ネットワークサービスの関係は次のとおりです。
ネットワークサービス☛P464

サービス名	動　作
留守番電話サービス	• 音声電話をかけてきた相手の端末にはドライブモードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。お客様の FOMA 端末は着信動作を行いません。 待受画面には不在着信件数を示すマーク（ 1）が表示され、着信履歴に記録されます。ただし、留守番電話サービスの呼出時間を「0 秒」に設定した場合、相手の端末にはドライブモードのガイダンスは流れず、留守番電話サービスセンターに接続する旨のガイダンスが流れます。お客様の FOMA 端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 • テレビ電話の場合、相手の端末に運転中のため電話に出られない旨のメッセージが表示され、お客様の FOMA 端末には接続されません。
転送でんわサービス	• 音声電話をかけてきた相手の端末にはドライブモードのガイダンスが流れた後、指定した転送先に転送されます。お客様の FOMA 端末は着信動作を行わず、待受画面には不在着信件数を示すマーク（ 1）が表示され、着信履歴に記録されます。 ただし、転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定した場合、相手の端末にはドライブモードのガイダンスは流れずに指定した転送先に転送されます。お客様の FOMA 端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 • テレビ電話の場合、相手の端末にはドライブモードのガイダンスは流れずに指定した転送先に転送されます。お客様の FOMA 端末は着信動作を行わず、待受画面には不在着信件数を示すマーク（ 1）が表示され、着信履歴に記録されます。ただし、転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定した場合、着信履歴には記録されません。
キャッチホン	• 音声電話通話中の場合、音声電話をかけてきた相手の端末にはドライブモードのガイダンスが流れます。音声電話やテレビ電話通話中の場合、テレビ電話をかけてきた相手の端末に接続できなかった旨のメッセージが表示されます。テレビ電話通話中の場合、音声電話をかけてきた相手の端末には話中音が流れます。いずれの場合もお客様の FOMA 端末は着信動作を行わず、待受画面には不在着信件数を示すマーク（ 1）が表示され、着信履歴に記録されます。
迷惑電話ストップサービス	• 音声電話をかけてきた相手が着信拒否に登録されている場合、相手の端末には着信拒否ガイダンスが流れます。お客様の FOMA 端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 • テレビ電話の場合、相手の端末に接続できなかった旨のメッセージが表示され、お客様の FOMA 端末には接続されません。
番号通知お願いサービス	• 音声電話をかけてきた相手が電話番号を通知していない場合、相手の端末には番号通知お願いガイダンスが流れます。お客様の FOMA 端末は着信動作を行わず、着信履歴にも記録されません。 • テレビ電話の場合、相手の端末に接続できなかった旨のメッセージが表示され、お客様の FOMA 端末には接続されません。

● ドライブモードを設定していても、遠隔ロックで発信元に設定している電話番号から着信があると、着信回数としてカウントされ、遠隔ロックを起動できます。

● データ通信中は本機能を設定できません。

● ドライブモードを設定時、ｉ モード中に着信すると、着信は拒否され、着信履歴に記録されます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご契約されている場合は、それぞれの着信動作になります。

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが再生され、相手の用件が録音されます。

- 音声電話・テレビ電話合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音できます。
- 録音日時や電話番号なども記録されます。ただし、FOMA 端末で日付・時刻が設定されていない場合や電話番号が通知されていない場合などは、録音日時や電話番号は記録されません。
- テレビ電話に伝言メモで応答した場合、音声電話と同様に音声のみ録音され、画像は録画されません。
- 電話がかかってきてから応答ガイダンスを再生するまでの時間を変更できます。☛P77
- 自分の声で応答ガイダンスを作成できます。☛P78
- 伝言メモの内容は、手帳などに別にメモをお取りくださるようお願いします。
  FOMA 端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

伝言メモを設定する

1 待受画面で [カメラ/クリア] [1] [1] を押す

- 伝言メモ設定中は待受画面に[アイコン]が表示されます。

■ **伝言メモを解除するには**

① **伝言メモ設定中に待受画面で [カメラ/クリア] [1] [2] を押す**

- 待受画面から[アイコン]が消えます。

クイック伝言メモで応対する

伝言メモ機能を開始に設定していなくても、着信中に [カメラ/クリア] を1秒以上押すと伝言メモ機能を1回だけ動作させることができます。この操作は伝言メモ機能を開始に設定する操作ではありません。

おしらせ

- 伝言メモが4件録音されると、待受画面に[アイコン]が表示されます。この場合伝言メモを解除してもアイコンは消えません。
- 伝言メモが既に4件録音されている場合は、伝言メモを設定できません。また、着信中に [カメラ/クリア] を1秒以上押してクイック伝言メモを動作させようとすると、警告音（ピピッ）が鳴り、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービス・転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが作動します。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。☛P79

伝言メモの設定中に電話がかかってくると

伝言メモの設定中に電話がかかってくると、伝言メモは以下の流れで動作します。

1 電話がかかってくる

応答時間の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモガイダンス中画面が表示されます。

- 応答ガイダンスを「内蔵音」に設定しているときは、相手には「ただいま、電話に出ることができません。ピーッという発信音の後にお名前、ご用件をお話しください。」というガイダンスが流れます。応答ガイダンスを「録音データ」に設定しているときは、自分で録音したガイダンスが流れます。

2 相手のメッセージが録音される

伝言メモ録音中
090XXXXXXXX

録音できる残り時間の目安が表示されます。

Voice message
(Voice only)
伝言メモ(音声のみ)

音声電話伝言メモ録音中　　テレビ電話伝言メモ録音中

- 録音の開始時と終了時に相手には「ピーッ」と音が鳴ります。また、録音開始時から約25秒後に、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音が終了すると、電話が切れる

- 内容を確認していない伝言メモがあるときは、待受画面に伝言メモ件数を示すマーク（ 1）が表示されます。 1 を選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。

おしらせ

- 着信中や応答ガイダンス中、伝言メモ録音中に電話を受けることができます。 を押すと通常の音声電話通話またはテレビ電話通話（相手には代替画像を送信）になり、 を押すと自画像を送信してのテレビ電話通話になります。音声電話の場合は、FOMA端末を開いても電話に出られます。☛P64
  このとき、伝言メモ録音中の場合は電話を受けるまでの録音内容は記録されません。
- 圏外 が表示されているときは、伝言メモ機能は動作しません。圏外時に用件を録音したいときは留守番電話サービス（有料）をご利用ください。☛P465
- 伝言メモが既に4件録音されている場合は、伝言メモ機能は動作せず、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービス・転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが作動します。☛P79
- ドライブモード中はドライブモードが優先され、伝言メモ機能は動作しません。
- 電波の状態により、録音内容が途切れる場合があります。
- 伝言メモで応答した場合でも、着信履歴に記録されます。
- 伝言メモ録音中に他の人から電話がかかってきた場合は、着信を拒否して録音を継続します。キャッチホンをご契約の場合、着信履歴に記録されます。
- テレビ電話に伝言メモで応答した場合、相手にはテレビ電話伝言メモ録音中の画像が送信されます。
  テレビ電話伝言メモ録音中の画像は変更できます。☛P92

応答ガイダンスが始まるまでの時間を設定する<伝言メモ応答時間設定>

お買い上げ時　8秒

1 待受画面で [/クリア] [1] [3] を押す

2 応答時間を入力する

- 伝言メモ応答時間を0～120秒の範囲で入力します。
- を押して数字を増減することもできます。

おしらせ

● オート着信機能設定（スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続時）・留守番電話サービス・転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの応答時間をオート着信機能設定・留守番電話サービス・転送でんわサービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されないことがあります。この場合は、クイック伝言メモで応対してください。☛P76

● オート着信機能設定の自動着信機能時間と、伝言メモの応答時間は同じ時間に設定できません。☛P457

応答ガイダンスを設定する<伝言メモ応答ガイダンス設定>

お買い上げ時　伝言メモ応答ガイダンス：内蔵音

自分の声を応答ガイダンスとして録音することもできます。
• ガイダンスは 1 件、約 10 秒間録音できます。

例 録音データをガイダンスに設定するとき

1 待受画面で [カメラ/クリア] [1] [4] を押す

2 伝言メモ応答ガイダンス欄を選択して [2] を押す

• お買い上げ時の応答ガイダンスに戻すときは [1] を押し、操作 4 に進みます。

3 ガイダンスの編集欄の「録音」を選択して発信音の後に応答ガイダンスを話す

伝言ﾒﾓ応答ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ録音中

録音できる残り時間の目安が表示されます。

伝言ﾒﾓ応答ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ設定
伝言ﾒﾓ応答ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ
録音ﾃﾞｰﾀ
ｶﾞｲﾀﾞﾝｽの編集
再生
録音
削除

メッセージが表示された後、録音が開始されます。
• 録音開始から約 10 秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
• ガイダンスの録音を途中で停止するときは [決定] を押します。
• 既に録音データを登録してあるときは「録音」は選択できません。「削除」を選択し、「はい」を選択して録音データを削除してください。
• 録音した応答ガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

4 [メニュー] を押す

おしらせ

● 録音した応答ガイダンスを削除すると、お買い上げ時の応答ガイダンスに戻ります。

伝言メモを再生する

伝言メモ一覧から、録音された伝言メモを再生／削除します。
- 伝言メモがあるときは、待受画面からすばやく伝言メモを再生できます。☛P35

1 待受画面で [カメラ/クリア] [2] を押す

伝言メモ一覧画面では、伝言メモの録音日時と相手の電話番号が表示されます。
- 相手の電話番号が通知されなかったときは発信者番号非通知理由が表示されます。また、電話帳に登録されている相手の場合は名前が表示されます。
- マークの意味は次のとおりです。
  - ：まだ再生していない音声電話伝言メモ
  - ：まだ再生していないテレビ電話伝言メモ
  - ：再生済みの音声電話伝言メモ
  - ：再生済みのテレビ電話伝言メモ

2 再生する伝言メモを選択する

時間経過の目安が表示されます。

伝言メモが再生されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  - ：音量調整
  - ：再生停止

■ 伝言メモを削除するとき

① **削除する伝言メモにカーソルを合わせて [Menu] [2] [1] を押す**
- 伝言メモを全件削除するときは [Menu] [2] [2] を押します。

② **「はい」を選択する**

■ 伝言メモ一覧から電話帳に登録するとき

① **登録する伝言メモにカーソルを合わせて [Menu] [4] を押す**
- 登録済みの電話帳データに追加するときは、[Menu] [5] を押します。

② **[1] または [2] を押し、名前やメールアドレスなどを登録する** ☛P104
- 登録済みの電話帳データに追加するときは、[1] または [2] を押し、登録先の電話帳データを選択します。☛P116

3 再生した伝言メモを削除するかどうかを選択する

- 「はい」を選択すると、伝言メモが削除されます。

おしらせ

- イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、再生していない伝言メモを再生するまでの間はマルチイルミネーションランプが点滅します。
- 伝言メモ一覧で相手にカーソルを合わせて を押すと音声電話、 を押すとテレビ電話をかけることができます。また、サブメニューのカスタム発信から発信者番号通知／非通知を設定して音声電話やテレビ電話をかけたり、通信速度を指定してテレビ電話をかけたりすることもできます。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要になります。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、お互いの画像を見ながら通話できます。また、自分の映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電などを表示できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
　第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。

※2：3G-324M
　第三世代携帯テレビ電話の国際規格。

• テレビ電話の通信速度には、次の2種類があります。
　・64K：通信速度64kbpsで通信をします。
　・32K：通信速度32kbpsで通信をします。

テレビ電話通話中の画面の見かた

①	**親画面**	お買い上げ時は、相手側のカメラ映像を表示
②	**通信速度**	：64K　：32K
③	**テレビ電話の状態**	表示なし：通常の通話中 ：スピーカーホン機能利用中
④	**子画面**	お買い上げ時は、自分側のカメラ映像を表示
⑤	**ズーム**	：標準〜：16倍（アウトカメラ） ：標準〜：2倍（インカメラ）
⑥	**接写モード**	表示なし：通常モード ：接写モード（アウトカメラ）
⑦	**状態**	：自画像送信中　：代替画像送信中 ：キャラ電中　：フレーム送信中 ：静止画送信中　：通話保留中 ：応答保留中　：伝言メモ中 ：音声メモ録音中
	アクションモード	：全体アクション　：パーツアクション
⑧	**撮影効果モード**	：標準　：逆光　：セピア ：モノトーン　：海・雪　：夕焼け
⑨	**コンパクトライト**	表示なし：消灯　：点灯
⑩	**送信画質**	表示なし：標準　：画質優先　：動き優先
⑪	**チャンネル開設状態**	：音声チャンネル開設 ：映像チャンネル開設 ：音声・映像チャンネル開設
⑫	**通話時間**	時：分：秒の形式で表示

テレビ電話をかける

- 相手の顔を見ながらテレビ電話通話をするには、スピーカーホン機能を利用するか、スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続してください。☛P51、P456
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して、国際テレビ電話を利用できます。☛P57
- テレビ電話をかけたときに接続できない旨のメッセージが表示された場合には、発信者番号通知を設定の上、おかけ直しください。

1 待受画面で電話番号を入力する

- 音声電話の入力方法と同じです。☛P50
- 電話番号を入力して Menu 3 を押すと、カスタム発信から通信速度（64K または 32K）を指定してテレビ電話をかけることができます。☛P56

2 を押す

テレビ電話接続中は、自分の画像が表示されます。
- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえ、ディスプレイには「お話中です」または「接続できませんでした」のメッセージが表示されます。 を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。☛P53
- 代替画像にキャラ電が設定されていた場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手の端末には、代替画像設定の標準画像が送信されます。☛P92
- 画面に「テレビ電話接続」と表示された時点から課金が始まります。

3 通話する

画面には、相手の画像が表示されます。
- 通話中保留 (☛P51) にすると、テレビ電話通話中保留画像が送信されます。テレビ電話通話中保留画像は変更できます。☛P92
- 相手の設定により代替画像などが表示される場合があります。
- または を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えることができます。☛P51
- 通話中は を押すたびに相手に送信する画像が「自画像」と「代替画像」とで切り替わります。☛P88

4 通話が終わったら を押す

- FOMA 端末を閉じてもテレビ電話を切ることができます。閉じてテレビ電話を切るようにするには、「通話中クローズ設定」で設定を変更します。☛P64

テレビ電話通話中の操作について

• テレビ電話通話中にサブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 **カメラ切り替え**	インカメラ／アウトカメラを切り替えます。	P93
2 **コンパクトライト ON ／ OFF**	コンパクトライトの点灯／消灯を切り替えます。	P95
3 **テレビ電話カメラ設定**	表示する画像に効果をかけたり、テレビ電話通話中に送信するカメラ画像の明るさや色の濃さなどを設定したり、接写モードに切り替えたりします。	P90、P94
4 **受信画像品質設定**	受信画像の品質を設定します。ただし、相手端末の機能によっては設定が有効にならない場合があります。	P96
5 **テレビ電話動作設定**	通話中に表示する画面の設定を変更します。	P96
6 **キャラ電設定**	キャラ電のキャラクタの変更、全体アクションとパーツアクションの切り替え、アクションの選択をします。また、テレビ電話画像選択の代替画像設定に設定されている静止画を表示できます。	P378
7 **ファイル再生**	相手に送信するフレームや静止画を変更します。	P89、P91
8 **DTMF 送信**	テレビ電話通話中にプッシュ信号（DTMF）を送出します。	P94
9 **受話音量調整**	受話音量を調整します。	P67

• [カメラ/クリア] を 1 秒以上押して通話中音声メモで相手の声を録音することもできます。☛P449

おしらせ

● 操作 2、操作 1 の順に操作してもテレビ電話をかけられます。[テレビ電話] を押して電話番号を入力した後、約 5 秒経過すると自動的にテレビ電話がかかります。

● 他の機能を実行中はテレビ電話をかけることができない場合があります。☛P548

● 代替画像やキャラ電を利用しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になりますのでご注意ください。

● テレビ電話使用中は、音声電話への発信動作はできません。また、「発信できません」とメッセージが表示されます。

● テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージ（文字情報）が表示され、自動的に待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中、またはパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
ドライブモード中です	相手がドライブモードを設定しています。
発信者番号通知を ON にしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます(V ライブやビジュアルネット等への発信時)。
接続できませんでした	発信者番号通知を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。 • 上記以外の場合にも表示されることがあります。

● テレビ電話を転送中の場合は、「転送致しますのでお待ち下さい」というメッセージが表示されます。

● 32K によるテレビ電話は、ネットワーク状況によって 64K でのテレビ電話が利用できない PHS などの機器と接続するためのものです。64K でテレビ電話をかけたときでも相手が 32K エリアなどの通信環境だった場合、自動的に 32K に切り替えて再発信します。音声自動再発信が「ON」に設定されている場合も、32K での再発信が優先されます。
※ 32K で電話接続をした場合でも、64K で接続したデジタル通信料と同一になります。

● テレビ電話をかけてつながらなかった場合、次のように再発信が自動で行われます。

発信方法	音声自動再発信設定	再発信動作
64K	ON	64K→32K→音声
	OFF	64K→32K→切断
32K	ON	32K→音声
	OFF	32K→切断

● テレビ電話の通信速度（64K または 32K）をあらかじめ電話帳に登録しておくと、テレビ電話をかける相手によって通信速度を切り替えることができます。☛P122
● 電話番号入力後にサブメニューのカスタム発信から通信速度を指定して発信した場合は、カスタム発信の指定が有効となります。いずれの指定もされていない場合は 64K で発信します。
● 音声自動再発信を「ON」に設定すると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスで mova サービスを利用中の場合などに、自動的に音声電話に切り替えて再発信するので、相手へのアクセスがより確実になります。
※音声電話で再発信した場合、かかる通話料金は音声通話料になります。
● 音声自動再発信を「ON」に設定中に FOMA 端末から緊急通報（110 番、119 番、118 番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
● テレビ電話通話中は、音声電話やテレビ電話をかけることができません。また、i モード接続や、i モードメール、メッセージ R/F、ショートメッセージ（SMS）の送受信もできません。
● テレビ電話非対応端末にかけた場合や、相手がテレビ電話対応端末でも圏外にいる場合や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話非対応端末にかけた場合で、音声自動再発信の設定を「ON」に設定しているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN 同期 64kbps や PIAFS のアクセスポイント、3G-324M（☛P82）に対応していない ISDN のテレビ電話など（2004 年 12 月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならない場合があります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
● 電話番号の通知／非通知を切り替えてテレビ電話をかけることができます。☛P56
● ポーズやタイマーを入力した場合（☛P52）、ポーズやタイマーの前のダイヤルで発信動作を行い、それ以降のダイヤルは無効となります。
● テレビ電話発信中、再発信中に着信があった場合、発信は中断され、着信音が鳴ることがあります。
● テレビ電話通話中の各種着信について ☛P546
● テレビ電話通話中、音声もしくは映像のいずれかの通信が切れて（音声のみ）または（映像のみ）の表示になった場合でも、そのまま通話が継続される場合があります。
● テレビ電話通話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク表示になることがあります。

テレビ電話を受ける

・ 、 以外のキーを押して電話を受けることはできません。
・テレビ電話着信の場合はエニーキーアンサーは無効です。

1 電話がかかってくる

テレビ電話着信中
青木一郎
090XXXXXXXX

着信音が鳴り、ディスプレイのバックライトが点灯し、マルチイルミネーションランプが点滅します。
・ 相手からの発信状況や FOMA 端末の設定に従って、電話番号や名前、静止画／動画などがディスプレイに表示されます。
ディスプレイの表示 ☛P61
・ を押すと応答保留の状態になり、相手にはテレビ電話応答保留画像が表示されます。☛P71

2 [key] を押す

テレビ電話接続中は、自分の画像がディスプレイに表示されます。

■ 代替画像でテレビ電話を受けるとき

① [key] を押す

テレビ電話がつながったときから、相手には自画像の代わりに代替画像が送信されます。

・代替画像にキャラ電が設定されている場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手の端末には、代替画像設定の標準画像が送信されます。☛P92

3 通話する

画面には、相手の画像が表示されます。

・通話中保留 (☛P51) にすると、テレビ電話通話中保留画像が送信されます。テレビ電話通話中保留画像は変更できます。☛P92
・相手の設定により、代替画像などが表示される場合があります。
・[key] または [key] を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えることができます。☛P51
・通話中は、[key] を押すたびに相手に送信する画像が「自画像」と「代替画像」とで切り替わります。☛P88

4 通話が終わったら [key] を押す

・FOMA 端末を閉じてもテレビ電話を切ることができます。閉じてテレビ電話を切るようにするには、「通話中クローズ設定」で設定を変更します。☛P64

着信中の操作について

・テレビ電話がかかってきたとき、着信音が鳴っている間にサブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明
1 転送でんわ※	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。
2 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。

※：転送でんわサービスをご契約いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

・[key] を 1 秒以上押して伝言メモで応対できます（クイック伝言メモ）。☛P76
・着信音量を調整したり、バイブレータの振動を止めたりできます。☛P68

おしらせ

- スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンのスイッチを1秒以上押すと代替画像でテレビ電話を受けることができます。☛P457
- スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続時は、オート着信機能設定に従って動作し、自動的に代替画像を送信して応答できます。
- 留守番電話サービスは、テレビ電話には対応していません。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を3G-324M（☛P82）に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- 迷惑電話ストップサービスで登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、相手側には着信拒否ガイダンスが流れずに切断されます。☛P470
- テレビ電話通話中、音声もしくは映像のいずれかの通信が切れて（音声のみ）または（映像のみ）の表示になった場合でも、そのまま通話が継続される場合があります。
- ソフトウェア更新中にテレビ電話を着信すると着信は拒否され、着信履歴に記録されます。
- FOMA 端末に接続されている外部機器からテレビ電話の着信操作を行うことができます。☛P99
- テレビ電話の通話を終了したときに、端末の状態によっては、切断中の画像が表示されない場合があります。
- テレビ電話通話中は、キャッチホンを利用できません。☛P467

キャラ電を利用する

テレビ電話で通話するときに、自分の画像の代わりにキャラクタを送信します。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かしたり、キャラクタによっては、送話口からの音声に反応して口を動かしたりします。

1 待受画面で ◎ 4 を押してフォルダを選択する

キャラ電一覧が表示されます。

2 キャラ電を選択して ⓘ を押す

3 電話番号を入力して ⓘ を押す

キャラ電

©BVIG

キャラ電を代替画像にしてテレビ電話がかかります。

- 📖 を押すとテレビ電話をかける相手を電話帳から選択できます。
- キャラ電を代替画像として送信中にダイヤルキーを押すと、キャラクタが数字に対応したアクションをします。また、以下の操作も行えます。

0	：アクションの中止
＊	：アクション一覧の表示（アクションを選択するとキャラクタが動きます。）
＊ 1秒以上	：アクションモード（全体アクション／パーツアクション）の切り替え

- お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧☛P380

テレビ電話の代替画像に設定する

テレビ電話の代替画像として、キャラ電をあらかじめ設定しておくことができます。

1 待受画面で ◎ 4 を押し、フォルダを選択する

キャラ電一覧が表示されます。

2 キャラ電にカーソルを合わせて ✉ を押す

選択したキャラ電がテレビ電話の代替画像に設定されます。

おしらせ

- キャラ電表示中に ⓘ を 1 秒以上押してもキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定できます。☛P379
- テレビ電話の代替画像選択でも代替画像に設定するキャラ電を変更できます。☛P91

相手側に送信する映像について設定する

・設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
送信する画像を自画像／代替画像に切り替える	P88	静止画を送信する	P91
		テレビ電話で表示する画像を変更する	P91
送信する画像の品質を設定する	P89	表示倍率を切り替える	P93
送信する画像にフレームを重ねる	P89	インカメラ／アウトカメラを切り替える	P93
送信する画像に特殊な効果をかける	P90	接写モードに切り替える	P94
送信する画像の明るさ／色の濃さを設定する※	P90	プッシュ信号を送出する	P94

※：通話終了後も設定内容が保持されます。

送信する画像を自画像／代替画像に切り替える

お買い上げ時　自画像

1 通話中に ⓘ を押す

代替画像
©BVIG

- 送信画像の表示☛P82
- ⓘ を押すたびに自画像（▣）、代替画像（▣または▣）が切り替わります。☛P86
- 代替画像にキャラ電が設定されている場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手の端末には、代替画像設定の標準画像が送信されます。☛P92
- キャラ電を代替画像として送信中の操作☛P87

送信する画像の品質を設定する

お買い上げ時　標準

- 「動き優先」に設定すると画像の動きはなめらかになりますが、画質はやや粗くなります。
- 「画質優先」に設定すると画質は細やかになりますが、画像の動きはやや鈍くなります。

1 通話中に ◎ を押す

送信画像の品質が変更されます。

- ◎ を押すたびに次の順に切り替わります。◎ を押すと逆の順になります。
  標準（表示なし）→ 画質優先（HQ）→ 動き優先（走）→ 標準（表示なし）→ …

送信する画像にフレームを重ねる<フレーム選択>

相手に送信する自画像に、FOMA 端末に保存されているフレーム用の画像を重ねます。

- 自画像送信中の場合のみ、フレームを重ねることができます。
- 表示サイズが 176 × 144（QCIF）以下のフレームのみ選択できます。ただし、ダウンロードしたフレームは、表示サイズが 176 × 144（QCIF）のフレームのみ選択できます。

1 通話中に Menu 7 1 を押す

2 フレームを選択する

相手にも同様の状態で自画像が送信されます。

- インカメラを使用中はディスプレイに鏡像が表示され、相手には正像が送信されます。アウトカメラを使用中は、ディスプレイの表示と同じ画像が相手にも送信されます。
- 自画像送信中に ◎ を押すと、フレーム送信が解除されます。

お買い上げ時に登録されているフレーム

- お買い上げ時に登録されている上記フレームを削除した場合は、i モードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P331

テレビ電話のかけかた／受けかた

送信する画像に特殊な効果をかける<撮影効果モード>

お買い上げ時　標準

送信する画像に次の効果をかけることができます。

項　目	アイコン	説　明
1 標準		標準的な画像を送信します。
2 逆光		逆光になる被写体を撮影するときに使用します。
3 セピア		セピア調にするときに使用します。
4 モノトーン		白黒にするときに使用します。
5 海・雪		海や雪面などの光の反射をより美しく撮影します。
6 夕焼け		夕焼けをバックにした被写体を撮影するときに使用します。

• 自画像送信中の場合のみ変更できます。

1 通話中に Menu 3 1 を押す

2 1 ～ 6 を押す

• 効果を解除するときは 1 を押します。

現在の効果のマークが表示されます。

送信する画像の明るさ／色の濃さを設定する

お買い上げ時　明るさ：3 段階目　色の濃さ：3 段階目

• 明るさ・色の濃さは 5 段階で調整できます。
• 自画像送信中の場合のみ変更できます。

1 通話中に Menu 3 2 を押す

2 ◎ を押して明るさのスライダを選択し、◎ を押す

調整中、親画面には自画像が表示されます。スライダの位置を変えるたびに、明るさの変化が確認できます。

明るさ
色の濃さ

3 ◎ を押して色の濃さのスライダを選択し、◎ を押す

調整中、親画面には自画像が表示されます。スライダの位置を変えるたびに、色の濃さの変化が確認できます。

4 [ ] を押す

・明るさ・色の濃さを調整後、しばらくの間何も操作しなかった場合、設定は変更されずに通話中の画面に戻ります。

静止画を送信する<画像選択>

相手に送信する画像を保存されている静止画像から選択します。選択した静止画を通話中の相手に見せることができます。

・フレーム送信中（☛P89）の場合は設定できません。

・ファイルサイズが 176 × 144（QCIF）以下で、FOMA 端末外への出力が可能な静止画のみ設定できます。FOMA 端末外への静止画の出力について（ファイル制限）☛P406

1 通話中に [Menu] [7] [2] を押す

画像フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択して一覧から静止画を選択する

相手にも同様の静止画像が送信されます。

・静止画にカーソルを合わせて [ ] を押すと静止画を表示できます。

・静止画像送信中に [ ] を押すと、設定が解除されて元の画像が表示されます。

テレビ電話で表示する画像を変更する<テレビ電話画像選択>

テレビ電話で表示する代替画像、テレビ電話伝言メモ録音中画像、テレビ電話応答保留中画像、テレビ電話通話中保留画像を変更します。変更した画像は、テレビ電話通話中、伝言メモ録音中、応答保留中、通話保留中に表示され、相手にも送信されます。

・次の静止画は設定できません。

・サイズが 176 × 144（QCIF）を超える静止画

・アニメーション、パラパラマンガ、連写画像

・JPEG 形式、GIF 形式以外の静止画

・FOMA 端末外への出力が禁止されている静止画
FOMA 端末外への静止画の出力について（ファイル制限）☛P406

代替画像を変更する

お買い上げ時　標準キャラ電

1 待受画面で [Menu] [8] [8] [3] を押す

2 [1] を押し、イメージ表示欄を選択する

キャラ電
©BVIG

テレビ電話のかけかた／受けかた

■ **標準のキャラ電を設定するとき**

① **1 を押す**

「標準キャラ電（ブンブン（Dimo））」が設定されます。

■ **標準の静止画を設定するとき**

① **2 を押す**

「標準画像（カメラオフ（Camera off））」が設定されます。

■ **その他のキャラ電を設定するとき**

① **3 を押す**

② **「画像選択」を選択する**

「キャラ電」のフォルダ一覧が表示されます。

③ **フォルダを選択してキャラ電一覧からキャラ電を選択する**

キャラ電が設定され、代替画像設定画面に戻ります。

- 設定するキャラ電にカーソルを合わせて [電話帳] を押すとキャラ電を表示できます。

■ **その他の静止画を設定するとき**

① **4 を押す**

② **「画像選択」を選択する**

画像フォルダ一覧が表示されます。

③ **フォルダを選択して一覧から静止画を選択する**

静止画が設定され、代替画像設定画面に戻ります。

- 設定する静止画にカーソルを合わせて [電話帳] を押すと静止画を表示できます。

3 [電話帳] を押す

おしらせ

- 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合は代替画像はお買い上げ時のキャラ電に、静止画を削除した場合は「標準画像」に戻ります。
- イメージ表示欄で「イメージ」を選択し、代替画像を変更後に PIM ロックを設定、またはプライバシーモードを起動（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）すると、標準画像が送信・表示されます。

伝言メモ録音中／応答保留／通話中保留の画像を変更する

お買い上げ時　伝言メモ画像：標準画像　応答保留画像：標準画像　通話中保留画像：標準画像

例 テレビ電話伝言メモ録音中画像を変更するとき

1 待受画面で Menu 8 8 3 を押す

2 2 ～ 4 を押す

3 イメージ表示欄を選択して 2 を押す

伝言メモ画像設定
イメージ表示　標準画像
イメージ一覧　画像選択
Voice message
(Voice only)
伝言メモ(音声のみ)

- お買い上げ時の画像に戻すときは 1 を押し、操作 5 へ進みます。

4 「画像選択」を選択して画像を選択する

・操作方法は、代替画像設定でイメージ表示の「イメージ」を設定する場合と同じです。☛P91

5 [m] を押す

おしらせ

● 伝言メモ録音中／応答保留／通話中保留のイメージ表示欄で「イメージ」を選択し、画像を変更後にPIMロックを設定、またはプライバシーモードを起動（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）すると、標準画像が送信・表示されます。

表示倍率を切り替える<ズーム>

お買い上げ時　標準

相手に送信する自画像の表示倍率を切り替えます。
・自画像送信中の場合のみ利用できます。

1 通話中に [◎] を押す

ズーム倍率が変更されます。
・[↑] を押すたびに次の順に切り替わります。[↓] を押すと逆の順になります。
アウトカメラ：標準（x1）→ 2 倍（x2）→ 4 倍（x4）→ 6 倍（x6）→ 8 倍（x8）
→ 10 倍（x10）→ 12 倍（x12）→ 16 倍（x16）
インカメラ　：標準（x1）→ 2 倍（x2）

おしらせ

● インカメラ、アウトカメラを切り替えると、ズームは解除されます。

インカメラ／アウトカメラを切り替える

お買い上げ時　インカメラ

通話中に使用するカメラを切り替えます。
・自画像送信中の場合のみ変更できます。

1 通話中に [Menu] [1] を押す

切り替わったカメラからの画像が表示されます。

インカメラ選択時

アウトカメラ選択時

・[Menu] [1] を押すたびにインカメラとアウトカメラが切り替わります。

おしらせ

● カメラを切り替えても、撮影効果モードの設定は保持されます。

接写モードに切り替える

お買い上げ時　通常モード

約 7 ～ 11cm のごく近い距離の画像を送信するときは、接写モードに切り替えると画像のピントを合わせることができます。
・接写モードへはアウトカメラ使用時のみ切り替えられます。

1 通話中に Menu 3 3 を押す

■ **通常モードに戻すとき**
① Menu 3 3 を押す

おしらせ
● 接写モード中にインカメラに切り替えると、通常モードになります。

プッシュ信号を送出する＜ DTMF 送出＞

通話中にプッシュ信号（DTMF）を送出します。
・受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
・テレビ電話通話中で、（自画像送信中）／（代替画像送信中）／（キャラ電中）の場合のみ DTMF の入力が可能です。

1 通話中に Menu 8 を押し、ダイヤルキーを押す

押した番号が画面に表示され、プッシュ信号が送出されます。
・ プッシュ信号（DTMF）送出を解除するときは クリア を押します。
・ 自画像送信中は Menu 8 を押さなくても、ダイヤルキーを押すだけで DTMF 送出ができます。

おしらせ
● プッシュ信号（DTMF）を送出すると、フレーム選択、画像選択は解除されます。

テレビ電話中の画面表示について設定する

• 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
親子画面の表示を切り替える※	P95	受信する画像の品質を設定する	P96
親画面のサイズを変更する※	P95	通話中に画面表示を設定する※	P96
コンパクトライトを点灯する	P95		

※：通話終了後も設定内容が保持されます。

親子画面の表示を切り替える

お買い上げ時　親画面：相手画像　子画面：自画像

親画面と子画面を切り替えます。

1 通話中に [📖] を押す

• [📖] を押すと交互に切り替わります。
親：相手画像　⇔　親：自画像
子：自画像　　　　子：相手画像

親画面のサイズを変更する

お買い上げ時　大

1 通話中に [📖] を 1 秒以上押す

親画面の表示サイズが変更されます。
• [📖] を 1 秒以上押すたびに大→中→小→大→… の順に切り替わります。

コンパクトライトを点灯する

• アウトカメラ使用時のみ点灯／消灯を切り替えられます。

1 通話中に [Menu] [2] を押す

コンパクトライトが点灯します。点灯していた場合は消灯します。
• [Menu] [2] を押すたびに点灯（[☼]）／消灯（表示なし）が切り替わります。

おしらせ
● 通話中の設定操作などによって一時的にコンパクトライトが消灯することがあります。

受信する画像の品質を設定する

お買い上げ時　標準

相手から送信されてくる画像の品質を変更できます。「動き優先」に設定すると画像の動きはなめらかになりますがやや粗く、「画質優先」に設定すると画像は細やかになりますが動きはやや鈍くなります。

• 相手端末の機能によっては設定が有効にならない場合があります。

1 **通話中に［Menu］［4］を押す**

2 **［1］～［3］を押す**

通話中に画面表示を設定する<通話中テレビ電話動作設定>

お買い上げ時　テレビ電話画面設定：両方　子画面表示：自画像　画面サイズ設定：大　照明設定：常灯（標準）

1 **通話中に［Menu］［5］を押す**

2 **各項目を選択して設定する**

• 各設定項目（テレビ電話画面設定、子画面表示、画面サイズ設定、照明設定）については、「テレビ電話の設定を変更する」の操作 2 を参照してください。☛P97

3 **［📖］を押す**

テレビ電話の設定を変更する

お買い上げ時　音声自動再発信：OFF　テレビ電話画面設定：両方　子画面表示：自画像　画面サイズ設定：大
発信時自画像送信：ON　送信画質設定：標準　照明設定：常灯（標準）

テレビ電話がつながらなかったときの動作や、テレビ電話通話中の画像を設定します。

- 相手へのアクセスをより確実なものとするために、テレビ電話動作設定には、「音声自動再発信」という設定項目があります。音声自動再発信とは、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスで mova サービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられない場合などに、自動的に音声電話に切り替えて再発信する機能です。

1 待受画面で Menu 8 8 2 を押す

2 各項目を選択して設定する

音声自動再発信：テレビ電話がつながらなかった場合、自動的に音声電話で再発信するかどうかを設定します。

テレビ電話画面設定
：通話中に自画像または相手画像のどちらか一方のみを表示するか、両方の画像を表示するかを設定します。
- 「両方」以外に設定した場合、「子画面表示」は設定できません。

子画面表示：通話中の子画面に自画像と相手画像のどちらを表示するかを設定します。

画面サイズ設定：親画面の表示サイズを設定します。

発信時自画像送信
：相手に自画像を送信するかどうかを設定します。

送信画質設定：相手に送信する画像の画質を設定します。

照明設定：通話中のディスプレイの照明を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、照明設定（☛P144）の設定に従って動作します。

3 ［📖］を押す

おしらせ

- ● 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手やネットワークの状況によって再発信が行われない場合があります。
- ● 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、音声電話、64K データ通信中は、テレビ電話の再発信は行われません。
- ● 音声自動再発信を「ON」に設定中、音声で再発信した場合の通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。
- ● テレビ電話通信が開始された場合、音声通話への再発信動作は行いません。

テレビ電話発着信時の動作を設定する

お買い上げ時　着信音：メロディ　電話・メロディ A　イメージ表示：標準画像
バイブレータ：OFF　イルミネーション：パターン 4

・本機能での設定は、音の設定のテレビ電話着信音、バイブレータ設定のテレビ電話バイブレータ、イルミネーション設定のテレビ電話イルミネーションパターンにも設定が反映されます。

1 待受画面で Menu 8 8 1 を押す

2 各項目を選択して設定する

着信音：テレビ電話がかかってきたときの着信音を設定します。
- 「OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
- 「メロディ」を選択したときは、着信音欄を選択してメロディを選択します。
- 「着モーション」を選択したときは、着信音欄を選択して動画／ｉモーションを選択します。

イメージ表示：テレビ電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を設定します。
- 「モーション」を選択したときは、「画像選択」を選択して動画／ｉモーションを選択します。

バイブレータ：テレビ電話がかかってきたときの振動を設定します。

イルミネーション
：マルチイルミネーションランプの点滅パターンを設定します。

3 [□] を押す

おしらせ
- 着信音の「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になり、着モーションが再生されます。このとき、発信画像は「標準画像」に設定されます。
- 着信音の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定すると、イメージ表示に Flash 画像または動画／ｉモーションが設定されていた場合、イメージ表示は「標準画像」に切り替わりますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像を変更できます。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

お買い上げ時　本体

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の着信操作を行うことができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションソフトウェアをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイク（別売）やUSB対応Webカメラなどの機器を用意する必要があります。

- FOMA端末が外部機器に接続されていないときは、本機能を利用できません。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。

※本機能は、対応するアプリケーションや対応機器がリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。ただし、2004年12月現在、対応アプリケーションや対応機器はリリースされておりません。

基地局
FOMAテレビ電話
通信速度
32Kまたは64K
FOMAの
ネットワーク

1 待受画面で Menu 8 8 4 を押す

2 1 または 2 を押す

テレビ電話使用機器設定
1 本体
2 外部機器

おしらせ

- ●音声電話通話中は、外部機器からテレビ電話をかけることはできません。
- ●キャッチホンを契約していると、音声電話通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話通話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

FOMA 端末で使用できる電話帳について

FOMA D901iでは、FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳を利用できます。

FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳の違い

○：可　×：不可

項　目	FOMA 端末電話帳	FOMA カード電話帳	参照先
電話帳登録件数	最大 700 件※1	最大 50 件	－
登録内容			
名前・フリガナ	名前は全角で 16 文字、半角で 32 文字まで設定可能。フリガナは半角で 32 文字まで設定可能。	名前は全角で 10 文字、半角で 21 文字まで設定可能。フリガナは全角で 12 文字、半角で 25 文字まで設定可能。	P104、P108
静止画・動画	1 件	×	P105
グループ	30 グループおよび「グループなし」に分類可能。	10 グループおよび「グループなし」に分類可能。	P105、P108
電話番号・アイコン	1 人につき最大 5 番号まで、電話帳全体で2105番号まで設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1 人につき 1 番号のみ設定可能。アイコンは設定不可。	P105、P108
メールアドレス・アイコン	メールアドレス・アイコン 1 人につき最大5アドレスまで、電話帳全体で 2105 アドレスまで設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1 人につき 1 アドレスのみ設定可能。アイコンは設定不可。	P105、P108
電話着信時の設定※2※3※4	○	×	P106
メール受信時の設定※2※3	○	×	P106
その他の設定※5	○	×	P106
メモリ番号	○	×	P107
電話帳検索			
グループ検索	○	○	P112
フリガナ検索	○	○	P112
ランキング検索	○	×	P113
メモリ番号検索	○	×	P114
電話番号検索	○	○	P114
行検索	○	○	P115
シークレット検索	○	×	P124
各種設定			
発番号設定	○	×	P121
シークレットコード設定	○	×	P122
シークレット属性設定	○	×	P123
メモリ別着信拒否／許可設定	○	×	P166
テレビ電話通信速度設定	○	×	P122
その他			
電話番号入替え・メールアドレス入替え・メモリ番号入替え	○	×	P117、P118
クイックダイヤル	○	×	P125
クイックメール	○	×	P267
サイト表示	○	×	P111
赤外線送信	○	○	P410

※1：各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。
※2：着信音・着信バイブレータ・着信イルミネーションパターン
※3：FOMA 端末の電話帳のみグループ別の着信設定もできます。
※4：テレビ電話代替画像も設定できます。
※5：URL・テキストメモ・郵便番号・住所・会社名・役職名・誕生日の設定

名前の表示について

FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳に登録した相手と電話の発着信を行うと、発信中／着信中／通話中の画面に、電話帳に登録されている名前が表示されます。
また、リダイヤルや着信履歴、伝言メモ、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、カスタムメニューの人物などにも、電話帳に登録されている名前が表示されます。

着信中
青木一郎
090XXXXXXXX

音声電話着信時

テレビ電話着信中
青木一郎
090XXXXXXXX

テレビ電話着信時

- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号／メールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを入力したときは、FOMA 端末電話帳に登録されている名前が表示されます。
- ｉモード端末からｉモードメールを受信した際、電話帳に登録されているメールアドレスの「@ docomo.ne.jp」の有無を含めて完全に一致した場合は電話帳の設定で動作し、一致しない場合は電話帳の設定では動作しません。電話帳にメールアドレスを登録する際、@以降のドメイン名(@docomo.ne.jp)は省略して登録できますが、「@docomo.ne.jp」まで含めて登録しないと電話帳の設定で動作しません。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、メールアドレス欄に「@docomo.ne.jp」を除いて登録しないと電話帳の設定で動作しません。
- ショートメッセージ（SMS）を受信した際、電話帳に登録されている電話番号が一致した場合は電話帳の設定で動作します。

おしらせ

- FOMA端末電話帳にシークレット属性が設定されている場合は、シークレットモードを設定しているときのみ名前が表示されます。シークレット属性が設定されているデータがリダイヤルや着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモなどに表示されている場合も同様です。
- シークレットモード中にシークレット属性が設定されている相手から着信やメールの受信があったときは、電話帳データに設定されている着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションで動作します。シークレットモードを設定していないときは、音の設定、バイブレータ設定、イルミネーション設定の各設定で設定されている内容で動作します。
- PIMロック中またはプライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、通常発着信時や履歴などには相手の名前は表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。なお、これらの制限を解除すると相手の名前は表示されます。
- 電話帳に登録した相手からメールの受信があると、電話帳に登録している名前がタスクバーにテロップ表示されます。
- 電話がかかってきたときに電話番号や名前を表示しないようにしたり、名前の大きさを設定したりできます。☛P143

FOMA 端末電話帳に登録する

よく利用する電話番号やメールアドレスを、名前とともに登録できます。

- 電話帳には最大 700 人分、1 人につき電話番号を最大 5 番号まで、メールアドレスを最大 5 アドレスまで登録できます。ただし、全体ではそれぞれ 2105 番号、2105 アドレスまでになります。
- 文字入力のしかたについては、「文字入力」をご覧ください。☛P514

おしらせ

- ● 圏外と表示されている場合でも電話帳の登録はできます。
- ● 電話帳に登録した内容は、別にメモを取り、保管することをおすすめします。
  miniSD メモリーカードを利用して、電話帳を保存できます。☛P393
  パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトと FOMA USB 接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。☛P551
- ● FOMA 端末の電話帳データを miniSD メモリーカードにバックアップできます。☛P396
- ● FOMA 端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。また、電話帳の内容は電池パックを外した状態および空の状態でも約 1ヶ月は保持されますが、それ以上経過すると内容が消失してしまう可能性があります。
  万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ● シークレットモード中に電話帳データを登録した場合は、その電話帳データにはシークレット属性が設定されます。
- ● プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要になります。
- ● 機種変更時などにドコモショップなど窓口にて新機種へコピーできるのは、「1 つ目の電話番号」、「カナ・漢字氏名」、「グループ設定」、「1 つ目のメールアドレス」、「ブックマーク」、「シークレット設定」です。新機種の仕様によっては、登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

FOMA 端末に電話帳を登録する

1 待受画面で Menu 4 2 を押す

2 名前を入力する

名前入力
名前を
入力してください
青木一郎

- 漢字、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。
  ただし、記号、絵文字を使用すると、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
- 全角で最大 16 文字、半角で最大 32 文字入力できます。
- 名前は必ず入力してください。名前を入力しないと、電話帳に登録できません。

3 📖 を押す

新規登録画面で名前とフリガナを確認します。

その他 新規登録 設定(
青木一郎
ｱｵｷｲﾁﾛｳ
<画像選択>
グループなし
[電話番号]
[メールアドレス]

名前、フリガナ
発着信時や電話帳データ確認時に表示する静止画や動画
グループ名
電話番号
メールアドレス

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

■ 名前を修正するとき
① 名前欄を選択し、名前を修正して [📖] を押す

■ フリガナを修正するとき
① フリガナ欄を選択し、フリガナを修正する
・半角で最大32文字入力できます。
・名前を修正してもフリガナには反映されません。

4 [◎] を押して項目を選択し、入力する

・電話帳データの各項目が既に設定されているときは、その内容が表示されます。

画像選択：発着信時や電話帳データ確認時に表示する静止画や動画を設定します。
・お買い上げ時の状態に戻すときは [5] を押します。
・登録相手が電話番号を通知してきた場合のみ、設定した画像が表示されます。

■ 静止画を設定するとき
① [1] を押して画像のフォルダ一覧から静止画を選択する
・横縦（または縦横）のサイズが640×480を超える静止画を選択すると、静止画を縮小して登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して静止画を設定すると、電話帳用（96×72）に縮小した静止画が保存されます。
・電話発着信時や電話帳データ確認時には、アニメーションは再生中の画像、パラパラマンガ、連写画像は最初のコマが表示されます。

■ カメラで静止画を撮影するとき
① [2] を押し、静止画を撮影して保存する ☛P179
・撮影する静止画のサイズは電話帳用（96×72）に自動的に設定されます。

■ 動画を設定するとき
① [3] を押して i モーションのフォルダ一覧から動画を選択する
・画像サイズがSub-QCIF（128×96）、または、QCIF（176×144）の、映像のみの動画が設定できます。

■ ビデオカメラで動画を撮影するとき
① [4] を押し、動画を撮影して保存する ☛P184
・撮影する動画のサイズはQCIF（176×144）に自動的に設定されます。また、音声は録音されません。

グループ：グループを1～30および「グループなし」から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
グループ設定について ☛P109

電話番号：電話番号を市外局番から入力し、アイコンを選択します。最大26桁入力できます。
・1人につき最大5番号まで登録できます。1件目の電話番号を登録すると、追加登録する項目が表示されます。
・ポーズ（P）、タイマー（T）、「＋」、「#」、サブアドレスの区切り（＊）を入力できます。☛P52

メールアドレス：メールアドレスを入力し、アイコンを選択します。半角で最大50文字入力できます。
・1人につき最大5アドレスまで登録できます。1件目のメールアドレスを登録すると、追加登録する項目が表示されます。

5 を押してその他画面を表示し、必要な項目を入力する

URL：URLを入力します。半角で最大256文字入力できます。

テキストメモ：テキストメモを入力します。全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。

郵便番号：郵便番号を入力します。最大7桁入力できます。

住所：住所を入力します。全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。

会社名：会社名を入力します。全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

役職名：役職名を入力します。全角で最大50文字、半角で最大100文字入力できます。

誕生日：誕生日設定欄を「ON」に設定して、誕生日欄に誕生日を入力します。

6 を押して設定画面（電話／メール）を切り替え、必要な項目を設定する

- 初期登録時「グループなし」の場合、すべての項目は「端末設定に従う」に設定されています。グループを選択した場合、テレビ電話代替画像は「端末設定に従う」に、それ以外の項目は「グループ設定に従う」に設定されています。

設定（電話）画面

設定（メール）画面

着信音：「着モーションを選択」または「メロディを選択」を選択して動画またはメロディを選択します。
- 詳細情報の着信音設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみ着信音に設定できます。☛P405

着信バイブレータ
：「はい」を選択して電話がかかってきたとき、メールを受信したときの振動を設定します。
- バイブレーターの設定に従った動作にするときは「端末設定に従う」を選択します。

着信イルミネーションパターン
：「はい」を選択してマルチイルミネーションランプの点滅パターンを設定します。

テレビ電話代替画像（設定（電話）画面のみ表示）
：「はい」を選択して通話中に表示するキャラ電を設定します。
キャラ電☛P378

7 [□] を押す

最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられます。

■ **メモリ番号を入力して登録するとき**

① 0 ～ 699 までの番号を入力する

- 100 の位や 10 の位の頭の 0 は省略できます。
- 登録済みのメモリ番号を指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きしないときは「新規登録」を選択して他のメモリ番号を指定してください。

8 [◎] を押して電話帳を登録する

おしらせ

- 画像選択で画像を設定しても、電話発着信時の画面に画像を表示しないように設定できます。☛P141
- 名前や電話番号を登録しても、電話着信時に表示しないようにしたり、名前の大きさを変更したりできます。☛P143
- 184、186 を付けた電話番号を電話帳に登録すると、ショートメッセージ（SMS）作成時の宛先に選択していても送信できません。また、メールアドレスを「携帯電話番号 @docomo.ne.jp」にしている相手を 184、186 を付けて電話帳に登録すると、i モードメール作成時の宛先に選択していても送信できません。
- i モード端末のメールアドレスのドメイン名（@docomo.ne.jp）は省略して登録できますが、「@docomo.ne.jp」を含めて登録することをおすすめします。
  - i モードメールアドレスをチャットメールに登録するときは、「@docomo.ne.jp」を含めて登録してください。
  - 電話帳やグループ設定でメール着信時の設定をしている場合は、発信元のメールアドレスと電話帳に登録されているメールアドレスがドメイン名を含めて完全に一致しないと設定どおりに着信動作しません。
- 画像選択に動画を設定している相手に電話をかけた場合、発信中はディスプレイに動画の最初のコマが表示されます。相手から電話がかかってきた場合、着信中はディスプレイに動画が再生され、電話帳データに設定された着信音が鳴ります。
- 電話帳データの電話着信音や電話／テレビ電話の音の設定に動画／ i モーションが設定されている場合は、画像選択の設定に関わらず、着信音に設定された動画／ i モーション（映像と音声）が再生されます。ただし、着信音に設定した動画／ i モーションが音声のみ（歌手の歌声など映像のない i モーション）の場合には、着信中はディスプレイに発着信画像設定で設定した画像が表示されます。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）や、シークレットモード中に、シークレット属性が設定されている FOMA 端末電話帳データにテレビ電話代替画像を設定した場合、着信時の代替画像は FOMA 端末の設定に従います。
- 相手がシークレットコードを登録しているとき ☛P122

FOMA カード電話帳に登録する

・文字入力のしかたについては、「文字入力」をご覧ください。☛P514

1 待受画面で Menu 4 3 を押す

2 名前を入力する

名前入力
名前を
入力してください
青木一郎

・漢字、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字を使用すると、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
・全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、登録を行うと最大10文字になります。
・名前は必ず入力してください。名前を入力しないと、電話帳に登録できません。

3 [📖] を押す

FOMAカード登録
青木一郎
アオキイチ…
グループなし
[電話番号]
[メールアドレス]

FOMA カード登録画面で名前とフリガナを確認します。

■ **名前を修正するとき**

① **名前欄を選択し、名前を修正して [📖] を押す**

■ **フリガナを修正するとき**

① **フリガナ欄を選択し、フリガナを修正する**

・フリガナは、全角カタカナと半角英数字で入力できます。
・全角で最大12文字、半角で最大25文字入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合は、登録を行うと最大12文字になります。
・名前を修正してもフリガナには反映されません。

4 [◎] を押して項目を選択し、入力する

・電話帳データの各項目が既に設定されているときは、その内容が表示されます。

グループ：グループを1～10および「グループなし」から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
グループ設定について☛P109

電話番号：電話番号を市外局番から入力します。最大26桁（FOMA カードの種類によっては最大20桁）入力できます。
・電話番号は1番号のみ登録できます。アイコンの設定はできません。
・ポーズ（P）、「＋」、「#」、サブアドレスの区切り（＊）は登録できます。タイマー（T）は入力できますが、登録できません。また、電話番号の先頭以外に「＋」を入力すると、「＋」以降を登録できません。☛P52

メールアドレス：メールアドレスを入力します。半角で最大50文字入力できます。
・メールアドレスは1アドレスのみ登録できます。アイコンの設定はできません。

5 [📖] を押して電話帳を登録する

おしらせ

- ｉモード端末のメールアドレスのドメイン名（@docomo.ne.jp）は省略して登録できますが、「@docomo.ne.jp」を含めて登録することをおすすめします。ｉモードメールアドレスをチャットメールに登録するときは、「@docomo.ne.jp」を含めて登録してください。
- 名前や電話番号を登録しても、電話着信時に表示しないようにしたり、名前の大きさを変更したりできます。☛P143
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要になります。

グループ設定

グループの名前や発着信動作を設定する

FOMA端末電話帳やFOMAカード電話帳のグループ名を変更したり、FOMA端末電話帳のグループごとに着信音を設定したりできます。

・FOMAカード電話帳のグループ別設定はグループ名のみ変更できます。

1 待受画面で Menu 4 1 2 を押す

・FOMAカード電話帳のグループ名を変更するときは、Menu 4 1 2 📖 を押します。

2 設定するグループにカーソルを合わせて Menu を押す

グループ検索 1/4
1 グループなし
2 グループ1
3 グループ2
4 グループ3
5 グループ4
6 グループ5
7 グループ6
8 グループ7
9 グループ8

3 グループ名を設定する

グループ設定
グループ名
グループ1
電話発着信設定
メール着信設定

・FOMAカード電話帳の場合は操作6へ進みます。
・FOMA端末電話帳のグループ名は、全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。
・FOMAカード電話帳のグループ名は、全角で最大10文字、半角で最大21文字入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、登録を行うと最大10文字になります。

4 電話発着信時の設定をし、📖 を押す

電話着信音、発着信画像、電話着信バイブレータ、電話着信イルミネーションパターンが設定できます。☛P106、P141

・電話着信音設定の「着モーションを選択」と、発着信画像の「📱モーションを選択」または「動画を撮影」は同時に設定できません。

5 メール着信時の設定をし、📖 を押す

メール着信音、メール着信バイブレータ、メール着信イルミネーションパターンが設定できます。☛P106

6 [本] を押す

グループ名および設定が変更されます。

電話帳検索

電話帳から電話をかける

電話をかける相手の電話帳データを、FOMA 端末電話帳または FOMA カード電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけることができます。

電話帳の検索手順

- 電話帳データは、次の検索方法を指定して呼び出すことができます。

全件表示（50 音）	50 音順に全件表示します。	P110
グループ検索	グループから検索します。	P112
フリガナ検索	フリガナから検索します。	P112
ランキング検索※	電話の通話回数／メールの送受信回数の多い電話帳データを検索します。	P113
メモリ番号検索※	メモリ番号から検索します。	P114
電話番号検索	電話番号の一部から検索します。	P114
行検索	ダイヤルキーに割り当てられている文字から検索します。	P115
シークレット検索※	シークレット属性を設定した電話帳データを検索します。	P124

※：FOMA カード電話帳では利用できない検索方法です。

- FOMA カード電話帳でも利用できる検索方法では、[本] を押すと FOMA 端末電話帳の検索結果画面と FOMA カード電話帳の検索結果画面が切り替わります。
- 電話帳データの登録内容は表示して確認できます。☛P115
- シークレット属性が設定されている電話帳データも含めて検索する場合は、シークレットモードに設定してから検索してください。☛P165
- FOMA カード電話帳の検索結果画面では、相手の名前の前に [アイコン] が表示されます。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要になります。

電話帳データを 50 音順に表示する

電話帳データを 50 音順（あ行→か行→さ行→…→アルファベット・数字順）に表示します。

1 待受画面で [Menu] [4] [1] [1] を押す

2 [方向キー] を押して表示したい行を選択する

- 操作 2 の代わりにダイヤルキーを押すと、ダイヤルキーに割り当てられている行の先頭の電話帳データが表示されます。

電話帳から電話をかける

1 待受画面で [電話帳] を押す

電話帳一覧(1/1)
青木一郎
池田次郎
井上清徳
奥田隆史

全件表示（50 音）の場合

お買い上げ後、初めて操作したときは全件表示（50 音）の検索結果画面（あ行のフリガナが登録されている電話帳）が表示されます。その後は、前回電話帳を利用した際に選択した検索方法の検索画面が表示されます。

1 件目の電話番号に設定されているアイコン
選択した相手に登録されている電話番号およびメールアドレスの件数
選択されている相手の 1 件目の電話番号（表示しきれない部分は省略されます）

2 電話をかける相手にカーソルを合わせて [発信] を押す

- テレビ電話をかけるときは、テレビ電話をかける相手にカーソルを合わせて [テレビ電話] を押します。
- 電話番号を複数登録しているときは、発信先選択画面が表示されるので、発信する電話番号を選択してください。

■ i モードメールを作成するとき

① メールを送信する相手にカーソルを合わせて [メール] を押す

- メールアドレスを複数登録しているときは、宛先選択画面でメールアドレスを選択します。
- i モードメールの作成・送信方法 ☛P250
- 選択した相手の電話帳データに電話番号のみ登録されている場合は、[メール] を押すとショートメッセージ（SMS）作成画面が表示されます。
- 自局番号の詳細表示画面で [メール] を押すと、 i モードメールを作成できます。

■ ショートメッセージ（SMS）を作成するとき

① ショートメッセージ（SMS）を送信する相手にカーソルを合わせて [メール] を 1 秒以上押す

- 電話番号を複数登録しているときは、宛先選択画面で電話番号を選択します。
- ショートメッセージ（SMS）の作成・送信方法 ☛P311
- 選択した相手の電話帳データに電話番号が登録されている場合は、電話帳の一覧または詳細画面から [メール] を 1 秒以上押すとショートメッセージ（SMS）を作成できます。自局番号の詳細表示画面からも同様に操作できます。

■ サイトを表示する

① 目的の相手を選択し、 [決定] を押して詳細（その他）画面を表示する

② URL にカーソルを合わせて [Menu] [1] [3] を押す

- 自局番号の詳細画面からも同様に操作できます。

おしらせ

- 電話番号の通知／非通知を切り替えたり、プレフィックスを付加したりして電話をかけることもできます。☛P56
- 電話帳一覧で [Menu] [6] を押すと電話帳の検索方法を選択できます。

グループで検索する＜グループ検索＞

グループを設定せずに登録した電話帳データは「グループなし」に登録されています。

1 **待受画面で Menu 4 1 2 を押す**

2 **検索するグループを選択する**

・同一グループ内の電話帳データは次の順に表示されます。
①50音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号

おしらせ

●他の検索方法に切り替える場合は、グループを選択し、電話帳一覧で Menu 6 を押して検索方法を選択します。

名前で検索する＜フリガナ検索＞

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

1 **待受画面で Menu 4 1 3 を押す**

2 **フリガナを入力する**

・フリガナは先頭の一部を入力することで検索できます。

おしらせ

●他の検索方法に切り替える場合は、何も入力せずに ⊙ を押し、電話帳一覧で Menu 6 を押して検索方法を選択します。

通話／メール回数の多い相手を検索する<ランキング検索>

FOMA 端末電話帳には、電話帳データごとに累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時が記録されています。この情報を基にして、電話帳データを通話回数が多い順に表示したり（通話回数ランキング）、ｉ モードメール送受信回数が多い順に表示したり（メール回数ランキング）できます。

・通話回数、メール回数は最大 9999 回カウントされます。既に 9999 回カウントされている状態で通話やメールの送受信を行った場合、回数は更新されません。

通話回数ランキングを表示する

1 待受画面で Menu 4 1 4 1 を押す

ランキング検索(通話)
電話帳一覧(1/3)
青木一郎 10回
清水幸子 8回
山田太郎 6回
岸本陽子 3回
鈴木太郎 3回
池田次郎 2回
井上清徳 2回
2 2 03XXXXXXXX

累積通話回数

・累積通話回数は、お買い上げ時、または前回リセットしたときから現在までの電話発着信の回数です。電話帳データを FOMA 端末電話帳に登録した後からの通話がカウントの対象となります。

メール回数ランキングを表示する

1 待受画面で Menu 4 1 4 2 を押す

ランキング検索(メール)
電話帳一覧(1/3)
岸本陽子 10回
佐藤晃一 8回
井上清徳 6回
奥田隆史 6回
岸田一郎 6回
青木一郎 3回
佐藤晃一 2回
2 2 docomotaro@…

累積メール回数

・累積メール回数は、お買い上げ時、または前回リセットしたときから現在までのメール送受信の回数です。電話帳データを FOMA 端末電話帳に登録した後からのｉ モードメールの送受信がカウントの対象となります。

おしらせ

● 累積通話回数／累積メール回数が同じ場合は、次の順に表示されます。
①50 音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号

● シークレット属性が設定されている相手も含めたすべての相手についてランキングを表示するときは、シークレットモードに設定してから操作してください。☛P165

● 他の検索方法に切り替える場合は、通話回数ランキングまたはメール回数ランキング検索後、電話帳一覧で Menu 6 を押して検索方法を選択します。

通話回数／メール回数をリセットする

FOMA 端末電話帳の検索結果画面から、記録されている個々の累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時をリセットします。

1 待受画面で 📖 を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 リセットする相手にカーソルを合わせて Menu 9 3 を押す

3 「はい」を選択する

メモリ番号で検索する＜メモリ番号検索＞

FOMA 端末電話帳から、メモリ番号を入力して検索します。

1 待受画面で Menu 4 1 5 を押す

2 メモリ番号を入力する

1 件目の電話番号に設定されているアイコン

メモリ番号

入力したメモリ番号に登録されている相手が選択されています。

・100 の位や 10 の位の頭の 0 は省略できます。

おしらせ

● 他の検索方法に切り替える場合は、何も入力せずに を押し、電話帳一覧で Menu 6 を押して検索方法を選択します。

電話番号で検索する＜電話番号検索＞

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。

1 待受画面で Menu 4 1 6 を押す

2 電話番号の一部を入力する

1 件目の電話番号に設定されているアイコン

メモリ番号
（FOMA 端末電話帳のみ）

おしらせ

● 電話番号検索で該当する電話帳データが複数ある場合、FOMA 端末の電話帳はメモリ番号の順に表示されます。FOMA カード電話帳は次の順に表示されます。
① 50 音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号
● 他の検索方法に切り替える場合は、何も入力せずに を押し、電話帳一覧で Menu 6 を押して検索方法を選択します。

すばやく行検索する

ダイヤルキー 0 ～ 9 に割り当てられている文字から電話帳データを検索します。
- 前回使用した電話帳（FOMA 端末電話帳または FOMA カード電話帳）を検索します。

例「佐藤」を検索するとき

1 待受画面で 3 を押す

さ行のフリガナが登録されている電話帳一覧が表示されます。

- 検索結果画面では、0 ～ 9、#、*、◎ を押して行を切り替えることができます。

電話帳の登録内容を確認する

1 待受画面で を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 詳細表示する電話帳データを選択する

- ◎ を押すと前後の電話帳データの詳細画面が表示されます。
- 電話帳データに着信拒否／許可設定や発番号設定、シークレットコードが設定されている場合は、メモリ番号の右側に が表示されます。☛P121、P122、P166

メモリ番号
名前、フリガナ
グループ名
1 件目の電話番号（アイコン、種別、電話番号）および電話番号登録件数
1 件目のメールアドレス（アイコン、種別、メールアドレス）およびメールアドレス登録件数
画像（画像選択に動画を設定した場合、動画が再生されます）

FOMA 端末電話帳の詳細画面

名前、フリガナ
グループ名
電話番号
メールアドレス

FOMA カード電話帳の詳細画面

■ 詳細画面の登録内容をすべて表示するとき

① を押す
- 全登録内容を表示中に を押すと詳細（TOP）画面に戻ります。

■ 登録内容の詳細を表示するとき（FOMA 端末電話帳のみ）

① ◎ を押す

- ◎ を押すたびに「詳細（TOP）画面」から「詳細（メール）画面」「詳細（その他）画面」「詳細（電話）画面」の順に切り替わります。◎ を押すと逆の順に切り替わります。

- 詳細（メール）画面には、累積メール回数と最終メール日時が表示されます。
- 詳細（電話）画面には、累積通話回数と最終通話日時が表示されます。

おしらせ

● 累積通話回数／累積メール回数や最終通話日時／最終メール日時は、発信／送信した場合だけでなく、着信／受信した場合も対象になります。ただし、相手が電話に応答しなかったり、電波状況などの理由でｉモードメールが送信できなかったりした場合は、対象になりません。

電話帳修正

電話帳を修正する

電話帳に登録した電話帳データの内容を修正・コピーしたり、電話帳データ内の電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えたりします。また、2 つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えることができます。

登録内容を修正する

1 待受画面で 📖 を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 修正する相手にカーソルを合わせて Menu 3 を押す

3 電話帳データを修正する

- 各項目の詳細は、FOMA 端末に電話帳を登録する（☛P104）、または FOMA カードに電話帳を登録する（☛P108）を参照してください。

4 📖 を押す

- FOMA 端末電話帳の電話帳データを修正した場合、メモリ番号入力画面が表示されます。メモリ番号入力後に表示されるメッセージに従って、上書き登録か新規登録を選択してください。上書き登録を選択した場合は、メモリ番号入力で番号を変更していても、以前の電話帳データは破棄されます。新規登録を選択した場合は、再度メモリ番号入力が表示されるので、必要に応じて番号（0 ～ 699）を入力してください。
- FOMA カード電話帳の電話帳データを修正した場合、登録方法を選択する旨のメッセージが表示されるので、上書き登録か新規登録を選択します。

おしらせ

- FOMAカード電話帳の電話帳データの電話番号に「＊」が含まれている場合は上書き登録ができないことがあります。その場合は新規登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、新規登録されます。
- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモードに設定しないと修正できません。
- シークレットモード中に電話帳データを修正した場合、その電話帳データにはシークレット属性が設定されます。☛P123、P165
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目に登録されている電話番号やメールアドレスを削除すると、2件目以降、繰り上げ登録されます。

登録内容をコピーする

電話帳の検索結果画面から、電話帳データ中の内容をコピーできます。コピーした内容は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- コピーした内容は電源を切るまでFOMA端末に保持され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 保持できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと内容は上書きされます。

1 待受画面で [電話帳] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 コピーする相手にカーソルを合わせて [Menu] [7] を押す

3 [1] ～ [8] を押す

1 メール/URL起動
1 名前コピー
2 電話番号コピー
3 メールアドレスコピー
4 URLコピー
5 テキストメモコピー
6 住所コピー
7 会社名コピー
8 役職名コピー

該当項目のデータが一時的に記録されます。

4 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける ☛P521

おしらせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面、FOMAカード電話帳の電話帳一覧または詳細画面、自局番号の詳細画面から操作する場合は [Menu] を押し、「コピー」を選択します。
- 電話番号コピー、メールアドレスコピーでは、1件目に登録されている内容がコピーされます。2件目以降の電話番号やメールアドレスをコピーするには、FOMA端末電話帳や自局番号の各詳細画面で、コピーする電話番号やメールアドレスを選択します。

電話番号やメールアドレスの順番を入れ替える

電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合に、FOMA端末電話帳の検索結果画面から、電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えます。

例 電話番号の順番を入れ替えるとき

1 待受画面で [📖] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 目的の相手にカーソルを合わせて [Menu] [9] [2] [1] を押す

電話番号入替え
090XXXXXXXX

- メールアドレスの順番を入れ替えるときは[Menu] [9] [2] [2]を押します。

3 1 件目に登録する電話番号を選択する

選択した電話番号と 1 件目の電話番号が入れ替わります。

おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は [Menu] を押し、「設定／確認」→「入替え」→「電話番号入替え」または「メールアドレス入替え」を選択します。

メモリ番号を入れ替える

FOMA 端末電話帳の検索結果画面から、2 つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えます。

1 待受画面で [📖] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 目的の相手にカーソルを合わせて [Menu] [9] [2] [3] を押す

メモリ番号入替え先選択
電話帳一覧(1／3)
000 佐藤晃一
002 清水幸子
004 井上清徳
005 池田次郎
006 木下一郎
007 木村太郎
008 山田太郎
1 0 090XXXXXXXX

3 メモリ番号を入れ替える相手を選択する

メモリ番号が入れ替わります。

おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は [Menu] を押し、「設定／確認」→「入替え」→「メモリ番号入替え」を選択します。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

電話帳をコピーする

FOMA 端末電話帳から FOMA カードにコピーしたり、FOMA カード電話帳から FOMA 端末にコピーしたりします。また、FOMA 端末電話帳を miniSD メモリーカードへ 1 件コピーまたはバックアップ（全件）できます。**☛P393、P396**

- コピーする電話帳データのグループと同じ名前のグループがコピー先の電話帳に存在する場合は、そのグループにコピーされます。
- 次の項目がコピーされます。

■ FOMA 端末電話帳から FOMA カード電話帳にコピーされる項目

名前	名前をコピーします（全角で最大 10 文字、半角で最大 21 文字。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大 10 文字）。
フリガナ	フリガナをコピーします（半角で最大 25 文字、全角で最大 12 文字）。FOMA カードでは、半角カタカナは全角カタカナに置き換えられます。
電話番号	1 件目に登録されている電話番号をコピーします（最大 26 桁。FOMA カードの種類によっては最大 20 桁となります ☛P39）。タイマー（T）が登録されている場合は、タイマー（T）のみが削除されます。FOMA カード電話帳では、アイコンはすべて☎に置き換えられます。
メールアドレス	1 件目に登録されているメールアドレスをコピーします（半角で最大 50 文字）。FOMA カード電話帳では、アイコンはすべて📱に置き換えられます。

- FOMA カードに保存できる最大文字数を超えた部分は切り捨てられます。

■ FOMA カード電話帳から FOMA 端末電話帳にコピーされる項目

名前	名前にコピーされます。
フリガナ	フリガナにコピーされます。 FOMA 端末では、全角カタカナは半角カタカナに置き換えられます。
電話番号	電話番号にコピーされます。アイコンは☎が設定されます。
メールアドレス	メールアドレスにコピーされます。アイコンは📱が設定されます。

例 FOMA 端末電話帳を FOMA カード電話帳にコピーするとき

1 待受画面で [📖] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

■ **FOMA カード電話帳から FOMA 端末電話帳にコピーするとき**

① **待受画面で [Menu][4][1][📖] を押し、FOMA カード電話帳を検索する ☛P110**

FOMA カード電話帳の検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

- 前回 FOMA カード電話帳を利用した場合は、待受画面で [📖] を押すと FOMA カード電話帳の検索画面または検索結果画面が表示されます。

2 [Menu][8][3] を押す

電話帳

3 コピーする相手を選択する

- Menu を押すとすべての電話帳データを選択／解除できます（選択状況によりガイド行の表示が異なります）。

4 [電話帳] を押す

おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は Menu を押し、「赤外線／外部メモリ」→「FOMA カードへコピー」、FOMA カード電話帳の詳細画面から操作する場合は Menu を押し、「赤外線／メモリ内へコピー」→「メモリ内へコピー」を選択します。

電話帳

電話帳削除

電話帳を削除する

電話帳に登録されている 1 人分の電話帳データを削除します。

1 待受画面で [電話帳] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 削除する相手にカーソルを合わせて Menu 4 を押す

3 「はい」を選択する

1 人分の電話帳データが削除されます。

おしらせ

● FOMA 端末電話帳または FOMA カード電話帳の詳細画面から操作する場合は Menu を押し、「電話帳削除」を選択します。

電話帳に各種機能を設定する

FOMA 端末電話帳に登録されている電話帳データ内の電話番号ごとに、発信者番号の通知／非通知の設定やテレビ電話をかけるときの通信速度の設定ができます。また、メールアドレスごとにシークレットコードを設定できます。

- FOMA カード電話帳の電話帳データに対しては、ここで説明する機能を設定することはできません。

電話番号に発信者番号通知／非通知を設定する<発番号設定>

お買い上げ時　設定なし

FOMA 端末電話帳の検索結果画面から電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知を、電話番号ごとに設定します。

1 待受画面で [電話帳] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 設定する相手にカーソルを合わせて [Menu] [9] [1] [2] を押す

3 端末暗証番号を入力する

4 電話番号を選択する

5 [1] または [2] を押す

発番号設定
1 発番号通知
2 発番号非通知
3 設定なし

発番号設定が設定されます。

■ **発番号設定を解除するとき**

① **[3] を押す**

おしらせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は [Menu] を押し、「設定／確認」→「設定」→「発番号設定」を選択します。
- 「設定なし」に設定すると、発信者番号通知の設定に従って動作します。☛P47
- 発番号設定をした電話帳データの詳細（TOP）画面には、メモリ番号の右側に [!] が表示されます。☛P115
- 通話ごとに発信者番号の通知／非通知を指定したときは、電話番号ごとの発番号設定よりも優先されます。☛P55

テレビ電話をかけるときの通信速度を設定する＜テレビ電話通信速度設定＞

お買い上げ時　64K

FOMA 端末電話帳の検索結果画面からテレビ電話をかけるときの通信速度を、電話番号ごとに設定します。

1 待受画面で [電話帳] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 設定する相手にカーソルを合わせて [Menu] [9] [1] [5] を押す

3 電話番号を選択する

4 [1] または [2] を押す

テレビ電話通信速度設定
1 64K
2 32K

通信速度が設定されます。

おしらせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は [Menu] を押し、「設定／確認」→「設定」→「テレビ電話設定」を選択します。
- 通話ごとにテレビ電話の通信速度を指定した場合は、電話番号ごとの通信速度設定よりも優先されます。☛P56

メールアドレスにシークレットコードを設定する＜シークレットコード設定＞

相手がメールアドレス（携帯電話番号 @docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データのメールアドレスに設定しておくと、電話帳を検索して i モードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

1 待受画面で [電話帳] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 設定する相手にカーソルを合わせて [Menu] [9] [1] [4] を押す

3 端末暗証番号を入力する

4 メールアドレスを選択する

5 4桁のシークレットコードを入力する

・シークレットコード設定を解除するには、[クリア] または [クリア]（半押し）を1秒以上押してシークレットコードを削除してください。

おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は [Menu] を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレットコード設定」を選択します。
● シークレットコードを設定した電話帳データの詳細（TOP）画面には、メモリ番号の右側に [!] が表示されます。☛P115
● メールアドレスを「携帯電話番号+シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手にメール返信ができなくなります。「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。
● 自局番号に、シークレットコードは設定できません。

シークレット属性

他人に見られたくない電話帳を守る

他人に見られたくない電話帳データを、端末暗証番号を入力しないと呼び出せないシークレット属性をもったデータとして登録します。シークレット属性を設定するにはシークレットモード中に設定操作をする必要があります。

電話帳にシークレット属性を設定する

・FOMA カード電話帳データにはシークレット属性を設定できません。
・シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性の設定／解除はできません。

1 シークレットモードを設定する ☛P165

2 待受画面で [📖] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

3 設定する相手にカーソルを合わせて [Menu] [9] [1] [1] を押す

電話帳一覧(1/1)
岸田一郎
岸本陽子
木下一郎
木村太郎
小林純
090XXXXXXXX

選択している相手にシークレット属性が設定されていると点滅します。

■ **シークレット属性を解除するとき**
① **シークレット属性が設定されている電話帳データにカーソルを合わせて [Menu] [9] [1] [1] を押す**

おしらせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は Menu を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレット属性設定」を選択します。シークレット属性を解除する場合は Menu を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレット属性解除」を選択します。
- シークレットモード中に電話帳データを登録・修正した場合、その電話帳データにはシークレット属性が設定されます。
- シークレットモードを設定していないときは、着信画面、リダイヤル、着信履歴、受信メール一覧などに、シークレット属性が設定されている電話帳データの名前や登録された画像／動画は表示されません。また、電話帳データに設定した着信音やバイブレータも動作しません。
  名前の表示 ☛P103

シークレット属性を設定した電話帳を検索する＜シークレット検索＞

シークレット属性が設定されている電話帳データだけを検索します。

・シークレットモードを設定していないときは検索できません。

1 シークレットモードを設定する ☛P165

2 待受画面で Menu 4 1 7 を押す

・以降の操作は通常の検索方法と同じです。☛P110

おしらせ

- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモードを設定していないと検索できません。また、クイックダイヤルやクイックメールも利用できません。
- シークレットモードを設定してシークレット検索以外の検索を行うと、シークレット属性が設定されている電話帳データと設定されていない電話帳データの両方が検索の対象となります。
- 前回シークレット検索を行った状態で電話帳一覧を表示した場合、シークレットモードが設定されているときは、前回と同じシークレット検索結果画面が表示されます。シークレットモードが解除されているときは、メモリ番号検索画面が表示されます。

登録状況確認

電話帳の登録状況を確認する

FOMA 端末電話帳の登録件数やシークレット設定されている件数などを表示します。

1 待受画面で [📖] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 [Menu][9][4] を押す

3 確認が終わったら [●] を押す

おしらせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は [Menu] を押し、「設定／確認」→「登録件数確認」を選択します。
- FOMA カード電話帳で確認する場合は、電話帳一覧または詳細画面から [Menu] を押し、「登録件数確認」を選択します。
- 「登録件数」は、シークレット設定されている件数を含みます。

クイックダイヤル

少ないキー操作で電話をかける

FOMA端末電話帳のメモリ番号0～99の相手には、簡単な操作で電話をかけることができます。

・電話帳データの 1 件目の電話番号が電話をかける対象となります。

例 メモリ番号 2 の電話番号に電話をかけるとき

1 待受画面でメモリ番号（この場合は [2]）を入力して [📞] を押す

・メモリ番号の前に 0 などは付けずに入力します。上記画面で [0][2] のように入力すると、クイックダイヤルは利用できません。

・メモリ番号を入力して [📹] を押すと、テレビ電話をかけることができます。

おしらせ

- 入力したメモリ番号の電話帳データに電話番号が登録されていない、または FOMA 端末電話帳に電話帳データが 1 件も登録されていない場合は、[📞] または [📹] を押すと該当するデータがない旨の確認画面が表示されます。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

FOMA 端末から鳴る着信音を変える

お買い上げ時　電話：メロディ／パターン１　メール：メロディ／パターン１　チャットメール：メール連動
メッセージ R：メロディ／パターン１　メッセージ F：メロディ／パターン１
通話保留音：内蔵音（保留音・ボイス）　テレビ電話：メロディ／電話・メロディ A
スライドオープン：メロディ／スライド・オープン音１　スライドクローズ：メロディ／スライド・クローズ音１

電話がかかってきたときや、メールやチャットメール、メッセージ R/F を受信したときに鳴る音を設定します。また、通話保留中に鳴る音や、FOMA 端末を開閉したときに鳴る音を設定します。着信音に動画／ｉモーションを設定すると、電話やメールの着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。

・本機能の設定は、電話発着信設定、テレビ電話発着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定の着信音、および通話保留音設定の保留音にもそれぞれ反映されます。

1 待受画面で Menu 8 1 1 を押す

2 各項目を選択して設定する

音の設定
電話 メロディ
パターン1
メール メロディ
パターン1
チャットメール メール連動
パターン1
メッセージR メロディ

■ **電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージ R/F の着信音を設定するとき**

① **1 ～ 3 を押す**

・チャットメールの着信音を設定するときは、1 ～ 4 を押します。
・「メロディ」を選択したときは、着信音欄を選択してメロディを選択します。
　メロディ一覧の見かた☛P386
・「着モーション」を選択したときは、着信音欄を選択して動画／ｉモーションを選択します。設定できる動画／ｉモーションのファイルサイズは 500K バイトまでです。
　動画／ｉモーション一覧の見かた☛P368
・チャットメールの着信音を「メール連動」に設定している場合は、メール着信設定の着信音選択の設定に従います。

■ **通話保留音を設定するとき**

① **1 または 2 を押す**

・「選択音」を選択したときは、着信音欄を選択してメロディを選択します。
　メロディ一覧の見かた☛P386
・「内蔵音」を選択すると、通話保留中にメッセージが流れます。

■ **スライドオープン、スライドクローズの効果音を設定するとき**

① **1 または 2 を押す**

・「メロディ」を選択したときは、着信音欄を選択してメロディを選択します。
　メロディ一覧の見かた☛P386

3 📖 を押す

着信音が設定されます。

3D サウンドとは

3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカー（またはステレオイヤホンセット）を使用して、3次元で立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド機能によって、臨場感あふれるｉアプリのゲームや、着信音、ｉモーションなどをお楽しみいただけます。
3Dサウンド機能は、FOMA端末をおよそ20〜30cm（個人差があります）程度離し、スピーカーを自分に向けて聞いた場合に最も効果が現れます。正面から左右にずらした位置で聞いたり、近すぎたり遠すぎたりすると、効果が薄れてしまいます。メロディの動作設定のステレオ・3Dサウンドを「ON」に設定すると、3Dサウンドを立体音響でステレオスピーカーから再生することができます。お買い上げ時は「ON」に設定されています。☛P388

● 立体感の感じかたには個人差があります。違和感がある場合は、ステレオ・3D サウンド設定を「OFF」に設定してください。

おしらせ

● サウンドレコーダーで録音した音声も「着モーション」に設定できます。ただし、この場合、音声のみ再生され、画面には設定している発着信画像が表示されます。
● 次の場合は、FOMA 端末を開閉してもスライドオープン／スライドクローズの効果音は鳴りません。
・発信中
・着信中
・応答保留中
・アラーム音鳴動中
・メロディ再生中
・動画／ｉモーション再生中
・通話中
・伝言メモ応答ガイダンス再生中
・伝言メモ／音声メモ再生中
・動画撮影中
・マナーモード中
・キャラ電撮影中
・サウンドレコーダー録音中
・ｉアプリ起動中
● 音声と映像のある動画／ｉモーションを着信音に、発着信画像を「着信音連動」に設定しているときに着信音を「OFF」に設定し直すと、着モーションは再生されますが着信音量は消音になります。
● 発着信画像を「着信音連動」に設定しているとき、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）またはメロディを着信音に設定すると、発着信画像には標準画像が表示されます。
● 発着信画像に映像のみの動画／ｉモーションまたは Flash 画像を設定しているとき、音声のみの動画／ｉモーションを着信音に設定すると、発着信画像には標準画像が表示されます。
● 詳細情報（☛P405）の着信音設定が「不可」になっている動画／ｉモーションは「着モーション」に設定できません。また、映像のみの動画／ｉモーションは「着モーション」に設定できません。
● 着信音に音声のみの動画／ｉモーションを設定し、着信画像にアニメーション（標準画像を除く）を設定している場合は、アニメーションは動作せず、着信画面にはアニメーションの最初のコマが表示されます。
● 通話中に電話の着信があった場合、着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されているか、または着信画像に動画／ｉモーションを設定していると、着信画面には最初のコマが表示されます。
● スライドオープン／スライドクローズの効果音の音量は変更できません。
● スライドオープン／スライドクローズの効果音に 3D サウンド対応のメロディを設定することはできますが、3D 効果は無効になります。
● FOMA端末をすばやく開閉すると、スライドオープン／スライドクローズの効果音が鳴らない場合があります。

着信音の優先順位について

複数の機能で着信音が設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
①FOMA 端末電話帳の設定
②FOMA 端末電話帳グループ別の設定
③音の設定／電話発着信設定／テレビ電話発着信設定

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合は音声電話の着信音は発番号なし動作設定に、テレビ電話の着信音は音の設定のテレビ電話の設定／テレビ電話発着信設定に従います。
- 上記の優先順位によって発番号なし動作設定で設定した音や画像を利用することになった場合、設定した音や画像が削除されていると、削除後の設定画面に表示される音や画像と、実際に表示される音や画像が異なることがあります。
- 音声と映像のある動画／ｉモーションを「着モーション」に設定した場合は、電話帳に画像が設定されていてもこの画像は表示されず、音の設定の動画／ｉモーションが再生されます。ただし、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は設定された画像が表示されます。

メロディ一覧

お買い上げ時は次のメロディがメロディの「プリインストール」フォルダに登録されています。

- □のメロディは 3D サウンドに対応しています。
- ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。

曲名（【　】は作曲者）
パターン 1 ～ 5
電話・メロディ A
電話・メロディ B
電話・黒電話
電話・SuperBell"Z
電話・女性ボイス
メール・メロディ A
メール・メロディ B
メール・SuperBell"Z
メール・女性ボイス
メール・英語ボイス
アラーム・アナログ時計
アラーム・SuperBell"Z
アラーム・女性ボイス
スライド・オープン音 1 ～ 3
スライド・クローズ音 1 ～ 3

曲名（【　】は作曲者）
保留音・ボイス
ヴァーチャルトレイン
惑星から「火星」【HOLST GUSTAV】
おもちゃの兵隊のマーチ【JESSEL LEON】
森のくまさん【アメリカ民謡】
凱旋行進曲【VERDI GIUSEPPE】
Rhapsody in Blue【GERSHWIN GEORGE】
四季～冬～【VIVALDI ANTONIO LUCIO】
ツァラトゥストラはかく語りき【STRAUSS RICHARD】
SUMMERTIME【GERSHWIN GEORGE】
ジムノペディ第 1 番【SATIE ERIK ALFREDI LE】
ループ&ループ【後藤正文】
Heaven Is A Place On Earth【NOWELS RICHARD W JR】【SHIPLEY ELLEN】

録音許諾番号：T-0490234
※作曲者名は JASRAC ホームページに準拠して表記しています。

JASRAC

着信やアラームを振動で知らせる

お買い上げ時　すべて OFF

音声電話やテレビ電話着信時、メールやチャットメール、メッセージ R/F 受信時に振動でお知らせします。

- バイブレータを設定して机などの上に置いたままにすると、バイブレータが動作したときに振動で落下する恐れがあります。
- 本機能の設定は、電話発着信設定、テレビ電話発着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定のバイブレータにもそれぞれ反映されます。

1 待受画面で Menu 8 1 7 を押す

2 設定する項目を選択する

- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、「チャットメール」を選択できない旨のメッセージが表示されます。

3 1 ～ 5 を押す

パターン A　：0.5 秒振動→ 0.5 秒停止→ 0.5 秒振動→ 1.5 秒停止の繰り返しで振動します。
パターン B　：1 秒振動→ 2 秒停止の繰り返しで振動します。
パターン C　：0.25 秒振動→ 0.25 秒停止の繰り返しで振動します。
メロディ連動：音の設定で設定したメロディに合わせて振動します。

- メロディによっては「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。また、主旋律に連動しないことがあります。

OFF　：振動しません。

- ◎を押すとカーソル位置のパターンで約 60 秒間振動します。ただし、「メロディ連動」や「OFF」の場合は振動しません。

4 □ を押す

バイブレータが設定され、着信時やアラーム通知時に FOMA 端末が振動します。
電話のバイブレータを設定したときは、待受画面に が表示されます。

- 電話の着信音量を「消音」に設定しているときは が表示されます。

おしらせ

- バイブレータ設定中でも、Flash 画像の効果音が鳴った場合は振動しないことがあります。
- スケジュールアラーム／予告アラーム開始日時になったときは、「電話」の設定パターンで振動します。
- 電話帳の電話着信バイブレータ、メール着信バイブレータを設定している場合は、電話帳の設定が優先され、次にグループ別の設定が優先されます。
- 通話中に着信があった場合は振動しません。

キー確認音設定

キーを押したときに鳴る音を設定する

お買い上げ時　キー確認音 1

1 **待受画面で Menu 8 1 4 を押す**

2 **1 ～ 4 を押す**

キー確認音設定
1 キー確認音1
2 キー確認音2
3 キー確認音3
4 OFF

・ を押すとカーソル位置のキー確認音が鳴ります。ただし、「OFF」の場合はキー確認音は鳴りません。

おしらせ

● 次の音は本機能を「OFF」に設定すると鳴らなくなります。
　・電池レベル表示時の確認音
　・赤外線通信やデータ送受信時の通信終了音
● キー確認音の音量は受話音量に連動します。☛P67
● 次の場合は本機能を「OFF」以外に設定しても、キー確認音は鳴りません。
　・マナーモードを設定している場合（オリジナルマナーモード中で、オリジナルマナーモード設定のキー確認音を「OFF」以外に設定している場合以外）
　・ｉアプリを起動している場合（ を押すと鳴ります）
　・プロテクトキーをスライドさせた場合
　・ を押して伝言メモ／音声メモメニューを表示する場合、クイック伝言メモを録音する場合、カメラを起動したり撮影する場合など（ を押したときと同じ動作をする場合以外）
● 次の場合は本機能を「OFF」に設定していても、キー確認音は鳴ります。
　・通話中にダイヤルキーを押した場合（受話口からプッシュ音（DTMF）が聞こえます）

充電確認音設定

充電時の確認音を設定する

お買い上げ時　ON

充電の開始／終了時に確認音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

1 **待受画面で Menu 8 1 9 を押す**

2 **1 または 2 を押す**

おしらせ

● マナーモード中、ドライブモード中は本機能を「ON」に設定しても、充電確認音は鳴りません。

通話品質アラーム設定

通話が切れそうなときにアラームで知らせる

お買い上げ時　アラーム高音

通話状態が悪く、途中で音声通話が途切れてしまう恐れのある場合、直前にアラーム音を鳴らしてお知らせします。

- 急に通話状態が悪くなった場合は、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- 本機能は音声電話にのみ有効です。

1 待受画面で Menu 8 7 4 を押す

2 1 または 2 を押す

■ **通話品質アラームを鳴らさないとき**

① 3 を押す

マナーモード

電話から鳴る音を消す

お買い上げ時　未設定

周囲の迷惑にならないように、着信を振動で知らせたり、キーを押したときの確認音を消したりして、FOMA 端末からの音を鳴らさないように設定できます。

1 待受画面で Menu または # を1秒以上押す

マナーモード
を設定しました

マナーモード選択で指定したマナーモードが起動し、待受画面に（マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。

- プロテクトキーロック中は、FOMA 端末を閉じた状態で、Menu を 1 秒以上押してもマナーモードの設定／解除はできません。

■ **マナーモードを解除するとき**

① **マナーモード中に待受画面で Menu または # を1秒以上押す**

マナーモードが解除され、待受画面からまたはが消えます。

通常マナーモードを設定すると

着信音、キー確認音、アラーム音など FOMA 端末から出るすべての音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

- アラーム設定時、マルチイルミネーションランプとバイブレータの動作はアラーム設定に従います。☛P429
- スケジュール設定時、マルチイルミネーションランプはイルミネーション設定のスケジュールの設定に従い、マナーモードのバイブレータによる振動で動作します。
- 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して受信メールや受信メッセージ R/F を表示しても、メロディは再生されません。
- 動画／ｉモーションやメロディの再生時には、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ

- マナーモード中でも、カメラ撮影時の撮影確認音（シャッター音）は鳴ります。

マナーモードを変更する

お買い上げ時　通常マナーモード

マナーモードを起動したときに、通常マナーモードとオリジナルマナーモードのどちらのマナーモードに設定するかを選択します。また、マナーモードの設定は変更できます（オリジナルマナーモード設定）。

• マナーモード中でもオリジナルマナーモードの設定を変更できます。

1 待受画面で Menu 8 1 6 を押す

2 2 を押す

マナーモード選択
1 通常ﾏﾅｰﾓｰﾄﾞ
2 ｵﾘｼﾞﾅﾙﾏﾅｰﾓｰﾄﾞ

通常マナーモード
：FOMA 端末から出る音を消し、着信を振動でお知らせします。☛P133

オリジナルマナーモード
：バイブレータ、着信音量やキー確認音などを自由に設定します。

• 1 を押すと通常マナーモードで動作するように設定され、1 つ前の画面に戻ります。

3 各項目を選択して設定する

バイブレータ：電話の着信中やメール受信中のバイブレータの動作を設定します。
• 「ON」に設定すると、着信や受信をバイブレータ設定に従って振動で知らせます。
• 「OFF」に設定すると、バイブレータは動作しません。

キー確認音：キー確認音を設定します。

電話着信音量：電話の着信があったときの着信音の音量や i アプリの音量を設定します。

メール着信音量：メールの受信があったときの着信音の音量を設定します。

電池アラーム音：電池が切れそうなとき、アラームを鳴らすかどうかを設定します。

アラーム／スケジュール音
：アラーム設定やスケジュールの設定日時になったとき、アラームやスケジュールアラームを鳴らすかどうかを設定します。
• 「ON」に設定すると、アラーム音はアラーム設定に従います。スケジュールアラームの音量は、オリジナルマナーモードの「電話着信音量」に従います。

マイク感度 UP：マイクの感度を設定します。

4 📖 を押す

オリジナルマナーモードの内容が設定されます。

待受画面の表示を変更する

待受画面に表示されている画像を別の画像や動画／ｉモーション、キャラ電、カレンダーに変更します。また、ｉアプリ待受画面を設定したり、時計や各種情報表示を設定（カスタム待受画面）したりすることもできます。

- 画像や動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリによっては、ダウンロード時と同じFOMAカードを挿入していないと、待受画面設定が無効になるものがあります。
- オールロック中、PIMロック中（PIMロックの対象となっているデータを待受画面に設定している場合）は、設定した待受画面が解除され、一時的にお買い上げ時の画像が表示されます。ロックを解除すると設定した待受画面が再度表示されます。ただし、「プリインストール」フォルダ内の画像を設定している場合は、PIMロック中でも変更されません。
- 時計の表示を設定するには☛P148

画像／動画／ｉモーション／キャラ電を待受画面に設定する

ｉモードのサイトやメールから保存した画像・ｉモーション・キャラ電や、FOMA端末で撮影した静止画や動画などを待受画面に設定します。また、アニメーション、パラパラマンガ、連写画像なども設定できます。

1 **待受画面で Menu 8 2 1 を押す**

2 **1 〜 3 を押す**

待受画面設定
1 イメージ設定
2 ｉモーション設定
3 キャラ電設定
4 ｉアプリ設定
5 カレンダー設定
6 時計表示設定
7 画面のカスタマイズ
8 イメージ以外を解除

3 **フォルダを選択して待受画面に設定する画像／動画／ｉモーション／キャラ電を選択する**

■ **待受画面に設定したキャラ電のアクションを設定するとき**

① **キャラ電一覧画面でキャラ電にカーソルを合わせて Menu を押す**

② **通常欄からアクションの種類を選択し、動作を選択する**

- 不在着信、未読メールがあるときのアクションも同様に設定します。
- 「直接入力」を選択した場合、アクションに対応している数値を入力してください。☛P380
- 「OFF」に設定すると、優先順位の高い項目のアクション設定に従ってアクションします。すべての項目のアクションを「OFF」に設定すると、キャラ電にあらかじめ設定されているアクションを繰り返します。

③ **アクション間隔欄からアクションを繰り返す間隔（1〜5秒）を選択する**

- 「OFF」に設定すると最初の1回のみ選択したアクションが動作します。

④ **📖 を押す**

4 「はい」を選択する

画像、動画／ｉモーション、キャラ電が待受画面に設定されます。

- ｉモーションを待受画面に設定すると、最初のコマが待受画面に表示されます。
- 選択した画像、動画／ｉモーション、キャラ電が拡大表示できる場合は、等倍表示するか拡大表示するかの確認画面が表示されます。「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて画像を拡大して待受画面に表示します。
- 既にｉアプリ待受画面が設定されているときは、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、選択した画像、動画／ｉモーション、キャラ電が待受画面に設定されます。

おしらせ

● キャラ電の複数の項目にアクションを設定している場合は、次の優先順位に従ってキャラ電はアクションします。

① 不在着信、未読メール

② 通常

・①と②が同時に設定されていると、不在着信と未読メールの両方が存在する場合は、それぞれに設定されているアクションを交互に繰り返します。また、不在着信、未読メールの両方が存在しない場合は、通常のアクションが動作します。

待受画面に設定したｉモーションやアニメーションを再生するには

● ｉモーションの場合は次の操作ができます。

クリア／FOMA 端末を開く：再生

クリア／FOMA 端末を閉じる／PWR：停止

◎：音量調整

● アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash 画像の場合は次の操作ができます。

クリア／PWR／FOMA 端末を開く／待受画面に戻る／電源を入れる：再生

クリア：一時停止／再開

PWR：停止／先頭から再生

FOMA 端末を閉じる：停止

● キャラ電の場合は次の操作ができます。

クリア／FOMA 端末を開く：再生（アクション間隔を設定しているときは、設定した間隔でアクションが繰り返し再生されます。）

クリア／FOMA 端末を閉じる／PWR：停止

お買い上げ時に登録されている待受画面サイズの画像／動画／キャラ電

■ 画像

（お買い上げ時）

3 種類のアニメーションがランダムに表示されます。

■ 動画

■ キャラ電 ☞P378

おしらせ

- アニメーションは最大 16 回まで繰り返して再生します。
- Flash 画像やキャラ電を待受画面に設定すると、一定時間再生後に一時停止します。待受画面に設定された Flash 画像のメロディは再生されません。
- アニメーションを拡大表示で設定した場合、表示が乱れる場合があります。
- 再生回数や再生期限などの制限が設定されているコンテンツは、待受画面に設定できません。
- テロップ中にリンクのある動画／ｉモーションを待受画面に設定しても、待受画面から Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web To 機能は利用できません。
- ｉモーションやキャラ電を待受画面に設定した場合の時計表示は「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。

ｉアプリ待受画面を設定する

ｉアプリ待受画面に対応しているソフトを待受画面に設定します。

- ｉアプリ待受画面表示中に [クリア] を押すと、ｉアプリ待受画面に設定しているソフトが起動し、ソフトの操作や設定ができます。
- ｉアプリ待受画面に、複数のソフトを設定することはできません。
- お買い上げ時に登録されている Dimo 絵文字メールはｉアプリ待受画面に設定できます。

1 待受画面で [Menu] [8] [2] [1] [4] を押す

ｉアプリ待受画面に対応したソフトが一覧表示されます。

2 ソフトを選択して、「はい」を選択する

ｉアプリ待受画面が設定され、待受画面に または が表示されます。

おしらせ

- ネットワークに接続して通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。また、ソフトや設定によっては自動的に通信を行います。
- ｉアプリ待受画面を解除すると、その前に設定していた待受画面に戻ります。
- プライバシーモード起動中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）は、ｉアプリ待受画面を設定しても動作しません。また、ｉアプリ待受画面設定後にプライバシーモードを起動（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）すると、ｉアプリ待受画面は解除され、その前に設定していた待受画面が表示されます。プライバシーモードを解除すると、ｉアプリ待受画面に戻ります。
- PIM ロック中は、ｉアプリ待受画面は表示されず、その前に設定されている待受画面が表示されます。ただし、PIM ロックの対象となっているデータを設定しているときは、お買い上げ時に設定されている待受画面が表示されます。
- ｉアプリを待受画面に設定した場合の時計表示は「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。

待受画面にカレンダーを設定する

・日付・時刻が設定されていないときは、待受画面にカレンダーは表示されません。

1 待受画面で Menu 8 2 1 5 を押す

2 「はい」を選択する

・既に i アプリ待受画面が設定されているときは、i アプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、i アプリ待受画面を解除して、カレンダーが待受画面に設定されます。

おしらせ

● カレンダーを待受画面に設定した場合の時計表示は「小さく表示」に、表示位置は「上」になります。
● 画像とカレンダーは同時に設定できますが、アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash 画像を設定している場合は、再生が停止／一時停止したときにカレンダーが表示されます。

待受画面の表示をカスタム設定する

待受画面をいくつかのエリア（領域）に分割し、それぞれのエリアに未読メール、不在着信などの新着情報やメモ、カレンダー、スケジュールを表示するように設定します。

・エリアの分けかたは次の 7 種類から選択できます。

1 待受画面で Menu 8 2 1 7 を押す

2 を押してパターンを切り替え、エリアを選択する

3 1 ～ 5 を押す

選択したエリアに表示する情報が設定されます。

・複数のエリアがある場合は、設定するエリアを選択して操作 3 を繰り返します。
・画面の半分に満たないエリア（パターン 3 のエリア 1 設定など）には、カレンダーは設定できません。

■ 新着情報を設定するとき

① 2 を押す
② 表示する情報を選択する
③ 📖 を押す

■ メモを設定するとき

① 3 を押す
登録済みのメモの一覧が表示されます。
② 表示するメモを選択する
・📖 を押すとメモの内容が表示されます。クリア または /クリア を押すとメモ一覧に戻ります。

4 📖 を押し、「はい」を選択する

・既に i アプリ待受画面が設定されているときは、i アプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、i アプリ待受画面を解除して、カスタム待受画面が設定されます。

おしらせ

● 表示する情報を設定したエリアと待受画面の時計表示が重なる場合は、時計は表示サイズが「小さく表示」に、表示位置が「上」になります。

カスタム待受画面の情報を確認する

1 待受画面で ◉ を押す

一番上のエリアが赤のカーソル枠で表示されます。

2 エリアを選択する

おしらせ

● イメージ設定でアニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash 画像を設定していた場合、再生が停止／一時停止したときに情報が表示されます。

各情報の表示内容について

カスタム待受画面と各種情報は次のように表示されます。
- 表示される情報の件数・行数はエリアのサイズによって異なります。
- 各情報の日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

■ 新着情報

未読メール、メッセージ R、メッセージ F、不在着信、伝言メモのうち、選択している項目が新しい順に一覧表示されます。エリアを選択すると、先頭の項目の一覧画面が表示されます。

未読メール一覧：受信日時と題名の先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

R メッセージ R ／ F メッセージ F：受信日時とタイトルの先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、メッセージ R またはメッセージ F の一覧が表示されます。

不在着信一覧：着信日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、着信履歴の一覧が表示されます。

伝言メモ一覧：録音日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。

■ メモ

メモ帳に登録されている内容の冒頭部分が表示されます。エリアを選択すると、メモの詳細が表示されます。

■ スケジュール

開始日時が経過していないスケジュールが日時の早い順に表示されます。エリアを選択すると、先頭のスケジュールの詳細が表示されます。
- アイコン、日時、内容の冒頭部分が表示されます。
- 当日を含む日付をまたいだ長期間スケジュールは、終了日時が経過するまで表示されます。また、開始日時が現在の日時を過ぎている場合は、アイコンの代わりに「開始日付～」と表示され、当日のスケジュールの下方に並びます（開始日時順）。
- 終日に設定したスケジュールが当日の場合は、開始時刻の代わりに「終日」と表示されます。

■ カレンダー

当月のカレンダーが表示されます。エリアを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。

おしらせ

- 同一日に当日スケジュールと日付をまたいだ長期間スケジュールが登録されている場合、カスタム待受画面には長期間スケジュールが表示されます。ただし、当日スケジュールが終日に設定されている場合や、当日スケジュールの開始時刻になっていない場合は、カスタム待受画面にはどちらのスケジュールも表示されます。
- シークレットモードを設定していないとき、シークレット属性が設定されているスケジュールは、カスタム待受画面には表示されません。また、電話帳にシークレット属性が設定されている相手から電話の着信や伝言メモの録音があった場合、シークレットモードを設定していないと、不在着信一覧や伝言メモ一覧を設定した新着情報エリアに名前は表示されず、電話番号が表示されます。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴、メール、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、すべての未読メール、不在着信履歴、伝言メモ、スケジュールが新着情報エリアやスケジュールのエリアに表示されません。
- プライバシーモード起動中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、フォルダ設定のプライバシーが「ON」のフォルダ以外の未読メールが表示されます。
- 表示する内容がない領域は、エリアと背景は表示されません。
- PIM ロック中は、メモ帳、スケジュールのエリアに PIM ロック中である旨のメッセージが表示され、内容は表示されません。また、新着情報エリアには PIM ロック設定後の不在着信だけが表示されます。

静止画以外の設定を解除するとき

ｉ モーション、キャラ電、ｉ アプリ待受画面、待受カレンダー、カスタム待受画面の設定を解除し、画像を待受画面に表示します。

1 **待受画面で Menu 8 2 1 8 を押す**

2 **「はい」を選択する**

- 解除する前に画像を設定している場合はその画像、設定していない場合はお買い上げ時の画像が設定解除後の待受画面に表示されます。

発着信画面表示設定

電話やメールの発着信時に表示する画像を変更する

電話の発着信時やメールの送受信時、ｉ モード問合せ時に表示される画像を設定します。

電話発着信時の画面を変更する＜電話発着信画像設定＞

お買い上げ時　人物画像表示：ON　イメージ表示：標準画像

音声電話の発着信時に表示される画像を設定します。また、電話の発着信時に電話帳データに登録した相手の画像を表示するように設定することもできます。

- 本機能の設定は、電話発着信設定の人物画像表示およびイメージ表示にもそれぞれ反映されます。

1 **待受画面で Menu 8 2 2 1 を押す**

2 各項目を選択して設定する

電話発着信画像設定
人物画像表示 ON
イメージ表示 標準画像
イメージ一覧 画像選択

人物画像表示 ：音声電話やテレビ電話の発着信時にFOMA端末電話帳に登録されている画像を表示するかどうかを設定します。
- 登録されている画像がｉモーションの場合、発信時は最初のコマが表示され、着信時は着モーションとして再生されます。
- 電話帳グループ設定の発着信画像の設定には反映されません。

イメージ表示 ：FOMA端末電話帳に登録されていない相手との電話の発着信時や、人物画像表示を「OFF」に設定しているときに表示する画像を設定します。
- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
- 「ｉモーション」を選択したときは、「画像選択」を選択して動画／ｉモーションを選択します。

3 [電話帳キー] を押す

音／画面／照明設定

おしらせ
- 「イメージ」にパラパラマンガ、連写画像を設定すると、最初のコマが表示されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定しているとき、発着信画像をJPEG形式またはGIF形式の静止画から、映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像に設定し直すと、着信音は標準のメロディ（パターン1）になります。
- 音の設定の電話や電話発着信設定で音声と映像のある動画／ｉモーションを「着モーション」に設定した場合は、「イメージ表示」は「着信音連動」になり「イメージ一覧」は選択できません。このとき、発信画像は標準画像に、着信画像は設定した動画／ｉモーションの映像になります。
- 詳細情報（☛P405）の着信画面設定が「不可」になっている動画／ｉモーションは発着信画像に設定できません。また、音声のある動画／ｉモーションは発着信画像に設定できません。
- 着信音に音声のみの動画／ｉモーションを設定し、着信画像にアニメーション（標準画像を除く）を設定している場合は、アニメーションは動作せず、着信画面にはアニメーションの最初のコマが表示されます。
- 通話中に電話の着信があった場合、着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されているか、または着信画像に動画／ｉモーションを設定していると、着信画面には最初のコマが表示されます。
- 発着信画像を「着信音連動」からそれ以外の項目に設定し直すと、着信音は標準のメロディ（パターン1）になります。

発着信画像の優先順位について

複数の機能で発着信画像が設定されている場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

①FOMA端末電話帳の設定※
②FOMA端末電話帳グループ別の設定
③発着信画面表示設定／電話発着信設定／テレビ電話発着信設定

※：発着信画面表示設定で人物画像表示が「ON」のときに有効になります。

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合は音声電話の着信画像は発番号なし動作設定に、テレビ電話の着信画像はテレビ電話発着信設定に従います。
- 上記の優先順位によって発番号なし動作設定で設定した音や画像を利用することになった場合、設定した音や画像が削除されていると、削除後の設定画面に表示される音や画像と、実際に表示される音や画像が異なることがあります。

メール送受信時や問合せ時の画面を変更する<メール送受信画像設定／問合せ画像設定>

お買い上げ時　イメージ表示：標準画像

• ｉモード問合せ時に表示される画像にFlash画像を設定できません。

1 **待受画面で Menu 8 2 2 を押す**

2 **2 ～ 4 を押す**

• メール送信時に表示される画像を設定するときは 2 を押します。
• メール受信時に表示される画像を設定するときは 3 を押します。
• ｉモード問合せ時に表示される画像を設定するときは 4 を押します。

3 **画像を選択して登録する**

• 以降の操作は、電話発着信画像設定の「イメージ表示」と同じです。☛P142

おしらせ

● メール送信画面の画像を変更した場合は、ｉモードメールおよびショートメッセージ（SMS）の送信時に設定した画像が表示されます。
● メール受信画像および問合せ画像を変更した場合は、ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fの受信時および問合せ時に設定した画像が表示されます。

着信時に相手の名前や電話番号を表示する<着信表示設定>

お買い上げ時　電話番号：表示する　名前：通常表示

電話がかかってきたときに、名前と電話番号を表示するかどうかを設定します。また、名前の文字サイズも設定できます。

• 名前の表示については☛P103

1 **待受画面で Menu 8 2 2 5 を押す**

2 **各項目を選択して設定する**

電話番号：電話がかかってきたときに電話番号を表示するかどうかを設定します。

名前：電話がかかってきたときに名前を表示するかどうかや、表示する文字サイズを設定します。

3 **📖 を押す**

ディスプレイとキーの照明を設定する

お買い上げ時　照明方法：点灯　点灯時間：10秒　範囲：ディスプレイ＋キー
明るさ：標準　ACアダプタ接続時動作：端末設定に従う

1 待受画面で Menu 8 2 5 を押す

2 各項目を選択して設定する

照明方法：照明を点灯するかしないかを設定します。
- 「点灯」に設定すると、点灯時間で設定した時間点灯します。
- 「消灯」に設定すると、照明は点灯しません。また、点灯時間・範囲・明るさは設定できません。

点灯時間：照明の点灯時間を設定します。

範囲：ディスプレイのみを点灯させるか、ディスプレイとキー部分を点灯させるかを設定します。
- 「ディスプレイ ＋ キー」に設定したときに点灯するキーは、（発信）、（PWR）、（決定）、（クリア）、0～9、＊、＃です。

明るさ：ディスプレイが点灯するときの明るさを設定します。

ACアダプタ接続時動作
：別売りのACアダプタ（卓上ホルダ）やDCアダプタに接続したときのディスプレイの点灯動作を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイは上記の設定に従って点灯します。
- 「常時点灯」に設定すると、ディスプレイは「高輝度」で点灯します。

3 （電話帳）を押す

おしらせ
- 照明設定の点灯時間を「常時」以外に設定しているとき、約90秒間何も操作せずにいると、ディスプレイが自動的に消灯します（カメラ撮影中などを除く）。キー操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。
- 照明方法を「点灯」に設定していても、プロテクトキーロック中は、FOMA端末を閉じた状態でキーを押してもディスプレイやキーは点灯しません。ただし、（PWR）を押したときは、ディスプレイが点灯します。

カラーテーマ設定

画面のカラー配色を変更する

お買い上げ時　ダイヤモンドブルー

1 待受画面で Menu 8 2 3 を押す

2 1 ～ 9 を押す

カラーテーマ設定 1/3
1 ダイヤモンドブルー
2 プライマリーブラック
3 ホワイトスモーク
4 ブルシャンブルー
5 アフリカ
6 グリーンインディゴ
7 パーシアンレッド
8 ジャングルグリーン
9 クロームグリーン

- を押してページを切り替えられます。
- を押して配色の種類にカーソルを合わせると、その配色で画面が表示されます。

おしらせ

● カラーテーマ設定を変更しても、サイト画面の配色には反映されません。

メニューのデザインを変更する

メニュー画面のアイコンや背景画像を変更して、2 パターンのオリジナルメニューを作成できます。

- オリジナルメニューに設定できる画像の最大サイズは、アイコンが 96 × 96 まで、背景画像が 240 × 240 までです。最大サイズを超えた画像は縮小して設定されます。

1 待受画面で Menu を押す

2 アイコンデザイン欄で「カスタム 1」または「カスタム 2」を選択し、「カスタマイズ」を選択する

メニュー設定
ノーマル タイルアイコン
カスタム タイルアイコン
機能説明表示 ON
アイコンデザイン カスタム1
カスタマイズ
アイコン拡大表示 OFF
起動メニュー ノーマル

3 アイコンを変更する機能を選択し、画像フォルダ一覧から画像を選択する

- 他の機能のメニューアイコンも同様に設定します。

■ **メニューアイコンを解除するとき**

① **解除するアイコンにカーソルを合わせて Menu 1 を押し、「はい」を選択する**

- 全件解除するときは、Menu 2 を押し、「はい」を選択します。

つづく

4 ✉ を押し、画像フォルダ一覧からメニュー画面の背景画像を選択する

■ 背景を解除するとき

① Menu 4 を押し、「はい」を選択する

5 📖 を 2 回押す

おしらせ

- パラパラマンガや Flash 画像、アイテムフォルダ内の画像は設定できません。また、GIF 形式の画像を設定すると最初のコマが表示されます。
- PIM ロック中は、アイコンデザインの「カスタム１」、「カスタム２」を変更できません。

電池マーク設定

電池残量のマークを変更する

お買い上げ時

1 待受画面で Menu 8 2 4 を押す

2 1 ～ 3 を押す

電池マーク設定

1
2
3

イルミネーション設定

マルチイルミネーションランプの点滅パターンを設定する

お買い上げ時　新着通知：OFF　通話中：OFF　テレビ電話着信：パターン４　音声着信：パターン４
メール着信：パターン８　メッセージ R 着信：パターン８　メッセージ F 着信：パターン８
チャットメール着信：パターン８　アラーム：パターン 11　スケジュール：パターン 11
メロディ再生:メロディ連動　スライドオープン:パターン 14　スライドクローズ:パターン 15

不在着信や未読メールなどの新着情報があるときに､マルチイルミネーションランプを点滅させるかどうかを設定します。また、通話中や着信時、メロディ再生時、FOMA 端末の開閉時などにマルチイルミネーションランプが点滅するパターンを設定します。

1 待受画面で Menu 8 2 6 を押す

2 新着通知欄を選択して [1] または [2] を押す

イルミネーション設定
新着通知 OFF
通話中 OFF
テレビ電話着信 パターン4
音声着信 パターン4
メール着信

・「ON」に設定すると、不在着信（電話／テレビ電話／伝言メモ）があるときは約 13 秒ごとに 2 回、未読情報（メール／チャットメール／ショートメッセージ（SMS）／メッセージ R/F）があるときは約 10 秒ごとに 1 回マルチイルミネーションランプが点滅します。新着情報を確認すると点滅は停止します。
・「OFF」に設定すると、新着情報があってもマルチイルミネーションランプは点滅しません。

3 設定する項目を選択して [1] ～ [9] を押す

・「通話中」の場合は、「メロディ連動」は設定できません。
・ を押してページを切り替えられます。
・ を押すとカーソル位置のパターンでマルチイルミネーションランプが点滅します。ただし、「メロディ連動」や「OFF」の場合は点滅しません。
・チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、「チャットメール着信」を選択できない旨のメッセージが表示されます。

4 [m] を押す

おしらせ

● 新着通知を「ON」に設定しているとき、新着情報に複数の項目がある場合は、次の優先順位に従ってマルチイルミネーションランプが点滅します。
① 不在着信（電話／テレビ電話／伝言メモ）
② 未読情報（メール／チャットメール／ショートメッセージ（SMS）／メッセージ R/F）
● 新着通知を「ON」に設定中、最初に新着情報があったときから約 10 時間（不在着信だけのときは約 13 時間）新たに新着情報がないときや、ディスプレイの着信情報件数を示すマーク（ ）を消去した場合は、情報を確認していない場合でもマルチイルミネーションランプの点滅は停止します。
● メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。
● 音の設定で以下の着信音に「着モーション」または「OFF」を設定している場合、点滅パターンを「メロディ連動」に設定していても、お買い上げ時の設定で点滅します。

・電話	・メール	・チャットメール	・メッセージ R
・メッセージ F	・テレビ電話	・スライドオープン	・スライドクローズ

● FOMA 端末電話帳に着信動作を設定している相手から電話の着信やメールの受信があった場合は、その設定に従って動作します。

フォント設定

文字の大きさを変更する

お買い上げ時　中（標準）

全画面入力で文字を入力するときの、文字サイズを変更できます。

• 文字サイズは 5 種類から選択できます。

最小：12 ドット　小：16 ドット　中（標準）：20 ドット　大：24 ドット　最大：28 ドット

1 待受画面で Menu 8 2 7 を押す

2 1 ～ 5 を押す

フォントが設定されます。

• を押すとカーソル位置の文字サイズで例が表示されます。

おしらせ

● メール本文の文字サイズは変更されません。

● サイト画面やメッセージ R/F を表示するときの文字サイズも変更されます。ただし、本機能の設定が「最小」の場合は「小」、「最大」の場合は「大」の文字サイズで表示されます。

● インライン入力時の文字サイズは変更されません。

時計表示設定

時計の表示を設定する

お買い上げ時　待受時計：大きく表示　形式：24 時間表示　時計デザイン：タイプ 1
表示位置：上　曜日：バイリンガルに従う

待受画面の時計表示の有無や、時計の表示サイズ、デザイン、表示位置を設定できます。また、時刻の表示形式（24 時間／ 12 時間）や曜日の表示言語も設定できます。

タイプ 2 の時計を大きく、中部に、24 時間で表示したとき

タイプ 3 の時計を小さく、下部に、12 時間で表示したとき

時計を表示しないとき

1 待受画面で Menu 8 5 4 を押す

2 各項目を選択して設定する

待受時計　：時計を表示するかどうかを設定します。また、表示するときの時計のサイズを設定します。

形式　：時計の表示形式を 12 時間表示と 24 時間表示のどちらで表示するかを設定します。

時計デザイン：時計のデザインを設定します。

表示位置　：時計を表示する位置を設定します。

曜日　：曜日を日本語と英語のどちらで表示するかを設定します。
- 「バイリンガルに従う」に設定すると、バイリンガルの設定に従って表示します。

3 [📖] を押す

おしらせ

● 待受画面設定で時計表示を設定するには、待受画面で Menu 8 2 1 6 を押します。

● 次の場合に時計と表示エリアが重なるときは、本機能の設定に関わらず、時計は小さく上部に表示されます。
- 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、カレンダーが表示されている場合
- ｉアプリ待受画面が表示されている場合
- カスタム待受画面で、表示する内容が設定されているエリアと時計の表示位置が重なる場合

バイリンガル

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時　FOMA カードの設定に従う

1 待受画面で Menu 8 2 8 を押す

2 2 を押す

英語表示に設定されます。
- 英語表示に切り替えると、文字入力モードは「半角英字」→「半角数字」→「漢字」→「半角カタカナ」の順に切り替わります。

■ 日本語表示に切り替えるとき

① 1 を押す

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

FOMA 端末で利用する暗証番号について

FOMA 端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA 端末を活用してください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます。

• 端末暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA 端末※、ご利用中の FOMA カード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
※：契約者ご本人が購入された携帯電話でない場合、受付できない場合があります。

ネットワーク暗証番号

各種ネットワークサービスご利用時やドコモｅサイトでの各種手続き時にお使いいただく数字 4 桁の番号で、ご契約時に設定します。

• ネットワーク暗証番号をお忘れの場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
また、ドコモショップなど窓口では、運転免許証等の確認書類により、契約者ご本人であることを確認させていただいた上で、手続きさせていただきます。なお、「ユーザ ID」「パスワード」をお持ちの方は、パソコンからドコモｅサイトでも手続きできます。
※「ドコモｅサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

PIN1 コード／ PIN2 コード

FOMA カードには、PIN1 コード、PIN2 コードという 2 つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで、自由に番号を変更できます。
PIN1 コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA カードを FOMA 端末に差し込むたびに、または FOMA 端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する 4 ～ 8 桁の番号（コード）です。PIN1 コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2 コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算料金リセットを行うときなどに使用する 4 ～ 8 桁の暗証番号です。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約等を行う際には 4 桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。
ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで、自由に番号を変更できます（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。

• ｉモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

おしらせ

- ●いたずら防止のため、端末暗証番号／PIN1コード・PIN2コード／iモードパスワードはご契約後にお好きな番号に変更してください。
  また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- ●電話番号の下4桁など、わかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時　0000

- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

1 **待受画面で Menu 8 3 5 を押す**

2 **4～8桁の端末暗証番号を入力する**

- 現在使用中の端末暗証番号を入力します。
- 現在の端末暗証番号の入力に失敗すると、認証失敗の確認画面が表示されます。 を押して再度現在の端末暗証番号を入力し直してください。

3 **新しい暗証番号欄に4～8桁の新しい端末暗証番号を入力する**

暗証番号変更
新しい暗証番号
新しい暗証番号(確認)
新しい暗証番号は
4～8桁で設定可能です

4 **新しい暗証番号(確認)欄に操作3で入力した端末暗証番号をもう一度入力する**

5 **を押す**

端末暗証番号が変更されます。

あんしん設定

PIN コードを設定する

・PIN1 コード、PIN2 コードは変更できます。
・入力した PIN1 ／ PIN2 コードは「＊」で表示されます。

電源を入れたときに PIN1 コードを入力するように設定する＜ PIN1 コード ON ／ OFF ＞

ご契約時　OFF

1 **待受画面で [Menu] [8] [3] [4] [3] を押す**

2 **[1] を押す**

・FOMA 端末の電源を入れたときに、PIN1 コードの入力を要求しないように設定するには [2] を押します。

3 **PIN1 コードを入力する**

PIN1コード
PIN1コードを
入力してください
残存入力回数 3回

PIN1 コード ON が設定されます。
・ご契約時の PIN1 コードは「0000」に設定されています。

PIN1 コード ON ／ OFF を「ON」に設定すると

FOMA 端末の電源を入れると PIN1 コード入力画面が表示されます。正しい PIN1 コードを入力すると、待受画面が表示されます。
・正しい PIN1 コードを入力しないと、電話の発着信、各種通信機能の操作ができません。
・PIN1 コードの入力を 3 回連続して失敗すると、PIN1 コードが自動的にロックされます。[●] を押すと PIN ロック解除コード入力画面が表示されます。☛P156

おしらせ

● PIN1／PIN2コード、PIN1コードON／OFFの設定はFOMAカードに記憶されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いのPIN1／PIN2コード、PIN1コードON／OFFの設定のままご利用になれます。PIN1／PIN2コードを変更していない場合は、「0000」となります。
● アラーム自動電源 ON 設定を「ON」に設定している場合、アラーム設定やスケジュールアラームの設定日時になると、電源が ON になり、PIN1 コード入力画面が表示される前にアラーム音が鳴ります。[PWR] を押してアラーム音を停止させると、PIN1 コード入力画面が表示されます。
このとき、アラーム音にダウンロードしたメロディまたは i モーションを設定していても、プリインストールされているメロディ（アラーム設定は「アラーム・アナログ時計」、スケジュールアラームは「アラーム・女性ボイス」）でアラーム音が鳴ります。

PIN1 ／ PIN2 コードを変更する＜ PIN1 ／ PIN2 コード変更＞

ご契約時　PIN1 コード：0000　PIN2 コード：0000

・PIN1 コードを変更するときは、PIN1 コード ON ／ OFF 機能を「ON」に設定する必要があります。

1 **待受画面で [Menu][8][3][4] を押し、[1] または [2] を押す**

2 **端末暗証番号を入力する**

3 **現在の PIN1 ／ PIN2 コードを入力する**

PIN1コード変更
PIN1コードを
入力してください
残存入力回数 3回
新しいPIN1コード
新しいPIN1コード(確認)

4 **新しいPIN1／PIN2コード欄を選択し、新しいPIN1／PIN2コードを入力する**

5 **新しい PIN1 ／ PIN2 コード(確認)欄を選択し、操作 4 で入力した PIN1 ／ PIN2 コードをもう一度入力する**

6 **[📖] を押す**

PIN1 ／ PIN2 コードが変更されます。

・現在の PIN1 ／ PIN2 コードの入力に失敗すると、認証失敗の確認画面が表示されます。[●] を押して再度現在の PIN1 ／ PIN2 コードを入力し直してください。3 回連続して失敗すると、PIN1 ／ PIN2 コードが自動的にロックされます。[●] を押すと PIN ロック解除コード入力画面が表示されます。☛P156

おしらせ

● PIN2 コードの 3 回連続入力ミスによって FOMA 端末がロックされた場合でも、電話の発着信、メールの送受信など電波の送受信は可能ですが、PIN1 コードの 3 回連続入力ミスによって FOMA 端末がロックされた場合には、電波を送受信する操作はできなくなります。

PIN ロックを解除する

PINコード入力画面でPIN1／PIN2コードの入力を3回連続して失敗すると、PINコードが自動的にロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PIN ロック解除コードは、お買い上げ時にお客様にお知らせします。
- PIN ロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA 端末、ご利用中の FOMA カード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
- 入力した PIN ロック解除コード、PIN1 ／ PIN2 コードは「*」で表示されます。

例 PIN1 コードのロックを解除するとき

1 PIN コードロックの確認画面で ◉ を押す

2 8 桁の PIN ロック解除コードを入力する

PINロック解除コード
PINロック解除コードを
入力してください
残存入力回数10回
新しいPIN1コード
新しいPIN1コード(確認)

3 新しい PIN1 コード欄を選択し、新しい PIN1 コードを入力する

4 新しい PIN1 コード（確認）欄を選択し、操作 3 で入力した PIN1 コードをもう一度入力する

5 [□] を押す

PIN ロックが解除され、新しい PIN1 コードが設定されます。

おしらせ

● PIN ロック解除コードの入力を 10 回連続して失敗すると、FOMA 端末が自動的にロックされます。

電源を入れる → PIN1 コードを入力 → OK → FOMA 端末を使用できます
PIN1 コードを入力 → 入力に 3 回失敗 → PIN ロック解除コードを入力
PIN ロック解除コードを入力 → OK → 新しいPIN1コードの設定が可能
PIN ロック解除コードを入力 → 入力に 10 回失敗 → ドコモショップなど窓口にお問い合わせください

各種ロック機能について

FOMA 端末を他人に勝手に使用されたり、個人情報や電話帳データを見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

- 複数のロック機能を同時に設定できます。
- プロテクトキーロックとシークレットモード以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
- ロック機能を設定しても、各種緊急通報（110 番、119 番、118 番）は可能です。

項　目	説　明	参照先
オールロック	各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が勝手に使用するのを防ぎます。	P158
セルフモード	電話の発着信やメールの送受信、赤外線通信などの通信機能を利用できないようにします。	P159
PIM ロック	電話帳や自局番号、スケジュールなどの個人情報機能が表示・編集できなくなり、情報の表示や改ざんを防ぎます。また、PIM ロック中に電話帳に登録されている相手と電話の発着信を行ったり、メールの受信があっても、相手の名前は表示されません。	P159
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話をかけられないようにします。	P160
プライバシーモード設定	FOMA 端末が一定時間操作されなかった場合、自動的に電話帳／履歴やメール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリの表示ができなくなり、他人が勝手に閲覧するのを防ぎます。	P161
プロテクトキーロック	FOMA 端末を閉じたときのキーの操作を無効にし、誤操作を防ぎます。	P163
遠隔ロック	FOMA端末を紛失した場合などに遠隔操作でオールロックを設定し、他人が勝手に使用するのを防ぎます。	P163
シークレットモード	電話帳データやスケジュールデータにシークレット属性を設定すると、そのデータは端末暗証番号を入力してシークレットモードを設定したときのみ表示され、通常の状態では表示されなくなります。	P165

オールロック

他の人が使用できないようにする

お買い上げ時　未設定

オールロックを設定すると、各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が勝手にFOMA端末を使用するのを防ぐことができます。

オールロック中は、電話をかけたり、受けたりすることもできなくなります。
オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、端末暗証番号入力画面の暗証番号欄に緊急通報番号を入力して [発信] を押します。このとき、緊急通報番号は「*」で表示されます。

・オールロック中は、設定した待受画面が解除され、お買い上げ時の画像が表示されます。オールロックを解除すると、設定した待受画面が再度表示されます。

1 待受画面で [Menu] [8] [3] [1] [1] を押す

2 端末暗証番号を入力する

オールロック中

■ **オールロックを解除するとき**
① **オールロック中に端末暗証番号を入力する**

おしらせ

● 電源を入れる／切るの操作はできます。また、自動電源ON／OFFを設定している場合、自動電源ON／OFFが行われます。
● オールロック中に電話がかかってきたときは、着信が拒否され、相手に話中音が流れますが、着信履歴には記録されます。オールロックを解除すると待受画面には不在着信件数を示すマーク（[1]）が表示されます。
● オールロック中もｉモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fは受信されますが、受信中画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されません。オールロックを解除すると、受信アイコンが表示されます。
● アラーム、スケジュールアラームを設定していても、オールロック中はアラームは動作しません。
● オールロックを解除するとき、端末暗証番号の入力を5回続けて失敗すると、自動的に電源が切れます。
● 端末暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA端末※、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
※：契約者ご本人が購入された携帯電話でない場合、受付できない場合があります。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時　OFF

セルフモード中は、音声電話やテレビ電話の発着信、メールの送受信など、通信を必要とするすべての機能が使えなくなります。また、赤外線通信や赤外線リモコンも利用できません。

1 待受画面で［クリア］を 1 秒以上押す

2 「はい」を選択する

セルフモードが設定され、待受画面に［self］が表示されます。

■ **セルフモードを解除するとき**

① **セルフモード中に［クリア］を 1 秒以上押す**

セルフモードが解除され、待受画面から［self］が消えます。

おしらせ

- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード設定中に送られてきた i モードメールやメッセージ R/F は i モードセンターで、ショートメッセージ（SMS）はショートメッセージセンターでお預かりします。受信したい場合は i モード問合せ／SMS 問合せをしてください。
- 通話中や i モード中はセルフモードを設定できません。
- セルフモード中に緊急通報（110 番、119 番、118 番）を行うと、セルフモードは解除されます。

PIM ロック

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時　OFF

PIM ロックを設定して、個人情報の表示や改ざんを防ぎます。

- メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定しているときは、本機能を設定できません。
- PIMロックを設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後の発信やリダイヤルと、設定後にかかってきた着信履歴からの発信は可能です。

1 待受画面で［Menu］［8］［3］［1］［2］を押す

2 端末暗証番号を入力する

3 ［1］を押す

PIM ロックが設定され、待受画面に［PIM］が表示されます。

■ **PIM ロックを解除するとき**

① **［2］を押す**

PIM ロックが解除され、待受画面から［PIM］が消えます。

つづく

おしらせ

- PIMロックの対象となっているデータを待受画面や着信音などに設定していると、PIMロック中はお買い上げ時の状態に戻ります。PIMロックを解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、PIMロック中でも設定は変更されません。
- PIMロックを設定すると、留守番電話サービスの伝言メッセージの件数が増加しても、通知音やバイブレータによる通知は行われません。
- 外部機器からのATコマンドによるPIMロックの設定／解除はできません。

PIMロックを設定すると

- 次の機能と一部の設定が利用できなくなります。
  - メール／チャットメール／ショートメッセージ(SMS)／メッセージR/F※
  - ｉMenu
  - Bookmark
  - Internet
  - 画面メモ
  - ラストURL
  - ｉモード問合せ
  - ｉアプリ
  - ソフトのバージョンアップ
  - 電話帳
  - 伝言メモ／音声メモ
  - マイピクチャ
  - ｉモーション
  - メロディ
  - キャラ電
  - カメラ
  - ビデオカメラ
  - サウンドレコーダー
  - バーコードリーダー
  - miniSDメモリーカード
  - スケジュール帳
  - メモ帳
  - アラーム
  - ソフトウェア更新
  - 自局番号
  - スキャン機能
  - 赤外線によるデータ送受信
  - メニュー設定（アイコンデザインの変更）

  ※：受信されますが、受信中画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されません。
- メニューを表示すると、利用できない機能のメニュー名が薄く表示されるか、アイコンが🔒で表示され、選択できません。
- 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されません。また、伝言メモ設定中でも伝言メモが動作しないため、待受画面に📼は表示されず、未再生の伝言メモのマークも表示されません。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

お買い上げ時　OFF

電話番号をダイヤルして電話をかけること（ダイヤル発信）ができない状態に設定します。

- 電話帳とリダイヤルからの発信はできます。
- ダイヤル発信制限を設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後に電話帳から発信した電話はリダイヤルに記録されます。

1 待受画面で Menu 8 3 3 を押す

2 端末暗証番号を入力する

3 1 を押す

ダイヤル発信制限が設定され、待受画面に📵が表示されます。

■ **ダイヤル発信制限を解除するとき**

① **2 を押す**

ダイヤル発信制限が解除され、待受画面から📵が消えます。

おしらせ

- 外部機器からのATコマンドによるダイヤル発信制限の設定／解除はできません。

あんしん設定

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

ダイヤル発信制限を設定すると

- 次の操作ができなくなります。
  - 着信履歴からの発信
  - 電話帳の修正、登録、削除(詳細画面でFOMAカード⟷本体電話帳コピーは可能)
  - 自局番号の修正、リセット
  - Phone To(AV Phone To)、Mail To機能
  - 外部機器との電話帳データの送受信
  - ショートメッセージ(SMS)/ｉモードメールの送信
    (電話帳を利用しての送信、または電話帳に登録された相手からのメールへの返信は可能)
  - メールテンプレートの読み込み
  - ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用

プライバシーモード設定

他の人が電話帳やメールなどを利用できないようにする

電話帳やリダイヤル・着信履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリを利用できないように設定します。プライバシーモードは手動で起動したり、一定時間内に何も操作しなかった場合に自動的に起動させたりすることができます。

プライバシーモードの動作を設定する

お買い上げ時　電話帳・履歴：表示する　メール：表示する　マイピクチャ：表示する　ｉモーション：表示する　スケジュール：表示する　ｉアプリ：表示する　自動起動：OFF

プライバシーモードを起動中に電話帳やメール、マイピクチャなどを利用したとき、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。プライバシーモードを自動的に起動するように設定することもできます。

1 待受画面で Menu 8 3 6 を押す

2 端末暗証番号を入力する

3 各項目を選択して設定する

電話帳・履歴：プライバシーモード起動中に電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモを表示するとき、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。

メール：プライバシーモード起動中にメールを表示するとき、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。
- 「指定フォルダを非表示」に設定すると、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定したフォルダは表示されません。☛P284

マイピクチャ：プライバシーモード起動中にマイピクチャを利用するとき、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。

ｉモーション：プライバシーモード起動中にｉモーションを利用するとき、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。

スケジュール：プライバシーモード起動中にスケジュールを利用するとき、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。

ｉアプリ：プライバシーモード起動中にｉアプリを利用するとき、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。

自動起動：待受中にFOMA端末を何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を5分、15分、30分に設定します。

4 [📖] を押す

5 [✉] を押す

おしらせ

● マイピクチャ・ｉモーション・ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合、プライバシーモード起動中に次の操作を行おうとすると、端末暗証番号を入力した後に、プライバシーモード設定で非表示にしている項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。[✉]を押すと操作画面に戻ります。

・電話発着信設定
・テレビ電話発着信設定
・テレビ電話画像選択
・電話帳新規登録／編集
・グループ設定の電話発着信設定
・音の設定
・発着信画面表示設定の各画像設定
・待受画面設定のｉアプリ設定
・発番号なし動作設定
・メッセージ着信設定
・メール着信設定
・チャットメール着信設定
・アラーム／スケジュールアラーム編集
・自局番号編集

● プライバシーモード起動中（マイピクチャ・ｉモーションを「認証後に表示」に設定した場合）でも、待受画面設定、メニュー画面のアイコンや背景に設定した画像またはｉモーションは通常どおり表示されます。

●「自動起動」以外のすべての項目を「表示する」に設定した場合、プライバシーモードは起動されません。また、プライバシーモード中は、自動的に解除されます。

プライバシーモードを起動する

プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。

1 待受画面で[◎]を1秒以上押す

■ **プライバシーモードを解除するとき**

① **待受画面で[◎]を1秒以上押し、端末暗証番号を入力する**

・メールを「指定フォルダを非表示」に設定し、受信メール、送信メール、未送信メールのフォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定している場合は、各フォルダ一覧画面で[クリア]または[/クリア]（半押し）を1秒以上押し、端末暗証番号を入力すると、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示できます。☛P284

おしらせ

● プライバシーモードの制限対象である機能を利用中に、メニュー操作で一度端末暗証番号を入力すると、[PWR]などを押して待受画面を表示するまで、その後の端末暗証番号の入力は不要になります。プライバシーモード設定の複数の項目を「認証後に表示」に設定して起動中の場合も同様です。ただし、プライバシーモードの制限対象でない、端末暗証番号の入力が必要な機能については、起動する際に端末暗証番号の入力が必要です。

（例）

・電話帳を利用中に一度端末暗証番号を入力すると、電話帳機能を終了するまで端末暗証番号の入力は不要です。
・マイピクチャと電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定し、マイピクチャに保存されている画像をメールで送信しようとした場合、マイピクチャを起動するときに端末暗証番号を入力するため、メール作成画面で電話帳を呼び出しても端末暗証番号入力画面は表示されません。

● 電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合、プライバシーモード起動中は、文字入力中の電話帳引用は行えません。

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

● マイピクチャ・i　モーションを「認証後に表示」に設定している場合、プライバシーモード起動中は、FOMA 端末電話帳に着信音や画像を設定している相手から電話着信やメール受信があっても、音の設定、発着信画面表示設定の各画像設定に従って動作します。
● マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合で、プライバシーモード起動中に、FOMA 端末電話帳を赤外線による全件送信や miniSD メモリーカードへのバックアップを行うと、FOMA 端末電話帳に設定された静止画は、送信やバックアップされません。

プロテクトキーロック

キーの誤操作を防止する

お買い上げ時　未設定

FOMA 端末を閉じているときのキー操作を無効にし、鞄などに入れて持ち歩く際の誤操作を防ぎます。

• プロテクトキーロック中でも、FOMA 端末を開くとキー操作が有効になります。

1 待受画面でプロテクトキーを下にスライドさせてから離す

プロテクトキーロックが設定され、待受画面に が表示されます。

■ プロテクトキーロックを解除するとき

① 待受画面でプロテクトキーを下にスライドさせてから離す

プロテクトキーロックが解除され、待受画面から が消えます。

おしらせ

● プロテクトキーロック中でも電話がかかってきたとき、メールを受信したとき、i　アプリ自動起動時などは、FOMA 端末を閉じていても一時的に設定が解除され、操作ができます。待受画面に戻るとプロテクトキーロックが再度設定されます。

遠隔ロック

他の人が使用できないように遠隔から設定する

お買い上げ時　OFF

FOMA 端末を紛失した場合などに遠隔操作でオールロックを設定し、他人が勝手に使用するのを防ぎます。監視時間、着信回数、電話番号を設定し、設定した条件で FOMA 端末に着信があると、オールロックが設定されます。

遠隔ロックの動作を設定する

1 待受画面で Menu 8 3 1 3 を押す

2 端末暗証番号を入力する

つづく

3 各項目を選択して設定する

遠隔ロック ：遠隔ロックを有効にするかどうかを設定します。
・「OFF」に設定すると、以下の項目は設定できません。

監視時間（分）：最初に着信してから設定した回数分の着信があるまでの制限時間を設定します。制限時間を超えても設定した回数の着信がないときは、遠隔ロックは動作しません。
・1 〜 10 分の範囲で設定します。

着信回数（回）：遠隔ロックが動作するまでの音声電話の着信回数を設定します。
・3 〜 10 回の範囲で設定します。

発信元 1 〜 3 ：遠隔ロックを起動させる発信元の電話番号を設定します。公衆電話や同じ番号を設定することもできます。

■ 発信元を設定するとき

① 発信元 1 〜 3 欄を選択する

② 発信元選択欄を選択し、1 または 2 を押す

発信元選択
発信元選択 発信者番号

電話番号入力欄

・「発信者番号」に設定したときは、電話番号入力欄に電話番号を入力します。
・ を押すと電話帳から入力できます。

③ を押す

4 を押す

遠隔ロックの動作条件が設定されます。

おしらせ

● 発信元に、ポーズ、タイマーが設定された電話帳データを登録した場合、ポーズ、タイマー以降は削除されます。
● FOMA 端末でオールロックを設定することもできます。☛P158

遠隔ロックを設定する

遠隔ロックで設定した動作条件で FOMA 端末に電話をかけて、遠隔ロックをかけます。
・遠隔ロックをかけるには、発信者番号通知を行って電話をかけてください。
・FOMA 端末がサービスエリア外にあるときや、電源が入っていないときなど電波の届いていない場所や状態にある場合は、遠隔ロックをかけることはできません。

1 遠隔ロックで設定した条件で FOMA 端末に音声電話をかける

遠隔ロックによってオールロックが設定された旨のガイダンスが流れ、オールロックが設定されます。

■ 遠隔ロックを解除するとき

遠隔ロックによってオールロックがかかった FOMA 端末のロックを解除するには、ロックのかかった FOMA 端末でオールロックを解除する必要があります。☛P158

おしらせ

- 遠隔ロックを起動させるための音声電話をかけたときに、相手が電話に応答した場合は、設定のための着信回数としてカウントされず、遠隔ロックを起動できません。また、カウントは0になります。
- 伝言メモまたはオート着信機能が設定されているときは、遠隔ロックで発信元に設定した電話番号から電話がかかってくると、伝言メモの応答時間またはオート着信機能の自動着信機能時間の4秒後に伝言メモまたはオート着信機能が動作します。伝言メモまたはオート着信機能が起動する前に電話を切ってください。伝言メモやオート着信機能が起動した場合は、設定のための着信回数としてカウントされず、遠隔ロックを起動できません。
- 着信回数のカウントは、設定している発信元の中で最初に着信回数としてカウントされた電話番号のみ有効となります。カウントを開始してから、その他に設定した発信元の電話番号から着信があってもカウントしません。
- 着信拒否した電話や留守番電話サービス、転送でんわサービスに転送した電話も、着信回数としてカウントされます（呼出時間が0秒の場合を除く）。
- カウントを開始した時点から設定した指定時間が経過すると、カウントを終了し、それまでカウントした着信回数を0にします。
- カウントを開始してから電源を切ると、それまでカウントした着信回数を0にします。
- 遠隔ロック中に発信元に設定してある電話番号から電話がかかってきたときは、オールロック中である旨のガイダンスが流れます。発信元に設定していない電話番号から電話がかかってきたときは、切断します。
- 発信元に設定した電話番号の「186（＊31#）」／「184（#31#）」の設定に合わせて、発信時に「186（＊31#）」／「184（#31#）」を設定する必要はありません。
- FOMA端末が通話中の着信はカウントしません。

あんしん設定

シークレットモード

シークレット属性が設定されている情報を表示する

お買い上げ時　未設定

シークレットモードを設定すると、シークレット属性を設定した電話帳データやスケジュールデータを表示できます。また、シークレット属性を設定したり、解除したりする場合にも、FOMA端末をシークレットモードにする必要があります。

1 待受画面で Menu 8 3 2 を押す

2 端末暗証番号を入力する

待受画面にが表示されます。

■ **シークレットモードを解除するとき**

① **待受画面で PWR を押す**

待受画面からが消えます。

おしらせ

- 電話帳データにシークレット属性を設定する ☛P123
- スケジュールデータにシークレット属性を設定する ☛P442

指定した電話番号からの着信を拒否／許可する

FOMA 端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信拒否／許可を設定します。

- 本機能を利用するには、電話番号ごとに着信拒否／許可を指定してから、着信拒否／許可を設定してください。
- 本機能は相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。☛P471、P167

着信を拒否／許可する電話番号を指定する

FOMA 端末電話帳に登録されている電話番号に対して、着信拒否／許可を設定します。
- FOMA カード電話帳に登録されている電話番号には設定できません。

1 待受画面で [📖] を押す

前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

2 設定する相手にカーソルを合わせて [Menu] [9] [1] [3] を押す

3 端末暗証番号を入力する

4 電話番号を選択する

5 [1] または [2] を押す

着信許可/拒否設定
1 着信許可
2 着信拒否
3 設定なし

- 着信拒否／許可を設定した電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に [!] が表示されます。

■ **設定を解除するとき**
① [3] を押す

おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面から操作する場合は [Menu] を押し、「設定／確認」→「設定」→「着信許可／拒否設定」を選択します。
● 着信拒否／許可を設定している電話番号を変更／削除した場合、本設定は解除されますので、変更／登録後の電話番号に対して着信拒否／許可を設定し直してください。

着信拒否／許可設定を有効にする

お買い上げ時　設定解除

- 本機能の設定は着信拒否／許可を設定したすべての電話番号が対象になります。
- メモリ別着信拒否／許可を同時に有効にはできません。

1 待受画面で [Menu] [8] [6] [5] を押す

2 端末暗証番号を入力する

3 [2] または [3] を押す

メモリ別着信拒否/許可設定
1 設定解除
2 拒否設定
3 許可設定

■ 着信拒否／許可を解除するとき
① [1] を押す

メモリ別着信拒否／許可を設定すると

「拒否設定」に設定している場合、着信拒否に指定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。
「許可設定」に設定している場合、着信許可に指定していない電話番号から電話がかかってきたときは、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。
・着信を拒否しても、着信履歴には記録されます。
・留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を 0 秒に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。

おしらせ
● 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本機能の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
● ショートメッセージ（SMS）や ｉ モードメールは、本機能の設定に関わらず受信されます。
● 本機能の設定に関わらず、着信拒否／許可を設定した電話番号に電話をかけることができます。また、電話帳データも修正できます。

発番号なし動作設定

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

お買い上げ時　すべて設定解除

電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。
・電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話発着信設定・電話発着信画像設定・音の設定より本機能の設定が優先されます。

1 待受画面で [Menu] [8] [6] [2] を押す

2 端末暗証番号を入力する

つづく

3 1 ～ 3 を押す

発番号なし動作設定
1 非通知設定
2 公衆電話
3 通知不可能

- 通知されない理由ごとに操作 3 ～ 5 を繰り返して設定します。
- 非通知理由については☛P62

4 各項目を選択して設定する

非通知設定
設定解除
パターン1
イメージ表示 標準画像
イメージ一覧 画像選択

着信動作　：発信者番号が通知されない電話がかかってきたときの動作を設定します。

- 「設定解除」に設定すると、音の設定の「電話」で設定した着信音が鳴ります。
- 「着信拒否」に設定すると、発信者番号が通知されない相手からの着信を拒否します。
- 「着信音 OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
- 「メロディ」を選択したときは、着信音欄を選択してメロディを選択します。
- 「着モーション」を選択したときは、着信音欄を選択して動画／ｉモーションを選択します。
- 「設定解除」「着信拒否」に設定すると、「イメージ表示」は設定できません。

イメージ表示：発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。

- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
- 「モーション」を選択したときは、「画像選択」を選択して動画／ｉモーションを選択します。

5 を押す

おしらせ

- 「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は着信履歴に記録されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話がかかってきた場合は、該当する発信者番号非通知理由を「着信拒否」に設定しているときのみ本機能が動作します。それ以外に設定した場合は、着信音は音の設定のテレビ電話の設定／テレビ電話発着信設定に、着信画像はテレビ電話発着信設定に従って動作します。
- ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能の設定に関わらず、受信されます。
- 着信動作を「着モーション」に設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になり、着モーションが再生されます。
- 着信動作の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合、「標準画像」に設定されますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像を変更できます。
- 着信動作を「着モーション」に設定した後、「着信音 OFF」に設定し直した場合、「着モーション」に設定した動画／ｉモーションは再生されますが、着信音量は消音になります。

電話帳に登録されていない相手からの着信をすぐに受けないようにする

お買い上げ時　OFF

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、指定した時間が経過した後に着信音やバイブレータなどによる呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

・メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

1 待受画面で Menu 8 1 8 を押す

2 各項目を選択して設定する

着信呼出動作　：着信呼出動作を有効にするかどうかを設定します。
・「OFF」に設定すると、以下の項目は設定できません。

呼出開始時間(秒)：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。
・1 ～ 99 秒の範囲で設定します。

時間内不在着信表示
：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかどうかを設定します。

3 [📖] を押す

着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたとき、設定した時間内はディスプレイ表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。

- 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応対したり、通常の着信中の操作を行うことができます。その場合、かかってきた電話は着信履歴に記録されます。
- PIM ロック中やプライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合）は、電話帳に登録されている相手からの着信でも本機能が動作します。
- 次の場合も、本機能が動作します。
  - 電話帳に登録されている相手でも発信者番号を通知せずに電話をかけてきたとき
  - シークレット属性を設定した電話帳に登録されている相手からシークレットモードを設定していないときに着信があったとき
- 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきた場合は、本機能の設定に関わらず、着信と同時に呼出動作を開始します。

おしらせ

- 本機能の設定に関わらず、次の機能が設定されている場合は、それらの動作が優先されます。
  - ドライブモード
  - 伝言メモ
  - オート着信機能
  - 留守番電話サービス
  - 転送でんわサービス
- メモリ別着信拒否／許可や発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってきた場合は、本機能よりそれらの動作が優先されます。
- ショートメッセージ（SMS）や i モードメールは、本機能の設定に関わらず受信されます。
- 呼出開始時間をオート着信機能設定と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。
- 呼出開始時間を、留守番でんわサービスまたは、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する

お買い上げ時　OFF

- 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。☛P471
- 着信呼出動作設定を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

1 **待受画面で Menu 8 6 6 を押す**

2 **端末暗証番号を入力する**

3 **1 を押す**

■ **メモリ登録外着信拒否を解除するとき**

① **2 を押す**

メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたとき、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 着信を拒否しても、着信履歴には記録されます。
- 次の場合も、着信を拒否します。
  - ・電話帳に登録されている相手でも発信者番号を通知せずに電話をかけてきたとき
  - ・シークレット属性を設定した電話帳に登録されている相手からシークレットモードを設定していないときに着信があったとき
- ショートメッセージ（SMS）や i モードメールは、本機能の設定に関わらず受信されます。

その他の「あんしん設定」について

FOMA 端末では、暗証番号や各種ロック機能以外にも、次のような「あんしん設定」を利用できます。

目　的	機能・サービスの内容	参照先
大量に届くメールの中から、必要なメールだけを受信します。	メール選択受信	P298
メールアドレスを変更します。	メールアドレス変更	『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
指定したドメインからのメールのみを受信します。	ドメイン指定受信	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否します。	ｉモードメールのみ受信／拒否	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承認広告※メール拒否	
1日に1台のｉモード携帯電話から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
災害時にｉモードを利用して、安否情報を登録／確認します。	ｉモード災害用伝言板サービス	
受信するすべてのメールのうち、指定したアドレスからのメールを受信／拒否します。	アドレス指定受信／拒否	
受信するすべてのショートメッセージ（SMS）または非通知ショートメッセージ（SMS）の受信を拒否します。	SMS 一括拒否／非通知 SMS 拒否	
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	P470
電子認証サービス「FirstPass」を利用して、安全で信頼性のあるデータ通信を行います（FirstPass 対応のサイトに限ります）。	FirstPass	P206、P238
必要な場合にパケット通信を使ってFOMA端末のソフトウェアを更新します。	ソフトウェア更新	P565
障害を引き起こす可能性のあるデータを削除したり、アプリケーションの起動を中止したりして、FOMA 端末をウイルスから守ります。	スキャン機能	P571

カメラ

カメラをご使用になる前に

FOMA 端末のカメラを使って静止画や動画を撮影できます。

- 撮影した静止画や動画、録音した音声は、FOMA 端末で表示・再生して楽しむ他に、ｉモードメールやデータ転送で他の FOMA 端末や他社携帯電話、パソコンなどに送信することができます。
- 撮影した静止画や動画、録音した音声を、待受画面や電話の着信画面、着信音などに設定できます。
- 静止画や動画にフレームを重ねて撮影したり、モノトーン、セピアなどの効果をかけて撮影することができます。さらに撮影後の静止画には、フレームを重ねたり、文字やスタンプを貼り付けたり、いろいろな効果をかけたりすることができます。
- 撮影した静止画や動画、録音した音声は、miniSD メモリーカードに保存することができます。
- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。☛P389

カメラの使いかた

カメラのご使用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、点や線などのノイズが増えますのでご了承ください。
- レンズに直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとしたり、電池残量が少ないと、画質が暗くなったり画像が乱れたりすることがあります。
- レンズの特性により、画像が歪んで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありません。被写体との距離やカメラの向きを変えたり、場所を移動することで、縞模様を減らすことが可能です。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 🔘 または 📷/クリア を押してから実際に撮影されるまでに若干の時間差がありますので、速く動いている被写体を撮影すると、🔘 または 📷/クリア を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは若干ずれた位置で被写体が撮影される場合があります。
- カメラ起動時やオートフォーカス起動時、カメラ切り替え時などにモーター音が聞こえる場合がありますが、FOMA 端末の故障ではありません。
- FOMA 端末のインカメラは CMOS カメラです。薄暗い場所での撮影時などは、CCD カメラであるアウトカメラの映像と比較すると若干粗く見えることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。

撮影時の留意事項

- レンズに指紋や油脂などがつくと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布できれいに拭いてください。
- 撮影する場所に応じて明るさを設定してください。☛P190
  また、暗い場所ではコンパクトライトを補助光として利用してください。☛P179、P184
- 🔘 または 📷/クリア を押してから実際に撮影されるまでに若干の時間差がありますので、🔘 または 📷/クリア を押してから少しの間、FOMA 端末を動かさないようにしてください。
- 動画撮影の際、動きの激しいものを撮影したりすると、画像が乱れることがあります。

・インカメラで自画像を表示すると鏡像表示されますが、撮影保存される静止画や動画は正像となります。また、静止画の場合、自動保存を「しない」に設定しておく（☛P186）と、鏡像で保存することもできます。
・ｉ アプリのソフトからカメラ撮影を実行した場合、撮影した静止画や動画はマイピクチャや ｉ モーションのフォルダには保存されず、ソフト内（ソフトによっては「▯モード」フォルダ）に保存されます。また、撮影した静止画や動画は、ソフトからサーバへ通信により自動的に送られる場合があります。
・保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、カメラ使用中に miniSD メモリーカードを抜かないでください。FOMA 端末の故障の原因になります。
・miniSD メモリーカードの空き容量が少なくなると撮影できないことがあります。miniSD メモリーカードを利用する場合は、十分な空き容量があることを確認してから撮影してください。
・撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、撮影画像は保存できません。
・電源を非常に消費するため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後、データを保存せずに長時間放置しないようにしてください。
・設定によっては、カメラを起動したときに撮影画面に画像が表示されるまで時間がかかることがあります。

著作権・肖像権について

FOMA 端末を利用して録画や録音などされたもの並びにサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されておりますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。録画または録音などされたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、録画または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

きれいに撮影するために

撮影時は、図のように FOMA 端末を両手でしっかりと持ち、ぶれないようにしてください。
● 撮影時、レンズ部分に指、ストラップなどがかからないように注意してください。
● セルフタイマー機能を利用すると、自動でシャッターを切れるため、手ぶれ防止に効果的です。☛P189

撮影画面とファイルについて

撮影画面の見かた

- ｉアプリから起動したときは、インジケータ、カウンタ、サイズ制限は表示されません。また、カメラの切り替え、コンパクトライト起動、セルフタイマー起動以外は操作できません。
- 動画撮影時、画像サイズをQVGA（320×240）に設定し横撮影に切り替えている場合は、下記のマークの代わりに■STANDBY（撮影待機中）、● REC（撮影中）、II PAUSE（一時停止中）が表示されます。

静止画撮影画面

動画撮影画面

①撮影モード：静止画、動画の撮影モードであることを示します。

②保存先：保存先を示します。☛P187
：FOMA端末　：miniSDメモリーカード

③撮影種別：撮影する動画の種類を示します。☛P187

④セルフタイマー：セルフタイマーのON／OFFを示します。☛P189

オートフォーカス：オートフォーカスの起動状態を示します（静止画撮影時のみ）。☛P181

⑤接写モード：接写モードか通常モードかを示します。☛P189

⑥コンパクトライト：コンパクトライトの点灯／消灯を示します。☛P179、P184

⑦インジケータ：**撮影待機中**
通常の撮影時は保存先の保存領域の使用率を示します。セルフタイマー撮影時（カウント中）は撮影するまでの残り時間を示します。
- miniSDメモリーカードの保存領域の使用率は、撮影画像が保存されていなくても0にならないことがあります。

動画撮影時／一時停止中
サイズ制限で設定しているファイルサイズに対する撮影したサイズの割合を示します。

⑧カウンタ：**静止画撮影時**
通常の撮影時は現時点でFOMA端末またはminiSDメモリーカードに保存できる静止画の最大枚数（目安）を示します。セルフタイマー撮影時（カウント中）は撮影するまでの秒数を示します。手動連写中は撮影枚数／総撮影枚数（最大で6）を示します。
動画撮影時
撮影待機中は現時点でFOMA端末またはminiSDメモリーカードに保存できる動画の最大時間（目安）を示します。セルフタイマー撮影時（カウント中）は撮影するまでの秒数を示します。撮影中は経過時間／残り時間（撮影停止するまでの時間）（目安）を示します。

⑨ズーム：画像の表示倍率を示します。☛P188

⑩明るさ：画像の明るさを示します。☛P192

⑪色の濃さ：画像の色の濃さを示します。☛P192

⑫撮影効果：画像にかける撮影効果を示します。☛P192

⑬ホワイトバランス：ホワイトバランスの設定状態を示します。☛P192

⑭フレーム：フレームの設定状態を示します。☛P190

⑮連続撮影：連続撮影の設定状態を示します。☛P182

⑯画質：保存する静止画ファイルの画質を示します。☛P191

品質：保存する動画ファイルの品質を示します。☛P191

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

⑰**サイズ制限**　：保存するファイルサイズの制限値を示します。☛P191
⑱**画像サイズ**　：撮影する静止画、動画の画像サイズを示します。☛P191

静止画像ファイル／動画ファイルについて

項　目	静止画ファイル	動画ファイル
ファイル形式	JPEG	MP4（MobileMP4）
符号化方式	—	映像：MPEG-4　音声：AMR
拡張子	.jpg	.3gp
タイトル	撮影した日時が自動的に付けられます。 （例）2005 年 4 月 15 日 12 時 34 分 56 秒に撮影した場合 → 20050415123456.jpg ／ .3gp • 撮影後、表示名やファイル名を変更できます。☛P405 • FOMA 端末の日付・時刻が設定されていない場合、表示名・タイトル（動画のみ）・ファイル名は「--------------」になります。	
メール添付・出力	メールに添付して送信したり、miniSD メモリーカードや専用のデータリンクソフトを利用してパソコンや他の端末に取り込むことができます。	

静止画の保存枚数について

FOMA 端末および miniSD メモリーカードに保存できる静止画の枚数は、画質、サイズ制限、ファイルサイズ、画像サイズの設定や撮影状況によって変わります。
• 画質、画像サイズ、サイズ制限は静止画設定で設定します。☛P186

■ FOMA 端末に保存できる静止画の枚数（目安）

単位：枚

画質＼画像サイズ	96 × 72	128 × 96	176 × 144	240 × 320	352 × 288	640 × 480	480 × 640	960 × 1280	1200 × 1600	1224 × 1632
エコノミー	約 827	約 827	約 827	約 549	約 424	約 202	約 202	約 78	約 57	約 51
スタンダード	約 827	約 827	約 718	約 405	約 321	約 145	約 141	約 48	約 35	約 33
ファイン	約 827	約 718	約 491	約 245	約 202	約 85	約 84	約 27	約 19	約 19

※ マイピクチャの「デコメールピクチャ」「アイテム」フォルダ内のデータを削除すれば最大 1000 件保存可能になりますが、お買い上げ時の状態での上限は約 827 枚です。

■ miniSD メモリーカードに保存できる静止画の枚数（目安）

単位：枚

容量	画質＼画像サイズ	96 × 72	128 × 96	176 × 144	240 × 320	352 × 288	640 × 480	480 × 640	960 × 1280	1200 × 1600	1224 × 1632
16MB	**エコノミー**	約 2057	約 1600	約 1309	約 847	約 654	約 313	約 313	約 121	約 89	約 78
	スタンダード	約 1800	約 1440	約 1107	約 626	約 496	約 225	約 218	約 74	約 54	約 52
	ファイン	約 1600	約 1107	約 757	約 378	約 313	約 132	約 130	約 41	約 30	約 30
32MB	**エコノミー**	約 4246	約 3303	約 2702	約 1748	約 1351	約 646	約 646	約 249	約 184	約 162
	スタンダード	約 3716	約 2972	約 2286	約 1292	約 1025	約 464	約 450	約 154	約 112	約 108
	ファイン	約 3303	約 2286	約 1564	約 782	約 646	約 272	約 270	約 86	約 62	約 62

動画の撮影時間について

動画の撮影時間は、品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限の設定や撮影状況によって変わります。

・品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限は動画／録音設定で設定します。☛P186

■ FOMA 端末に保存できる動画の撮影時間（目安）

ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	1 回あたりの撮影時間（単位：秒）				FOMA 端末の最大撮影時間（単位：分）			
			品　質				品　質			
			LP	STD	HQ	HQ+	LP	STD	HQ	HQ+
メール添付（290K バイト）	128 × 96	画像＋音声	約 112	約 70	約 51	約 21	約 63	約 39	約 29	約 11
		画像のみ	約 190	約 96	約 71	約 24	約 108	約 54	約 40	約 13
	176 × 144	画像＋音声	約 87	約 44	約 30	約 11	約 49	約 25	約 17	約 6
		画像のみ	約 128	約 52	約 36	約 12	約 72	約 29	約 20	約 6
	320 × 240	画像＋音声	約 32	約 17	約 13	約 6	約 18	約 9	約 7	約 3
		画像のみ	約 36	約 18	約 14	約 6	約 20	約 10	約 7	約 3
大容量メール添付（490K バイト）	128 × 96	画像＋音声	約 189	約 119	約 86	約 36	約 63	約 40	約 28	約 12
		画像のみ	約 321	約 161	約 120	約 41	約 108	約 54	約 40	約 13
	176 × 144	画像＋音声	約 148	約 74	約 51	約 19	約 49	約 24	約 17	約 6
		画像のみ	約 217	約 89	約 61	約 21	約 73	約 29	約 20	約 7
	320 × 240	画像＋音声	約 54	約 29	約 23	約 10	約 18	約 9	約 7	約 3
		画像のみ	約 61	約 30	約 24	約 10	約 20	約 10	約 8	約 3

■ miniSD メモリーカードに保存できる動画の撮影時間（目安）

（単位：分）

ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	容量：16MB				容量：32MB			
			品質				品質			
			LP	STD	HQ	HQ+	LP	STD	HQ	HQ+
メール添付（290K バイト）	128 × 96	画像＋音声	約 91	約 57	約 41	約 17	約 189	約 118	約 86	約 35
		画像のみ	約 155	約 78	約 58	約 19	約 321	約 162	約 120	約 40
	176 × 144	画像＋音声	約 71	約 36	約 24	約 9	約 147	約 74	約 50	約 18
		画像のみ	約 104	約 42	約 29	約 9	約 216	約 87	約 60	約 20
	320 × 240	画像＋音声	約 26	約 13	約 10	約 4	約 54	約 28	約 21	約 10
		画像のみ	約 29	約 14	約 11	約 4	約 60	約 30	約 23	約 10
大容量メール添付（490K バイト）	128 × 96	画像＋音声	約 91	約 57	約 41	約 17	約 189	約 119	約 86	約 36
		画像のみ	約 155	約 78	約 58	約 19	約 321	約 161	約 120	約 41
	176 × 144	画像＋音声	約 71	約 35	約 24	約 9	約 148	約 74	約 51	約 19
		画像のみ	約 105	約 43	約 29	約 10	約 217	約 89	約 61	約 21
	320 × 240	画像＋音声	約 26	約 14	約 11	約 4	約 54	約 29	約 23	約 9
		画像のみ	約 29	約 14	約 11	約 4	約 61	約 30	約 24	約 9
制限なし	128 × 96	画像＋音声	約 91	約 57	約 41	約 17	約 189	約 119	約 86	約 36
		画像のみ	約 155	約 78	約 58	約 19	約 321	約 161	約 120	約 41
	176 × 144	画像＋音声	約 71	約 35	約 24	約 9	約 148	約 74	約 51	約 19
		画像のみ	約 105	約 43	約 29	約 10	約 217	約 89	約 61	約 21
	320 × 240	画像＋音声	約 26	約 14	約 11	約 4	約 54	約 29	約 23	約 9
		画像のみ	約 29	約 14	約 11	約 4	約 61	約 30	約 24	約 9

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

カメラで静止画を撮影する

- FOMA 端末には、自動でピントを合わせるオートフォーカス機能の他、連続撮影やフレーム撮影など、さまざまな撮影方法があります。撮影前に撮影方法を選択できます。☛P188、P190
- 着信音量を消音に設定していたり、マナーモードを設定していても、シャッター音は鳴ります。

静止画を撮影する

1 待受画面で [カメラ/クリア] を 1 秒以上押す

カメラが起動して静止画撮影モードになります。

- 静止画の撮影待機中は次の操作ができます。

[メール]：コンパクトライトの点灯（[ライト]）／消灯（表示なし）切り替え※

[＊]：全画面モード／標準画面モードの切り替え

- 全画面モードにすると、画面下部の設定アイコンやガイド行が表示されなくなり、撮影画像を確認しやすくなります。

[切替]：インカメラ／アウトカメラの切り替え

- カメラを切り替えても、ズームや撮影効果などの設定は保持されます。

[切替]1 秒以上：動画撮影モード／静止画撮影モードの切り替え

※：アウトカメラ撮影時のみ操作できます。

- カメラ起動時、マルチイルミネーションランプが点滅します。

2 被写体にカメラを向けて [決定] または [カメラ/クリア] を押す

静止画撮影画面

シャッター音が鳴り、コンパクトライトが赤で点灯し、静止画が撮影されます。

撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。☛P354

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、miniSD メモリーカードの「マイピクチャ」フォルダに保存されます。☛P397
- [カメラ/クリア] を使用してオートフォーカスで撮影できます。☛P181

■ **撮影した静止画をすぐに確認するとき**

① **[メニュー] を押す**

② **確認したい静止画を選択する**

- 確認後 [クリア] または [カメラ/クリア] を 2 回押すと、静止画撮影画面に戻ります。
- 電話帳または i アプリからカメラを起動したときは確認できません。

静止画設定の自動保存を「しない」に設定しているとき

静止画を撮影すると、撮影した静止画の確認画面が表示されます。

- 画像サイズが待受用（240 × 320）より小さい場合は、[上] を押すと撮影した静止画を拡大表示できます。[下] を押すと元に戻ります。

■ **撮影した静止画を保存するとき**

① **[決定] を押す**

- 撮影した静止画を保存しない場合は [クリア] または [カメラ/クリア] を押します。

■ 撮影した静止画をメールに添付して送信するとき

① ✉ を押す

撮影した静止画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。☛P262

- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「9000バイト」を選択すると9000バイトより小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- 撮影・保存した静止画のファイルサイズが9000バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けることができます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定していても、撮影した静止画はFOMA端末に保存されます。

■ 待受画面に設定するとき

① Menu 2 1 を押し、「はい」を選択する

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。

- 撮影した静止画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて静止画を拡大して待受画面に表示します。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ 電話帳の画像に登録するとき

① Menu 2 を押し、2 または 3 を押して「はい」を選択する

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 画像サイズが電話帳用（96×72）の場合のみ、電話帳の画像に登録できます。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、電話帳の画像に登録できません。

■ タイトルを変更するとき

① Menu 3 1 を押す

② タイトルを入力して 📖 を押す

- 全角・半角を問わず最大31文字入力できます（連続撮影した画像は30文字）。

■ 補正するとき

① 📖 を押す

- 画像サイズが横長VGA（640×480）以上の場合は、補正できません。

■ 鏡像で保存するとき（インカメラ撮影時のみ）

① Menu 4 1 を押す

- 撮影した画像にフレームが設定されている場合、および画像サイズが横長VGA（640×480）で撮影日時が「なし」以外に設定されている場合は、鏡像で保存できません。

■ 正像表示／鏡像表示を切り替えるとき（インカメラ撮影時のみ）

① Menu 4 2 を押す

■ 保存先をFOMA端末／miniSDメモリーカードに切り替えるとき

① Menu 6 を押す

■ 保存されている画像を一覧表示するとき

① Menu 7 を押し、1 または 2 を押す

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

おしらせ

- 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかることがあります。
- 撮影した静止画のファイルサイズがサイズ制限の設定値より大きくなる場合は、自動的に画質を落とすか画像サイズを小さくして保存します。
- 音声電話通話中に静止画を撮影した場合、通話が途切れることがあります。
- 静止画の撮影待機中、シャッター音が鳴る前に電話がかかってきた場合、撮影を中止します。シャッター音が鳴り既に静止画を撮影している場合、自動保存を「する」に設定しているときは、撮影した静止画が自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、通話終了後に確認画面が表示されます。
- 静止画の保存中に電話がかかってきた場合、着信画像が表示されますが、保存は継続されます。
- 静止画の撮影中にメールを受信しても、撮影は中断されず、そのまま撮影を続けることができます。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、静止画を撮影できません。保存されている画像を削除したり、静止画設定で画像サイズや画質の設定を変更してから撮影してください。☛P190、P397、P407
- 電話帳からカメラを起動した場合、確認画面で次の機能が利用できません。
  - ・メールの作成　・待受画面の設定　・電話帳の画像登録
  - ・補正　・保存先の切り替え　・画像の一覧表示
- miniSD メモリーカードが取り付けられていないときや miniSD メモリーカードが起動中のときは、確認画面で利用できない機能があります。

オートフォーカスで撮影する<オートフォーカス>

[カメラ/クリア] を半押ししてピントを合わせます。その状態のまま全押しすると、より鮮明な静止画を撮影できます。

- [カメラ/クリア] には半押しと全押しがあるため、他のキーと比べ押したときの感触が異なります。
- オートフォーカスでピントを合わせることができる距離は、通常モードで約 30cm 〜∞、接写モードで約 7 〜 30cm です。
- インカメラ撮影時や、セルフタイマー撮影中、撮影効果を「夜景」に設定しているときは、オートフォーカス操作はできません。

1 待受画面で [カメラ/クリア] を 1 秒以上押す

カメラが起動して静止画撮影モードになります。

2 被写体にカメラを向けて [カメラ/クリア] を半押しする

オートフォーカスが起動し、オレンジのフォーカス枠と AF（黒）が表示されます。
ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑の「＋」に、AF が AF（緑）に変わります。

- ピントが合わないときは、フォーカス枠が赤の「＋」に変わり、AF（赤）が表示されます。
- 緑の「＋」が表示されないうちに [カメラ/クリア] を全押しすると、ピントが合わない静止画が撮影されますのでご注意ください。
- ピントを画面の中央以外に合わせたいときは、一度ピントを合わせた後、[カメラ/クリア] を半押ししたまま撮影したい位置にカメラを向けます。

フォーカス枠

[カメラ/クリア] を半押し

緑の「+」に変わります。

ピントがあった状態

3 [カメラ/クリア]をさらに、シャッター音が鳴るまで押し込む（全押し）

コンパクトライトが赤で点灯し、静止画が撮影されます。

- ピントを合わせた後、[カメラ/クリア]から指を離して[決定]を押しても撮影できます。
  - [カメラ/クリア]から指を離して「+」が消えても、ピントは合ったままです（フォーカスロック）。
  - 別の被写体にピントを合わせるには、被写体にカメラを向け、[カメラ/クリア]を半押しします。
- 自動保存を「しない」に設定している場合、確認画面で操作できる機能や、撮影した静止画の保存先、保存するときの動作は通常の撮影時と同じです。☛P179

おしらせ

- ● ピントを合わせることができない距離の被写体の場合は、設定している撮影モードに応じた最良のピントで撮影されます。
- ● 自動連写時にオートフォーカスで撮影したときは、1 枚目と同じピントで残りの静止画が撮影されます。手動連写時は、撮影するたびにオートフォーカスでピントを合わせることができます。
- ● 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
  - 色の濃淡がない被写体を撮影する場合
  - 動いている被写体を撮影する場合
  - 暗い場所で撮影する場合
  - FOMA 端末を動かしながら撮影する場合
  - 撮影範囲内にライトなどがある場合
- ● オートフォーカス機能の使用中は[決定]、[電源]、[マナー]以外のキー操作が無効になり、撮影機能の設定を変更できません。

連続撮影する<連続撮影>

静止画を連続で撮影できます。連続撮影には、設定した枚数分を自動で連写する自動連写と、設定した枚数分を 1 枚ずつ手動で連写する手動連写があります。

- 連続撮影できる枚数は最大 6 枚です。
- 静止画設定の「連続撮影枚数」で連続撮影できる枚数を設定できます。☛P187
- 画像サイズが電話帳用（96 × 72）、横長 VGA（640 × 480）、縦長 VGA（480 × 640）、SXGA（960 × 1280）、UXGA（1200 × 1600）、2M（1224 × 1632）のとき、および電話帳または i アプリからカメラを起動したときは連続撮影できません。ただし、i アプリの種類によっては連続撮影できる場合もあります。

1 待受画面で[カメラ/クリア]を 1 秒以上押す

カメラが起動して静止画撮影モードになります。

2 連続撮影の種類を選択する

連続撮影のマーク

■ **自動連写に設定するとき**

① [Menu][5][1]を押す

連続撮影のマークが[1]から[自動]に変わります。

■ **手動連写に設定するとき**

① [Menu][5][2]を押す

連続撮影のマークが[1]から[手動]に変わります。

- 連続撮影を解除するときは[Menu][5][3]を押します。
- [7]を押し、[方向キー]で連続撮影の種類を選択してから、[決定]を押しても設定できます。

3 被写体にカメラを向けて ◉ または 📷/クリア を押す

■ **自動連写のとき**

自動連写用のシャッター音が鳴り、設定されている撮影枚数分の静止画が連続で撮影されます。

■ **手動連写のとき**

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

- 続けて静止画を撮影するには ◉ または 📷/クリア を押します。
- 手動連写を途中で中断するには 📖 を押します。自動保存を「する」に設定している場合、それまでに撮影した静止画が保存されます。自動保存を「しない」に設定している場合、確認画面が表示されます。

静止画設定の自動保存を「しない」に設定しているとき

確認画面が表示されます。

- ⊡ を押すたびに一枚表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 一枚表示時に ◎ を押すと前の画像に、◎ を押すと次の画像に切り替わります。
- 確認画面で操作できる機能や、撮影した静止画の保存先は通常の撮影時と同じです。☛P179

■ **静止画を一括で保存するとき**

① ◉ **を押す**

■ **表示されている静止画 1 枚だけを保存するとき（アウトカメラ撮影時）**

① ◉ **を 1 秒以上押して「はい」を選択する**

- サムネイル表示のときはカーソル位置の画像が保存されます。

■ **表示されている静止画 1 枚だけを正像／鏡像を切り替えて保存するとき（インカメラ撮影時）**

① ◉ **を 1 秒以上押して、「正像保存」または「鏡像保存」を選択する**

- サムネイル表示のときはカーソル位置の画像が正像／鏡像保存されます。

■ **連続撮影した静止画をすべて鏡像で保存するとき（インカメラ撮影時）**

① Menu 4 1 **を押す**

■ **連続撮影した静止画の中から保存する画像を選択するとき（サムネイル表示時）**

① Menu 5 2 **を押し、静止画を選択する**

- ◉ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。
- ✉ を押すとカーソル位置の静止画が拡大表示されます。◉ を押すとサムネイル表示に戻ります。

② 📖 **を押して「はい」を選択する**

選択した静止画だけが保存されます。

- インカメラ撮影時は正像保存するか鏡像保存するかの確認画面が表示されます。「正像保存」または「鏡像保存」を選択してください。

おしらせ

- 連続撮影した静止画のファイル名には末尾に「-1」が付きます。連続撮影した静止画をパラパラマンガの解除機能（☛P357）で 1 枚ずつの画像にできます。このとき、個々の画像のファイル名の末尾に「-1」～「-6」の番号が付きます。静止画のファイル名について ☛P177
- 手動連写中に電話がかかってきたりアラームが起動した場合、その時点で撮影が中止されます。自動保存を「する」に設定しているときは、それまでに撮影した静止画が自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、確認画面が表示されます。
- 自動連写中に電話がかかってきたりアラームが起動した場合、撮影が続行されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、通話やアラームの終了後に確認画面が表示されます。着信音およびアラーム音はシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。

ビデオカメラで動画を撮影する

- 撮影前に撮影方法を選択できます。☛P188、P190
- 通話中や音声録音中は動画を撮影できません。他の機能をすべて終了させてから動画を撮影してください。
- 着信音量を消音に設定していたり、マナーモードを設定していても、撮影確認音（シャッター音）は鳴ります。

1 待受画面で を1秒以上押す

ビデオカメラが起動して動画撮影モードになります。

- 動画の撮影待機中は次の操作ができます。
  - ：コンパクトライトの点灯（ ）／消灯（表示なし）切り替え※
  - ：縦撮影／横撮影の切り替え※
    - 画像のサイズがQVGA（320×240）のときのみ切り替えられます。
  - ：インカメラ／アウトカメラの切り替え
    - カメラを切り替えても、ズームや撮影効果などの設定は保持されます。
  - 1秒以上：静止画撮影モード／動画撮影モードの切り替え

  ※：アウトカメラ撮影時のみ操作できます。
- カメラ起動時、マルチイルミネーションランプが点滅します。

2 被写体にカメラを向けて または を押す

動画撮影画面

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、コンパクトライトが赤で2秒間隔で点滅し、動画が撮影されます。撮影を開始すると、 が に切り替わります。

- 撮影を一時停止するときは を押します。一時停止中はコンパクトライトが赤で点灯し、 が に切り替わります。もう一度 を押すと、撮影を再開します。
- 撮影中、一時停止中はマルチイルミネーションランプが点滅します。

3 または を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、動画の撮影が終了します。
撮影した動画がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。
☛P368

- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合は、miniSDメモリーカードの「動画」フォルダに保存されます。☛P397
- 動画の撮影中にファイルサイズが制限値を超えると、撮影が自動的に終了し、その時点までに撮影した動画が保存されます。
- 一時停止中に を押して撮影を終了した場合は、その時点までに撮影した動画が保存されます。

■ 撮影した動画をすぐに確認するとき

① を押す

② 確認したい動画を選択する

- 確認後 または を2回押すと、動画撮影画面に戻ります。
- 電話帳またはｉアプリからビデオカメラを起動したときは確認できません。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

動画／録音設定の自動保存を「しない」に設定しているとき

動画を撮影すると、撮影した動画の確認画面が表示されます。

• 動画／録音設定の自動再生を「する」に設定している場合は、撮影した動画が自動的に再生されます。

■ 撮影した動画を保存するとき

① [決定] を押す

• 撮影した動画を保存しない場合は [クリア] または [クリア] を押します。

■ 撮影した動画をメールに添付して送信するとき

① [メール] を押す

撮影した動画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した動画が FOMA 端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

• 保存先を miniSD メモリーカードに設定していても、撮影した動画は FOMA 端末に保存されます。
• 撮影した動画のファイルサイズが 500K バイトを超える場合は、メールに添付できません。
• 画像のサイズを QVGA（320 × 240）に設定している場合は、メールに添付できません。
• 動画の品質を「HQ ＋（最高品質）」に設定している場合は、メールに添付できません。

■ 待受画面に設定するとき

① [Menu] [2] [1] を押し、「はい」を選択する

撮影した動画が FOMA 端末に保存され、待受画面に設定されます。

• 撮影した動画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて動画を拡大して待受画面に表示します。
• 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ 電話帳の画像に登録するとき

① [Menu] [2] を押し、[2] または [3] を押して「はい」を選択する

撮影した動画が FOMA 端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

• 画像のサイズが Sub-QCIF（128 × 96）または QCIF（176 × 144）で、撮影種別を「画像のみ」に設定しているときのみ電話帳の画像に登録できます。
• 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、電話帳の画像に登録できません。

■ タイトルを変更するとき

① [Menu] [3] [1] を押す

② タイトルを入力して [決定] を押す

• 全角・半角を問わず最大 31 文字入力できます。
• 変更したタイトルは動画を保存したあとに反映されます。

■ テロップを作成するとき

① [Menu] [3] [2] を押し、「はい」を選択する

撮影した動画が FOMA 端末に保存され、テロップの作成画面が表示されます。☛P375

• 画像のサイズを QVGA（320 × 240）に設定している場合は、テロップを作成できません。
• 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、テロップを作成できません。

■ 再生するとき

① [決定] を押す

■ 保存先を FOMA 端末／ miniSD メモリーカードに切り替えるとき

① [Menu] [5] を押す

• 撮影した動画のファイルサイズが 490K バイトを超える場合は、保存先を切り替えられません。

■ 保存されている動画を一覧表示するとき

① [Menu] [6] を押し、[1] または [2] を押す

カメラ

おしらせ

- 撮影／録音中にキーを押したり充電を開始すると、操作音が録音される場合があります。
- 撮影／録音中にインジケータやカウンタ表示の更新が遅くなることがあります。
- 撮影／録音するデータによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影／録音できない場合があります。
- サイズ制限を「制限なし」に設定している場合、撮影／録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されない場合があります。
- 連続 10 時間以上撮影した動画／音声を miniSD メモリーカードに保存した場合、動画／音声を正しく表示・再生できないことがあります。
- 撮影／録音中に電話がかかってきたりアラームが起動したりした場合、その時点で撮影／録音が中止されます。自動保存を「する」に設定しているときは、中止するまでに撮影／録音したデータが自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、確認画面が表示されます。このとき、保存したデータの最後にアラーム音などが録音されることがあります。
- 保存中に電話がかかってきた場合、着信画像が表示されますが、保存は継続されます。
- 撮影／録音中に電池が切れそうになると、電池アラーム音が鳴り、それまでに撮影／録音したデータが自動で保存されます。このとき、保存したデータの最後に電池アラーム音が録音されることがあります。
- 動画／音声の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、撮影／録音できません。保存されているデータを削除したり、動画／録音設定でサイズ制限の設定を変更してから撮影／録音してください。☛P190、P397、P407
- 動画撮影で、電話帳からビデオカメラを起動した場合、確認画面で次の機能が利用できません。
  - メールの作成
  - 待受画面の設定
  - 電話帳の画像登録
  - テロップの作成
  - 保存先の切り替え
  - 動画の一覧表示
- miniSD メモリーカードが取り付けられていないときや miniSD メモリーカードが起動中のときは、確認画面で利用できない機能があります。

静止画設定・動画／録音設定

静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する

お買い上げ時

●静止画設定
画像サイズ：待受用（240 × 320）　画質：スタンダード　撮影日時：なし　サイズ制限：制限なし
セルフタイマー間隔：10 秒　連続撮影枚数：6 枚　自動保存：する　保存先：本体
自動終了時間：1 分後　シャッター音：シャッター音 1　照明設定：常灯

●動画／録音設定
品質:STD(標準)　撮影種別:画像＋音声　サイズ制限:メール添付　撮影サイズ:QCIF(176×144)
セルフタイマー間隔：10 秒　自動再生：しない　自動保存：する　保存先：本体
自動終了時間：1 分後　シャッター音：シャッター音 1　照明設定：常灯

・電話帳または i アプリからカメラ、ビデオカメラを起動したときは設定できません。この場合、自動終了時間が自動的に「1 分後」になります。

例 静止画設定を変更するとき

1 待受画面で [カメラ/クリア] を 1 秒以上押し、[Menu] [8] を押す

■ **動画／録音設定を変更するとき**
① **待受画面で [マルチ] を 1 秒以上押し、[Menu] [7] を押す**

2 各項目を選択して設定する

3 [辞書] を押す

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

設定項目について

○：設定可　×：設定不可

項　目	静止画設定	動画／録音設定	説　明
画像サイズ	○	×	撮影する静止画の画像サイズを設定します。☛P191 • インカメラ撮影時に画像サイズを縦長 VGA（480 × 640）、SXGA（960 × 1280）、UXGA（1200 × 1600）、2M（1224 × 1632）に設定すると、アウトカメラに切り替わります。
画質	○	×	保存する静止画ファイルの画質を設定します。画質が良くなるほど静止画のファイルサイズは大きくなります。☛P191
撮影日時	○	×	静止画の右下に撮影日時を入れるかどうかを設定します。
品質	×	○	保存する動画／音声ファイルの品質を設定します。品質が良くなるほど動画／音声のファイルサイズは大きくなります。☛P191
撮影種別	×	○	撮影／録音する動画／音声の種類を設定します。 ：画像＋音声　：画像のみ　：音声のみ（サウンドレコーダー）
サイズ制限	○	○	保存するファイルサイズの制限値を設定します。☛P191
撮影サイズ	×	○	撮影する動画の画像サイズを設定します。
セルフタイマー間隔	○	○	セルフタイマー撮影時の撮影開始までの時間を設定します。 • 2 ～ 15 秒の範囲で設定します。
連続撮影枚数	○	×	連続撮影する枚数を設定します。 • 2 ～ 6 枚の範囲で設定します。
自動再生	×	○	確認画面を表示したときに動画／音声を自動的に再生するかどうかを設定します。
自動保存	○	○	撮影した静止画や動画／音声を自動で保存するかどうかを設定します。 •「する」に設定すると、設定されている保存先に自動的に保存されます。 •「しない」に設定すると、撮影／録音後に確認画面が表示され、さまざまな操作を行えます。
保存先	○	○	保存先を設定します。
自動終了時間	○	○	何も操作していないときにカメラまたはビデオカメラ／サウンドレコーダーを終了するまでの時間を設定します。
シャッター音	○	○	撮影確認音（シャッター音）を設定します。 • 撮影確認音（シャッター音）にカーソルを合わせると音が鳴ります。
照明設定	○	○	撮影／録音中のディスプレイの照明を設定します。 •「端末設定に従う」に設定すると、照明設定（☛P144）に従います。 •「常灯」に設定すると、撮影画面／録音画面表示中はディスプレイの照明が常に点灯します。

おしらせ

- ● 静止画設定で画像サイズを電話帳用（96 × 72）に設定すると、撮影日時は設定できません。
- ● 静止画設定の画像サイズの CIF（352 × 288）、横長 VGA（640 × 480）、縦長 VGA（480 × 640）、SXGA（960 × 1280）、UXGA（1200 × 1600）、2M（1224 × 1632）とサイズ制限の「9000 バイト」は同時に設定できません。また、画像サイズの UXGA（1200 × 1600）、2M（1224 × 1632）とサイズ制限の「500K バイト」は同時に設定できません。
- ● 動画／録音設定の品質の「LP（長時間）」「HQ+（最高品質）」と撮影種別の「音声のみ」は同時に設定できません。
- ● 動画／録音設定の保存先を「本体」に設定している場合、サイズ制限を「制限なし」に設定できません。
- ● 各種設定リセットを行っても、静止画設定、動画／録音設定はお買い上げ時の状態に戻りません。

いろいろな方法で撮影する

ズームする

画像の撮影倍率を変更して、被写体をアップで撮影します。
各画像サイズで変更できる表示倍率は次のとおりです。

カメラの種類	画像サイズ	ズーム段階		最大表示倍率
		静止画撮影時	動画撮影時	
アウトカメラ	電話帳用（96 × 72）	65 段階	―	20 倍
	Sub-QCIF（128 × 96）	65 段階	9 段階	20 倍
	QCIF（176 × 144）	65 段階	8 段階	16 倍
	待受用（240 × 320）	65 段階	―	8 倍
	QVGA（320 × 240）縦撮影	―	3 段階	4 倍
	QVGA（320 × 240）横撮影	―	5 段階	8 倍
	CIF（352 × 288）	65 段階	―	6 倍
	横長 VGA（640 × 480）	65 段階	―	3 倍
	縦長 VGA（480 × 640）	65 段階	―	4 倍
	SXGA（960 × 1280）	65 段階	―	3 倍
	UXGA（1200 × 1600）	6 段階	―	2 倍
	2M（1224 × 1632）	6 段階	―	2 倍
インカメラ	電話帳用（96 × 72）	2 段階	―	2 倍
	Sub-QCIF（128 × 96）	2 段階	2 段階	
	QCIF（176 × 144）	2 段階	2 段階	
	待受用（240 × 320）	2 段階	―	
	QVGA（320 × 240）縦撮影	―	2 段階	
	CIF（352 × 288）	2 段階	―	
	横長 VGA（640 × 480）	2 段階	―	

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で を押す ☛P179、P184

スライダ
ズームのマーク

を押すたびにスライダの目盛が移動します。

- を押し、 で目盛を移動してから を押しても変更できます。
- 静止画／動画の撮影方法は、通常の撮影時と同じです。

■ **静止画撮影のとき**

アウトカメラ撮影時

標準 ⟷ ⟷ ⟷ ⟷ 最大ズーム

インカメラ撮影時

x1：標準　x2：2 倍

■ **動画撮影のとき**

x1：標準　x2：2 倍　x4：4 倍　x6：6 倍　x8：8 倍
x10：10 倍　x12：12 倍　x16：16 倍　x20：20 倍

おしらせ

- アウトカメラでの静止画撮影で、画像サイズを電話帳用（96 × 72）、Sub-QCIF（128 × 96）、QCIF（176 × 144）、待受用（240 × 320）、CIF（352 × 288）に設定した状態で撮影倍率を上げていくと、ディスプレイ上の画像表示の鮮明さが変わる場合があります。実際に撮影される画像については撮影倍率に応じた画質で記録されます。
- 撮影倍率を拡大していくと画像がぼやけて表示されますが、しばらくするとはっきり表示されます。

セルフタイマーを使う<セルフタイマー>

セルフタイマーを使って静止画や動画を撮影します。設定した時間が経過すると自動でシャッターが切れるため、撮影者自身が被写体になったり、手ぶれを防いだりすることができます。
・撮影するまでの時間は静止画設定および動画／録音設定の「セルフタイマー間隔」で設定できます。

1 静止画撮影画面で Menu 4 ／動画撮影画面で Menu 3 を押す ☛P179、P184

セルフタイマーが設定され、が表示されます。
・セルフタイマーを解除するときは、もう一度 Menu 4 ／ Menu 3 を押します。

2 被写体にカメラを向けて または を押す

カウントダウン音が鳴り、コンパクトライトが赤で点滅します。インジケータとカウンタには撮影までの残り時間の目安と残り秒数が表示されます。撮影時間が近づくにつれ点滅間隔が短くなり、設定した時間が経過するとシャッター音が鳴ります。
・セルフタイマーを途中で中止するときは を押します。
・セルフタイマー動作中はマルチイルミネーションランプが点滅します。

セルフタイマーのマーク

近くのものを撮影する<接写モード>

オートフォーカスで約 7 ～ 30cm のごく近い距離を撮影するときは、接写モードで撮影すると被写体にピントを合わせることができます。オートフォーカスを利用しない場合は、約 7 ～ 11cm でピントが合います。
・インカメラ撮影時は接写モードを利用できません。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で # を押す ☛P179、P184

接写モードに切り替わり、が表示されます。
・通常モードに戻すにはもう一度 # を押します。
・静止画／動画の撮影方法は、通常の撮影時と同じです。

接写モードのマーク

撮影時の設定を変更する

お買い上げ時　フレーム：なし　画像サイズ：〈静止画〉待受用（240 × 320）〈動画〉QCIF（176 × 144）
画質／品質：〈静止画〉スタンダード〈動画〉STD（標準）　サイズ制限：〈静止画〉制限なし
〈動画〉メール添付　撮影効果：標準　ホワイトバランス：オート　明るさ：± 0　色の濃さ：± 0

フレーム用の画像を重ねて撮影したり、画像サイズ、画質、品質、サイズ制限、撮影効果、ホワイトバランス、明るさ、色の濃さの設定を変更できます。
- 動画撮影で、撮影種別を「音声のみ」に設定しているときは、品質、サイズ制限以外は設定できません。

例　フレームを設定するとき

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で を押し、フレームのマークにカーソルを合わせる ☛P179、P184

現在の設定
フレームのマーク
マークの名前

- 他の設定を変更するときは各マークにカーソルを合わせます。
- 以下のキーを押してもマークにカーソルが移動します。

1：ズーム ☛P188
2：明るさ
3：色の濃さ
4：撮影効果
5：ホワイトバランス
6：フレーム
7：連続撮影 ☛P182
8：画質／品質
9：サイズ制限
0：画像サイズ

2 を押してフレームを切り替え、 を押す

- 他の設定を変更するときは で値を切り替えて を押します。
- 撮影効果、ホワイトバランス、フレーム、連続撮影、画質／品質、サイズ制限、画像サイズは、各マークに対応するキー（4 〜 9、0）を押しても値が切り替わります。

フレーム

FOMA 端末に保存されているフレームや、サイトからダウンロードしたフレームを選択できます。
：フレーム設定中　：フレーム解除
- お買い上げ時に FOMA 端末に保存されているフレームは、QCIF（176 × 144）、待受用（240 × 320）の画像サイズに対応しています。お買い上げ時に保存されているフレームの一覧 ☛P363
- 静止画の画像サイズを電話帳用（96 × 72）、横長 VGA（640 × 480）、縦長 VGA（480 × 640）、SXGA（960 × 1280）、UXGA（1200 × 1600）、2M（1224 × 1632）、動画の画像サイズを QVGA（320 × 240）に設定しているときは、フレームを設定できません。
- フレームを解除するには、6 を 1 秒以上押します。
- 電話帳または i アプリからカメラを起動したときは、フレームを設定できません。

おしらせ

- 静止画撮影時は Menu 7 1、動画撮影時は Menu 5 1 を押して、フレームの一覧からフレームを選択することもできます。
- 静止画撮影時に Menu 7 3、動画撮影時に Menu 5 3 を押すと、フレームが 180 度回転します。
- 撮影中にサイトからフレームをダウンロードしたときは、静止画撮影時は Menu 7 4、動画撮影時は Menu 5 4 を押すと、フレームを最新の内容に更新することができます。
- 静止画の場合、撮影した画像を保存した後でもフレームを重ねることができます。☛P362

画像サイズ

設定できる画像サイズは次のとおりです。

撮影モード	画像サイズ	マーク	メール送信の可否
静止画撮影	電話帳用（96 × 72）	96×72	i モードメールに添付したり、デコメールへ貼り付けたりして i モード端末やパソコンなどに送信できます。
	Sub-QCIF（128 × 96）	128×96	
	QCIF（176 × 144）	176×144	
	待受用（240 × 320）	240×320	
	CIF（352 × 288）	352×288	i モードメールに添付して i モード端末やパソコンなどに送信できます。 ファイル添付時にサイズを待受用（240 × 320）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。
	横長 VGA（640 × 480）	640×480	
	縦長 VGA（480 × 640）※	480×640	
	SXGA（960 × 1280）※	960×1280	
	UXGA（1200 × 1600）※	1200×1600	
	2M（1224 × 1632）※	1224×1632	
動画撮影	Sub-QCIF（128 × 96）	128×96	i モードメールに添付して i モード端末やパソコンなどに送信できます。 • QVGA（320 × 240）サイズの動画は i モードメールに添付できません。
	QCIF（176 × 144）	176×144	
	QVGA（320 × 240）	320×240	

※：アウトカメラ撮影時のみ
- i モード端末に送信できる画像のファイルサイズは最大 500K バイトです。
- i モード端末で見る際に最も適したサイズは、待受用（240 × 320）サイズです。
- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。

画質／品質

■ 画質（静止画撮影時）

エコノミー：最も低い画質になります。ファイルサイズは小さくなります。
スタンダード：標準的な画質です。
ファイン：最も高い画質になります。ファイルサイズは大きくなります。

■ 品質（動画撮影時）

長時間：最も低い品質になります。撮影時間は最も長くなります。
標準：標準的な品質です。
高品質：画像の動きがなめらかになります。
最高品質：最も高い品質になります。撮影時間は最も短くなります。

サイズ制限

■ 静止画撮影時

撮影した静止画のファイルサイズが制限値より大きくなる場合は、自動的に画質を落とすか、画像サイズを小さくして保存します。

9000バイト：ファイルサイズを 9000 バイトに制限します。i モードメールに添付するのに適したファイルサイズです。
500Kバイト：ファイルサイズを 500K バイトに制限します。ファイルサイズを変更せずに i モードメールに添付できます。
制限なし：ファイルサイズを制限しません。

- 撮影したファイルを i モードメールに添付して i モード端末に送信するときは「制限なし」以外に設定します。
- 画像サイズが UXGA（1200 × 1600）または 2M（1224 × 1632）のときは変更できません。
- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。

つづく

■ 動画撮影時

撮影中に動画のファイルサイズが制限値を超えると、自動的に撮影を終了します。

メール添付：ファイルサイズを290Kバイトに制限します。ｉモードメールに添付して既存の機種に送信できるファイルサイズです。

大容量メール添付：ファイルサイズを490Kバイトに制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

制限なし：ファイルサイズを制限しません。

・動画／録音設定で保存先を「本体」に設定している場合、「制限なし」に設定できません。
・撮影したファイルをｉモードメールに添付してFOMA端末に送信するときは「制限なし」以外に設定します。

撮影効果

以下の撮影効果をかけて撮影できます。

標準：標準的な撮影です。
逆光：被写体が逆光のときに光量を検出し、自動的に露出を補正します。
セピア：セピア色で撮影します。
モノトーン：白黒で撮影します。
夕焼け：夕焼けを背景に人物を撮影するときに使用します。
海・雪：海面や雪面などの光の反射をより美しく撮影します。
風景：コントラストが強調された鮮やかな画像になります。
夜景：長時間露光モードです。暗いところでの撮影に使用します。

・自動連写時は「夜景」に設定できません。動画撮影時は「風景」「夜景」に設定できません。

ホワイトバランス

撮影時の光源に合わせて自然な色合いに調整します。

オート：ホワイトバランスを自動的に調整します。
太陽光：晴天時の屋外で撮影するときに設定します。
くもり：曇天や日陰、夕刻などに撮影するときに設定します。
蛍光灯：蛍光灯などの照明の下で撮影するときに設定します。
電球：電球などの照明の下で撮影するときに設定します。

明るさ

：－２　：－１　：±０　：＋１　：＋２

・カメラ／ビデオカメラを終了しても、明るさの設定は保持されます。
・撮影する画像によっては、明るさを調整しても状態があまり変化しないことがあります。

色の濃さ

：－２　：－１　：±０　：＋１　：＋２

・カメラ／ビデオカメラを終了しても、色の濃さの設定は保持されます。
・撮影する画像によっては、色の濃さを調整しても状態があまり変化しないことがあります。
・インカメラ撮影中に撮影効果をセピアまたはモノトーンに設定している場合、色の濃さは反映されません。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

カメラ／ビデオカメラの設定を初期値に戻す

1 **静止画撮影画面で Menu 6 7 ／動画撮影画面で Menu 4 7 を押す**
☛P179、P184

2 **「はい」を選択する**

ワンショットメール

通話中に撮影した画像を送信する

音声電話通話中に撮影した静止画を、ｉモードメールに添付して通話中の相手に送信します。

- 本機能を利用するには、静止画設定で保存先を「本体」に設定してください。撮影した静止画をFOMA 端末に保存しないと、本機能は利用できません。
- 通話直前にキャラ電撮影を起動していると、撮影できない場合があります。

1 **通話中に を押す**

2 **静止画を撮影する**

- 撮影のしかた☛P179
- 静止画設定で自動保存を「する」に設定している場合、撮影した画像をメール添付するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した画像を確認できます。
- 連続撮影すると、撮影した画像がサムネイル表示されます。 を押して、送信する静止画にカーソルを合わせてください。

3 **を押し、「はい」を選択する**

撮影した静止画が FOMA 端末に保存され、メール作成画面が表示されます。通話中の相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。ただし、プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合）は入力されません。

- 撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータ BOX への保存の確認画面が表示されます。☛P262
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「9000 バイト」を選択すると 9000 バイトより小さいファイルサイズで FOMA 端末に保存されます。
- 撮影・保存した静止画のファイルサイズが 9000 バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けることができます。
- ｉモードメールを作成せずに撮影画面に戻るときは クリア または /クリア を押します。そのまま撮影を中止するときは、撮影画面で クリア を押します。

4 **ｉモードメールを作成して送信する**

- ｉモードメールの作成・送信方法☛P250

バーコードリーダーを利用する

カメラを使って JAN コードや QR コードに含まれている文字や数字などの情報を読み取ります。読み取った情報は電話帳やブックマークに登録したり、Phone To (AV Phone To)、Mail To、Web To を利用したりできます。

- 読み取った情報は最大 5 件保存できます。
- バーコードリーダーはアウトカメラのみ利用できます。
- JAN コードと QR コード以外のバーコードおよび 2 次元コードは読み取れません。
- QR コードの種類やサイズによっては読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れないことがあります。
- 文字入力画面からバーコードリーダーを起動して、読み取った情報をそのまま入力することもできます。☛P520

JAN コードとは

JAN コードとは、幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードの 1 つです。8 桁(JAN8)または 13 桁(JAN13)のバーコードを読み取ることができます。

4 942857 117899

左の JAN コードでは、「4942857117899」という文字情報を読み取ることができます。

QR コードとは

QR コードとは、縦横方向の模様で英数字や文字(漢字・カナ・絵文字)、音楽、画像などのデータを表現している 2 次元コードの 1 つです。

左の QR コードでは、「FOMA D901i」という文字情報を読み取ることができます。

コードを読み取るには

バーコードリーダーを起動すると、自動的に接写モードに切り替わります。アウトカメラをコードから約 6 ～ 9cm 離して読み取ってください。

約 6 ～ 9 cm

コードを読み取る

1 待受画面で Menu 6 4 を押す

バーコードリーダーが起動します。

- コード読み取り待機中は次の操作ができます。
  - ✉ :コンパクトライトの点灯( )/消灯(表示なし)切り替え
  - # :通常モード(表示なし)/接写モード( )切り替え
    - サイズの大きいコードを読み取るときは通常モードに切り替えてください。

2 コードを読み取る

アウトカメラをコードに合わせ読み取ります。コードを読み取ると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- 読み取ったデータが半角で 11000 文字、全角で 5500 文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが、保存はできます。
- サブメニュー表示中など、読み取りを停止しているときは、画面右上の⌛が⌛に変わります。

■ **コードを読み取り直すとき**

① [📖] または [Menu][2] を押す

3 [Menu][4] を押す

読み取ったデータが FOMA 端末に保存されます。

- 既にデータが 5 件保存されているときやデータの保存領域の空きが足りないときは、保存されているデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して保存されているデータを削除してください。

■ **読み取ったデータの文字情報をコピーするとき**

① [Menu][1] を押す
② コピーの開始位置を選択する
③ コピーの終了位置を選択する

分割された QR コードを読み取る場合

複数の QR コードに分割されているデータは、必要な数（最大 16 個）の QR コードを読み取ってから連結します。画面に表示されるメッセージに従って操作してください。

- 途中で読み取りを中止するには、[クリア] または [クリア] を押します。既に読み取ったデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されるので、「はい」を選択してください。

連結に必要な QR コードの総数分のマスが表示されます。読み取りが完了したマスは青、まだ読み取ってないマスはグレー、最後に読み取られたマスは緑で表示されます。

読み取りが必要な残りの QR コード数／ QR コードの総数が表示されます。

おしらせ

- 読み取りデータの保存領域の空きが足りないときは、画面の指示に従って保存可能な空き領域が確保できるまで FOMA 端末に保存されている読み取りデータを削除してください。
- バーコードリーダー画面で [Menu][3] を押し、[1] または [2] を押すと、静止画撮影、動画撮影に切り替えられます。待受画面以外からバーコードリーダーを起動した場合は、切り替えられません。

読み取ったデータを利用する

例 情報を電話帳に登録するとき

1 待受画面で [Menu][6][4][📖] を押す

2 データを選択する

■ 読み取りデータを削除するとき

① 削除する読み取りデータにカーソルを合わせて Menu 3 1 を押し、「はい」を選択する

• 読み取りデータをすべて削除するときは、Menu 3 2 を押して端末暗証番号を入力し、「はい」を選択します。

3 電話帳に登録する情報にカーソルを合わせ、新規登録するときは Menu 3 1、更新登録するときは Menu 3 2 を押し、1 または 2 を押す

選択した情報が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

■ 情報を電話帳に一括登録するとき

①「電話帳登録」を選択し、1 または 2 を押す

電話帳登録画面が表示されます。データによっては名前やフリガナなども入力されます。

■ メールを送信するとき

① メールアドレスまたは「メール作成」を選択する

メール作成画面が表示されます。

•「メール作成」を選択した場合、データによっては題名、本文も入力されます。

■ サイトまたはインターネットホームページに接続するとき

① URL を選択し、「はい」を選択する

■ URL をブックマークに登録するとき

① URL にカーソルを合わせて Menu 3 3 を押す、または「ブックマーク登録」を選択する

② 保存するフォルダを選択する

•「ブックマーク登録」を選択した場合、データによってはサイト名も登録されます。

■ ｉ アプリを起動するとき

①「ｉ アプリ起動」を選択する

■ 音声電話またはテレビ電話をかけるとき

① 電話番号を選択し、各項目を選択して設定し、Menu を押す

• カスタム発信について ☛P56

■ 静止画ファイルを保存するとき

① 静止画ファイルを選択し、「保存」を選択する

•「表示」を選択すると、静止画ファイルが表示されます。

② 各項目を選択して設定し、📖 を押す

• 設定項目の詳細について ☛P405

③ 静止画の保存先を選択する

■ 音楽ファイルを保存するとき

① 音楽ファイルを選択し、「保存」を選択する

•「再生」を選択すると、音楽ファイルが再生されます。

② 表示名を入力し、📖 を押す

音楽ファイルがメロディの「データ交換」フォルダに保存されます。

おしらせ

● カメラ撮影中やバーコードリーダーに対応している ｉ アプリから、バーコードリーダーを起動することもできます。ｉ アプリから起動した場合、読み取ったデータは ｉ アプリで保存、利用されます。

● 読み取ったデータのファイル名は、読み取り日時＋ファイル項番＋拡張子（JAN コードは「.jan」、QR コードは「.qr」）となります（2005 年 4 月 15 日 12 時 34 分に JAN コードを読み取った場合は、ファイル名が「20050415123400.jan」になります）。同じ日時に保存したデータが既に保存されている場合は、ファイル項番が＋1 されます。ただし、FOMA 端末の日付・時刻が設定されていない場合、ファイル名は「--------------」になります。なお、バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名は変更できません。

ｉモード

サイトを表示する

サイトから画像やメロディなどを取り込む

ｉモードの便利な機能

ｉモードの設定を行う

メッセージサービスを利用する

証明書を利用する

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

・サイト（番組）接続
　ｉMenuからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

・インターネット接続
　ｉモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、ｉモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

・ｉモードメール
　ｉモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやり取りができます。

サービスのしくみ

ｉモード端末
ｉモードセンター
IPとｉモード端末をつなぎます。またメールやメッセージをお預かりします。
IP（情報サービス提供者）
サイト（番組）を提供します。
インターネット
パソコンなど
FOMAサービスエリア
ｉモードのサービスエリアは、FOMAサービスエリア（通話のできるエリア）と同じです。

・ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

おしらせ

●新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。

●movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。なお、サイトによってFOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもございますので、その場合は、再登録をお願いします。また、「マイメニュー」引継対応サイトについては、ｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」でご確認できます。☛P199

●ｉモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金等につきましては、ｉモードご契約時にお渡しいたします『FOMAｉモード操作ガイド』をご覧ください。

●ｉモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『FOMAｉモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なキー操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。
たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

ｉモードセンターに接続すると、最初にｉMenu が表示されます。ここから、各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などへアクセスします。

• サイトの表示方法☛P204

全体イメージ

※画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

メニュー名	機　能
マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。☛P210 ｉMenu 内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は 45 件です。
週刊ｉガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。
メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。
とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます（提供：D2 コミュニケーションズ）。
ｉエリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。
かんたん検索	「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。
ｉアプリサーチ	ｉアプリを情報料が無料のものや、ゲームができるものなど目的別に紹介しているメニューです。
便利サイトサーチ	メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。
マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
オプション設定	ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。
お知らせ&ヘルプ	ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則などを掲載しています。
料金&お申込	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。
ENGLISH	ｉMenu を英語表記に変更できます。

おしらせ

- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IP が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- ｉモードアイコンが点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu 画面などが一部異なります。

こんなこともできます

■ ｉモーション

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末に取り込み、再生したり、待受画面として楽しんだりすることができます。

- ｉモーションを取り込むには☛P348
- ｉモーションを再生するには☛P368
- ｉモーションを自動再生設定するには☛P351

ｉモード端末　ｉモードセンター　ＩＰ

ｉモーション

ニュースなどの映像や音楽など

- ｉモーションを取り込むには、ｉモードセンターを経由するパケット通信と、経由しないデジタル通信の２種類があります。

■ 着モーション

ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末に取り込み、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません）。

- 着モーションを設定するには☛P128、P371

■ ｉアプリ

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末をより便利に活用いただけます。たとえばｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードしたりすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

- ソフトをダウンロードするには☛P324
- ソフトを起動するには☛P326
- ｉアプリを自動起動するには☛P336

ｉモード端末　ｉモードセンター　ＩＰ

ｉアプリ

ダウンロード

ゲーム、株価情報、etc.

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけたりすることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

- ｉアプリ待受画面を設定するには☛P338

■ ｉアプリDX

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

・ｉアプリDXとは☛P322

■ 3Dサウンド

3Dサウンド対応ｉモード端末では、ステレオスピーカー(またはステレオイヤホンセット)により立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出すことができ、臨場感あふれるｉアプリのゲーム、ｉモーションや着信音などをお楽しみいただけます（3Dサウンド対応のコンテンツの場合となります）。

・3Dサウンドとは☛P129

■ キャラ電

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話対応端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、キー操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードしてそのまま待受画像に設定したり、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送信することもできます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません）。

・キャラ電をダウンロードするには☛P222
・キャラ電設定をするには☛P91、P379
・キャラ電の撮影☛P381
・キャラ電の確認☛P378
・キャラクタの操作方法☛P379

■ 赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信できます。※

また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。例えば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

※：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

・赤外線通信モードにするには☛P408、P345

■ SSL通信

SSLとは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴やなりすまし、書きかえを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL通信には、ｉモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト(SSLページ)を表示するものと2つあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。☛P237

- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信、メッセージR/Fの受信ができません。
- ｉモード端末に保存されているCA証明書を利用するには☛P237
- FirstPassのユーザ証明書を利用するには☛P238

※なりすまし：第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

■ FOMAカード動作制限機能

お客様情報（電話番号・電話帳（一部）など）を格納しているFOMAカードを、ｉモード端末に挿入することによって、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・ｉモーションなどのファイルの動作を制限し、IP（情報サービス提供者）から提供された情報を保護する機能です。この機能によって、別のFOMAカードに差し替えたり、または未挿入の状態でｉモード端末の電源をONにした場合、取得したファイルの再生や表示もできなくなります。☛P38

- 動作制限対象となるファイル
  - 静止画ファイル
  - ｉアプリ
  - キャラ電
  - メッセージR/F
  - デコメール本文中に挿入されている画像
  - メロディファイル
  - 動画ファイル
  - 画面メモ
  - ｉモードメールに添付されているファイル

※カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。

※着信音や待受画面設定など、ｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

■ ｉメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。
☛P221

■ ｉアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末に取り込み、待受画面や着信画面に表示できます。☛P220

■ メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージリクエスト（メッセージR）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー（メッセージF）	パケット通信料が無料で届けられるメッセージです。

• メッセージサービスの受信方法は☛P230、P271
• メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様ご自身で「受信しない」設定に変更していただく必要がありますので、ご了承ください。
※上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっております。
詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『FOMAｉモード操作ガイド』をご覧ください。
• 電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
• ｉモードセンターでのメッセージR/Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管期間を過ぎたメッセージR/Fは削除されます。最大保管件数を超えた場合は、最も古いメッセージR/Fから順に削除されます。

メッセージ名	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

• ｉモードセンターに保管されたメッセージR/Fは、ｉモード問合せ（☛P271）により受信できます。

■ トクだねニュース便

メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。
• メッセージRの画面の見かたは☛P234

■ ｉモードパスワード

有料サイトのお申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。☛P211
ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示できます。
• 表示方法は☛P212

おしらせ

● ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。ｉモード対応のインターネットホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
● パソコン上での表示とは異なる場合があります。
● URLが512文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

ｉモードのご使用にあたって

●サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
●ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、電池パックを外したままの状態でも約1ヶ月は記録されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリ・ｉモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源をONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・ｉモーション・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示・再生できません。
●FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データを受信・ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。

おしらせ

●miniSDメモリーカードを利用することにより、メールやブックマークなどの内容を保存できます。☛P393
また、パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Dシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メール、ブックマークなどの内容をパソコンに転送・保管できます。☛P551

サイトを表示する

ｉモードに接続して、いろいろなサイトを表示します。

1 待受画面で [i] [1] を押す

ｉモード中は点滅します。

- ｉモード接続中画面で [CLR] を押すと、接続が中止されます。
- サイト表示中に [8] を1秒以上押すと、ｉモードが切断されます。
- [1]、[2] などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

2 「3 メニューリスト」を選択する

メニューリスト
着信モーション
天気/ニュース/情報
モバイルバンキング
証券/カード/保険
交通/地図/旅行
ショッピング/チケット
ファッション/コスメ
グルメ情報
くらしの情報
働く/住む/学ぶ
着信メロディ/カラオケ

・ページ取得中に ▯ を押すと、ページの取得が中止されます。

3 見たい項目を選択する

サイトに接続されます。以降同様に目的のページを表示します。

4 サイトを見終わったら ▯ を押す

5 「はい」を選択する

おしらせ

● サイト表示中に i Menu に戻る場合は Menu を押し、「▯Menu」を選択します。
● サイトからお客様の「携帯電話／FOMA カード（UIM）の製造番号」が要求されたときは、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の「携帯電話／FOMA カード（UIM）の製造番号」が送信されます。送信される「携帯電話／FOMA カード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。
送信するお客様の「携帯電話／FOMA カード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由して IP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）等に通知されることはありません。
● サイトからユーザ名、パスワードの入力が要求されたときは、ユーザ名、パスワードの入力画面が表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し、▯ を押します。
● 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示されることがあります。
  ▯：表示・効果設定で画像を表示しない設定にしているときや、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  ▯：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき
  ▯：画像の URL の誤りなど画像取得できないとき

SSL ページに接続する

通常のサイトの表示と同様の操作で、SSL に対応したサイト（SSL ページ）を表示できます。
・SSL ページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。☛P46
・FirstPass 対応ページに接続するには、ユーザ証明書を FirstPass センターからダウンロードし、緑色の FOMA カードに保存する必要があります（☛P39）。青色の FOMA カードを差し込んでいる場合は接続できません。

SSL ページに接続する

SSL ページに接続する場合は SSL 通信開始の画面が表示されます。
・SSL ページが表示されると画面右上に ▯ が表示されます。

■ SSLページ表示中に証明書を表示するとき

① Menu 9 2 を押す

・ 証明書の内容 ☛P237

SSLページから通常ページに進む

SSLページから通常ページに進む場合は確認画面が表示されます。

・「はい」を選択すると通常ページが表示され、画面右上の SSL が消えます。

FirstPass対応ページに接続する

FirstPass対応ページに接続する場合は次の画面が表示されます。

支払方法選択 1クレジットカード 2代金引換 ユーザ証明書を送信します はい いいえ → PIN2コード PIN2コードを入力してください 残存入力回数 3回 → 支払方法選択 1クレジットカード 2代金引換 ユーザ認証中 → カード番号入力 クレジットカードの番号を入力してください。 決定

①「はい」を選択する

PIN2コード入力画面が表示されます。☛P152

② PIN2コードを入力する

ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。

おしらせ

● サイトとの通信の安全性が確認できない場合、接続するかどうかの確認画面が表示されます。接続するときは「はい」、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

● SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。☛P237

● SSL通信 ☛P202

最後に表示したページに再接続する<ラストURL>

最後に表示したサイトやインターネットホームページのURLが記録されます。ラストURLを利用すると最後に表示したページに簡単に再接続できます。

1 待受画面で ◎ 5 を押す

最後に表示したページのURLが表示されます。

・ ラストURLが記録されていないときは、ラストURLがない旨のメッセージが表示されます。

2 ◉ を押す

おしらせ

● 最後に表示したページによっては、表示できないことがあります。また、最後に表示したページと異なるページを表示することがあります。

サイトの見かたと操作

リンク先や項目を選択する

ｉモード接続中、サイトによっては次のような操作が可能です。

リンク先を表示する

表示中のページから関連するページへ進むための項目をリンク項目といいます。リンク項目はカーソルを合わせると反転表示されます。

① ◎を押して項目にカーソルを合わせて ●を押す

- 画像にリンクが設定されている場合もあります。画像にカーソルを合わせて（枠で囲まれます）●を押すと、リンク先が表示されます。
- 1、2 などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

文字を入力する

入力欄を選択して文字を入力します。

① ◎を押して入力欄にカーソルを合わせて ●を押す

② 文字を入力する

- 入力できる文字種と文字数は、入力欄により異なります。
- ｉモードパスワードなどを入力した場合、「*」で表示されることがあります。
- 文字入力画面で Menu 8 2 を押すと、バーコードリーダーで読み取った内容を入力できます。☛P520

ラジオボタンを選択する

選択肢の中から１つだけ選択する場合のマークです。

○：選択されていない状態　◉：選択されている状態

① ◎を押してラジオボタンにカーソルを合わせて ●を押す

チェックボックスを選択する

選択肢の中から複数項目を選択できる場合のマークです。

□：選択されていない状態　☑：選択されている状態

① ◎を押してチェックボックスにカーソルを合わせて ●を押す

- 再度☑を選択すると□に戻ります。

プルダウンメニューを選択する

選択肢が隠れた状態で表示されるメニューです。

① ◎を押してプルダウンメニューにカーソルを合わせて ●を押す

② メニュー項目を選択する

- サイトによっては、プルダウンメニュー選択画面で◎を押して項目にカーソルを合わせて●を押す操作を繰り返して複数の項目が選択できます。選択後に 📖 を押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。

ボタンを選択する

ページの設定内容を確定してサイトに送信したり、ページの設定内容を取り消したりできます。

① ◎を押してボタンにカーソルを合わせて（実線枠で囲まれます）●を押す

- ボタンの名称はサイトによって異なります。

つづく

おしらせ

● ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー、入力欄のそれぞれに入力した内容は、登録したブックマークや画面メモには反映されません。

Flash 機能

Flash とは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを表示できます。また、Flash を利用した画像（Flash 画像）を i モード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に設定することもできます。

- Flash 画像によっては、お客様の i モード端末の端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するためには、表示・効果設定の登録データ利用設定を「利用する」に設定してください。お買い上げ時は、「利用する」に設定されています。なお、画像が利用する登録データには次のものがあります。
  - 電池残量
  - 受信レベル
  - 時刻情報
  - 着信音量設定
  - バイリンガル設定
  - 機種情報

Flash 画像について

- 表示・効果設定の画像を「表示しない」に設定した場合は表示されません。☛P228
- Flash 画像を利用したサイトでは、操作は同じですが、表示が異なる場合があります。
- Flash 画像によっては画面メモに保存しても、画像の一部が保存されないなどサイトで表示したときと見えかたが異なる場合があります。
- Flash 画像によっては画像保存をしても、画像の一部が保存されないなど、サイトで表示したときと見えかたが異なる場合があります。
- 待受画面や着信画面に設定された Flash 画像のメロディは再生されません。
- Flash 画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しない Flash 画像は保存できない場合があります。
- 再生中にエラーが発生した Flash 画像は保存できません。
- Flash 画像によっては の表示の有無によらず、Flash 画像の操作ができたりできなかったりする場合があります。
- Flash 画像を再度動作させたい場合は、Menu 9 6 を押してください。
- Flash 画像によっては効果音が鳴るものがあります。音量は電話着信音の音量設定に従います。効果音を鳴らさない場合は、Menu 9 3 を押し、効果音設定を「OFF」に設定してください（☛P228）。
- Flash 画像によっては、再生中に FOMA 端末を振動させるものがあります。バイブレータ設定を「OFF」に設定しても振動しますのでご注意ください。
- FOMA 端末に保存した Flash 画像をデータ BOX などから再生するときも、効果音やバイブレータは動作します。ただし、Flash 画像中の項目選択操作は行えないため、項目を選択して効果音やバイブレータを動作させることはできません。
- 再生中に 30 秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再開するには、0 ～ 9、＊、＃、、、、、 のいずれかのキーを押してください。
- 再生中に他の画面に切り替えた場合、再度表示すると Flash 画像の先頭から再生されます。

前のページに戻る／進む

FOMA 端末は、ページの履歴を最大 20 件記録しています。これをキャッシュといいます。これにより前のページに戻ったり、次のページに進めたりできます。

• FirstPass センター接続中（☛P238）は本機能を利用できません。

2 つ前のページ　1 つ前のページ　現在のページ

前のページに戻れることを示します。

次のページに進めることを示します。

おしらせ

● ページ A →ページ B →ページ C の順に表示（①、②）した後でページ A に戻り（③、④）、ページ D に進む（⑤）と、ページ A →ページ B →ページ C の表示履歴は消去されます。ページ D からページ A には戻れますが、さらにページ B へ戻ることはできません。

● ページ A 表示中にサブメニューから画面メモ（ページ B）を表示させ、ページ B からリンクにてページ C を表示させた場合、ページ A ⟷ ページ B ⟷ ページ C のように表示できます。

● 履歴が削除されたページを再度表示する場合や、最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示する場合は、再度通信が行われ新しいページが表示されます。ただし、表示するページによっては履歴が記録されていても通信を行う場合があります。

● 入力した文字や設定などの情報は記録されません。

● i モードを終了すると、記録されたページはすべて消去されます。

● Flash 画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なることがあります。

画面をスクロールする

サイトやインターネットホームページ、受信メールやメッセージ R/F の内容などを表示中に画面をスクロールします。

すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目が選択できるときは▲や▼が表示されます。

• Ⓞ を押してスクロールします。1 秒以上押すと連続スクロールとなります。

• Ⓘ、Ⓜ を押すと画面単位でスクロールします。1 秒以上押すと画面単位で連続スクロールとなります。

情報を再読み込みする

ページの情報が正常に受信できなかった場合に、再読み込みを行ってページの情報を受信し直します。

1 サイト表示中に Menu 5 を押す

ページの情報が受信され、ページが再表示されます。

つづく

おしらせ
- 接続が中断されるなどしてサイトが表示できなかった場合、再読み込みを行うとページを表示できることがあります。

URLを表示する

表示中のサイトのURLを表示します。

1 サイトを表示して Menu 9 1 を押す

サイトのURLが表示されます。

おしらせ
- URL 履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合は、Menu を押し、「URL表示」を選択します。

マイメニュー

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。

- マイメニューには最大45件登録できます。
- マイメニュー登録にはｉモードパスワードが必要です。
- mova サービス（ｉモードをご契約）から FOMA サービスへ契約を変更された場合、mova サービスで利用していた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。ただし、サイトによっては、FOMA に「マイメニュー」が引き継がれないサイトもありますので、その場合は再登録が必要です。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、i Menu の「お知らせ＆ヘルプ」で確認できます。☛P199
- i Menu のメニューリスト内の有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できるのは i Menu のメニューリスト内のサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。

マイメニューに登録する

1 サイトを表示し、「マイメニュー登録」を選択する ☛P204

- 各サイトによりページ構成が異なりますので、該当する番号のキーを押すか、該当する項目を選択します。

2 ｉモードパスワード欄を選択し、ｉモードパスワードを入力する

- 入力したパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードは初期設定では「0000」に設定されています。

3 「決定」を選択する

マイメニューからサイトを表示する

1 **i Menuで「1 マイメニュー」を選択する** ☛P204

2 **表示したいサイトを選択する**

i モードパスワード変更

i モードパスワードを変更する

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスや i モード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときは i モードパスワードが必要です。 i モードパスワードは i モードご契約時には「0000」に設定されていますので、お客様独自の i モードパスワードに変更してください。なお、 i モードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- i モードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

1 **i Menuで「8 オプション設定」を選択し、「2 i モードパスワード変更」を選択する**

2 **現在のパスワード欄を選択し、 i モードパスワードを入力する**

- 入力したパスワードは「*」で表示されます。

3 **新パスワード欄を選択し、新しい i モードパスワードを入力する**

- 入力したパスワードは「*」で表示されます。

4 **新パスワード確認欄を選択し、操作3で入力した i モードパスワードをもう一度入力する**

- 入力したパスワードは「*」で表示されます。

5 **「決定」を選択する**

- 入力した内容に誤りや抜けがあったときは、エラー画面が表示されます。「再入力」を選択して i モードパスワードの設定画面に戻り、操作 2 から操作し直します。

インターネットホームページを表示する

インターネットに接続して、ｉモード対応のホームページにアクセスします。接続する際は、インターネットホームページのアドレス（URL）で指定します。
・ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。

1 待受画面で [3] [1] を押す

URL 入力画面が表示されます。
・2 回目からは前回接続操作をした URL が表示されます。

2 接続したいインターネットホームページの URL を入力して [] を押す

・半角で最大 256 文字入力できます。
・URL によく使う「/」「.」「-」などの記号は、英字入力モード時に [1] を押して入力します。また、「http://www.」「.co.jp」「.ne.jp」「.com」「.html」などは、英字入力モード時に [*] を押して入力できます。

おしらせ
● サイト表示中から操作する場合は [Menu] を押し、「Internet」→「URL 入力」を選択します。
● インターネットホームページ表示中の操作方法は、ｉモードのサイトの場合と同じです。☛P207
● 受信データが 1 ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示されます。[] を押すとメッセージが消去され、受信できた分のデータが表示されます。

URL 履歴を使って表示する＜ URL 履歴＞

FOMA 端末は、接続操作をしたインターネットホームページの URL を新しい順に最大 20 件記録しています。この履歴からインターネットホームページに接続できます。

1 待受画面で [3] [2] を押す

2 表示したいインターネットホームページの URL を選択する

・URL が途中までしか表示されていないときは、表示したい URL にカーソルを合わせて [] を押します。

■ URL 履歴を削除するとき

① **削除する URL にカーソルを合わせて [Menu] [4] [1] を押す**
　・URL をすべて削除するときは [Menu] [4] [2] を押し、端末暗証番号を入力します。
② **「はい」を選択する**

おしらせ
● サイト表示中から操作する場合は [Menu] を押し、「Internet」→「URL 履歴」を選択します。
● URL 履歴が 20 件を超えた場合は、一番古い URL 履歴に上書きされます。

文字を正しく表示する＜文字コード＞

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた取り決めや仕組みの総称のことです。FOMA 端末でサイトやインターネットホームページを表示する際に、文字コードが一致していないと文字が正しく表示されません。

1 サイトやインターネットホームページ表示中に Menu 9 5 1 を押す

- Menu 9 5 1 を押すたびに文字コードが、自動選択→ SJIS → EUC → JIS → UTF8 の順に切り替わります。操作を 5 回繰り返すと元の表示に戻ります。
- サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。

おしらせ

● 操作 1 を繰り返しても、文字を正しく表示できない場合があります。
● 文字が正しく表示されているときに文字コードを変更すると、正しく表示されなくなる場合があります。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

特定の地域の天気予報や特定銘柄の株価情報など、同じサイトの同じページを頻繁に見るときは、ブックマークに登録すると便利です。登録したブックマークを選択するだけで、サイトやインターネットホームページをすばやく表示させることができます。

- ブックマークは最大 100 件まで登録できます。
- URL は半角で最大 256 文字登録できます。最大文字数を超える場合は登録できません。
- サイトによってはブックマークに登録できない場合があります。

ブックマークに登録する

ブックマークを 20 個のフォルダに分類できます。

1 ブックマークに登録したいサイトを表示して Menu 2 1 を押す

2 登録先フォルダを選択する

おしらせ

● 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、URL 履歴一覧から操作する場合は Menu を押し、「Bookmark 登録」を選択します。サイト表示中に Menu を押し、「Internet」→「URL 履歴」を選択して URL 履歴一覧を表示しても同様に操作できます。
● ブックマークが最大保存件数を超えるときは、登録済みのブックマークを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は上書きするブックマークを選択します。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 **待受画面で [○下] [2] を押す**

2 **フォルダを選択する**

Bookmark 1/3
フォルダ1
フォルダ2
フォルダ3
フォルダ4
フォルダ5
フォルダ6
フォルダ7
フォルダ8
フォルダ9

- マークの意味は次のとおりです。
  - [フォルダ]：ブックマークなし
  - [フォルダ]：ブックマークあり

3 **表示したいブックマークを選択する**

- マークの意味は「ツータッチ登録をする」を参照してください。☛P215

■ **URL を確認するとき**

① **URL を確認するブックマークにカーソルを合わせて [□] を押す**

おしらせ

● サイト表示中から操作する場合は [Menu] を押し、「Bookmark」→「表示」を選択します。

ブックマークのフォルダ名を変更する

1 **待受画面で [○下] [2] を押す**

2 **フォルダ名を変更するフォルダにカーソルを合わせて [Menu] [3] を押す**

3 **フォルダ名を変更して [□] を押す**

- 全角で最大 8 文字、半角で最大 16 文字入力できます。

ブックマークのタイトルを変更する

- 登録されているブックマークの URL を変更する操作ではありません。

1 **待受画面で [○下] [2] を押し、フォルダを選択する**

2 **タイトル名を変更するブックマークにカーソルを合わせて [✉] を押す**

3 **タイトル名を変更して [□] を押す**

- 全角で最大 12 文字、半角で最大 24 文字入力できます。
- タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧では URL が表示されます。
- タイトル、URL が全角で 10 文字、半角で 21 文字を超える場合、ブックマーク一覧では全角で 9 文字、半角で 19 文字と「…」が表示されます。

少ないキー操作でサイトに接続する<ツータッチ登録>

ブックマークをツータッチ登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。

ツータッチ登録をする

1 待受画面で [i] [2] を押し、フォルダを選択する

2 ツータッチ登録するブックマークにカーソルを合わせて [Menu] [2] を押す

3 登録先を選択する

ツータッチ登録先選択 1/3
未登録
未登録
未登録
未登録

- アイコンの番号（[0]～[9]）が、サイト表示に使用するキー（[0]～[9]）に対応します。
- ブックマーク一覧で、登録されたブックマークのマークが [ ] から [0]～[9] に変わります。

■ **ツータッチ登録を解除するとき**

① **ブックマーク一覧で解除するブックマークにカーソルを合わせて [Menu] [2] を押す**

おしらせ

● 待受画面で [i] [8] [1] を押すと、ツータッチ登録されているブックマーク一覧が表示されます。ブックマークにカーソルを合わせて [Menu] [1] を押し、「はい」を選択すると、ツータッチ登録を解除できます。

ツータッチでサイトを表示する<ツータッチサイト表示>

1 待受画面でツータッチ登録した番号のダイヤルキー（[0] ～ [9]）を押し、[i] を押す

■ **ツータッチサイト一覧からサイト表示するとき**

① **待受画面で [i] [8] [1] を押す**

② **ツータッチ登録をしたブックマークを選択する**

ブックマークを削除する

- ブックマークのフォルダは削除できません。

1 待受画面で [i] [2] を押し、フォルダを選択する

■ **ブックマークを全件削除するとき**

① **フォルダ一覧で [Menu] [2] を押す**

② **端末暗証番号を入力して操作 3 に進む**

■ **フォルダ内のブックマークを全件削除するとき**

① **フォルダにカーソルを合わせて [Menu] [1] を押す**

② **端末暗証番号を入力して操作 3 に進む**

つづく

2 削除するブックマークにカーソルを合わせて Menu 3 1 を押す

■ ブックマークを複数選択して削除するとき

① Menu 3 2 を押し、ブックマークを選択する

・ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② を押す

■ フォルダ内のブックマークを全件削除するとき

① Menu 3 3 を押す

② 端末暗証番号を入力する

3 「はい」を選択する

おしらせ

● ツータッチ登録されているブックマークを削除すると、ツータッチ登録も解除されます。

ブックマークを移動／コピーする

保存されているブックマークを別のフォルダに移動したり、miniSD メモリーカードにコピーしたりできます。また、赤外線通信を利用してブックマークを送信できます。

例 ブックマークを 1 件移動するとき

1 待受画面で 2 を押し、フォルダを選択する

2 移動するブックマークにカーソルを合わせて Menu 6 1 を押す

■ ブックマークを複数選択して移動するとき

① Menu 6 2 を押し、ブックマークを選択する

・ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② を押す

■ ブックマークを miniSD メモリーカードへ 1 件コピーするとき

① Menu 6 3 1 を押す

②「はい」を選択する

miniSD メモリーカードへコピーします。☛P394

■ ブックマークを miniSD メモリーカードへバックアップ（全件）するとき

① Menu 6 3 2 を押す

② 端末暗証番号を入力する

③「はい」を選択する

miniSD メモリーカードへバックアップします。☛P396

3 移動先のフォルダを選択する

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

ブックマークを並べ替える<ソート>

お買い上げ時　アクセス日付順

ブックマーク一覧の並び順を一時的に並べ替えます。並べ替えはすべてのフォルダが対象になります。

1 **待受画面で ◎ 2 を押し、フォルダを選択する**

2 **Menu 7 を押し、1 〜 4 を押す**

フォルダ1　1/1
1 タイトル名変更
2 ツータッチ登録
3 削除
4 URL表示
5 URL入力/URLコピー
1 アクセス日付順
2 タイトル名順
3 URL順
4 アクセス回数順

おしらせ

● ブックマークの表示を終了すると、並び順は「アクセス日付順」に戻ります。
● タイトル名順の場合、タイトルに全角／半角の文字や英字、漢字、タイトルがなく URL 表示になっているものが混在していると、五十音順にならない場合があります。

サイトの内容を保存する

画面メモを保存する

・保存できる画面メモのファイルサイズは、画面内の画像などを含め最大 100K バイトです。

1 画面メモに保存したいサイトを表示して Menu 4 1 を押す

・サイトにタイトルがあれば、そのタイトルが自動的に保存されます。タイトルがない場合は「無題」として保存されます。

おしらせ

● 画面メモの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されている画面メモを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。画面メモを保存する場合は、画面指示に従い保存可能な空き領域が確保できるまで FOMA 端末内の画面メモを削除します。

・保護されている画面メモは上書きされません。

画面メモを表示する

1 待受画面で ◎ 4 を押す

2 表示する画面メモを選択する

・画面メモ表示中の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。☛P207

・マークの意味は次のとおりです。

　: 通常の画面メモ

　: 保護されている画面メモ

・画面メモを保護する ☛P219

おしらせ

● サイト表示中から操作する場合は Menu を押し、「画面メモ」→「表示」を選択します。

● 画面メモ表示中に Flash 画像を再度動作させたいときは、Menu を押し、「表示」→「リトライ」を選択します。

画面メモのタイトルを変更する

1 待受画面で ◎ 4 を押す

2 タイトルを変更する画面メモにカーソルを合わせて ◉ を押す

3 タイトル名を変更して 📖 を押す

・全角で最大 12 文字、半角で最大 24 文字入力できます。

・タイトルを入力しないで登録すると、画面メモ一覧では「無題」と表示されます。

おしらせ

● 画面メモ表示中にタイトルを変更する場合は Menu を押し、「タイトル変更」を選択します。

画面メモを保護する

• 最大 50 件保護できます。

例 画面メモを 1 件保護するとき

1 待受画面で [ナビ] [4] を押す

2 保護する画面メモにカーソルを合わせて [Menu] [1] [1] を押す

• 画面メモ一覧で、保護された画面メモのマークが [マーク] から [マーク] に変わります。

■ 画面メモを複数選択して保護するとき

① **[Menu] [1] [2] を押し、画面メモを選択する**

• [ナビ] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。ただし、保護されていない画面メモが最大保護件数を超えて保存されている場合は全選択できません。

② **[ ] を押す**

■ 画面メモの保護を 1 件解除するとき

① **保護を解除する画面メモにカーソルを合わせて [Menu] [1] [3] を押す**

■ 画面メモの保護を複数選択して解除するとき

① **[Menu] [1] [4] を押し、画面メモを選択する**

• [ナビ] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。

② **[ ] を押す**

■ 画面メモの保護を全件解除するとき

① **[Menu] [1] [5] を押す**

おしらせ

● データ一括削除を行うと保護したデータもすべて削除されます。☛P461

● 画面メモ表示中から保護する場合は [Menu] を押し、「保護」を選択します。保護を解除する場合は [Menu] を押し、「保護解除」を選択します。

画面メモを削除する

• 保護されている画面メモは削除できません。全件削除しても保護されている画面メモは削除されません。画面メモの保護を解除してから削除してください。

例 画面メモを 1 件削除するとき

1 待受画面で [ナビ] [4] を押す

2 削除する画面メモにカーソルを合わせて [Menu] [2] [1] を押す

■ 画面メモを複数選択して削除するとき

① **[Menu] [2] [2] を押し、画面メモを選択する**

• [ナビ] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。

② **[ ] を押す**

■ 画面メモを全件削除するとき

① **[Menu] [2] [3] を押す**

② **端末暗証番号を入力する**

3 「はい」を選択する

おしらせ

● 画面メモ表示中に画面メモを削除する場合は Menu を押し、「削除」を選択します。

画像保存

サイトから画像を取り込む

サイトやメール、i アプリなどから、画像やフレームなどを FOMA 端末に保存できます。保存した画像は「マイピクチャ」から表示したり、待受画面などに設定したりできます。

・保存できる画像のファイルサイズは最大 100K バイトです。

・GIF 形式、JPEG 形式、Flash 形式の画像を保存できます。

1 保存したい画像があるサイトを表示して Menu 6 を押す

2 保存する画像を選択する

■イラスト集

保存する画像に枠が付きます。

3 各項目を選択して設定する

画像の保存
表示名
ペンギン
ファイル名
001
コメント
フレーム候補 しない
スタンプ候補 しない

・サイトから取得した画像ファイルは、ファイル制限を変更できません。

・メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限欄に「あり」と表示）は表示名を除いた各項目の内容を変更できません。

・各設定項目 ☛P405

■ **表示名、ファイル名、コメントを設定するとき**

① **設定する項目を選択し、表示名・ファイル名・コメントを入力する**

・表示名は全角・半角を問わず最大 36 文字入力できます。

・ファイル名は半角英数字と「.」、「-」、「_」で最大 36 文字入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。

・コメントは全角・半角を問わず最大 100 文字入力できます。

■ **フレーム候補、スタンプ候補を設定するとき**

① **設定する項目を選択して 1 または 2 を押す**

4 📖 を押し、保存先を選択する

・フレームまたはスタンプ画像の場合は「アイテム」フォルダに保存されます。☛P354

・Menu を押すと、画像を設定できる一覧が表示され、待受画面などに設定できます。☛P355

おしらせ

- 既に保存している画像と同じ表示名、ファイル名で画像を保存できます。
- 画像ファイルによっては選択できない項目があります。
- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式は640×480、JPEG形式は1224×1632を超える画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できないものもあります。
- 横縦（または縦横）のサイズが352×288を超える画像はフレーム候補にできません。また、横縦（または縦横）のサイズが210×210を超える画像はスタンプ候補にできません。Flash画像はフレーム、スタンプ候補にはできません。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA端末に保存されている画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域が確保できるまでFOMA端末内の画像を削除します。
  - 削除する前に画像一覧で［□］を押して画像を表示したり、［Menu］を押して画像の詳細情報を表示したりできます。☛P405

iメロディ

サイトからメロディを取り込む

サイトからメロディを取り込み、FOMA端末に保存できます（iメロディ対応）。保存したメロディは「メロディ」から再生したり、着信音に設定したりできます。

1 取り込みたいメロディのあるサイトを表示し、取り込むメロディを選択する

- ダウンロード中に［□］を押すとダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択する

- メロディを再生して確認するには、「再生」を選択します。メロディ再生画面が表示され、メロディが再生されます。☛P387
- メロディの保存を中止するには、「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択します。

3 ［□］を押す

取り込んだメロディは、メロディの「iモード」フォルダに保存されます。☛P386

- 表示名を設定するときは表示名を入力します。全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。

おしらせ

- メロディによっては正しく再生できない場合があります。
- マナーモード中にメロディを再生すると、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、電話着信音量調整で設定されている音量で再生されます。
- メロディの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA端末に保存されているメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域が確保できるまでFOMA端末内のメロディを削除します。
  - 削除する前にメロディ一覧で［□］を押してメロディを再生したり、［Menu］を押してメロディの詳細情報を表示したりできます。☛P405

サイトからキャラ電を取り込む

お買い上げ時に登録されているキャラ電の他に、サイトから任意のキャラ電を取り込んでFOMA端末に保存します。

・キャラ電撮影中は取り込んだキャラ電を保存できません。

1 取り込みたいキャラ電のあるサイトを表示し、取り込むキャラ電を選択する

・ダウンロード中に [📖] を押すと、ダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択する

・「表示」を選択すると、保存する前にキャラ電を表示して確認できます。
・キャラ電の保存を中止するには、「戻る」を選択して確認画面で「はい」を選択します。

3 [📖] を押す

キャラ電保存
表示名
男子高校生
コメント

取り込んだキャラ電は、キャラ電の「モード」フォルダに保存されます。☛P378

・表示名を設定するときは表示名を入力します。全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
・コメントを設定するときはコメントを入力します。全角・半角を問わず最大100文字入力できます。

iモード

おしらせ

● お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P331
● キャラ電の保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA端末に保存されているキャラ電を削除するかどうかの確認画面が表示されます。キャラ電を保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域に達するまでFOMA端末内のキャラ電を削除します。
　・削除する前にキャラ電削除画面で [📖] を押してキャラ電を表示したり、[Menu] を押してキャラ電の詳細情報を表示したりできます。☛P405

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To 機能を使う

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージ R/F など）の電話番号やメールアドレス、URL から、音声電話の発信（Phone To）、テレビ電話の発信（AV Phone To）、メールの作成（Mail To）、サイトへの接続（Web To）が行えます。
- サイトによっては、利用できない機能があります。

1 サイトを表示し、電話番号、メールアドレス、または URL を選択する

- カーソルを合わせられる電話番号、メールアドレス、URL のみ選択できます。

■ Phone To（AV Phone To）のとき

カスタム発信の画面が表示されます。

① カスタム発信の各項目を選択して設定する ☛P56

② Menu を押して「はい」を選択する

- 利用できる電話番号の最大桁数は 26 桁（＋で始まる番号は＋を含め 27 桁）です。

■ Mail To のとき

選択したメールアドレスが宛先に設定されているメール作成画面が表示されます。

① ｉモードメールを作成して送信する ☛P250

- ショートメッセージ（SMS）は作成できません。
- 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、Mail To 機能を利用できないことがあります。
- 利用できるメールアドレスの最大文字数は 50 文字です。

■ Web To のとき

選択した URL サイトに接続されます。
- 利用できる URL の最大文字数は約 2000 文字です。

URL をコピーする

表示中のサイトや画面メモの URL をコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。
- コピーした文字は電源を切るまで FOMA 端末に保持され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは 1 件だけです。新たにコピーを行うと、直前にコピーした文字は上書きされます。

例 サイトの URL をコピーするとき

1 サイトの URL を表示して Menu 1 を押す ☛P210

2 コピーする範囲の開始位置を選択し、終了位置を選択する

- 開始位置を指定する前に Menu を押すと全文が選択されます。
- 開始位置を指定し直すときは クリア を押します。
- 開始位置指定後に Menu、 📖 を押すとカーソルが文頭、文末に移動します。

3 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける ☛P521

おしらせ

● URL履歴一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合は Menu を押し、「URLコピー」を選択します。ブックマーク一覧から操作する場合は Menu を押し、「URL入力／URLコピー」→「URLコピー」を選択します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。
● メールにURLをコピーするには、サイト表示中に Menu を押し、「メール作成」を選択します。表示中のサイトのURLが本文に貼り付けられて新規メール作成画面が表示されます。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。
・サイトによっては、画面に表示されている項目以外の情報も登録できる場合があります。
・電話番号に「0～9」、「#」、「＊」、「+」以外の文字が含まれている場合は、それらを削除して登録してください。

新規登録する

例 サイト画面に表示されている電話番号やメールアドレスを新規登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

・反転表示される電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

2 登録する電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせて Menu 8 1 を押す

3 1 または 2 を押す

登録先選択
1 メモリ内
2 FOMAカード

4 名前などを設定して登録する

・選択した電話番号やメールアドレスがあらかじめ登録されています。
・電話帳の登録方法☛P104、P108

おしらせ

● 画面メモ表示画面から操作する場合は Menu を押し、「電話帳」→「新規登録」を、メッセージR/F詳細表示画面から操作する場合は Menu を押し、「登録」→「電話帳新規」を選択します。

登録済みの電話帳データに追加する

• 以前に登録した内容が変更されてしまう場合があるので、電話帳編集画面で登録内容を確認してください。

例 サイト画面に表示されている電話番号やメールアドレスを追加登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する

・反転表示される電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

2 登録する電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせて Menu 8 2 を押す

3 1 または 2 を押す

登録先選択
1 メモリ内
2 FOMAカード

4 更新する電話帳を選択する

5 内容を確認し、登録する

・選択した電話番号やメールアドレスが登録されています。
・電話帳の登録方法 ☛P104、P108

おしらせ

● 画面メモ表示画面から操作する場合は Menu を押し、「電話帳」→「更新登録」を、メッセージ R/F 詳細表示画面から操作する場合は Menu を押し、「登録」→「電話帳更新」を選択します。
● プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。

URL を電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧から URL を電話帳に登録します。

新規登録する

例 ブックマーク一覧から新規登録するとき

1 待受画面で ◎ 2 を押し、フォルダを選択する

2 登録するブックマークにカーソルを合わせて Menu 8 1 を押す

3 名前などを設定して登録する

・◎ を押して設定（その他）画面を表示すると URL が確認できます。
・電話帳の登録方法 ☛P104

つづく

おしらせ

● 画面メモ一覧から操作する場合は Menu を押し、「電話帳」→「新規登録」を選択します。

登録済みの電話帳データに追加する

例 ブックマーク一覧から追加登録するとき

1 **待受画面で ◎ 2 を押し、フォルダを選択する**

2 **登録するブックマークにカーソルを合わせて Menu 8 2 を押す**

3 **登録先の電話帳データを選択する**

4 **内容を確認して登録する**

・ ◎ を押して設定（その他）画面を表示すると URL が確認できます。
・ 電話帳の登録方法 ☛P104

おしらせ

● 画面メモ一覧から操作する場合は Menu を押し、「電話帳」→「更新登録」を選択します。
● サイト画面から URL を表示（☛P210）した場合は、その URL を登録することはできません。
● プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。

ｉモードの設定を行う

接続待ち時間を設定する<接続待ち時間設定>

お買い上げ時　60 秒間

ｉモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続を中断するので、キー操作で中断する必要はありません。

1 **待受画面で [i] [8] [2] を押す**

2 **[1] ～ [3] を押す**

接続待ち時間設定
1 60秒間
2 90秒間
3 無制限（設定なし）

・接続待ち時間を設定しない場合は [3] を押します。

おしらせ

●「無制限（設定なし）」に設定していても、電波状況などによりｉモードセンターとの接続が中断されることがあります。

ｉモードから接続先を変更する<ISP 接続通信>

※ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

■ ISP 接続通信とは

ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続が可能になります。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。
・ISP 接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。
※ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

■ プロバイダ契約について

・ISP 接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモよりご請求することはありません。
・お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。発信者番号の通知／非通知☛P496
・登録できる接続先は最大 10 件です。
・通信中は接続先を設定／変更できません。

つづく

1 待受画面で [メニュー][8][3] を押す

2 編集するユーザ設定にカーソルを合わせて [Menu] を押す

■ i モードを利用する設定に戻すとき

①「i モード（FOMA カード）」を選択し、操作 6 に進む

■ 以前に設定した接続先に変更するとき

① 接続先を選択し、操作 6 に進む

3 端末暗証番号を入力する

4 各項目を選択して設定し、[i] を押す

- 接続先名称は全角で最大 8 文字、半角で最大 16 文字入力できます。
- 接続先は半角英数字で最大 99 文字入力できます。
- 接続先アドレスは半角英数字で最大 30 文字入力できます。
- [Menu] を押すと、既に入力した項目の内容を一括削除できます。

5 編集した接続先を選択する

6 [i] を押す

画像表示、照明、効果音を設定する<表示・効果設定>

お買い上げ時　画像:表示する　アニメーション:表示する　登録データ利用設定:利用する
照明設定：端末設定に従う　効果音設定：ON

サイトや画面メモ、メッセージ R/F などの内容を表示したときの画像や照明、効果音（Flash 再生時）を設定します。

1 待受画面で [メニュー][9][1] を押す

2 各項目を選択して設定する

画像：画像を表示するかどうかを設定します。
- 「表示しない」に設定すると、「アニメーション」「登録データ利用設定」は設定できません。

アニメーション：アニメーションの表示を設定します。

登録データ利用設定：Flash 画像を表示するときの、FOMA 端末内の登録データの利用を設定します。

照明設定：ディスプレイとキーの照明方法を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、設定メニューの照明設定（☛P144）に従います。
- 「常灯」に設定すると、サイトなどの表示中はディスプレイとキーの照明が常時点灯します。

効果音設定：Flash 再生音を設定します。

3 [i] を押す

おしらせ

● サイト表示中から操作する場合は Menu を押し、「表示」→「表示・効果設定」を選択します。
● 画像を「表示する」に設定しても、画像が正しく表示されない場合があります。
● 画像を「表示しない」に設定すると画像は表示されず、Flash 画像も表示されません。また、画像の位置に が表示されます。
● アニメーションを「表示しない」に設定したときは、アニメーションの最初のコマが表示されます。なお、「表示しない」に設定しても Flash 画像は再生されます。
● メッセージ R/F の場合、本文に組み込まれている画像の表示／非表示が設定できます。この設定は、添付ファイルとして添付されている画像の表示／非表示には影響しません。また、効果音設定の ON ／ OFF もメッセージ R/F には影響しません。
● 表示・効果設定の登録データ利用設定を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、着信音量設定、バイリンガル設定、機種情報がインターネットを経由して IP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

サイトの表示色を設定する<表示色設定>

お買い上げ時　文字／背景：指定しない　リンク色：指定しない

サイトや画面メモの内容を表示するときの表示色を設定します。

1 待受画面で 9 2 を押す

2 文字／背景欄を選択して 1 を押す

表示色設定
文字/背景 指定しない
文字色
背景色
リンク色 指定しない
未表示
表示済
選択時

・文字色／背景色を指定しないときは 2 を押し、操作 5 に進みます。

文字／背景：文字色／背景色を設定します。
・「指定しない」に設定すると、「文字色」「背景色」は設定できません。

リンク色　：リンク色を設定します。
・「指定しない」に設定すると、「未表示」「表示済」「選択時」は設定できません。

3 文字色欄を選択し、色を選択する

文字色設定
(表示例)abcあいう123

・表示例が選択されている色で表示されます。
・文字色の標準設定は黒です。16 色から選択できます。

4 背景色欄を選択し、色を選択する

・背景色の標準設定は白です。16 色から選択できます。

5 操作 2 ～ 4 と同様にリンク色を設定する

・リンク色の標準設定は、「未表示」が青、「表示済」が赤、「選択時」が背景色と同色です。

6 を押す

つづく

おしらせ

- ● リンク色（表示済）はリンク先の画面が履歴に記録されている間だけ有効です。
- ● 色を設定したとき、サイトによっては文字が見えにくくなったり、見えなくなったりする場合があります。その場合は色の設定を変更してください。

メッセージR/F受信

メッセージR/Fを受信したときは

メッセージR/Fを受信すると画面表示や着信音、バイブレータ、マルチイルミネーションランプでお知らせします。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

・メッセージRは最大100件、メッセージFは最大50件保存できます。

1 メッセージR/Fを受信する

メッセージR/F受信中は点滅します。
点滅します。
メッセージR受信中 …
受信完了
メッセージRを受信しました
[2] メッセージR 1件
R：未読のメッセージRがあります。
F：未読のメッセージFがあります。
受信結果がスクロール表示されます。
受信したメッセージR/Fの件数が表示されます。

とまたはが点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。メッセージR/F着信音が鳴り、マルチイルミネーションランプが点滅して受信結果画面が表示されます。

・メッセージ受信中画面で を押すと受信を中止します。

■ **待受画面表示中に、自動表示設定で設定されていないメッセージを受信したとき、または、「表示しない」に設定してメッセージを受信したとき**

受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。また、 を押しても受信前の画面に戻ります。

■ **受信したメッセージR/Fをすぐに読むとき**

① 受信結果画面で 2 または 3 を押す

■ **受信に失敗したとき**

「メッセージR」「メッセージ F」の後ろに「×」が表示されます。

■ **待受画面表示中に、自動表示設定で設定したメッセージを受信したとき**

何も操作しないでいると、受信結果画面から受信前の画面に戻る前に、未読メッセージR/Fの内容が表示されます。

・マルチタスク中は自動表示できません。

■ **メッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせる**

圏外にいた間や電源を切っていた間にメッセージR/Fが届くと、iモードセンターに保管されます。メッセージR/Fがあるかどうかの問い合わせの操作はiモードメールと同じです。☛P271

おしらせ

- 受信表示設定によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。☛P303
- ショートメッセージ（SMS）受信中は、メッセージR/Fは受信できません。また、ショートメッセージ（SMS）の受信完了後も自動受信はされません。
- FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、一番古いメッセージR/Fに上書きされます。ただし、未読のメッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fには上書きされません。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面にはやのマークが表示されます。☛P27
- ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときはやのマーク（☛P26）が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークがやに変わります。
  ｉモードセンターの保管件数☛P203
- 途中で受信に失敗した場合などにメッセージR/Fを受信し直すには、メッセージR/Fのｉモード問合せを行ってください。ただし、メッセージR/Fが最大保存件数を超えたときは、未読メッセージR/Fの内容を表示したり、不要メッセージR/Fを削除したり、保護を解除したりする必要があります。

新着メッセージR/Fを表示する

1 メール・メッセージ受信結果画面で 2 または 3 を選択する

- 「メール」を選択するとｉモードメールが表示されます。
- 受信したメッセージRは「メッセージリクエスト」、メッセージFは「メッセージフリー」に保存されます。

2 フォルダを選択し、メッセージR/Fを選択する

- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。また、自動再生されないようにも設定できます。☛P301
- メッセージR/Fの見かた☛P234

メッセージ R/F を自動的に表示する<自動表示設定>

お買い上げ時　メッセージ R 優先

メッセージ R/F を受信したときに、未読のメッセージ R/F の内容を自動的に表示できます。
メッセージ R とメッセージ F を両方受信したときに、優先するメッセージも設定できます。

例 メッセージ R のみを表示するとき

1 待受画面で [決定] [7] [3] [1] を押す

2 [1] を押す

■ **メッセージ F のみを表示するとき**
① [2] を押す

■ **メッセージ R を優先して表示するとき**
① [3] を押す

■ **メッセージ F を優先して表示するとき**
① [4] を押す

■ **メッセージ R ／ F を自動的に表示しないとき**
① [5] を押す

おしらせ

- 自動表示設定をすると、メッセージ R/F の受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージ R/F の内容が自動表示されます。
- メッセージ R/F の内容は約 15 秒間表示されます。自動表示中にキー操作を行わなかった場合は、メッセージ R/F は未読の状態で保存されます。
- 受信結果画面からメールやメッセージ R/F の表示操作を行った場合は自動表示されません。また、i モード問合せでメッセージ R/F を受信したときは、自動表示されません。
- 待受画面表示中の場合だけ自動表示できます。

メッセージ R/F 着信時の動作を設定する<メッセージ着信設定>

お買い上げ時　着信音選択：メロディ／パターン 1　着信イルミネーション設定：パターン 8
バイブレータ設定：OFF　鳴動時間：10 秒

1 待受画面で [決定] [7] [3] [4] を押す

2 [1] または [2] を押す

メッセージ着信設定
1 メッセージR
2 メッセージF

3 各項目を選択して設定する

着信音選択 ：着信音の鳴動を設定します。また、着信音はメロディまたは着モーションから選択できます。

着信イルミネーション設定
：マルチイルミネーションランプの点滅パターンを設定します。

バイブレータ設定
：バイブレータの動作パターンを設定します。

鳴動時間（秒）
：着信音が鳴動している時間を１～30秒の間で設定します。

4 [MENU] を押す

おしらせ

- メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。
- メッセージ着信設定は、音の設定と連動しているため、本機能でメッセージ R/F の着信音を変更した場合は、音の設定も同様に変更されます。

メッセージ R ／メッセージ F

保存されているメッセージ R/F を表示する

- 未読の受信メッセージ R/F があるときは待受画面に[R]または[F]が表示されます。

例 メッセージ R を表示するとき

1 待受画面で [◎] [7] [1] を押す

■ メッセージ F を表示するとき

① [◎] [7] [2] を押す

2 表示するメッセージ R を選択する

おしらせ

- 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されているメッセージ R/F を表示すると、着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で停止させるときは [クリア] または [/クリア] を押します。
- 本文中に画像が組み込まれている場合は画像が表示されます。
  - 画像を FOMA 端末に取り込めます。操作方法はサイトからの画像の保存と同じです。☛P220
  - 画像を受信できなかったときは、受信し直すことができます。☛P234
  - 画像を受信できなかったときはマークが表示されます。マークはサイトで画像を表示できなかった場合と同じです。☛P205
  - 本文中の画像は削除できません。

メッセージ一覧画面／表示画面の見かた

メッセージ R とメッセージ F の画面の見かたは同様です。

■ メッセージ一覧画面の見かた

メッセージ一覧画面では、上部にページ番号／総ページ数が表示されます。メッセージ欄には、受信日時とタイトルが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。

① 状態マーク
：未読　：既読　：保護

② 添付マーク
：画像　：画像＋メロディ
：メロディ　：ファイル異常

- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日時が表示されます。

■ メッセージ表示画面の見かた

メッセージ表示画面では、上部に状態マーク、添付マーク、メッセージ R/F 番号が表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  ：受信日時　：タイトル
- を押すと前後のメッセージ R/F を表示できます。

おしらせ

● 添付ファイルがある場合、詳細表示画面にマークと添付ファイル名、ファイルサイズなどが表示されます。
・添付ファイルの操作方法は i モードメールと同じです。詳しくはそれぞれの参照先をご覧ください。

種　類	マーク	参照先
画像	：メール添付や FOMA 端末外への出力可 ：メール添付や FOMA 端末外への出力不可 ：画像データ異常	P274
メロディ	：メール添付や FOMA 端末外への出力可 ：メール添付や FOMA 端末外への出力不可 ：メロディデータ異常	P277

● 詳細表示画面から電話番号やメールアドレスを選択して電話帳に登録したり、URL を選択してブックマークに登録したりできます。☛P213、P224

● 詳細表示画面中の電話番号やメールアドレス、URL から電話をかけたり、i モードメールを送ったり、サイトを表示したりできます。☛P223

メッセージ R/F 内の画像を再読込みする＜再読込み＞

メッセージ R/F の本文中に未受信の画像があるときは、画像を受信し直します。

- 表示・効果設定を「表示しない」に設定しているときは、再読込みを行っても画像は受信できません。☛P228
- 画像によっては再読込みを行っても表示できない場合があります。

1 **メッセージ R/F 一覧を表示する ☛P233**

2 メッセージR/Fを選択する

• は未受信の画像データがあることを示します。

3 Menu 1 を押す

画像が読み込まれます。

メッセージR/Fを保護する<メッセージ保護>

• メッセージRは最大50件、メッセージFは最大25件保護できます。
• 未読のメッセージR/Fは保護できません。

例 メッセージR/Fを1件保護するとき

1 メッセージR/F一覧を表示する ☛P233

2 保護するメッセージR/Fにカーソルを合わせて Menu 2 1 を押す

メッセージR/Fが保護され、状態マークが から に変わります。

■ **メッセージR/Fを複数選択して保護するとき**

① **Menu 2 2 を押し、メッセージR/Fを選択する**

• で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。ただし、保護されていないメッセージR/Fが最大保護件数を超えて保存されている場合は全選択できません。

② **を押す**

■ **メッセージR/Fの保護を1件解除するとき**

① **保護を解除するメッセージR/Fにカーソルを合わせて Menu 2 3 を押す**

■ **メッセージR/Fの保護を複数選択して解除するとき**

① **Menu 2 4 を押し、メッセージR/Fを選択する**

• で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② **を押す**

■ **メッセージR/Fの保護を全件解除するとき**

① **Menu 2 5 を押す**

おしらせ

● データ一括削除を行うと保護したデータもすべて削除されます。☛P461
● メッセージR/F詳細表示画面から保護する場合は Menu を押し、「保護」を選択します。保護を解除する場合は Menu を押し、「保護解除」を選択します。

メッセージR/Fを削除する<メッセージ削除>

• 保護されているメッセージR/Fは削除できません。メッセージR/Fの保護を解除してから削除してください。

例 メッセージR/Fを1件削除するとき

1 メッセージR/F一覧を表示する ☛P233

2 削除するメッセージR/Fにカーソルを合わせて Menu 1 1 を押す

■ 既読のメッセージR/Fのみを削除するとき

① Menu 1 2 を押す

■ メッセージR/Fを複数選択して削除するとき

① Menu 1 3 を押し、メッセージR/Fを選択する

- で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② を押す

■ メッセージR/Fを全件削除するとき

① Menu 1 4 を押し、端末暗証番号を入力する

3 「はい」を選択する

おしらせ

● メッセージR/F詳細表示画面から1件削除する場合は Menu を押し、「削除」を選択します。

表示するメッセージR/Fの種別を選ぶ<表示種別>

例 メッセージRの表示種別を選択するとき

1 メッセージR/F一覧を表示する ☛P233

2 Menu 3 を押す

3 1 ～ 4 を押す

おしらせ

● メッセージR/F一覧の表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。

●「既読のみ表示」では、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

証明書を表示して有効／無効を設定する<証明書表示／使用設定>

証明書を表示する

- ユーザ証明書をダウンロードしていない場合は、「ユーザ証明書」は表示されません。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、「ドコモ証明書」「ユーザ証明書」は表示されません。

1 待受画面で [8] [4] を押す

2 表示する証明書を選択する

おしらせ

● CA（Certification Authority）証明書
　…認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。

● ドコモ証明書 …FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめ緑色のFOMAカード内に保存されています。

● ユーザ証明書 …FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、ダウンロードすると緑色のFOMAカード内に保存されます。FirstPassセンターで発行要求を行います。

● 証明書の表示内容

証明書の所有者
　CN= …(Common Name) サーバの名前、管理者名、または識別番号
　O= …(Organization) 会社名など
　C= …(Country) 国名

証明書の発行者
　CN= …(Common Name) サーバの名前、管理者名、または識別番号
　OU= …(Organization Unit) 会社の部署など
　O= …(Organization) 会社名など

有効期限

シリアル番号

● 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、項目名のみ表示されます。

証明書の有効／無効を設定する

1 待受画面で [8] [4] を押す

2 設定する証明書にカーソルを合わせて [Menu] を押す

- [Menu] を押すたびに有効／無効が切り替わります。

3 [📖] を押す

チェックされている証明書が有効となって設定されます。

おしらせ

- 接続先のサイトがユーザ証明書を要求した場合は、「ユーザ証明書を送信します」というメッセージが表示されます。

FirstPass を設定する＜ユーザ証明書操作＞

FirstPass センターからユーザ証明書の発行要求や、ダウンロードができます。
- 青色の FOMA カードではご利用になれません。
- FirstPass センターに接続する場合、日付・時刻の設定を行ってください。☛P46
- FirstPass センターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPass センターに接続中は、メールの送受信やメッセージ R/F の受信はできません。

証明書の発行要求をする

1 待受画面で [メニュー] [8] [5] を押す

2 「次へ」を選択する

3 「証明書発行」を選択する

■ **発行された証明書を失効させるとき**

①「その他」を選択する
②「証明書失効」を選択する
③「はい」を選択する
④ PIN2 コードを入力する
⑤「実行」を選択する
⑥「次へ」を選択する
⑦「実行」を選択する

4 「実行」を選択する

5 PIN2 コードを入力する

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。
- PIN2 コード ☛P152

証明書をダウンロードする

1 待受画面で[i][8][5]を押す

2 「次へ」を選択する

・FirstPassではﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ等が可能です。
・当ｻｲﾄの閲覧/ご利用にあたっては、ﾊﾟｹｯﾄ通信料がかかります(iﾓｰﾄﾞ通信ではありませんので、ﾊﾟｹ･ﾎｰﾀﾞｲの対象外になります)。
次へ/English

3 「ダウンロード」を選択する

FirstPass
1.証明書発行
2.ダウンロード
3.その他
4.ご利用規則

4 「実行」を選択する

発行者：
OU=DoCoMo Secure Network Secondary 1
O=NTT DoCoMo, Inc.
C=JP
有効期限：
XXXXXXXXXX XXXXXXXX
シリアル番号：
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
実行

• ダウンロードされたユーザ証明書は、証明書の一覧に追加されます。☛P237

おしらせ

● ユーザ証明書は、お客様が FOMA 契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色の FOMA カードに保存され、FirstPass に対応しているサイトで利用できます。
● 添付の CD-ROM から FirstPass PC ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA 端末をパソコンに接続して、FirstPass を使った通信を行うことができます。詳しくは CD-ROM 内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF 形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン 6.0 以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。
● FirstPass センターに接続した際のパケット通信は、パケ・ホーダイの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。

FirstPass のご使用にあたって

- FirstPass とはドコモの電子認証サービスです。FirstPass を利用することにより、サイト側と FOMA 端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPass は FOMA 端末からのインターネット通信と、FOMA 端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、添付の CD-ROM 内の FirstPass PC ソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPass ご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用には PIN2 コードの入力が必要です。☛P152
- PIN2 コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMA カードまたは PIN2 コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMA カードの紛失、盗難にあった場合などは、ドコモショップなど窓口にてユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass 対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様と FirstPass 対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPass および SSL のご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行接続先を変更する＜証明書発行接続先設定＞

お買い上げ時　接続先：ドコモ

FirstPass 以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更すると FirstPass センターに接続できなくなります。

- i モード接続中は設定できません。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で [i] [8] [6] を押す

2 接続先欄を選択し、[2] を押す

証明書発行接続先設定
接続先
ドコモ
ユーザ設定接続先
ユーザ設定初期画面URL

- FirstPass に接続する設定に戻すときは、[1] を押し、操作 5 に進みます。

3 ユーザ設定接続先欄を選択し、接続先を入力する

- ユーザ設定接続先は、半角英数字で最大 99 文字入力できます。

4 操作 3 と同様にユーザ設定初期画面 URL を入力する

- ユーザ設定初期画面 URL は、半角英数字で最大 100 文字入力できます。

5 [□] を押す

メール

ｉモードメールを作成する

ｉモードメールを受ける・操作する

メールの設定を行う

チャットメールを使う

ショートメッセージ（SMS）を使う

FOMA 端末のメール機能について

FOMA 端末では、ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）の 2 種類のメール機能を利用できます。

- ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
- ショートメッセージ（SMS）は、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

メール機能の送受信について

FOMA 端末→ FOMA 端末

ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）のどちらも使用できます。

FOMA 端末 → FOMA 端末
ｉモードメール → ｉモードメール　最大全角 5000 文字
SMS → SMS　最大 70 文字（日本語）　最大 160 文字（英語）

FOMA 端末→ mova 端末

FOMA 端末から mova 端末へのメッセージ送信にはｉモードメールを使用します。

※FOMA 端末から mova 端末へショートメッセージ（SMS）を送信することはできません。

FOMA 端末 → mova 端末
ｉモードメール → ｉモードメール　最大全角 2000 文字※
SMS ×→ 送信できません

※：mova 端末の設定により異なります。

mova 端末→ FOMA 端末

mova端末から送られたｉモードメールとショートメールを受信できます。ショートメールはショートメッセージ（SMS）として受信します。

mova 端末 → FOMA 端末
ショートメール 特番 1655 をダイヤル → SMS　最大 50 文字
ｉモードメール → ｉモードメール　最大全角 250 文字

※ショートメールとは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。
- FOMA 端末からショートメールを送信することはできません。特番 1655 をダイヤルしても送信することはできません。
- FOMA 端末では、mova 端末から送られてきたショートメールをショートメッセージ（SMS）として受信します。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova 含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mail とのメールのやりとりができます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
(例)abc1234～789xyz@docomo.ne.jp
- **お客様のメールアドレスの確認方法（詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。）**
  ｉMenu→8オプション設定→1メール設定→アドレス確認

- ｉモード端末（mova 含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。

ｉモード端末どうしの宛先
Ⓐ→Ⓑ ： docomo.ΔΔ_ab1234yz
Ⓑ→Ⓐ ： docomo.taroΔΔ
ｉモードセンター
メールアドレス
docomo.ΔΔ_ab1234yz@docomo.ne.jp
Ⓐ
Ⓑ
メールアドレス
docomo.taroΔΔ@docomo.ne.jp
ｉモード端末とe-mail間の宛先
Ⓐ→Ⓒ ：docomotaro@ΔΔ.□□□.co.jp
Ⓒ→Ⓐ ：docomo.taroΔΔ@docomo.ne.jp
Ⓒ
パソコン
メールアドレス
docomotaro@ΔΔ.□□□.co.jp

- メールの送信方法は☛P250
- メールの受信方法は☛P268

■ メール選択受信
ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除したりできます。☛P270
メールを選択して受信するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。☛P298

メール設定を行う

下記の各種設定を行うことができます。

設定方法
i Menu→8 オプション設定→1 メール設定→【各設定】

• 詳細は i モードご契約時にお渡しいたします『FOMA i モード操作ガイド』をご覧ください。

■ メールアドレス変更【アドレス変更】

たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

■ シークレットコード登録【メールアドレス設定（その他設定）→シークレットコード登録】

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ メールアドレスリセット【メールアドレス設定（その他設定）→アドレスリセット】

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

■ メールアドレス確認【アドレス確認】

現在設定されているメールアドレスを確認できます。

■ メール受信／拒否設定

以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

① ドメイン指定受信【メール受信設定（受信／拒否設定）→ドメイン指定受信】

• au・ボーダフォン・TU-KA・DDIポケットのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
• また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。

※NTTドコモの i モード・i ショット・一定額到達通知サービス・e ビリング請求額お知らせメール・M-stage ビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

② アドレス指定受信／拒否
【メール受信設定（受信／拒否設定）→アドレス指定受信、アドレス指定拒否】

• 受信するすべてのメールのうち、指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。

③ i モードメールのみ受信／拒否
【メール受信設定（受信／拒否設定）→ i モードメールのみ受信、i モードメールのみ拒否】

• i モードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。

④ i モードメール大量送信者からのメール受信制限
【メール受信設定（その他設定）→ i モードメール大量送信者からのメール受信制限】

• 1日に1台の i モード端末（mova含む）から送信される200通目以降の i モードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

⑤ 未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）→未承諾広告※メール拒否】

• 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール表題部の件名欄に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信／拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています）。

※「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「i モードメールのみ受信」、「i モードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。

⑥ ショートメッセージ（SMS）拒否【メール受信設定（その他設定）→ SMS拒否設定／確認】

• すべてのショートメッセージ（SMS）または非通知ショートメッセージ（SMS）のみを受信しないよう設定したり、設定の状況を確認したりすることができます。

■ メール設定状況確認【設定状況確認】
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ メールサイズ制限【メールサイズ制限】
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限できます。

■ メール機能停止【メール機能停止】
メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止ができます。

送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	—	50文字
本文	5000文字	10000文字

おしらせ

● ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
● 本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
● movaサービスへｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは全角で最大2000文字までです。また、ｉショット以外の添付ファイルを送信した場合は、添付ファイルは削除されます。
● 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
● ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合やｉモード圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定「ON」時は、メールはｉモードセンターに保管されます。
ｉモードセンターに保管されたメールは、一定の時間をおいて最大3回再送されます。
設定により、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを選択して受信できます。

おしらせ

● ｉモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

項　目	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207〜1000件（約2Mバイトまで）	720時間

● 保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。
● 最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときｉモード端末には📩または📶が表示されます。
なお、メール選択受信設定「ON」時は、保管件数を超えても📩または📶は表示されません。
● ｉモードセンターに保管されているメールは、ｉモード問合せ(☛P271)やメール選択受信(☛P270)により受信できます。また新しいメールが届いたときは、保管されている他のメール、メッセージR/Fも合わせて受信できます。
● ｉモード端末でメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはｉモード端末に保存されます。☛P268
● 極端に容量の大きいメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。

こんなこともできます

■ ファイル添付メール

・メロディ添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディファイルは送信できません）。

・送信するには☛P261　・受信したときは☛P277

・画像添付メール

サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。ｉショット以外の添付ファイルをmova端末へ送信した場合は、添付ファイルは削除されます）。

・送信するには☛P261　・受信したときは☛P273

■ ｉショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話へ送受信できます。受信側には添付ファイル形式または、画像閲覧用URL（またはアイコン）および画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを押下することで画像を取得できます。

mova端末へ送信できるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

・送信するには☛P261　・受信したときは☛P273

※：添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

・ｉショットセンターでは最大10日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。

■ ｉモーションメール

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画を、ｉモーションメールとして送受信できます（メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません）。

・ｉモーションメールを送信するには☛P261　・ｉモーションメールを受信したときは☛P275

・サービスのしくみ

ｉモーションメールに添付された動画ファイルはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます）。

ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されている URL を押下して動画を取りこむことができます。

ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URL のついたメールとして受信されます。受信者は表示されている URL を押下し、連続静止画を取り込みます。

・ｉモーションメールセンターでは最大 10 日間まで画像を保管しています。最大保管期間を超えた場合は自動的に削除されます。

■ デコメール（デコレーションメール）

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）。

デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URL のついたメールとして受信されます。受信者は表示されている URL を押下し、デコメールを閲覧できます。

・デコメール編集方法☛P253　・デコメール送信方法☛P253

・対応機種･･･ 90Xi シリーズ、880iES（デコメール受信のみ対応）

■ メール同報送信

同じｉモードメールを、一度に複数の宛先（最大 5 件）に送信できます。☛P252

・通信料は、1 通のみ送信した場合と同じです（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます）。

■ CC、BCC 送受信

パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先を TO、CC、BCC から選択できます。
ただし、TO が 1 件もない場合は、メールを送信できません。☛P252

■ チャットメール

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

・通信料は、相手が複数の場合メール同報送信したときと同じです。

ショートメッセージ（SMS）について

FOMA 端末間で文字メッセージをやりとりできます。

・送信方法 ☛P311　・受信方法 ☛P313　・問合せ方法 ☛P314

ショートメッセージ（SMS）の宛先

ショートメッセージ（SMS）の宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

送受信できる文字数

送信文字種の設定（☛P315）により最大文字数が異なります。

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20 文字（数字のみ）	
本文	全角・半角を問わず 70 文字	半角 160 文字※

※：半角の英数字と記号（｡｢｣､･ﾞﾟを除く）を送信できます。
　記号（｜ ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

おしらせ

●ショートメッセージ（SMS）では題名は送信できません。

●ショートメッセージ（SMS）の本文に半角カタカナ、絵文字を使用すると、受信側で正しく表示されない場合があります。

ショートメッセージ（SMS）を受信できないとき

お客様の FOMA 端末に送られてきたショートメッセージ（SMS）は、ショートメッセージセンターで受信し、すぐにお客様の FOMA 端末に送信します。ただし、お客様の FOMA 端末の電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、ショートメッセージ（SMS）はショートメッセージセンターに保管されます。

おしらせ

●ショートメッセージセンターでのショートメッセージ（SMS）の最大保管期間は 72 時間です。送信者が保管期間を指定することもできます。☛P315

●保管期間が超過したショートメッセージ（SMS）は自動的に削除されます。

●ショートメッセージセンターに保管されているショートメッセージ（SMS）は、SMS 問合せにより受信できます。☛P314

●FOMA 端末でショートメッセージ（SMS）を受信すると、ショートメッセージセンターに保管されていたショートメッセージ（SMS）は削除されます。受信したショートメッセージ（SMS）は FOMA 端末に保存されます。☛P313

こんなこともできます

■ 送達通知

送信したショートメッセージ（SMS）が相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取ることができます。☛P315

■ FOMA カードへの保存

受信したショートメッセージ（SMS）や送信したショートメッセージ（SMS）を FOMA カードに保存できます。☛P315

メールメニューを表示する

メールメニューにはFOMA端末に用意されているメールの機能が表示されます。機能によっては、ショートカットが用意されているものがあります。

1 待受画面で ✉ を押す

メニュー	機　能	参照先
受信メール	受信メールを表示します。	P279
新規メール	ｉモードメールを新規に作成して送信します。	P250
チャットメール	相手と会話をするようにメールをやりとりします。	P304
未送信メール	送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールを表示します。	P279
送信メール	送信済みのメールを表示します。	P279
問合せ	ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR/Fがあるかどうか、またはショートメッセージセンターにショートメッセージ（SMS）があるかどうかを問い合わせます。また、問い合わせ内容の設定とメール選択受信の設定をします。	P271、P314
SMS	ショートメッセージ（SMS）を新規に作成して送信します。また、ショートメッセージ（SMS）の各種設定やFOMAカード（UIM）内の送受信ショートメッセージ（SMS）を表示します。	P311
テンプレート読込み	テンプレートの内容を表示してメールを作成します。	P264
メール設定	メールに関する各種機能の設定をします。	P293

iモードメールを作成して送信する

• 文字入力のしかたについては、「文字入力」をご覧ください。☛P514

1 待受画面で ✉ を1秒以上押し、✉To 欄を選択する

メール作成画面

本文に半角で入力できる残りの文字数が表示されます。

2 「直接入力」を選択し、宛先を入力する

• 半角で最大50文字入力できます。
• i モード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
• かな入力方式の場合、宛先によく使う「@」「.」「-」などの記号は、英字入力モード時に 1 から入力します。また、「.co.jp」「.ne.jp」「.com」などは、英字入力モード時に * から入力できます。
• 相手がシークレットコードを登録しているときは、相手の i モード端末の電話番号に続けて4桁のシークレットコードを入力します。

■ 電話帳から検索するとき
①「電話帳参照」を選択する
② 電話帳から検索してメールアドレスを入力する

■ メールグループから入力するとき
①「メールグループ」を選択する
② メールグループを選択してメールアドレスを入力する ☛P253

3 Sub 欄を選択し、題名を入力する

• 全角で最大15文字、半角で最大30文字入力できます。

4 Text を選択し、本文を入力する

• 全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。
• ファイルを添付しているときは入力できる文字数が減ります。
• 文中で改行できます。かな入力方式の場合、改行するときは # を押します。改行も本文の文字数に含まれます。
• ◎ を押して文中にスペースを入力できます。スペースも本文の文字数に含まれます。
• 本文を装飾することもできます。☛P253

■ 署名を挿入するとき
① Menu 5 を押す
• 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。☛P297
• 署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

5 [メール] を押す

・接続中画面で [終話] を押すと接続が中止されます。送信中画面で、[メール] を押すと送信が中止されます。ただし、操作のタイミングによっては送信されることがあります。

おしらせ

● メールアドレスが登録されている電話帳データにカーソルを合わせて [メール] を押しても、ｉモードメールを作成できます。
● 本文入力時に定型文を利用して顔文字やあいさつ、返事などを入力できます。☛P518
● 10000 バイトを超えるメールが他のアプリケーションとの競合により自動保存される場合は、作成中のメールを一部保存できない場合があります。
● 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
● ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
● メールの本文入力時に、改行が含まれている定型文を挿入すると、改行は半角スペースに置き換わります。
● ｉモード端末（mova 含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。
● 一部の絵文字は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
● 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールが「未送信メール」に保存されます。「未送信メール」からｉモードメールを編集・送信できます。☛P266
● 送信が正常に終了したときは、ｉモードメールは「送信メール」に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、一番古い送信メールに上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。☛P288
● ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
● プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。
● 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、ｉモードメールは作成できません。「未送信メール」から不要なｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を削除してください（☛P289）。
● テンプレートを利用して手早くメールを作成することもできます。☛P263
● メモリ番号 0 ～ 99 の電話帳に登録されている相手には簡単な操作でｉモードメールを作成・送信できます（クイックメール）。☛P267

宛先を追加する＜宛先追加＞

ｉモードメールは最大 5 人の相手に同時に送信（同報送信）できます。

- 宛先には[To]（TO）、[Cc]（CC）、[Bcc]（BCC）の 3 種類があります。送信相手の宛先は[To]欄に入力します。
  - [Cc]欄には、直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい宛先を追加します。
  - [Bcc]欄には、他の送信相手に知らせたくない宛先を追加します。[Bcc]欄に入力したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。
- [To]欄に宛先が 1 件も入力されていないメールは送信できません。

1 メール作成画面で宛先欄にカーソルを合わせて ✉ を押す ☛P250

宛先欄が追加されます。

- 送信する宛先数分の宛先欄ができるまで繰り返します。

■ CC、BCC を追加するとき

① [Menu][6] を押す

② 入力方法を選択する

- 電話帳から検索してメールアドレスを入力する場合は、「電話帳参照」を選択します。
- メールグループから入力する場合は、「メールグループ」を選択します。
- 直接メールアドレスを入力する場合は、「直接入力」を選択します。

③「CC」または「BCC」を選択し、メールアドレスを入力する

- 「TO」も選択できます。
- 「メールグループ」を選択した場合は、メールアドレスがあらかじめ設定している TO、CC、BCC で表示されます。

■ 宛先の TO、CC、BCC を変更するとき

① 変更したい宛先にカーソルを合わせて [Menu][8] を押す

② 変更する宛先種別を選択する

■ 追加した宛先を削除するとき

① 削除する宛先にカーソルを合わせて [Menu][7] を押す

②「はい」を選択する

2 追加された宛先欄に宛先を入力して送信する

- 操作方法は宛先欄が 1 件の場合と同じです。

おしらせ

- [To]欄と[Cc]欄に入力したメールアドレスは受信側に表示されますが、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。
- 送信に失敗した宛先があるときはエラーメッセージが表示されます。[決定]を押すと、送信に失敗したメールアドレスの一覧が表示される場合があります。

メールグループから宛先を入力する<メールグループ>

複数の宛先をメールグループに登録しておくと、簡単な操作で複数の宛先が設定できます。
• メールグループにあらかじめメールアドレスを登録しておく必要があります。☛P298

1 メール作成画面で Menu 6 を押す ☛P250

2 「メールグループ」を選択する

3 宛先に追加するメールグループを選択する

メールグループ 1/1
サークル
課
友達A
友達B
友達C

• 既に入力されている宛先とメールグループの宛先の合計が 5 件を超える場合は、そのメールグループを追加できません。
• 宛先の TO、CC、BCC の設定は変更できます。☛ P252

■ **メールグループの詳細を表示するとき**
① Menu を押す
② 内容を確認して ● を押す

デコメール

デコメールを作成して送信する

ｉ モードメールの本文には、文字サイズや背景の変更、撮影した静止画やプリインストール画像の挿入などの装飾（デコレーション）が設定できます（デコメール）。
デコメールの作成方法には、デコレーションを指定してから文字を入力する方法（☛P254）と、入力された文字を範囲選択してからデコレーションを設定する方法（☛P258）があります。作成したデコメールはプレビュー機能を使って確認できます。

（装飾例）

❶ 文字色を変更する
こんにちは

❷ 文字サイズを変更する
こんにちは

❸ 画像を挿入する
こんにちは

❹ 文字を点滅させる
こんにちは

❺ 文字をテロップにする
こんにちは

❻ 文字をスウィングさせる
こんにちは

❼ 文字の表示位置を変更する
こんにちは

❽ ライン（罫線）を挿入する
こんにちは

❾ 背景色を変更する
こんにちは

デコメール作成の流れ

ステップ１　メール作成画面からメール本文の入力画面を表示する

ｉモードメール作成で本文を入力できる状態にします。

ステップ２　装飾した文字や画像を入力する

を押し、装飾方法を選択して文字を入力します。

ステップ２　文字を入力して装飾する

装飾する開始位置で を押し、終了位置で を押します。装飾方法を選択します。

・編集中に Menu 8 を押すと、装飾を確認できます。

ステップ３　装飾を確認して送信する

メール作成画面で装飾を確認します。

装飾を指定してから文字を入力する

1 メール作成画面で Text を選択する ☛P250

2 を押す

3 装飾を選択し、文字を入力する

こんにちは。昨日は

文字色

装飾選択画面

装飾選択画面でマークにカーソルを合わせて を押すと、その装飾が選択状態になります。複数のマークを選択状態にすれば、複数の装飾を同時に設定できます。ただし、「テロップ」「スウィング」「文字位置」は同時に設定できません。

- 複数の装飾を連続して設定するときは、装飾選択画面でマークにカーソルを合わせて Menu を押します。
- 選択状態の装飾を解除して文字を入力するときは、入力位置にカーソルを合わせて を押し、 を押します。解除される装飾は「文字色」「文字サイズ」「点滅」「文字位置（空行時のみ）」「テロップ（空行時のみ）」「スウィング（空行時のみ）」です。

■文字色：文字またはライン（罫線）挿入時の色を変更します。

文字サイズ：文字サイズを変更します。

画像挿入：画像を挿入します。アニメーションなど動作のある画像の場合、一定時間がたつと動作は自動的に停止します。

点滅：文字を点滅して表示します。一定時間がたつと点滅は自動的に停止します。

テロップ：文字を流して表示（テロップ表示）します。一定時間がたつと動作は自動的に停止します。

スウィング：文字を左右に揺らして表示（スウィング表示）します。一定時間がたつと動作は自動的に停止します。

文字位置：文字および画像挿入時の表示位置を変更します。

ライン挿入：ライン（罫線）を挿入します。

背景色：本文の背景色を変更します。

元に戻す：１つ前の状態に戻します。

4 Menu 8 を押し、装飾を確認する

設定した装飾と、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

5 確認が終わったら ◉ を押す

■ **装飾を変更するとき**

① **Menu 1 8 を押し、開始位置にカーソルを合わせて ◉ を押す**

以降の操作は「範囲を指定してから文字を装飾する」の操作 3 以降と同じです。☛P259

■ **装飾をすべて解除するとき**

① **Menu 1 9 を押す**

6 ◉ を押す

7 📖 を押す

■ **デコメールを送信せずにテンプレートとして登録するとき**

① **Menu 5 2 を押す**

②**「はい」を選択する**

③ **表示名とファイル名を設定して 📖 を押す**

テンプレートは「テンプレート読込み」に登録されます。

おしらせ

● メール本文の入力画面で Menu を押し、「デコレーション」を選択しても同様に操作できます。

● 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、クリア を 1 秒以上押して、文字を削除した場合は、装飾データも含めて文字が削除されます。

デコメール装飾例

装飾選択画面で次の操作に従って装飾します。

•（ ）内の装飾例番号は P253（装飾例）の番号です。

■ **文字色を変更するとき（装飾例 ❶）**

① **■を選択する**

② **文字色を選択して文字を入力する**

• 標準の 20 色または「その他の色」の 64 色から選択できます。

• 絵文字の文字色も変更されますが、元に戻すこともできます。

サンプル
指定なし
その他の色

こんにちは。昨日はありがとう
9787

■ 文字のサイズを変更するとき（装飾例❷）

① T（またはT T）を選択する

② 文字サイズを選択して文字を入力する

・「大」「標準」「小」から選択できます。

「大」にしたとき

■ 画像を挿入するとき（装飾例❸）

① ▣ を選択する

・miniSD メモリーカードを取り付けているときは、挿入元を選択します。

② フォルダを選択して画像を選択する

文字位置（☰ ☰ ☰）で指定されている位置に画像が挿入されます。

・動画／ｉモーションやファイルサイズが添付可能なデータ量を超える画像は選択できません。

「デコメールピクチャ」の「青空」を挿入したとき

■ 文字を点滅させるとき（装飾例❹）

① T を選択して文字を入力する

入力した文字が点滅します。

■ 文字をテロップにして右から左へ動かすとき（装飾例❺）

① ⇦ を選択して文字を入力する

・◧ と ◨ の間に文字を入力します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かすとき（装飾例❻）

① ⇔ を選択して文字を入力する

・◧ と ◨ の間に文字を入力します。

メール

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

■ 文字の表示位置を変更するとき（装飾例❼）

① （または ）を選択する

② 文字の表示位置を選択して文字を入力する

・「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」から選択できます。

「右寄せ」にしたとき

■ ライン（罫線）を挿入するとき（装飾例❽）

① を選択する

文字色（■）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。

ライン（罫線）が挿入されます。

■ 本文の背景色を変更するとき（装飾例❾）

① を選択する

② 背景色を選択する

・標準の 20 色または「その他の色」の 64 色から選択できます。

■ 1 つ前の状態に戻すとき

① を選択する

直前に行った装飾または文字入力が解除されます。

■「デコメールピクチャ」に保存されている画像

・お買い上げ時には、「デコメールピクチャ」フォルダに次の画像が保存されています。

©BVIG

範囲を指定してから文字を装飾する

メール本文に既に入力されている文字や、既に装飾されている文字の、装飾の変更を行います。

・操作４の（　）内の装飾例番号はP253（装飾例）の番号です。

・ライン挿入、画像挿入、背景色は操作できません。

1 **メール作成画面で[Text]を選択する** ☛P250

2 **装飾する文字範囲の開始位置にカーソルを合わせて[MENU]を押す**

3 装飾する文字範囲の終了位置にカーソルを合わせて ⓞ を押す

- カーソルを文頭に移動するときは Menu を押します。
- カーソルを文末に移動するときは 📖 を押します。
- 文章すべてを選択するときは ✉ を押します。

4 装飾方法を選択する

- 装飾の確認や解除方法は、装飾を指定して文字を入力する場合と同じです。☛P254

■ 文字色を変更するとき（装飾例 ❶）

① 1 を押し、文字色を選択する

- 装飾により挿入されているライン（罫線）の色も変更されます。

■ 文字のサイズを変更するとき（装飾例 ❷）

① 2 を押し、1 〜 3 を押す

■ 文字を点滅させるとき（装飾例 ❹）

① 3 を押し、1 を押す

- 点滅を解除するには 3 を押し、2 を押します。

■ 文字をテロップにして右から左へ動かすとき（装飾例 ❺）

① 4 を押し、1 を押す

- テロップを解除するには 4 を押し、2 を押します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かすとき（装飾例 ❻）

① 5 を押し、1 を押す

- スウィングを解除するには 5 を押し、2 を押します。

■ 文字の表示位置を変更するとき（装飾例 ❼）

① 6 を押し、1 〜 3 を押す

- 装飾により挿入されている画像の表示位置も変更されます。

■ 文字をコピーするとき

① 7 を押す

■ 文字を切り取るとき

① 8 を押す

選択範囲の文字が切り取られます。

■ 1 つ前の状態に戻すとき

① 9 を押す

- 直前に行った装飾または文字入力が解除されます。

■ 続けて文字を装飾するとき

① Menu を押し、操作 4 を繰り返す

5 ⓞ を押して範囲指定を解除し、ⓞ を押す

6 [メール] を押す

■ デコメールを送信せずにテンプレートとして登録するとき

① [Menu][5][2] を押す

②「はい」を選択する

③ 表示名とファイル名を設定して [メール] を押す

テンプレートは「テンプレート読込み」に登録されます。

おしらせ

- メール本文の入力画面で [Menu] を押し、「デコレーション」→「デコレーション変更」を選択しても同様に操作できます。
- メール本文の入力画面で [Menu][8] を押すと、画面の右下に入力できる残りのデータ量の正確なバイト数が表示されます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、[クリア] を 1 秒以上押して、文字を削除した場合は、装飾データも含めて文字が削除されます。
- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどを挿入して、メール作成画面やメール本文の入力画面から装飾を確認した場合、その動作は一定時間がたつと自動的に停止します。
- パソコンなど、デコメール対応 FOMA 端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

テンプレートをダウンロードする<デコメールテンプレート>

サイトからデコメールテンプレートをダウンロードします。

1 サイトを表示中に、ダウンロードしたいデコメールテンプレートを選択する

- ダウンロード中に [メール] を押すと、ダウンロードを中止します。

2「保存」を選択する

- デコメールテンプレートの保存を中止するには、「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択します。

■ テンプレートの内容を確認するとき

①「プレビュー」を選択する

3 [メール] を押す

ダウンロードしたデコメールテンプレートは、「テンプレート読込み」に登録されます。☞P263

■ 表示名を変更するとき

① 表示名欄を選択して表示名を変更する

- 表示名は、全角・半角を問わず最大 20 文字入力できます。

■ ファイル名を変更するとき

① ファイル名欄を選択してファイル名を変更する

- ファイル名は、半角英数字、「 . 」、「 - 」、「 _ 」で最大 36 文字入力できます。ただし、「 . 」はファイル名の先頭に使用できません。

おしらせ

- サイトからダウンロードしたデコメールテンプレートは、メール作成画面で編集できます。☛P264
- デコメールテンプレートをデコメールに挿入するときは、メールテンプレートの読み込みと同じ操作で行います。
- テンプレート保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、保存領域がいっぱいである旨のメッセージが表示されます。不要なメールテンプレートを削除してから再度ダウンロードしてください。☛P265

添付ファイル

ファイルを添付する

ｉモードメールに静止画やメロディを添付して送信します。また、FOMA端末で撮影した動画などを添付して、ｉモーションメールとして送信できます。

・添付可能なファイルは次のとおりです。

項　目	メロディ	10000バイト以内の静止画（JPEG、GIF）	10000バイトを超え500Kバイトまでの静止画	500Kバイトまでの動画／ｉモーション※1
1件のメールに添付可能な最大件数	10件※2		1件	
添付ファイルの条件	メロディ（MFi）は添付不可	パラパラマンガ、連写画像は添付不可	静止画（JPEG）のみ添付可能	再生制限が設定されているものは添付不可※3

※1：送信相手側機種によって、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。パソコンで動画／ｉモーションを再生するには☛P553

※2：静止画とメロディを合計最大10件、メール本文を含め最大10000バイト添付できます。ただし、添付ファイルのサイズによっては、添付可能な最大件数は少なくなります。

※3：再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。

・本文（添付したメロディ・静止画を含む）の残りのデータ量が全角100文字（半角200文字）（デコメールでは全角200文字（半角400文字））分未満の場合は、動画／ｉモーション、10000バイトを超える静止画を添付できません。
・メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像を除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルは添付できません。
・mova端末に静止画（JPEG形式の静止画1枚）を添付して送信すると、相手端末はURL付きのメール（ｉショットメール）として受信します。
・10000バイトを超えるGIF形式の静止画はメールに添付できません。
・ｉモーションメールでは、撮影した動画などは本文を除き最大500Kバイトまで添付可能です。最大サイズを超えたｉモーションは添付できません。また、QVGA（320×240）の動画は容量にかかわらず添付できません。
・メロディを送信する場合、受信側がFOMA D901i以外の場合は受信したメロディを正しく再生できないことがあります。

1 メール作成画面で［📎］欄を選択する ☛P250

2 添付するファイルの種類を選択し、ファイルを選択する

■ **静止画を添付するとき**

①「**イメージ」を選択し、フォルダを選択する**

- 静止画にカーソルを合わせて [ ] を押すと静止画を表示できます。一覧に戻るには [クリア] を押します。
- 添付できない静止画は表示されません。

② **静止画を選択する**

メール作成画面の添付欄に選択した静止画のファイル名が表示されます。
添付する静止画は画像サイズ、ファイルサイズの順にチェックされます。

- 画像サイズがQVGA（320×240）を超えるJPEG形式の静止画の場合は、待受サイズ（QVGA）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。変換された画像が10000バイトを超えていた場合は、変換した画像をデータBOXに保存するかどうかの確認画面が表示されます。データBOXに保存しない場合、または保存に失敗した旨のメッセージが表示された場合は、変換した画像は保存されません。
  このため、メールを未送信BOXに保存して再編集する場合、画像の添付は解除されています。また、送信BOXのメールを表示する場合は、添付した画像は表示できません。
- ファイルサイズが500Kバイトを超えるJPEG形式の静止画の場合は、メールに添付可能なサイズに変換され、データBOXに保存するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **動画／ｉモーションを添付するとき（ｉモーションメール）**

①「**ｉモーション」を選択し、フォルダを選択する**

- 動画／ｉモーションにカーソルを合わせて [ ] を押すと動画／ｉモーションを再生できます。一覧に戻るには [クリア] を押します。
- 添付できない動画／ｉモーションは表示されません。

② **動画／ｉモーションを選択する**

■ **メロディを添付するとき**

①「**メロディ」を選択し、フォルダを選択する**

- メロディにカーソルを合わせて [ ] を押すとメロディを再生できます。一覧に戻るには [クリア] を押します。
- 添付できないメロディを選択すると、そのメロディは選択できない旨のメッセージが表示されます。

② **メロディを選択する**

メール作成画面の添付欄に選択したメロディのファイル名が表示されます。

■ **miniSDメモリーカード内のデータを添付するとき**

①「**miniSDカード」を選択し、[1]～[4]を押す**

- 静止画を選択して [ ] を押すと静止画を表示できます。動画／iモーション、メロディを選択して [ ] を押すとそれぞれ再生できます。
- 添付できない動画／ｉモーションを選択すると、そのデータは選択できない旨のメッセージが表示されます。

② **データを選択する**

メール作成画面の添付欄に選択したデータが表示されます。

- 各データ形式についての動作は、FOMA端末内のデータを選択するときと同じです。
- 10000バイトを超え500Kバイトを超えない静止画、または10000バイト以内の動画の場合FOMA端末へコピーするかどうかの確認画面が表示されます。

3 [ ] を押す

メール

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

おしらせ

- 10000バイトを超える静止画をQVGAサイズ（240×320）に縮小できます（☛P359）。QVGAサイズは待受画面のサイズであり、iモード端末に送るのに適したサイズです。
- 10000バイトを超えるJPEG形式の静止画を添付したメールをiモード端末に送信した場合は、iショットセンターでiモード端末に送るのに適したサイズに変換されます。
- mova端末にメロディとGIF形式の静止画を添付すると、相手は受信できません。

添付ファイルを変更／解除する

例 添付ファイルを解除するとき

1 メール作成画面を表示する ☛P250

2 解除する添付欄にカーソルを合わせて ⓜ を押す

■ **添付ファイルを変更するとき**

① 変更する添付欄にカーソルを合わせて ⓘ を押す
② ファイルを添付する ☛P261

3 「はい」を選択する

メールテンプレートを利用する

メールテンプレートは、本文の先頭に同じ文章を入れたり、類似の内容を何度も送信したりするために、あらかじめiモードメールの内容を登録しておく機能です。メールテンプレートを呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にiモードメールを作成できます。また、デコメールテンプレートは、レイアウトや装飾が既に決められているデコメール用の雛形です。デコメールテンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信することができます。デコメールテンプレートは、メールテンプレートと同じ操作で読み込みます。

• お買い上げ時は次のテンプレートが登録されています。

I Love You ©BVIG

Thank You! ©BVIG

How Are You? ©BVIG

元気？

頑張れ

ありがとう

反省してます

遊ぼう

誕生日おめでとう

さみしい

おはよう

ドライブ

ご案内	集合	開催案内	HAPPY BIRTHDAY	伝言メモ	出欠確認

- 作成したテンプレートを登録することもできます。
- ショートメッセージ（SMS）には使用できません。
- ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込むことはできません。

メール作成時にテンプレートを使う<テンプレート読込>

新規メールを作成するときに読み込んで使用します。

1 **メール作成画面で Menu 5 1 を押す** ☛P250

2 **読み込むテンプレートを選択する**

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：10000 バイト以内の静止画あり
  - ：メロディあり
  - ：10000 バイト以内の静止画＋メロディあり

3 **内容を追加・修正して送信する** ☛P250

おしらせ

● 既にメール本文を入力したメール作成画面からテンプレートの読み込みを行うと、現在入力中のメールに上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「本文のみ読込み」または「すべて読込み」を選択し、テンプレートを選択するとメールは上書きされます。読み込みを中止するときは クリア を押してください。「本文のみ読込み」を選択すると、入力済みのメール本文のみがテンプレートの内容に上書きされます。「すべて読込み」を選択すると、宛先、題名、添付ファイル、本文のすべてがテンプレートの内容に上書きされます。

● 1 件のメールに複数のテンプレートを読み込むことはできません。

テンプレートを表示してメールを作成する

登録されているテンプレートを一覧表示し、内容を確認してメール作成画面に設定します。

1 **待受画面で ✉ 8 を押す**

2 **表示するテンプレートを選択する**

- 詳細表示画面で ◎ を押すと前後のテンプレートを表示できます。

3 [📖] を押す

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

4 内容を追加・修正して送信する ☛P250

おしらせ

● 添付ファイル自動再生設定で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されているテンプレートを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で止めるときは [クリア] を押します。

テンプレートの内容を登録する<テンプレート登録>

作成したメールまたは送受信したメールをテンプレートとして登録できます。

- テンプレートの保存領域は合計 100K バイトで、最大 100 件まで登録できます。
- プリインストールのテンプレートの内容は変更できません。
- ｉモーション、10000 バイトを超える静止画はテンプレートに登録できません。
- 題名、宛先、本文のいずれかを入力しないと登録できません。ただし、ファイルを添付した場合は、他の項目が未入力でも登録できます。

1 メール作成画面で [Menu] [5] [2] を押す ☛P250

2 「はい」を選択する

3 [📖] を押す

テンプレート保存
表示名
20050415100049
ファイル名
20050415100049

- 表示名は全角・半角を問わず、最大 20 文字まで入力できます。
- ファイル名は半角英数字と「 . 」、「 - 」、「 _ 」で最大 36 文字入力できます。ただし、「 . 」はファイル名の先頭に使用できません。

おしらせ

● テンプレート一覧で詳細情報を確認・変更する場合は [Menu] を押し、「詳細情報」→「参照」または「変更」を選択します。ただし、お買い上げ時に登録されているテンプレートの詳細情報は変更できません。

● メール送信できない画像が含まれたテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。

● テンプレートを登録するときに日付・時刻が設定されていないと、ファイル名は「--------------」になります。また、題名が入力されていないと表示名は「--------------」になります。

● テンプレート保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、保存領域がいっぱいである旨のメッセージが表示されます。不要なテンプレートを削除してから再度登録してください。

テンプレートを削除する

- プリインストールのテンプレートは削除できません。

例 テンプレートを 1 件削除するとき

1 待受画面で [✉] [8] を押す

つづく

2 Menu 2 1 を押す

■ テンプレートを複数選択して削除するとき

① Menu 2 2 を押し、テンプレートを選択する

・ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② を押す

■ テンプレートを全件削除するとき

① Menu 2 3 を押す

② 端末暗証番号を入力する

3 「はい」を選択する

ｉモードメール保存

ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

ｉモードメールを保存する

・未送信メールは最大200件保存できます。

1 メール作成画面で Menu 2 を押す ☛P250

ｉモードメールが「未送信メール」に保存されます。

・ 題名、宛先、本文のいずれかを入力しないと保存できません。
ただし、添付ファイルを付けた場合は、他の項目が未入力でも保存できます。

送信・保存したｉモードメールを編集・送信する

例 未送信メールを再編集するとき

1 待受画面で 4 を押し、フォルダを選択する

・ ショートメッセージ（SMS）には が表示されます。
・ 送信メールのときは 5 を押し、フォルダを選択します。

2 編集するメールを選択する

・ 送信済みのメールを再編集するときは、編集するメールにカーソルを合わせて を押します。
・ スライド編集設定で未送信メール、送信メールを「ON」に設定している場合、メールを選択または表示中にFOMA端末を開くと編集画面が表示されます。

3 メールを編集して送信する ☛P250の操作2～5

おしらせ

● 送信メール詳細表示画面で を押しても編集できます。
● 添付ファイル自動再生設定で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されている送信メールを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で止めるときは クリア を押します。
● ショートメッセージ（SMS）も同様に再編集して送信できます。

手早くメールを作成する

FOMA端末電話帳のメモリ番号0～99の相手には、簡単な操作でショートメッセージ（SMS）やｉモードメールを作成できます。

• ショートメッセージ（SMS）の場合は1件目の電話番号、ｉモードメールの場合は1件目のメールアドレスが宛先となります。

例 メモリ番号23のメールアドレスにｉモードメールを送信するとき

1 待受画面でメモリ番号（この場合は[2][3]）を押して[✉]を押す

電話帳の1件目のメールアドレスが宛先に設定されています。

• メモリ番号の前に0などは付けずに入力します。上記画面で[0][2][3]のように入力すると、クイックメールは利用できません。
• ｉモードメールの作成・送信方法☛P250

■ **ショートメッセージ（SMS）を作成するとき**

① **待受画面でメモリ番号を押して[✉]を1秒以上押す**

• 入力したメモリ番号の電話帳データに登録されている電話番号を宛先にしたショートメッセージ（SMS）の作成画面が表示されます。
• ショートメッセージ（SMS）の作成・送信方法☛P311

おしらせ

● 入力したメモリ番号の電話帳データにメールアドレス（ショートメッセージ（SMS）の場合は電話番号）が登録されていない場合、または電話帳データが登録されていない場合は、[✉]を（ショートメッセージ（SMS）の場合は1秒以上）押すと宛先または電話帳データが登録されていない旨の確認画面が表示されます。[●]を押すと宛先が設定されていないメール（メッセージ）作成画面が表示されます。
● シークレット属性が設定されている電話帳データの場合は、シークレットモードに設定してから操作してください。☛P165

ｉモードメールを受信したときは

ｉモードメールが送信されてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、マルチイルミネーションランプでお知らせします。受信したｉモードメールは「受信メール」に保存されます。

1 ｉモードメールを受信する

メール受信中は点滅します。
点滅します。
受信完了
：未読のｉモードメールがあります。
：未読のショートメッセージ（SMS）とｉモードメールがあります。
受信結果がスクロール表示されます。
受信したｉモードメールの件数が表示されます。

と が点滅し、「メール受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、マルチイルミネーションランプが点滅して受信結果画面が表示されます。
- メール受信中に を押すと受信を中止できますが、受信時の状況によってはメールを受信する場合があります。
- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。早く受信前の画面に戻したいときは を押します。

■ 受信に失敗したとき
「メール」の後ろに「×」が表示されます。

おしらせ

- ● 受信表示設定によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。☛P303
- ● イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、未読のｉモードメールがある間はマルチイルミネーションランプが点滅します。
- ● メール選択受信設定を「ON」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。
- ● 新しいｉモードメールが届いたときには、ｉモードセンターで保管している他のｉモードメールやチャットメールもあわせて受信します。
- ● ｉモーションメールを受信した場合は、動画／ｉモーションデータはｉモーションメールセンターに保存されます。
- ● FOMA端末でｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターのｉモードメールは削除されます。
- ● TO、CC、BCCを設定できる相手からのメールを受信した場合、自分がTO、CC、BCCのどれに当てはまるかを確認できます。☛P283
- ● 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに送信者にエラーメッセージとともに返信されることがあります。
- ● ｉモードメールではメロディや静止画を添付ファイルとして送受信できます。対応していない添付ファイルはｉモードセンターで削除されます。添付ファイルが削除された場合は、題名の下に［添付ファイル削除］のメッセージが追加されます。
- ● 受信可能なデータ量（添付可能なデータ量）を超えた添付ファイルは、ｉモードセンターで削除されます。添付可能なデータ量☛P261

● FOMA 端末内の電話帳にメール着信設定のある相手からｉモードメールを受信した場合は、その設定に従って動作します。電話帳との照合は次のように行われます。
 ・メールアドレスが完全に一致した場合だけ受信メール一覧および受信メール詳細表示画面で名前が表示されます。ｉモード端末のメールアドレスの場合、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録していると、@より前の部分が一致しても名前は表示されません。ただし、携帯電話番号@docomo.ne.jpの相手からメールを受信した場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録していても、@より前の部分が一致すれば、名前が表示されます。
 ・複数のｉモードメールを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールの条件に従いメール着信音や着信バイブレータ、マルチイルミネーションランプが動作します。
 ・シークレット属性を設定した電話帳データにメールアドレスが登録されている場合は、シークレットモード中だけ有効です。
 ・プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、登録されている相手の名前は表示されず、登録されている着信音やバイブレータなども動作しません。
● ショートメッセージ（SMS）受信中にｉモードメールは受信できません。また、ショートメッセージ（SMS）の受信完了後も自動受信はされません。
● ｉモードメールを自動受信できないときは、ｉモードメールセンターに保管されます。保管されたメールは一定の時間をおいて最大３回再送されます。
● 受信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、一番古い受信メールに上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。☛P288
● 未読メールと保護されているメールによって保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には や のマークが表示されます。☛P26
● ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、 や のマーク（☛P26）が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数（☛P245）が満杯になったときは、マークが や に変わります。
● 途中で受信に失敗した場合などにｉモードメールを受信し直すには、ｉモード問合せ（☛P271）またはメール選択受信（☛P270）を行ってください。ただし、受信メールが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読メールの内容表示（☛P279）、不要メールの削除（☛P289）、保護解除（☛P288）などを行う必要があります。
● プライバシーモード起動中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に自動受信したメールが、フォルダ設定のプライバシーが「ON」のフォルダにすべて保存された場合は、受信結果画面は表示されず、着信音／マルチイルミネーションランプも動作しません。
● 自分宛てのｉモードメールは送信直後に自動受信できない場合があります。ｉモード問合せ（☛P271）を行ってください。

新着ｉモードメールを表示する

1 メール・メッセージ受信結果画面で「メール」を選択する

・「メッセージR」、「メッセージF」を選択するとメール、メッセージごとに表示できます。
・受信したｉモードメールは「受信BOX」に保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

2 フォルダを選択し、メールを選択する

・メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。自動再生しないように設定できます。☛P301
・受信メールの見かた ☛P279

おしらせ

- ●メール・メッセージ受信結果画面で [1] を押しても i モードメールを表示できます。
- ●プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定している場合）にフォルダ一覧を表示させる場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。また、プライバシーモード起動中（i アプリを「認証後に表示」に設定している場合）に、メール連動型 i アプリ用のフォルダを選択した場合、端末暗証番号の入力が必要になります。

メール選択受信

i モードメールを選択して受信する

i モードセンターに保管されている i モードメールを自動受信せずに、選択して受信するように設定します。

メールが届いたときは

センターに✉あり

メール選択受信設定を「ON」に設定しているときに i モードメールを受信すると、i モードセンターに保管されます。メールの受信は待受画面の通知で確認できます。

- メールを受信しても着信音や着信バイブレータは動作しません。
- [クリア] 以外のキーを押すと待受画面または元の画面に戻ります。

おしらせ

- ●「i モード問合せ」を行うと、i モードセンターに保管されているすべての i モードメールを受信できます。☛P271
- ●メール選択受信設定を「ON」に設定しても、ショートメッセージ（SMS）、メッセージ R/F は自動受信します。

メールを選択受信する

i モードセンターに保管されている i モードメールの題名などを確認し、必要なメールだけを選択して受信します。不要な i モードメールを受信せずに削除することもできます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。☛P298
- メール選択受信設定を「ON」に設定した場合でも、i モード問合せを行うと全メールを受信しますので、不要なメールを受信したくない場合には、問合せの項目からメールを外しておいてください。☛P297

1 待受画面で ✉ 6 3 を押す

ｉモードに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが一覧表示されます。
- メールの末尾のマークは以下を示します。
  📷：静止画ファイルが添付されています。
  ♪：メロディファイルが添付されています。
  🎥：ｉモーションが添付されています。

2 メールごとに「保留」を選択し、プルダウンメニューから「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択する

- 「保留」を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。ｉモード問合せなどで受信できます。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択すると前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」を選択する

■ ｉモードセンターに保管されている全メールを削除するとき
①「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択する

4 「決定」を選択する

おしらせ
● プルダウンメニュー項目の選択方法 ☛P207

ｉモード問合せ

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間にｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。ｉモード問合せ設定でメッセージR/Fも問い合わせをするように設定している場合は、同時にメッセージR/Fもあるかどうかを問い合わせます。
- 電波状態によってはｉモード問合せができない場合がありますのでご了承ください。

1 待受画面で ✉ ✉ を押す

ｉモード問合せが実行されます。ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていれば受信します。
- メッセージR/Fの問い合わせの操作は、ｉモードメールと同じです。
- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。☛P268
  ただし、ｉモード問合せでｉモードメールを受信したときは、自動受信時とは異なり、約15秒経過しても元の画面には戻りません。ｉモードメールを表示せずに待受画面に戻すときは クリア を押します。

i モードメールに返信する

- 受信メールによっては返信できない場合があります。
- 発信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」が表示される受信ショートメッセージ（SMS）や、mova 端末（i モードをご契約）から送信されたショートメールには返信できません。

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

2 返信するメールにカーソルを合わせて 📖 を押す

メール作成<返信>
To docomotaro@ΔΔ.□□…
Sub RE:会議日程
>今日の会議は本社第三会議室で行います。
重要案件がありますので遅れずにご参加ください
9913

引用文字

To 欄には受信メールの発信元のメールアドレスまたは電話番号、Sub 欄には先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名（i モードメールのみ）、Text 欄には「>」と受信メール本文が入力されています。

- 返信する際に本文を引用するかどうかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。☛P299

■ FOMA 端末を閉じているとき

スライド編集設定で受信メールを「ON」に設定している場合、メールを選択または表示中に FOMA 端末を開くと返信画面が表示されます。

■ 複数の宛先に送られた受信メールの宛先すべてに返信するとき

① Menu 1 2 を押す
- 自分以外のすべての宛先と、発信元に返信できます。

3 メールを編集して送信する ☛P250

- 返信すると、次回受信メール一覧画面を表示したときに受信メールの状態マークが✉から↩、または✉から↩に変わります。

おしらせ

- 受信メール詳細表示画面から操作する場合は 📖 を押します。
- 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
- 受信メール本文中の添付データ（ソフトが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は、返信メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。ただし、画像にファイル制限が設定されている場合は、返信メールに引用されません。
- 複数の宛先に送られた受信メールから返信する場合は、操作する画面により To に表示されるメールアドレスが異なります。
  受信メール一覧から返信する場合は、発信元のメールアドレスが表示され、受信メール詳細表示画面から返信する場合は、自分以外のすべての宛先と発信元のメールアドレスが表示されます。
- ショートメッセージ（SMS）も同様に返信できます。

i モードメールを他の宛先に転送する

• 受信したメールの種別でそれぞれ転送されます。

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

2 転送するメールにカーソルを合わせて ✉ を押す

メール作成<新規>
To
Sub FW:会議日程
Text
今日の会議は本社第三会議室で行います。
重要案件がありますので遅れずにご参加ください
9914

Sub 欄には先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名（i モードメールのみ）、Text 欄には受信メールの本文が入力されています。

• 添付ファイルがある受信メールを転送する場合は、添付ファイルも設定されています。

3 メールを編集して送信する ☛P250

• 転送すると、受信メール一覧画面を次回表示したときに受信メールの状態マークが から 、または から に変わります。

おしらせ

● 受信メール詳細表示画面から操作する場合は Menu を押し、「返信／転送」→「転送」を選択します。

● メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されていなくても、メロディファイルの種類によっては添付されない場合があります。

● 受信メール本文中の添付データ（ソフトが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。

● 受信メールの添付ファイル（静止画、メロディ）のうち、メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。

● 10000 バイトを超える静止画が添付されたメールで画像を取得していない場合は、転送時に画像は添付されません。

● 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。また、転送時にサイズオーバーとなった場合は、 を押すと送信できない旨のメッセージが表示されます。

● ショートメッセージ（SMS）も同様に転送できます。

添付されている静止画を表示・保存する

静止画を表示する

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

2 静止画が添付されているｉモードメールを選択する

メール本文の下には、静止画とファイル名、ファイルサイズが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。

：メール添付やFOMA端末外への出力可
：メール添付やFOMA端末外への出力不可
：ダウンロードされていない10000バイトを超える静止画
：ダウンロード済みの10000バイトを超える静止画
：静止画の添付あり
：静止画データ異常

■ **静止画の表示／非表示を切り替えるとき**

① **ファイル名を選択する**

■ **静止画のタイトルを確認するとき**

① **タイトルを確認する静止画のファイル名にカーソルを合わせて Menu 6 2 を押す**

■ **10000バイトを超える静止画のURLを表示するとき**

① **URLを表示する静止画のファイル名にカーソルを合わせて Menu 6 3 を押す**

- 取得する前に表示するときは、メール本文の「保存期限」にカーソルを合わせて Menu 6 2 を押します。

おしらせ

- 送信メール詳細表示画面、メールテンプレート詳細表示画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細表示画面からタイトルを確認する場合は Menu を押し、「添付ファイル」→「タイトル確認」を選択します。
- 送信メール詳細表示画面、メールテンプレート詳細表示画面、miniSDメモリーカード内のメール詳細表示画面に添付されている静止画からも同様の操作で表示／非表示を切り替えられます。
- 取得できる静止画は、JPEG形式またはGIF形式で最大100Kバイトまでです。
- 取得した静止画のファイル名は、最大36文字保存されます。ファイル名には半角英数字と「.」、「-」、「_」が使用できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。
- 静止画が添付されている受信メールを表示したときは、添付された静止画は自動的に表示されます。ただし、受信メールがデコメールの場合は、メールを表示すると、メール本文に挿入されている静止画は自動的に表示されますが、添付された静止画は自動的に表示されません。画像を表示するときは静止画のファイル名を選択します。
- デコメールでは、メール詳細表示画面で本文中に表示される画像のデータ名などは表示されません。
- ｉモードメールに添付された10000バイトを超えるJPEG形式の画像は、自動的に取得されます。自動取得された画像は、自動的にマイピクチャの「ｉモード」フォルダに保存されます。メール受信を中断したり、画像の保存領域がいっぱいなどの理由により、自動的に取得できなかった場合は、ｉモードメール中の「保存期限」を選択することにより、画像を取得することができます。
- 静止画の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 静止画によっては正しく表示できない場合があります。
- miniSDメモリーカード内のメールを表示するとき、10000バイトを超える静止画が添付されている場合は、静止画を表示できません。

静止画を保存する

保存した静止画は「マイピクチャ」から表示したり、待受画面などに設定したりできます。静止画の編集で使用するフレームやスタンプとしても保存できます。

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

※ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☞P389

2 静止画が添付されているｉモードメールを選択する

3 保存する静止画のファイル名にカーソルを合わせて Menu 6 3 を押す

- メール添付や FOMA 端末外への出力を禁止されている静止画（ファイル制限欄に「あり」と表示）では各項目の内容を変更できません。操作5に進みます。

■ **デコメール内に表示されている画像を保存するとき**

① Menu 4 4 を押し、画像を選択する

4 各項目を選択して設定する

- 設定方法は、サイトから画像を保存するときと同じです。☛P220

5 [本] を押し、保存先を選択する

静止画はマイピクチャの「ｉモード」または「デコメールピクチャ」フォルダのどちらかを選択して保存します。☛P354

- フレームまたはスタンプ画像の場合は「アイテム」フォルダに保存されます。☛P354
- 保存した静止画は、待受画面などに設定できます。☛P355

おしらせ

- 送信メールに添付した静止画も同様の操作で保存できます。
- 横352×縦288を超える静止画はフレーム候補にできません。
- 横縦（または縦横）のサイズが210×210を超える静止画はスタンプ候補にできません。
- 横縦（または縦横）のサイズがGIF形式は640×480、JPEG形式は960×1280を超える静止画は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できないものもあります。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA端末に保存されている画像を、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き領域が確保できるまでFOMA端末内の画像を削除します。
  - 削除する前に画像一覧で [本] を押して画像を表示したり、Menu を押して画像の詳細情報を表示したりできます。

ｉモーションメール

ｉモーションメールからｉモーションを取り込む

発信元がメールに添付した動画／ｉモーションはｉモーションメールセンターに保管され、ｉモーションの閲覧のためのURLが付与されたメールを受信します。このURLを選択して、ｉモーションを受信したり、再生したりできます。

- 取り込めるｉモーションは、最大500Kバイトまでです。
- 再生時の音量はｉモーションの動作設定に従います。☛P377

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

2 ｉモーションのURLが挿入されたｉモードメールを選択する

つづく

3 ｉモーションの URL を選択し、「はい」を選択する

ｉモーションメールセンターに接続され、ｉモーションの受信・再生が始まります。

- ｉモーションメールセンターでのｉモーションの保存期限が表示されます。
- ｉモーション閲覧のための URL が表示されます。
- ｉモーションが添付されていることを示す「🎥あり」が表示されます。

・再生画面の操作方法☛P368

4 再生が終了したら「保存」を選択する

・「再生」を選択するとｉモーションが再生されます。
・「情報表示」を選択するとｉモーションの情報が表示されます。☛P405

5 [📖] を押す

取り込んだｉモーションはｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。
・表示名を設定するときは表示名を入力します。全角・半角を問わず最大 36 文字入力できます。

■ **待受画面に設定するとき**

・映像のない動画／ｉモーション、再生制限が設定されているｉモーション、画像サイズが 320 × 240 を超えるｉモーションは待受画面に設定できません。

① [Menu][1] を押して「はい」を選択する

・拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
・ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、選択した動画／ｉモーションが待受画面に設定されます。
・動画／ｉモーションを待受画面に設定したときの動作☛P136

6 「戻る」を選択する

おしらせ

● 送信メールに添付されている動画／ｉモーションも、「ファイル名」を選択して、同様に再生できます。ただし、動画／ｉモーションが FOMA 端末から削除されているときは再生できません。
● ｉモード端末へｉモーションメールを送信した場合、ｉモーションメールセンターに保存されたｉモーション閲覧用 URL1 件につき 50 回まで取得することができます。50 回を超えた場合は、ｉモーションの取得ができなくなります。
● メールに添付されたｉモーションをパソコンで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。☛P553
● miniSD メモリーカード内のメールを表示するとき、動画／ｉモーションが添付されている場合は、動画／ｉモーションを表示できません。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

ｉモードメールに添付されているメロディを再生・保存する

・発信元がFOMA D901i以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

メロディを再生する

1 待受画面で［メール］［1］を押し、フォルダを選択する

2 メロディが添付されているｉモードメールを選択する

・添付メロディの表示形式には、メロディファイルの種類によって2種類あります。

受信メール 1/16
05/04/15 16:54
docomo.taro.ΔΔ@doco…
新曲送ります
新曲送ります。こんども
いいメロディだよ！
♪Melody.mid 2KB
－END－

本文の後にメロディのマークとファイル名、サイズが表示されます（SMF形式）。

本文の後に表示

受信メール 1/16
05/04/15 16:54
docomo.taro.ΔΔ@doco…
新曲送ります
新曲送ります。こんども
いいメロディだよ！
♪Emelody 0.1KB
－END－

本文中にメロディのマークとタイトル名、サイズが表示されます（MFi形式）。

本文中に表示

・マークの意味は次のとおりです。
♪：メール添付やFOMA端末外への出力可
♪©：メール添付やFOMA端末外への出力不可　♪×♪×©：メロディデータ異常

3 再生するメロディを選択する

・再生を途中で止めるときは［クリア］または［クリア］を押します。

■ **メロディのタイトルを確認するとき**

① **タイトルを確認するメロディにカーソルを合わせて［Menu］［6］［5］を押す**
・本文中に表示されているメロディのタイトルを確認するときはメロディにカーソルを合わせて［Menu］［6］［4］を押します。

② **タイトルの確認が終わったら［●］を押す**

■ **メロディのデータを文字として表示するとき（データ表示）**

① **データ表示するメロディを選択して［Menu］［6］［5］を押す**
・タイトル表示に戻すには、データ表示されているメロディの先頭行を選択して［Menu］［6］［5］を押します。
・本文の後に表示されるメロディではこの機能は利用できません。

おしらせ

● データ表示時にメロディを再生・保存するにはサブメニューから行います。
● マナーモード中は、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、通常マナーモード中は電話着信音量調整で設定されている音量で再生されます。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の着信音量で設定されている音量で再生されます。
● MFi形式のメロディにタイトル名が設定されていない場合、タイトル名にはメールを受信した日時が表示されます。
● MFi形式のメロディの場合、マークが♪でも返信／転送するメールにメロディは添付されません。
● 添付ファイル自動再生設定で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されている受信メールを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。
● 送信メール、メールテンプレート、miniSDメモリーカード内のメールの添付メロディも同様に再生できます。

メロディを保存する

保存したメロディは「メロディ」から再生したり、着信音に設定したりできます。

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

2 メロディが添付されている i モードメールを選択する

3 保存するメロディにカーソルを合わせて Menu 6 2 を押す

- 既に設定されている表示名が表示されます。表示名を設定するときはメロディの保存画面で表示名を入力します。全角で最大 25 文字、半角で最大 50 文字入力できます。

4 📖 を押す

取り込んだメロディは、メロディの「iモード」フォルダに保存されます。

おしらせ

- 送信メール詳細表示画面から操作する場合はメロディにカーソルを合わせて Menu を押し、「添付ファイル」→「保存」を選択します。
- メロディの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されているメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従い FOMA 端末内のメロディを削除します。
  - 削除する前にメロディ一覧で 📖 を押してメロディを再生したり、Menu を押してメロディの詳細情報を表示したりできます。

添付ファイル削除

添付ファイルを削除する

受信メールに添付されている静止画、添付メロディを削除します。

- 10000 バイトを超える静止画や本文中に表示されるメロディ、ソフトが起動できるリンク項目は削除できません。

例 添付されている静止画を削除するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

2 静止画が添付されている i モードメールを選択する

3 削除する静止画のファイル名にカーソルを合わせて Menu 6 4 を押す

- 添付ファイルを一括削除するときは Menu 6 5 を押します。

4 「はい」を選択する

- 削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

おしらせ

- 送信メール詳細表示画面から操作する場合は、静止画、メロディにカーソルを合わせて Menu を押し、「添付ファイル」→「削除」または「一括削除」を選択します。

受信／送信メール BOX のメールを表示する

受信／送信／未送信の ｉ モードメールやショートメッセージ（SMS）を確認できます。受信済みのメールは「受信メール」に、送信済みのメールは「送信メール」に保存されます。また、送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールは「未送信メール」に保存されます。

- 送信メール、未送信メールは、ｉ モードメールとショートメッセージ（SMS）を合わせてそれぞれ最大 200 件、受信メールは最大 1000 件保存できます（データの大きさによっては、保存できる件数が少なくなる場合があります）。☛P36

例 受信メールを表示するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押す

■ **送信メールを表示するとき**

① **待受画面で ✉ 5 を押す**

■ **未送信メールを表示するとき**

① **待受画面で ✉ 4 を押す**

2 フォルダを選択する

受信メールの一覧が表示されます。

■ **ソフトを起動せずにメール連動型 ｉ アプリフォルダに保存されているメールを表示するとき**

① **メール連動型 ｉ アプリフォルダを選択して Menu 1 を押す**

- メール連動型 ｉ アプリフォルダを選択すると、対応するソフトが起動されます。☛P326

3 表示するメールを選択する

- 電話番号やメールアドレス、URL を選択して電話帳に登録したり、URL を選択してブックマークに登録したりできます。☛P292、P293
- 電話番号やメールアドレス、URL から電話をかけたり、ｉ モードメールを送ったり、サイトを表示したりできます。☛P223

おしらせ

- パソコンから装飾されたメールを受信する場合、ｉ モード端末では非対応の装飾があると、パソコン上と同じ動作にならない場合があります。
- メール本文の添付データ（ソフトが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）が複数添付されていると添付データは無効になります。このとき添付マークには ? が表示されます。
- デコメールを表示した場合、デコメールの背景色によっては画像や ｉ モーション取得先 URL の文字色と重なって URL が見えない場合があります。
- プライバシーモード起動中は、メールのプライバシーモード設定の設定内容により、フォルダ一覧やフォルダが表示されません。
  - 「認証後に表示」にしている場合、フォルダ一覧を表示させるには、端末暗証番号の入力が必要になります。
  - 「指定フォルダを非表示」にしている場合は、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定しているフォルダは表示されません。フォルダ一覧画面で クリア または クリア（半押し）を 1 秒以上押し、端末暗証番号を入力することにより、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示できます。

フォルダ一覧画面の見かた

■ 受信メールフォルダ一覧画面の見かた

受信メール　1/1
受信BOX
iアニメっちゃメーラーDX
Dimo 絵文字メール
家族
友達1
友達2
会社

受信メールフォルダ一覧画面では、上部に保存領域の使用率とページ番号／総ページ数が表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。

（グレー）：メールなし
（黄）　：未読メールなし
：未読メールなし（プライバシーON）
：未読メールなし（メール連動型 i アプリで利用）
：未読メールあり
：未読メールあり（プライバシーON）
：未読メールあり（メール連動型 i アプリで利用）

■ 送信／未送信メールフォルダ一覧画面の見かた

送信メール　1/1
送信BOX
iアニメっちゃメーラーDX
Dimo 絵文字メール
家族
友達1
友達2
会社

送信メールフォルダ一覧画面では、上部にページ番号／総ページ数が表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。

（グレー）：メールなし
（黄）　：メールあり
：プライバシーON
：メール連動型 i アプリ

おしらせ

- 受信メールBOXには、「受信BOX」とメール連動型 i アプリ用のフォルダ以外に最大40個のフォルダが作成できます。☛P284 お買い上げ時の設定では、新たに受信した i モードメールとショートメッセージ（SMS）は「受信BOX」フォルダに保存されますが、受信時に自動的に他のフォルダに振り分けることもできます。☛P294
- 送信／未送信メールBOXには、「送信BOX」または「未送信BOX」とメール連動型 i アプリ用のフォルダ以外に最大10個のフォルダが作成できます。☛P284 お買い上げ時の設定では、新たに送信した i モードメールとショートメッセージ（SMS）は、「送信BOX」フォルダに保存されますが、送信時に自動的に他のフォルダに振り分けることもできます。☛P294
- メール連動型 i アプリを削除した場合でも、それに対応したメールフォルダが残っていればメールを表示できます。
- メール連動型 i アプリフォルダを選択すると、それに対応するソフトが起動されます。☛P326

受信／送信／未送信メール BOX の一覧画面／詳細表示画面の見かた

■ 受信メール BOX 一覧画面の見かた

受信メール BOX 一覧画面では、上部にフォルダ名、ページ番号／総ページ数が表示されます。メールの一覧には受信日時、発信元、題名（SMS では本文の先頭）が表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

① **状態マーク**

：未読　　　　　　　　：未読（返信不可）
：既読　　　　　　　　：既読（返信不可）
：既読（返信済み）　　：既読（転送済み）
：保護　　　　　　　　：保護（返信不可）
：保護（返信済み）　　：保護（転送済み）

※返信済／転送済は後から行った操作のマークが優先表示されます。

② **添付ファイル／ SMS ／メール連動型 ｉ アプリマーク**

：10000 バイト以内の静止画
：メロディ
：10000 バイト以内の静止画＋メロディ
：10000 バイトを超える静止画
：ショートメッセージ（SMS）
：ｉ アプリ To あり
：メール連動型 ｉ アプリで利用されるメール

※ ｉ モーションまたは 10000 バイトを超える静止画が添付されているときは、10000 バイト以内の静止画やメロディが添付されていてもマークは表示されません。

・発信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
・受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
・受信した ｉ モードメールによっては題名が表示されない場合があります。
・データ異常のショートメッセージ（SMS）には が表示され、受信日時は --/--（受信当日のみ）となります。発信元は表示されません。
・メール一覧の表示形式を選択できます。☛P300

おしらせ

- 添付ファイルやソフトが起動できるリンク項目がある場合、詳細表示画面にマークと添付ファイル名などが表示されます。詳しくはそれぞれの参照先をご覧ください。

種　類	マーク	参照先
静止画	：メール添付や FOMA 端末外への出力可 ：メール添付や FOMA 端末外への出力不可 ：ダウンロードされていない 10000 バイトを超える静止画 ：ダウンロード済みの 10000 バイトを超える静止画 ：未取得の静止画の添付あり ：静止画データ異常	P274
メロディ	：メール添付や FOMA 端末外への出力可 ：メール添付や FOMA 端末外への出力不可 ：メロディデータ異常	P277
ソフトが起動できるリンク項目		P337

- ｉモードメールでは、発信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレス欄と照合されます。ショートメッセージ（SMS）では、発信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。
  - メールアドレスが完全に一致した場合だけ名前が表示されます。ｉモード端末のメールアドレスの場合、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録していると、@ より前の部分が一致しても名前は表示されません。ただし、携帯電話番号 @docomo.ne.jp の相手からメールを受信した場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録している場合でも、@ より前の部分が一致した場合は、名前が表示されます。
  - シークレット属性を設定した電話帳データにメールアドレスや電話番号が登録されている場合は、シークレットモードを設定していないと名前は表示されません。
  - プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、プライバシーモードを解除しないと名前は表示されません。
- ショートメッセージ（SMS）および送達通知の題名、発信元は次のように表示されます。

項　目	ショートメッセージ（SMS）	送達通知	着信通知
題名	受信 SMS	SMS 送達通知	留守番着信通知
発信元	電話番号	SMS Center	DoCoMo SMS

※ 電話番号が電話帳に登録されているときは、受信メール一覧の発信元には名前が表示されます。ただし、プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、名前は表示されません。

※ 発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
「非通知設定」（非通知に設定して送られてきた場合）
「公衆電話」（公衆電話から送られてきた場合）
「通知不可能」（発信者番号を通知できない方法で送られてきた場合）

- 受信メールの既読と未読を変更できます。未読メールを既読にするときは未読メールにカーソルを合わせて Menu 5 1 を押します。既読メールを未読にするときは既読メールにカーソルを合わせて Menu 5 2 を押します。
  - 未読メールを複数選択して既読に変更するには Menu 5 3、既読メールを複数選択して未読に変更するには Menu 5 4 を押します。変更するメールを選択して [m] を押し、「はい」を選択します。
  - フォルダ内の未読メールをすべて既読に変更するには Menu 5 5、フォルダ内の既読メールをすべて未読に変更するには Menu 5 6 を押し、「はい」を選択します。
  - 保護されているメールの未読／既読は変更できません。

メール

■ 送信／未送信メール BOX 一覧画面の見かた

送信メール BOX 一覧画面では、上部にフォルダ名、ページ番号／総ページ数が表示されます。メールの一覧には送信日時、宛先、題名（SMS では本文の先頭）が表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。

  マークなし ：未保護

  ：保護

  ：10000 バイト以内の静止画

  ：メロディ

  ：10000 バイト以内の静止画＋メロディ

  ：ｉモーション

  ：10000 バイトを超える静止画

  ：ショートメッセージ（SMS）

  ：メール連動型ｉアプリで利用されるメール

  ※ｉモーションまたは 10000 バイトを超える静止画が添付されているときは、10000 バイト以内の静止画やメロディの添付を示すマークは表示されません。
- 送信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
- 未送信メール一覧からメールを選択すると、メール作成画面が表示されます。☛P266
- メール一覧の表示方法を選択できます。☛P300

■ 受信メール詳細表示画面の見かた

受信メール詳細表示画面では、上部に宛先マーク※、状態マーク、添付ファイルマーク、SMS マーク、メール番号／件数が表示されます。

※：ｉモードメールでは、発信元からどの宛先（TO、CC、BCC）で送られてきたのかを確認できます。

- マークの意味は次のとおりです

  ：受信日時　　：発信元

  ：宛先（TO）　　：宛先（CC）（ｉモードメールのみ）

  ：宛先（BCC）（ｉモードメールのみ）

  ：題名（SMS は「受信 SMS」、「SMS 送達通知」、「留守番　着信通知」）

  ：発信元（返信不可）

  ：宛先（TO）（返信不可）（ｉモードメールのみ）

  ：宛先（CC）（返信不可）（ｉモードメールのみ）
- 文字サイズを選択できます。☛P302
- データ異常のショートメッセージ（SMS）にはが表示されます。

■ 送信済み／未送信メール詳細表示画面の見かた

送信済みメール詳細表示画面では、上部に状態マーク、添付ファイル／SMSマーク、メール番号／件数が表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。
  - ：送信日時
  - To：宛先（TO）
  - Cc：宛先（CC）（ｉモードメールのみ）
  - Bcc：宛先（BCC）（ｉモードメールのみ）
  - ：題名
・文字サイズを選択できます。☛P302

おしらせ

● 送信日時・保存日時の表示には日付・時刻の設定が必要です。☛P46

フォルダを作成・削除する

フォルダを作成する

・「受信メール」では「受信BOX」とメール連動型ｉアプリのフォルダ以外に最大40個作成できます。
・「送信メール」「未送信メール」では「送信BOX」「未送信BOX」とメール連動型ｉアプリのフォルダ以外にそれぞれ最大10個作成できます。
・「送信BOX」「未送信BOX」「受信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリのフォルダのフォルダ設定は変更できません。

例 受信メールのフォルダを追加するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押す

・送信メール ☛P279　・未送信メール ☛P279

2 Menu 1 を押す

■ **フォルダ設定を変更するとき**
① **フォルダ設定を変更するフォルダを選択して Menu 3 を押す**

3 各項目を選択して設定する

フォルダ名：メールのフォルダ名称を設定します。
全角で最大8文字、半角で最大16文字入力できます。

プライバシー：プライバシーモード起動中に、フォルダを表示するかどうかを設定します。
・「ON」に設定すると、プライバシーモード起動中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）はフォルダを表示しません。

4 📖 を押す

おしらせ

● メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、「受信メール」「送信メール」「未送信メール」のフォルダ一覧にそのメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名にはダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が設定され、変更することはできません。

フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている「受信 BOX」「送信 BOX」「未送信 BOX」フォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護解除してからフォルダを削除してください。
- メール連動型 ｉ アプリフォルダは、そのフォルダに対応するソフトを削除しない限り削除できません。☛P342

例 受信メールのフォルダを削除するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押す

- 送信メール ☛P279
- 未送信メール ☛P279

2 削除するフォルダを選択して Menu 2 を押す

3 端末暗証番号を入力する

4 「はい」を選択する

メールの件数を確認する<フォルダ内メール件数>

受信メール、送信メール、未送信メールの保存件数をフォルダごとに確認します。

例 受信メールの保存件数を確認するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押す

- 送信メール ☛P279
- 未送信メール ☛P279

2 件数を確認するフォルダにカーソルを合わせて Menu 5 を押す

3 確認が終わったら ● を押す

おしらせ

● メール一覧から操作する場合は Menu を押し、「表示」→「メール件数確認」を選択します。

メールアドレスを確認する<アドレス表示>

メールアドレスが途中までしか表示されていない場合や、電話帳に登録されていて名前が表示されている場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。

1 メール詳細表示画面を表示する

- 受信メール ☛P279
- 送信メール ☛P279
- メールテンプレート ☛P264

2 表示する発信元または宛先を選択する

3 確認が終わったら [●] を押す

おしらせ

● 複数のメールアドレスをまとめて確認するときは、メール詳細表示画面で [Menu] を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。受信／送信／未送信メール一覧から操作するときは、アドレスを表示するメールにカーソルを合わせて [Menu] を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。送信メール、未送信メールでは全宛先のメールアドレスが、受信メールでは発信元と自分以外の宛先が表示されます（「TO:」「 CC: 」も表示されます）。

受信／送信メールをフォルダに移動する＜メール移動＞

保存してあるメールを別のフォルダや miniSD メモリーカードに移動／コピーします。

例 受信メールを他のフォルダに 1 件移動するとき

1 待受画面で [✉] [1] を押し、フォルダを選択する

・送信メール ☛P279　　・未送信メール ☛P279

2 移動するメールにカーソルを合わせて [Menu] [4] [1] [1] を押す

■ **受信メールを複数選択して移動するとき**

① [Menu] [4] [1] [2] **を押し、メールを選択する**

- [●] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。

② [📖] **を押す**

■ **すべての受信メールを移動するとき**

① [Menu] [4] [1] [3] **を押す**

■ **受信メールを miniSD メモリーカードへ 1 件コピーするとき**

① [Menu] [4] [4] [1] **を押す**

②**「はい」を選択する**

■ **受信メールを miniSD メモリーカードへバックアップ（全件）するとき**

① [Menu] [4] [4] [2] **を押す**

② **端末暗証番号を入力する**

③**「はい」を選択する**

3 [●] を押し、移動先フォルダを選択する

4 「はい」を選択する

おしらせ

● 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

受信／送信メールを並べ替える＜ソート＞

お買い上げ時　日付順

「受信メール」「送信メール」のメール一覧の並び順を一時的に並べ替えます。

・「未送信メール」「FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）」の並び順は変更できません。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

例 受信メール一覧を並べ替えるとき

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

・送信メール ☛P279

2 Menu 7 4 を押す

■ **送信メールを並べ替えるとき**

① Menu 5 を押す

3 1 ～ 3 を押す

メールが一時的に並び替わります。

おしらせ

● 受信メール一覧、送信メール一覧の表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。
● 送信者順または宛先順の場合、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並び替わります。
● タイトル順の場合、全角／半角の文字が混在していると、五十音順と一致しない場合があります。
● 同一フォルダ内にショートメッセージ（SMS）が含まれていると、一覧画面ではショートメッセージ（SMS）はメッセージの本文の先頭が表示されるため、タイトル順でソートした場合、五十音順と一致しません。

受信／送信メールから電話をかける<電話発信>

受信メールの送信者や送信メールの宛先に電話をかけることができます。
・電話番号とメールアドレス（相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合を除く）を電話帳に登録しておく必要があります。
・シークレット属性を設定した電話帳データにメールアドレスが登録されている場合は、シークレットモード中だけ電話をかけられます。

例 受信メールから電話をかけるとき

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

・送信メール ☛P279

2 電話をかけるメールにカーソルを合わせて Menu 6 を押す

・受信メール／送信メール詳細表示画面から操作する場合は Menu 7 を押します。

3 カスタム発信の各項目を選択して設定する ☛P56

4 Menu を押し、「はい」を選択する

受信／送信メールを保護する<メール保護>

受信メール、送信メール、未送信メールを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防ぐことができます。

- 受信メールは最大500件、送信メールおよび未送信メールはそれぞれ最大100件保護できます。
- 未読メールは保護できません。

例 受信メールを1件保護するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

- 送信メール ☛P279
- 未送信メール ☛P279

2 保護するメールにカーソルを合わせて Menu 3 1 を押す

- メールを保護すると状態マークが次のいずれかに変わります。

受信メール　：(既読)、(返信不可)、(返信済み)、(転送済み)
送信メール　：
未送信メール　：

■ 受信メールを複数選択して保護するとき

① **Menu 3 2 を押し、メールを選択する**

- で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。ただし、保護されていない受信メールが最大保護件数を超えて保存されている場合は全選択できません。

② **を押す**

■ 受信メールを全件保護するとき

① **Menu 3 3 を押す**

■ 受信メールの保護を1件解除するとき

① **保護を解除するメールにカーソルを合わせて Menu 3 4 を押す**

■ 受信メールの保護を複数選択して解除するとき

① **Menu 3 5 を押し、メールを選択する**

- で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② **を押す**

■ 受信メールの保護を全件解除するとき

① **Menu 3 6 を押す**

おしらせ

- データ一括削除を行うと保護したデータもすべて削除されます。☛P461
- メール詳細表示画面から保護する場合は Menu を押し、「保護」を選択します。保護解除する場合には Menu を押し、「保護解除」を選択します。
- 送信／未送信メール一覧から保護する場合は Menu を押し、「保護」→「1件保護」、「複数保護」または「全件保護」を選択します。保護解除する場合には Menu を押し、「保護」→「1件保護解除」、「複数保護解除」または「全件保護解除」を選択します。
- 全件保護の途中で最大保護件数を超える場合は、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。
- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

受信／送信メールを削除する＜メール削除＞

受信メール、送信メール、未送信メールから不要なメールを削除します。
- 保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合、条件に該当していても保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除をしてから削除してください。

受信メールを削除する

○：実行可　×：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	全メール（未読も削除）	○	×	×
フォルダ内 - 既読	フォルダ内の既読メール	○	○	×
フォルダ内 - 全件	フォルダ内の全メール（未読も削除）	○	○	×
フォルダ内 -7 日経過	フォルダ内の受信後指定日数経過したメール（未読も削除）	○	○	×
フォルダ内 -14 日経過		○	○	×
フォルダ内 -30 日経過		○	○	×
1 件削除	選択したメール 1 件	×	○	○
複数削除	選択した複数メール	×	○	×

1 待受画面で ✉ 1 を押す

■ **メールを全件削除するとき**
① Menu 4 6 **を押す**
② **端末暗証番号を入力して操作 4 に進む**

2 フォルダを選択して Menu 2 を押す

- メールを 1 件だけ削除するときは削除する受信メールを選択します。

3 1 ～ 7 を押す

受信BOX 1/
1 返信／転送
1 1件削除
2 複数削除
3 ﾌｫﾙﾀﾞ内-既読
4 ﾌｫﾙﾀﾞ内-全件
5 ﾌｫﾙﾀﾞ内-7日経過
6 ﾌｫﾙﾀﾞ内-14日経過
7 ﾌｫﾙﾀﾞ内-30日経過

■ **受信メールを複数選択して削除するとき**
① 2 **を押し、メールを選択する**
　• ◉で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。
② 📖 **を押す**

■ **フォルダ内の受信メールを全件削除するとき**
① 4 **を押し、端末暗証番号を入力する**

4 「はい」を選択する

おしらせ

● 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

メール

つづく

送信／未送信メールを削除する

次の方法で削除できます。

○：実行可　×：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	全メール	○	×	×
フォルダ内一全件	フォルダ内の全メール	○	×	×
全件削除	フォルダ内の全メール	×	○	×
1 件削除	選択したメール 1 件	×	○	○（送信メールのみ）
複数削除	選択した複数メール	×	○	×

例 送信メールを削除するとき

1 待受画面で ✉ 5 を押す

■ **メールを全件削除するとき**

① Menu 4 2 を押す

② 端末暗証番号を入力して操作 4 に進む

2 フォルダを選択する

3 削除するメールにカーソルを合わせて Menu 2 1 を押す

■ **送信メールを複数選択して削除するとき**

① Menu 2 2 を押し、メールを選択する

- ◉ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② ◫ を押す

■ **フォルダ内の送信メールを全件削除するとき**

① Menu 2 3 を押し、端末暗証番号を入力する

4 「はい」を選択する

おしらせ

- 未送信メールも同様の操作で削除できます。
- フォルダ一覧から操作する場合は Menu を押し、「メール削除」を選択します。
- メール詳細表示画面から操作する場合は Menu を押し、「削除」を選択します。

メールの便利な機能

本文に電話番号やメールアドレス、URL があるとき、これらを選択して音声電話／テレビ電話をかけたり（Phone To ／ AV Phone To）、ｉ モードメールを作成したり（Mail To）、サイトに接続したり（Web To）できます。また、表示中のｉ モードメール、ショートメッセージ（SMS）の本文中の文字をコピーしたり、電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録することもできます。

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To 機能を使う

• 操作方法はサイトからの Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To と同じです。☛P223

おしらせ

● 電話番号を選択し、発信方法を選択すると、電話をかけられます。
● パソコンなどからメールを受信した場合、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To 機能が利用できないことがあります。

本文などをコピーする

表示中のｉ モードメール、ショートメッセージ（SMS）中の文字をコピーできます。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

• FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）の場合、本文コピーと宛先コピー、送信者コピーができます。
• デコメールの場合、装飾情報はコピーされず、テキスト部分のみコピーができます。
• コピーした文字は電源を切るまで FOMA 端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
• 記録できるのは 1 件だけです。新たにコピーを行うと前にコピーした文字に上書きされます。

例 受信メール詳細表示画面からコピーするとき

1 コピーする項目を含む受信メール詳細表示画面を表示する

• 受信メール☛P279　• 送信メール☛P279
• メールテンプレート☛P264
• FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）☛P316

2 Menu 2 を押す

• 選択項目コピーの場合は、コピーする項目にカーソルを合わせます。

3 コピー方法を選択する

本文コピー　：本文中の指定した範囲の文字をコピーします。
題名コピー　：題名をコピーします。
選択項目コピー：項目（メールアドレス、電話番号など）を選んでコピーします。

• 本文コピーの場合はコピーする範囲を指定します。☛P223「URL をコピーする」操作 2

4 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

おしらせ

● 送信メール詳細表示画面、メールテンプレート詳細表示画面、FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）詳細表示画面から操作するときは[Menu]を押し、「移動／コピー」または「コピー」を選択します。
● メールに Date To 形式の本文が含まれている場合は、いったんメモ帳に貼り付けるとスケジュール登録できます。☛P455

電話番号やアドレス、URL を電話帳に登録する

表示中の i モードメール、ショートメッセージ（SMS）中のメールアドレス、電話番号、URL を電話帳に登録できます。新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

例 受信メール詳細表示画面から電話帳登録するとき

1 登録する項目を含むメールを表示する

・受信メール☛P279
・送信メール☛P279
・FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）☛P316

2 電話帳に登録する項目にカーソルを合わせて [Menu] [4] を押す

3 [1] または [2] を押す

・新規登録する場合は [1] を押します。以降の操作はサイトからの登録操作（「新規登録する」の操作 3 以降☛P224）と同様です。
・更新登録する場合は [2] を押します。以降の操作はサイトからの登録操作（「登録済みの電話帳データに追加する」の操作 3 以降☛P225）と同様です。

おしらせ

● 送信メール詳細表示画面、FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）詳細表示画面、miniSD メモリーカード内のメール詳細表示画面から操作するときは [Menu] を押し、「登録」を選択します。
● 表示中の i モードメールやショートメッセージ（SMS）のメールアドレスや電話番号、URL にカーソルを合わせていなければ登録操作はできません。ただし、受信メールでは発信元、送信メールでは宛先（複数宛先のときは選択可能）にカーソルを合わせて電話帳に登録することはできます。
● デコメールからは登録できない場合があります。
● メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

URLをブックマークに登録する

表示中のｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）の本文中にURLがあるとき、その画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

例 受信メール詳細表示画面からブックマーク登録するとき

1 **登録するURLを含むメールを表示する**

- 受信メール ☛P279
- 送信メール ☛P279
- FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）☛P316

2 **URLにカーソルを合わせて Menu 4 を押し、3 を押す**

3 **登録先フォルダを選択する**

おしらせ

- 送信メール詳細表示画面、FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）詳細表示画面から操作するときは Menu を押し、「登録」を選択します。
- デコメールからは登録できない場合があります。

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

設定できるメール機能は次のとおりです。

機能名	内　容	参照ページ
メール振り分け設定	受信／送信メールを自動的にフォルダに振り分けます。	P294
署名設定	メールに添付する署名を設定します。	P297
ｉモード問合せ設定	ｉモードセンターに問い合わせる内容を設定します。	P297
メール選択受信設定	メールを自動受信せず、選択して受信できるようにします。	P298
メールグループ設定	複数の宛先をメールグループとして設定します。	P298
メール返信引用設定	メールに返信するときに、受信メールを引用するかどうかを設定します。	P299
メール一覧表示設定	受信／送信メールの表示形式を設定します。	P300
メール受信添付ファイル設定	受信メールの添付ファイルを受信するかどうかを設定します。	P300
添付ファイル自動再生設定	メロディが添付されたメールを表示したときに、自動再生するかどうかを設定します。	P301
表示種別	「受信メール」「送信メール」のメール一覧に表示するメール種別を設定します。	P301
フォントサイズ	メールを表示したときの文字の大きさを設定します。	P302
メール着信設定	メールを受信したときの動作を設定します。	P303
受信表示設定	FOMA端末操作中にメールを受信したときの表示を優先するかどうかを設定します。	P303

メールを自動的にフォルダに振り分ける<メール振り分け設定>

受信／送信した ｉ モードメールやショートメッセージ（SMS）に振り分け条件を設定し、自動的にフォルダに振り分けるかどうかを設定します。
・受信メール、送信メールの振り分け条件はそれぞれ30件登録できます。

振り分け条件を設定する

・設定した振り分け条件を実行するには、受信振り分け設定／送信振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。☛P296

例 受信メールをメールアドレスで振り分けるとき

1 待受画面で ✉ 9 3 を押す

2 1 を押す

受信振り分け一覧 1/1
振り分け：ON
01 電話帳登録なし
02 docomotaro@△△.□□…
03 報告書

1行目には、受信振り分け設定／送信振り分け設定のON／OFFが表示されます。また、登録済みの振り分け条件が優先順位順に一覧表示されます。
・マークの意味は次のとおりです。

To：送信メールアドレス　From：受信メールアドレス
No.：メモリ番号　電話帳登録なし
題名　グループ
条件なし

■ **送信メールを振り分けるとき**
① **2 を押す**

3 Menu 1 1 を押す

振り分け条件の指定
1 メールアドレス
2 題名
3 メモリ番号
4 グループ
5 電話帳登録なし
6 条件なし

振り分け条件の指定画面

指定したメールアドレスで受信／送信したメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します（半角で最大50文字）。アドレスの一部の文字を指定して振り分けることはできません。電話番号を指定すると、ショートメッセージ（SMS）も振り分けできます。

4 2 を押し、メールアドレスを入力し、📖 を押す

メールアドレスの入力方法
1 電話帳
2 直接入力

■ **電話帳に登録されているメールアドレスを指定するとき**
① **1 を押し、入力するアドレスのある電話帳を選択して、メールアドレスを選択する**

5 振り分け先フォルダを選択する

- メール連動型ｉアプリフォルダを選択したときは、選択したフォルダのメールがソフトで利用される旨の確認画面が表示されます。振り分け先として設定するときは「はい」を選択します。

6 優先順位を指定する

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。
- 最後に追加するときは［最後に追加する］を選択します。
- 条件は優先順位の高いものから順に並びます。
- 登録済みの条件を変更したときは［最後に追加する］は、［最後に移動する］と表示されます。

■ **題名を指定するとき**

指定した文字を含む題名のメールを振り分けます（全角で最大15文字）。
ショートメッセージ（SMS）は題名では振り分けできません。

① 振り分け条件の指定画面で 2 を押す ☛P294

② 題名を入力して ◉ を押し、 ◫ を押す

■ **メモリ番号を指定するとき**

指定したメモリ番号で登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、ショートメッセージ（SMS）では電話帳の電話番号と照合されます。

① 振り分け条件の指定画面で 3 を押す ☛P294

② メモリ番号を入力する

③ 電話帳データを選択する

■ **グループを指定するとき**

電話帳で指定したグループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

① 振り分け条件の指定画面で 4 を押す ☛P294

② 1 または 2 を押す

③ 指定するグループを選択する

■ **電話帳登録なしを指定するとき**

電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、ショートメッセージ（SMS）では電話帳の電話番号と照合されます。

① 振り分け条件の指定画面で 5 を押す ☛P294

■ **条件なしを指定するとき**

条件を設定せずにすべてのメールを振り分けます。

① 振り分け条件の指定画面で 6 を押す ☛P294

つづく

おしらせ

- 条件は優先順位に従って判定されます。たとえば、条件を 2 件設定した場合、次のように振り分けられます。
  ① 優先順位 1 の条件に該当するかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは ② に進みます。
  ② 優先順位 2 の条件に該当するかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは「受信 BOX」または「送信 BOX」フォルダに保存されます。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定、あるいはメールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に振り分け条件を指定する場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。
- 設定した条件は、条件設定後に受信／送信するメールに対して有効です。受信／送信済みのメールは振り分け直されません。
- 送信元の端末が i モード端末でメールアドレスが携帯電話番号の場合、受信するアドレスは携帯電話番号のみになるので、振り分け設定に「携帯電話番号 @docomo.ne.jp」と登録した場合は振り分けられません。

振り分け条件を確認・変更する

1 待受画面で ✉ 9 3 を押す

2 1 または 2 を押す

■ **登録済みの振り分け条件を変更するとき**

① **変更する振り分け条件にカーソルを合わせて Menu 2 を押す**

- 振り分け条件の指定の操作は「振分け条件を設定する」操作 3 から操作 6 と同じです。☛P294

②「**変更する」を選択する**

■ **優先順位を変更するとき**

① **変更する振り分け条件にカーソルを合わせて Menu 5 を押す**

② **移動する位置を選択する**

- 選択した位置の上に条件が移動します。一覧の最後に移動するときは、「最後に移動する」を選択します。

■ **条件を削除するとき**

① **削除する振り分け条件にカーソルを合わせて Menu 3 を押し、「はい」を選択する**

- 条件をすべて削除するときは Menu 4 を押し、端末暗証番号を入力し、「はい」を選択します。

3 確認する振り分け条件を選択する

- 条件を確認中でも振り分け条件の変更ができます。

振り分けるかどうかを設定する

お買い上げ時　受信振り分け設定：ON　送信振り分け設定：ON

例 受信メールを振り分けるとき

1 待受画面で ✉ 9 3 を押す

2 1 を押し、Menu 6 を押す

- 送信メールを設定するときは 2 を押し、Menu 6 を押します。

3 [1] を押す

■ メールを自動振り分けしないとき
① [2] を押す

メールの署名を登録する<署名設定>

お買い上げ時　する

ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）の本文に付ける署名を登録します。また、メール作成時に署名を自動的に挿入するかどうかを設定します。
• 署名は全角で最大 50 文字、半角で最大 100 文字入力できます。

1 待受画面で [✉] [9] [4] を押す

2 各項目を選択して設定する

自動挿入：署名を自動挿入するかどうかを設定します。
• 自動挿入しない場合は [2] を選択します。

署名：署名の内容を設定します。

3 [📖] を押す

おしらせ
- 署名も本文の文字数に含まれます。
- 署名を自動挿入しない設定にしたときは、メール作成時にサブメニューから選択して挿入できます。☛P250
- 署名に電話番号やメールアドレス、URL を入れておくと、ｉモード端末にｉモードメールを送信した場合、相手が Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To 機能を使うことができます。

センター問い合わせの内容を設定する<ｉモード問合せ設定>

お買い上げ時　すべて選択

• お買い上げ時はメール、メッセージ R、メッセージ F のすべてに「☑」が付いています。メール、メッセージ R、メッセージ F の問合せをしない場合は、「□」にしてご利用ください。

1 待受画面で [✉] [6] [4] を押す

2 問い合わせ項目を選択する

ｉモード問合せ設定
☑メール
☑メッセージR
☑メッセージF

• [Menu] を押すと全選択／全解除できます。

3 [📖] を押す

メールを選択して受信できるようにする<メール選択受信設定>

お買い上げ時　OFF

1 **待受画面で ✉ 9 6 を押す**

2 **1 を押す**

■ **メールを選択して受信しないとき**
① 2 を押す

宛先をメールグループに登録する<メールグループ設定>

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、ｉモードメール作成時に簡単な操作で複数の宛先が設定できます。

• メールグループは最大 20 件まで登録できます。1 つのメールグループには、最大 5 件のメールアドレスを登録できます。

1 **待受画面で ✉ 9 8 を押す**

2 **📖 を押す**

■ **メールグループ名を編集するとき**
① 編集するメールグループにカーソルを合わせて Menu 2 を押す

■ **メールグループをコピーするとき**
① コピーするメールグループにカーソルを合わせて Menu 3 を押す

■ **メールグループを 1 件削除するとき**
① 削除するメールグループにカーソルを合わせて Menu 4 1 を押す
②「はい」を選択する

■ **メールグループを全件削除するとき**
① Menu 4 2 を押し、端末暗証番号を入力する
②「はい」を選択する

3 **メールグループ名を入力して 📖 を押す**

メールグループ名が登録されます。

• 続けてメールグループを登録する場合は、📖 を押します。
• 全角で最大 8 文字、半角で最大 16 文字入力できます。

4 **メールアドレスを登録するメールグループを選択する**

■ **メールアドレスを編集するとき**
① 編集するメールアドレス（または名前）にカーソルを合わせて Menu 1 を押す
② メールアドレスを変更して 📖 を押す

■ **メールアドレスを 1 件削除するとき**
① 削除するメールアドレス（または名前）にカーソルを合わせて Menu 2 を押す
②「はい」を選択する

■ メールアドレスの詳細を表示するとき
① Menu 3 を押す
・メールアドレスが電話帳に登録されていない、またはプライバシーモード起動中は、電話帳の名前は表示されません。
② メールアドレスの確認が終わったら ◉ を押す

5 ✉ を押し、各項目を選択して設定する

宛先種別：TO、CC、BCC を設定します。
・TO は通常の宛先です。
・CC は同報の宛先です。他の送信相手にもメールアドレスは表示されます。TO の宛先へのメールを他の相手にも知らせたいときに選択します。
・BCC は同報の宛先です。BCC に設定したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。

アドレス：メールアドレスを設定します。
・半角英数字と一部の記号で最大 50 文字入力できます。

■ 電話帳からメールアドレスを入力するとき
① ◉ を押す ☛P110

6 📖 を押す

・既に電話帳に登録されているメールアドレスは、電話帳で登録している名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスが表示されます。
・他のメールアドレスを追加する場合は、操作 5 から繰り返します。

7 📖 を押す

メールグループにメールアドレスが登録されます。

おしらせ
● 電話帳に登録しているメールアドレスと同じものをメールグループに登録している場合は、電話帳の名前を変更するとメールグループの表示も変更されます。
● 宛先種別に TO が 1 件以上設定されていないと、メールを送信できません。
● メールグループから宛先を入力するには ☛P253

返信時に本文を引用するかどうかを設定する＜メール返信引用設定＞

お買い上げ時　引用：する　引用文字：＞（半角）

ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）に返信する際に、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

1 待受画面で ✉ 9 5 を押す

2 各項目を選択して設定する

引用　：メール返信時に本文を引用するかどうかを設定します。
- [2] を選択したときは、操作 3 に進みます。

引用文字：引用文字を設定します。
- 全角で 1 文字、半角で最大 2 文字入力できます。
- 引用文字も本文の文字数に含まれます。
- 送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

3 [ ] を押す

メール一覧の表示形式を設定する<メール一覧表示設定>

お買い上げ時　2 行表示

「受信メール」、「送信メール」のメール一覧の表示形式を設定します。
- 「未送信メール」「FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）」の表示形式は設定できません。

2 行表示

添付ファイルがある場合に表示されます。

1 行表示

1 待受画面で [✉] [9] [9] [1] を押す

2 [1] または [2] を選択する

添付ファイルを受信するかどうかを設定する<メール受信添付ファイル設定>

お買い上げ時　画像：受信する　メロディ：受信する

ｉモードメールに添付されている静止画、添付メロディを受信するかどうかを設定します。

1 待受画面で [✉] [9] [7] を押す

2 各項目を選択して設定する

画像　：画像を受信するかどうかを設定します。

メロディ：メロディを受信するかどうかを設定します。

3 [ ] を押す

おしらせ

- 受信しない添付ファイルは i モードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。
- メール本文中に貼付された MFi 形式のメロディは、本設定に関わらず受信します。

メロディを自動再生するかどうかを設定する<添付ファイル自動再生設定>

お買い上げ時　自動再生する

メロディが添付されている i モードメールやメッセージ R/F を表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 待受画面で ✉ 9 9 2 を押す

2 1 または 2 を押す

添付ファイル自動再生設定
1 自動再生する
2 自動再生しない

おしらせ

- メロディを自動再生する設定の場合、メロディが添付されている受信メール、送信メール、メールテンプレート、メッセージ R/F を表示すると、メロディが 1 回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番にメロディが再生されます。

表示するメールの種別を選ぶ<表示種別>

お買い上げ時　すべて表示

「受信メール」「送信メール」のメール一覧に表示するメールの種別を選択します。
•「未送信メール」「FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）」の表示種別は選択できません。

例 受信メールの表示種別を選択するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

- 送信メール☛P279

2 Menu 7 2 を押す

つづく

3 1 〜 4 を押す

・送信メールでは「すべて表示」「保護のみ表示」から選択できます。

おしらせ

● 受信メール一覧や送信メール一覧の表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
●「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

メールの文字の大きさを変更する<フォントサイズ>

お買い上げ時　中（標準）

受信メールや送信メール、メールテンプレートなどの内容を表示するときの文字サイズを変更します。
・メール作成時および編集時の文字サイズは変更できません。

大：24ドット　中：20ドット（標準）　小：16ドット

例 受信メールの文字サイズを変更するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

・送信メール ☛P279　・メールテンプレート ☛P264
・FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）☛P316

2 メールを選択して Menu 3 1 を押す

・メールテンプレートを表示しているときは、Menu 4 1 を押します。

3 1 〜 3 を押す

おしらせ

● miniSDメモリーカード内の受信メールや送信メール、未送信メールの詳細表示画面から操作する場合は Menu を押し、「フォントサイズ」を選択します。
● 文字サイズを変更すると、次に受信メール、送信メール、メールテンプレート、miniSDメモリーカード内のメールを表示するときも同じ文字サイズで表示されます。

※ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

メール着信時の動作を設定する＜メール着信設定＞

お買い上げ時　着信音選択：メロディ／パターン１　着信イルミネーション設定：パターン８
バイブレータ設定：OFF　鳴動時間（秒）：10

ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を受信したときの動作を設定します。

1 待受画面で ✉ 9 1 を押す

2 各項目を選択して設定する

着信音選択　：着信音の鳴動を設定します。また、着信音はメロディまたは着モーションから設定できます。

着信イルミネーション設定
：マルチイルミネーションランプの点滅パターンを設定します。

バイブレータ設定
：バイブレータの動作パターンを設定します。

鳴動時間（秒）：着信音が鳴動している時間を１～30秒の間で設定します。

3 📖 を押す

おしらせ

- 電話帳でメール着信設定をしている相手からのメールを受信した場合は、電話帳の設定で動作します。☛P106
- メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定でメロディ連動に設定しても連動しないことがあります。

メール受信通知を設定する＜受信表示設定＞

お買い上げ時　通知優先

ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fを受信したときの受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で ✉ 9 9 3 を押す

2 1 または 2 を押す

受信表示設定
1 操作優先
2 通知優先

操作優先　：ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fを受信しても、受信中画面および受信結果画面を表示しません。

通知優先　：ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fを受信したときは、受信中画面および受信結果画面を表示します。

おしらせ

- 「通知優先」に設定していても、カメラ起動中、ｉアプリ起動中、ストリーミングタイプのｉモーション再生中、アラーム鳴動中などは受信中画面および受信結果画面は表示されません。
- 次のときは、ｉモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージ R/F を自動受信しますが、「操作優先」に設定していると受信中画面や受信結果画面が表示されず、着信音／マルチイルミネーションランプも動作しません。
  - 待受中以外のとき（他の機能が起動中）
  - オールロック中
  - ドライブモード中
  - PIM ロック中
  - カメラ起動中
  - アラーム鳴動中
  - ｉアプリ待受画面のソフト起動中
- 本機能の設定に関わらず、音声電話通話中やデータ通信中にｉモードメールやショートメッセージ（SMS）、メッセージR/Fを受信した場合は受信中および受信結果画面は表示されません。

チャットメール作成・送信

チャットメールを作成して送信する

複数の相手と会話をするような感覚でメールをやりとりします。メールのやりとりは 1 つの画面で確認できます。

- あらかじめ相手のメールアドレスをメンバーリストに登録しておく必要があります。
- メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、または受信／送信メールの保存領域に空きがない場合はチャットメールを利用できません。
- チャットメール非対応端末にチャットメールを送信した場合、相手の端末には「チャットメール」（半角または全角）の題名が付いたメールとして受信されます。

チャットメール画面の見かた

メール

受信した日付または時刻

① **送受信履歴**

でチャットメールの送受信履歴をスクロールします。

- 送受信履歴が一画面内に表示しきれない場合は、チャットメール画面で Menu 5 1 を押すと先頭行に移動し、Menu 5 2 を押すと最終行に移動して表示されます。

② **詳細表示欄**

最新またはカーソルを合わせたチャットメールの詳細を表示します。チャットメールの表示可能文字数は全角で最大 250 文字、半角で最大 500 文字です。

左右の欄下に◀▶が表示されているときは、 でページを切り替えます。

- マークの意味は次のとおりです。

  ：メンバーリストに未登録の同報アドレスがある。

③ **本文入力欄**

入力した文字を表示する欄です。

チャットメンバーを登録する<チャットメンバー設定>

・チャットメンバーに登録できるのは、最大5件です。

1 待受画面で ✉ 3 を押す

メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

・メンバーが既に登録されている場合は、チャットメール画面が表示されます。メンバーを追加登録するときは、Menu 7 を押して操作3に進みます。

2 「はい」を選択する

3 ✉ を押す

4 アドレス欄を選択してメールアドレスを入力する

メンバー編集
アドレス
ニックネーム
文字色

・半角で最大50文字入力できます。☛P250

■ 電話帳から検索するとき

① 📖 を押す

② 電話帳から検索してメールアドレスを入力する

・ｉモード端末のメールアドレスをチャットメンバーに登録する際は、「@docomo.ne.jp」を省略せずにメールアドレスを登録してください。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は「@docomo.ne.jp」を省略して入力してください。

・メンバーに登録する相手がシークレットコードを登録している場合は、電話帳に相手のメールアドレスを登録してからシークレットコードを設定し、相手の携帯電話番号のみをメンバーに登録します。

5 ニックネーム欄を選択してニックネームを入力する

・全角で最大4文字、半角で最大8文字入力できます。

・ニックネームを指定しなかった場合は、チャットメール画面では、メールアドレスの@より前の部分の先頭から8文字が表示されます。

6 文字色欄を選択して文字色を選択する

・文字色は、青、赤、緑、オレンジ、黒の順に、登録済みのチャットメンバーに使用していない色から表示されます。

・チャットメール画面で表示されるニックネームも選択した色で表示されます。

7 📖 を押す

・他のメンバーを追加登録する場合は ✉ を押して、操作4～7を繰り返します。

8 📖 を押す

メンバーが登録されます。

おしらせ

● 受信メール一覧、本文のサブメニュー、同報アドレス一覧から新たにメンバー登録をすると、アドレス欄に指定したアドレスが入力された状態でメンバー編集画面が表示されます。☛P309
● プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。

チャットメールを作成して送信する

・チャットメール送信時は、登録したメンバー全員に送る設定になっています。送信画面でメンバーを選択することもできますが、チャットメールを終了したり、メンバーの登録内容を変更したりすると、設定は元に戻ります。
・送信したチャットメールは、ｉモードメールの「送信 BOX」に保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

1 待受画面で [✉][3] を押す

・メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 本文入力欄を選択し、本文を入力する

・全角で最大 250 文字、半角で最大 500 文字入力できます。
・スライド編集設定でチャットメールを「ON」に設定している場合、チャットメール画面で FOMA 端末を開くと本文を入力できます。

■ チャットメール画面の履歴から本文をコピーして貼り付けるとき

① **チャットメール画面でコピーしたい本文のあるチャットメールにカーソルを合わせて [Menu][6] を押し、範囲を指定する**
・範囲の指定方法☛P521
② **本文入力欄を選択し、[Menu][3] を押す**
・本文の貼り付け方法☛P521

■ 受信したメールの同報アドレス全員に返信するとき

① **[Menu][2][2] を押す**

3 [Menu][3] を押し、宛先を選択する

宛先選択 1/1
☑たろう >
docomotaro@△△.□□□.co.
☑青木 >
青木一郎

・[◉] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。

4 [📖] を押す

5 [📖] を押す

・正常に送信されると、送信されたチャットメールはチャットメール画面に表示されます。

メール

おしらせ

● チャットメールは、以下の画面からでも操作できます。
- 受信メールの一覧表示中に Menu 7 5 を押す
- 送信メールの一覧表示中に Menu 7 4 を押す
- 受信メールの本文表示中に Menu 3 3 を押す
- 送信メールの本文表示中に Menu 3 3 を押す

● 送信に失敗したり、チャットメール終了時に未送信だったチャットメールは「未送信BOX」に保存されます。「未送信BOX」にはチャットメールは1件のみ保存できます。さらに送信に失敗すると、「未送信BOX」に保存されているチャットメールは上書きされます。また、「未送信BOX」に保存されているチャットメールは、チャットメール起動時に本文入力欄に表示されます。再送信する場合は、チャットメールから送信してください。

● ｉ モードメールまたはメッセージ R/F の受信中は、チャットメールを送信できません。受信中に送信したチャットメールは、自動的に 3 回まで送信が試行されます。

● プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定している場合）にチャットメールを起動する場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。

チャットメールを受信する＜チャットメール受信＞

チャットメールを受信したときは、画面表示や着信音、バイブレータ、マルチイルミネーションランプでお知らせします。

チャットメールを起動しているとき

チャットメンバーに登録している相手から、題名が「チャットメール」（全角・半角を問わず）のメールを受信した場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが追加表示されます。

- チャットメンバーに登録していない相手からチャットメールが送信されてきた場合は「受信BOX」に保存されるため、次の「チャットメールを起動していないとき」の操作に従ってチャットメール画面に取り込んでください。

チャットメールを起動していないとき

チャットメールは ｉ モードメールとして「受信 BOX」に保存されます。

- メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

1 受信メール一覧（☛P279）でチャットメール画面に取り込む受信メールにカーソルを合わせて Menu 7 5 を押す

- 受信メール詳細表示画面から操作する場合は Menu 3 3 を押します。
- 取り込むメールの送信元アドレスがチャットメンバーに登録されていない場合は、送信者アドレスを登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択してメンバー登録をしてください。☛P305

ｉ モードセンターに保管されているチャットメールを受信するとき

1 チャットメール画面で Menu 1 を押す

チャットメールがある場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが追加表示されます。

おしらせ

- イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、未読のチャットメールがある間はマルチイルミネーションランプが点滅します。
- チャットメールを起動していないとき、チャットメンバーに登録している相手からチャットメールを受信した場合は、チャットメール起動時にチャットメール画面に取り込まれます。
- ｉモード問合せでチャットメールを受信すると、同時にｉモードメールも受信されます。
- チャットメールにｉモードメールとして返信するときは、ｉモードメールと同じ操作で返信します。☛P272
- チャットメールの本文中に電話番号やメールアドレス、URLが含まれていても、Phone To(AV Phone To)、Mail To、Web Toは行えず、ｉアプリToの機能も使用できません。チャットメールを削除せずに終了し、受信メールからチャットメールを表示すると、これらの機能が使用できます。
- 受信BOXからチャットメールを削除した場合は、チャットメール画面のニックネームが「--------」、日付または時刻が「--／--」、本文が「削除されました」と表示されます。
- チャットメール画面で受信したチャットメールは、受信BOXにおいて既読となります。
- メール連動型ｉアプリからメールを送受信した場合、チャットメールとして受信した場合はチャットメール画面に表示されます。

同報アドレスを表示する

受信したメールに同報がある場合は、同報アドレスを表示して確認できます。

1 チャットメール画面で同報アドレスを確認したいメールにカーソルを合わせて Menu 4 を押す

- メンバー登録されていない送信者名はニックネームの代わりに「未登録」と表示されますが、メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、メールアドレスの代わりに名前が表示されます。表示された名前のメールアドレスを確認する場合は ◉ を押します。

■ **未登録の送信者をチャットメンバーとして登録するとき**

① 📖 **を押す**

■ **同報アドレスをコピーするとき**

① Menu 2 **を押す**

チャットメールの履歴をすべて削除する

チャットメール画面に表示されているすべてのチャットメールの履歴を削除します。

- 受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、メールが保護されている場合は削除されません。

1 チャットメール画面で Menu 9 を押す

2 「はい」を選択する

チャットメンバーを編集する

チャットメンバーの登録内容の変更や、メンバーを追加または削除します。メンバー全員の登録内容の詳細を確認したり、メンバーを入れ替えたりすることもできます。

1 待受画面で ✉ 3 を押す

・メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 Menu 7 を押す

3 編集するメンバーにカーソルを合わせて Menu 1 を押す

■ **チャットメンバーを 1 件削除するとき**

① **削除するメンバーにカーソルを合わせて Menu 2 を押す**

② **「はい」を選択する**

■ **チャットメンバーの詳細を表示するとき**

① **詳細を表示するメンバーを選択する**

・メンバー全員の詳細をまとめて確認するときは Menu 3 を押します。

② **詳細の確認が終わったら ◉ を押す**

■ **チャットメンバーを追加するとき**

① **Menu 4 を押す**

・チャットメンバー設定方法☛P305

■ **チャットメールのメンバー全件を別のメールグループと入れ替えるとき**

① **Menu 5 を押す**

② **入れ替えるメールグループを選択し、「はい」を選択する**

チャットメールのメンバーが、選択したメールグループに登録されているメンバーと入れ替わります。

4 📖 を押す

個人情報を設定する

チャットメール画面に表示する自分のニックネームとその文字色を設定します。

1 待受画面で ✉ 3 を押す

2 Menu 8 を押す

3 ニックネーム欄を選択してニックネームを入力する

・全角で最大 4 文字、半角で最大 8 文字入力できます。
・ニックネームを指定しなかった場合、チャットメール画面では「自分」と表示されます。

4 文字色欄を選択して文字色を選択する

5 📖 を押す

チャットメールを終了する

1 チャットメール画面で PWR または クリア を押す

2 「いいえ」を選択する

チャットメールが終了します。次回のチャットメール起動時に、前回のチャットメールが表示されます。

- 「はい」を選択すると、チャットメールがすべて削除されます。この場合、受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、メールが保護されている場合は削除されません。

おしらせ

- 未送信、作成中のチャットメールがあるときは、未送信 BOX に保存され、次回のチャットメール起動時に前回の未送信、作成中のチャットメールが表示されます。ただし、メールの保存領域の空きが足りないときは、チャットメールは保存できません。

チャットメール着信時の設定を行う<チャットメール着信設定>

お買い上げ時　着信動作設定：メール着信動作に従う

1 待受画面で ✉ 9 2 を押す

2 各項目を選択して設定する

着信動作設定　：着信時の動作を設定するか､メールの着信動作に従うようにするかを設定します。
- 「設定する」に設定すると、以下の項目が設定できます。

着信音選択　：着信音を鳴らすかどうかと、着信音を鳴らすときのメロディまたは着モーションを設定します。

着信イルミネーション設定
：マルチイルミネーションランプの点滅パターンを設定します。

バイブレータ設定：バイブレータの動作を設定します。

鳴動時間（秒）　：着信音が鳴る時間を 1 ～ 30 秒の間で設定します。

3 📖 を押す

おしらせ

- 同時に複数のメールを受信した場合に本設定どおりの動作となるのは、チャットメールを最後に受信したときのみです。

ショートメッセージ（SMS）を作成して送信する

ショートメッセージ（SMS）を作成して送信します。送信せずに保存することもできます。
- 半角カタカナや絵文字を使うと受信側で正しく表示されない場合があります。
- 未送信メールは最大 200 件保存できます。
- ドコモ以外の海外事業者のお客様との間でも、送受信を行うことができるようになります。サービス開始時期および利用可能な海外事業者についてはドコモのホームページでお知らせします。

例 宛先を直接入力してショートメッセージ（SMS）を作成・送信するとき

1 待受画面で ✉ 7 1 を押し、✉To 欄を選択する

メッセージ作成<新規>
✉To
Text
70文字

メッセージ作成<新規>
✉To
入力方法を選択してください
電話帳参照
直接入力
70文字

2「直接入力」を選択し、宛先を入力する

- 宛先が電話帳に登録されている場合は、✉To 欄に電話帳の名前が表示されます。
- 宛先がドコモ以外の海外事業者の場合は、「＋」（0 を 1 秒以上押す）「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

■ 電話帳から検索するとき

①「電話帳参照」を選択する

② 電話帳を検索して電話番号を入力する

相手の FOMA 端末の電話番号を入力します。

3 Text を選択し、本文を入力する

- SMS 設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、全角・半角を問わず最大 70 文字入力できます。
- SMS 設定で送信文字種を「英語」に設定した場合は、半角の英数字と記号（｀。「」、・゛゜を除く）で最大 160 文字入力できます。
- 文中で改行できます。かな入力方式の場合、改行するときは # を押します。改行も本文の文字数に含まれます。

■ 署名を挿入するとき

① Menu 4 を押す

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。☛P297
- 署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

4 📖 を押す

■ ショートメッセージ（SMS）を送信せずに保存するとき

① Menu 2 を押す

- 宛先、本文のいずれも入力されていない場合は保存できません。
- 未送信メールは最大 200 件保存できます。
- 保存したショートメッセージ（SMS）を再編集して送信できます。☛P266

おしらせ

- 本文入力時に定型文を利用して顔文字やあいさつ、返事などを入力できます。☛P518
- 文字の装飾はできません。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。また、送達通知、有効期間の設定はショートメッセージ（SMS）の作成開始後に変更することもできます。
- 一部の絵文字（☛P539）は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ショートメッセージ（SMS）が「未送信メール」に保存されます。「未送信メール」からショートメッセージ（SMS）を編集・送信できます。☛P266
- 送信が正常に終了したときは、ショートメッセージ（SMS）が「送信メール」に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、一番古い送信メールに上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。☛P288
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合（☛P315）、ショートメッセージ（SMS）が相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信メール」に保存されます。
- 発信者番号通知が「通知しない」に設定されていても、ショートメッセージ（SMS）送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- 本文入力時に、改行が含まれている定型文を挿入すると、改行は半角スペースに置き換わります。
- 送信する文字種により送信できない文字があります。☛P248
- SMS設定で送信文字種を「英語」に設定した場合、署名は挿入できません。
- 送信文字種が英語の場合、一部の記号（| ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなるため、最大文字数以下の文字数でも送信できない場合があります。この場合は、入力文字を少なくして送信し直してください。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、ショートメッセージ（SMS）を作成できません。「未送信メール」から不要なｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）を削除してください。☛P289
- メモリ番号0～99の電話帳に登録されている相手には簡単にショートメッセージ（SMS）を作成・送信できます（クイックメール）。☛P267
- 受信、送信、未送信のショートメッセージ（SMS）一覧／詳細表示画面の見かた☛P281

ショートメッセージ（SMS）を受信したときは

ショートメッセージ（SMS）が送られてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、マルチイルミネーションランプでお知らせします。受信したショートメッセージ（SMS）は「受信メール」に保存されます。

1 ショートメッセージ（SMS）を受信する

受信中は点滅します。

メッセージ受信中…

受信完了

：未読のショートメッセージ（SMS）があります。

：未読のショートメッセージ（SMS）と i モードメールがあります。

受信したショートメッセージ（SMS）の件数が表示されます。

が点滅し、「メッセージ受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、マルチイルミネーションランプが点滅して受信結果画面が表示されます。

- メッセージ受信中に PWR を押すと受信を中止します。
- 受信結果画面が表示されてから約 15 秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間何も操作しないでいると、自動的に受信前の画面に戻ります。早く受信前の画面に戻したいときは クリア を押します。

■ **受信したショートメッセージ（SMS）をすぐに読むとき**

① **受信結果画面で ● または 1 を押す**

- 受信したショートメッセージ（SMS）に返信（☛P272）したり、他の宛先に転送（☛P273）したりできます。
  操作方法は i モードメールの場合と同様です。ただし、発信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」が表示される受信ショートメッセージ（SMS）には返信できません。

■ **受信に失敗したとき**

「メール」の後ろに「×」が表示されます。

おしらせ

- 受信表示設定によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。☛P303
- イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、未読のショートメッセージ（SMS）がある間はマルチイルミネーションランプが点滅します。
- FOMA 端末でショートメッセージ（SMS）を受信すると、ショートメッセージセンターに保管されているショートメッセージ（SMS）は削除されます。
- mova 端末から送信したショートメールは、FOMA 端末ではショートメッセージ（SMS）として受信します。
- FOMA 端末内の電話帳に、メール着信設定のある相手からショートメッセージ（SMS）を受信した場合は、その設定に従って動作します。電話帳との照合は次のように行われます。
  - 複数のショートメッセージ（SMS）を同時に受信したときは、最後に受信したショートメッセージ（SMS）に設定されている条件に従いメール着信音や着信バイブレータ、マルチイルミネーションランプが動作します。
  - シークレット属性を設定した電話帳データに電話番号が登録されている場合は、シークレットモード中だけ有効です。
  - プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、登録されている相手の名前は表示されず、登録されている着信音やバイブレータなども動作しません。
- ｉモードメール、メッセージ R/F 受信中は、ショートメッセージ（SMS）を自動受信しません。また、ｉモードメール、メッセージR/Fの受信完了後も自動受信はされません。SMS問合せを行ってください。
- 途中で受信に失敗した場合などにショートメッセージ（SMS）を受信し直すには、SMS 問合せを行ってください。ただし、受信メールが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読メールの内容表示（☛P279）、不要メールの削除（☛P289）、保護解除（☛P288）などを行う必要があります。
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、一番古い受信メールに上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。☛P288
  - 未読メールと保護されているメールが満杯で上書きできないときは、ショートメッセージ（SMS）の受信は中止され、画面には や のマークが表示されます。☛P26
  - FOMA カードにショートメッセージ（SMS）が最大件数（20 件）保存されているときは、「受信メール」に空きがあっても、ショートメッセージ（SMS）を受信できないことがあります。このとき、画面には や のマークが表示されます（☛P26）。FOMA 端末に移動するか、FOMA カードのショートメッセージ（SMS）を削除してください。☛P317、P318
- 他社携帯電話から、受信したショートメッセージ（SMS）が直接 FOMA カードへの保存を指定している場合は、直接 FOMA カードに保存されます。ただし、FOMA カード内の送受信したショートメッセージ（SMS）が 20 件に達している場合は、ショートメッセージ（SMS）を受信できません。不要なショートメッセージ（SMS）を削除してから再度、SMS 問合せを行ってください。

SMS 問合せ

ショートメッセージ（SMS）があるかどうかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間にショートメッセージ（SMS）が届いていないかを問い合わせます。

・電波状態によっては SMS 問合せができない場合がありますのでご了承ください。

1 待受画面で ✉ 6 2 を押す

ショートメッセージセンターにショートメッセージ（SMS）が保管されていれば受信します。

おしらせ

- SMS 問合せを行っても、受信するまでに時間がかかる場合があります。

SMS 設定

ショートメッセージ（SMS）の設定を行う

お買い上げ時　送信文字種：日本語　送達通知：要求しない　有効期間：3 日
SMSC：ドコモ　Type of Number：international

通常は SMSC、アドレス、Type of Number の設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で [メール] [7] [4] を押す

2 各項目を選択して設定する

送信文字種：日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。☛P248

送達通知：ショートメッセージ（SMS）を送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

有効期間：送信したショートメッセージ（SMS）を相手が受け取れないときに、ショートメッセージセンターで保管する期間を選択します。

SMSC：ドコモ以外の SMS サービスを受ける場合に設定します。
- 「その他」に設定したときは、アドレス欄を選択し、アドレスを入力します。半角で最大 20 文字入力できます。

Type of Number
：「international」「unknown」のいずれかを設定します。

3 [□] を押す

おしらせ

- メッセージ作成画面から操作する場合は [Menu] を押し、「SMS 設定」を選択します。この場合には、「送達通知」「有効期間」のみ設定できます。また、メッセージ作成画面のサブメニューから設定した場合は、作成中のショートメッセージ（SMS）にだけ有効です。
- ショートメッセージ（SMS）一括拒否／非通知ショートメッセージ（SMS）拒否を設定することができます。☛P244

FOMA カード保存 SMS

ショートメッセージ（SMS）を FOMA カードに保存する

送受信したショートメッセージ（SMS）を、FOMA 端末から移動またはコピーして FOMA カードに保存します。

ショートメッセージ（SMS）を FOMA カードに移動／コピーする

- FOMA カードには、送受信したショートメッセージ（SMS）を合わせて最大 20 件保存できます。
- 送達通知の件数は保存可能件数の 20 件には含まれません。
- 未送信メールのショートメッセージ（SMS）は、FOMA カードに保存できません。
- 送信ショートメッセージ（SMS）を移動／コピーすると、対応する送達通知が同時に FOMA カードの「受信メール」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

つづく

例 受信ショートメッセージ（SMS）をFOMAカードに1件移動するとき

1 **待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する**

・送信ショートメッセージ（SMS）☛P279

2 **移動するショートメッセージ（SMS）にカーソルを合わせて Menu 4 2 1 を押す**

■ **ショートメッセージ（SMS）を複数選択して移動するとき**

① **Menu 4 2 2 を押し、ショートメッセージ（SMS）を選択する**

・ ◉ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② **📖 を押す**

■ **ショートメッセージ（SMS）を1件コピーするとき**

① **コピーするショートメッセージ（SMS）にカーソルを合わせて Menu 4 3 1 を押す**

■ **ショートメッセージ（SMS）を複数選択してコピーするとき**

① **Menu 4 3 2 を押し、ショートメッセージ（SMS）を選択する**

・ ◉ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② **📖 を押す**

3 **「はい」を選択する**

おしらせ

● 受信メール詳細表示画面、送信メール詳細表示画面から操作する場合は Menu を押し、「移動／コピー」→「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」を選択します。

● FOMAカードにショートメッセージ（SMS）が20件保存されているときは移動／コピーできません。FOMAカードから不要なショートメッセージ（SMS）を削除してください。☛P318

メール

FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）を表示する

例 受信ショートメッセージ（SMS）を表示するとき

1 **待受画面で ✉ 7 2 を押す**

FOMA受信SMS　1/1
12:34 090XXXXXXXX
こんにちは。
04/14 090XXXXXXXX
こんにちは。
04/14 SMS Center
SMS送達通知

FOMA受信SMS一覧画面では、ショートメッセージ（SMS）は2行で表示されます。1行目には受信日時と発信元または宛先が表示され、2行目には本文の先頭または「SMS送達通知」が表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

✉ ：未読（返信可）　　✉ ：未読（返信不可）

なし：既読（返信可）　　✉ ：既読（返信不可）

✉ ：送達通知

・一覧の既読／未読のマークは、FOMAカード内のショートメッセージ（SMS）を表示したかどうかを示します。移動／コピー前の未読／既読の状態も引き継がれます。

・受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

・送信ショートメッセージ（SMS）を表示するときは ✉ 7 3 を押します。

2 ショートメッセージ（SMS）を選択する

FOMA カード内の受信 SMS 詳細表示画面では、上部にページ番号／総ページ数が表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。
  - ① マーク
    - ：受信（返信可）　：既読（返信不可）
    - ：送信　：送達通知
    - ：FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）
  - ② マーク
    - ：日時
    - ：宛先　：発信元　：発信元（返信不可）
    - ：題名「受信 SMS」「送信 SMS」「SMS 送達通知」
- 送達通知の詳細表示画面には、宛先が表示されます。発信元は「SMS Center」と表示されます。
- 送信ショートメッセージ（SMS）を FOMA カードに移動／コピーした場合、FOMA カード内の送信ショートメッセージ（SMS）から送信日時のデータが消去されます。

おしらせ

- FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）からも、受信ショートメッセージ（SMS）の返信／転送、送信ショートメッセージ（SMS）の再送信、文字サイズの変更、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は受信ショートメッセージ（SMS）、送信ショートメッセージ（SMS）と同じです。
- FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）から返信／転送、再送信などを行った場合の送信済みメールは、FOMA 端末の送信メールに保存されます。
- プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）に、FOMA カード内の受信ショートメッセージ（SMS）、送信ショートメッセージ（SMS）を表示するには、端末暗証番号の入力が必要になります。

FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）を FOMA 端末に移動／コピーする

FOMA カードに保存されているショートメッセージ（SMS）を、FOMA 端末の「受信メール」、「送信メール」に移動またはコピーします。

- 送信ショートメッセージ（SMS）を移動／コピーすると、対応する送達通知が同時に「受信メール」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

例 受信ショートメッセージ（SMS）を FOMA 端末に 1 件移動するとき

1 待受画面で ✉ 7 2 を押す

■ **送信ショートメッセージ（SMS）を移動／コピーするとき**

① ✉ 7 3 **を押す**

2 移動するショートメッセージ（SMS）にカーソルを合わせて Menu 3 1 を押す

■ **ショートメッセージ（SMS）を複数選択して移動するとき**

① Menu 3 2 **を押し、ショートメッセージ（SMS）を選択する**

- ● で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② 📖 **を押す**

■ **ショートメッセージ（SMS）を 1 件コピーするとき**

① **コピーするショートメッセージ（SMS）にカーソルを合わせて** Menu 3 3 **を押す**

つづく

■ ショートメッセージ（SMS）を複数選択してコピーするとき

① [Menu][3][4] を押し、ショートメッセージ（SMS）を選択する

• [●] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。

② [□] を押す

3 [●] を押す

4 移動先フォルダを選択し、「はい」を選択する

おしらせ

● FOMA カードのショートメッセージ（SMS）の詳細表示画面から操作する場合は [Menu] を押し、「移動／コピー」→「本体メモリへ移動」「本体メモリへコピー」を選択します。

● 受信メールまたは送信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていないショートメッセージ（SMS）や i モードメールがあっても上書きされません。

FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）を削除する

• 送信ショートメッセージ（SMS）を削除した場合、対応する送達通知が FOMA カード内にある場合は、同時に削除されます。

例 FOMA カード内の受信ショートメッセージ（SMS）を 1 件削除するとき

1 待受画面で [✉][7][2] を押す

■ 送信ショートメッセージ（SMS）を削除するとき

① [✉][7][3] を押す

2 削除するショートメッセージ（SMS）にカーソルを合わせて [Menu][2][1] を押す

■ ショートメッセージ（SMS）を複数選択して削除するとき

① [Menu][2][2] を押し、ショートメッセージ（SMS）を選択する

• [●] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。

② [□] を押す

■ ショートメッセージ（SMS）を全件削除するとき

① [Menu][2][3] を押す

② 端末暗証番号を入力する

■ 送達通知を全件削除するとき

① [Menu][2][4] を押す

② 端末暗証番号を入力する

3 「はい」を選択する

おしらせ

● ショートメッセージ（SMS）の詳細表示画面から操作する場合は Menu を押し、「削除」を選択します。

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応 FOMA 端末（以下、ｉモード端末）を便利に活用いただけます。たとえば、ｉモード端末にいろいろなゲームを取り込んで楽しんだり、株価情報のｉアプリを取り込むことにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけを取り込むため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得など「マイピクチャ」と連動できるｉアプリもあります。

ｉモード端末　　ｉモードセンター　　ＩＰ（情報サービス提供者）

ダウンロード

ｉアプリ

ゲーム、株価情報、etc.

・ｉアプリをダウンロードする☛P324
・ｉアプリを自動起動する☛P336
・ｉアプリを起動する☛P326

おしらせ

● ソフトによってはｉモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
● ソフトによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。☛P329

登録データを利用する

ｉアプリのソフトには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

・電話帳登録
・アイコン情報利用
・ブックマーク登録
・スケジュール登録
・マイピクチャからの画像取得
・マイピクチャへの画像保存
・ｉモーションへの動画保存

おしらせ

● ｉアプリにより画像・動画が保存される場合は、それぞれマイピクチャの「ｉモード」、「デコメールピクチャ」、ｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。
● プライバシーモード起動中（電話帳・履歴、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、ソフトによっては利用できない場合があります。

ｉアプリ DX とは

ｉアプリ DX では、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

登録データを利用する

ｉアプリ DX のソフトでは、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- ｉモードメール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音変更（電話、メール、メッセージ R/F）
- マイピクチャからの画像取得
- マイピクチャへの画像保存
- ｉモーションへの動画保存
- メロディへの着信音保存
- 画像設定の変更（待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージ R/F 受信）

おしらせ

- ｉアプリ DX では、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- プライバシーモード起動中（電話帳・履歴、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、ソフトによっては利用できない場合があります。
- ｉアプリ DX により画像・動画・着信音が保存される場合は、それぞれマイピクチャ・ｉモーション・メロディの「ｉモード」フォルダに保存されます。
- ｉアプリ DX を起動するには日付・時刻の設定が必要です。☛P46

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリはｉアプリ DX の一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

メール連動型ｉアプリの注意点

- メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに、メール連動型ｉアプリのメールフォルダが 5 個ある場合はソフトをダウンロードできません。その場合は、メール連動型ｉアプリのメールフォルダを削除してからダウンロードしてください。☛P341
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、既にソフト一覧にある場合はダウンロードできません。
- プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、メール連動型ｉアプリの再ダウンロード、バージョンアップに制限があります。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合は、送信メール・受信メール・未送信メールのフォルダ一覧にそのメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が付き、変更できません。
- メール連動型ｉアプリをダウンロードしたときに、既にそのソフトに対応したメールを受信している場合は、自動的に作成されたフォルダにそのメールを振り分けることができます。☛P325
- メール連動型ｉアプリで利用されるメールは、正しく表示できない場合があります。

こんなこともできます

■ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。☛P338

- ｉアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■ ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。☛P336

■ カメラ撮影

ソフトからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。☛P345

・カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■ 赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使いかたができます。☛P345

・赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
・相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ 赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。☛P415

・赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

ソフトをダウンロードする

サイトからソフトをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

・FOMA端末には最大100件のソフトを保存できます。
・同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、既にFOMA端末に保存されている場合はダウンロードできません。ただし、ソフトが新しくなった場合はバージョンアップできます。
・電波状況などによりソフトのダウンロードに失敗した場合、そのソフトはFOMA端末に保存されません。

1 ダウンロードしたいソフトのあるサイトを表示し、ソフトを選択する

選択したソフトがダウンロードされます。

・ダウンロードを中止するには Ⓒ を押してから、「はい」を選択します。

■ ソフト情報表示設定を「ON」に設定しているとき

ソフトの情報が表示されます。「はい」を選択すると、ソフトがダウンロードされます。

・ 📖 を押すと、ダウンロードするソフトの詳細情報を確認できます。

■ 選択したソフトが既に異なるFOMAカードでダウンロードされているとき

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ダウンロードしたソフトが上書きされます。

■ 選択したソフトが既にダウンロードされているとき

「ダウンロード済みです」と表示されます。ソフトのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとソフトがダウンロード（バージョンアップ）されます。

■ 登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用するソフトをダウンロードするとき

ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとソフトがダウンロードされます。

・ 📖 を押すと、そのソフトが利用するデータの詳細を確認できます。ただし、ソフトによっては確認できません。

2 ソフトを保存するフォルダを選択する

3 ダウンロードしたソフトの動作を設定して［📖］を押す

▯アプリ待受画面：ｉ アプリ待受画面に対応しているソフトをｉ アプリ待受画面に設定するかどうかを選択します。
通信設定：ソフトに通信させるかどうかを設定します。
アイコン情報：ソフトにメールや電池残量などの各種アイコンを利用させるかどうかを設定します。

- ソフトによっては設定できない項目があったり、動作の設定画面が表示されないことがあります。

4 「はい」を選択する

ダウンロードしたソフトが起動します。
- 「いいえ」を選択すると、サイト画面に戻ります。

おしらせ

● プライバシーモード起動中（ｉ アプリを「認証後に表示」に設定している場合）にソフトをダウンロードする場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。
● ソフトの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って保存可能な空き領域が確保できるまで FOMA 端末に保存されているソフトを削除してください。ただし、ダウンロードに失敗した場合でも、削除したソフトは元に戻りません。

メール連動型 ｉ アプリのダウンロードについて

メール連動型 ｉ アプリをダウンロードすると、送信メール・受信メール・未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉ アプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型 ｉ アプリ名が設定されます。

おしらせ

● メール連動型 ｉ アプリ用フォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉ アプリを再度ダウンロードしようとすると、既にあるメールフォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メール連動型 ｉ アプリがダウンロードされます。メールフォルダを利用しない場合は、メールフォルダを削除してからメール連動型 ｉ アプリをダウンロードしてください。
ただし、プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、メール連動型ｉ アプリの再ダウンロードやバージョンアップはできません。再ダウンロードやバージョンアップなどの操作を行う場合は、プライバシーモードを解除してから行ってください。
● ダウンロードするメール連動型 ｉ アプリに対応した受信メールが既に FOMA 端末に保存されている場合、ダウンロード時に自動的に作成されたフォルダに受信メールを移動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、受信メールが振り分けられます。ただし、プライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、振り分けることはできません。

ダウンロード時にソフトの情報を見る<ソフト情報表示設定>

お買い上げ時　OFF

ソフトをダウンロードするときに、ソフトの情報を表示するかどうかを設定します。

1 待受画面で Menu 3 2 3 を押す

2 1 を押す

■ **ソフト情報を表示しないとき**
① 2 を押す

ソフトを起動する

1 待受画面で ◎ を 1 秒以上押す

■ **ツータッチ ｉ アプリのみ表示するとき**
① **待受画面で Menu 3 2 6 を押す**
ツータッチ ｉ アプリ一覧が表示されます。操作 3 に進みます。

2 フォルダを選択する

アプリ フォルダ一覧 1/1
ゲーム3
ゲーム2
ゲーム1
マイフォルダ

・マークの意味は次のとおりです。
　：ソフトなし
　：ソフトあり

3 起動するソフトを選択する

・マークの意味は次のとおりです。
① ：通常のソフト ：ｉアプリ DX のソフト
　：メール連動型ｉアプリのソフト
② ：ｉアプリ待受画面に設定できるソフト
　：ｉアプリ待受画面に設定中のソフト
③ ：自動起動設定されているソフト
　：ｉアプリ制御によって停止状態のソフト
④ 0～9：ツータッチ登録されているソフト
⑤ ：SSL ページからダウンロードしたソフト
　：保護されているソフト
　：SSL ページからダウンロードした保護されているソフト
⑥ ：ワンタッチボタンに登録されているソフト
・ソフトによってはイージーセレクタープラスが４方向または８方向に有効になります。
・ソフトの起動を中止するには を押してから「終了する」を選択します。

■ **通信するソフトのとき**
起動するソフトの通信設定を「起動ごとに確認」に設定している場合は、通信するかどうかの確認画面が表示されます。
・通信設定について ☛P329

ソフトを終了するには

ソフトごとに設定されている方法で終了してください。
・ を押してから「終了する」を選択してもソフトを終了できます。

おしらせ

● 次のような場合、起動中のソフトは中断されます。中断したソフトは自動的に再開されますが、ソフトによっては、中断したときの状態に戻る場合と戻らない場合があります。
・電話がかかってきたとき
・スケジュールアラームや、アラーム設定の設定時刻になったとき
・ を押して他の機能に切り替えたとき
なお、通話中やアラーム中に を押してｉアプリの画面に切り替えると、通話中やアラーム中のままｉアプリを再開できます。☛P424
● 指定した別のソフトを起動できるソフトを利用すると、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。ただし、起動するソフトが設定されていない場合は、ソフトを選択する必要があります。また、起動するソフトが設定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。
● 圏外で通信できなかったり、登録データが使用できない場合、ソフトによっては起動しなかったり、正常に動作しないことがあります。
● プライバシーモード起動中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）にソフトを起動する場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。
● ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどが、自動的にインターネットを経由して、サーバに送信される可能性があります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、ｉアプリがサイトやインターネットから取得した画像、ｉアプリがデータ BOX から取得した画像などです。
● 3D ポリゴン※エンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
※：多角形（三角形や四角形など）を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。

● ｉアプリ作成者の方へ
ソフトを作成中、正常動作しないときはトレース表示が参考になる場合があります。
Menu 3 3 4 を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するように作られているソフトが保存されていないときは、トレース情報は表示できません。
● ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細表示のみ可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
● ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
● IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、ｉが点滅します。この場合通信料はかかりません。

登録データを利用できずに終了したときの履歴を表示する<セキュリティエラー履歴>

ソフトが登録データなどを利用できないようなエラーが発生して終了したときに、ソフト名・日時・セキュリティエラー理由が記録されます。
• セキュリティエラー履歴は最新の 20 件まで記録されます。

1 待受画面で Menu 3 3 3 を押す

■ 履歴を削除するとき

① 📖 を押して「はい」を選択する

履歴がすべて削除されます。

ソフトの詳細情報を表示する<ソフト詳細情報>

ソフトの名前やバージョンなど、ソフトの詳細情報を確認します。

1 待受画面で ◎ を 1 秒以上押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を確認するソフトにカーソルを合わせて 📖 を押す

3 詳細情報を確認する

• 表示される項目はソフトによって異なります。

■ サイトの証明書を確認するとき

① 📖 を押す

• SSL ページからダウンロードしたソフトの場合のみ確認できます。

ソフトの動作条件を設定する＜ソフト情報設定＞

・ｉアプリ待受画面、ワンタッチボタンに設定できるソフトはそれぞれ１件のみです。

1 **待受画面で を１秒以上押し、フォルダを選択する**

2 **設定するソフトにカーソルを合わせて Menu 7 を押す**

3 **各項目を選択して設定する**

アプリ待受画面：ｉアプリ待受画面に対応しているソフトを待受画面に設定するかしないかを設定します。

アプリ待受画面通信設定
：ｉアプリ待受画面起動中に自動的に通信させるかどうかを設定します。

通信設定：ソフト起動中に自動的に通信させるかどうかを設定します。
・「起動ごとに確認」に設定すると、ソフトを起動するたびに通信するかどうかの確認画面が表示されます。

アイコン情報：ソフトがメール、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、受信レベルの各種アイコンを利用できるようにするかどうかを設定します。

ワンタッチボタン：ソフトをワンタッチボタンに登録するかどうかを設定します。

ブラウザからの起動：サイトからソフトを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。

メールからの起動：メールからソフトを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。

外部機器からの起動：外部機器からソフトを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。

ソフトからの着信音／画像変更を※
：ソフトが着信音や待受画面などの画像の設定を変更することを許可するかどうかを設定します。
・「許可する」に設定すると、自動的に着信音や待受画面の画像が変更されます。

変更ごとに確認画面を※
：ソフトが着信音や画像の設定を変更するごとに、確認画面を表示するかどうかを設定します。

ソフトからの電話帳／履歴参照を※
：ソフトが電話帳や履歴を参照することを許可するかどうかを設定します。
・「許可する」に設定すると、自動的に電話帳や履歴が参照されます。

※：ｉアプリDXのみ設定できます。
・ソフトが対応していない項目は選択できません。

4 **を押す**

・「アプリ待受画面」を「設定する」に設定したときは、現在の待受画面の設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ

- ネットワークに接続して通信を行うソフトを ｉ アプリ待受画面に設定した場合、ソフトによっては自動的に通信を行う場合があります。
- 本機能の設定によっては、ソフトからのネットワーク接続やアイコン情報（未読メール、電池残量など）の利用ができなくなります。
- ネットワークに接続したときは通信料がかかります。通信を許可する設定にするとソフトが自動的に接続しますのでご注意ください。
- 通信設定を「通信しない」に設定した場合は、ソフトが起動できない場合や株価情報やお天気情報などのソフトによるタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- ｉ アプリ待受画面のアイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージ R/F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がインターネットを経由して IP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- プライバシーモード起動中（ｉ アプリを「認証後に表示」に設定した場合）は、ｉ アプリ待受画面に設定しても、ｉ アプリ待受画面が起動しません。

ソフト起動中の照明とバイブレータの動作を設定する<照明設定・バイブレータ設定>

照明動作を設定する

お買い上げ時　端末設定に従う

1 **待受画面で Menu 3 2 4 を押す**

2 **1 または 2 を押す**

照明設定
1 端末設定に従う
2 ソフトに従う

端末設定に従う：FOMA 端末の照明設定（☛P144）に従って照明が点灯します。

ソフトに従う　：照明の点灯をソフトが制御します。

おしらせ

- ｉ アプリ待受画面の照明動作は FOMA 端末の照明設定に従います。

バイブレータを設定する

お買い上げ時　ON

1 **待受画面で Menu 3 2 5 を押す**

2 **1 を押す**

ソフト起動中のバイブレータの動作をソフトが制御します。

■ **ソフトによってバイブレータを動作させないとき**

① **2 を押す**

プリインストールソフトを使う

お買い上げ時には次のソフトが内蔵されています。

ゲームソフト	・電車で GO！ 3D サウンド　山手線一周	・フリップル（FLIPULL）
その他のソフト	・Dimo 絵文字 メール	・ｉ アニメっちゃメーラー DX
	・G ガイド番組表リモコン	・便利！多機能電卓

一覧から選択すると各ソフトが起動します。☛P326

- Dimo 絵文字 メールは ｉ アプリ待受画面に設定できます。☛P329
- お買い上げ時に登録されているソフトを削除してしまったときは、ｉ モードサイト「My D-style」からダウンロードできます。
  「My D-style」には、ｉMenu の「3 メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」から接続してください（2004 年 12 月現在）。

Dimo 絵文字 メール

©BVIG

メール内の絵文字に対応して、キャラクタたちが愉快に動き回り、楽しいメールのやりとりができます。
また、相手が Dimo 対応の機種の場合は、キャラクタたちが電話やメールの着信を教えてくれたり、FOMA 端末の未読メール情報などを伝えてくれます。

- 詳しくは『FOMA ｉ モード操作ガイド』をご覧ください。

電車で GO！3D サウンド　山手線一周

電車の運転手になって、運転規則とダイヤを守って電車を運転し、最終目的駅を目指すゲームです。

- 山手線内回り（品川駅発～品川駅着）を運転できます。

■ ゲーム画面と使用するキー

マスコンレベル　到着予定時間　現在時間　持ち時間※1　制限速度　速度　走行区間　残りの距離

上	：マスコンレベルダウン／ブレーキ増加
下	：マスコンレベルアップ／ブレーキ減少
押す	：マスコン OFF、ブレーキ解除
左右 ＊ ＃	：警笛
Menu	：制限速度確認
FOMA 端末開閉※2	：ドア閉め

※ 1：持ち時間が 0 になるとゲームオーバーです。
※ 2：FOMA 端末を開き、すぐに閉じます。

■ 遊びかた

① **出発**
停車中に「ドアが閉まります　ご注意ください」と表示されたら、5 秒以内に FOMA 端末をいったん開いて閉じます。車内信号が点灯したら、ブレーキを解除し、マスコンレベルを上げて出発します。

② **走行**
マスコンレベル、ブレーキを調整し、制限速度を守って走行します。

③ **停車**
停車駅に近づいたらブレーキで減速し、規定の停止位置に停車します。

■ ゲームモードについて

3 つのゲームモードがあります。

モード	説　明
一周モード（はじめから）	品川駅から山手線を一周します。途中経過を保存できます。※
一周モード（つづきから）	保存した区間から再開します。
エリアモード	全区間を 5 区間ずつに区切ったエリア単位で遊びます。一周モードでクリアしたエリアから選択できます。

※：以下の場合に途中経過を保存できます。

- [📖] を押して「タイトルに戻る」を選択した場合
- ゲームオーバー時
- 全区間クリア時

フリップル(FLIPULL)

盤面のブロックに同じ色のブロックを当てて消すパズルゲームです。

次に投げるブロック　得点　クリア条件

カラーブロック　土管

[◎] または [4] ／ [6] でプレーヤーを動かし、[◎] または [5] でブロックを投げます。同じ色のブロックに当てるとブロックが消え、その先のブロックと投げたブロックが入れ替わります。

- 土管の上からブロックを投げると、ブロックを横から当てられます。
- 当てても消せないアイアンブロック、何色でも消せるマジカルブロックもあります。
- [*] で BGM を ON ／ OFF できます。

ｉ アニメっちゃメーラーDX

文字に色や動きなどの効果を付けたり、キャラクタのアニメーションを付けたりして、楽しいメールを作れます。

■ メール作成を開始する

ｉ アニメっちゃメーラー DX を実行するとトップ画面が表示されます。トップ画面から「新規作成」を選択して、メール作成を開始します。

宛先を入力します。電話帳からも検索できます。（宛先を入力するごとに入力欄が増え、5 件まで入力できます。）

題名を入力します。

「本文へ」を選択するとプレビュー画面が表示されます。本文の作成に進みます。

■ 本文を作成する

プレビュー画面で文字を入力します。効果（エフェクト）も設定できます。

- カーソルを移動して [◎] を押し、文字を入力します。
- [クリア] で文字を削除できます。[#] で改行できます。
- 本文は全角 140 文字（半角 280 文字）まで送信できます。ただし、エフェクトを設定すると送信データ量が増えるため、送信できる文字数は少なくなります。

入力文字数（エフェクト含む）／送信可能文字数

アニメーションやエフェクトを使うには を押し、項目を選択します。

項　目	説　明
1. ステージエフェクト	メールの背景色と背景パターンを選択できます。 • 色を「ホワイト」にすると見えないパターンがあります。
2. テキストエフェクト	文字の色やサイズ、動きを設定できます。始点、終点で を押すとカテゴリの一覧が表示されます。カテゴリを選択し、エフェクトを選択します。
3. キモチアニメ	キャラクタのアニメーションを挿入できます。挿入したアニメにカーソルを合わせて を押すと、セリフを入力します。
4. アニメっちゃ絵文字	ｉ アニメっちゃメーラー DX の絵文字を入力できます。
5. エフェクト解除	テキストエフェクトを解除します。解除する範囲の始点と終点で を押します。

■ 送信する

プレビュー画面で を押し、「送信」を選びます。

• を押して「途中保存（1 件のみ可能）」を選択すると、作成中の本文を保存できます。宛先は保存されません。既に保存されているメールがあると上書きされます。

■ その他の機能

トップ画面から選択して以下の操作が行えます。

項　目	説　明
受信ボックス	受信メールを表示します。
送信ボックス	送信メールを表示します。
未送信ボックス	送信に失敗したメールを表示します。
制作途中データ	送信しないで途中保存したメールを表示します。
センター問い合わせ	FOMA 端末のメールメニューを表示します。メールメニューから ｉ モード問合せを実行できます。

• ｉ アニメっちゃメーラー DX から受信したメール、ｉ アニメっちゃメーラー DX で送信または保存したメール以外は表示できません。
• 受信ボックス、送信ボックス、未送信ボックスのメニューから返信、転送、再送信が行えます。

おしらせ

● メールの受信側にも ｉ アニメっちゃメーラー DX が必要です。ｉ アニメっちゃメーラー DX のメールは、FOMA 端末のメール機能やパソコンなどのメールソフトでは正しく表示できません。

G ガイド番組表リモコン

テレビ番組表と AV リモコン機能が 1 つになった便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報が簡単に取得できます。番組タイトル・番組内容・開始／終了時間・G コード® を知ることができます。好きな番組を予約リストに登録するとスケジュール帳に登録され、番組開始時にアラームを鳴らすことができます。さらにテレビ番組のジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索をすることが可能です。また、テレビ、ビデオ、DVD のリモコン操作ができます。DVD ／ハードディスクレコーダーに赤外線録画予約することも可能です（一部対応していない機種もあります)。

• ご利用には別途パケット通信料がかかります。
• 詳しくは『FOMA ｉ モード操作ガイド』をご覧ください。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

便利！多機能電卓

基本的な計算のほかに、ワリカン計算などいろいろな計算ができます。

■ 基本計算のしかた

タイトル画面から「基本計算」を選択すると、電卓画面が表示されます。

計算方法は通常の電卓と同様です。＋－×÷は で選びます。 で計算結果を表示します。
数字を間違えたときは 、最初から計算し直すときは を押します。

・ を押して「計算一覧表示」を選択すると計算中の内容、「過去計算一覧表示」を選択すると、過去の計算内容（5 件まで）を表示できます。

■ いろいろな計算

タイトル画面から選択します。

項　目	説　明
ワリカン計算	「男性」「女性」などの属性ごとに負担の割合（0.1 ～ 2.0）と人数を設定して「ワリカン！」を選択すると、金額が表示されます。
ゴチルーレット	金額をルーレットで決めます。総額と人数、本気度（人ごとに金額にどのくらいの差をつけるか）を設定して「開始」を選択するとルーレットが回り、 を押すと金額が表示されます。以降、一人ずつ でルーレットを回し、 で決定します。
時間計算	スタート時から終了時までの時間を計算します。スタート日時、終了日時は を押し、 で変更箇所を選んで で数字を増減し、 で確定します。日時設定後に「決定」を選択すると、時間が表示されます。 を押して、表示単位を選択できます。また、「あと何日？」では現在から指定日時までの時間、「あれから何日？」では指定日時から現在までの時間が計算できます。
カロリー計算	摂取カロリーの合計を計算します。最初に性別、年齢などを入力すると、カロリー計算画面が表示されます。 **基本必要カロリー** **前の週の平均カロリー** **1 日のカロリーの合計** **1 日に食べたものを入力** カーソルを入力したい位置に移動して を押し、食品リストから選択します。カロリー量レベルを示すアイコンが入力されます。アイコンにカーソルを合わせると食品名を確認できます。 ・計算されるカロリーは概算であり、厳密なものではありません。 ・カロリーの超過・不足は、性別・年齢ごとの標準必要カロリーに対する過不足を示したものです。
いろいろ変換	距離や広さ・重さの単位、西暦／和暦など各種の変換ができます。変換したい元の単位に値を入力し確定すると、各単位での値が表示されます。

iアプリ

ワンタッチボタン

ワンタッチでソフトを起動する

・ワンタッチボタンを利用するには、あらかじめワンタッチボタンにソフトを登録しておく必要があります。☛P329

1 待受画面で（ワンタッチボタン）を 1 秒以上押す

おしらせ

● ワンタッチボタンにどのソフトが登録されているかを確認することができます。☛P344

ツータッチ ｉ アプリ

ツータッチでソフトを起動する

ソフトをツータッチ登録しておくと、ソフトの一覧を表示させることなく、待受画面からすばやく起動できます。

ツータッチ登録をする

・ツータッチ ｉ アプリに登録できるソフトは最大 10 件です。

1 待受画面で（ｉアプリキー）を 1 秒以上押し、フォルダを選択する

2 登録するソフトにカーソルを合わせて Menu 9 を押す

■ ツータッチ登録を解除するとき

① 解除するソフトにカーソルを合わせて Menu 9 を押す

3 登録先を選択する

ツータッチ登録先選択 1/3
0 未登録
1 未登録
2 未登録
3 未登録

・番号 0 ～ 9 は、ソフトを起動するときに使用するダイヤルキー 0 ～ 9 に対応しています。

ツータッチでソフトを起動する

1 待受画面でダイヤルキー（0 ～ 9）を押し、（ｉアプリキー）を 1 秒以上押す

ｉアプリ

ソフトを自動起動する

ソフトごとに自動起動の条件を設定し、一括して自動起動を行うかどうかを設定します。
・ソフトを自動起動するには、日付・時刻の設定が必要です。☛P46

自動起動するかどうかを設定する＜自動起動設定＞

お買い上げ時　ON

自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したすべてのソフトの自動起動を一括して設定します。

1 **待受画面で Menu 3 2 2 を押す**

2 **1 または 2 を押す**
・「ON」に設定すると、自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したすべてのソフトの自動起動が有効になります。

自動起動の日時を設定する＜自動起動情報登録＞

個々のソフトごとに起動日時や起動方法などの条件を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。
・設定できる条件は、ソフトによって異なります。
・ソフトによっては自動起動できないものがあります。
・自動起動設定を「OFF」に設定しているときは、自動起動情報を登録できません。

1 **待受画面で ◎ を 1 秒以上押し、フォルダを選択する**

2 **条件を設定するソフトにカーソルを合わせて Menu 6 を押す**

3 **各項目を選択して設定する**

ユーザ設定：自動起動する条件を設定するかどうかを選択します。
・「OFF」に設定すると、他の項目を設定できません。
時刻：自動起動する時刻を入力します。
繰り返し：自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。
・「1 回のみ」に設定した場合は、日付欄で自動起動する日付を設定します。
・「毎日」に設定すると、時刻欄で設定した時刻にソフトが自動起動します。
・「毎週」に設定した場合は、毎週欄で自動起動する曜日を設定します。
毎週：繰り返しを「毎週」に設定したとき、自動起動する曜日を設定します。
日付：繰り返しを「1 回のみ」に設定したとき、自動起動する日付を設定します。
ソフト設定：ソフトにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかどうかを設定します。
アプリ設定 1 ～ 4
：i アプリ DX によっては、起動中に自動起動の条件を最大 4 つ設定できます。それらの設定を有効にするかどうかを設定します。

4 [📖]を押す

おしらせ

● 自動起動を設定しても、次の状態のときに起動時刻になった場合は、ソフトは起動しません。また、次のうち、※印以外の理由でソフトが起動しなかったときは、待受画面に[アイコン]が表示され、ソフト名・日時・起動しなかった理由が起動失敗履歴に記録されます。
- FOMA 端末の電源が入っていない場合※
- FOMA カード動作制限中
- FOMA カードを認識できない場合
- 自動起動設定を「OFF」に設定している場合※
- 自動起動の間隔が短すぎたとき
- 通話中、通信中
- 待受画面以外が表示されているとき、ｉアプリ待受画面の操作中
- 他の機能が動作中(マイピクチャの一覧表示中とフレーム合成中、ｉモーションの一覧表示中と再生・編集中、およびメロディの一覧表示中と再生中を除く)
- オールロック、PIM ロック中
- プライバシーモード起動中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定している場合）
- スケジュールアラーム中や、アラーム設定の設定時刻になったとき(自動起動と同一時刻の場合も含む)
- ｉアプリ制御によってソフトの使用を停止されているとき

● 自動起動設定によって複数のソフトを同時刻に起動するように設定した場合、起動できなかったソフトの起動失敗履歴が記録されますが、待受画面に[アイコン]は表示されません。

● FOMA 端末の日付・時刻よりも前の日時のみを設定した場合、自動起動は無効になります。

自動起動できなかったときの履歴を表示する<起動失敗履歴>

ソフトの自動起動に失敗したときに、ソフト名・日時・起動失敗理由が記録されます。
- 起動失敗履歴は最新の 20 件まで記録されます。
- 起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面の[アイコン]が消えます。

1 待受画面で[Menu][3][3][1]を押す

■ **履歴を削除するとき**

① **[📖]を押して「はい」を選択する**

履歴がすべて削除されます。

ｉアプリ To

サイトやメールからソフトを起動する

サイトやｉモードメールのソフトを起動できるリンク項目を選択するとソフトが起動します(ｉアプリ To)。
- 起動するソフトはあらかじめ FOMA 端末に保存されている必要があります。ただし、サイトからダウンロードしたソフトによっては、FOMA 端末に保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。

1 サイトやｉモードメールのソフトを起動できるリンク項目を選択する

2 「はい」を選択する

サイト接続が終了し、ソフトが起動します。

つづく

おしらせ

- 外部機器から赤外線通信でソフトを起動することもできます。
- ソフトによっては、サイトからダウンロード後すぐに起動するものがあります。このときソフトは、FOMA 端末に保存されてはいません。また、FOMA 端末に保存できないソフトもあります。
- サイトからダウンロード後すぐに起動するソフトは、起動中に通信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。
- 起動するソフトを ｉ アプリ To で起動しないように設定している場合は、メッセージが表示されソフトを起動できません。☛P329
- 該当するソフトが FOMA 端末に保存されていない場合は、「指定されたソフトがありません」と表示されます。

ｉ アプリ待受画面

ｉ アプリ待受画面を操作する

ソフトを待受画面に設定し、待受画面からソフトを起動して操作します。ｉ アプリ待受画面を設定しているときは、画面上部に ![] または ![] が表示されます。

- ｉ アプリ待受画面を利用するには、あらかじめソフトを待受画面に設定しておく必要があります。☛P137
- ｉ アプリ待受画面に設定できるソフトは 1 件です。
- ソフトによっては ｉ アプリ待受画面に設定できないものがあります。
- ｉ アプリ待受画面からサイトに接続（Web To）することはできません。
- プライバシーモード起動中（ｉ アプリを「認証後に表示」に設定している場合）、ｉ アプリ待受画面は動作しません。

ｉ アプリ待受画面のソフトを起動する

ｉ アプリ待受画面に設定しているソフトを操作するには、待受画面からソフトの画面に切り替えます。

1 ｉ アプリ待受画面で [クリア] を押す

ソフトの画面に切り替わり、画面上部の ![] または ![] が点滅します。

2 ソフトを操作する

- ソフトの画面を終了して待受画面に戻る方法は、ソフトによって異なります。再度 [クリア] を押すと、終了して待受画面に戻るソフトもあります。

おしらせ

- ｉアプリ待受画面を設定中に FOMA 端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリ待受画面が起動します。「いいえ」を選択すると、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。確認画面が表示されてから何もせずに約 5 秒たつと、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。ただし、自動電源 ON によって電源が入った場合は、確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。
- ｉアプリ待受画面の通信中に PWR を押すと、ｉアプリ待受画面の通信が切断されます。
- 通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- ｉアプリ待受画面を設定中にオールロックまたは PIM ロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は一時的に解除されます。ロックを解除するとｉアプリ待受画面が再度起動します。
- ｉアプリ待受画面に設定されているソフトがｉアプリ制御によって使用を停止されると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- ｉアプリ待受画面の起動中にｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生すると、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。このとき、ソフト名と終了日時が異常終了履歴に記録されます。

ｉアプリ待受画面を解除する

1　ｉアプリ待受画面で クリア PWR を押す

2　「解除する」を選択する

ｉアプリ待受画面が解除され、画面上部の、が消えます。

■ **ソフトを終了してｉアプリ待受画面に戻るとき**

①**「終了する」を選択する**

画面上部のマークがから、またはからに変わります。

おしらせ

- ソフト一覧から操作する場合は、ｉアプリ待受画面に設定しているソフトにカーソルを合わせて Menu を押し、「アプリ待受画面」を選択します。

ｉアプリ待受画面の終了履歴を表示する<異常終了履歴>

ｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生したときに、ソフト名と日時が記録されます。

- 異常終了履歴は最新の 20 件まで記録されます。

1　待受画面で Menu 3 3 2 を押す

■ **履歴を削除するとき**

① **を押して「はい」を選択する**

履歴がすべて削除されます。

ｉアプリ

ソフトを管理する

FOMA 端末には、ソフトのバージョンアップやフォルダの作成、不要なソフトの削除など、ソフトをより使いやすくするためのさまざまな管理機能があります。

ソフトをバージョンアップする＜バージョンアップ＞

ソフトが更新されている場合は、バージョンアップすることができます。
・ｉ アプリ制御によって使用を停止されているソフトはバージョンアップできません。

1 待受画面で [ｉ] を 1 秒以上押し、フォルダを選択する

2 バージョンアップするソフトにカーソルを合わせて [Menu] [5] を押し、「はい」を選択する

ソフトのバージョンアップが開始されます。
・以降の操作はソフトのダウンロードと同じです（☛P324）。バージョンアップが完了すると、バージョンアップを行ったソフトは新しいソフトに置き換えられます。

おしらせ

● バージョンアップによって、ソフトが記録しているデータ（ゲームスコアなど）が消去されることがあります。
● ソフトによっては、使用期間・使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからソフトが更新されていると通知された場合は、バージョンアップするかどうかを確認した上でバージョンアップすることができます。

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成してカテゴリごとにソフトを整理します。また、フォルダの並び順を変えたり、不要なフォルダを削除することもできます。

フォルダを作成する

・フォルダは最大 20 個作成できます。

1 待受画面で [ｉ] を 1 秒以上押す

2 [Menu] [4] を押す

■ **フォルダ名を変更するとき**
① **フォルダ名を変更するフォルダにカーソルを合わせて [Menu] [1] を押す**

■ **フォルダの並び順を変更するとき**
① **順番を変更するフォルダにカーソルを合わせて [Menu] を押し、[5] または [6] を押す**
選択したフォルダの並び順が 1 つ上または下に変わります。

3 フォルダ名を入力して [📖] を押す

・全角で最大 8 文字、半角で最大 16 文字入力できます。

フォルダを削除する

・ソフトが保存されたままのフォルダを削除すると、フォルダ内のソフトも削除されます。ただし、保護されているソフトがある場合は、フォルダを削除できません。

1 待受画面で を1秒以上押す

2 削除するフォルダにカーソルを合わせて Menu 2 1 を押す

・フォルダ内にソフトが保存されたままの場合は、端末暗証番号を入力します。

3 「はい」を選択する

・削除するフォルダ内にメール連動型 i アプリが含まれる場合は、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとその中に保存されているすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、ソフトのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合やプライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、ソフトもメールフォルダも削除できません。

おしらせ

● ソフトのみ削除し、メール連動型 i アプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メール一覧のサブメニューからメールを見ることができます。☛P279

● 削除対象のメール連動型 i アプリ用メールフォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ソフトを削除できないことがあります。

ソフトを保護する

・ソフトは最大100件保護できます。

1 待受画面で を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 保護するソフトにカーソルを合わせて Menu 3 1 を押す

保護したソフトにはソフト一覧画面で またはが表示されます。

・マークの意味☛P327

■ ソフトを解除するとき

① 解除するソフトにカーソルを合わせて Menu 3 1 を押す

■ ソフトを複数保護／解除するとき

① Menu 3 2 を押し、ソフトを選択する

・ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② を押す

■ フォルダ内のすべてのソフトを保護／解除するとき

① Menu 3 3 を押す

② 端末暗証番号を入力する

おしらせ

● データ一括削除を行うと、保護されているソフトもすべて削除されます。☛P461

ソフトを削除する

1 待受画面で ◎ を 1 秒以上押し、フォルダを選択する

2 削除するソフトにカーソルを合わせて Menu 2 1 を押す

■ **ソフトを複数削除するとき**

① **Menu 2 2 を押し、ソフトを選択する**

- ◎ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② **□ を押す**

■ **フォルダ内のすべてのソフトを削除するとき**

① **Menu 2 3 を押す**

② **端末暗証番号を入力する**

③ **「すべて削除」または「保護以外削除」を選択する**

- フォルダ内のすべてのソフトまたは保護されていないすべてのソフトが削除されます。

3 「はい」を選択する

- メール連動型 i アプリを削除する場合は、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとその中に保存されているすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、ソフトのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合やプライバシーモード起動中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、ソフトもメールフォルダも削除できません。

おしらせ

● フォルダ一覧からフォルダ内のソフトを全件削除する場合は、フォルダにカーソルを合わせて Menu を押し、「削除」→「ソフト削除」を選択します。

● ソフトのみ削除し、メール連動型 i アプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メール一覧のサブメニューからメールを見ることができます。☛P279

● 保護されているソフトは「1件削除」または「複数削除」では削除できません。保護されているソフトを削除するには保護を解除してから削除するか、「全件削除」を選択して端末暗証番号を入力して、「すべて削除」を選択してください。

● お買い上げ時に登録されているソフトを削除してしまった場合でも、i モードサイトの「My D-style」からダウンロードできます。☛P331

ソフトを他のフォルダに移動する

1 待受画面で ◎ を 1 秒以上押し、フォルダを選択する

2 移動するソフトにカーソルを合わせて Menu 4 1 を押す

■ **ソフトを複数移動するとき**

① **Menu 4 2 を押し、ソフトを選択する**

- ◎ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② **□ を押す**

■ **フォルダ内のすべてのソフトを移動するとき**

① **Menu 4 3 を押す**

3 移動先のフォルダを選択し、「はい」を選択する

移動先フォルダ選択 1/1
ゲーム3
ゲーム2
ゲーム1
マイフォルダ

ソフトを並べ替える<ソフトの並べ替え>

お買い上げ時　ダウンロード日時順

1 待受画面で Menu 3 2 1 を押す

2 1 ～ 5 を押す

ソフトの並べ替え
1 ダウンロード日時順
2 使用日時順
3 名前順
4 使用回数順
5 ソフトのサイズ順

おしらせ

- ダウンロード日時および使用日時は、FOMA 端末の日付・時刻で設定されている日時で記録されます。
- 「名前順」で並べ替えた場合、ソフト名に全角／半角の文字や英字が混在していると、五十音順と一致しないことがあります。
- 使用回数はソフトをバージョンアップしても引き継がれます。
- 「使用回数順」には ｉ アプリ待受画面として起動した回数は含みません。
- 「ソフトのサイズ順」を選択すると、ソフトのファイルサイズと使用データ記録領域の合計が大きい順に並び替わります。

フォルダ内のソフトの件数を確認する<フォルダ内ソフト件数>

1 待受画面で を 1 秒以上押す

2 ソフトの件数を確認するフォルダにカーソルを合わせて を押す

3 ソフトの件数を確認する

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：通常のソフト
  - ：ｉ アプリ DX のソフト
  - ：メール連動型 ｉ アプリのソフト

ソフトの設定状況を確認する<ソフト情報表示>

1 **待受画面で ◎ を1秒以上押す**

2 **✉ を押す**

3 **ソフトの設定状況を確認する**

ソフト保存領域　：保存されているソフトの総容量がバーと数値で表示されます。
ソフト保存件数　：保存されているソフトの総件数が表示されます。
アプリ待受画面：ｉアプリ待受画面に設定しているソフトの名前と保存先のフォルダが表示されます。
ワンタッチボタン：ワンタッチボタンに設定しているソフトの名前と保存先のフォルダが表示されます。
自動起動　：次回の自動起動に設定しているソフトの名前・保存先のフォルダ・起動日時が表示されます。

ソフトからさまざまな機能を利用する

ソフトによっては、電話をかけたり、サイトに接続したりできるものがあります。また、カメラ撮影やバーコードリーダー、赤外線通信などの機能を利用することができます。

- それぞれ機能に対応したソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

電話をかける

1 **カスタム発信の各項目を選択して発信条件を設定する**

- カスタム発信の設定方法☛P56

2 **Menu を押して「はい」を選択する**

設定した内容で電話番号に電話がかかります。電話をかけるとソフトは中断されます。

- ソフトによって操作方法が異なったり、電話をかけられない場合があります。

サイトに接続する

1 **サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択する**

ソフトが終了し、サイトが表示されます。

- ｉアプリ待受画面からサイトに接続することはできません。
- ソフトによって操作方法が異なったり、サイトに接続できない場合があります。

ソフトからカメラ機能を利用する

1 ソフトを操作してカメラ撮影を行う

- ソフトによっては、自動的にカメラが起動する場合があります。

おしらせ

● ソフトからカメラを起動した場合、撮影した画像はマイピクチャまたはｉモーションの「カメラ」フォルダには保存されず、ソフト内(ソフトによっては「モード」フォルダ)に保存されます。また、撮影した画像はソフトから通信により自動的にサーバへ送られる場合があります。

バーコードリーダーを利用する

1 ソフトを操作してコードを読み取る

- 読み取ったデータはソフトで利用・保存される旨のメッセージが表示されます。

ソフトから赤外線通信を利用する

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 ソフトを操作して赤外線通信を行う

- 赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ソフトを起動することもできます。
- 赤外線通信を実行するときに、サイトに接続していたりメールを送受信していた場合、それらの通信は自動的に切断されます。

ｉモーション

ｉモーションとは

サイトやインターネットホームページから映像や音をFOMA端末に取り込み、再生したり、保存したりします。保存した映像や音はｉモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。メロディだけではなく歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません）。

種　類		説　明
タイプ	再生動作	
標準タイプ（保存可※）	**データを取り込みながら再生（最大500Kバイト）**	ｉモーションのデータを取り込みながら再生します。取り込み完了後は、データを取り込んだ後に再生するｉモーションと同様に操作できます。
	データを取り込んだ後に再生（最大500Kバイト）	ｉモーションのデータをすべて取り込んだ後に再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）	**データを取り込みながら再生（最大2Mバイト）**	ｉモーションのデータを取り込みながら再生します。再生が終わったｉモーションのデータは消去され、FOMA端末に保存することはできません。

※：標準タイプのｉモーションによっては、保存できないものもあります。

ｉモーションを取り込む

サイトからｉモーションを取り込み、再生・保存します。

1 取り込みたいｉモーションのあるサイトを表示し、ｉモーションを選択する

ｉモーションがFOMA端末に取り込まれます。ｉモーションの取り込みが完了すると、ｉモーション取り込み完了画面が表示されます。

- ストリーミングタイプのｉモーションを選択した場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉモーションを取り込みながら再生します。再生が終了するとｉモーションの取り込み完了画面が表示されますが、保存はできません。
- ｉモーションタイプ設定を「標準タイプ」に設定しているときにストリーミングタイプのｉモーションを取り込もうとすると、ｉモーションタイプを変更するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択してｉモーションタイプ設定を「標準・ストリーミングタイプ」に設定すると、ストリーミングタイプのｉモーションを取り込むことができます。☛P351

■ データを取り込みながら再生するｉモーションのとき

取り込みが開始されると、ｉモーションが取り込みながら再生されます。画面の下には受信済みのデータ量／全体のデータ量が表示されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  - ：一時停止／再開（標準タイプのみ）
  - ：音量調整
  - ：中断（ストリーミングタイプ）
    停止（標準タイプ。を押すと先頭から再生）
  - Menu：詳細情報の表示
- 一時停止および停止した場合、再生は停止しますがデータの受信は継続します。
- 中断すると確認画面が表示されます。中断する場合は「はい」を選択します。
- ｉモーションの自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、ｉモーションは自動再生されません。

■ データを取り込んだ後に再生するｉモーションのとき

ｉモーションの取り込み中は、画面の下に受信済みのデータ量／全体のデータ量が表示されます。取り込みが完了すると、ｉモーションが自動的に再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  - ：一時停止／再開
  - ：音量調整
  - ：早送り再生
  - ：停止（ｉモーションの取り込み完了画面が表示されます）
  - Menu：詳細情報の表示
- ｉモーションの自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、ｉモーションは自動再生されません。

2 「保存」を選択する

- ストリーミングタイプのｉモーションは保存できません。

■ ｉモーションをもう一度再生するとき

①「再生」を選択する

■ ｉモーションの詳細情報を表示するとき

①「情報表示」を選択する

■ ｉモーションを保存しないとき

①「戻る」を選択する
- ストリーミングタイプのｉモーションの場合はサイト画面に戻ります。

②「いいえ」を選択する

3 表示名を入力して を押す

取り込んだｉモーションは、ｉモーションの「モード」フォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。
- Menu を押して、取り込んだｉモーションを待受画面や着信音、着信画像などに設定することができます。☛P371

■ **取り込んだｉモーションのテロップにリンクが設定されているとき**

テロップ中に電話番号（Phone To、AV Phone To）やメールアドレス（Mail To）、サイト（Web To）などのリンクが設定されているときは、再生を終了するか中断するとリンク先に接続するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、リンク先に接続します。

- Phone To（AV Phone To）の場合は、[電話帳] を押すと電話番号を電話帳に登録できます。Mail To の場合は、「電話帳登録」を選択するとメールアドレスを電話帳に登録できます。
- ｉモーションが保存されていない場合は、リンク先に接続する前に保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択し、表示名を入力して [電話帳] を押すと、ｉモーションが保存され、リンク先に接続します。
- 複数のリンク項目があるときは、1 つのリンク項目が有効になります。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

■ **待受画面に設定するとき**

① **[Menu][1] を押して「はい」を選択する**

- 拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、選択した動画／ｉモーションが待受画面に設定されます。

■ **着モーションに設定するとき**

① **[Menu][2] を押し、[1] ～ [6] を押す**

■ **メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき**

① **[Menu][2] を押し、[7] または [8] を押す**

② **メモリ指定着信音を設定する電話帳データを選択する**

③ **内容を確認して [電話帳] を押す**

- 既に着信音が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。
- メモリ番号入力について ☛P116「登録内容を修正する」操作 4

■ **着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定するとき**

① **[Menu][3] を押し、[1] または [2] を押す**

- 既に着信画像が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。
- 動画／ｉモーション設定の制限事項 ☛P370

おしらせ

- ●ｉモーションには、再生回数制限や再生期限制限などの再生制限が設定されている場合があります。☛P370
- ●ｉモーションを取り込みながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止することがあります。このような場合でも、データを受信し始めると自動的に再生が再開されます。
- ●ｉモーションを取り込みながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、停止したり、画像が乱れたりする場合があります。そのような場合でも、データが正常に受信されていれば受信完了後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを受信できても、正しく再生できない場合があります。
- ●ASF 形式のｉモーションを取り込んだ場合は、文字化けすることがあります。
- ●ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
- ●ｉモーションの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って保存可能な空き領域が確保できるまで FOMA 端末に保存されている動画／ｉモーションを削除してください。

ｉモーションの自動再生と取り込むタイプを設定する

お買い上げ時　自動再生設定：自動再生する　ｉモーションタイプ設定：標準タイプ

受信した標準タイプのｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定したり、取り込むｉモーションのタイプを設定したりします。

1 待受画面で ⓪ 9 3 を押す

2 各項目を選択して設定する

自動再生設定：標準タイプのｉモーションを取り込み中、または取り込み完了後に自動的に再生するかどうかを設定します。
- 「自動再生しない」に設定しても、ｉモーション取り込み完了画面で「再生」を選択すると再生できます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生設定の設定内容に関わらず自動的に再生されます。

ｉモーションタイプ設定
：取り込むｉモーションのタイプを設定します。
- ストリーミングタイプのｉモーションを再生するときは「標準・ストリーミングタイプ」を選択します。

3 [□] を押す

おしらせ

● サイト画面から設定する場合は、Menu を押して「表示」→「ｉモーション設定」を選択します。

データ表示／編集／管理

画像を使いこなす

動画／ｉモーションを使いこなす

キャラ電を使いこなす

メロディを使いこなす

miniSDメモリーカードを使いこなす

各種データを管理する

赤外線通信を使いこなす

サウンドレコーダーを使いこなす

画像を表示する

FOMA端末のデータBOXのマイピクチャに保存されている画像を表示します。

1 待受画面で ◎ 1 を押す

2 フォルダを選択する

マイピクチャ 1/1
カメラ
iモード
デコメールピクチャ
アイテム
プリインストール
データ交換
アルバム1
アルバム2

マイピクチャの各フォルダには次のような画像が保存されます。

カメラ ：カメラやキャラ電で撮影した画像

iモード ：サイトやｉモードメールから取り込んだ画像

デコメールピクチャ
：お買い上げ時に内蔵されている、またはサイトから取り込んだ画像

アイテム ：お買い上げ時に内蔵されている、またはサイトから取り込んだアイテム画像

プリインストール
：お買い上げ時に内蔵されている画像

データ交換
：バーコードリーダーで取り込んだ画像や、miniSDメモリーカードから移動／コピーした画像、データ通信で受信した画像

アルバム ：他のフォルダから移動した画像
・アルバムを作成すると表示されます。☛P401

■ **miniSDメモリーカードの画像一覧に切り替えるとき**

① **を押す**
・miniSDメモリーカードの操作方法☛P397

3 表示する画像にカーソルを合わせる

① ② ③ ④
カメラ 1/1
クーちゃんの挨拶

サムネイル表示

① ② ③④
カメラ
クーちゃんの挨拶
我が家の愛犬
20050415145824
20050415145810
20050415140206
20050415132509
20050415113512
20050415101208
20050415100010

タイトル表示

画像一覧では、カーソル位置のファイルの表示名と画像の詳細を示すマークが表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

① **取得元**
：プリインストール　：ｉモード　：カメラ
：フレーム・スタンプ　：データ交換　：キャラ電

② **画像の種類**
表示なし：静止画　：連写画像、パラパラマンガ　：アニメーション・Flash

③ **ファイル形式**
GIF：GIF画像　JPG：JPEG画像　：SWF（Flash画像）☛P208

データ表示／編集／管理

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

④ **ファイル制限**
(青)　　：メール添付・FOMA 端末外出力可
(グレー)：メール添付・FOMA 端末外出力不可

- FOMA カード動作制限機能が設定されている画像は、サムネイル表示ではで表示されます。
- を押すたびにタイトル表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 表示名などを変更できます。☛P405

■ **画像をメールに添付して送信するとき**

① **送信する画像にカーソルを合わせて を押す**

選択した画像が添付されているメール作成画面が表示されます。

- 静止画のファイルサイズが 9000 バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けることができます。
- 静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータ BOX への保存の確認画面が表示されます。☛P262
- メールに添付できる画像について☛P261

4 を押して画像を確認する

クーちゃんの挨拶 1/9
2005/04/15 岸本家にて

画像表示画面では、画像の表示名とコメントが表示されます。

- 縦横どちらかのサイズが 240 ドット以上のときは、を押してから、／で画像をスクロールできます。
- を押すと、前後の画像に切り替わります。

■ **アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash 画像のとき**

表示すると、自動的に再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。

　：一時停止／再開
　：スロー再生（パラパラマンガおよび連写画像の一時停止中のみ）
Menu 0：先頭から再生

おしらせ

● プライバシーモード起動中（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）に画像を表示する場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。

画像を待受画面や電話帳などに設定する

1 待受画面で 1 を押し、フォルダを選択する

2 設定する画像にカーソルを合わせて Menu 2 を押す

3 設定する項目を選択する

■ **待受画面に設定するとき**

① 1 を押して「はい」を選択する

- 画像サイズが 240 × 320 以下で、拡大表示できる画像の場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- ｉ アプリ待受画面が設定されている場合は、ｉ アプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉ アプリ待受画面が解除され、選択した画像が待受画面に設定されます。

■ **電話帳に新規登録するとき**

① 2 を押す

- 電話帳登録について ☛P104

■ **既に登録されている電話帳に更新登録するとき**

① 3 を押す

② 更新する電話帳データを選択する

- 既に画像が設定されていたときは、選択した画像に置き換わります。

■ **電話発着信画像、メール受信画像／送信画像、問合せ画像に設定するとき**

① 4 または 6 ～ 8 を押す

- メール受信画像／送信画像に設定した画像は、メッセージ R/F、ショートメッセージ（SMS）を送受信したときにも表示されます。

■ **テレビ電話の代替画像や保留画像などに設定するとき**

① 5 を押し、1 ～ 4 を押す

- 画像サイズが 176 × 144 を超える画像、および FOMA 端末外に出力不可の画像は設定できません。

■ **メニューアイコンに設定するとき**

① 9 または 0 を押す

② 0 ～ 9 を押す

- 選択した画像がアイコンデザインの「カスタム 1」または「カスタム 2」のメニューアイコンに設定されます。
- パラパラマンガ、Flash 画像、アイテム画像はメニューアイコンに設定できません。

おしらせ

● 画像表示画面から設定する場合は、Menu を押して「イメージの利用」を選択します。
● 待受画面や電話帳に設定している画像を削除すると、それぞれの画像はお買い上げ時の設定に戻ります。
● 画像のサイズによっては、画面に表示しきれないことがあります。

パラパラマンガを作成する

同じフォルダ内の静止画を複数選択してパラパラマンガを作成します。
- 最大 6 枚の静止画を設定できます。
- アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash 画像およびサイズが 640 × 480 を超える静止画はパラパラマンガに登録できません。
- パラパラマンガに登録した静止画は、個別に表示したり編集したりできなくなります。

1 待受画面で ◎ 1 を押し、フォルダを選択する

2 Menu 4 1 を押す

■ **パラパラマンガを解除するとき**

連写画像を 1 枚ずつの静止画に分けることもできます。

① **解除するパラパラマンガにカーソルを合わせて Menu 4 2 を押す**

選択したパラパラマンガが 1 枚ずつの静止画に戻ります。

3 パラパラマンガに登録する画像を選択する

選択した順に画像の上に1〜6の番号が表示されます。

■ **選択を解除するとき**

① **Menu を押す**

■ **タイトル表示に切り替えるとき**

① **を押す**

・ を押すたびにタイトル表示とサムネイル表示が切り替わります。

4 静止画の選択が終了したら を押す

5 表示名を入力して を押す

画像一覧にはパラパラマンガの最初のコマが表示され、と表示名が表示されます。

・ 表示名は、全角・半角を問わず最大 36 文字入力できます。

おしらせ

● 画像表示画面から設定する場合は、Menu を押して「パラパラマンガ」→「作成」または「解除」を選択します。

● パラパラマンガを表示する方法は、通常の画像と同じです。

静止画を編集する

マイピクチャに保存されている静止画を編集します。編集項目とその内容は次のとおりです。

編集項目	内　容	編集可能な最大画像サイズ（ドット）※
サイズ変更	静止画のサイズを変更します。	1224 × 1632 （拡大／縮小は 352 × 288）
切出し	静止画を任意のサイズに切り出します。	1224 × 1632
明るさ／色調	静止画の明るさや色調を変更します。	352 × 288
効果	静止画に特殊な効果をかけます。	240 × 320
反転／回転	静止画を反転／回転します。	480 × 640
フレーム	静止画にフレームを重ねます。	352 × 288
スタンプ貼付	静止画にスタンプを貼り付けます。	352 × 288
テキスト貼付	静止画に文字を貼り付けます。	352 × 288
切抜き	静止画の任意の部分を切り抜きます。	240 × 320
サイズ制限保存	静止画のファイルサイズを制限して保存します。	1224 × 1632
補正	静止画の色や明るさのバランスを補正します。	352 × 288

※： 画像サイズが大きくて編集できないときは、サイズ変更で編集可能な画像サイズに縮小できます。

- 次の画像は編集できません。
  - アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash 画像、「アイテム」フォルダ内の画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
  - メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）
  - サイズが 1224 × 1632 を超える静止画
  - 縦横のどちらかのサイズが 8 ドットより小さい静止画
- 編集した画像をパソコンなどで表示した場合、FOMA 端末で透過表示されていた部分は白く表示されます。

1 待受画面で ◎ 1 を押し、フォルダを選択する

2 編集する静止画にカーソルを合わせて 📖 を押し、Menu を押す

3 編集項目を選択し、静止画を編集する

1 サイズ変更
2 切出し
3 明るさ/色調
4 効果
5 反転/回転
6 フレーム
7 スタンプ貼付
8 テキスト貼付
9 切抜き
0 サイズ制限保存

編集メニュー画面

1：サイズ変更 ☛P359
2：切出し ☛P360
3：明るさ／色調 ☛P361
4：効果 ☛P361
5：反転／回転 ☛P362
6：フレーム ☛P362
7：スタンプ貼付 ☛P364
8：テキスト貼付 ☛P364
9：切抜き ☛P365
0：サイズ制限保存 ☛P366

4 ◎ を押し、「保存」を選択する

編集した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- フレームやスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。
  フレーム候補・スタンプ候補にできる画像について ☛P406

おしらせ

- 動作設定で、大きい画像の縮小を「あり」に設定していても、スタンプ貼付、テキスト貼付、切抜き時は等倍で表示されます。
- 静止画や編集方法によっては、編集結果がイメージと異なることがあります。
- 編集と保存を繰り返し行うと、画質が劣化することがあります。
- 編集後、静止画のファイルサイズが大きくなることがあります。
- 静止画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは保存できません。不要な画像を削除してから、保存し直してください。

サイズを変更する

・静止画のサイズを変更すると、画質が劣化することがあります。

1 編集メニュー画面で [1] を押す ☛P358

2 画像サイズを変更する

[1] 横長VGA(640×480)
[2] 縦長VGA(480×640)
[3] CIF(352×288)
[4] 横長QVGA(320×240)
[5] 待受用(240×320)
[6] QCIF(176×144)
[7] Sub-QCIF(128×96)
[8] 電話帳用(96×72)
[9] 拡大/縮小

■ 静止画を指定したサイズに変更するとき

① [1] ～ [8] を押す

静止画が選択したサイズに変更され、静止画編集画面に戻ります。

176×144
ストレッチ 決定 フィット

- 選択したサイズと静止画の縦横比が異なる場合は、サイズ枠が表示されます。[↕] ／ [↔] を押してサイズ枠の位置を調整し、[●] を押すと、サイズ枠で囲んだ部分が選択したサイズに変更されます。
  - 縦横比を無視して静止画を選択したサイズに収める場合は、[Menu] を押します。
  - 縦横比を保持したまま静止画を選択したサイズに収める場合は、[📖] を押します。

■ 静止画のサイズを拡大／縮小するとき

① [9] を押す

② [↔] を押してサイズを拡大または縮小する

168×224(-30%)
-20 決定 +20

縦横比を保持したまま、5% ずつ拡大／縮小します。画面の右上には現在の画像サイズが表示されます。

- [Menu] を押すと 20% ずつ縮小、[📖] を押すと 20% ずつ拡大します。
- 横縦（または縦横）のサイズが 352 × 288 まで拡大できます。横縦（または縦横）のサイズが 288 ドットを超える画像は縮小して表示されます。
- 縦横どちらかのサイズが 8 ドットになるまで縮小できます。

③ [●] を押す

静止画が拡大／縮小され、静止画編集画面に戻ります。

任意のサイズに切り出す

静止画を任意のサイズ、または特定のサイズに切り出します。
・16 × 16 より小さい画像は切り出しできません。

1 編集メニュー画面で 2 を押す ☛P358

2 画像を切り出す

■ **指定したサイズに静止画を切り出すとき**

① **1 ～ 8 を押す**

② **を押して切り出し枠の位置を調整する**

・ を押すたびに、切り出し枠の縦横が切り替わります。
・ を押すたびに、切り出しサイズが切り替わります。
・切り出す範囲を指定するには、Menu を押します。

③ **を押す**

静止画が選択したサイズに切り出され、静止画編集画面に戻ります。

■ **範囲を指定して静止画を切り出すとき**

① **9 を押す**

範囲指定枠が点線で表示され、範囲指定枠の左上に ✥ が表示されます。

② **を押して ✥ の位置を調整し、 を押す**

範囲指定枠の左上の位置が設定され、範囲指定枠の右下に ✥ が表示されます。

③ **を押して ✥ の位置を調整し、 を押す**

切り出し範囲が決定され、範囲指定枠が実線で表示されます。
・ を押すと左上位置を変更できます。

④ **を押す**

指定した範囲で静止画が切り出され、静止画編集画面に戻ります。

明るさと色調を変更する

1 **編集メニュー画面で 3 を押す** ☛P358

2 **明るさや色調を変更する**

■ **明るさを調整するとき**

① **1 を押す**

② **◎ を押して明るさを調整する**

1段階ずつ明るさが増減します。

- 明るさを最大にするには 📖 を押します。
- 明るさを最小にするには Menu を押します。

③ **◉ を押す**

明るさが変更され、静止画編集画面に戻ります。

■ **色調をモノトーンまたはセピアにするとき**

① **2 または 3 を押す**

色調が変更され、静止画編集画面に戻ります。

特殊な効果をかける

1 **編集メニュー画面で 4 を押す** ☛P358

2 **1 ～ 6 を押す**

静止画に特殊な効果がかかり、静止画編集画面に戻ります。

ぼかし　：ぼかします。
球面　　：中心から球面状に盛り上がっているような効果をかけます。
エンボス：鉛色にし、凸凹を強調します。
うずまき：中心から渦状に回転させたような効果をかけます。
きらきら：きらきら光っているようなマークを入れます。
モザイク：モザイクをかけます。

反転／回転させる

1 編集メニュー画面で 5 を押す ☛P358

2 静止画を反転／回転させる

- 上下／左右に反転させるには、◎／◎を押します。
- 左回り／右回りに90度回転させるには、Menu／□を押します。

3 ◎を押す

静止画が反転または回転し、静止画編集画面に戻ります。

フレームを重ねる

1 編集メニュー画面で 6 を押す ☛P358

編集している静止画と同じサイズのフレームが表示されます。

- 詳細情報変更でフレーム候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズと異なっていても表示され、選択できます。

2 フレームを選択する

フレーム名

3 フレームを重ねた画像を確認したら ◎ を押す

フレームが合成され、静止画編集画面に戻ります。

- フレームを切り替えるには、◎を押します。
- フレームを180度回転させるには、Menuを押します。

お買い上げ時に登録されているフレーム

- お買い上げ時に登録されているフレームを削除してしまった場合でも、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードすることができます。☛P331

■ 待受用（240 × 320）サイズ

■ QCIF（176 × 144）サイズ

スタンプを貼り付ける

1 編集メニュー画面で 7 を押す ☛P358

☛P358

編集している静止画よりも小さいサイズのスタンプが表示されます。

・詳細情報変更でスタンプ候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズより大きくても表示され、選択できます。

2 スタンプを選択する

選択したスタンプが画面の中央に表示されます。

スタンプ名

3 ◎ を押してスタンプを貼り付ける位置を調整し、◉ を押す

効果音が鳴り、スタンプが貼り付けられます。

・続けて別の位置にスタンプを貼り付けることができます。

・貼り付けたスタンプを削除するには、Menu を押します。

・効果音の音量は受話音量調整の設定に従います。

4 □ を押す

貼り付けたスタンプが合成され、静止画編集画面に戻ります。

お買い上げ時に登録されているスタンプ

文字を貼り付ける

1 編集メニュー画面で 8 を押す ☛P358

☛P358

2 各項目を選択して設定する

テキスト　：文字を入力します。

・全角で最大20文字、半角で最大40文字入力できます。

文字の種類　：文字の種類を設定します。

文字のサイズ：文字のサイズを設定します。

文字色　：文字の色を設定します。

文字縁取り色：文字の縁取りの色を設定します。

背景色　：文字の背景色を設定します。
貼り方　：文字の貼り付けかたを設定します。
- 「まとめて」に設定すると、設定した文字がまとめて貼り付けられます。
- 「一字ごと」に設定すると、設定した文字を 1 文字ずつ異なる位置に貼り付けることができます。

3 [📖] を押す

設定した文字が画面の中央に表示されます。
- 貼り方を「一字ごと」に設定した場合は、最初の文字が画面の中央に表示されます。

4 [方向キー] を押して文字を貼り付ける位置を調整し、[決定] を押す

効果音が鳴り、文字が貼り付けられます。
- 続けて別の位置に文字を貼り付けることができます。
- 貼り付けた文字を消去するには、[Menu] を押します。
- 貼り方を「一字ごと」に設定した場合は、[決定] を押すたびに 1 文字ずつ貼り付けられます。最後の文字を貼り付けると、最初の文字がもう一度表示されます。
- 効果音の音量は受話音量調整の設定に従います。

5 [📖] を押す

貼り付けた文字が合成され、静止画編集画面に戻ります。

任意の部分を切り抜く

任意の色を選択して同色の部分を切り抜きます。

1 編集メニュー画面で [9] を押す ☛P358

切り抜く色を指定する ✣ が画面の中央に表示されます。

2 [方向キー] を押して切り抜く色に ✣ を合わせ [決定] を押す

✣ の位置と同色の部分が切り抜かれます。
- 続けて別の部分を切り抜くことができます。

3 [📖] を押す

指定した部分を切り抜いた状態で、静止画編集画面に戻ります。

ファイルサイズを制限して保存する

1 編集メニュー画面で 0 を押す ☛P358

2 1 ～ 3 を押す

1 サイズ変更
2 切出し
3 明るさ/色調
4 効果
5 反転/回転
6 フレーム
7 スタンプ貼付
1 9000バイト
2 100Kバイト
3 500Kバイト

設定したファイルサイズ以下で、同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。
- サイズが 352 × 288 を超える静止画は、「9000 バイト」に設定できません。

明るさや色のバランスを補正する

1 待受画面で ◎ 1 を押し、フォルダを選択する

2 補正する静止画にカーソルを合わせて 📖 を 2 回押す

画像補正モードになり、画面の右上に現在の補正モードが表示されます。

3 ◎ を押して補正モードを切り替える

静物 MENU MIN 決定 MAX

静物　　：静物や植物などの画像に適切な補正を行います。
背景　　：背景のある画像に適切な補正を行います。
風景　　：風景画像に明るさや色のメリハリを出します。
美肌　　：人物画像の肌を白くなめらかに表現します。
日焼け　：人物画像の肌を小麦色に表現します。
青ざめ　：人物画像の肌を青ざめたように表現します。
酔っ払い：人物画像の肌を赤らめたように表現します。
- Menu を押して 1 ～ 7 を押しても、補正モードを選択できます。

4 補正効果のレベルを設定し、◎ を押す

- 補正効果を増減するには ◎ を押します。
- 補正効果を最大にするには ✉ を押します。
- 補正効果を最小にするには ◎ を押します。

5 ◎ を押し、「保存」を選択する

補正した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。
- フレームやスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。
  フレーム候補・スタンプ候補にできる画像について ☛P406

おしらせ
● 静止画によっては、明るさや色のバランスを補正しても状態があまり変化しないことがあります。

画像の動作条件を設定する

お買い上げ時　一覧の画像表示：あり　タイトル表示：あり　番号表示：あり　コメント表示：あり
小さい画像の拡大：なし　大きい画像の縮小：あり　効果音再生：あり

1 待受画面で ◎ 1 を押す

2 Menu 4 を押す

3 各項目を選択して設定する

一覧の画像表示　：画像一覧の表示形式を設定します。
・「あり」に設定すると 12 枚のサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

タイトル表示　：画像表示画面で表示名を表示するかどうかを設定します。

番号表示　：画像表示画面でフォルダ内またはアルバム内での件数／総件数を表示するかどうかを設定します。

コメント表示　：画像表示画面でコメントを表示するかどうかを設定します。

小さい画像の拡大：表示領域よりも小さい画像を表示したとき、表示領域いっぱいに拡大表示するかどうかを設定します。
・「あり」に設定すると、画像の縦横比を保持したまま画像を拡大表示します。

大きい画像の縮小：表示領域よりも大きい画像を表示したとき、表示領域に合わせて縮小表示するかどうかを設定します。
・「あり」に設定すると、画像の縦横比を保持したまま画像を縮小表示します。

効果音再生　：画像を表示したとき、画像に設定されている効果音を再生するかどうかを設定します。

4 [📖] を押す

おしらせ

● 画像一覧、画像表示画面から設定する場合は、Menu を押して「動作設定」を選択します。

動画／ｉモーションを再生する

FOMA端末のデータBOXのｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを再生します。

- 画像サイズが48×48～320×240の動画／ｉモーション（MP4ファイル、ASFファイル）を再生できます。

1 待受画面で ⓞ 2 を押す

2 フォルダを選択する

ｉモーションの各フォルダには次のような動画／ｉモーションが保存されます。

カメラ：ビデオカメラやキャラ電で撮影した動画、サウンドレコーダーで録音した音声

ｉモード：サイトやｉモーションメールから取り込んだｉモーション

プリインストール：お買い上げ時に内蔵されている動画

データ交換：miniSDメモリーカードから移動／コピーした動画／ｉモーション、データ通信で受信した動画／ｉモーション

アルバム：他のフォルダから移動した動画／ｉモーション
- アルバムを作成すると表示されます ☛P401

■ **miniSDメモリーカードの動画／ｉモーション一覧に切り替えるとき**

① **ⓘを押す**
- miniSDメモリーカードの操作方法 ☛P397

3 再生する動画／ｉモーションにカーソルを合わせる

サムネイル表示

タイトル表示

動画／ｉモーション一覧では、カーソル位置のファイルの表示名と動画／ｉモーションの詳細を示すマークが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。

① **取得元**
：プリインストール　：ｉモード　：カメラ
：データ交換　：キャラ電

② **再生制限**
：再生制限なし　：回数制限あり
：期限制限あり　：期間制限あり

③ **ファイルの種類**
MP4：MP4　MP4：しおり付きMP4

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

④ **ファイル制限**

（青）　：メール添付・FOMA 端末外出力可

（グレー）：メール添付・FOMA 端末外出力不可

- サウンドレコーダーで録音した音声、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、FOMA カード動作制限機能が設定されている動画／ｉモーションは、サムネイル表示ではで表示されます。
- を押すたびにタイトル表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 表示名などを変更できます。☛P405

■ **動画／ｉモーションをメールに添付して送信するとき（ｉモーションメール）**

① **送信する動画／ｉモーションにカーソルを合わせて を押す**

選択した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

- メールに添付できる動画／ｉモーションについて☛P261

4 を押す

動画／ｉモーション再生画面では、再生する動画／ｉモーションの下に、動画／ｉモーションの再生状態や種類などを示すマークが表示されます。

- しおりを設定した動画／ｉモーションを選択した場合は、しおりの位置から再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとしおりの位置から再生されます。「いいえ」を選択すると先頭から再生されます。
- マークの意味は次のとおりです。

① **再生音量**：現在の音量を示します。

② **再生状態**

：再生中　：停止中　：一時停止中

③ **ファイルの種類**

：音声のみ　：音声＋映像

：テキストのみ　：映像＋テキスト

：映像のみ　：音声＋映像＋テキスト

：音声＋テキスト

④ **拡大／縮小表示**

：拡大表示中　：縮小表示中　表示なし：等倍表示中

- 動画／ｉモーションを拡大／縮小表示するかどうかは、動作設定で設定できます。☛P377

⑤ **再生時間**：現在の再生時間／総再生時間を数字とバーで示します。

- 動画／ｉモーションの再生中は次の操作ができます。

：一時停止／再開

：早送り再生

：音量調整

：停止

（停止中）：先頭から再生

／：一覧画面に戻る

■ **しおりを設定するとき**

① **を押し、「はい」を選択する**

- 既にしおりが設定されている場合は、破棄されて新しい位置にしおりが設定されます。
- 続けて再生するには を押します。
- しおりを解除するには、再生を停止させてから を押します。
- 再生制限が設定されているｉモーションや、他の機能から動画／ｉモーションを再生したときはしおりを設定できません。

■ **画像の縦横を切り替えて再生するとき（画像サイズが 320 × 240 以下の場合のみ）**

① **[*] を押す**

- [*] を押すたびに画像の縦横が切り替わります。

おしらせ

● アルバムに保存されている動画／ｉモーションをまとめて再生することもできます。☛P404
● 他の機能の影響により、動画／ｉモーションの保存時にサムネイル画像を取得できない場合があります。そのような動画／ｉモーションは、サムネイル表示では[画像]で表示されます。
● 着信やスケジュールアラームの鳴動など、動画／ｉモーションの再生中に他の機能が起動すると、再生が中断されます。他の機能を終了し [●] を押すと、中断した位置から再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、中断した位置から再生されます。「いいえ」を選択すると、先頭から再生されます。
● ｉアプリで動画／ｉモーションを再生しているときにメールやメッセージ R/F などを受信すると、正しく再生できないことがあります。
● プライバシーモード起動中（ｉモーションを「認証後に表示」に設定している場合）に動画／ｉモーションを再生する場合は、端末暗証番号の入力が必要になります。
● 音声電話通話中およびテレビ電話通話中は、動画／ｉモーションを再生できません。

ｉモーションに再生制限が設定されているとき

ｉモーションに再生制限が設定されている場合は、再生を開始する前に確認画面が表示されます。再生制限の種類と確認する内容は次のとおりです。

再生制限	状　態	確認内容
回数制限	再生回数残あり	「あと×回（× / 総再生回数）再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
	規定回数再生済み	「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。
期限制限	期限内	「（年 / 月 / 日 時 : 分）まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
	期限後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。
期間制限	期間内	「（年 / 月 / 日 時 : 分）～（年 / 月 / 日 時 : 分）まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
	期間前	「再生可能日前です。再生できません」と表示されます。[●] を押すと、動画／ｉモーション一覧に戻ります。
	期間後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

- 詳細情報参照で、残り再生回数、再生期限、再生期間を確認することができます。☛P405
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間を変更することはできません。
- 長い間電池パックを外していると、FOMA 端末で保持されている日付・時刻情報がリセットされることがあります。そのような場合、再生期限または再生期間が設定されているｉモーションは再生できなくなります。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

動画／ｉモーションを待受画面や電話帳などに設定する

- 映像のない動画／ｉモーション、再生制限が設定されているｉモーション、画像サイズが320×240を超えるｉモーションは待受画面に設定できません。
- 電話帳、着モーション（着信音）、着信画像には、画像サイズがSub-QCIF（128×96）、またはQCIF（176×144）の動画／ｉモーションを設定できます。ただし、電話帳、着信画像に設定できるのは映像のみの動画／ｉモーションのみです。
- 着モーション（着信音）および着信画像には、詳細情報の着信音設定および着信画面設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみ設定できます。☛P405

1 待受画面で [○][2] を押し、フォルダを選択する

2 設定する動画／ｉモーションにカーソルを合わせて [Menu][2] を押す

3 設定する項目を選択する

■ **待受画面に設定するとき**

① **[1] を押して「はい」を選択する**

- 拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、選択した動画／ｉモーションが待受画面に設定されます。
- 動画／ｉモーションを待受画面に設定したときの動作☛P136

■ **電話帳に新規登録するとき**

① **[2] を押す**

- 電話帳登録について☛P104

■ **既に登録されている電話帳に更新登録するとき**

① **[3] を押す**

② **更新する電話帳データを選択する**

- 既に動画／ｉモーションが設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

■ **着モーションに設定するとき**

① **[4] を押し、[1] ～ [6] を押す**

■ **メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき**

① **[4] を押し、[7] または [8] を押す**

② **メモリ指定着信音を設定する電話帳データを選択する**

③ **内容を確認して [□] を押す**

- 既に着信音が設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。
- メモリ番号入力について☛P116「登録内容を修正する」操作4

■ **着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定するとき**

① **[5] を押し、[1] または [2] を押す**

- 既に着信画像が設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

おしらせ

● 自端末で撮影した動画を赤外線通信やデータリンクソフトを使用してパソコンや他のFOMA端末に転送してからもう一度自端末に戻したものや、miniSDメモリーカードに直接保存した動画を自端末にコピー／移動したものは、着モーションや発着信画像に設定できません。

動画／ｉモーションを編集する

静止画の切り出しや任意の範囲の切り出しなど、ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを編集します。

・編集できる動画／ｉモーションは次のとおりです。
　・自端末で撮影した動画
　・自端末で撮影した動画以外の動画／ｉモーションで、ファイル制限がないもの
・再生制限付きのｉモーション、プリインストールされている動画／ｉモーションは編集できません。また、ファイルのフォーマットなどにより編集できない動画／ｉモーションがあります（ASF形式の動画など）。
・編集中に動画／ｉモーションを再生したときのマークの意味とキー操作について☛P369

キャプチャを作成する

動画／ｉモーションの再生中に任意の位置を指定し、静止画として切り出します。

・テロップは作成したキャプチャに表示されません。

1 待受画面で ◎ 2 を押し、フォルダを選択する

2 キャプチャを作成する動画／ｉモーションを選択する

選択した動画／ｉモーションが再生されます。

3 再生中の任意の位置で Menu 3 を押す

一時停止になります。

4 画像を確認して 📖 を押す

キャプチャが作成され、マイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

・続けてキャプチャを作成するには、◎ を押して再生を再開してから、操作3～4を繰り返します。

■ キャプチャをメールに添付して送信するとき

① ✉ を押す

キャプチャがマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存され、キャプチャが添付されているメール作成画面が表示されます。

・キャプチャのファイルサイズが9000バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けることができます。
・キャプチャの画像サイズやファイルサイズによっては、メールに添付できません。☛P262

おしらせ

● 一時停止中または再生終了後でもキャプチャを作成することができます。
● キャプチャとして作成した静止画ファイルをメールに添付して、mova 端末に送信すると、相手は URL 付きのメール（ｉショットメール）として受信します。

動画を切り出す

動画／ｉモーションを先頭から任意の位置まで切り出します。

1 待受画面で ◎ 2 を押し、フォルダを選択する

2 切り出す動画／ｉモーションにカーソルを合わせて Menu 4 1 を押す

選択切り出しモードになり、が表示されます。

■ 切り出す動画／ｉモーションにテロップが挿入されているとき

テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、選択切り出しモードになります。

- 切り出す位置によっては、テロップが削除されることがあります。

3 ◎ を押し、切り出しを終える位置で ◎ を押す

切り出し中は、現在のファイルサイズ／最大ファイルサイズが表示されます。

- 切り出しの操作をやり直すときは クリア または クリア を押します。
  再生中に切り出しを中断するときは Menu を押します。
- 動画／ｉモーションを最後まで切り出すと、操作４の画面が表示されます。

■ 切り出しサイズの上限を設定するとき

- 切り出し元のファイルサイズが290Kバイトより大きいときのみ設定できます。

① **Menu を押す**

② **「メール添付（小）」（290Kバイト）、「メール添付（大）」（490Kバイト）または「設定なし」（編集元の動画／ｉモーションのファイルサイズ）を選択する**

- 切り出し中の動画／ｉモーションのファイルサイズが設定した切り出しサイズの上限に達したときは、自動的に切り出しを終了します。
- 編集元の動画／ｉモーションのファイルサイズが490Kバイトを超える場合は、「設定なし」に設定できません。

4 表示名を入力して ◫ を押す

切り出した動画／ｉモーションが、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ 切り出した動画／ｉモーションを再生するとき

① **◎ を押す**

■ 切り出した動画／ｉモーションをメールに添付して送信するとき

① **◎ を押す**

元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存され、切り出した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

- メールに添付できる動画／ｉモーションについて☞P261

おしらせ

● 同じ動画／ｉモーションから複数切り出すことができます。

ファイルサイズを指定して切り出す

動画／ｉモーションを先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。
- 指定できるファイルサイズは10～490Kバイトです。
- 指定できるファイルサイズの上限は、切り出す動画／ｉモーションにより異なります。

1 待受画面で ◎ 2 を押し、フォルダを選択する

2 切り出す動画／ｉモーションにカーソルを合わせて Menu 4 2 を押す

■ **切り出す動画／ｉモーションにテロップが挿入されているとき**

テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、サイズ切り出しモードになります。
- 切り出す位置によっては、テロップが削除されることがあります。

3 切り出すサイズを入力する

サイズ切り出し
切り出すサイズを
入力してください
(10～285Kﾊﾞｲﾄ)
切り出しサイズ(Kﾊﾞｲﾄ)
10
元サイズ:286Kﾊﾞｲﾄ

■ **メール添付サイズに設定するとき**
- 切り出し元のファイルサイズが290Kバイトより大きいときのみ設定できます。

① **Menu を押す**

② **「メール添付（小）」（290Kバイト）または「メール添付（大）」（490Kバイト）を選択する**
- 「メール添付（小）」に設定すると「290」が、「メール添付（大）」に設定すると「490」が、切り出しサイズの入力欄に自動的に設定されます。

4 表示名を入力して 📖 を押す

ｉモーションの保存
表示名を
入力してください
20050415171233
ファイルサイズ
10Kﾊﾞｲﾄ
中断 再生 選択 保存 作成

切り出した動画／ｉモーションが、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。
- 表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ **切り出した動画／ｉモーションを再生するとき**

① **📷 を押す**

■ **切り出した動画／ｉモーションをメールに添付して送信するとき**

① **✉ を押す**

元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存され、切り出した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。
- メールに添付できる動画／ｉモーションについて ☛P261

おしらせ
- 同じ動画／ｉモーションから複数切り出すことができます。
- サイズ切り出しした動画／ｉモーションは、指定したファイルサイズよりも小さくなることがあります。

テロップを作成する

- テロップは最大10個挿入できます。
- 既に挿入されているテロップの内容を変更することはできません。新しくテロップを挿入するには、既に挿入されているテロップをすべて削除してから行います。
- 挿入できるテロップ数は、テロップを挿入する動画／ｉモーションにより異なります。

1 待受画面で ◎ 2 を押し、フォルダを選択する

2 テロップを挿入する動画／ｉモーションにカーソルを合わせて Menu 4 3 1 を押す

- 既にテロップが挿入されている場合は、削除して新しいテロップを作成するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、既に挿入されているすべてのテロップが削除されます。

■ テロップを削除するとき

① **Menu 4 3 2 を押して「はい」を選択する**

挿入されているすべてのテロップが削除されます。操作9に進みます。

3 各項目を選択して設定する

表示間隔 ：テロップの配置のしかたを設定します。
- 「ユーザ指定」に設定すると、テロップを配置する位置を任意に指定できますが、テロップ数は指定できません。
- 「等間隔」に設定すると、動画／ｉモーションの再生時間内に、テロップ数で指定した数のテロップが等間隔で挿入されます。

テロップ数 ：表示間隔を「等間隔」に設定したときのテロップ数を1～10の範囲で入力します。

4 📖 を押す

- 表示間隔を「ユーザ指定」に設定したときは ◉ を押します。テロップ挿入モードになり、▣が表示され、動画／ｉモーションが再生されます。
- 表示間隔を「等間隔」に設定したときは、操作7に進みます。

5 テロップの配置位置で ◉ を押す

テロップの配置位置が設定され、引き続き動画／ｉモーションが再生されます。◉ を押すたびに、テロップの配置位置が設定されます。

- テロップの配置位置の設定を終了するには 📖 を押します。
- 配置位置を9箇所設定するか、動画／ｉモーションの再生が終了すると、自動的にテロップの配置位置の設定を終了します。

6 「はい」を選択する

7 テロップ欄を選択して、テロップに表示する文字を入力する

テロップ編集
ﾃﾛｯﾌﾟ1（0～15秒）
ﾃﾛｯﾌﾟ2（15～30秒）
ﾃﾛｯﾌﾟ3（30～41秒）

・全角で最大 20 文字、半角で最大 40 文字入力できます。

■ テロップを装飾するとき

① 装飾するテロップにカーソルを合わせて ✉ を押す

② 各項目を選択して設定する

テロップ 1 ～ 10
：テロップ編集画面で入力した文字が表示されます。選択すると、文字を入力することもできます。

文字色　：文字の色を設定します。
・「指定なし」に設定すると、文字色は白になります。

背景色　：テロップの背景色を設定します。
・「指定なし」に設定すると、背景は黒になります。

スクロール動作
：文字のスクロール動作を設定します。
・「スクロール・イン」に設定すると、最初は見えない文字が移動しながら徐々に表示されます。
・「スクロール・アウト」に設定すると、最初は表示されている文字が移動しながら徐々に見えなくなります。
・「スクロール・イン&アウト」に設定すると、最初は見えない文字が移動しながら徐々に表示され、その後徐々に見えなくなります。
・「なし」に設定すると、文字はスクロールしません。

スクロール方向
：スクロール動作を「なし」以外に設定したときの文字のスクロール方向を設定します。

文字位置　：文字の表示位置を設定します。

文字サイズ：文字の大きさを設定します。

下線　：文字に下線を付けるように設定します。

点滅　：文字が点滅するように設定します。

③ [📖] を押す

8 [📖] を押す

・テロップを挿入する前の動画／ｉモーションのファイルサイズが 300K バイト以下の場合、テロップを挿入した後のファイルサイズが 300K バイトを超えると、メール添付（小）サイズを超える旨のメッセージが表示されます。そのままテロップを挿入する場合は ◉ を押します。

9 表示名を入力して [📖] を押す

テロップを挿入した動画／ｉモーションが､元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。
・表示名は全角・半角を問わず最大36文字入力できます。

■ **テロップを挿入した動画／ｉモーションを再生するとき**
① [📷] を押す

■ **テロップを挿入した動画／ｉモーションをメールに添付して送信するとき**
① [✉] を押す
元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存され､動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。
・メールに添付できる動画／ｉモーションについて ☛P261

動作設定

動画／ｉモーションの動作条件を設定する

お買い上げ時　一覧の画像表示：あり　表示画像の拡縮：なし　アルバムリピート再生：ON
照明設定：常灯　音量：レベル3　サラウンド：OFF

1 待受画面で [◎] [2] を押す

2 [Menu] [5] を押す

3 各項目を選択して設定する

一覧の画像表示
：動画／ｉモーション一覧の表示形式を設定します。
・「あり」に設定すると12枚のサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

表示画像の拡縮
：表示領域と再生する動画／ｉモーションのサイズが合わないときに、拡大／縮小表示するかどうかを設定します。
・「なし」に設定すると、拡大／縮小表示しません。ただし、表示領域より大きいサイズの動画／ｉモーションを再生したときは、縦横比を保持したまま表示領域に合わせて動画／ｉモーションを縮小表示することができます。
・「あり」に設定すると､縦横比を保持したまま表示領域に合わせて動画／ｉモーションを拡大／縮小表示します。

アルバムリピート再生
：アルバム再生時にリピート再生するかどうかを設定します。

照明設定　：ｉモーション起動中の照明の動作を設定します。
・「常灯」に設定すると、ｉモーション起動中は常に照明が点灯します。
・「端末設定に従う」に設定すると､照明設定(☛P144)に従って照明が点灯します。

音量　：動画／ｉモーション再生時の音量を設定します。

サラウンド：動画／ｉモーション再生時にサラウンド効果を有効にするかどうかを設定します。

4 [📖] を押す

つづく

おしらせ
- 動画／ｉモーション一覧から設定する場合は、Menu を押して「動作設定」を選択します。

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話利用時に自分の画像の代わりに相手の画面に表示させるキャラクタのことです。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かし、そのときの気持ちを手軽に表現できます。また、キャラ電を待受画面に設定して、待受時や不在着信があるときに特定のアクションを動作させたり、表示中のキャラ電の静止画や動画を撮影して保存することもできます。

- キャラ電によっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります。
- キャラ電はサイトなどからダウンロードして保存することもできます。

全体アクション：喜ぶ

全体アクション：愛情

パーツアクション：足　ジャンプ

キャラ電を表示する

お買い上げ時は次のキャラ電が「プリインストール」フォルダに保存されています。

ブンブン（Dimo）
©BVIG

女の子

男の子

1 待受画面で ◎ 4 を押す

2 フォルダを選択する

キャラ電の各フォルダには次のようなキャラ電が保存されます。

iモード：サイトから取り込んだキャラ電

プリインストール

：お買い上げ時に FOMA 端末に内蔵されているキャラ電

フォルダ：他のフォルダから移動したキャラ電

- フォルダを作成すると表示されます。☛P401

3 表示するキャラ電を選択する

キャラ電一覧では、各キャラ電の表示名とその詳細を示すマークが表示されます。

- マークの意味は次のとおりです。

① **取得元**

：iモード　：プリインストール

② **ファイル制限**

（グレー）：メール添付・FOMA 端末外出力不可

- 表示名などを変更できます。☛P405

■ **キャラ電を利用してテレビ電話をかけるとき**

① **利用するキャラ電にカーソルを合わせて を押す**

② **電話番号入力欄を選択して電話番号を入力し、 を押す**

- を押して電話帳から電話番号を入力することもできます。
- Menu を押して、発信方法や番号通知などの設定を変更することもできます。☛P56
- テレビ電話の操作のしかた☛P83

■ **キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定するとき**

① **代替画像に設定するキャラ電にカーソルを合わせて を押す**

- キャラ電表示画面で を1秒以上押しても、テレビ電話の代替画像に設定できます。

■ **キャラ電を待受画面に設定するとき**

① **設定するキャラ電にカーソルを合わせて Menu 4 を押す**

② **アクションの種類とアクション間隔を設定し、 を押す**

- 設定内容は「待受画面に設定したキャラ電のアクションを設定するとき」の操作②～④と同じです。☛P135

③ **「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択する**

- iアプリ待受画面が設定されている場合は、iアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、iアプリ待受画面を解除して、選択したキャラ電が待受画面に設定されます。

4 キャラ電を操作する

キャラ電は全体アクションで表示されます。ダイヤルキーを押すと、その数字に応じたアクションをします。

- アクションを中止するには、0 を押します。
- を押すと表示領域に合わせて拡大表示されます。 を押すと等倍表示されます。

アクションモード

■ **キャラ電を切り替えるとき**

① **Menu 9 1 を押し、フォルダを選択する**

② **表示するキャラ電を選択する**

■ **アクションを確認するとき**

① ✉ **を押す**

設定中のアクションモードのアクション一覧が表示されます。

・アクションを選択すると、キャラ電が動きます。

■ **アクションモードを切り替えるとき**

① ✉ **を1秒以上押す**

・✉を1秒以上押すたびに全体アクションACTIONとパーツアクションPARTSが切り替わります。

■ **お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧**

ブンブン（Dimo）

全体アクション	1	喜ぶ	4	ありがとう	7	ノーリアクション
	2	怒る	5	ラブラブ	8	バイバイ
	3	悲しむ	6	ごめんなさい	9	びっくり

女の子／男の子

全体アクション	1	喜ぶ	6	ダメ	#1	悩む
	2	ガッツポーズ	7	挨拶	#2	称える
	3	愛情	8	うなずく	#3	お願い
	4	怒る	9	さよなら	#4	あきれる
	5	泣く				

パーツアクション

	11	頭 右を向く（ループ）	21	胴体 右を向く（ループ）
	12	頭 左を向く（ループ）	22	胴体 左を向く（ループ）
	13	頭 上を向く（ループ）	23	胴体 後ろを向く（ループ）
	14	頭 下を向く（ループ）	24	胴体 前に傾く（ループ）
	15	頭 左右に振る	31	右手 挙げる（ループ）
	16	頭 上下に振る	41	左手 挙げる（ループ）
	17	頭 回転する	51	足 しゃがむ（ループ）
			52	足 ジャンプ

おしらせ

● キャラ電を編集したり、メール添付やデータ転送でFOMA端末外に保存することはできません。

● キャラ電表示中に電話をかけたり受けたりしたとき、通話終了後はキャラ電表示に戻りません。音声電話をかけたときはキャラ電一覧に、テレビ電話をかけたときは待受画面に戻ります。

● お買い上げ時に保存されているキャラ電を削除してしまった場合でも、iモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P331

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

キャラ電を撮影する

キャラ電の静止画や動画を撮影します。

- 撮影した静止画や動画は、カメラで撮影した静止画や動画と同様のファイル形式で保存されます。
  画像ファイルの保存形式☛P177

キャラ電撮影画面の見かた

① **撮影モード**
- ：静止画撮影モード
- ：動画撮影モード

② **保存先**※
- ：FOMA 端末
- ：miniSD メモリーカード

③ **撮影種別**
- ：映像＋音声
- ：映像のみ（マイクなし）
- ：映像のみ（マイクあり）
- ：静止画

④ **画像サイズ**
- ：（静止画／動画ともに固定）

⑤ **画質**※

静止画撮影時
- ：エコノミー
- ：スタンダード
- ：ファイン

動画撮影時
- ：LP
- ：STD
- ：HQ
- ：HQ ＋

⑥ **サイズ制限**

静止画撮影時
- ：制限なし

動画撮影時※
- ：メール添付（290K バイト）
- ：大容量メール添付（490K バイト）

※：静止画設定および動画設定で設定を変更できます。☛P384

静止画を撮影する

1 待受画面で [4] を押し、フォルダを選択する

2 撮影するキャラ電にカーソルを合わせて [ ] を押す

キャラ電撮影モードになります。

3 撮影種別に が表示されるまで を繰り返し押す

キャラ電の静止画撮影画面に切り替わります。

- 静止画撮影画面でもキャラクタを動かしたり、アクションを切り替えたりできます。☛P379 操作 4

■ キャラ電を切り替えるとき

① [Menu][1][1] を押す
② フォルダを選択する
③ 撮影するキャラ電を選択する

4 を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。☛P354

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、miniSD メモリーカードの「マイピクチャ」フォルダに保存されます。☛P397

■ 保存した静止画をすぐに確認するとき

① [ ] を押す
② 確認したい静止画を選択する
- 確認後 [クリア] または [クリア] を 2 回押すと、静止画撮影画面に戻ります。

■ 静止画設定で自動保存を「しない」に設定しているとき

静止画確認画面が表示されます。

- 静止画確認画面では次の操作ができます。
  - ：静止画の保存
  - [Menu]：保存先の切り替え
  - ：取消（保存せずに静止画を消去）
  - ：メール作成

おしらせ

- あらかじめ撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電を撮影した静止画は、編集・転送・メール添付ができません。
- キャラ電撮影中に電話をかけたり受けたりしたとき、通話終了後はキャラ電撮影に戻りません。音声電話をかけたときはキャラ電一覧に、テレビ電話をかけたときは待受画面に戻ります。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、キャラ電を撮影できません。保存されている画像を削除してから撮影してください。☛P397、P407
- 電話着信音量調整を「消音」に設定したり、マナーモードに設定したりすると、シャッター音は鳴りません。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

動画を撮影する

1 待受画面で ◎ 4 を押し、フォルダを選択する

2 撮影するキャラ電にカーソルを合わせて ☐ を押す

キャラ電撮影モードになります。

3 ☐ を押して動画の撮影種別を選択する

キャラ電の動画撮影画面に切り替わります。

動画＋音声：送話口からの音声付きでキャラ電を録画します。送話口からの音声に反応するキャラ電の場合は、音声に合わせて口を動かします。

動画のみ（マイクあり）
：キャラ電の映像のみを録画します。マイクは送話口からの音声に反応するキャラ電のみ有効となり、送話口からの音声に反応してキャラ電が口を動かします。音声は録音されません。

動画のみ（マイクなし）
：キャラ電の映像のみを録画します。マイクは無効となります。

- 動画撮影画面でもキャラクタを動かしたり、アクションを切り替えたりできます。☛P379 操作 4

■ **キャラ電を切り替えるとき**

① **Menu 1 1 を押す**

② **フォルダを選択する**

③ **撮影するキャラ電を選択する**

4 ☐ を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、動画が撮影されます。撮影を開始すると、☐が●に切り替わります。

- 撮影を一時停止するときは ☐ を押します。一時停止すると、●が ❚❚ に切り替わります。もう一度 ☐ を押すと、撮影を再開します。

5 ☐ を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影した動画が ｉ モーションの「カメラ」フォルダに保存されます。☛P368

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、miniSD メモリーカードの「動画」フォルダに保存されます。☛P397
- 動画の撮影中にファイルサイズが制限値を超えると、撮影が自動的に終了し、その時点までに撮影した動画が保存対象になります。

■ **保存した動画をすぐに確認するとき**

① ☐ **を押す**

② **確認したい動画を選択する**

- 確認後 クリア または クリア を 2 回押すと、動画撮影画面に戻ります。

■ 動画設定で自動保存を「しない」に設定しているとき

動画確認画面が表示されます。
・動画確認画面では次の操作ができます。
　：動画の保存
　Menu：保存先の切り替え
　：取消（保存せずに動画を消去）
　：動画の再生
　：メール作成

おしらせ

● 撮影中にキーを押したり充電を開始したりすると、操作音が録音されることがあります。
● 送話口からの音声に反応するキャラ電は、送話口からの音声の大きさによっては正しく動作しないことがあります。
● キャラ電やアクションの操作によっては、ファイルサイズに達する前に撮影を終了することがあります。
● 動画撮影画面の時間表示はサイズ制限に達するまでの目安を示しています。キャラ電やアクションの操作により誤差が生じます。
● あらかじめ撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電を撮影した動画は、編集・転送・メール添付ができません。
● 撮影中または一時停止中に電話がかかってくると、その時点で撮影が中止されます。動画設定の自動保存の設定に関わらず、中止するまでに撮影した動画が保存されます。
● 撮影中に電池が切れそうになると、電池アラーム音が鳴り、それまでに撮影された動画が自動で保存されます。このとき、保存した動画の最後に電池アラーム音が録音されることがあります。
● 動画の撮影中にアラームが起動した場合は、その時点で撮影が中止されます。自動保存を「する」に設定しているときは、中止するまでに撮影された動画が自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、確認画面が表示されます。このとき、保存した動画の最後にアラーム音などが録音されることがあります。
● 動画撮影待機中に電話をかけたり受けたりしたとき、通話終了後は動画撮影に戻りません。音声電話をかけたときはキャラ電一覧に、テレビ電話をかけたときは待受画面に戻ります。
● 動画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、キャラ電を撮影できません。保存されている動画を削除してから撮影してください。☛P397、P407
● 電話着信音量調整を「消音」に設定したり、マナーモードに設定したりすると、撮影確認音（シャッター音）は鳴りません。

静止画／動画の撮影動作を設定する＜静止画設定／動画設定＞

お買い上げ時　●静止画設定
画質：スタンダード　撮影確認音：確認音１　撮影後ファイル制限：なし　自動保存：する
保存先：本体　表示サイズ：拡大
●動画設定
品質：STD　サイズ制限：メール添付　撮影確認音：確認音１　撮影後ファイル制限：なし
自動保存：する　保存先：本体　表示サイズ：拡大

1 **キャラ電の静止画撮影画面／動画撮影画面で Menu 4 を押す**

2 **各項目を選択して設定する**

3 **を押す**

設定項目について

○：設定可　×：設定不可

項　目	静止画設定	動画設定	説　明
画質	○	×	撮影する静止画の画質を設定します。画質が良くなるほど静止画のファイルサイズは大きくなります。
品質	×	○	撮影する動画の品質を設定します。品質が良くなるほど動画のファイルサイズは大きくなります。
サイズ制限	×	○	撮影する動画のファイルサイズの制限値を設定します。撮影中の動画のファイルサイズが制限値を超えると、自動的に撮影を終了します。
撮影確認音	○	○	撮影確認音（シャッター音）を設定します。 ・撮影確認音（シャッター音）の選択中は音が鳴ります。
撮影後ファイル制限	○	○	メール添付やデータ転送によって他の携帯電話に静止画／動画を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に静止画／動画を送信することを制限するかどうかを設定します。 ・ダウンロードしたキャラ電であらかじめ「あり」に設定されている場合は、「なし」に設定できません。
自動保存	○	○	撮影した静止画／動画を自動で保存するかどうかを設定します。 ・「する」に設定すると、設定されている保存先に自動的に保存されます。 ・「しない」に設定すると、撮影後に確認画面が表示され、さまざまな操作を行えます。
保存先	○	○	保存先を設定します。
表示サイズ	○	○	キャラ電を表示領域に合わせて拡大表示するか、画面中央に等倍表示するかを設定します。 ・撮影画面を表示したときから有効になります。

おしらせ

● 撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電（自端末で撮影後ファイル制限を「あり」に設定した場合を除く）で撮影した静止画／動画は、編集・転送・メール添付ができません。

メロディを再生する

FOMA 端末のデータ BOX のメロディに保存されているメロディを再生します。

1 待受画面で ◎ 3 を押す

2 フォルダを選択する

メロディの各フォルダには次のようなメロディが保存されます。

iモード　：サイトや i モードメールから取り込んだメロディ

プリインストール
：お買い上げ時に FOMA 端末に内蔵されているメロディ

データ交換：バーコードリーダーで取り込んだメロディや、miniSD メモリーカードから移動／コピーしたメロディ、データ通信で受信したメロディ

アルバム　：他のフォルダから移動したメロディ
・アルバムを作成すると表示されます。☛P401

■ **miniSD メモリーカードのメロディ一覧に切り替えるとき**

① **⊡ を押す**

・miniSD メモリーカードの操作方法☛P397

3 再生するメロディにカーソルを合わせる

メロディ一覧では、各メロディの表示名とその詳細を示すマークが表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

① **取得元**

：i モード　　　：i モード＋ 3D サウンド対応
：データ交換　　：データ交換＋ 3D サウンド対応
：プリインストール
：プリインストール＋ 3D サウンド対応

・3D サウンドとは☛P129

② **ファイル制限**

（青）　：メール添付・FOMA 端末外出力可
（グレー）：メール添付・FOMA 端末外出力不可

・表示名などを変更できます☛P405

■ **メロディをメールに添付して送信するとき**

① **送信するメロディにカーソルを合わせて ✉ を押す**

・受信側が FOMA D901i 以外の場合、送信したメロディを正しく再生できないことがあります。

・メールに添付できるメロディについて☛P261

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

4 ◎を押してメロディを再生する

メロディ再生画面では、再生しているメロディの表示名と、再生位置や音量を示すマークが表示されます。
- マークの意味は次のとおりです。
  ① **再生バー**：ファイルサイズと現在の再生位置を示します。
  ② **再生音量**：現在の音量を示します。
- メロディの再生中は次の操作ができます。
  ◎：音量調整
  ◎：前後のメロディ再生
  クリア／◎／クリア：停止

おしらせ

● アルバムに保存されているメロディをまとめて再生することもできます。☛P404
● 動作設定でメロディの再生中にマルチイルミネーションランプを点滅させたり、FOMA 端末が振動するように設定できます。☛P388
● 音声電話通話中およびテレビ電話通話中は、メロディを再生できません。

メロディを着信音や保留音に設定する

1 待受画面で ◎ 3 を押し、フォルダを選択する

2 設定するメロディにカーソルを合わせて Menu 2 を押す

3 設定する項目を選択する

■ **音声電話、メール、チャットメール、メッセージ R/F、テレビ電話の着信音または通話保留音に設定するとき**
① 1 ～ 7 を押す

■ **メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき**
① 8 または 9 を押す
② メモリ指定着信音を設定する電話帳データを選択する
③ 内容を確認して ▭ を押す
- 既に着信音が設定されていたときは、選択したメロディに置き換わります。
- メモリ番号入力について☛P116「登録内容を修正する」操作 4

おしらせ

● メロディ再生画面から設定する場合は、Menu を押して「メロディの利用」を選択します。

メロディの動作条件を設定する

お買い上げ時　音量：レベル３　イルミネーションパターン：メロディ連動　バイブレータ：OFF
再生位置：フルコーラス再生　再生画面背景：標準　ステレオ・3Dサウンド：ON

1 待受画面で ◎ 3 を押す

2 Menu 5 を押す

3 各項目を選択して設定する

音量　：メロディ再生時の音量を設定します。

イルミネーションパターン
：メロディ再生時のマルチイルミネーションランプの点滅パターンを設定します。

バイブレータ　：メロディ再生時の振動パターンを設定します。

再生位置　：メロディ再生時、全体を再生するか一部分を再生するかを設定します。

再生画面背景　：メロディ再生時に背景に表示する画像を設定します。

ステレオ・3Dサウンド
：「ON」に設定すると、広がりや奥行きのある立体音響でメロディを再生します。
「OFF」に設定すると、立体音響のないモノラル再生となります。
・3Dサウンドとは☛P129

■ 再生時の背景画像を「マイピクチャ」から選択するとき

① 再生画面背景欄を選択して 2 を押す
② 画像選択欄を選択する
③ フォルダを選択する
④ 背景に設定する画像を選択する
・画像にカーソルを合わせて 📖 を押すと、画像が表示されます。

4 📖 を押す

おしらせ

● メロディ一覧およびメロディ再生画面から操作する場合は、Menu を押して「動作設定」を選択します。
● メロディによっては、イルミネーションパターンやバイブレータを「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。
● メロディによっては、再生位置を「ポイント再生」に設定しても、ポイント再生しないことがあります。

miniSD メモリーカードについて

FOMA 端末では、撮影した静止画や動画、メロディなどのデータを miniSD メモリーカードに保存したり、電話帳やスケジュールなどのデータのバックアップをとることができます。また、パソコンなどの外部機器で作成した動画を miniSD メモリーカードに保存し、FOMA 端末で再生したり（☛P552）、パソコンから miniSD メモリーカード内のデータを操作したりできます。（☛P481）

- miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。miniSD メモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていない miniSD メモリーカードは、FOMA 端末で初期化を行ってから使用してください。なお、初期化を中断した miniSD メモリーカードの動作は保証できません。☛P400
- パソコンなどで初期化した miniSD メモリーカードは、FOMA 端末では正常に使用できないことがあります。
- miniSD メモリーカード内の静止画は、直接アイコンや背景画像、待受画面には設定できません。FOMA 端末に移動／コピーしてから設定してください。
- FOMA 端末では 128M バイトまでの miniSD メモリーカードに対応しています（2004 年 12 月現在）。
  なお、最新の対応状況は次の方法でご確認いただけます。
  - FOMA 端末から ： i Menu の「メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」→「My D-style」の「D901i クイックマニュアル」
  - パソコンから ： 三菱電機株式会社のホームページ　http://www.MitsubishiElectric.co.jp/d901i/ の「FAQ」→「miniSD メモリーカード」
- FOMA 端末とパソコンを接続するには、FOMA USB 接続ケーブル（別売）が必要です。

miniSD メモリーカード使用時の留意事項

- データの保存中や削除中、使用状況確認中、初期化中は、miniSD メモリーカードを取り外したり、電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。データが破壊されることがあります。
- miniSD メモリーカードを取り付けている FOMA 端末に落下などの強い衝撃を与えると、miniSD メモリーカードが飛び出すことがあります。
- miniSD メモリーカードにラベルやシールを貼らないでご使用ください。
- miniSD メモリーカードの表面に傷、ゴミなどが付着していたり、カードが変形している状態で FOMA 端末に取り付けないでください。故障の原因となることがあります。
- データのコピー中、移動中、削除中や miniSD メモリーカードの初期化中、情報更新中は画面上部に ⇌ が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、i モード接続、データ通信などはできません。また、[⏎] を押して他の機能に切り替えることもできません。
- オールロック中、PIM ロック中は miniSD メモリーカードを使用できません。
- 他の機器から miniSD メモリーカードに保存したデータは、FOMA 端末で表示・再生できない場合があります。また、FOMA 端末から miniSD メモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できない場合があります。
- ご利用になる miniSD メモリーカードによっては、撮影した動画を保存した場合、動画に乱れが発生することがあります。
- miniSD メモリーカードに保存されたデータは、バックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

SD メモリーカード対応機器で使用するには

miniSD メモリーカードと miniSD メモリーカードアダプタを組み合わせると、miniSD メモリーカードを SD メモリーカード対応機器で使用することができます。

miniSD メモリーカードを miniSD メモリーカードアダプタの奥まで差し込みます。
- 取り外すときは反対の方向に引き出します。

■ 誤消去を防ぐには

miniSD メモリーカードと miniSD メモリーカードアダプタを組み合わせて使用する場合は、miniSD メモリーカードアダプタに付いている「誤消去防止スイッチ」を使用することにより誤消去を防ぐことができます。

誤消去防止
スイッチ
矢印の方向へ
ずらす。

「誤消去防止スイッチ」を「LOCK」の方向にスライドします。
- 先の細いもので動かしてください。
- miniSD メモリーカードを傷つけないように注意してください。

miniSD メモリーカードのフォルダ構成

■ FOMA 端末で表示したとき

miniSD メモリーカードのフォルダ構成は次のとおりです。データの種類によって保存先が分かれています。

項目名		保存されるデータ
データ BOX	**マイピクチャ**	カメラで撮影した静止画、DCF ※規格の JPEG、GIF
	その他の画像	DCF ※規格外の JPEG、アニメーション GIF
	動画	カメラで撮影した動画、ｉモーション
	メロディ	メロディ
PIM	**電話帳**	電話帳データ、電話帳のバックアップデータ
	スケジュール	スケジュールデータ、スケジュールのバックアップデータ
	受信メール	受信メールデータ、受信メールのバックアップデータ
	未送信メール	未送信メールデータ、未送信メールのバックアップデータ
	送信メール	送信メールデータ、送信メールのバックアップデータ
	メモ	メモデータ、メモのバックアップデータ
	Bookmark	ブックマークデータ、ブックマークのバックアップデータ

※：DCF は Design rule for Camera File system の略でファイルシステムの規格です。

おしらせ

● 横縦（または縦横）のサイズが 1224 × 1632 を超える静止画を miniSD メモリーカードに取り込んでも、FOMA 端末では表示できません。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

■ パソコンなどに挿入して表示したとき

FOMA 端末から miniSD メモリーカードにデータを移動／コピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接 miniSD メモリーカードに保存したときなどに、そのファイルに対応したフォルダが miniSD メモリーカードに自動的に作成されます。パソコンなどに挿入して miniSD メモリーカードの内容を表示した場合、次のようにフォルダとファイルが表示されます。
パソコンなどから miniSD メモリーカードにデータを保存するときは、次のファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存してください。保存先フォルダを間違えたり、異なるファイル形式のデータを保存したりすると、FOMA 端末では認識できません。

```
miniSDメモリーカード
 ├─DCIM（撮影画像、静止画［ファイル形式：JPEG<DCF※1規格>、GIF］）
 │  └─xxxD901I ------------------------------ yyyyxxxx.JPG、yyyyxxxx.GIF
 ├─SD_VIDEO（動画／iモーション）
 │  └─PRLzzz ------------------ MOLzzz.3GP※2、MOLzzz.MP4※2、MOLzzz.ASF
 ├─PRIVATE
 │  └─DOCOMO
 │     ├─STILL（アニメーション GIF、静止画［ファイル形式：JPEG<DCF※1規格外>］）
 │     │  ├------------------------------------ STILxxxx.JPG、STILxxxx.GIF
 │     │  └─SUDxxx※3 ------------------------- STILxxxx.JPG、STILxxxx.GIF
 │     ├─RINGER（メロディ［ファイル形式：MFI、SMF］）
 │     │  ├---------------- RINGxxxx.MLD、RINGxxxx.MID、RINGxxxx.SMF
 │     │  └─RUDxxx※4 ------ RINGxxxx.MLD、RINGxxxx.MID、RINGxxxx.SMF
 │     └─TABLE※5
 │        ├─RINGER
 │        ├─STILL
 │        ├─DCIM
 │        └─SD_VIDEO
 └─SD_PIM（電話帳、スケジュール、受信メール、未送信メール、送信メール、メモ、ブックマーク）
    └------ PIMxxxxx.VCF、PIMxxxxx.VCS、PIMxxxxx.VMG、PIMxxxxx.VNT、PIMxxxxx.VBM
```

※ 1： DCF は Design rule for Camera File system の略でファイルシステムの規格です。
※ 2： 拡張子が 3GP および MP4 のファイルは、MP4 形式として扱われます。
※ 3：「STILL」フォルダの空き容量がなくなると、「SUDxxx」フォルダが自動的に作成されます。
※ 4：「RINGER」フォルダの空き容量がなくなると、「RUDxxx」フォルダが自動的に作成されます。
※ 5： データを管理するフォルダです。このフォルダにあるファイルを削除したり、ファイル名を変更すると、FOMA 端末でデータを正しく表示できなくなります。

・フォルダ名、ファイル名はすべて半角です。フォルダ名の「D901I」の xxx には 100 ～ 999、「SUD」「RUD」の xxx には 001 ～ 999、ファイル名の「yyyy」「STIL」「RING」の xxxx には 0001 ～ 9999、「PIM」の xxxxx には 00001 ～ 65535 の重複しない任意の数字が入ります。yyyy には任意の文字（半角英数字）が入ります。zzz には 001 ～ FFF までの 16 進数の文字が入ります（16 進数では 1 つの桁を 0 ～ 9 と A ～ F の 16 種類の文字で表します）。

おしらせ

● パソコンなどで miniSD メモリーカードにコピーしたデータを FOMA 端末で利用するには、FOMA 端末で miniSD メモリーカードの情報更新をする必要があります。☛P400
● パソコンなどで miniSD メモリーカード内のフォルダ名を変更したり削除したりすると、FOMA 端末でデータを正しく表示できなくなります。

miniSD メモリーカードで利用できる静止画・動画・メロディのデータ

ファイル形式＼操作		miniSD メモリーカードへコピー／移動	FOMA 端末へコピー／移動	メール添付	内容表示
JPEG 形式の静止画	ファイルサイズ	無制限	500K バイト	500K バイト	1.5M バイト
	画像サイズ	無制限	1224 × 1632	無制限	1224 × 1632
GIF 形式の静止画	ファイルサイズ	無制限	500K バイト	10000 バイト	1.5M バイト
	画像サイズ	無制限	480 × 640	無制限	480 × 640
MP4、3GP 形式の動画／ｉモーション	ファイルサイズ	無制限	500K バイト	500K バイト	無制限
	画像サイズ	無制限	無制限	無制限	無制限
ASF形式の動画／ｉモーション	ファイルサイズ	不可	不可	不可	無制限
	画像サイズ	不可	不可	不可	無制限
MLD 形式のメロディ	ファイルサイズ	無制限	100K バイト	不可	100K バイト
MID、SMF 形式のメロディ	ファイルサイズ	無制限	100K バイト	10000 バイト	100K バイト

※メール添付の詳細については、「ファイルを添付する」（☛P261）を参照してください。

miniSD メモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

- miniSD メモリーカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- miniSD メモリーカードスロットには、miniSD メモリーカード以外は挿入しないでください。
- miniSD メモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- miniSD メモリーカードは正しく取り付けてください。miniSD メモリーカードを正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- miniSD メモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、miniSD メモリーカードが飛び出す場合があります。
- miniSD メモリーカードの表面に傷、ゴミなどが付着していたり、カードが変形している状態で FOMA 端末に取り付けないでください。故障の原因となることがあります。

miniSD メモリーカードの取り付けかた

❶ miniSD メモリーカードスロットのカバーを開く
❷ miniSD メモリーカードを、印字面を上にして、スロットにゆっくり差し込む
❸ miniSD メモリーカードを「カチッ」と音がするまでさらに差し込む
❹ miniSD メモリーカードスロットのカバーを閉じる

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

miniSD メモリーカードの取り外しかた

❶ miniSD メモリーカードスロットのカバーを開く
❷ miniSD メモリーカードを軽く押し込み手を放す
miniSD メモリーカードが少し飛び出します。
❸ miniSD メモリーカードをゆっくりと取り出す
まっすぐに取り出してください。
❹ miniSD メモリーカードスロットのカバーを閉じる

FOMA 端末と miniSD メモリーカードの間でデータをやりとりする

FOMA 端末と miniSD メモリーカードの間でデータをコピー／移動したり、FOMA 端末のデータを miniSD メモリーカードにバックアップします。
やりとりできるデータの種類と操作内容は次のとおりです。

データの種類		操作内容
データ BOX のデータ	静止画	1 件コピー、複数コピー、全件コピー 1 件移動、複数移動、全件移動
	動画／ i モーション	
	メロディ	
PIM データ	電話帳	1 件コピー、バックアップ、復元
	スケジュール	
	メール（受信、未送信、送信）	
	ブックマーク	
	メモ	バックアップ、復元

・miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。miniSD メモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

miniSD メモリーカードの保存容量を確認する

miniSD カード画面に、miniSD メモリーカードの最大保存容量や空き容量などが表示されます。ここで miniSD メモリーカードの空き容量を確認してデータのコピーやバックアップなどを行ってください。

1 待受画面で Menu 6 6 を押す

miniSDカード
1 データBOX
2 PIM
使用状況
使用領域： 848 KB
空き領域： 13,504 KB
全容量 ： 14,352 KB

使用状況 ：全容量に対する使用領域の割合をバーで示します。
使用領域 ：現在使用している容量を数値で示します。
空き領域 ：現在の空き容量を数値で示します。
全容量 ：FOMA 端末に取り付けている miniSD メモリーカードの全容量を数値で示します。

おしらせ

- データが 1 件も保存されていない状態でも使用領域が「0KB」にならない場合は、miniSD メモリーカードの初期化を行ってください。☛P400
- 実際に使用できる miniSD メモリーカードの容量は、miniSD メモリーカードに明記されている容量よりも少なくなります。
- miniSD メモリーカードの空き容量が少ない場合、データを保存できないことがあります。不要なデータを削除するか、別の miniSD メモリーカードを取り付け直してからデータを保存してください。

FOMA 端末のデータを miniSD メモリーカードにコピー／移動する

- 連写画像、パラパラマンガ、FOMA 端末外への出力が禁止されているデータはコピー／移動できません。
- PIM データの移動はできません。

例 静止画を miniSD メモリーカードにコピー／移動するとき

1 待受画面で ⓞ 1 を押し、フォルダを選択する

2 コピー／移動する静止画にカーソルを合わせて Menu 5 を押し、4 または 5 を押す

3 1 ～ 3 を押す

■ **複数コピー／複数移動のとき**

① **静止画を選択する**

- ⓞ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。
- ⓞ を押すたびにタイトル表示とサムネイル表示が切り替わります。

② **□ を押す**

4 「はい」を選択する

選択した静止画、またはフォルダ内に保存されているすべての静止画が、miniSD メモリーカードにコピー／移動されます。

- コピー／移動を中止するときは ⓞ を押します。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧から操作する場合は、[Menu]を押して「移動／コピー」→「miniSDカードへ移動」または「miniSDカードへコピー」→「１件移動」「複数移動」「全件移動」「１件コピー」「複数コピー」「全件コピー」を選択します。
- 電話帳一覧から操作する場合は、[Menu]を押して「赤外線／外部メモリ」→「miniSDへコピー」または「miniSDへバックアップ」を選択します。
- スケジュール一覧から操作する場合は、[Menu]を押して「赤外線／miniSD」→「miniSDへコピー」または「miniSDへバックアップ」を選択します。
- 受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧から操作する場合は、[Menu]を押して「移動／コピー」→「miniSDカードへコピー」→「1件コピー」または「バックアップ」を選択します。
- ブックマーク一覧から操作する場合は、[Menu]を押して「移動／コピー」→「miniSDカードへコピー」→「1件コピー」または「バックアップ」を選択します。
- 静止画をFOMA端末からminiSDメモリーカードに移動／コピーすると、データサイズが大きくなることがあります。ただし、静止画をminiSDメモリーカードからFOMA端末に移動／コピーした場合は、データサイズは変わりません。
- 電話帳をコピーしても、電話帳に登録されている静止画や動画はコピーされません。
- スケジュールに登録されているメンバーリストはコピーされません。
- 待受画面や着信音などに設定されているデータをminiSDメモリーカードに移動すると、待受画面や着信音などはお買い上げ時の設定に戻ります。

miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピー／移動する

データBOXのデータをFOMA端末にコピー／移動する

1 待受画面で[Menu][6][6][1]を押す

2 [1]～[4]を押し、コピー／移動するデータが保存されているフォルダを選択する

3 コピー／移動するデータにカーソルを合わせて[Menu][3]を押す

4 [1]～[6]を押す

■ **複数コピー／複数移動するとき**

① **データを選択する**

- [●]で選択／解除が切り替わり、[Menu]で全選択／全解除できます。
- 表示中のページの最大9件を選択できます。複数ページにわたっての選択はできません。

② **[□]を押す**

5 「はい」を選択する

選択したデータ、またはフォルダ内に保存されているすべてのデータがマイピクチャ、ｉモーション、メロディの各「データ交換」フォルダにコピー／移動されます。

- コピー／移動を中止するときは[●]を押します。

おしらせ

- データBOXのデータを検索して一覧画面を表示した場合、全件移動／全件コピーはできません。☛P398

PIMデータをFOMA端末にコピーする

- バックアップデータ（、、、、のマークが付いているデータ）はFOMA端末にコピーできません。

1 **待受画面で Menu 6 6 2 を押す**

2 **1 ～ 7 を押す**

3 **コピーするデータにカーソルを合わせて Menu 1 1 を押し、「はい」を選択する**

選択したデータがFOMA端末へコピーされます。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにバックアップする

FOMA端末の各PIMデータを、一括してminiSDメモリーカードにバックアップします。

1 **待受画面で Menu 6 6 2 を押す**

2 **1 ～ 7 を押す**

3 **Menu 1 4 を押す**

4 **端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する**

選択したPIMデータが1つのデータとしてminiSDメモリーカードにバックアップされます。

- バックアップを中止するときは を押します。中止すると、途中までバックアップしたデータは破棄されます。

miniSDメモリーカードのバックアップデータを復元する

miniSDメモリーカードにバックアップされている各PIMデータを、FOMA端末に復元します。

- バックアップデータを上書き復元すると、FOMA端末の各PIMデータは上書きされ、古いデータは消去されますのでご注意ください。

1 **待受画面で Menu 6 6 2 を押す**

2 **1 ～ 7 を押す**

3 **バックアップデータにカーソルを合わせて Menu 1 を押し、2 または 3 を押す**

追加復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータとは別のデータとして保存されます。
上書き復元すると、現在FOMA端末に保存されているデータを上書きします。

- バックアップデータのマークの意味は次のとおりです。
  - ：電話帳
  - ：スケジュール
  - ：受信メール、未送信メール、送信メール
  - ：メモ
  - ：ブックマーク

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

4 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

- 復元を中止するときは 🔘 を押します。中止する前に処理されたバックアップデータはFOMA端末に復元されます。

miniSDメモリーカード内のデータを表示する

- パソコンなどでminiSDメモリーカード内のデータを変更したり、削除したりすると、FOMA端末でminiSDメモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。そのような場合は、miniSDメモリーカードの情報を更新してください。☛P400

データBOXのデータを表示する

1 待受画面で Menu 6 6 1 を押す

2 1 ～ 4 を押す

3 フォルダを選択する

■ **FOMA端末のフォルダ一覧に切り替えるとき**

① 🔘 を押す

- 「マイピクチャ」「その他の画像」のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のマイピクチャのフォルダ一覧画面に切り替わります。
- 「動画」のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のｉモーションのフォルダ一覧画面に切り替わります。
- 「メロディ」のフォルダ一覧を表示しているときは、FOMA端末のメロディのフォルダ一覧画面に切り替わります。

4 確認するデータにカーソルを合わせる

- 🔘 を押すたびにサムネイル表示／タイトル表示が切り替わります（メロディデータを除く）。

■ **データをメールに添付して送信するとき**

① 送信するデータにカーソルを合わせて 🔘 を押す

■ **データの詳細情報を表示するとき**

① 詳細情報を表示するデータにカーソルを合わせて Menu 2 を押す

■ **データを1件削除するとき**

① 削除するデータにカーソルを合わせて Menu 4 1 を押す

②「はい」を選択する

■ **データを複数削除するとき**

① Menu 4 2 を押し、データを選択する

- 🔘 で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。
- 表示中のページの最大9件を選択できます。複数ページにわたっての選択はできません。

② 🔘 を押し、「はい」を選択する

■ **データを全件削除するとき**

① Menu 4 3 を押す

② 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

■ 指定したページにジャンプするとき
① [□] を押す
② ジャンプするページ数を入力する
- ページ数を入力しないときは 1 ページ目が表示されます。

■ miniSD メモリーカード内のデータを検索するとき
① [Menu][5] を押す
② 日付を入力して [□] を押す
- 検索を中止するには [●] を押します。

③ 表示するデータを選択する

■ 動画を連続再生するとき（動画データのみ）
① [Menu][6] を押す
- 連続再生中は次の操作ができます。
  [i] ／ [✉] ：前後の動画再生
  [●] ：一時停止／再開
  [◎] ：音量調整
  [□] ：連続再生停止

5 [●] を押してデータを確認する

- 静止画表示中の操作について ☛P355
- 動画再生中の操作について ☛P369
- メロディ再生中の操作について ☛P387

■「マイピクチャ」「その他の画像」の静止画のタイトルを非表示に切り替えるとき
① [□] を押す
- [□] を押すたびに非表示／表示が切り替わります。

PIM データを表示する

1 待受画面で [Menu][6][6][2] を押す

2 [1] ～ [7] を押す

3 確認するデータにカーソルを合わせる

■ データを 1 件削除するとき
① 削除するデータにカーソルを合わせて [Menu][2][1] を押す
②「はい」を選択する

■ データを複数削除するとき
① [Menu][2][2] を押し、データを選択する
- [●] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。
- 表示中のページの最大 9 件を選択できます。複数ページにわたっての選択はできません。

② [□] を押し、「はい」を選択する

■ データを全件削除するとき
① [Menu][2][3] を押す
② 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

■ 指定したページにジャンプするとき
① [□] を押す
② ジャンプするページ数を入力する
- ページ数を入力しないときは 1 ページ目が表示されます。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

■ miniSD メモリーカード内のデータを検索するとき

① Menu 3 を押す

② 日付を入力して 📖 を押す

・検索を中止するには ● を押します。

③ 表示するデータを選択する

4 ● を押してデータを確認する

・詳細画面については、それぞれの PIM データのページを参照してください。
・電話帳☛P115　・スケジュール☛P438　・メール☛P283　・ブックマーク☛P214

・1 件の PIM データを選択したときは、選択したデータの詳細が表示されます。

・バックアップデータを選択したときは、バックアップデータに含まれているすべてのデータがタイトルで一覧表示されます。

おしらせ

● miniSD メモリーカードに保存されている電話帳やスケジュールの詳細画面から、電話をかけたりメールを送信したりすることはできません。また、メールの詳細画面から返信、転送、編集、保護を行うことはできません。

● miniSD メモリーカードに保存されているスケジュールは、設定日時になってもアラームは鳴りません。

● メールの詳細画面で、メールアドレスにカーソルを合わせて Menu 3 1 を押すと電話帳に新規登録、Menu 3 2 を押すと電話帳に更新登録できます。また、添付されている画像やメロディにカーソルを合わせて Menu 4 1 を押すと表示／再生、Menu 4 2 を押すとタイトルを確認できます。
ただし、10000 バイトを超える静止画やｉモーションの表示、件数表示などは行えません。

miniSD メモリーカードを管理する

miniSD メモリーカードを初期化する＜初期化＞

既にデータを保存している miniSD メモリーカードの容量を空にしたり、新たに購入した miniSD メモリーカードを FOMA 端末で使用するときに、初期化します。

1 待受画面で [Menu][6][6] を押し、[📖] を押す

2 初期化の方法を選択する

簡易初期化： miniSD メモリーカード内のデータ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。miniSD メモリーカードが一度初期化済みで、miniSD メモリーカードに問題がない場合だけ実行してください。

完全初期化： miniSD メモリーカード内のデータ管理領域と、データ領域の両方を初期化します。新しく購入した miniSD メモリーカードを初期化するときなどに実行します。

3 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

- 初期化を中断するときは [CLR] を押します。

miniSD メモリーカードの情報を更新する＜情報更新＞

他の機器で miniSD メモリーカード内のデータを変更、追加、削除したことによって、FOMA 端末でデータを正しく表示できなくなったときに、miniSD メモリーカードの情報を更新します。データの種類ごとに情報を更新することができます。

- 情報更新を行うと「マイピクチャ」「その他の画像」「動画」に保存されているデータのタイトルがファイル名に変更されます。

1 待受画面で [Menu][6][6] を押し、[メール] を押す

2 情報を更新する項目を選択する

情報更新
1 □マイピクチャ
2 □その他の画像
3 □動画
4 □メロディ
5 □PIM

- [Menu] を押すと、全選択／全解除できます。

3 [📖] を押し、「はい」を選択する

- 情報更新を中断するときは [CLR] を押します。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

おしらせ

- ●miniSD メモリーカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。
- ●パソコンなどで miniSD メモリーカードにデータを保存した場合、FOMA 端末で管理テーブルを作成するために必要な空き領域が不足し、miniSD メモリーカードに保存したデータが FOMA 端末で正しく表示できなくなることがあります。

miniSD メモリーカードをチェックする<カードチェック>

miniSD メモリーカードに保存されているデータの不具合をチェックして、修復します。

1 待受画面で Menu 6 6 を押し、✉ を押す

2 「はい」を選択する

おしらせ

- ●miniSD メモリーカードの状態によっては、データを修復できないことがあります。

アルバムを利用する

アルバムを利用してカテゴリごとにデータを整理したり、アルバムのデータをまとめて再生したりします。

- キャラ電ではアルバムを「フォルダ」と表記しています。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダは、名前の変更や削除ができません。

アルバムを作成する

- アルバムはマイピクチャで最大 100 個、i モーション・メロディ・キャラ電で最大 10 個作成できます。
- お買い上げ時、アルバムはありません。

例 マイピクチャのアルバムを作成するとき

1 待受画面で ◎ 1 を押す

2 Menu 1 を押す

■ **アルバム名を変更するとき**

① **変更するアルバムにカーソルを合わせて Menu 2 を押す**

■ **アルバムを削除するとき**

① **削除するアルバムにカーソルを合わせて Menu 3 を押す**

- 削除するアルバムにデータが保存されているときは、端末暗証番号を入力します。

② **「はい」を選択する**

3 アルバム名を入力して 📖 を押す

- 全角で最大 10 文字、半角で最大 20 文字入力できます。

つづく

おしらせ

- 動画／ｉモーション、メロディのフォルダ一覧から作成する場合は、Menu を押して「アルバム作成」を選択します。
- キャラ電のフォルダ一覧から作成する場合は、Menu を押して「フォルダ作成」を選択します。
- 既に作成されているアルバムと同じ名前のアルバムを作成することができます。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータが保存されているアルバムを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータが削除されたときは、音の設定や発着信画面の選択の設定に従って動作します。

データをアルバムに移動／コピーする

データをアルバムに移動する

固定フォルダのデータをアルバムに移動したり、アルバム間でデータを移動します。
・「デコメールピクチャ」以外の固定フォルダ間でデータを移動することはできません。
・「プリインストール」フォルダに保存されているデータは移動できません。

例 マイピクチャのデータを移動するとき

1 待受画面で ◎ 1 を押し、フォルダを選択する

2 移動するデータにカーソルを合わせて Menu 5 1 1 を押す

■ **データを複数移動するとき**

① **Menu 5 1 2 を押し、データを選択する**

- ◎ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。
- ◎ を押すたびにタイトル表示とサムネイル表示が切り替わります。

② **□ を押す**

■ **フォルダ内のすべてのデータを移動するとき**

① **Menu 5 1 3 を押す**

3 移動先のアルバムを選択し、「はい」を選択する

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧から操作する場合は、Menu を押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1 件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- 画像表示画面から操作する場合は、Menu を押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、Menu を押し「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1 件移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電一覧から操作する場合は、Menu を押し「移動」→「1 件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電表示画面から操作する場合は、Menu を押し「移動」を選択します。

アルバムのデータを元の固定フォルダに戻す

例 マイピクチャのアルバムのデータを元の固定フォルダに戻すとき

1 **待受画面で [1] を押し、アルバムを選択する**

2 **元に戻すデータにカーソルを合わせて [Menu][5][2][1] を押す**

■ **データを複数戻すとき**

① [Menu][5][2][2] **を押し、データを選択する**

- で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。
- を押すたびにタイトル表示とサムネイル表示が切り替わります。

② **を押す**

■ **アルバム内のすべてのデータを戻すとき**

① [Menu][5][2][3] **を押す**

3 **「はい」を選択する**

おしらせ

● 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧から操作する場合は、[Menu] を押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1 件戻す」「複数戻す」「全件戻す」を選択します。
● 画像表示画面から操作する場合は、[Menu] を押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」を選択します。
● メロディ再生画面から操作する場合は、[Menu] を押し「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1 件戻す」「全件戻す」を選択します。
●「デコメールピクチャ」フォルダで元の固定フォルダに戻す操作をすると、お買い上げ時に登録されている画像は「モード」フォルダに移動します。

データをコピーする

- 次のデータはコピーできません。
  - マイピクチャのパラパラマンガ、連写画像、「アイテム」フォルダ内の画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
  - 再生制限が設定されているｉモーション
  - メロディ
  - ファイル制限「あり」のデータ
  - キャラ電のキャラクタ

例 マイピクチャのデータをコピーするとき

1 **待受画面で [1] を押し、フォルダを選択する**

2 **コピーするデータにカーソルを合わせて [Menu][5][3] を押す**

コピーしたデータはコピー元のデータと同じアルバム内に保存されます。

おしらせ

● 動画／ｉモーション一覧、画像表示画面から操作する場合は、[Menu] を押し「移動／コピー」→「コピー」を選択します。
● アルバム内でコピーしたデータを固定フォルダに戻すと、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

アルバムごと再生する

ｉモーションおよびメロディのデータをアルバムごと再生できます。
・固定フォルダはアルバム再生できません。

1 **待受画面でｉモーションでは 2、メロディでは 3 を押す**

2 **再生するアルバムにカーソルを合わせて Menu 4 を押す**

3 **アルバムごと再生する**

動画／ｉモーションのアルバム再生画面

メロディのアルバム再生画面

アルバム再生画面では、再生位置や音量を示すマークが表示されます。
・マークの意味 ☛P369、P387

■ **動画／ｉモーションのアルバム再生時**

・次の操作ができます。

：一時停止／再開
／：前後のデータ再生
：音量調整
：停止

・動作設定のアルバムリピート再生を「ON」に設定している場合は、が表示され、アルバムがリピート再生されます。

■ **メロディのアルバム再生時**

・次の操作ができます。

：前後のメロディ再生
：音量調整
クリア／／クリア：停止

おしらせ

● マナーモード中にアルバム再生しようとすると、アルバム再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、動画／ｉモーションはｉモーションの動作設定、メロディはメロディの動作設定の音量の設定に従って再生されます。
● 再生制限が設定されているｉモーションは再生されません。

データの詳細情報を確認／変更する

表示名やファイルサイズなど、データの詳細情報を確認します。また、一部の情報は内容を変更することができます。

詳細情報を確認する

例 画像の詳細情報を表示するとき

1 待受画面で ◎ 1 を押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を確認する画像にカーソルを合わせて Menu 3 1 を押す

表示された画面で詳細情報を確認します。

- 📖 を押すと、詳細情報の一部を変更できます。

おしらせ

● 画像表示画面、動画／ｉモーション一覧画面、キャラ電一覧画面、キャラ電表示画面、メロディ一覧画面、メロディ再生画面から確認する場合は、Menu を押して「詳細情報」→「参照」を選択します。
● 動画／ｉモーション表示画面から確認する場合は、Menu を押して「詳細」を選択します。
● キャラ電撮影画面から確認する場合は、Menu を押して「詳細情報参照」を選択します。
● 詳細情報の表示で、動画／ｉモーションの着モーション／着信画像への設定可否を確認できます。
- 着モーションに設定できるのは、詳細情報の着信音設定が「可」になっている動画／ｉモーションです。自端末で撮影した、または自端末で撮影して編集した、音声のみの動画、映像と音声のある動画は、着信音設定が必ず「可」になっています。
- 着信画像に設定できるのは、詳細情報の着信画面設定が「可」になっている動画／ｉモーションです。自端末で撮影した、または自端末で撮影して編集した、映像のみの動画は、着信画面設定が必ず「可」になっています。
- 詳細情報の着信音設定および着信画面設定は、設定を変更することはできません。

詳細情報を変更する

例 画像の詳細情報を変更するとき

1 待受画面で ◎ 1 を押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を変更する画像にカーソルを合わせて Menu 3 2 を押す

3 各項目を選択して設定する

4 📖 を押す

おしらせ

● 画像表示画面、動画／ｉモーション一覧画面、キャラ電一覧画面、キャラ電表示画面、メロディ一覧画面、メロディ再生画面から変更する場合は、Menu を押して「詳細情報」→「変更」を選択します。
● 動画／ｉモーション、キャラ電、メロディの場合、「オリジナルに戻す」を選択すると、表示名を、あらかじめデータに設定されているオリジナルタイトルに戻せます。

表示項目と変更可否一覧

●：変更可　○：表示のみ　－：表示されない

表示項目	画像	動画／iモーション	キャラ電	メロディ	内　容
表示名	●	●	●	●	FOMA 端末で表示するタイトル ・変更する場合、メロディ以外では全角・半角を問わず最大 36 文字、メロディでは全角で最大25文字、半角で最大50文字入力できます。
タイトル	－	○	○	○	データにあらかじめ設定されていたオリジナルタイトル
ファイル名	●	●	○	●	データをメールに添付したときに表示されるファイル名 ・変更する場合、半角英数字、「．」、「 - 」、「 _ 」で、最大 36 文字入力できます。ただし、「．」はファイル名の先頭に入力できません。
種類	○	－	－	－	画像の種類
ファイル制限	●	●	○	●	メール添付によって他の携帯電話にデータを送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話にデータを送信することを制限するかどうか ・サイトなどからダウンロードしたメロディでは変更できません。
撮影後ファイル制限	－	－	○	－	キャラ電を撮影した静止画、動画にファイル制限を設定するかどうか
作成者	－	●	－	－	作成者の名前など ・自端末で撮影した動画では、自局番号に登録した名前が表示されます。自局番号に名前が登録されていない場合は設定されません。 ・変更する場合、全角・半角を問わず最大 256 文字入力できます。
コピーライト	－	●	－	－	著作者名や著作物の公表年月日など ・変更する場合、全角・半角を問わず最大 256 文字入力できます。
説明	－	●	－	－	動画／ｉモーションの説明 ・変更する場合、全角・半角を問わず最大 256 文字入力できます。
ファイル種別	○	○	－	○	ファイルの種別（Flash 画像では「---」）
音	－	○	－	－	音声データの種別
表示サイズ	○	○	○	－	データの表示サイズ（Flash 画像では表示されません）
ファイルサイズ	○	○	○	○	データのファイルサイズ
再生時間	－	○	－	○	データの再生時間
保存日時	○	○	○	○	データを保存した日時
フレーム候補	●	－	－	－	画像をフレーム画像として貼り付け可能とするかどうか ・サイズが 352 × 288 を超える画像、およびアイテム画像と合成した画像は「する」に変更できません。
スタンプ候補	●	－	－	－	画像をスタンプ画像として貼り付け可能とするかどうか ・サイズが 210 × 210 を超える画像、およびアイテム画像と合成した画像は「する」に変更できません。
コメント	●	－	●	－	データの説明など ・変更する場合、全角・半角を問わず最大 100 文字入力できます。
着信音設定	－	○	－	－	動画／ｉモーションを着信音（着モーション）に設定できるかどうか
着信画面設定	－	○	－	－	動画／ｉモーションを着信画像に設定できるかどうか
再生制限	－	○	－	－	動画／ｉモーションの再生制限
取得元	○	○	○	○	データの取得元
故障時退避可否	○	－	－	○	お客様の FOMA 端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱窓口において移行できるかどうか※

※：万が一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

データ表示／編集／管理

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

おしらせ

- FOMA 端末外への出力が禁止されている画像（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）は、表示名以外の詳細情報を変更できません。
- 「プリインストール」フォルダに保存されているメロディは、表示名以外の詳細情報を変更できません。
- 画像や動画／ｉモーション、メロディによっては変更できない詳細情報があります。また、メロディによっては表示名の管理方法が異なることがあります。
- 画像の詳細情報のうちフレーム候補やスタンプ候補を「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。
- ファイル制限の設定に関わらず、自端末で撮影した静止画／動画、およびデータ転送や miniSD メモリーカードから取得した画像、動画／ｉモーション、メロディは、メールに添付したり、データ転送を行うことができます。
- miniSD メモリーカードに保存されているデータの詳細情報は、FOMA 端末で表示する内容と異なります。

データを削除する

・マイピクチャ・ｉモーション・メロディの「プリインストール」フォルダに保存されているデータは削除できません。

例 マイピクチャのデータを削除するとき

1 待受画面で ◎ 1 を押し、フォルダを選択する

2 削除するデータにカーソルを合わせて Menu 6 1 を押す

■ データを複数削除するとき

① **Menu 6 2 を押し、データを選択する**

- ◎ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。
- ◎ を押すたびにタイトル表示とサムネイル表示が切り替わります。

② **□ を押す**

■ フォルダ内のすべてのデータを削除するとき

① **Menu 6 3 を押す**

② **端末暗証番号を入力する**

3 「はい」を選択する

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧から操作する場合は、Menu を押し「削除」→「1 件削除」「複数削除」「全件削除」を選択します。
- 画像表示画面、キャラ電表示画面から操作する場合は、Menu を押し「削除」を選択します。
- メロディ再生画面から操作する場合は、Menu を押し「削除」→「1 件削除」「全件削除」を選択します。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータを削除したときは、音の設定や発着信画面の選択の設定に従って動作します。
- パラパラマンガを削除すると、パラパラマンガを構成している画像も削除されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除してしまった場合でも、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P331

ソート

データを並べ替える

お買い上げ時　対象：保存日時　順序：降順

一覧画面のデータの並び順を変更します。
・メロディのアルバムに保存されているデータは並べ替えられません。

例 マイピクチャのデータを並べ替えるとき

1 待受画面で ◎ 1 を押し、フォルダを選択する

2 Menu 7 を押す

3 各項目を選択して設定する

対象：並べ替えの方法を設定します。
順序：データの並び順を設定します。

4 □ を押す

おしらせ

● 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧から操作する場合は、Menu を押し「ソート」を選択します。
● 表示名に全角・半角の文字が混在していると、並び順が五十音順と一致しないことがあります。

赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動できます。
・オールロック、PIMロック、セルフモード設定中は、赤外線通信を行えません。
・赤外線通信とUSB接続は同時に使用できません。
・FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送受信できません。ただし、FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ（☛P406）および「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。
・赤外線通信中はデータ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード接続、データ通信などはできません。また、□ を押して他の機能に切り替えることもできません。
・本端末の赤外線通信機能はIrMC1.1に準拠しています。
・相手端末がIrMC1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。

赤外線通信を行うには

赤外線通信の通信距離は約20cm以内にしてください。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末は相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。

赤外線ポート

約20cm以内

FOMA端末のデータを赤外線受信するときの留意事項

- メールデータを全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名にはなりません。
- メールデータを受信したとき、受信メール、送信メール、未送信メールのメール連動型 i アプリ用フォルダに通常のメールデータが保存されることがあります。
- ブックマークデータを全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。
- D901i以外の端末からブックマークデータを受信した場合は、先頭のフォルダに保存されることがあります。
- 画像、動画／ i モーション、メロディの各データは全件受信できません。
- D901i以外の端末から画像、動画／ i モーション、メロディの各データを受信したとき、メモとして登録されることがあります。

D901iのデータをFOMA端末に赤外線送信するときの留意事項

- ファイルサイズの制限の違いにより、大きなサイズの画像、動画／ i モーション、メロディの各データを送信したとき、受信側で保存できない場合があります。

おしらせ

● 直射日光があたる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常に行えないことがあります。

赤外線通信を使ってデータを送信する

赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどに電話帳や自局番号などのデータを送信します。赤外線送信には、送信するデータを選択して 1 件ずつ送信する方法と、機能ごとのデータを全件送信する方法があります。
送信できるデータは次のとおりです。

データの種類	備　考
電話帳	• シークレット属性を設定した電話帳はシークレットモードにしないと 1 件送信できません。 • 全件送信すると、自局番号データも送信されます。 • ダイヤル発信制限中は送信できません。
スケジュール	• シークレット属性を設定したスケジュールはシークレットモードにしないと 1 件送信できません。 • 日付・時刻を設定していないと送信できません。
受信メール	―――
送信メール	
未送信メール	
メモ	
ブックマーク	• 相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。 • 全件送信すると、ブックマークは一覧の末尾から送信されます。
画像	• タイトルは全角で最大 9 文字、半角で最大 18 文字送信できます。最大文字数を超えた文字は消去されます。 • ファイルサイズが 500K バイトを超えるデータは送信できません。 • 全件送信できません。
動画／ i モーション	• タイトルは全角で最大 9 文字、半角で最大 18 文字送信できます。最大文字数を超えた文字は消去されます。 • 全件送信できません。
メロディ	• タイトルは全角で最大 25 文字、半角で最大 50 文字送信できます。最大文字数を超えた文字は消去されます。 • 全件送信できません。
自局番号	• 相手の機種によっては、画像が送信されない場合があります。

• あらかじめ相手の FOMA 端末を受信の状態にしておいてください。
• D901i 以外の端末や赤外線通信機器との通信では、データを正しく送受信できない場合があります。送信先で登録できない項目は破棄されます。

データを 1 件送信する

例 電話帳を 1 件送信するとき

1 電話帳を検索し、送信する電話帳にカーソルを合わせて Menu 8 1 を押す

2 「はい」を選択する

• 赤外線送信を中断するときは ◉ を押します。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

おしらせ

- ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、メモ一覧から操作する場合は、Menu を押し「赤外線送信」→「送信」を選択します。
- 画像一覧、動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧から操作する場合は、Menu を押し「赤外線送信」を選択します。
- スケジュール一覧から操作する場合は、Menu を押し「赤外線／miniSD」→「赤外線送信」を選択します。
- 自局番号の詳細画面から操作する場合は、Menu を押し「自局番号送信」を選択します。

データを全件送信する

電話帳、スケジュールなど、選択した機能のすべてのデータを赤外線送信します。

- 全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で４桁の認証パスワードを決めておいてください。「#」、「＊」は使用できません。

1 待受画面で Menu 6 5 1 を押す

2 1 ～ 7 を押す

3 端末暗証番号を入力する

4 ４桁の認証パスワードを入力する

入力した認証パスワードは「＊」と表示されます。

5 「はい」を選択する

- 赤外線送信を中断するときは ◉ を押します。

おしらせ

- ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、メモ一覧から操作する場合は、Menu を押し「赤外線送信」→「全件送信」を選択します。
- ブックマーク、送信メール、未送信メール、受信メールのフォルダ一覧から操作する場合は、Menu を押し「赤外線全件送信」を選択します。
- 電話帳一覧から操作する場合は、Menu を押し「赤外線／外部メモリ」→「赤外線全件送信」を選択します。
- スケジュールのカレンダーから操作する場合は、Menu を押し「赤外線／miniSD」→「赤外線全件送信」を選択します。
- データ送受信設定の電話帳の画像送信を「あり」に設定している場合は、電話帳データに登録されている静止画も一緒に送信されます。動画／ｉモーションは送信されません。
- 全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。

赤外線通信を使ってデータを受信する

赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどから、電話帳やメールなどのデータを受信します。受信したデータは直接FOMA端末に保存したり、赤外線受信のINBOXに一時的に保存して、受信したデータを確認してからFOMA端末に保存したりできます。
赤外線受信には、データを1件ずつ受信する方法と、機能ごとのデータを全件受信する方法があります。
受信できるデータは次のとおりです。

データの種類	保存場所	保存順
電話帳	電話帳 • 電話帳データを全件受信した場合、自局電話番号以外の自局番号データが上書きされます。 • ダイヤル発信制限中は受信できません。	最も小さい空きメモリ番号
スケジュール	スケジュール帳 • 日付・時刻の設定が必要です。	日時順
受信メール	受信メール	受信日時順
送信メール	送信メール	送信日時順
未送信メール	未送信メール	保存日時順
メモ	メモ帳	受信順
ブックマーク	Bookmark	一覧の先頭
動画／ｉモーション	ｉモーションの「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
メロディ	メロディの「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
画像	マイピクチャの「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
自局番号	電話帳	最も小さい空きメモリ番号

• 受信したデータの中に不正な文字などが含まれる場合、空白に置き換えられたり、切り詰められます。

データを1件受信する

相手側の機器に保存されている1件のデータを赤外線受信します。
• 500Kバイト以上のデータは受信できません。

1 待受画面で Menu 6 5 2 1 を押す

2 1 または 2 を押す

受信待機状態になり、⇌ ▮ が表示されます。

受信方式選択
1 保存確認あり
2 保存確認なし
[確認あり]通信終了後に保存確認を行います
[確認なし]受信中に本体内データに追加します

保存確認あり：受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。

保存確認なし：受信したデータはFOMA端末に保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、受信方式選択画面に戻ります。

3 「はい」を選択する

4 送信側でデータを 1 件送信する

- 赤外線受信を中断するときは ◉ を押します。
- 操作 2 で「保存確認あり」を選択した場合は、受信終了後、INBOX 画面が表示されます。データの保存方法☛P414　操作 2
「保存確認なし」を選択した場合は、受信終了後、操作 2 の画面に戻ります。

データを全件受信する

電話帳、スケジュールなど、機能ごとのすべてのデータを赤外線受信できます。

- 全件受信する場合は、受信側と送信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で 4 桁の認証パスワードを決めておいてください。「#」、「＊」は使用できません。

1 待受画面で Menu 6 5 2 2 を押す

2 1 または 2 を押す

受信待機状態になり、⇌ ▮ が表示されます。

全件受信方式選択
1 上書き確認あり
2 上書き確認なし
[確認あり] 通信終了後に保存確認を行います
[確認なし] 受信中に本体内データを上書きします

上書き確認あり：受信したデータは INBOX に一時的に保存されます。受信完了後、INBOX のデータ一覧が表示されます。

上書き確認なし：受信したデータはFOMA端末に上書き保存されます。受信完了後、INBOX は表示されず、全件受信方式選択画面に戻ります。

- 上書き保存すると FOMA 端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。
- 「上書き確認あり」を選択したときは、操作 5 に進みます。

3 「はい」を選択する

4 端末暗証番号を入力する

5 4 桁の認証パスワードを入力する

- 入力した認証パスワードは「＊」と表示されます。

6 「はい」を選択する

7 送信側でデータを全件送信する

- 赤外線受信を中断するときは ◉ を押します。
- 操作 2 で「上書き確認あり」を選択した場合は、受信終了後、INBOX 画面が表示されます。データの保存方法☛P414　操作 2
「上書き確認なし」を選択した場合は、受信終了後、操作 2 の画面に戻ります。

おしらせ

- 受信するデータの種類や件数によって受信時間は異なります。データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。

受信したデータを保存する

INBOX に保管されているデータを FOMA 端末に保存します。
- 1 件受信時に「保存確認あり」、全件受信時に「上書き確認あり」を選択した場合、赤外線通信を終了すると自動的に INBOX が表示されます。

1 待受画面で Menu 6 5 2 3 を押す

2 保存するデータを選択する

INBOX 1/1
田中昌子
会議
猫
ありがとう
元気?

- マークの意味は次のとおりです。
  - ／：電話帳 1 件データ／複数件データ
  - ／：ブックマーク 1 件データ／複数件データ
  - ／：メール 1 件データ／複数件データ
  - ：画像データ
  - ：動画／ｉモーションデータ
  - ：メロディデータ
  - ／：スケジュール 1 件データ／複数件データ
  - ／：メモ 1 件データ／複数件データ

■ データを 1 件削除するとき

① 削除するデータにカーソルを合わせて Menu 2 を押す

■ データを全件削除するとき

① Menu 3 を押し、端末暗証番号を入力する

3 「はい」を選択する

■ 複数件データを選択したとき

① 端末暗証番号を入力する

② 追加保存する場合は「追加」、上書き保存する場合は「上書き」を選択する

- 「上書き」を選択すると FOMA 端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。

おしらせ

- 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数が FOMA 端末の最大保存・登録件数より少なくなることがあります。
- メールをフォルダごとに保存できる機器から受信したメールデータの場合、メール連動型ｉアプリのフォルダに保存されることがあります。保存したメールデータを確認するには、保存されているメール連動型ｉアプリのフォルダを選択して Menu 1 を押してください。
- ToDo（用件を管理するリスト機能）データのみを全件保存すると、登録されているスケジュールはすべて削除されますのでご注意ください。

赤外線リモコン機能を利用する

赤外線リモコン用のｉアプリのソフトをダウンロードして、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用します。

- 各機器に対応したソフトをダウンロードしてください。キー操作はソフトによって異なります。
- セルフモード中および赤外線通信中は本機能を利用できません。
- 対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受けることがあります。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。

リモコン操作について

約4m

15度

FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。

おしらせ

●お買い上げ時に登録されているｉアプリのソフト「Gガイド番組表リモコン」を起動すると、FOMA端末を赤外線リモコンとして利用できます。☛P333

データ送受信設定

データ送受信時の動作を設定する

お買い上げ時　通信終了音：OFF　自動認証：なし　電話帳の画像送信：あり

赤外線通信やUSB接続によるデータ送受信時の動作を設定します。

1 待受画面で Menu 6 5 3 を押す

2 各項目を選択して設定する

通信終了音：通信終了時に終了音を鳴らすかどうかを設定します。
- 「ON」に設定しても、キー確認音を「OFF」に設定しているときは通信終了音は鳴りません。

自動認証：USB接続による通信時に、通信相手と認証コードを自動でやりとりするかどうかを設定します。
- 「あり」に設定するときは、端末暗証番号を入力し、4～8桁の携帯側認証コード（FOMA端末側）とパソコン側認証コード（相手側）を入力し、□を押してください。

電話帳の画像送信
：電話帳データの送信時に、電話帳に登録されている画像を一緒に送信するかどうかを設定します。

3 □ を押す

サウンドレコーダーで音声を録音する

録音画面とファイルについて

サウンドレコーダーを使用して音声の録音ができます。録音した音声はFOMA端末だけでなくminiSDメモリーカードに保存したり、ｉモードメールに添付して送信したりできます。

・miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。☛P389

録音画面の見かた

① **撮影モード**　：音声の録音モードであることを示します。

② **保存先**　：保存先を示します。☛P187

: FOMA 端末　: miniSD メモリーカード

③ **撮影種別**　：音声を録音することを示します。

④ **インジケータ**　：**録音待機中**

保存先の保存領域の使用率を示します。

・miniSD メモリーカードの保存領域の使用率は、音声が保存されていなくても 0 にならないことがあります。

録音時／一時停止中

サイズ制限で設定しているファイルサイズに対する録音したサイズの割合を示します。

⑤ **カウンタ**　：録音待機中は現時点で FOMA 端末または miniSD メモリーカードに保存できる音声の最大時間（目安）を示します。録音中は経過時間／残り時間（録音停止するまでの時間）（目安）を表示します。

⑥ **品質**　：保存する音声の品質を示します。☛P419

⑦ **サイズ制限**　：保存するファイルのサイズ制限値を示します。☛P420

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

音声ファイルについて

項　目	内　容
ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	AMR
拡張子	.3gp
タイトル	録音した日時が自動的に付けられます。 （例）2005年4月15日12時34分56秒に録音した場合 →20050415123456.3gp ・音声の録音後、表示名やファイル名を変更できます。☛P405 ・FOMA端末の日付・時刻が設定されていない場合、表示名、タイトル、ファイル名は「--------------」になります。
メール添付・出力	メールに音声を添付して送信したり、miniSDメモリーカードや専用のデータリンクソフトを利用してパソコンや他の端末に送ることができます。

音声の録音時間について

音声の録音時間は、品質、サイズ制限の設定によって変わります。

・品質、サイズ制限は動画／録音設定で設定できます。☛P186

■ FOMA端末に保存できる音声の録音時間（目安）

単位：分

項　目	品　質	ファイルサイズ制限	
		メール添付（290Kバイト）	大容量メール添付（490Kバイト）
1回あたりの録音時間	STD	約4	約7
	HQ	約3	約5
FOMA端末の最大録音時間	STD	約159	約159
	HQ	約104	約105

■ miniSDメモリーカードに保存できる音声の録音時間（目安）

単位：分

容　量	品　質	ファイルサイズ制限		
		メール添付（290Kバイト）	大容量メール添付（490Kバイト）	制限なし
16MB	STD	約230	約230	約230
	HQ	約150	約151	約151
32MB	STD	約475	約475	約475
	HQ	約311	約312	約312

音声を録音する

- 音声は送話口から録音されます。
- 周囲の騒音が少ない、できるだけ静かな場所で録音してください。
- 着信音量調整を「消音」に設定していたり、マナーモードを設定していても、録音確認音（シャッター音）は鳴ります。

1 待受画面で Menu 6 3 を押す

サウンドレコーダーが起動して音声録音モードになります。

- 動画／録音設定の撮影種別を「音声のみ」に設定してビデオカメラを起動しても、サウンドレコーダーが起動します。
- サウンドレコーダー起動時、マルチイルミネーションランプが点滅します。

2 または を押す

Sound Recorder
READY
待機中

音声録音画面

録音確認音（シャッター音）が鳴り、コンパクトライトが赤で 2 秒間隔で点滅し、録音が開始されます。録音を開始すると、が に切り替わります。

- 録音を一時停止するときは を押します。一時停止中はコンパクトライトが赤で点灯し、が ❚❚ に切り替わります。もう一度 を押すと、録音を再開します。
- 録音中、一時停止中はマルチイルミネーションランプが点滅します。

3 または を押す

録音確認音（シャッター音）が鳴り、音声の録音が終了します。
録音した音声が i モーションの「カメラ」フォルダに保存されます。☛P368

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、miniSD メモリーカードの「動画」フォルダに保存されます。☛P397
- 音声の録音中にファイルサイズが制限値を超えると、録音が自動的に終了し、その時点までに録音した音声が保存されます。
- 一時停止中に を押して録音を終了した場合は、その時点までに録音した音声が保存されます。

動画／録音設定の自動保存を「しない」に設定しているとき

音声を録音すると、録音した音声の確認画面が表示されます。

- 確認画面で操作できる機能は動画の撮影時と同じです。☛P185

■ 録音した音声を保存するとき

① を押す

■ 録音した音声をメールに添付して送信するとき

① を押す

録音した音声を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、録音した音声が FOMA 端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定していても、録音した音声は FOMA 端末に保存されます。
- 録音した音声のファイルサイズが 500K バイトを超える場合は、メールに添付できません。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

■ タイトルを変更するとき

① Menu 3 1 を押す

- 全角・半角を問わず最大 31 文字入力できます。

■ テロップを作成するとき

① Menu 3 2 を押し、「はい」を選択する

録音した音声が FOMA 端末に保存され、テロップの作成画面が表示されます。☛P375

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、テロップを作成できません。

■ 再生するとき

① 📖 を押す

■ 保存先を FOMA 端末／miniSD メモリーカードに切り替えるとき

① Menu 5 を押す

- 録音した音声のファイルサイズが 490K バイトを超える場合は、保存先を切り替えられません。

■ 保存されている音声を一覧表示するとき

① Menu 6 を押し、1 または 2 を押す

おしらせ

- ●サウンドレコーダーを利用する際の注意事項については、「ビデオカメラで動画を撮影する」のおしらせをご覧ください。☛P186
- ●録音した音声を再生する方法については、「動画／ｉモーションを再生する」をご覧ください。☛P368

録音時の設定を変更する

品質やサイズ制限など、音声に関する設定を変更します。

音声の品質を設定する

1 音声録音画面で ◎ を押し、品質のマークにカーソルを合わせる☛P418

品質のマーク

- 8 を押しても品質のマークを選択できます。

2 ◎ を押して品質を選択し、◎ を押す

STD 標準　：標準的な品質です。
HQ 高品質　：音質が良くなります。「STD（標準）」に比べて録音できる時間が短くなります。

- 8 を押しても品質が切り替わります。

ファイルサイズを制限する

1 音声録音画面で [←→] を押し、サイズ制限のマークにカーソルを合わせる ☛P418

Sound Recorder
READY
待機中
◂▸サイズ制限 ◆メール添付

サイズ制限のマーク

・[9] を押してもサイズ制限のマークを選択できます。

2 [↑↓] を押してサイズ制限を選択し、[●] を押す

メール添付：ファイルサイズを290Kバイトに制限します。iモードメールに添付して既存の機種に送信できるファイルサイズです。

大容量メール添付
：ファイルサイズを490Kバイトに制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

∞制限なし　：ファイルサイズを制限しません。

・[9] を押してもサイズ制限が切り替わります。

おしらせ

● 動画／録音設定で保存先を「本体」に設定している場合、「制限なし」に設定できません。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

マルチアクセスによって、音声電話、パケット通信、ショートメッセージ（SMS）の 3 つの機能を同時に使用できます。

- マルチアクセスは音声電話とパケット通信のみに対応しています。
- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。☛P28
- 機能を実行中に ［◻］ を押して新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示し、新たな機能を起動したり、画面を切り替えたりできます。☛P424
- 同時に使用できる機能は次のとおりです。
  - ・音声電話：1 通信
  - ・ｉ モード、ｉ アプリ、ｉ モードメール、パソコンなどをつないだパケット通信：いずれか 1 通信
  - ・ショートメッセージ（SMS）：1 通信

おしらせ

● マルチアクセスの組み合わせ☛P546
● マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料金がかかります。
● 動画やアニメーションの再生中やカメラの操作中などにメールが自動受信されるなど、同時に多くの機能が実行されていると、画面がスムーズに動作しないことや、再生中の音声が途切れることがあります。

マルチアクセスでできる主な操作

通信中に ｉ モードメールや音声電話を受ける

通信中に ｉ モードメールやショートメッセージ（SMS）を受信したり、音声電話を受けたりすることができます。

例 通話中に ｉ モードメールを受信するとき

1 通話中にメールを受信する

メール受信中はディスプレイ上部に［i］と［✉］が点滅表示され、受信が完了すると［i］が点滅し、［✉］が表示されます。

- ［i］の点滅は自動的に止まります。

例 ｉ モード中・パケット通信中に電話を受けるとき

サイトを表示しながら、かかってきた音声電話を受けます。

- パソコンとつないだパケット通信中も、同様に電話を受けることができます。

1 ｉモード中またはパケット通信中に電話がかかってくる

着信中

090XXXXXXXX

- 電話がかかってきたときの画面は、優先通信モード設定によって異なります。☛P70

2 (通話) を押す

- 通話中画面とサイト画面を切り替えながら操作できます。☛P425
- サイト表示を終了するにはサイト画面で (PWR) を押し、「はい」を選択します。
- 通話を終了するには通話中画面で (PWR) を押します。

通信中に他の通信を行う

接続中の通信を中断せずに別の通信を同時に行えます。

例 通話中にｉモードに接続するとき

1 通話中に (メール) を押す

新 規
ダイヤル発信
1 メール
2 ｉモード
3 ｉアプリ一覧
4 電話帳・履歴
5 データBOX
6 ツール
7 ステーショナリー
0 自局番号

2 2 1 を押す

MENU
マイメニュー
週刊ｉガイド
メニューリスト
とくするメニュー
ｉエリア
かんたん検索
ｉアプリサーチ
便利サイトサーチ
マイボックス
オプション設定
お知らせ＆ヘルプ
料金＆お申込
ENGLISH

- 電話はつながったままなので、そのまま話せます。このとき、通話中画面に切り替え、スピーカーホン機能を使用すると、画面を見ながら話すことができます。☛P51
- 通話中画面とサイト画面を切り替えながら操作できます。☛P425
- サイト表示を終了するにはサイト画面で (PWR) を押し、「はい」を選択します。
- 通話を終了するには通話中画面で (PWR) を押します。

例 通話中にｉモードメールを送信するとき

1 通話中に (メール) を押す

2 1 2 を押す

メール作成<新規>

10000

ｉモードメールを送信すると通話中の画面に戻ります。
- 通話中画面とメール作成画面を切り替えながら操作できます。☛P425
- メール作成を終了するにはメール作成画面で (PWR) を押します。
- 通話を終了するには通話中画面で (PWR) を押します。

例 通話中にパケット通信を行うとき

1 通話中にパソコンから発信操作を行う

パケット通信が始まります。

- パケット通信実行時の画面は優先通信モード設定によって異なります。☛P70
- 電話はつながったままなので、そのまま話せます。このとき、通話中画面に切り替え、スピーカーホン機能を使用すると、画面を見ながら話すことができます。☛P51
- 通話を終了するには通話中画面で を押します。

例 ｉモード中・パケット通信中に電話をかけるとき

サイトを表示しながら、音声電話をかけます。

- パソコンとつないだパケット通信中も、同様に電話をかけることができます。

1 ｉモード中・パケット通信中に を押す

新規起動メニューが表示されます。

2 を押す

- 電話帳や着信履歴、リダイヤルから電話をかけるには、新規起動メニューから「電話帳・履歴」を選択します。

3 電話番号を入力して を押す

- サイト表示を終了するにはサイト画面で を押し、「はい」を選択します。
- 通話を終了するには通話中画面で を押します。

マルチタスク

マルチタスクについて

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。☛P28
- 機能を実行中に を押して新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示し、新たな機能を起動したり、画面を切り替えたりできます。
- 同時に実行できる機能は 2 つまでとなります。ただし、「ダイヤル発信」および「自局番号」の機能は、他の機能が 2 つ実行されていても、起動できます。
- マルチタスクで利用できる機能は、起動状況やロック設定の状況などによって、制限される場合があります。☛P548

新しい機能を実行する

通話中、通信中、操作中に別の機能を実行できます。

- 機能によっては同時に起動できないものや制限のあるものがあります。

例 通話中にスケジュールを表示／登録するとき

1 通話中に を押す

新規起動メニューが表示されます。

2 [7] [1] を押す

- 電話はつながったままなので、そのまま話せます。このとき、スピーカーホン機能を使用すると、画面を見ながら話すことができます。☛P51
- 実行中の操作により、選択できない機能があります。

3 スケジュールを表示／登録する

- スケジュールを終了するにはスケジュールの画面で [PWR] を押します。
- 通話を終了するには通話中画面で [PWR] を押します。

おしらせ

- 新規起動メニューから実行できる機能およびマルチタスクの組み合わせ ☛P548
- 赤外線送受信中、ソフトウェア更新中、パターンデータ更新（スキャン機能）中は、マルチタスクによる操作はできません。
- 動画やアニメーションの再生中やカメラの操作中などにメールが自動受信されるなど、同時に多くの機能が実行されていると、画面がスムーズに動作しないことや、再生中の音声が途切れることがあります。

操作する機能を切り替える

複数の機能を実行中に [切替] を押すと画面切替メニューが表示され、画面を切り替えながら操作できます。
- 画面切替メニュー表示中に [Menu] を押すと、新規起動メニューが表示されます。

例 通話中画面からサイト画面へ切り替えるとき

1 通話中に [切替] を押す

- 画面切替メニューには、実行中の機能が一覧表示されます。

2 「i モード」を選択する

- 通話中画面に戻すには、再度 [切替] を押し、画面切替メニューから「電話」を選択します。
- 画面切替メニュー表示中に [Menu] を押すと新規起動メニューが表示され、新しい機能を起動できます。再度 [Menu] を押すと画面切替メニューに戻ります。

画面切替メニューに表示される項目名

画面切替メニューの項目名は、メニューの項目名などと異なる場合があります。

項目名	対応する機能・画面
電話	音声電話
テレビ電話	テレビ電話
64K データ通信	64K データ通信
AV 通信	外部機器によるテレビ電話
ダイヤル入力	電話番号入力
メール	ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）（一覧画面や表示画面など）
メール作成	ｉモードメール、ショートメッセージ（SMS）（作成画面）
チャットメール	チャットメール
メッセージ R/F	メッセージ R/F
問合せ	ｉモードメール、メッセージ R/F、ショートメッセージ（SMS）のセンター問合せ
iモード	サイト、インターネットホームページ、ブックマーク、画面メモ
iアプリ	ｉアプリ（ソフトの一覧画面や実行中の画面）
PPP データ通信	パソコンとつないだパケット通信
iモーション	ｉモーション
メロディ	メロディ
マイピクチャ	マイピクチャ
カメラ	カメラ
ビデオカメラ	ビデオカメラ
サウンドレコーダー	サウンドレコーダー
電話帳	電話帳（登録画面、検索画面など）
メモ帳	メモ帳
スケジュール帳	スケジュール帳
電卓	電卓
着信履歴	着信履歴
リダイヤル	リダイヤル
miniSD カード	miniSD メモリーカード
キャラ電	キャラ電
バーコードリーダー	バーコードリーダー
ソフトウェア更新	ソフトウェア更新
パターンデータ更新	パターンデータ更新
SMS 受信	ショートメッセージ（SMS）の受信画面
iモードメール着信	ｉモードメール、メッセージ R/F の受信画面
通知（アラーム）	アラーム設定の設定時刻になったときのアラーム画面
通知（スケジュール）	スケジュールの設定日時になったときのアラーム画面
自局番号	自局番号
伝言メモ	伝言メモ
音声メモ	音声メモ

おしらせ

● マルチタスクの組み合わせ（☛P548）以外の組み合わせでは、画面を切り替えることはできません。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

実行中のすべての機能を終了する

マルチタスク中の全機能を一度に終了させます。

1 **マルチタスク中に [クリア] [電話帳] を押し、「はい」を選択する**

スライド編集設定

FOMA 端末を開いて編集画面を表示するように設定する

お買い上げ時　すべてON

FOMA 端末を開くだけで受信メールの返信画面やスケジュールの編集画面などを表示できるように設定できます。

1 **待受画面で [Menu] [8] [9] [7] を押す**

2 **設定する項目を選択し、[1] または [2] を押す**

受信メール　：受信メール一覧画面／受信メール表示画面で FOMA 端末を開いたとき、返信用のメール作成画面を表示するかどうかを設定します。

送信メール　：送信メール一覧画面／送信メール表示画面で FOMA 端末を開いたとき、編集用のメール作成画面を表示するかどうかを設定します。

未送信メール　：未送信メール一覧画面で FOMA 端末を開いたとき、編集用のメール作成画面を表示するかどうかを設定します。

チャットメール：チャットメール画面で FOMA 端末を開いたとき、送信する本文を入力する画面を表示するかどうかを設定します。

スケジュール　：カレンダー画面／デイリービュー画面でFOMA端末を開いたとき、スケジュールの新規作成画面を表示するかどうかを設定します。

メモ帳　：メモ一覧画面／メモ詳細画面で FOMA 端末を開いたとき、メモ帳編集画面を表示するかどうかを設定します。

3 **[電話帳] を押す**

スライド編集設定が設定されます。

おしらせ

- スケジュールを「ON」に設定すると、スケジュールの各詳細画面で FOMA 端末を開いたとき、編集画面が表示されます。

指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る

お買い上げ時　OFF

指定した時刻にFOMA端末の電源を自動的にONまたはOFFにします。

- 日付・時刻の設定が必要です。☛P46
- 自動電源ONと自動電源OFFとは同時刻に設定できません。

1 待受画面で Menu 8 5 2 を押す

■ **自動電源OFFを設定するとき**

① **待受画面で Menu 8 5 3 を押す**

2 各項目を選択して設定する

自動電源ON／OFF
：自動電源ON／OFFを設定／解除します。
- 「OFF」に設定すると、「時刻」、「繰り返し」は選択できません。

時刻　：自動的に電源をON／OFFにする時刻を設定します。
- 24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

繰り返し：自動電源ON／OFFの繰り返しを設定します。
- 「OFF」に設定すると、指定した時刻に一度だけFOMA端末の電源がONまたはOFFになり、自動電源ON／OFFの設定は解除されます。

3 □ を押す

おしらせ

- アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定している場合、スケジュールやアラームと自動電源ONを同時刻に設定すると、自動電源ON後にスケジュールやアラーム設定に設定した動作を行います。☛P429、P434
- PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定している場合は、自動電源ONによって指定した時刻に電源が入った後、PIN1コード入力の画面が表示されます。PIN1コード入力後、待受画面が表示されます。
- スケジュールやアラームと自動電源OFFを同時刻に設定すると、スケジュールやアラーム設定の動作後に自動電源OFFを行います。アラーム音やアラーム鳴動後スヌーズ動作が開始すると、スヌーズ動作を解除した後に自動電源OFFを行います。☛P429、P434
- 自動電源OFFにしても、待受中以外のときに指定した時刻になった場合には、電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了させて待受画面に戻った後、電源が切れます。ただし、待受画面からの端末暗証番号入力画面や、FOMA端末の電源を入れた際に表示されるPIN1コード入力画面を表示中に、指定した時刻になった場合は、電源は切れます。
- 病院、医療機関、航空機の中など使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく自動電源ONの設定も解除してください。

指定した時刻にアラームを鳴らす

お買い上げ時　OFF

指定した時刻に、アラームや振動などでお知らせします。1回のみ行うか、毎日繰り返し行うか、特定の曜日で繰り返して行うかを選択できます。また、アラーム、マルチイルミネーションランプの点滅パターン、バイブレータ動作を設定できます。

- 日付・時刻の設定が必要です。☛P46
- 電源がOFFのときは、指定した時刻になってもアラームは動作しません。電源がOFFのときにアラームを動作させるには、アラーム自動電源ON設定を行ってください。☛P431
- 設定項目のお買い上げ時は、時刻「00：00」、繰り返し「なし」、アラーム音「アラーム・アナログ時計」、音量「レベル4」、バイブレータ「OFF」、イルミネーションパターン「端末設定に従う」に設定されています。

アラームを鳴らす時刻や音などを設定する

1 **待受画面で Menu 7 3 を押す**

2 **1 ～ 9 を押す**

- アラームは9個まで登録できます。登録済みのアラームには、入力したタイトルが表示されます。

3 **各項目を選択して設定する**

設定 アラーム設定 音設
時刻 00:00
繰り返し なし
曜日選択
日 月 火 水 木 金 土
タイトル アラーム1

時刻　：アラームを設定する時刻を入力し、● を押します。
- 24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

繰り返し：1～3を押してアラームの繰り返し設定を選択します。
- 「3 曜日指定」を選択したときは、曜日選択欄を選択し、曜日を選択して ◫ を押します。

タイトル：アラーム設定のタイトルを入力し、● を押します。
- 全角で最大7文字、半角で最大14文字入力できます。
- お買い上げ時のタイトルは、「アラーム1」～「アラーム9」に設定されています。
- タイトルを入力しないとアラームを設定できません。

4 **◎ を押して音設定画面に切り替え、必要な項目を設定する**

ム設定 音設定 その他
アラーム音
アラーム・アナログ時計
音量
レベル4

アラーム音：「▯ モーションを選択」または「メロディを選択」を選択して、アラーム音を動画またはメロディから選択します。

音量　：アラームの音量を選択します。
- 音量の調整方法☛P67

5 を押してその他設定画面に切り替え、必要な項目を設定する

バイブレータ：アラーム時間になったときの振動を設定します。
イルミネーションパターン
：アラーム時間になったときのマルチイルミネーションランプの点滅パターンを設定します。

6 を押してアラームを登録する

・アラーム設定を設定すると、待受画面に または （スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。

■ アラームを解除するときは

① アラーム一覧から解除するアラームタイトルにカーソルを合わせて Menu を押す

・解除したアラームを再設定するには、Menu を押します。

■ アラームを編集するときは

① アラーム一覧から編集するアラームタイトルを選択する

② アラーム設定を編集する ☛P429

設定した時刻になると

設定した時刻になると、ディスプレイに下の画面または設定した動画／ｉモーションが表示され、設定した音量でアラームが鳴ります。また、イルミネーションやバイブレータを設定している場合は、その設定に従って動作します。

・アラーム鳴動中に を押すとアラームなどが止まり、鳴動前の画面に戻ります。
・アラーム鳴動中に約1分間何も操作をしないか または 以外を押すと、イメージを設定していた場合はディスプレイの表示はそのままで、動画／ｉモーションを設定していた場合は最初のコマが表示されてアラームなどが止まり、「1分間鳴った後、4分間停止」する動作（スヌーズ動作）を30分間繰り返します。
・設定した日時に通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。
  ・通話中の場合
    アラームではなく警告音が鳴り、アラーム画面が表示されます。また、バイブレータの振動で通知する設定になっていても、バイブレータは動作しません。
    通話保留中の場合は保留解除後に上記動作となります。
  ・電源を切っている場合
    設定した時刻になっても電源は入らず、アラームも鳴りません。鳴らしたい場合は、アラーム自動電源 ON 設定を「ON」に設定してください。☛P431
  ・データ送受信中（パケット通信の送受信中は除く）や電話の発着信・切断中に設定した時刻になった場合
    上記動作終了後にアラームが動作します。

おしらせ

- マナーモード中はアラームが鳴らず、アラーム設定で設定しているバイブレータが動作し、マルチイルミネーションランプが点滅します。
  オリジナルマナーモード設定で、バイブレータとアラーム／スケジュール音を「ON」に設定している場合は、アラーム設定に従います。
- アラーム設定の設定画面やアラーム一覧を表示している場合は、設定した時刻になってもアラームは鳴りません。
- 同時刻に複数のアラームを設定していると、アラーム一覧の一番若い項目番号に設定しているアラームが動作します。
- アラームとスケジュールアラームが同じ時刻に設定されていると、最初にアラームを通知する画面が表示されますが、すぐにスヌーズ動作となり、続けてスケジュールアラームが通知されます。◉ を押すとスケジュールアラームは終了しますが、アラームのスヌーズ動作は継続されています。
- アラームを設定していても、設定した時刻にキャラ電を表示している場合は、アラームの鳴動が数秒遅れる場合があります。
- オールロック中、PIM ロック中はアラームは動作しません。

アラーム自動電源 ON 設定

アラームが鳴る時刻に自動的に電源が入るように設定する

お買い上げ時　OFF

スケジュールやアラーム設定で指定した日時に電源が入っていなかったときは、電源を自動的に入れてスケジュールアラームや予告アラーム、アラームが鳴るように設定します。

1 待受画面で Menu 8 5 5 を押す

2 1 を押す

- 電源が OFF のときに、アラームの時間に自動的に電源を入れる必要がない場合は 2 を押します。

おしらせ

- PIN1 コード ON ／ OFF 機能を「ON」に設定している場合は、アラーム設定やスケジュールアラームで指定した時刻に電源が入りアラームが動作した後、PIN1 コード入力の画面が表示されます。PIN1 コード入力後、待受画面が表示されます。
  このとき、アラーム音にダウンロードしたメロディまたは i モーションを設定していても、プリインストールされているメロディ（アラーム設定は「アラーム・アナログ時計」、スケジュールアラームは「アラーム・女性ボイス」）でアラームが鳴ります。
- 病院、医療機関、航空機の中など使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなくアラーム自動電源 ON の設定も解除してください。

スケジュールを管理する

仕事の予定などを登録します。設定日時になると画面表示やアラーム音でお知らせします。

カレンダーを表示する

カレンダー画面から、スケジュールの表示ができます。

1 待受画面で[📖]を1秒以上押す

スケジュール用件アイコン
カーソル

お買い上げ時は、当日はピンク、土曜日は青、休日・祝日は赤で表示されます。

- 同じ日に複数のスケジュールが設定されている日は、その日の一番早い時刻に登録されているスケジュールの用件アイコンが表示されます。
  繰り返しのスケジュールが設定されている日付には、日付の右上に◥が表示されます。
  日付をまたいだ長期間スケジュールが設定されている日付には、日付の右上に⊾が表示されます。
- [◎]を押して日付を移動します。[●]を押すとデイリービュー画面が表示されます。
- [⊡]を押して前月、[✉]を押して翌月に切り替えます。
- カレンダーは、前回終了したときの設定で表示されます。

■ 特定の日を指定して表示するとき

① カレンダー画面で[Menu][4][2]を押す

② 年月日を入力する

- 指定した日付にカーソルが移動します。
- 当日の日付にカーソルを戻すときは[Menu][4][1]を押します。
- デイリービュー画面から操作する場合は[Menu][5][2]を押して操作します。当日の日付にカーソルを戻す場合は[Menu][5][1]を押します。

おしらせ

- カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- カラーテーマ設定により、表示される色は異なる場合があります。☛P145
- 休日や祝日を設定できます。☛P433、P434
- カレンダーの休日設定は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年6月22日・法律第59号）」に基づいています（2004年12月現在）。
  ただし、春分の日・秋分の日は、前年2月1日の官報で発表されるため、変更しなければならないことがあります。また、上記法律は2003年1月から施行されていますが、2002年までの海の日と敬老の日については改正前の日付では表示されませんのでご注意ください。

カレンダーの表示形式を設定する<カレンダーモード設定>

お買い上げ時　動作モード：マンスリーモード　表示モード：ノーマルモード

カレンダーの表示方法と表示形式を変更します。

1 待受画面で[📖]を1秒以上押す

2 Menu 6 1 を押す

3 各項目を選択して設定する

動作モード：カレンダーの表示方法を設定します。
- 「マンスリーモード」に設定すると、1ヶ月ごとに画面が切り替わります。前月と翌月の日付は背景の色が変わります。
- 「スライドモード」に設定すると、1週間ごとに画面がスクロール表示されます。偶数月と奇数月で背景の色が変わります。

表示モード：カレンダーの表示形式を設定します。
- 「ノーマルモード」に設定すると、日曜日が1週間の始まり（左側に表示）になります。
- 「ビジネスモード」に設定すると、月曜日が1週間の始まり（左側に表示）になります。

4 📖 を押す

設定したカレンダーモードでカレンダーが表示されます。

休日を設定する<休日設定>

会社や学校の休日を設定します。日にちや曜日を指定して設定できます。
- 日にちを指定して休日を設定する場合は、最大30件登録できます。

例 日にちを指定して休日を設定するとき

1 待受画面で 📖 を1秒以上押す

2 休日にする日にカーソルを合わせて Menu 6 2 1 を押す

- 休日に設定された日付の色が変わります（当日以外）。
- 毎年繰り返して休日にするときは Menu 6 2 2 を押します。

■ 休日設定を解除するとき

① **カレンダー画面で休日設定を解除する日にカーソルを合わせて Menu 6 2 3 を押す**
- 休日設定を全解除するときは Menu 6 2 4 を押します。

■ 曜日を指定して休日を設定するとき

① **カレンダー画面で Menu 6 3 を押す**

② **1 ～ 7 を押して休日に設定する曜日を選択する**
- 日曜日以外の曜日を選択したり、日曜日の選択を解除するとガイド行に「リセット」が表示されます。お買い上げ時の状態に戻すときは Menu を押します。

③ **📖 を押す**
- 曜日が1つも選択されていない状態で登録した場合は、自動的に日曜日が休日に設定されます。

その他の便利な機能

祝日を設定する<祝日設定>

祝日を変更したり、祝日を最大５件まで新規登録できます。

1 **待受画面で [📖] を 1 秒以上押す**

2 **[Menu] [6] [4] を押す**

■ **祝日を変更するとき**

① **変更する祝日を選択し、操作４に進む**

■ **祝日を削除するとき**

① **削除する祝日にカーソルを合わせて [Menu] を押し、「はい」を選択する**

- お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

3 **[📖] を押す**

4 **各項目を選択して設定する**

祝日名：祝日名を入力し、[●] を押します。
- 全角で最大 11 文字、半角で 22 文字入力できます。
- お買い上げ時に設定されている祝日の祝日名は変更できません。

表示　：[1] または [2] を押して設定した祝日の表示／非表示を選択します。

日付　：祝日に設定する日付を入力し、[●] を押します。
- お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、日付欄から「カスタマイズ」を選択してから日付を入力してください。

5 **[📖] を押す**

スケジュールを登録する

仕事の予定などを登録します。設定日時になると画面表示やアラーム音でお知らせします。
- 最大 300 件登録できます。同じ日に複数のスケジュールを登録できます。
- 日付・時刻の設定が必要です。☛P46

1 **待受画面で [📖] を 1 秒以上押す**

2 **スケジュールを登録する日にカーソルを合わせて [📖] を押す**

- デイリービュー画面から操作する場合も [📖] を押して操作します。
- スライド編集設定でスケジュールを「ON」に設定している場合、マンスリー画面から日付を選択するかデイリービュー画面を表示して FOMA 端末を開くと、登録画面が表示されます。

3 各項目を選択して設定する

設定 新規作成 メンバー	
予定	
終日	OFF
開始日時	
2005/04/15(金)	10:00
終了日時	
2005/04/15(金)	10:00
要約・メモ	

(用件アイコン)
: 用件アイコンを選択します。
- 選択したアイコンがスケジュールの先頭に表示されます。

予定(内容欄)：選択した用件アイコンに対応した内容が表示されます。必要に応じて内容を変更し、を押します。
- 内容変更後にアイコンを変更しても、内容は変更されません。
- 内容は全角で最大100文字、半角で最大200文字入力できます。

終日：時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するときは 1 を押します。
- 終日に設定しないときは 2 を押します。
- 終日に設定すると、デイリービュー画面のスケジュールの時刻表示部分には「終日」と表示されます。日付をまたいだ長期間スケジュールを終日に設定すると、日付表示部分の後ろに「終日」と表示されます。

開始日時：スケジュールの開始日時を入力し、を押します。
- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1～9のときは、前に0を付けます。
- 時刻は24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。
- 2060年12月31日まで設定できます。
- 「終日」を指定した場合は時刻を設定できません。

終了日時：スケジュールの終了日時を入力し、を押します。

要約・メモ：スケジュールの詳細などを入力し、を押します。
- メモは全角で最大300文字、半角で最大600文字入力できます。

4 を押してアラーム設定画面に切り替え、必要な項目を設定する

選択 アラーム設定 その	
アラーム	あり
	アラーム・女性ボイス
予告アラーム	なし
	パターン4
予告アラーム時間(分前)	
	5分

アラーム：アラームを設定するときは 1 を押します。
アラーム選択欄から「モーションを選択」または「メロディを選択」を選択して、アラーム音を動画またはメロディから選択します。
- スケジュール開始時刻にアラームを鳴らさないときは 2 を押します。
- アラームに映像のあるｉモーションを設定しているときに、イメージを「あり」に設定すると、アラームは標準のメロディになります。

予告アラーム：スケジュールの開始日時より前にアラームを設定するときは 1 を押します。
- 予告アラームの選択方法はアラームと同じです。
- 予告アラームに映像のあるｉモーションを設定しているときに、イメージを「あり」に設定すると、予告アラームは標準のメロディになります。

予告アラーム時間 (分前)

：予告アラームを「あり」に設定したときに、何分前に予告アラームを鳴らすかを、[1あ] ～ [5な] を押して設定します。

5 [◎] を押してその他の設定画面に切り替え、必要な項目を設定する

繰り返し：[1あ] ～ [6は] を押してスケジュールの繰り返し設定を選択します。

- スケジュールの開始年月日を「31 日」やうるう年の「2 月 29 日」などに設定し、繰り返し設定を「毎月」または「毎年」を選択した場合、該当する日が存在しない月、年には、その月、年の月末（「30 日」や「2 月 28 日」など）が繰り返し日となります。
- 「[6] 曜日指定」を選択したときは、曜日選択欄を選択し、曜日を選択して [📖] を押します。

イメージ：スケジュールアラーム画面にイメージを表示するときは、[1あ] を押して画像選択欄から静止画を選択します。

- イメージに Flash 画像は設定できません。
- アラームまたは予告アラームに映像のある i モーションを設定すると、イメージは「なし」になります。

6 [◎] を押してメンバーリスト選択画面に切り替える

7 「<メンバーリスト選択>」を選択し、登録するメンバーを選択する

- メンバーは最大 5 名まで登録できます。登録したメンバーリストから、電話をかけたりメールを送信したりできます。
- FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳を切り替えるには [📖] を押します。
- 電話帳の 1 件目に登録されている電話番号、メールアドレス、URL が登録されます。
- 同様にして、登録するメンバーをすべて選択します。

■ **メンバーを削除するとき**

① **削除するメンバーにカーソルを合わせて [Menu] を押す**

8 [📖] を押す

- アラームや予告アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面に または （アラーム設定も設定しているとき）が表示されます。

待受画面から簡単なキー操作でスケジュールを登録するには

① **待受画面でダイヤルキーを使ってスケジュールを登録する日時を 8 桁で入力し、[📖] を押す**

（例）4 月 15 日 12 時 34 分の場合：[0][4][1][5][1][2][3][4]

- 当日の時刻を入力するときは、時間 2 桁、分 2 桁の 4 桁を入力します。

② **スケジュールを登録する**

その他の便利な機能

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

おしらせ

- プライバシーモード起動中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要になります。
- スケジュール帳に登録した内容は、別にメモを取り、保管することをおすすめします。
  miniSD メモリーカードを利用して、スケジュールを保存できます。☛P393
  パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトと FOMA USB 接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。☛P551
- アラームを設定していても、設定した時刻にキャラ電を表示している場合は、アラームの鳴動が数秒遅れる場合があります。

スケジュールアラーム、予告アラームを設定していると

設定した日時になると、ディスプレイに日時、スケジュールの内容、設定したイメージや動画／ｉモーションが表示され、電話着信音量調整で設定した音量でアラーム音が鳴ります。
また、イルミネーションやバイブレータ設定を設定している場合は、その設定に従って動作します。

- 予告アラームを設定していると、開始日時の前に予告アラーム音が鳴ります。
- アラーム音鳴動中に を押すとアラーム音などが止まり、待受画面に戻ります。アラーム音鳴動中に 1 分間何も操作しないか、 または 以外を押すと、イメージを設定していた場合はディスプレイの表示はそのままで、動画／ｉモーションを設定していた場合は最初のコマが表示されてアラーム音などが止まります。 を押すと左の画面が消えます。設定した日時に通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。
  - 通話中の場合
    設定したアラーム音ではなく、警告音が鳴り、スケジュールアラーム画面が表示されます。このとき、バイブレータは動作しません。
    通話保留中の場合は保留解除後に上記動作となります。
  - 電源を切っている場合
    指定した日時になっても電源は入らず、アラーム音も鳴りません。鳴らしたい場合は、アラーム自動電源 ON 設定を「ON」に設定してください。☛P431
  - データ送受信中（パケット通信の送受信中は除く）や電話の発着信・切断中に指定した日時になった場合
    上記動作後にアラームが動作します。ただし、データ通信でスケジュールデータを受信した場合は動作しません。

おしらせ

- マナーモード中はアラーム音が鳴らず、バイブレータは「パターン A」で動作します。オリジナルマナーモード設定が設定されている場合は、バイブレータとアラーム／スケジュール音、電話着信音量の設定に従います。
- プライバシーモード起動中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、スケジュールアラーム、予告アラームは動作しません。
- イメージにパラパラマンガ、連写画像を設定している場合は、最初のコマが表示されます。
- 同日時に複数のスケジュールを設定していると、アラーム音などを停止してから、 を押して、同日時に設定していた他のスケジュール内容を確認できます。
- スケジュールアラームとアラームが同じ時刻に設定されていると、最初にアラームを通知する画面が表示されますが、すぐにスヌーズ動作となり、続けてスケジュールアラームが通知されます。 を押すとスケジュールアラームは終了しますが、アラームのスヌーズ動作は継続されています。
- オールロック中、PIM ロック中はスケジュールアラームは動作しません。

登録したスケジュールを確認する

登録したスケジュールを表示します。また、表示した画面から、スケジュールの追加や変更、削除を行います。

1 待受画面で[□]を1秒以上押し、確認するスケジュールの登録日を選択する

デイリービュー画面

- デイリービュー画面で[◎]を押すと、日付が切り替わります。

■ **特定の用件のスケジュールのみ表示するには**

① **待受画面で [□] を 1 秒以上押す**

② **[Menu][3][2] を押す**

- 全用件表示にするときは [Menu][3][1] を押します。

③ **用件アイコンを選択する**

用件が絞り込まれて表示されます。

- デイリービュー画面から操作する場合は、[Menu][4][2] を押します。全用件表示に戻す場合は [Menu][4][1] を押します。

2 確認するスケジュールを選択する

スケジュール詳細画面

■ **スケジュールを変更するとき**

① **スケジュール詳細画面で [□] を押す**

- スライド編集設定でスケジュールを「ON」に設定している場合、スケジュールの各登録画面で FOMA 端末を開くと、編集画面が表示されます。

② **スケジュールの内容を変更して [□] を押す**

③ **「はい」を選択する**

変更したスケジュールが登録されます。

- デイリービュー画面から操作する場合は、[Menu][2] を押します。

おしらせ

- シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモードを設定していないと表示されません。☛P165
- 表示中のスケジュール内容に電話番号・メールアドレス・URL が含まれている場合は、Phone To (AV Phone To)・Mail To・Web To 機能を利用できます。☛P223
- スケジュールに終日を設定すると、デイリービュー画面では「終日」と表示されます。

スケジュールをコピー／貼り付けをする

スケジュールをコピーして別の日のスケジュールとして貼り付けます。

- 日付をまたいだ長期間スケジュールをコピーして貼り付けた場合は、設定されていた日付分のスケジュールが貼り付けられます。
- コピーしたスケジュールはスケジュール帳を終了するまで FOMA 端末に保持され、別の日に何度でも貼り付けることができます。ただし、保持できるのは 1 件のみで、新たにコピーを行うと内容は上書きされます。

1 待受画面で[□]を1秒以上押し、利用するスケジュールの登録日を選択する

2 コピーするスケジュールにカーソルを合わせて [Menu][6][1] を押す

スケジュールがコピーされます。

3 [クリア] または [カメラ/クリア] を押し、カレンダー画面を表示させる

4 スケジュールを貼り付ける日にカーソルを合わせて [Menu][5] を押す

スケジュールが貼り付けられます。
- デイリービュー画面から操作する場合は、[Menu][6][2] を押します。

スケジュールからメールを作成する

スケジュールをｉモードメールの本文として送信します。
- 操作する画面によって、送信できるスケジュールの件数が異なります。

○：実行可　×：実行不可

送信件数＼操作する画面	カレンダー画面	デイリービュー画面	スケジュール詳細画面
1 件	×	○	○
1 日分／全件※	○	○	×

※：登録されているすべてのスケジュール（過去のスケジュールも含む）が送信されます。
- スケジュールはメール本文に Date To 形式で書き込まれます。☛P455
- メール本文の容量を超えたスケジュールは、超過した分が切り捨てられます。
- 用件別に表示されているときは、表示されている用件だけがメール送信の対象になります。
- シークレット属性が設定されたスケジュールを送信するときは、シークレットモードを設定してください。☛P165

例 デイリービュー画面から 1 件のスケジュールをメール送信するとき

1 待受画面で [本] を1秒以上押し、メール送信するスケジュールの登録日を選択する

- カレンダー画面から操作する場合は [Menu] を押し、「メール作成」→「1 日送信」または「全件送信」を選択します。
- スケジュール詳細画面から操作する場合は [Menu] を押し、「メール作成」を選択します。また、[メール] を押してもｉモードメールを作成できます。

2 メール送信するスケジュールにカーソルを合わせて [メール] を押す

メール作成<新規>
2005/04/16 13:00 ～ 2005/04/16 15:00 映画
9957

- 選択した日に登録されているすべてのスケジュールをメール送信するときは [Menu][7][2] を押します。
- 登録されているすべてのスケジュールをまとめてメール送信するときは [Menu][7][3] を押します。
- ｉモードメールの作成・送信方法☛P250

スケジュールを削除する

スケジュールを以下のように 1 件または複数件まとめて削除できます。

○：実行可　×：実行不可

削除件数＼操作する画面	カレンダー画面	デイリービュー画面	スケジュール詳細画面
1 件	×	○	○
1 日／前日まで／全件	○	○	×

• 繰り返し設定されているスケジュールは、カレンダー画面からは「全件削除」、デイリービュー画面からは「1 件削除」または「全件削除」、スケジュール詳細画面からは「削除」を選択して削除できます。

例 デイリービュー画面からスケジュールを削除するとき

1 待受画面で[📖]を1秒以上押し、削除するスケジュールの登録日を選択する

• カレンダー画面、スケジュール詳細画面から操作する場合は[Menu]を押し、「削除」を選択します。カレンダー画面から操作した場合は操作 3 に、スケジュール詳細画面からの場合は操作 4 に進みます。

2 [Menu][3] を押す

3 [1]～[4] を押す

• 全件削除するときは[4]を押し、端末暗証番号を入力します。ただし、シークレットモードを設定していない状態で削除しても、シークレット属性のスケジュールは削除されません。

■「1 日削除」で日付をまたいだ長期間スケジュールを削除するとき

①「長期間も削除」または「長期間は残す」を選択する

選択した方法でスケジュールが削除されます。

• 選択した日のスケジュールと、その日を含む、日付をまたいだ長期間スケジュール全体を削除するときは「長期間も削除」を選択します。日付をまたいだ長期間スケジュールを残すときは「長期間は残す」を選択します。

■「前日まで削除」で日付をまたいだ長期間スケジュールを削除するとき

①「長期間も削除」または「長期間は残す」を選択する

選択した方法でスケジュールが削除されます。

• 選択した日以前のスケジュールと、その日以前を含む、日付をまたいだ長期間スケジュール全体を削除するときは「長期間も削除」を選択します。日付をまたいだ長期間スケジュールを残すときは「長期間は残す」を選択します。

4 「はい」を選択する

メンバーリストを利用する

スケジュールに登録されているメンバーリストを選択して、電話をかけたり、i モードメールを作成したりします。また、メンバーリストの電話帳データに登録されている URL からサイトを表示します。

1 待受画面で［電話帳キー］を1秒以上押し、利用するスケジュールの登録日を選択する

2 利用するスケジュールを選択し、［左右キー］を押してメンバーリスト一覧画面を表示する

インメンバーリスト一覧アラ
青木一郎
岸本陽子

03XXXXXXXX
docomo.taro.△△@doco…
http://www.△△△.△△△.…

登録されているメンバーが一覧表示されます。

メンバーに登録されている1件目の電話番号とメールアドレス、URLが表示されます。

- シークレット属性が設定されているメンバーは、シークレットモードを設定していないと名前と詳細情報が「＊」で表示されます。☛P165

3 電話帳データを利用する

■ 音声電話／テレビ電話をかけるとき

① **メンバーを選択して音声電話のときは［発信キー］、テレビ電話のときは［テレビ電話キー］を押す**

表示されている電話番号に音声電話／テレビ電話をかけます。

- 発信者番号の通知／非通知や通信速度を選択するときは、［Menu］を押して「カスタム発信」を選択します。☛P56
- メンバーを選択して［発信キー］または［テレビ電話キー］を1秒以上押すと、相手の声がスピーカーから聞こえるようになります（スピーカーホン機能）。

■ ｉモードメールを送信するとき

① **メンバーを選択して［メールキー］を押す**

選択したメンバーのメールアドレスが宛先に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に設定されます。

- メンバー全員にｉモードメールを送信するときは［Menu］［5］［2］を押します。全員の宛先がメール作成画面に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に設定されます。

② **ｉモードメールを編集して送信する**

- ｉモードメールの作成・送信方法☛P250

■ サイトを表示するとき

① **メンバーを選択して［Menu］［6］を押す**

サイトに接続されます。

おしらせ

- 電話帳データに登録されている2件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、メンバーリスト一覧画面からメンバーを選択して電話帳の詳細画面（電話／メール）を表示し、利用したい電話番号またはメールアドレスにカーソルを合わせて音声電話やテレビ電話をかけたり、ｉモードメールを作成したりできます。（☛P115、P250）ただし、電話帳の詳細画面からｉモードメールを作成すると、スケジュールは本文に設定されずDate To機能は使用できません。
- メンバーリスト一覧画面で［電話帳キー］を押すと、メンバーリスト選択画面が表示され、メンバーを登録、削除できます。
- 電話帳データの発番号設定が「設定なし」に設定されている場合は、発信者番号通知設定の設定に従って音声電話／テレビ電話がかかります。☛P47、P121

他人に見られたくないスケジュールを守る<シークレット属性>

他人に見られたくないスケジュールデータは、端末暗証番号を入力しないと呼び出せないシークレット属性を持ったデータとして登録します。シークレット属性を設定するにはシークレットモードを設定する必要があります。
・シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性の設定／解除はできません。

1 シークレットモードを設定する ☛P165

2 待受画面で［📖］を1秒以上押し、利用するスケジュールの登録日を選択する ☛P432

3 設定するスケジュールにカーソルを合わせて［Menu］［9］を押す

デイリービュー 1/1
2005/ 4/16(土)
11:30 ～ 11:45 待ち合わせ
12:00 ～ 13:00 食事
13:00 ～ 15:00 映画

選択されているスケジュールにシークレット属性が設定されていると🔒が点滅します。
・シークレット属性を解除するには、シークレット属性が設定されているスケジュールを選択して［Menu］［9］を押します。

おしらせ

● シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモードを設定していないと表示されません。
● シークレットモードを設定中に作成されたスケジュールは、自動的にシークレット属性が設定されます。
● シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモードを設定していないとスケジュールアラーム、予告アラームは動作しません。

スケジュールの登録件数を確認する<登録件数確認>

登録したスケジュールと休日設定の件数を確認します。

1 待受画面で［📖］を 1 秒以上押し、［Menu］［7］を押す
・［◉］を押すとカレンダーに戻ります。

カスタムメニュー

よく使う機能を登録する

あらかじめ登録されているメニュー（ノーマルメニュー）の他に、機能や特定の人物の電話帳データを自由に登録して、自分だけのオリジナルのメニューを作ることができます（カスタムメニュー）。よく使う機能や頻繁に連絡をとる相手の電話帳データを登録しておけば、機能を手早く実行したり、簡単に電話をかけたりできます。また、電話帳データや機能、メニューを目的に合わせてグループ分けするためのグループフォルダを作成できます。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

テンプレートのサンプルを読み込む

お買い上げ時　スタンダード

ここではあらかじめ登録されているテンプレートのサンプルを読み込む手順を説明します。
- カスタムメニューには、あらかじめ4種類のサンプルがテンプレートとして用意されています。
- サンプルを読み込んでから任意の機能を追加・削除することで、オリジナルのカスタムメニューを作成することもできます。

1 待受画面で Menu [ ] を押す

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で Menu を押します。

2 Menu 7 1 を押し、1 ～ 4 を押す

スタンダード　：アラーム、電卓、サウンドレコーダー、着信表示設定、イルミネーション設定、着信中オープン応答、スライド編集設定、暗証番号変更、発信者番号通知設定

シンプルメニュー：電話帳／履歴、メール、音の設定、着信音量調整、受話音量調整、データBOX、ｉモード

ユーザデータ　：Bookmark、画面メモ、電話帳検索、スケジュール帳、アラーム、メモ帳、単語登録、定型文登録、miniSD カード

メール　：新規メール、チャットメール、メールグループ、テンプレート読込み、受信メール

- テンプレートを読み込むと、カスタムメニューの登録内容はすべて上書きされます。

3 端末暗証番号を入力する

新規メール
チャットメール
メールグループ
テンプレート読込み
受信メール

テンプレートが読み込まれ、カスタムメニューに設定されます。
- 既にカスタムメニューが作成されているときは新しいカスタムメニューにするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、選択したテンプレートがカスタムメニューに設定されます。

カスタムメニューを作成する

ここではテンプレートのサンプルを読み込んでから任意の項目を追加し、オリジナルのメニューを作成します。
- カスタムメニューの1つの階層には最大9個のアイコンが登録できます。
- テンプレートのうち、スタンダード、ユーザデータには既に9個のアイコンが登録されています。これらのサンプルを選択した場合は、選択した項目に上書き登録することになります。
- サンプルをリセットすることで、あらかじめ登録されている項目をすべて削除し、任意の項目を登録することもできます。☛P447

1 テンプレートのサンプルを読み込む ☛P443

2 項目を登録する

■ **人物を登録するとき**

- シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモードを設定していないと表示されません。☛P165
- Flash 画像、動画／ｉモーションを設定している電話帳データをカスタムメニューに登録すると、Flash 画像、動画／ｉモーションではなく、あらかじめ登録されている人物アイコンがメニュー画面に表示されます。

① **Menu 1 1 を押す**

電話帳一覧が表示されます。

- 検索方法を変えて検索し直すときは、Menu を押します。
- 前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。

② **登録する人物を選択する**

人物が登録されます。

■ **機能を登録するとき**

① **Menu 1 2 を押す**

- 機能選択の画面は、メニュー設定の「ノーマル」の設定に従った表示形式で表示されます（画面はタイルアイコン表示の場合です）。☛P31

② **登録するメニュー項目にカーソルを合わせて 📖 を押す**

メニュー項目が登録されます。

- 下位の階層がないメニュー項目を登録するときは、項目を選択するか、ショートカット操作で登録できます。

「スライド編集設定」を登録した場合

■ **グループを登録するとき**

① **Menu 1 3 を押し、グループ名を入力する**

- 全角で最大 9 文字、半角で最大 18 文字入力できます。

② **📖 を押す**

■ **グループ内に登録するとき**

カスタムメニューは 3 階層までです。3 階層目を表示しているときは、機能または人物だけが登録できます。

① **グループを選択する**

グループ内の項目が表示されます。

・空のグループを選択したときは項目選択画面が表示されます。2 階層目を表示しているときは、機能または人物だけが登録できます。

② **追加登録または上書き登録の操作を行う**

■ **登録済みの項目に上書き登録するとき**

① **上書きする項目にカーソルを合わせて Menu 2 を押す**

② **1 ～ 3 を押し、登録する項目を選択する**

・グループに上書きすると、グループ内の項目はすべて削除されます。

おしらせ

● 登録した項目の並び順やアイコンを変更できます。☛P446

カスタムメニューを利用する

カスタムメニューに登録されている機能や人物を利用します。

・カスタムメニュー表示中もショートカット操作ができます。ショートカット操作の番号は、ノーマルメニューと同じ方法と、カスタムメニューの項目位置に対応したダイヤルキーで行う方法のどちらかを選択できます。☛P31

1 待受画面で Menu [📖] を押す

・メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で Menu を押します。

・カスタムメニューの表示形式は、メニュー設定の「カスタム」の表示形式に従います。☛P31

2 項目を選択する

・グループ内の機能や人物を選択するときはグループを選択し、グループ内の機能や人物を表示します。

・グループフォルダの 2 階層目にメニューが登録されているとき、2 階層目のメニューは、メニュー設定の「カスタム」の表示形式に従います。

・**リストメニューが表示され、カスタム発信や詳細情報の確認などができます。**

■ **機能を実行するとき**

① **機能を選択する**

・下位の階層があるメニュー項目を選択したときは、メニュー設定の「ノーマル」に設定した表示形式でメニュー項目が表示されます。

■ **電話をかけるとき**

① **人物にカーソルを合わせる**

② **音声電話をかけるときは [発信]、テレビ電話をかけるときは [テレビ電話] を押す**

・電話番号が 2 件以上登録されているときは、電話帳の詳細（電話）画面で電話番号を選択します。

・電話番号が1件のみ登録されているときは、音声電話のとき Ⓒ、テレビ電話のとき Ⓣ を1秒以上押して電話をかけると、相手の声がスピーカーから聞こえるようになります（スピーカーホン機能）。

■ iモードメールを送信するとき

① 人物にカーソルを合わせる

② Ⓜ を押す

・メールアドレスが2件以上登録されているときは、電話帳の詳細（メール）画面でメールアドレスにカーソルを合わせて Ⓜ または Ⓞ を押します。
・メールアドレスが登録されていないときは、宛先は空欄になります。
・iモードメールの作成・送信方法 ☛P250

■ ショートメッセージ（SMS）を送信するとき

① 人物にカーソルを合わせる

② Ⓜ を1秒以上押す

・電話番号が2件以上登録されているときは、電話帳の詳細（電話）画面で電話番号にカーソルを合わせて Ⓜ または Ⓞ を押します。
・電話番号が登録されていないときは、宛先は空欄になります。
・ショートメッセージ（SMS）の作成・送信方法 ☛P311

登録されている機能をすばやく実行するには

カスタムメニューに登録した機能のメニュー項目は、待受画面で対応するダイヤルキー（1～9）を1秒以上押すことで起動できます。ただし、メニュー項目が人物やグループのとき、および2階層目以降にメニューがある機能のときは、ダイヤルキーを1秒以上押しても起動しません。

おしらせ

● シークレット属性を設定した電話帳データの人物は、シークレットモードを設定していないと人物名が「＊＊＊」で表示されます。アイコンは ▪ になります。
● PIMロック中、プライバシーモード起動中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、人物の選択はできません。アイコンが 🔒 に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
● シークレット属性とPIMロックの両方が設定されている場合は、PIMロック中のアイコン、動作になります。

カスタムメニューを編集する

カスタムメニューに表示される項目の表示順やアイコンの変更、グループ名の変更や項目の削除を行います。
・グループ内の項目を編集するときは、グループを選択し、グループ内の画面を表示します。

1 待受画面で Menu 📖 を押す

・メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で Menu を押します。

2 編集する項目にカーソルを合わせ、それぞれの操作を行う

■ 項目を入れ替えるとき

① Menu 4 を押す

② 入れ替え先の項目を選択して「はい」を選択する

■ アイコンを変更するとき

① Menu 5 を押し、アイコンを選択する

・アイコンを元に戻すには 📖 を押します。

その他の便利な機能

■ グループ名を変更するとき

① Menu 6 を押す

② グループ名を入力して 📖 を押す

■ 項目を削除するとき

① Menu 3 を押し、「はい」を選択する

・ グループを削除するとグループ内の項目も削除されます。

カスタムメニューをリセットする

登録した内容やサンプルの項目をすべて削除します。カスタムメニューの全項目に任意の機能や電話帳データを登録する場合に行います。

1 待受画面で Menu 📖 を押す

・ メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で Menu を押します。

2 Menu 7 2 を押す

3 端末暗証番号を入力する

4 「はい」を選択する

カスタムメニューの登録内容がすべて削除されます。

・ ◉ を押すと、項目選択画面が表示されます。項目を選択すると、人物、機能、グループの登録ができます。☛P444

自局番号

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

1 待受画面で Menu 0 を押す

自局番号
あなたの名前
自局電話番号
090XXXXXXXX
メールアドレス

・ 自局電話番号には、ご契約の電話番号が設定されています。

2 📖 を押し、端末暗証番号を入力する

3 名前やメールアドレスなどを設定する

その他 自局番号編集 その
[名前]
[フリガナ]
<画像選択>
090XXXXXXXX
[電話番号]
[メールアドレス]

・ 各項目の設定方法は、電話帳の設定方法と同じです。☛P104
・ 既に設定されている項目は、その内容が表示されます。
・ 1件目の電話番号には、ご契約の電話番号（自局電話番号）が設定されています。変更はできません。

4 を押し、その他の情報を設定する

- 初期登録時はいずれも設定されていません。既に設定されている場合は、その内容が表示されます。
- 各項目の設定方法は、電話帳の設定方法と同じです。☛P106

5 を押す

おしらせ

● 自局電話番号はFOMAカードに登録されています。それ以外の項目を登録すると、FOMA端末に記録されます。
● 圏外でも自局番号は登録できます。
● 自局番号のメールアドレス欄を変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、自局番号のメールアドレス欄は自動的には変更されません。ｉモードのメールアドレスを確認・変更する方法については、『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

自局番号の詳細を表示する

1 待受画面でMenu 0を押す

2 を押し、端末暗証番号を入力する

- 既に設定されている内容が表示されます。文字が長い場合は、途中まででしか表示されません。
- を押すと、名前、フリガナ、および電話番号とメールアドレスの各1件目が表示されます。☛P115

■ **自局番号を修正するとき**

① **Menu 2を押し、自局番号を修正する**

■ **登録内容をリセットするとき**

① **Menu 3を押し、「はい」を選択する**

おしらせ

● 自局番号に記録されている情報を利用して、電話帳と同様にいろいろな操作ができます。
- 電話帳を使いこなす☛P56、P111、P117
- 自局番号を転送する（赤外線送信）☛P410
- 各種機能を設定する☛P121、P122

相手の声や自分の声を録音する

待受中に自分の声をメモ代わりに録音したり（待受中音声メモ）、音声電話やテレビ電話で通話中に相手の声を録音したりします（通話中音声メモ）。

- 通話中音声メモ／待受中音声メモの録音時間は、1件につき最大30秒、合わせて4件録音できます。
- 電波の状態により、録音内容が途切れたりすることがあります。また、圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。
- 音声メモの内容は、手帳などに別にメモをお取りくださるようお願いします。
  FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

通話中に相手の声を録音する

通話中音声メモでは通話相手の声だけが録音されます。テレビ電話通話中も音声のみ録音され、画像は録画されません。

1 通話中に [カメラ/クリア] を1秒以上押す

録音が開始されます。

音声メモ録音中
青木一郎
090XXXXXXXX

録音できる残り時間の目安が表示されます。

音声電話通話中音声メモ　　テレビ電話通話中音声メモ

- 録音開始時から約25秒後に、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります（この予告音は録音されません）。また、録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります（録音開始時にはこの音は鳴りません）。
- 録音を途中で停止するときは [カメラ/クリア] を1秒以上押します。
- 通話中に [メール] [4] [4] [2] を押しても、音声メモは録音できません。

待受中に自分の声を録音する

1 待受画面で [カメラ/クリア] [3] を押す

音声メモ録音中

録音できる残り時間の目安が表示されます。

約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

- 録音開始から約25秒後に、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります（この予告音は録音されません）。また、録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。
- 録音を途中で停止するときは [マナー]、[電源]、[カメラ/クリア] を押します。

音声メモを再生する

1 **待受画面で [カメラ/クリア] [4] を押す**

音声メモ一覧には、通話中音声メモと待受中音声メモの両方が表示されます。

通話中音声メモの場合
- **電話番号または発信者番号非通知理由が表示されます。相手の電話番号が電話帳に登録されている番号と一致した場合は、名前が表示されます。**

待受中音声メモの場合

録音日時（FOMA 端末に日付・時刻の設定がされていない場合は記録されません。**☛P46****）**

相手の電話番号

2 **再生する音声メモを選択する**

時間経過の目安が表示されます。

音声メモが再生されます。
- 音声メモの再生を途中で停止するときは [停止] を押します。
- [上下] を押して音量を調整します。
- 再生中に [発信] を押すと音声メモがスピーカーから聞こえるようになります（スピーカーホン機能）。再度、[発信] を押すと受話口から聞こえるようになります。

3 **再生した音声メモを削除するかどうかを選択する**

- 「はい」を選択すると、音声メモが削除されます。

■ 音声メモ一覧から音声メモを削除するとき

① **削除する音声メモを選択して [Menu] [2] [1] を押す**
- 音声メモを全件削除するときは [Menu] [2] [2] を押します。

② **「はい」を選択する**

■ 音声メモ一覧から電話番号を電話帳に登録するとき

① **登録する通話中音声メモを選択して [Menu] [4] を押す**
- 登録済みの電話帳に追加するときは、[Menu] [5] を押して [1] または [2] を押し、登録先の電話帳データを選択します。☛P104

② **[1] または [2] を押し、名前やメールアドレスなどを登録する** **☛P104**

おしらせ

● 通話中音声メモの場合、一覧画面で相手にカーソルを合わせて [発信] を押すと音声電話、[テレビ電話] を押すとテレビ電話をかけることができます。また、サブメニューのカスタム発信から発信者番号通知／非通知を設定して音声電話やテレビ電話をかけたり、通信速度を指定してテレビ電話をかけたりできます。

通話時間・料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認します。

- 通話時間は、音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64K データ通信時間に分けて表示され、それぞれかけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先に通話した場合は、「0 YEN」または「******」と表示されます。
- 通話料金は FOMA カードに蓄積されるため、FOMA カードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金が表示されます（2004 年 12 月から積算開始）。
  ※901i シリーズより前に発売された FOMA 端末でも通話料金は FOMA カードには蓄積されていますが、表示することはできません。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／通話料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

通話時間を確認する

1 待受画面で Menu 8 4 1 を押す

直前通話時間：直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信時間
積算通話時間（音声）：音声電話で通話した積算時間
積算通話時間（テレビ電話）：テレビ電話で通話した積算時間
積算通話時間（データ）：データ通信を行った積算時間

- 以前に通話時間を積算リセットした場合は、リセット時から現在までの積算通話時間の目安が表示されます。

■ 積算通話時間をリセットするとき

① [m] を押し、端末暗証番号を入力する

② リセットしたい通話時間を選択し、「はい」を選択する

- 音声電話／テレビ電話、データ通信すべての通話・通信時間をリセットしたいときは、「全積算情報リセット」を選択します。
- 通話時間画面に戻るときは [m] を押します。

通話料金を確認する

1 待受画面で Menu 8 4 4 を押す

直前通話料金：直前に行った音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信料金
- 直前通話料金の情報がない場合は、「****** YEN」と表示されます。

積算通話料金：音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信料金を合計した積算料金
- 以前に通話料金を積算リセットした場合は、リセット時から現在までの積算通話料金の目安が表示されます。

前回リセット日時：前回積算リセットした日時

■ 積算通話料金をリセットするとき

① [m] を押して PIN2 コードを入力し、「はい」を選択する

• PIN2 コード ☛P152

おしらせ

- ●パケット通信で使用した時間は含まれません。
- ●直前および積算の音声通話時間やテレビ電話通話時間、64K データ通信時間が 9999 時間 59 分 59 秒を超えると、0 秒に戻ってカウントされます。
- ●FOMA 端末の電源を切ると、直前通話時間はそのまま保持されますが、直前通話料金は「****** YEN」と表示されます。
- ●着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- ●ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

電卓

電卓として使う

FOMA 端末で四則演算（＋、－、×、÷）ができます。

- 最大 8 桁入力できます。
- スケジュールやメモ帳の入力欄から電卓を利用し、その結果を元の画面の入力欄に貼り付けることができます。☛P520

1 待受画面で Menu 7 4 を押す

2 計算する

ダイヤルキー（0 ～ 9）と ✥（＋、－、×、÷）を使って計算します。
- 入力した数字を 1 桁削除するときは ✉ を押します。
- 小数点を入力するときは ✱ を押します。
- 表示中の数字の＋と－を切り替えるときは # を押します。
- 電卓画面は、対応する端末のキーの働きがわかるようにデザインされています。

3 ● を押す

計算結果が表示されます。
- [クリア] または [クリア] を押すと計算結果が削除されます。

おしらせ

● 表示されている数値をコピーするには Menu 1 を押します。コピーされている数値を貼り付けるには Menu 2 を押します。コピーした数値は電源を切るまで保持され、メモやメール作成画面などの入力欄に何度でも貼り付けることができます。
● 計算結果の整数部分が 8 桁を超えるとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するには、クリア または クリア を押します。小数点を含む数値が 8 桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。
● メモやメール作成画面などの入力欄から最大上位 8 桁の半角数字をコピーして、電卓画面に貼り付けられます。8 桁を超えた半角数字をコピーした場合、超過した分は削除されます。
● 貼り付けた数値に続けて数字を入力することはできません。また、全角数字を貼り付けたり、数字以外の文字が含まれている場合は貼り付けることはできません。

メモ帳

メモを作成する

大切な情報や覚書などを、メモ帳に入力できます。
・メモは最大 50 件登録できます。

1 待受画面で Menu 7 2 を押す

2 「<新しいメモ>」を選択する

メモ帳 (0/50件)
メモ一覧(1/1)
<新しいメモ>

・スライド編集設定でメモ帳を「ON」に設定している場合、「<新しいメモ>」にカーソルを合わせて FOMA 端末を開くと、メモ帳編集画面が表示されます。

3 メモ内容欄にメモ内容を入力する

メモ帳編集
種別アイコン 選択
メモ内容

・全角で最大 300 文字、半角で最大 600 文字入力できます。

■ **電卓で計算した数値を入力するには**
① **文字入力画面で Menu 8 2 を押す**
② **計算を行い、● を押す**
・電卓の操作☛P452

4 種別アイコン欄の「選択」を選択し、一覧からアイコンを選択する

種別アイコン選択
会議

選択されているアイコンの名称が表示されます。

メモ帳編集
種別アイコン 選択
メモ内容
次の会議は本社第三会議室で行う。
重要案件あり。

選択したアイコンが表示されます。

5 [📖] を押す

- メモ内容が入力されていないときは登録できません。

おしらせ

● メモ帳に登録した内容は、別にメモを取り保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトと FOMA USB 接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。

メモを確認する

1 待受画面で [Menu] [7] [2] を押す

メモ一覧画面が表示されます。

2 確認するメモを選択する

メモ帳参照
作成日時 2005/04/15
更新日時 2005/04/15
次の会議は本社第三会議室で行う。
重要案件あり。

- 表示中のメモ内容に電話番号・メールアドレス・URL が含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To 機能を利用できます。☛P223
- [📖] を押すと、メモを修正できます。
- スライド編集設定でメモ帳を「ON」に設定している場合、FOMA 端末を開くと、メモ帳編集画面が表示されます。

■ **メモを削除するとき**

① [Menu] [1] **を押す**

② **「はい」を選択する**

■ **メモからメールを作成するとき**

① [Menu] [2] **を押す**

- ｉモードメールの作成・送信方法 ☛P250

おしらせ

● メモ一覧画面からメモを 1 件削除する場合は、削除するメモにカーソルを合わせて [Menu] を押し、「削除」を選択します。全件削除する場合は、[Menu] を押し、「全件削除」を選択し、端末暗証番号を入力します。

● メモ一覧画面からメールを作成する場合は、メールの本文にするメモにカーソルを合わせて [Menu] を押し、「メール作成」を選択します。

メモからスケジュールを登録する＜ Date To 機能＞

メールの本文に Date To 形式でスケジュールの内容が含まれている場合は、本文をメモ帳にコピーすることでスケジュールへ登録できます。

1 **待受画面で Menu 7 2 を押す**

2 **Date To 形式で記述してあるメモを選択する**

メモ帳参照
作成日時 2005/04/15
更新日時 2005/04/15
ミーティングの予定は次の通りです。
2005/04/15 10:00 ～ 2005/04/15 11:00 ミーティング

3 **Date To 形式の記述を選択する**

設定 新規作成 メンバー
ミーティング
終日 OFF
開始日時
2005/04/15(金) 10:00
終了日時
2005/04/15(金) 11:00
要約・メモ

4 **登録する** ☛P435

Date To 形式

Date To はメモ内容に次の形式の文字列があるときに有効です。項目はすべて必須です。

例 2005/04/15 □ 10:00 □～□ 2005/04/15 □ 11:00 □ミーティング↵

開始年月日　開始時刻　終了年月日　終了時刻　内容　改行までが内容とみなされます。

※□は半角スペースを示します。実際に表示されるものではありません。
- 内容以外の下線部分は半角文字のみ有効です。
- 開始年月日、開始時刻、「～」、終了年月日、終了時刻、内容の間は半角スペースで区切ります。
- 内容は全角で最大 100 文字、半角で最大 200 文字入力できます。最大文字数を超える文字は切り捨てられます。
- 年は西暦、時刻は 24 時間制です。月、日、時、分が 1 桁のときは前の 0 は省略できます。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に別売りのスイッチ付イヤホンマイク（ステレオイヤホンセット含む）を接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりできます。

・スイッチ付イヤホンマイクでテレビ電話をかけることはできません。

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

スイッチ付イヤホンマイクを FOMA 端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。☛P25

・スイッチ付イヤホンマイクのコードを FOMA 端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
・スイッチ付イヤホンマイクのコードをアンテナ部に近づけるとノイズが入ることがあります。
・プラグは確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。

スイッチを押して電話をかける

電話番号を電話帳のメモリ番号 0 に登録しておくと、電話番号をダイヤルしたり電話帳を呼び出したりしなくても、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで登録してある電話番号に音声電話をかけることができます。

1 スイッチ付イヤホンマイクを接続する

イヤホンマイク端子に、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 「ピピッ」と音がするまで、スイッチを 1 秒以上押す

メモリ番号 0 の 1 件目に登録されている電話番号に音声電話がかかります。

3 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを 1 秒以上押す

おしらせ

● メモリ番号 0 に複数の電話番号が登録されている場合は、1 件目に登録されている電話番号に電話がかかります。
● メモリ番号 0 にシークレット属性を設定した場合は、シークレットモードに設定してから、スイッチの操作で電話をかけてください。
● 通話中に第三者の電話番号を入力し、スイッチを押しても電話をかけることはできません。スイッチを押すと、通話が終了してしまいますのでご注意ください。
● miniSD メモリーカードのデータを移動またはコピーしている場合は、スイッチを押しても電話をかけることができません。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

スイッチを押して電話を受ける

あらかじめスイッチ付イヤホンマイクを接続しておきます。

1 電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

・着信音はイヤホン切替設定で設定したところから聞こえます。☛P458

2 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

おしらせ

● オート着信機能が設定されていると、かかってきた電話をスイッチを押すことなく自動的に受けることができます。

● スイッチ付イヤホンマイクを接続して通話中にFOMA端末を閉じた場合の動作は☛P64

● キャッチホンをご契約でサービスを開始に設定している場合には、通話中にかかってきた音声電話に、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して出ることができます。

イヤホンをつないで自動で電話を受ける<オート着信機能設定>

お買い上げ時　自動着信機能：OFF

スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答できます。
音声／テレビ電話を受けたとき、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。

・通話中の着信は、本機能が設定されていても動作しません。
・ドライブモード設定中は、本機能は動作しません。☛P74

1 待受画面で [Menu] [8] [6] [4] を押す

2 自動着信機能欄を選択し、[1] を押す

オート着信機能設定
自動着信機能　OFF
自動着信機能時間（秒）
（0～120秒）
4

・オート着信機能を解除するときは [2] を押し、操作4に進みます。

3 自動着信機能時間を入力する

・自動着信機能時間を0～120秒の範囲で入力します。

4 [📖] を押す

おしらせ

- 伝言メモの応答時間とオート着信機能設定の自動着信機能時間を同じ時間には設定できません。☞P77
- テレビ電話をオート着信で受けた場合、テレビ電話画像選択の代替画像設定で設定された代替画像を送信し、自動的にテレビ電話を開始します。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
- メモリ別着信拒否／許可やメモリ登録外着信拒否を設定しているときに、着信拒否の対象となる電話番号から着信があった場合は、本機能は動作しません。

イヤホンからのみ着信音を鳴らす＜イヤホン切替設定＞

お買い上げ時　イヤホン＋背面スピーカー

スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音をイヤホンとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンからのみ鳴らすかを設定します。

1 待受画面で Menu 8 6 3 を押す

2 2 を押す

イヤホン切替設定
1 イヤホン+背面スピーカー
2 イヤホンのみ

イヤホン切替設定が設定されます。

■ **イヤホンとスピーカーから着信音を鳴らすには**
① **1 を押す**

おしらせ

- スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、本設定に関わらず、スピーカーから鳴ります。
- 「イヤホンのみ」に設定した場合、着信音の開始から 20 秒経過すると「イヤホン＋背面スピーカー」から着信音が鳴ります。

NW検索方法

利用する通信事業者を設定する

お買い上げ時　ネットワーク自動検索

FOMAサービスを提供する通信事業者を設定します。自動検索で設定するか手動設定するかを選択できます。自動検索にしないときは、通信事業者を指定しておきます。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で Menu 8 9 5 を押す

検索方法：ネットワークの検索方法を設定します。

- 「ネットワーク自動検索」に設定したときは、「手動選択」は設定できません。

手動選択：通信事業者を設定します。

- ドコモ以外の通信業者は選択できません（2004年12月現在）。
- ドコモ以外の通信業者を選択したときは、パケ・ホーダイの対象になりません。

2 検索方法欄を選択して 1 または 2 を押す

- 検索方法を自動にするときは 1 を押し、操作4へ進みます。

3 手動選択欄を選択して 1 を押す

4 [m] を押す

通信事業者が設定されます。

設定状況確認

各種機能の設定状況を確認する

1 待受画面で Menu 8 4 2 を押す

「音／バイブ」のメニューの各種設定状況が表示されます。

2 [◎] を押して各種設定状況を確認する

現在の画面

設定状況確認
8モ 8アプリ 音/
ソフトの並べ替え
ダウンロード日時順
自動起動設定
ON
ソフト情報表示設定
OFF
照明設定
端末設定に従う

設定状況確認
8ア 音/バイブ ディ
受話音量調整
レベル4
電話着信音量調整
レベル4
メール着信音量調整
レベル4
音の設定 電話
パターン1

設定状況確認
音/ ディスプレイ セ
発着信画像 人物表示
ON
発着信画像 イメージ
標準画像
メール送信画像設定
標準画像
メール受信画像設定
標準画像

- [◎→] を押すたびに、メニューが「音／バイブ」「ディスプレイ」「セキュリティ／その他」「時計」「発着信機能」「通話機能」「テレビ電話」「メール」「iモード」「iアプリ」の順に切り替わります。[←◎] を押すと逆の順に切り替わります。

各種機能の設定をリセットする

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 設定リセットを行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。☛P526
  メニュー一覧に記載されていない機能で、お買い上げ時の状態に戻る機能は次のとおりです。
  - マナーモード（基本設定を選択するとリセットされます）
  - ドライブモード（基本設定を選択するとリセットされます）
  - 予測辞書データ
  - ユーザ辞書データ（単語登録で登録したデータが消去されます）

1 待受画面で Menu 8 4 5 を押す

2 端末暗証番号を入力する

3 リセットする項目を選択する

各種設定リセット
☑ 基本設定
☑ メール設定
☑ モード設定
☑ アプリ設定
☑ ロック機能
☑ 予測辞書データ
☑ ユーザ辞書データ

- Menu を押すとすべての項目を選択／解除できます（選択状況によってガイド行の表示が異なります）。

4 ［📖］を押す

5 「はい」を選択する

おしらせ

● メニュー構成は本機能でリセットされませんが、アイコンデザインの「カスタム１」、「カスタム２」を変更していた場合、それらはお買い上げ時の状態に戻ります。

登録データを一括して削除する

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 保護したデータも削除されます。
- データ一括削除を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、データ一括削除できないことがあります。
- お買い上げ時に登録されている次のデータは削除されます。
  - ｉ アプリ
  - キャラ電
  - データ BOX 内のマイピクチャの「デコメールピクチャ」と「アイテム」フォルダ内の画像
- 保存・登録した次のデータは削除されます。
  - メッセージ R/F・ｉ モードメール・チャットメール（チャットメンバー設定含む）・ショートメッセージ（SMS）
  - メールテンプレート
  - 署名設定
  - メールグループ
  - ブックマーク（「アドレス確認」以外）
  - URL 入力
  - URL 履歴
  - 画面メモ
  - ラスト URL
  - ｉ アプリ
  - ｉ アプリの履歴表示
  - 電話帳データ
  - 着信履歴
  - リダイヤル
  - 伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）
  - 音声メモ
  - データ BOX 内のマイピクチャ・ｉ モーション・メロディの「プリインストール」フォルダ以外のデータ
  - キャラ電
  - バーコードリーダーで読み取ったデータ
  - スケジュール（登録・変更した祝日を含む）
  - メモ帳
  - 通話時間
  - 単語・定型文
  - USSD 登録
  - 応答メッセージ登録
  - 自局番号（自局電話番号以外）
  - 作成したフォルダ・アルバム
  - ソフトウェア更新（予約更新）
- 各種設定リセット（☛P460）の対象となる機能と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
  - メール振り分け設定
  - ブックマークのツータッチ登録
  - ｉ アプリ（ソフト一覧から設定する機能）
  - 伝言メモ設定
  - マイピクチャ・ｉ モーション・メロディ・キャラ電の各動作設定
  - カメラ
  - ビデオカメラ
  - サウンドレコーダー
  - 赤外線通信のデータ送受信設定
  - バイリンガル
  - PIM ロック
  - 端末暗証番号
  - プライバシーモード設定
  - 日付時刻設定
  - テレビ電話使用機器設定
  - NW 検索方法
  - 通話中着信動作選択
  - メニュー設定
  - 変更したフォルダ名
  - カスタムメニュー

1 待受画面で Menu 8 4 6 を押す

2 端末暗証番号を入力する

3 「はい」を選択する

再起動中にデータ一括削除されます。

おしらせ

- 以下のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻すことはできません。
  - ・FOMA カードや miniSD メモリーカードに保存・登録・設定されているデータ
  - ・パソコンから設定したデータ通信の設定
- お買い上げ時に登録されているデータ・ｉ アプリを削除した場合は、ｉ モードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P331
  ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- 機能ごとにお買い上げ時の設定に戻すには、各種設定リセットから行ってください。☛P460
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかる場合があります。途中で電源を切らないようご注意ください。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

ネットワークサービス

FOMA 端末から利用できるネットワークサービス

FOMA 端末を便利に利用するために、次のネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	内　容	月額使用料	申し込み
留守番電話サービス	電波が届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。☛P465	有料	必要
キャッチホン	現在お話し中の通話を保留にしたまま、第三者と通話できます。☛P467	有料	必要
転送でんわサービス	電波が届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに、かかってきた電話を自動的に転送します。☛P468	無料	必要
迷惑電話ストップサービス	相手先の電話番号を登録すると、以後登録した電話番号からの着信には、自動的にガイダンスが応答し、迷惑電話を拒否します。☛P470	有料	必要
発信者番号通知	自分の電話番号を電話をかけた相手に通知します。☛P47	無料	不要
番号通知お願いサービス	発信者番号が通知されない電話に番号通知をお願いする旨のガイダンスを流した後、自動的に電話を切ります。☛P471	無料	不要
ドライブモード	運転中に電話がかかってくると、運転中のため電話に出られない旨のガイダンスが自動応答します。☛P74	無料	不要
デュアルネットワークサービス	1つの電話番号でFOMA端末とmova端末を使い分けて利用できます。☛P472	有料	必要
英語ガイダンス	音声ガイダンスを英語で聞けます。☛P472	無料	不要
サービスダイヤル	ドコモ総合案内・受付や、ドコモ故障窓口へ電話をかけます。☛P473	無料	不要
ショートメッセージサービス（SMS）	FOMA 端末間で文字メッセージを送受信できます。☛P248	無料	不要
i モード	i モードメールの送受信やサイト、インターネットホームページの利用ができます。☛P198	有料	必要

お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

本書では各ネットワークサービスの概要説明のみ記載しております。詳しい操作や注意事項については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

おしらせ

- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスは、サービス開始後、FOMA端末で機能を停止できます。停止操作を行っても、サービスの契約そのものは解約されません。

留守番電話サービスを利用する

電話をかけてきた方には、応答メッセージでお答えし、伝言メッセージをお預かりします。

- 日本全国どこからでも伝言メッセージを聞くことができます。
- 電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。
- 留守番電話サービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、留守番電話サービスの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

- 伝言メッセージは1件あたり最長3分、最大20件録音でき、最長72時間保存されます。
- 電話に出られないことをお伝えするだけの不在案内機能もあります。
- 留守番電話サービスを開始に設定していても、電話の発着信はできます。
- 応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続し、伝言メッセージをお預かりします。待受画面のマークや着信履歴で、着信があったことをお知らせします。
- 留守番電話サービスと転送でんわサービスの両方をお申し込みになっても、2つのサービスを同時にはご利用になれません。転送でんわサービスを開始に設定すると、留守番電話サービスは、自動的に停止になります（その後、転送でんわサービスを停止に設定しても、留守番電話サービスは自動的には再開しません）。
- 着信中の電話を、留守番電話サービスセンターに転送できます（☛P62）。通話中にかかってきた電話も留守番電話サービスセンターに転送できます。☛P473
- プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して留守番電話サービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始に設定してください。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、「非通知設定」の電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます。伝言メッセージはお預かりできません。
- テレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスを開始に設定していても留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。

- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1 応答メッセージを登録する（初期設定）
[1][4][1][6][発信]

ステップ2 サービスを開始に設定する

ステップ3 電話をかけてきた方が伝言を録音する※

ステップ4 伝言メッセージを再生する

※：留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音する場合は、応答メッセージが流れているときに[#]を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えられます。

留守番電話サービスの料金

留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要となります。詳しい内容については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

留守番電話サービスを開始する

1 待受画面で[Menu][9][1][1]を押す

2 「はい」を選択する

3 「はい」を選択する
- 「いいえ」を選択すると、呼出時間を設定せず、現在設定されている時間（ご契約時の呼出時間は10秒）で留守番電話サービスを開始します。

4 呼出時間を入力する
留守番電話サービスが開始されます。
- 呼出時間を0～120秒の範囲で入力します。
- [十字キー]を押して数字を増減することもできます。

留守番電話サービスを停止する

1 待受画面で[Menu][9][1][3]を押して「はい」を選択する

設定内容を確認する

1 待受画面で[Menu][9][1][4]を押して「はい」を選択する

おしらせ

- 設定確認画面で、サブメニューから選択して設定を変更できます。
  Menu 1：留守番電話サービスの開始
  Menu 2：留守番電話サービスの停止
  Menu 3：留守番電話サービスの呼出時間設定
- 待受画面で Menu 9 1 2 を押すと、呼出時間だけ設定できます。
- お話し中（パケット通信中）に別の電話がかかってきても、その電話を留守番電話サービスセンターでお受けすることもできます。
  かかってきた電話を手動で転送する ☛P62
- 呼出時間の設定は、留守番電話サービスを停止した後も保持されます。

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する

1 待受画面で Menu 9 1 6 を押す

2 「はい」を選択し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

留守番電話サービスが設定されます。

- 新しい伝言メッセージがあるか確認する、または伝言メッセージを聞くには、一度電話を切ってから操作してください。

伝言メッセージを聞く

新しい伝言メッセージがあると、待受画面には伝言メッセージ件数を示すマーク（ 1）が表示されます。

1 待受画面で Menu 9 1 5 を押す

2 「はい」を選択し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

伝言メッセージが再生されます。

おしらせ

- 新しい伝言メッセージがあるときは、待受画面からすばやく伝言メッセージを再生できます（フォーカスモード）。☛P35
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は、含まれません。

新しい伝言メッセージがあるか確認する＜メッセージ問合せ＞

1 待受画面で Menu 9 1 7 を押す

2 「はい」を選択する

新しい伝言メッセージがあると、待受画面に伝言メッセージの有無と件数が表示されます。

- 件数増加鳴動設定を設定していると、新しい伝言メッセージがあると通知音が鳴り、バイブレータが振動します。

おしらせ

- バイブレータ設定を「OFF」に設定していても、マナーモード中にメッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあった場合はマナーモードの設定に従って振動します。☛P134

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るようにする＜件数増加鳴動設定＞

お買い上げ時　件数通知音：ON
通知メロディ：パターン1

着信後、相手が新しい伝言メッセージを残した場合や、メッセージ問合せを行ったときに伝言メッセージの件数が増加していた場合は、通知音が鳴るようにします。

- メッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあると、バイブレータ設定に従って振動します。
- メッセージ問合せの直後にお預かりしたメッセージについては、件数増加の通知音が鳴らない場合があります。
- オールロック中、PIM ロック中、ドライブモード中、アラーム鳴動中は通知音は鳴らず、バイブレータも振動しません。

1 待受画面で Menu 9 1 8 を押す

件数増加鳴動設定
件数通知音　ON
通知メロディ
パターン1

2 件数通知音欄を選択し、1 を押す

- 通知音を鳴らさないときは 2 を押し、操作 5 に進みます。

3 通知メロディ欄を選択する

4 フォルダを選択し、一覧からメロディを選択する

メロディが設定され、件数増加鳴動設定画面に戻ります。

- メロディを選択して [MENU] を押すとメロディを再生できます。再生中は [左右] を押して音量調整、[上下] を押して前後のメロディの再生ができます。
- [決定] を押すと設定されます。

5 [MENU] を押す

件数増加鳴動設定が設定されます。

圏外にいても着信があったことを通知する＜着信通知＞

FOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに着信があったことをショートメッセージ（SMS）でお知らせする機能です。

着信通知を開始する

1 待受画面で [Menu] [9] [1] [9] [1] を押す

2 「はい」を選択する

3 「はい」または「いいえ」を選択する

着信通知が開始されます。

- 「はい」を選択すると、すべての着信を通知します。
- 「いいえ」を選択すると、発信者番号非通知と公衆電話からの着信を無視します。

着信通知を停止する

1 待受画面で [Menu] [9] [1] [9] [2] を押して「はい」を選択する

設定内容を確認する

1 待受画面で [Menu] [9] [1] [9] [3] を押して「はい」を選択する

キャッチホン

キャッチホンを利用する

通話中に第三者から電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせします。通話中の電話を保留にして、第三者と通話できます。

- 通話中の電話を保留にして、新たに別の相手に電話をかけられます。
- キャッチホンは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、キャッチホンの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中、「非通知設定」の着信があった場合は、番号通知お願いガイダンスが流れ、キャッチホンはご利用できません。
- 次のとき、キャッチホンは動作しません。
  - 104番、110番、117番、118番、119番にかけているとき
  - ダイヤル中、および相手を呼び出し中のとき
  - 留守番電話サービスをご利用のお客様で、メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続されている間
  - 1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけているとき
  - テレビ電話通話中（着信履歴には不在着信として残ります）
  - 音声電話通話中にテレビ電話がかかってきたとき（着信履歴には不在着信として残ります）
- 通話保留中も発信者の方の料金は加算され続けます。
- 通話中にテレビ電話をかけることはできません。
- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

キャッチホンを開始する

1 待受画面で [Menu] [9] [2] [1] を押す

2 「はい」を選択する

キャッチホンが開始されます。

キャッチホンを停止する

1 待受画面で [Menu] [9] [2] [2] を押して「はい」を選択する

設定内容を確認する

1 待受画面で [Menu] [9] [2] [3] を押して「はい」を選択する

つづく

おしらせ

- キャッチホンを利用するときは、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定してください。通話中着信設定の開始／停止操作に関わらず、キャッチホンが利用できます。☛P473
- 通話中着信動作選択が「通常着信」以外の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても着信動作は行いません。

その他の操作

■ お話し中の通話を保留にしてかかってきた電話を受けるとき

① **通話中に ☎ を押す**

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けられます。

- ディスプレイに「マルチ接続中」と表示されます。
- ⓒ を押すたびに通話の相手が切り替わります。
- ガイド行に「保留」と表示されているときは、◎ を押すと現在通話中の相手も保留にできます。もう一度 ◎ を押すと保留が解除されます。
- 保留中の通話を終わらせるときは、キャッチホン中（マルチ接続中）に Menu 1 を押します。

② **一方の相手との通話が終わったら PWR を押す**

一方の相手との通話が終了し、着信音が鳴ります。

- ☎ を押すと、保留中の相手との通話が再開します。

■ お話し中の通話を終わらせてかかってきた電話を受けるとき

① **通話中に PWR を押す**

かかってきた電話の着信音が鳴ります。

② **☎ を押す**

新しくかかってきた電話と通話できます。

■ お話し中の通話を保留にして別の相手に電話をかけるとき

① **通話中に Menu 7 を押し、電話番号をダイヤルする**

- 着信履歴から電話をかける場合は Menu 1 を、リダイヤルから電話をかける場合は Menu 2 を押します。電話帳に登録されている相手に電話をかける場合は 📖 を押し、相手にカーソルを合わせます。

② **☎ を押す**

新しくかけた相手と通話できます。お話し中の通話は自動的に保留になります。

- ディスプレイに「マルチ接続中」と表示されます。
- ⓒ を押すたびに通話の相手が切り替わります。
- ガイド行に「保留」と表示されているときは、◎ を押すと現在通話中の相手も保留にできます。もう一度 ◎ を押すと保留が解除されます。
- 保留中の通話を終わらせるときは、キャッチホン中（マルチ接続中）に Menu 1 を押します。

③ **新しくかけた相手との通話が終わったら PWR を押す**

新しくかけた相手との通話が終了します。

- ☎ を押すと、保留中の相手との通話が再開します。

おしらせ

- マルチ接続中に別の電話がかかってきても受けることはできません。ただし、着信履歴には不在着信として残ります。

転送でんわ

転送でんわサービスを利用する

電波が届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、FOMA 端末にかかってきた電話を、ご家庭やオフィスなどに自動的に転送します。

- 全国の FOMA サービスエリア内ならどこでも利用できます。
- 転送でんわサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。月額使用料は無料です。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、転送でんわサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

- 転送先の登録は 1 件です。
- 転送でんわサービスを開始に設定していても、電話の発着信はできます。
- 着信中の電話を転送できます（☛P62）。また、通話中にかかってきた電話も転送できます。☛P473
- 転送でんわサービスと留守番電話サービスの両方をお申し込みになっても、2 つのサービスを同時には利用できません。留守番電話サービスを開始に設定すると、転送でんわサービスは、自動的に停止になります（その後、留守番電話サービスを停止に設定しても、転送でんわサービスは自動的には再開しません）。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、「非通知設定」の電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます。転送先には転送されません。

- プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始に設定してください。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を 3G-324M（☛P82）に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には、転送中のガイダンスは流れません（電話をかけた側が本 FOMA 端末の場合は、転送する旨のメッセージが画面に表示されます）。

- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ 1 転送先の電話番号を登録する

ステップ 2 転送でんわサービスを開始に設定する

ステップ 3 お客様の FOMA 端末に電話がかかる

ステップ 4 電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの利用料金

通話料

発信者 ⟷ 転送でんわサービスのご契約者 ⟷ 転送先

電話をかけた方のご負担です。　転送でんわサービスのご契約者のご負担です。

※ 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始・停止、呼出時間の設定の通話料は無料です。

転送でんわサービスを開始する

1 待受画面で Menu 9 3 1 を押す

2 「はい」を選択する

3 「はい」を選択する

4 転送先電話番号を入力する

- 転送先として、フリーダイヤルおよび 110 番などの 3 桁の電話番号は指定できません。
- 最大 26 桁入力できます。

■ **転送先電話番号を電話帳から設定するとき**

① **ガイド行に 📖 が表示されている状態で Menu を押す**

- 前回使用した検索結果画面が表示されます。ただし、シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモードを設定していないと表示されません。☛P165
- 検索方法を変えて検索し直すには Menu を押します。
- 前回行った検索方法での検索画面または検索結果画面が表示されます。検索画面が表示されたときは、検索を行ってください。
- 複数の電話番号が登録されている電話帳を選択した場合は、転送先電話番号を選択します。

② **転送先電話番号を選択する**

電話番号が入力され、転送先電話番号の設定画面に戻ります。

5 📖 を押す

6 「はい」を選択する

- 「いいえ」を選択すると、呼出時間を設定せず、現在設定されている時間（ご契約時の呼出時間は 7 秒）で転送でんわサービスを開始します。

7 呼出時間を入力する

- 呼出時間を 0 ～ 120 秒の範囲で入力します。
- ◎を押して数字を増減することもできます。

おしらせ

- 電波が届かない場合や電源が入っていない場合は、着信音が鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。
- 転送先から申し出があり、当社が必要と認めるときは、お客様に代わってその転送を中止させていただくことがあります。
- PBX、ポケットベル※、FAX を転送先とした場合、かけてきた方に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
- お話し中（パケット通信中）に別の電話がかかってきても、その電話を転送先へ転送することもできます。
かかってきた電話を手動で転送する ☛P62
- 呼出時間の設定は、転送先を変更したり、転送でんわサービスを停止した後も保持されます。

※：2001 年 1 月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

転送でんわサービスを停止する

1 待受画面で Menu 9 3 2 を押して「はい」を選択する

設定内容を確認する

転送でんわサービスの利用の有無や転送先の電話番号などを確認します。

1 待受画面で Menu 9 3 5 を押して「はい」を選択する

転送先を変更する

1 待受画面で Menu 9 3 3 を押す

2 転送先電話番号を入力して 📖 を押す

3 「はい」を選択する

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで対応する<転送先通話中時設定>

- 留守番電話サービスのご契約が必要です。

1 待受画面で Menu 9 3 4 を押す

2 「はい」を選択する

転送先が通話中のときは、留守番電話サービスが動作するように設定されます。

- 留守番電話サービスでの応対を解除するときは「いいえ」を選択します。

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話ストップサービスを利用する

迷惑電話を自動的に着信拒否します。迷惑電話の登録操作をすると、以降、同じ電話番号から電話がかかってきたときに、着信を拒否するガイダンスを流して通話を終了します。

- 最大30件登録できます。
- 迷惑電話ストップサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、迷惑電話ストップサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
- 着信拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、着信を拒否するガイダンスを流さずにテレビ電話は切断されます。
- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

最後に着信した電話番号を着信拒否に登録する

1 迷惑電話がかかってきた後に待受画面で Menu 9 4 1 を押す

2 「はい」を選択する

最後に通話した電話番号が、着信拒否する迷惑電話番号として登録されます。不在着信など通話していない場合は登録の対象になりません。

■ **既に30件登録されているとき**

最も古い電話番号を上書きするかどうかの問い合わせ画面が表示されます。「はい」を選択すると、最も古い電話番号が削除され、新しい電話番号が登録されます。

指定した電話番号を着信拒否に登録する

1 待受画面で 1 4 4 ☎ を押し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

指定した電話番号が登録されます。

おしらせ

● 迷惑電話ストップサービスを設定中の着信と、各サービスとの関係は次のとおりです。

サービス名	着信拒否登録した電話番号からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。番号通知お願いサービスのガイダンスは流れません。
ドライブモード	着信拒否ガイダンスが流れます。ドライブモードのガイダンスは流れません。

● 発信者番号非通知の電話でも着信拒否登録できます。

● 着信拒否登録した電話番号は、確認や問い合わせができません。着信拒否登録した電話番号をメモなどに控えておくことをおすすめします。

● 国際電話は着信拒否登録できません。

● 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも残りません。

拒否登録した電話番号を削除する

最後に登録した電話番号から1件ずつ削除できます。すべての電話番号をまとめて削除することもできます。

1 **待受画面で Menu 9 4 3 を押す**
- 電話番号を全件削除するときは Menu 9 4 2 を押します。

2 **「はい」を選択する**
最後に登録した電話番号が削除されます。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービスを利用する

発信者番号を通知してこない電話がかかってくると、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスで応答します。迷惑電話などによるトラブルを防ぎ、安心して携帯電話を活用できます。

- 発信者番号の非通知理由が、「非通知設定」の場合に、番号通知お願いサービスが動作します。非通知理由が「通知不可能」および「公衆電話」の場合は動作しません。
- ガイダンスが応答している間は、発信者に通話料金がかかります。
- 番号通知お願いサービスはお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、番号通知お願いサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

番号通知お願いサービスを開始する

1 **待受画面で Menu 9 6 1 を押す**

2 **「はい」を選択する**
番号通知お願いサービスが開始されます。

番号通知お願いサービスを停止する

1 **待受画面で Menu 9 6 2 を押して「はい」を選択する**

設定内容を確認する

1 **待受画面で Menu 9 6 3 を押して「はい」を選択する**

おしらせ

● 番号通知お願いサービス開始中の着信と、各サービスの関係は次のとおりです。

サービス名	発信者番号を通知しない着信の取り扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	着信拒否に登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。番号通知お願いサービスのガイダンスは流れません。
ドライブモード	番号通知お願いガイダンスが流れます。ドライブモードのガイダンスは流れません。

● 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、非通知設定の音声電話がかかってきたときは、着信音は鳴らず、着信履歴にも記録されません。また、テレビ電話がかかってきたときは、テレビ電話をかけた側には番号通知お願いガイダンスは流れず、接続できなかった旨のメッセージが画面に表示されます。

● 番号通知お願いサービスは、お客様ご自身のFOMAカードを取り付けたFOMA端末からのみ開始／停止の操作ができます。遠隔操作はできません。☛P474
なお、開始／停止の操作には通話料金はかかりません。

● FOMA 端末の発番号なし動作設定と本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。

デュアルネットワーク

デュアルネットワークサービスを利用する

デュアルネットワークサービスを利用すると、お使いになっている FOMA 端末の電話番号で、mova 端末を利用できます。
これによって FOMA サービスエリア外であっても、mova サービスエリア内であれば、mova 端末で音声電話をかけたり、受けたりすることができます。

- FOMAとmovaを同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、デュアルネットワークサービスの切り替え操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用できない状態の FOMA 端末または mova 端末から行います。
- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

mova 端末を使えるようにする

1 **mova 端末で「1540」とダイヤルする**

2 **ガイダンスに従って操作する**

FOMA 端末を使えるようにする

mova に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA 端末に切り替える操作です。

1 **FOMA端末の待受画面で Menu 9 9 5 1 を押す**

2 **「はい」を選択する**

3 **ネットワーク暗証番号を入力する**
ネットワークが切り替えられます。

設定内容を確認する

1 **待受画面で Menu 9 9 5 2 を押して「はい」を選択する**

おしらせ

- mova 端末でも FOMA の i モードサービスを利用することが可能ですが、一部利用できないサービスがあります。また、i モード利用時や各種ネットワークサービスにおいては、FOMA、mova それぞれに制限事項や注意事項があります。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

発着信時の音声ガイダンス、留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスを、英語に設定できます。

- 利用できるガイダンス言語は、「日本語」と「英語」です。
- 英語ガイダンスはお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、ガイダンスの切り替え操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
- テレビ電話で発信または着信したときは、英語ガイダンスは利用できません。
- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。
- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 **待受画面で Menu 9 9 4 1 を押す**

2 **「はい」を選択する**

3 **1 または 2 を押す**

ガイダンス設定
1 日本語
2 英語

日本語：発信時に自分が聞くガイダンスを日本語に設定します。
英語　：発信時に自分が聞くガイダンスを英語に設定します。

4 **「はい」を選択する**

5 1 ～ 3 を押す

音声ガイダンスが切り替えられます。

ガイダンス設定
1 日本語
2 日本語+英語
3 英語+日本語

日本語　：着信時に相手が聞くガイダンスを日本語に設定します。

日本語＋英語
：着信時に相手が聞くガイダンスを、日本語→英語の順に設定します。

英語＋日本語
：着信時に相手が聞くガイダンスを、英語→日本語の順に設定します。

設定内容を確認する

1 待受画面で Menu 9 9 4 2 を押して「はい」を選択する

サービスダイヤル

サービスダイヤルを利用する

ドコモ故障窓口や、ドコモ総合案内・受付へ電話をかけます。

- サービスダイヤルはお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、サービスダイヤルの操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
- お使いの FOMA カードによっては、ドコモ故障窓口とドコモ総合案内・受付の項目番号が異なる場合や表示されない場合があります。☛P39
- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

故障の問い合わせをする

1 待受画面で Menu 9 9 6 1 を押す

2「はい」を選択する

ドコモ故障問合せに電話がかかります。

総合案内・受付へ電話をかける

1 待受画面で Menu 9 9 6 2 を押す

2「はい」を選択する

DoCoMo インフォメーションセンターに電話がかかります。

通話中着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの応対を設定する

音声電話通話中または 64K データ通信中に別の電話がかかってきたときに、留守番電話や転送でんわなどで対応します。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは、あらかじめご契約が必要なオプションサービスです。
- 通話中に 64K データ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合、または 64K データ通信中に 64K データ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合は、「着信拒否」になります。詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選択する

お買い上げ時　通常着信

1 待受画面で Menu 9 8 を押す

通話中着信動作選択
1 通常着信
2 留守番電話
3 転送でんわ
4 着信拒否

通常着信　：通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、応答、切断の操作ができます。キャッチホンをご契約の上、サービスを開始している場合に有効となります。

留守番電話：通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話に留守番電話サービスで応答します。

転送でんわ：通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、あらかじめ登録されている転送先に転送します。

着信拒否　：通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときは、着信を拒否し、拒否された着信は着信履歴に記録されます。

2 1 〜 4 を押す

通話中着信動作が設定されます。

- 選択した通話中着信動作を有効にするには、通話中着信設定を開始してください。ただし、キャッチホンを契約し、サービスを開始している場合には、通話中着信設定の開始、停止に関わらず、通話中着信動作は有効になります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを停止に設定中でも、本機能を「留守番電話」または「転送でんわ」に設定した場合は、通話中着信設定を開始すれば自動的にそれらの設定が有効になります。

通話中着信設定を開始する ＜通話中着信設定＞

通話中着信動作選択で選択した応答方法を開始／停止します。

- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、通話中着信設定はできません。電波状態のよい場所で操作してください。
- キャッチホンを契約し、サービスを開始している場合には、本機能に関わらず、通話中着信動作選択で設定した動作となります。

1 待受画面で Menu 9 7 1 を押す

2 「はい」を選択する

通話中着信設定が開始されます。

通話中着信設定を停止する

1 待受画面で Menu 9 7 2 を押して「はい」を選択する

設定内容を確認する

1 待受画面で Menu 9 7 3 を押して「はい」を選択する

遠隔操作

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話から操作できるようにします。

- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、遠隔操作の設定はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

遠隔操作を開始する

1 待受画面で Menu 9 9 3 1 を押す

2 「はい」を選択する

遠隔操作が開始されます。

遠隔操作を停止する

1 待受画面で Menu 9 9 3 2 を押して「はい」を選択する

設定内容を確認する

1 待受画面で Menu 9 9 3 3 を押して「はい」を選択する

マルチナンバー

マルチナンバーを利用する

- マルチナンバーは、2004年12月現在サービスを開始しておりません。

追加サービス（USSD登録）

新しいネットワークサービスを登録する

新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

- 最大10件登録できます。

ネットワークサービスを登録する

1 待受画面で Menu 9 9 1 を押す

2 サービスを登録する番号にカーソルを合わせて 📖 を押す

USSD登録 1/2
1 [未登録]
2 [未登録]
3 [未登録]
4 [未登録]
5 [未登録]
6 [未登録]
7 [未登録]
8 [未登録]

- ◎ を押してページを切り替えられます。

ネットワークサービス

■ 登録内容を変更するとき
① 登録済みの番号にカーソルを合わせて [本] を押す

3 **USSDコード欄を選択し、USSDコードを入力する**

- ドコモから通知されたサービスコードをUSSDコードの入力欄に入力します。サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。

4 **名称欄を選択し、名称（サービス名）を入力する**

- 名称（サービス名）は全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

5 **[本] を押す**

サービスが登録されます。

登録したネットワークサービスを利用する

1 **待受画面で [Menu] [9] [9] [1] を押す**

2 **[1] ～ [8] を押す**

登録されたコードがサービスセンターに発信されます。

選択されたサービスのコードが表示されます。

- [◎] を押してページを切り替えられます。

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。

- 最大10件登録できます。

1 **待受画面で [Menu] [9] [9] [2] を押す**

2 **[1] ～ [8] を押す**

- [◎] を押してページを切り替えられます。

■ 登録内容を変更するとき
① 登録済みの番号を選択する

3 **USSDコード欄を選択し、USSDコードを入力する**

- ドコモから通知されたUSSDコードを入力します。

4 **応答メッセージ欄を選択し、応答メッセージを入力する**

- 応答メッセージは全角で最大10文字、半角で最大20文字入力できます。

5 **[本] を押す**

応答メッセージが登録されます。

登録したサービスを削除する

1 **待受画面で [Menu] [9] [9] [1] を押す**

- 応答メッセージを削除するときは [Menu] [9] [9] [2] を押します。

2 **削除するサービスにカーソルを合わせて [Menu] [1] を押す**

- サービスを全件削除するときは [Menu] [2] を押します。
- [◎] を押してページを切り替えられます。

3 **「はい」を選択する**

データ通信

データ通信について

FOMA 端末から利用できるデータ通信の形態や接続方法、および利用時の留意点について説明します。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA 端末をドコモの PDA「sigmarion Ⅱ」や「musea」に接続してデータ通信を行う場合、「sigmarion Ⅱ」や「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

利用できる通信形態

FOMA 端末の通信形態は、パケット通信、64K データ通信、データ転送の 3 つに分類されます。

パケット通信

パケット通信は送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービス mopera など、FOMA のパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大 384kbps、送信最大 64kbps の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
本通信は、添付の CD-ROM から関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA 端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。
画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

64K データ通信

64K データ通信は 64kbps の安定した通信速度でデータを送受信することができます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービスmoperaなど、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、または ISDN の同期 64Kアクセスポイントを利用します。
本通信は、添付のCD-ROMから関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA 端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

データ転送

データ転送は下記の接続方法を使ってデータを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。
FOMA 端末と他の FOMA 端末や携帯電話、パソコンなどと接続して利用できます。パソコンとデータを送受信する場合には、添付の CD-ROM より関連ソフトをパソコンにインストールしてからご利用ください。

FOMA 端末と他の機器との接続方法

次の 2 つの方法があります。赤外線通信は、データ転送を行う場合のみ利用できます。

FOMA USB 接続ケーブルで接続する

FOMA USB 接続ケーブル(別売)を使って、FOMA 端末を USB ポートを装備したパソコンと接続します。☛P481

- ご使用前に通信設定ファイルのインストールが必要です。

赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA 端末と赤外線通信機能が搭載された他の FOMA 端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。☛P408

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ(以降、プロバイダ)に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMA サービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービス mopera は、お申し込み手続き不要です。また、月額使用料無料です。簡単にインターネットに接続をしたいという方には、mopera をおすすめします。

接続先(プロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはFOMAのパケット通信に対応した接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証(IDとパスワード)が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してFirstPass(ユーザ証明書)の認証を行う場合は添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳しくは添付のCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。
「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます(別途通信料がかかります)。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

■ 動作環境の確認

FirstPass PCソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機
OS	Windows 98SE、Me、2000、XP(各日本語版)
必要メモリ	Windows 98SE、Me、2000:32MB以上 Windows XP:128MB以上
ハードディスク容量	10MB以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5以上 Windows XPの場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0以上

※ 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMA USB接続ケーブル(別売)に対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

データ通信編の用語集

● APN（Access Point Name）
パケット通信で接続するプロバイダや社内LANを識別する文字列。
moperaは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

● cid（Context Identifier）
パケット通信の接続先（APN）に対応して、FOMA端末に登録したAPNに割り当てられる登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。

● DNS（Domain Name System）
ドメインネーム（例：mopera.ne.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

● IrDA（Infrared Data Association）
赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

● IrMC（Ir Mobile Communications）
携帯電話どうしや PDA（携帯情報端末）間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMC に準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしや PDA との間で、電話番号やスケジュールをやりとりできます。

● OBEX（Object Exchange）
データ通信の国際規格の 1 つ。OBEX に対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。

● QoS（Quality of Service）
サービスの品質。通信時にユーザの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA 端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

● W-CDMA
世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の 1 つ。FOMA 端末は、W-CDMA 規格に準拠しています。

● W-TCP
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IP の伝送能力を最大限に生かすための TCP パラメータ。FOMA 端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

● 管理者権限
Windows XP、2000を使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1 台のパソコンに最低 1 人は、パソコンの管理者権限を持つユーザが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザは、ドライバのインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンと FOMA 端末を接続して、パケット通信または 64K データ通信を利用する場合の準備について説明します。
次のような流れになります。

1. 通信設定ファイルをインストールする ☛P483
2. パソコンと FOMA 端末を接続する ☛P481
3. 通信設定ファイルを確認する ☛P483

↓

- FOMA PC 設定ソフトをインストールする ☛P485
  - かんたん設定でパケット通信の設定をする
    - ●mopera ☛P486
    - ●その他のプロバイダ ☛P488
  - かんたん設定で64K データ通信の設定をする
    - ●mopera ☛P489
    - ●その他のプロバイダ ☛P490
  - 通信を実行する ☛P491（切断する ☛P492）

または

- FOMA PC 設定ソフトを使わずに通信の設定をする ☛P495
- 接続する ☛P503（切断する ☛P504）

通信設定ファイル（ドライバ）について

FOMA 端末をパソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールする必要があります。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

FOMA PC設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末とパソコンを接続して、データ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単な操作で設定することができます。

動作環境の確認

通信設定ファイルおよびFOMA PC設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、下記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※	PC/AT互換機
OS	Windows 98、Me、2000、XP（各日本語版）
必要メモリ	Windows 98、Me：32MB以上 Windows 2000：64MB以上 Windows XP：128MB以上
ハードディスク容量	5MB以上の空き容量

※：USB接続の場合は、USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）が必要です。

インストール・アンインストール前の注意点

- Windows XP、2000で通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトのインストール・アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザで行ってください。それ以外のユーザが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 操作を始める前に、稼動中の他のプログラムがないことを確認してください。稼動中のプログラムがあった場合は、プログラムを保存・終了させた後に行ってください。
- パソコンの取扱説明書もご参照ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

- 通信モードで初めてパソコンに接続する場合は、必ず通信設定ファイル（ドライバ）を先にインストールしてください。☛P483
- miniSDモードで初めてパソコンに接続した場合は、OSが自動的にドライバをインストールします。あらかじめ通信設定ファイルをインストールする必要はありません。ただし、miniSDモードに対応しているOSはWindows XP、2000のみです。

USB接続時にパソコンで操作する内容を設定する<USBモード設定>

お買い上げ時　通信モード

ここではパソコンとFOMA端末を接続したとき、パソコンでデータ通信を行うか、パソコンからFOMA端末に取り付けられているminiSDメモリーカード内のデータを操作するかを設定します。

1 **待受画面で Menu 6 5 4 を押す**

2 **1 または 2 を押す**

USBモード設定
1 通信モード
2 miniSDモード

通信モード
：パソコンでデータ通信を行うモードです。

miniSDモード
：パソコンからFOMA端末に取り付けられているminiSDメモリーカード内のデータを操作するモードです。

3 **「はい」を選択する**

おしらせ

- パソコンとFOMA端末を接続中でも本機能の設定を変更できます。
- パソコン側で、FOMA 端末を接続すると自動的にデータ通信を行うように設定している場合は、miniSDモードに設定できないことがあります。
- パソコンからminiSDメモリーカードを操作しているときは通信モードに設定できません。
また、通話中やｉモード中は、miniSDモードに設定できません。
- 電話帳データなどをパソコンで編集するには、データリンクソフトが必要となります。
☛P551
- miniSDモードに設定した場合、FOMA端末にパソコンを接続していない状態でminiSDメモリーカードへのアクセスがなく90秒が経過すると、自動的に通信モードに切り替わります。
- miniSDモードに設定すると、電話やｉモードなどの通信ができなくなります。
- miniSDモード中は、マルチイルミネーションランプが点滅します。
- miniSDモードでパソコンからFOMA端末に取り付けられているminiSDメモリーカードを初期化すると、FOMA端末で正常にデータを読み書きできなくなる場合があります。初期化はFOMA端末で行ってください。☛P400
- miniSDメモリーカードの操作を終了するときは、タスクトレイの をクリックし「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※を安全に取り外します」をクリックしてください。
※：ドライブに割り当てられる文字はパソコンのシステムによって異なります。
- パソコンから操作したときのminiSDメモリーカードのフォルダ構成について☛P390

接続のしかた

❶ FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開く

❷ FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側コネクタを、「カチッ」と音がするまでFOMA端末の外部接続端子に差し込む

❸ FOMA USB接続ケーブルのパソコン側コネクタを、パソコンのUSBコネクタに差し込む

- 通信モードでパソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の画面に が表示されます。
- 通信モードで通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして、終了してください。USB接続ケーブルが、差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして、終了してください。

■ **取り外しかた**

FOMA端末側コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜きます。パソコンのコネクタはそのまま引き抜きます。

■ **充電しながら接続する**

卓上ホルダ（別売）を使って充電しながら接続できます。ただし充電時間が長くなります。

❶ 卓上ホルダとACアダプタを接続する

- ACアダプタはコンセントに差し込んでおいてください。

❷ FOMA端末とFOMA USB接続ケーブルを接続する

❸ 卓上ホルダを図のように置いてから、FOMA端末を卓上ホルダに押し込む

※ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

おしらせ

- ●データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。
- ●卓上ホルダを使って充電しながらデータ通信を行うときは、FOMA端末を閉じた状態にしてください。開いた状態にしたり、FOMA端末および卓上ホルダに衝撃を与えたりしないでください。FOMA端末が卓上ホルダから外れ、充電やデータ通信の切断、誤動作、データ消失などの原因となります。
- ●データ通信中に充電を開始した場合、充電が完了しない場合があります。充電を完了させたい場合は、データ通信を終了してから充電することをおすすめします。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA 端末をパソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールしてください。

- miniSD モードでパソコンと接続する場合は、通信設定ファイルのインストールは不要です。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P481

例 Windows XP にインストールするとき

- Windows XP 以外の OS のときは、画面の表示が異なります。

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする

- FOMA 端末は操作 1 ～ 3 を行った後にパソコンに接続してください。

2 ［スタート］メニュー→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「名前」に「< CD-ROM ドライブ名>：¥USBDRIVE¥D901iin.exe」と入力して［OK］をクリックする

3 ［はい］をクリックする

FOMA D901iをパソコンに接続する旨の画面が表示されます。

FOMA D901i Installer

FOMA D901iをPCに接続してください。

キャンセル

4 FOMA 端末をパソコンに接続する

インストール中の画面が表示され、インストールが自動的に完了します。

- FOMA端末は電源の入った状態で接続してください。☛P482
- インストールされたデバイスの種類とデバイス名を確認してください。☛P483

おしらせ

- ●インストールには数分かかることがあります。
- ●Windows を再起動する旨の画面が表示されたときは、画面の指示に従い、再起動してください。
- ●通信設定ファイルのインストールを行う前にパソコンと FOMA 端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされてしまう場合があります。その場合、操作 2 でアンインストールする必要がある旨のメッセージが表示されます。このときは画面の指示に従ってアンインストールを行った後、通信設定ファイルをインストールしてください。
- ●何らかの原因により、パソコンが FOMA 端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし、再度インストールしてください。

通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

- FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信を行うことはできません。

例 Windows XP で確認するとき

1 ［スタート］メニュー→「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンの順にクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

■ **Windows 2000、Me、98 のとき**

① ［スタート］メニュー→「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して［システム］アイコンをダブルクリックする

つづく

2 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックする

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

■ Windows Me、98 のとき

① ［デバイス　マネージャ］タブをクリックする

3 各デバイスをクリックしてインストールされたデバイス名を確認する

インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。

デバイスの種類	デバイス名
ポート（COM/LPT） または （COM と LPT）	• FOMA D901i Command Port（COMx） • FOMA D901i OBEX Port（COMx） （COMx はお使いのパソコンによって異なります）
モデム	FOMA D901i
ユニバーサル シリアル バスコントローラ または USB（Universal Serial Bus）コントローラ	• FOMA D901i • FOMA D901i Command※ • FOMA D901i Modem※ • FOMA D901i OBEX※

※：Windows Me、98 の場合のみ表示されます。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P481
- アンインストールを実行する前に、必ずパソコンから FOMA 端末を取り外してください。

例 Windows XP でアンインストールするとき

- Windows XP 以外の OS のときは、画面の表示が異なります。

1 ［スタート］メニュー→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンの順にクリックする

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

■ Windows 2000、Me、98 のとき

① ［スタート］メニュー→「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする

2 「FOMA D901i USB」を選択して［変更と削除］をクリックする

3 削除するプログラム名を確認して［はい］をクリックする

通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。

4 ［OK］をクリックする

おしらせ

- インストールに失敗したとき、または操作 2 の画面に「FOMA D901i USB」が表示されていないときは、［スタート］メニュー→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックして「＜ CD-ROM ドライブ名＞：¥USBDRIVE¥D901iin.exe」を指定し、［OK］をクリックして直接実行し、通信設定ファイルをアンインストールしてください。
- Windows Me、98 では通信設定ファイルのアンインストール後、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できないことがあります。その場合は、FOMA USB 接続ケーブルを一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

FOMA PC 設定ソフトを利用して通信する

FOMA PC 設定ソフトを利用すると、簡単な操作でパケット通信や 64K データ通信を行うことができます。

FOMA PC 設定ソフトについて

FOMA 端末をパソコンに接続してパケット通信や 64K データ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC 設定ソフトを使うと、簡単な操作で次の設定ができます。

■ **かんたん設定**
ガイドに従い操作することで、「FOMA データ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCP の設定」などを自動で行います。

■ **W-TCP の設定**
「FOMA パケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、「W-TCP 設定」による通信設定の最適化が必要です。

■ **接続先（APN）の設定**
「パケット通信」を行う際に必要な「接続先（APN）の設定」を行います。
FOMA パケット通信の接続先には、64K データ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA 端末に APN と呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。cid の 1 番には標準で、mopera に接続するための APN「mopera.ne.jp」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内 LAN に接続する場合は APN 設定が必要になります。

FOMA PC 設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

FOMA PC設定ソフトの動作環境をご確認ください。☛P481

ステップ 1　FOMA PC設定ソフトをインストールする ☛P485

「FOMA PC 設定ソフト」は、データ通信対応のすべての FOMA 端末で利用できます。

ステップ 2　設定前の準備

設定を行う前に次のことを確認してください。
- 通信設定ファイルのインストール ☛P483
- FOMA 端末とパソコンの接続 ☛P482
- FOMA 端末がパソコンに認識されているか ☛P483

ステップ 3　かんたん設定で通信の設定を行う

- mopera を利用したパケット通信 ☛P486
- その他のプロバイダを利用したパケット通信 ☛P488
- moperaを利用した64Kデータ通信☛P489
- その他のプロバイダを利用した 64K データ通信 ☛P490
- その他の設定は、P492 以降を参照してください。

ステップ 4　通信を実行しインターネットに接続する ☛P491

おしらせ
- FOMA 端末が COM20 より大きい番号として認識されている場合は、APN 設定の際、APN の情報の取得・書き込みができません。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- 次の FOMA 端末に同梱されている「W-TCP 環境設定ソフト（以降、旧「W-TCP 設定ソフト」と呼びます）」、および「FOMA データ通信設定ソフト（以降、旧「FOMA データ通信設定ソフト」と呼びます）」がインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
（FOMA N2001、FOMA N2002、FOMA P2401、FOMA P2002、FOMA F2611、FOMA T2101V）
- 操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P481

例 Windows XP にインストールするとき
- Windows XP 以外の OS の場合は、画面の表示が異なります。

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする

2 ［スタート］メニュー→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「名前」に「< CD-ROM ドライブ名> :¥FOMA_PCSET¥SETUP.EXE」を指定し、［OK］をクリックする

3 ［次へ］をクリックする
製品ライセンス契約の確認画面が表示されます。

4 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリックする

5 「タスクトレイに常駐する」が選択されていることを確認して［次へ］をクリックする

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP 設定」が常駐します。☛P492

- 「W-TCP 通信」の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
- インストール後に常駐の設定は変更できます。

6 インストール先を確認して［次へ］をクリックする

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して［次へ］をクリックする

8 ［完了］をクリックする

「FOMA PC 設定ソフト」が起動します。

- このまま各種設定を始められます。☛P486

おしらせ

- 既に FOMA PC 設定ソフトがインストールされている場合は、FOMA PC 設定ソフトのインストール方法を選択する画面が表示されます。画面の説明に従って操作してください。
- 旧「W-TCP 設定ソフト」がインストールされている場合は、FOMA PC 設定ソフトのインストールが中止されます。旧「W-TCP 設定ソフト」をアンインストールしてください。
- 旧「FOMA データ通信設定ソフト」がインストールされている場合は、FOMA PC 設定ソフトのインストールを続けるかどうかの確認画面が表示されます。［はい］をクリックして、インストールを続けてください。
- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックしたときは、インストール画面の説明に従って［継続］または［中止］をクリックしてください。

かんたん設定でパケット通信を設定する

例 Windows XP で設定するとき

- Windows XP 以外の OS の場合は、画面の表示が異なります。

1 ［スタート］メニュー→「プログラム」（Windows XP の場合は、「すべてのプログラム」）→「FOMA PC 設定ソフト」の順に選択して「FOMA PC 設定ソフト」をクリックする

「FOMA PC 設定ソフト」が起動します。

mopera を利用したパケット通信設定方法

最大 384kbps の高速パケット通信の設定を行います。

利用するプロバイダはドコモのインターネット接続サービス mopera です。

- mopera 以外のプロバイダをご利用の場合 ☛P488

1 FOMA PC 設定ソフトを起動し、［かんたん設定］をクリックする

2 「パケット通信」を選択して［次へ］をクリックする

3 「mopera 接続」を選択して［次へ］をクリックする

4 FOMA 端末設定取得画面で［OK］をクリックする

パソコンに接続された FOMA 端末から「接続先（APN）情報」を取得します。しばらくお待ちください。

5 接続名を入力して［次へ］をクリックする

「接続名」に任意の接続名を入力します。

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/: ＊ ?!< > ｜ ”

6 ［次へ］をクリックする

- 「ユーザー名」・「パスワード」の入力は不要です。
- ご使用の OS が Windows XP、2000 の場合は、使用可能なユーザーを選択してください。Windows Me、98 の場合は、使用可能ユーザーの選択は表示されません。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリックする

- 既に最適化されている場合、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認して［完了］をクリックする

データ通信

つづく

9 ［OK］をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- 既にW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する ☛P491

その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法

最大 384kbps の高速パケット通信の設定を行います。

- mopera をご利用の場合 ☛P486

1 「moperaを利用したパケット通信設定方法」の操作 1 ～ 4 を行う ☛P486

操作 3 の接続先は「その他」を選択します。

2 接続名を入力して［接続先（APN）設定］をクリックする

「接続名」に任意の接続名を入力します。

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/: ＊ ?!< > ｜ ”

■ **高度な設定（TCP/IP の設定）**

［詳細情報の設定］をクリックすると「IP アドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内 LAN などのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に、各種アドレスを登録してください。

3 接続先（APN）を設定する

番号（cid1 ※）にはあらかじめ、mopera に接続するための APN「mopera.ne.jp」が設定されています。

①［追加］をクリックする

「接続先（APN）の追加」画面が表示されます。

②「接続先（APN）」にご利用のプロバイダの FOMA パケット網に対応した接続先名（APN）を正しく入力し、［OK］をクリックする

「接続先（APN）設定」画面に戻ります。

- 「接続先（APN）」には半角文字で、英数字、ハイフン（ - ）、ピリオド（ . ）のみ入力できます。

※：cid は 1 ～ 10 まで登録できます。

4 ［OK］をクリックする

操作 2 の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作 3 で設定した「接続先（APN）」が表示されています。

5 「接続先（APN）の選択」で接続先名（APN）を確認して［次へ］をクリックする

6 ユーザー名・パスワードを入力して［次へ］をクリックする

「ユーザー名」・「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- ご使用の OS が Windows XP、2000 の場合は、使用可能なユーザーを選択してください。Windows Me、98 の場合は、使用可能ユーザーの選択は表示されません。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリックする

パケット通信に必要な W-TCP 設定を最適化します。

- 既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。

かんたん設定
W-TCP設定
現在、FOMAパケット用に最適化されていません。
FOMAパケット通信を利用するため、パソコン内の通信設定を最適化します。
☑ 最適化を行う
＜戻る(B)　次へ(N)＞　キャンセル

8 設定情報を確認して［完了］をクリックする

かんたん設定
設定情報
この内容でよろしければ、完了ボタンを押してください。

確認項目	内容
接続方法	パケット通信
接続先	その他
接続名	FOMA
モデム名	FOMA D901i
接続先(APN)名	xxxx.ne.jp
発信者番号の通知	する
使用可能ユーザー	すべてのユーザー
ユーザー名	xxxx
パスワードの保存	する

☑ デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する
＜戻る(B)　完了(F)　キャンセル

9 ［OK］をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- 既にW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する ☛P491

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

例 Windows XP で設定するとき

- Windows XP 以外の OS の場合は、画面の表示が異なります。

mopera を利用した 64K データ通信設定方法

64K データ通信の設定を行います。
利用するプロバイダは、ドコモのインターネット接続サービス mopera です。

- mopera 以外のプロバイダをご利用の場合 ☛P490

1 「mopera を利用したパケット通信設定方法」の操作 1 ～ 3 を行う ☛P486

操作 2 の接続方法は「64K データ通信」を選択します。

かんたん設定
接続方法の選択
○ パケット通信
パケット通信は、通信時量に応じて料金が課金
◉ 64Kデータ通信
64Kデータ通信は、時間

かんたん設定
接続先の選択
◉ mopera接続
ドコモのインターネットサ…います。
○ その他
FOMAデータ通信に対…めの設定を行います。

2 接続名の入力とモデムを選択して［次へ］をクリックする

「接続名」に任意の接続名を入力します。

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ¥ /: ＊ ?!< > ｜ ”
- 「モデムの選択」が「FOMA D901i」に設定されていることを確認します。

かんたん設定
64Kデータ通信設定
接続名: FOMA
モデムの選択: FOMA D901i
☑ 発信者番号通知を行う
※mopera接続では発信者番号通知が必要です。
＜戻る(B)　次へ(N)＞　キャンセル

3 ［次へ］をクリックする

- 「ユーザー名」･「パスワード」の入力は不要です。
- ご使用の OS が Windows XP、2000 の場合は、使用可能なユーザーを選択してください。Windows Me、98 の場合は、使用可能ユーザーの選択は表示されません。

かんたん設定
使用可能ユーザーの選択
この接続を利用できるユーザーを指定してください
◉ すべてのユーザー
○ 自分のみ
ユーザー名･パスワード設定
moperaアカウントをお持ちの方は入力して下さい。
(お持ちでない場合は入力不要です。)
ユーザー名:
パスワード:
☑ パスワードを保存する
＜戻る(B)　次へ(N)＞　キャンセル

つづく

4 設定情報を確認して［完了］をクリックする

5 ［OK］をクリックする

- 通信を実行する ☛P491

その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法

64Kデータ通信の設定を行います。

- moperaをご利用の場合 ☛P489

1 「moperaを利用したパケット通信設定方法」の操作1～3を行う ☛P486

操作2の接続方法は「64Kデータ通信」、操作3の接続先は「その他」を選択します。

2 各項目を設定して［次へ］をクリックする

ISDN同期64Kアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に次の項目をそれぞれ登録します。

- 接続名：任意
- モデムの選択：FOMA D901i
- 電話番号：プロバイダ情報を基に、正しく入力してください。

■ 高度な設定（TCP/IPの設定）

［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」・「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LANなどのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に各種アドレスを登録してください。

3 ユーザー名・パスワードを入力して［次へ］をクリックする

「ユーザー名」・「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

- ご使用のOSがWindowsXP、2000の場合は、使用可能なユーザーを選択してください。Windows Me、98の場合は、使用可能ユーザーの選択は表示されません。

4 設定情報を確認して［完了］をクリックする

5 ［OK］をクリックする

・通信を実行する ☛P491

通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。また、64Kデータ通信中や音声電話通話中に着信したときなどの対応についても説明します。

1 FOMA端末とパソコンを接続する

・接続方法 ☛P481

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

通信が開始されます。

・アイコンはOSによって異なります。

・デスクトップに接続アイコンを作成しなかった場合は、スタートメニューから起動します。

■ **Windows XPのスタートメニューから起動するとき**

① **［スタート］メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ネットワーク接続」をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする**

■ **Windows 2000、Me、98のスタートメニューから起動するとき**

① **［スタート］メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」(Me、98の場合は「ダイヤルアップネットワーク」)をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする**

3 接続を実行する

・moperaを選択した場合は「ユーザー名」・「パスワード」とも空欄のまま、［ダイヤル］をクリックします。

・その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」を入力して［ダイヤル］をクリックします。

・OSによっては、接続完了画面が表示されることがあります。［OK］をクリックしてください。

※画面はOSにより異なります。

おしらせ

● FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中の画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき　　64Kデータ通信のとき

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

● データ通信を実行する場合、アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。

● D901i以外のFOMA端末を接続する場合は、通信設定ファイル（ドライバ）をインストールし直してください。

切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 **タスクトレイの をダブルクリックする**

2 **［切断］をクリックする**

※画面は OS により異なります。

64K データ通信の着信があったときは

64Kデータ通信の着信があると次の画面が表示されます。パソコンで、対応する操作をしてください。

- 64K データ通信中にさらに別の 64K データ通信の着信があったときは、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。

64K データ通信中に音声電話がかかってきたとき

64Kデータ通信中に音声電話がかかってくると次の画面が表示されます。Menu を押して次の項目から選択できます。

留守番電話　：留守番電話の設定に従って、かかってきた音声電話に対応します。
着信拒否　：かかってきた音声電話を切断します。
転送でんわ　：転送でんわの設定に従って、かかってきた音声電話を転送します。
通信終了　：現在通信中の 64K データ通信を切断します。

音声電話通話中に64Kデータ通信の着信があったとき

音声電話通話中の64Kデータ通信の着信は着信拒否になります。ただし、履歴に不在着信として残ります。

おしらせ

- オールロック中に64Kデータ通信の着信があったときや、音声電話がかかってきたときは、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。
- パソコンが未接続の状態で着信があった場合は、着信を拒否し、履歴に不在着信として残ります。

パケット通信の設定を最適化する

「W-TCP 設定」を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化する方法と最適化を解除する方法について説明します。
「W-TCP 設定」とは FOMA ネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IP の伝送能力を最適化するための「TCP パラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

Windows XP の最適化の設定と解除

Windows XP の場合は、ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 **「FOMA PC設定ソフト」を起動し、[W-TCP 設定] をクリックする** ☛P486

■ **タスクトレイからW-TCP設定を起動する場合**

① **タスクトレイの をダブルクリックする**
W-TCP 設定を直接起動できます。

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき
① W-TCP 設定画面で［最適化を行う］をクリックする
② 最適化するダイヤルアップを選択して［実行］をクリックする
システム設定とダイヤルアップ設定のそれぞれの最適化が実行されます。

■ システム設定が最適化されているとき
次の画面が表示されます。内容を変更する場合は設定を行ってください。

■ 最適化を解除するとき
①「W-TCP 設定（ダイヤルアップ）」画面で［システム設定］をクリックする
W-TCP 設定画面が表示されます。
②［最適化を解除する］をクリックする

3 画面に従って Windows を再起動する

• 設定した内容は再起動後に有効になります。

Windows 2000、Me、98 の最適化の設定と解除

1「Windows XPの最適化の設定と解除」の操作 1 を行う ☛P492

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき
①［最適化を行う］をクリックする

■ システム設定が最適化されているとき
①［最適化を解除する］をクリックする

3 画面に従って Windows を再起動する

• 設定した内容は再起動後に有効になります。

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

• 接続先（APN）は最大 10 件設定でき、登録番号（cid）の 1 〜 10 に登録して管理します。
• 設定を行う前に FOMA 端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。☛P482
• mopera 以外の接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1「FOMA PC 設定ソフト」を起動し、［接続先（APN）設定］をクリックする

FOMA 端末設定取得画面が表示されます。

• 起動方法 ☛P486

2［OK］をクリックする

接続された FOMA 端末に自動的にアクセスし、登録されている「接続先（APN）情報」を読み込みます。

3 接続先（APN）の設定を行う

■ 接続先（APN）を追加するとき
①［追加］をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を編集または修正するとき
① 対象の接続先（APN）を一覧から選択して［編集］をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を削除するとき
① 対象の接続先（APN）を一覧から選択して［削除］をクリックする
• 番号（cid）の 1 に登録されている接続先（APN）は削除できません。

■ ファイルへ保存するとき
① ツールバーの「ファイル」メニュー→「名前を付けて保存」または「上書き保存」の順にクリックする
• FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ ファイルから読み込むとき

① ツールバーの「ファイル」メニュー→「開く」の順にクリックする

・パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりするときに利用します。

■ FOMA端末から接続先（APN）情報を読み込むとき

① ツールバーの「ファイル」メニュー→「FOMA 端末から設定を取得」の順にクリックする

FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ FOMA端末へ接続先（APN）情報を書き込むとき

①［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリックする

表示されている接続先（APN）設定がFOMA端末に書き込まれます。

■ ダイヤルアップを作成するとき

① 追加・編集された接続先（APN）を選択して［ダイヤルアップ作成］をクリックする

「FOMA 端末設定書き込み」画面が表示されます。

②［はい］をクリックする

FOMA端末へ接続先（APN）情報の書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③ 任意の接続名を入力し、[アカウント・パスワードの設定] をクリックする

・moperaの場合は不要です。

④ ユーザー名とパスワードを入力して［OK］をクリックする

・Windows XP、2000の場合は、使用可能ユーザーを選択してください。
・ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、必要な情報を登録後、［OK］をクリックしてください。

⑤ [FOMA端末へ設定を書き込む]をクリックする

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

⑥ [はい] をクリックする

おしらせ

● 接続先（APN）設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
● パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。
● お買い上げ時、cid1にはmoperaに接続するためのAPN、「mopera.ne.jp」があらかじめ登録されています。
● 通信設定ファイルの確認でFOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、APN設定の際、APNの情報の取得・書き込みができません。その場合はWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って設定します。☛P495

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

・操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P481

アンインストールを実行する前に

タスクトレイの［アイコン］を右クリックし、「常駐させない」をクリックして、「W-TCP 設定」の常駐を解除してください。

アンインストールする

例 Windows XPでアンインストールするとき
・Windows XP以外のOSのときは、画面の表示が異なります。

1 ［スタート］メニュー→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックする

■ Windows 2000、Me、98のとき

①［スタート］メニュー→「設定」→「コントロールパネル」の順に選択して［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする

2 「NTT DoCoMo FOMA PC 設定ソフト」を選択して［変更と削除］をクリックする

3 削除するプログラム名を確認して［はい］をクリックする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが開始されます。

■「W-TCP最適化」の解除

W-TCPが最適化されている場合は確認画面が表示されます。
アンインストールする場合は［はい］をクリックします。
「W-TCP最適化」の解除は、再起動後に行われます。

4 ［OK］をクリックする

FOMA PC 設定ソフトを利用しないで通信する

FOMA PC 設定ソフトを使わずに、パケット通信／64K データ通信のダイヤルアップネットワークの設定を行う方法について説明します。

ダイヤルアップネットワークの設定について

ダイヤルアップネットワークの設定は次のような流れになります。

通信設定ファイルをインストールする ☛P483
パソコンと FOMA 端末を接続する ☛P481

↓

接続先（APN）を設定する ☛P495
※64K データ通信の場合、パケット通信の接続先が mopera の場合は、設定不要です。

↓

発信者番号の通知／非通知を設定する ☛P496
※必要に応じて設定してください。

↓

その他の設定をする（AT コマンド） ☛P504
※必要に応じて設定してください。

↓

ダイヤルアップネットワークの設定をする

ご使用の OS	接続先の設定	TCP/IP の設定
Windows XP	P497	P498
Windows 2000	P499	P500
Windows Me	P501	P502
Windows 98	P503	P503

※設定内容の詳細については、プロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

↓

接続する ☛P503（切断する ☛P504）

パケット通信の接続先（APN）を設定する

お買い上げ時　cid1：mopera.ne.jp　cid2 ～ 10：設定なし

設定を行うためには、AT コマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは Windows 標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

例 Windows XP で設定する場合
- Windows XP 以外の OS の場合は、画面表示が異なります。

1 パソコンと FOMA 端末を接続する
- 接続方法 ☛P481

2 ［スタート］メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック（Windows 98 ではさらに [Hypertrm] アイコンをダブルクリック）する
- Windows XP 以外の OS をお使いの場合は、「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力して［OK］をクリックする

4 **「電話番号」に実在しない電話番号(「0」など)を仮入力し、「接続方法」から「FOMA D901i」を選択して[OK]をクリックする**

- 市外局番は接続先(APN)の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 **接続画面が表示されたら[キャンセル]をクリックする**

6 **接続先(APN)を入力して↵を押す**

- 「AT+CGDCONT =< cid > ,“PPP”,“APN”」の形式で入力します。☛P509

< cid > :2 〜 10 までのうち任意の番号を入力します。
“PPP” :そのまま“PPP”と入力します。
“APN” :接続先(APN)を“ ”で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先(APN)の設定は完了です。

■ **接続先(APN)設定をリセットするとき**

AT+CGDCONT=↵:
すべての cid をリセットします。
< cid > =1 は「mopera.ne.jp」(初期値)に戻り、< cid > =2 〜 10 の設定は未登録になります。
AT+CGDCONT=< cid >↵:
特定の cid をリセットします。

■ **接続先(APN)設定を確認するとき**

AT+CGDCONT?↵

- 詳細☛P509

■ **AT コマンドを入力しても画面に表示されないとき**

ATE1↵

- 詳細☛P507

7 **「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」メニュー→「ハイパーターミナルの終了」の順にクリックする**

- 『“XXX”と名前付けされた接続を保存しますか?』と表示されるので、「いいえ」をクリックします。

接続先(APN)と登録番号(cid)について

パケット通信の接続先(APN)は、FOMA 端末の登録番号 cid1 〜 cid10 に設定できます。お買い上げ時、cid1 には mopera に接続するための APN「mopera.ne.jp」があらかじめ登録されています。mopera を利用する場合は、本設定は不要です。その他のプロバイダや社内 LAN などに接続する場合は、cid2 〜 cid10 に APN を登録してください。

- 接続先(APN)については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えることができます。接続先の設定項目を FOMA 端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA 端末の電話帳の登録項目
登録番号(cid)	登録番号(メモリ番号)
APN	相手の電話番号

- 登録した cid はダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

発信者番号の通知/非通知を設定する

お買い上げ時 設定なし

発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

- mopera をご利用になる場合は、「通知」に設定する必要があります。

1 **「パケット通信の接続先(APN)を設定する」の操作 1 〜 5 を行う** **☛P495**

2 **パケット通信時の発信者番号の通知(186)/非通知(184)を設定する**

「AT*DGPIR=< n >」の形式で入力します。☛P506

AT*DGPIR=1↵:
パケット通信確立時、接続先(APN)に「184」を付けて接続します。
AT*DGPIR=2↵:
パケット通信確立時、接続先(APN)に「186」を付けて接続します。

3 「OK」と表示されていることを確認し、［ファイル］メニュー→「ハイパーターミナルの終了」の順にクリックする

- 「"XXX"と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示されるので「いいえ」をクリックします。

■ ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。
AT＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合、発信者番号の通知／非通知は次のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定（＜cid＞=1の場合）＼AT＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊1#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊1#	非通知		
186＊99＊＊＊1#	通知		

- AT＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定を「設定なし」に戻すには、「AT＊DGPIR=0」と入力してください。

Windows XP でダイヤルアップネットワークを設定する

Windows XPで「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 ［スタート］メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ネットワーク接続」をクリックする

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリックする

「新しい接続ウィザード」画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリックする

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

4 「インターネットに接続する」を選択して［次へ］をクリックする

準備画面が表示されます。

5 「接続を手動でセットアップする」を選択して［次へ］をクリックする

インターネット接続画面が表示されます。

6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して［次へ］をクリックする

デバイスの選択画面が表示されます。

- インストールされているモデムが1台しかない場合、デバイスの選択画面は表示されません。操作8へ進みます。

7 「モデム－FOMA D901i(COMx)」を選択して［次へ］をクリックする

8 「ISP名」に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする

9 「電話番号」に接続先の番号を入力して［次へ］をクリックする

接続先の番号は、半角文字で入力します。

■ パケット通信のとき

＊99＊＊＊＜cid＞#を入力します。
＜cid＞には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☞P495）で登録したcid番号を入力します。
moperaへ接続する場合は、＊99＊＊＊1#となります。

■ 64K データ通信のとき
接続先の電話番号を入力します。
mopera へ接続する場合は、＊9601 を入力します。

10 「ユーザー名」・「パスワード」・「パスワードの確認入力」を入力し、各項目を画面例のように設定して［次へ］をクリックする

接続先が mopera の場合は、何も入力せずに各項目を画面のように設定し［次へ］をクリックします。

11 ［完了］をクリックする

12 設定内容を確認して［キャンセル］をクリックする

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IP プロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム -FOMA D901i (COMx)」を選択します。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
- 「この接続は次の項目を使用します」は、「インターネット プロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。「QoS パケットスケジューラ」は設定変更できませんので、そのままにしておいてください。

4 ［設定］をクリックする

データ通信

5 **すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリックする**

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 **［OK］をクリックする**

Windows 2000でダイヤルアップネットワークを設定する

Windows 2000で「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 **［スタート］メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする**

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 **［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリックする**

「所在地情報」画面が表示されます。

- この画面は［新しい接続の作成］アイコンを初めてダブルクリックしたときに表示されます。2回目以降の場合は、操作5へ進みます。

3 **「市外局番」を入力して［OK］をクリックする**

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 **［OK］をクリックする**

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

5 **［次へ］をクリックする**

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

6 **「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して［次へ］をクリックする**

「インターネット接続ウィザード」の開始画面が表示されます。

7 **「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して［次へ］をクリックする**

インターネット接続の設定選択画面が表示されます。

8 **「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して［次へ］をクリックする**

モデムの選択画面が表示されます。

- 複数のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。操作10に進みます。

9 **「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA D901i」に設定されていることを確認して［次へ］をクリックする**

インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。

- 「FOMA D901i」に設定されていない場合は、「FOMA D901i」に設定してください。

10 **「電話番号」に接続先の番号を入力して［詳細設定］をクリックする**

接続先の番号は、半角文字で入力します。

■ **パケット通信のとき**

＊99＊＊＊<cid>#を入力します。
<cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☛P495）で登録したcid番号を入力します。
moperaへ接続する場合は、＊99＊＊＊1#となります。

■ **64Kデータ通信のとき**

接続先の電話番号を入力します。
moperaへ接続する場合は、＊9601を入力します。

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

11 ［接続］タブの各項目を画面例のように設定する

12 ［アドレス］タブをクリックして各項目を画面例のように設定する

13 ［OK］をクリックする

インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

14 ［次へ］をクリックする

インターネットアカウントのログイン情報画面が表示されます。

15 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［次へ］をクリックする

- 接続先が mopera の場合は、何も入力せずに［次へ］をクリックします。入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

16 「接続名」に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする

17 「いいえ」を選択して［次へ］をクリックする

18 ［完了］をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面に戻ります。

TCP/IP プロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

- 複数のモデムがインストールされている場合は､｢接続の方法｣の｢モデム - FOMA D901i（COMx）」を選択します。
  モデムを変更した場合は、｢電話番号｣の各項目が初期化されますので、再度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
- コンポーネントは「インターネット プロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。

4 ［設定］をクリックする

5 すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 ［OK］をクリックする

Windows Me でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 ［スタート］メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする

「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。

- この画面は「ダイヤルアップネットワーク」を初めて選択したときに表示されます。2 回目以降の場合は、操作 3 へ進みます。

2 ［次へ］をクリックする

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 ［新しい接続］アイコンをダブルクリックする

4 「接続名」に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする

- 「モデムの選択」が「FOMA D901i」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA D901i」に設定します。

5 接続先の番号を入力して［次へ］をクリックする

接続先の番号は、半角文字で入力します。

■ パケット通信のとき
＊99＊＊＊< cid >#を入力します。
< cid >には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☛P495）で登録したcid番号を入力します。
moperaへ接続する場合は、＊99＊＊＊1#となります。

■ 64Kデータ通信のとき
接続先の電話番号を入力します。
moperaへ接続する場合は、＊9601を入力します。
- 「市外局番」には何も入力しません。

6 接続先名を確認して［完了］をクリックする

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」メニュー→「プロパティ」の順にクリックする

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択（□）にします。
- 「接続方法」が「FOMA D901i」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA D901i」に設定します。

3 ［ネットワーク］タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: インターネット、Windows2000/NT、Windows Me」に設定します。
- 「詳細オプション」はすべて非選択（□）にします。
- 「使用できるネットワーク プロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。

4 ［セキュリティ］タブをクリックして「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［OK］をクリックする

接続先が mopera の場合は、何も入力せずに［OK］をクリックします。

Windows 98 でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

操作方法はWindows Meの接続先設定と同様です。☛P501

TCP/IP プロトコルを設定する

1 Windows Me の「TCP/IP プロトコルを設定する」の操作 1 ～ 2 を行う ☛P502

2 ［サーバーの種類］タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: インターネット、Windows NT Server、Windows 98」に設定します。
- 「使用できるネットワーク プロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。

3 ［OK］をクリックする

ダイヤルアップ接続する

パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続を行う方法について説明します。

例 Windows XP でダイヤルアップ接続するとき
- Windows XP 以外の OS の場合は、画面の表示などが異なります。

1 FOMA 端末とパソコンを接続する

- 接続方法 ☛P481

2 ［スタート］メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ネットワーク接続」をクリックする

「ネットワーク接続」画面が表示されます。
- Windows 2000、Me、98 の場合は、［スタート］メニューをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」（Me、98 の場合は「ダイヤルアップネットワーク」）をクリックします。

3 接続先のアイコンをダブルクリックする

4 各項目を確認して［ダイヤル］をクリックする

- Windows Me、98 の場合は、各項目を確認して、[接続] をクリックします。
- 「ダイヤル」または「電話番号」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。
- 接続先が mopera の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」の入力は不要です。

FOMA へ接続

ユーザー名(U):

パスワード(P):

□次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する(S):

◉このユーザーのみ(N)

○このコンピュータを使うすべてのユーザー(A)

ダイヤル(I): *99***1#

ダイヤル(D)　キャンセル　プロパティ(O)　ヘルプ(H)

切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイの をダブルクリックする

接続の画面が表示されます。

2 ［切断］をクリックする

AT コマンド

AT コマンドとは、パソコンで FOMA 端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従って FOMA 端末が動作します。FOMA 端末は、AT コマンドに準拠しさらに拡張コマンドの一部や独自の AT コマンドをサポートしています。

AT コマンドについて

■ AT コマンドの入力形式

AT コマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。次に入力例を示します。

ATD ＊ 99 ＊＊＊ 1#↵

コマンド：コマンド名です。

パラメータ：コマンドの内容です。

リターンマーク：Enter キーを押します。コマンドの区切りになります。

AT コマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず 1 行で入力します。1 行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、最大 160 文字（「AT」含む）入力できます。

■ AT コマンドの入力モード

AT コマンドで FOMA 端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA 端末を操作することができます。

- オフラインモード
  FOMA 端末が待受の状態です。通常 AT コマンドで FOMA 端末を操作する場合は、この状態で操作を行います。
- オンラインデータモード
  FOMA 端末が通信中の状態です。この状態のときに AT コマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中は AT コマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA 端末が通信中の状態でも、特別な操作をすれば AT コマンドで FOMA 端末を操作することができる状態になります。その場合、通信先との接続を維持したまま AT コマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

おしらせ

● ターミナルモードとは、パソコンを 1 台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA 端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※の ER 信号を OFF にします。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

※：USB インタフェースにより、RS-232C の信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによる RS-232C の信号線制御が有効になります。

AT コマンド一覧

- AT コマンド入力時に、使用している PC や通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA 端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。
- ここで説明するのは FOMA D901i Modem Port で使用できる AT コマンドです。

※ 1　：AT&F コマンドで設定が初期化されます。
※ 2　：AT&W コマンドで FOMA 端末に記憶でき、ATZ コマンドで復元できます。
「なし」：表示コマンド、テストコマンドがない AT コマンドです。
[ ]　：省略できるパラメータです。

<table>
<tr><th colspan="2">コマンド</th><th colspan="6">概要・パラメータ</th></tr>
<tr><td colspan="2">AT%V</td><td colspan="6">FOMA 端末のバージョンを「Verx.xx」の形式で表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT%V</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT&C[n]</td><td colspan="6">DTE への回路 CD 信号の動作条件を選択します。
n=0: 回路 CD 信号を常に ON にします。（パラメータ省略時）
n=1: 回路 CD 信号は相手モデムの状態に従って変化します。（お買い上げ時）</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT&C1</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT&D[n]</td><td colspan="6">オンラインデータモードのときに、DTE から受け取る回路 ER 信号が ON から OFF に変わったときの動作を設定します。
n=0:ER 信号の状態を無視します（常に ON）。（パラメータ省略時）
n=1:ER 信号が ON から OFF に変わるとオンラインコマンドモードになります。
n=2:ER 信号が ON から OFF に変わると回線を切断し、オフラインモードになります。（お買い上げ時）</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT&D1</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT&E[n]</td><td colspan="6">接続時の速度表示仕様を選択します。
ATX コマンドが n=0 以外のときに有効です。
n=0：無線区間通信速度を表示します。
n=1：パソコンと FOMA 端末間の通信速度を表示します。(お買い上げ時)</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT&E1</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT&F[0]</td><td colspan="6">FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻します。着信中に実行すると、着信には影響を与えずに、FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻します。通信中は通信を切断してからお買い上げ時の状態に戻します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT&F0</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT&S[n]</td><td colspan="6">FOMA 端末の出力する DR 信号の制御を設定します。
n=0: 常に ON にします。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1: 回線接続時に DR 信号を ON にします。</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT&S0</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT&W[0]</td><td colspan="6">現在の設定値を FOMA 端末に書き込みます。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT&W0</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT＊DANTE</td><td colspan="6">電波の強さ（受信レベル）を「＊DANTE:m」の形式で表示します。
m=0: 圏外です。　m=1 ～ 3:FOMA 端末に表示されるアンテナの本数です。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT＊DANTE</td><td>表示</td><td>AT＊DANTE?</td><td>テスト</td><td>AT＊DANTE=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT＊DGANSM=n</td><td colspan="6">パケット着信呼に対して、着信拒否、着信許可を設定します。
n=0: 着信拒否設定と着信許可設定を OFF にします。（お買い上げ時）
n=1: 着信拒否設定を ON にします。　n=2: 着信許可設定を ON にします。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT＊DGANSM=0</td><td>表示</td><td>AT＊DGANSM?</td><td>テスト</td><td>AT＊DGANSM=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT＊DGAPL=n[,cid]</td><td colspan="6">パケット着信呼に対して、着信を許可する接続先（APN）を設定します。APN は「+CGDCONT」で定義された cid パラメータを使用します。
n=0:cid で定義された APN を着信許可リストへ追加します。
n=1:cid で定義された APN を着信許可リストから削除します。
cid パラメータを省略すると、すべての cid を追加または削除します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT＊DGAPL=0,1</td><td>表示</td><td>AT＊DGAPL?</td><td>テスト</td><td>AT＊DGAPL=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT＊DGARL=n[,cid]</td><td colspan="6">パケット着信呼に対して、着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APN は「+CGDCONT」で定義された cid パラメータを使用します。
n=0:cid で定義された APN を着信拒否リストへ追加します。
n=1:cid で定義された APN を着信拒否リストから削除します。
cid パラメータを省略すると、すべての cid を追加または削除します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT＊DGARL=0,1</td><td>表示</td><td>AT＊DGARL?</td><td>テスト</td><td>AT＊DGARL=?</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>コマンド</th><th colspan="7">概要・パラメータ</th></tr>
<tr><td>AT＊DGPIR=n</td><td colspan="7">パケット通信時の番号通知、非通知を設定します。発信時、着信時に有効です。
n=0: パケット通信確立時に、APN をそのまま使用します。（お買い上げ時）
n=1: パケット通信確立時に、APN に「184」を付けます。
n=2: パケット通信確立時に、APN に「186」を付けます。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT＊DGPIR=0</td><td>表示</td><td>AT＊DGPIR?</td><td>テスト</td><td>AT＊DGPIR=?</td></tr>
<tr><td>AT＊DRPW</td><td colspan="7">受信電力指標を「＊DRPW:m」の形式で表示します。m:0 ～ 75</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT＊DRPW</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT＊DRPW=?</td></tr>
<tr><td>+++</td><td colspan="7">FOMA 端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えます。エスケープガード区間は、1 秒間の固定です。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>+++</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>AT+CEER</td><td colspan="7">直前の通信の切断理由を表示します。☛P509</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CEER</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT+CEER=?</td></tr>
<tr><td>AT+CGDCONT</td><td colspan="7">パケット通信時の接続先 (APN) を設定します。☛P509</td></tr>
<tr><td>AT+CGEQMIN</td><td colspan="7">パケット通信確立時に、ネットワーク側から通知される QoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。☛P509</td></tr>
<tr><td>AT+CGEQREQ</td><td colspan="7">パケット通信時の発信時にネットワークへ要求する QoS（サービス品質）を設定します。☛P510</td></tr>
<tr><td>AT+CGMR</td><td colspan="7">FOMA 端末のバージョンを 16 桁の数字で表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CGMR</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT+CGMR=?</td></tr>
<tr><td>AT+CGREG=[n]</td><td colspan="7">ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は、圏内または圏外です。
n=0: 通知しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1: 通知します。「+CGREG:n,stat」の形式で通知されます。
stat=0: 圏外　stat=1: 圏内 (home)　stat=4: 不明　stat=5: 圏内 (visitor)</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CGREG=1</td><td>表示</td><td>AT+CGREG?</td><td>テスト</td><td>AT+CGREG=?</td></tr>
<tr><td>AT+CGSN</td><td colspan="7">FOMA 端末の製造番号を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CGSN</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT+CGSN=?</td></tr>
<tr><td>AT+CLIP=[n]</td><td colspan="7">64K データ通信の着信時に、相手の発信者番号をパソコンに表示します。
n=0: 表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1: 表示します。
AT+CLIP? を入力すると、「+CLIP:n,m」が表示されます。
m=0: 発信時に相手に発信者番号を通知しないネットワーク設定
m=1: 発信時に相手に発信者番号を通知するネットワーク設定　m=2: 不明</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CLIP=0</td><td>表示</td><td>AT+CLIP?</td><td>テスト</td><td>AT+CLIP=?</td></tr>
<tr><td>AT+CLIR=[n]</td><td colspan="7">64K データ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。
n=0: サービス契約の設定に従います。（パラメータ省略時）　n=1: 通知しません。
n=2: 通知します。（お買い上げ時）
AT+CLIR? を入力すると、「+CLIR:n,m」を表示します。
m=0:CLIR が起動していません。（常時通知）　m=1:CLIR が起動しています。（常時非通知）
m=2: 不明　m=3:CLIR テンポラリーモード（非通知デフォルト）
m=4:CLIR テンポラリーモード（通知デフォルト）</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CLIR=0</td><td>表示</td><td>AT+CLIR?</td><td>テスト</td><td>AT+CLIR=?</td></tr>
<tr><td>AT+CMEE=[n]</td><td colspan="7">FOMA 端末のエラーレポートの形式を設定します。☛P509
n=0:「ERROR」を表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1:「+CME ERROR：xxxx」の形式（xxxx は数字）で表示します。
n=2:「+CME ERROR：xxxx」の形式（xxxx は文字）で表示します。</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CMEE=0</td><td>表示</td><td>AT+CMEE?</td><td>テスト</td><td>AT+CMEE=?</td></tr>
<tr><td>AT+CNUM</td><td colspan="7">FOMA 端末の自局番号を表示します。「+CNUM: “number”,type」の形式で表示します。
number: 電話番号
type=129:「+81」を表示しません。　type=145:「+81」を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CNUM</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT+CNUM=?</td></tr>
<tr><td>AT+CR=[n]</td><td colspan="7">回線接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別（パケット通信または 64K データ通信）を表示するかどうかを設定します。
n=0: 表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1: 表示します。「+CR:serv」の形式で表示します。
serv=SYNC:64K データ通信　serv=GPRS: パケット通信</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CR=0</td><td>表示</td><td>AT+CR?</td><td>テスト</td><td>AT+CR=?</td></tr>
<tr><td>AT+CRC=[n]</td><td colspan="7">着信時に +CRING:type のリザルトコードを使用するかどうかを設定します。
n=0:+CRING:type のリザルトコードを使用しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1:+CRING:type のリザルトコードを使用します。応答例は以下のとおりです。
パケット通信　… +CRING:GPRS “PPP”,,, “mopera.ne.jp”
64K データ通信… +CRING:SYNC</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CRC=0</td><td>表示</td><td>AT+CRC?</td><td>テスト</td><td>AT+CRC=?</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">コマンド</th><th colspan="6">概要・パラメータ</th></tr>
<tr><td colspan="2">AT+CREG=[n]</td><td colspan="6">圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。
n=0: 表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1: 表示します。
AT+CREG? を入力すると、「+CREG:n,stat」の形式で表示します。
stat=0: 圏外 stat=1: 圏内 (home) stat=4: 不明 stat=5: 圏内 (visitor)</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CREG=0</td><td>表示</td><td>AT+CREG?</td><td>テスト</td><td>AT+CREG=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+GMI</td><td colspan="6">FOMA 端末の製造会社名を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+GMI</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT+GMI=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+GMM</td><td colspan="6">FOMA 端末名を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+GMM</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT+GMM=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+GMR</td><td colspan="6">FOMA 端末のバージョンを表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+GMR</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT+GMR=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+IFC=[n,[m]]</td><td colspan="6">パソコンと FOMA 端末間のローカルフロー制御方式を設定します。
n は DCE by DTE の制御を設定します。
n=0: フロー制御しません。 n=1:XON/XOFF フロー制御します。
n=2:RS/CS(RTS/CTS) フロー制御します。（お買い上げ時）
m は DTE by DCE の制御を設定します。省略すると DCE by DTE と同じ入力値になります。
m=0: フロー制御しません。 m=1:XON/XOFF フロー制御します。
m=2:RS/CS(RTS/CTS) フロー制御します。（お買い上げ時）
パラメータをすべて省略すると、AT+IFC=2,2 になります。</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+IFC=2,2</td><td>表示</td><td>AT+IFC?</td><td>テスト</td><td>AT+IFC=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">AT+WS46=[22]</td><td colspan="6">発信時に FOMA 端末が使用する無線ネットワークを設定します。</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+WS46=22</td><td>表示</td><td>AT+WS46?</td><td>テスト</td><td>AT+WS46=?</td></tr>
<tr><td colspan="2">ATA</td><td colspan="6">パケット通信、64K データ通信の着信時に着信処理をします。パケット通信の着信時には下記を入力できます。
ATA184: 発信者番号通知なし着信 ATA186: 発信者番号通知あり着信</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>ATA</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">A/</td><td colspan="6">直前に実行したコマンドを再実行します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>A/</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">ATD</td><td colspan="6">パケット通信または 64K データ通信の発信をします。
・パケット通信…「ATD ＊ 99 ＊＊＊ cid#」の形式で入力します。cid を省略すると、cid=1 になります。
「ATD184 ＊ 99」で始まる形式で入力した場合、指定した cid の APN に対して 184（発信者番号通知なし）が付加されます。（186 でも同様です）
・64K データ通信…「ATD 電話番号」の形式で入力します。
・リダイヤル発信…「ATDL」または「ATDN」の形式で入力します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>ATD 電話番号</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">ATE[n]</td><td colspan="6">パソコンから送信された文字をエコーバックします。
n=0: エコーバックしません。（パラメータ省略時）
n=1: エコーバックします。（お買い上げ時）</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>ATE0</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">ATH</td><td colspan="6">パケット通信または 64K データ通信を切断します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>ATH</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">ATI[n]</td><td colspan="6">認識コードを表示します。
n=0:「NTT DoCoMo」と表示します。（パラメータ省略時）
n=1:FOMA 端末名を表示します。 n=2:FOMA 端末のバージョンを表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>ATI0</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">ATO</td><td colspan="6">オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに移行します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>ATO</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">ATQ[n]</td><td colspan="6">パソコンにリザルトコードを表示するかどうかを設定します。
n=0: リザルトコードを表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1: リザルトコードを表示しません。</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>ATQ0</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">ATV[n]</td><td colspan="6">リザルトコードの表示方法を設定します。
n=0: 数字で表示します。（パラメータ省略時）
n=1: 文字で表示します。（お買い上げ時）</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>ATV1</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
</table>

つづく

コマンド		概要・パラメータ					
ATX[n]		ビジートーン検出、ダイヤルトーン検出、通信速度表示を設定します。 n=0: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示なし。（パラメータ省略時） n=1: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=2: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。 n=3: ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=4: ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。（お買い上げ時）					
※1、※2	例	設定	ATX1	表示	なし	テスト	なし
ATZ		FOMA 端末の設定を AT&W で記憶させた不揮発メモリの内容に復元します。パケット通信または64K データ通信の着信中に入力したときは、着信には影響を与えずに復元します。通信中に入力すると、通信を切断してから復元します。					
	例	設定	ATZ	表示	なし	テスト	なし
ATS0=[n]		FOMA 端末で自動着信するまでの呼出（RING）回数を設定します。 n=0: 自動着信しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）　n=1 ～ 255					
※1、※2	例	設定	ATS0=0	表示	ATS0?	テスト	なし
ATS2=[n]		エスケープキャラクタを設定します。 n=0 ～ 127（43: お買い上げ時、0: パラメータ省略時、127: エスケープ処理を無効にする）					
※1	例	設定	ATS2=43	表示	ATS2?	テスト	なし
ATS3=[13]		AT コマンドの文字列の最後を認識する復帰 (CR) キャラクタを設定します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付けられます。（設定値は変更できません）					
※1	例	設定	ATS3=13	表示	ATS3?	テスト	なし
ATS4=[10]		改行 (LF) キャラクタの設定をします。英文字でリザルトコードを表示する場合に、復帰 (CR) キャラクタの次に付けられます。（設定値は変更できません）					
※1	例	設定	ATS4=10	表示	ATS4?	テスト	なし
ATS5=[8]		AT コマンド入力中に、入力バッファの最後のキャラクタを削除するバックスペース (BS) キャラクタを設定します。（設定値は変更できません）					
※1	例	設定	ATS5=8	表示	ATS5?	テスト	なし
ATS6=[n]		ダイヤルするまでのポーズ時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=2 ～ 10：単位は秒。（5: お買い上げ時、パラメータ省略時）					
※1	例	設定	ATS6=5	表示	ATS6?	テスト	なし
ATS7=[n]		パケット通信または 64K データ通信で、発呼してから接続できるまでの待ち時間を設定します。 n=1 ～ 255：単位は秒。（60: お買い上げ時、パラメータ省略時）					
※1、※2	例	設定	ATS7=60	表示	ATS7?	テスト	なし
ATS8=[n]		カンマダイヤル機能（ポーズ時間）を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、ポーズ時間は 3 秒で固定です。 n=0 ～ 255：単位は秒。（3: お買い上げ時、0: パラメータ省略時）					
※1	例	設定	ATS8=3	表示	ATS8?	テスト	なし
ATS10=[n]		自動切断までの遅延時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=1 ～ 255：単位は 1/10 秒。（1: お買い上げ時、パラメータ省略時）					
※1、※2	例	設定	ATS10=1	表示	ATS10?	テスト	なし
ATS30=[n]		データ転送がなかった場合、通信を切断するまでの時間を設定します。64K データ通信のときに有効です。 n=1 ～ 255: 単位は分。　n=0: 切断しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）					
※1	例	設定	ATS30=0	表示	ATS30?	テスト	なし
ATS103=[n]		着サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64K データ通信のときに有効です。 n=0: *（パラメータ省略時）　n=1:/（お買い上げ時）　n=2:¥					
※1	例	設定	ATS103=0	表示	ATS103?	テスト	なし
ATS104=[n]		発サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64K データ通信のときに有効です。 n=0:#（パラメータ省略時）　n=1:%（お買い上げ時）　n=2:&					
※1	例	設定	ATS104=0	表示	ATS104?	テスト	なし
AT¥S		コマンドの設定内容と S レジスタを表示します。					
	例	設定	AT¥S	表示	なし	テスト	なし
AT¥V[n]		接続時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを選択します。 ATX コマンドのパラメータが n=1 ～ 4 のときに有効です。 n=0: 拡張リザルトコードを使用しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1: 拡張リザルトコードを使用します。					
※1、※2	例	設定	AT¥V0	表示	なし	テスト	なし

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APN が存在しない、または正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64K データ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信した、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMA カードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外の SIM（FOMA カードに相当する ＩＣ カード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

AT コマンドの補足説明

■ コマンド名：AT+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

- **書式**

AT+CGDCONT =［＜ cid ＞［, "PPP"［, "＜ APN ＞"]]]

- **パラメータ説明**

＜ cid ＞：1 ～ 10
＜ APN ＞：任意

- **実行例**

「abc」という APN 名を登録する場合のコマンド（＜ cid ＞ =3 の場合）
AT+CGDCONT=3, "PPP", "abc"

- **パラメータを省略した場合の動作**

AT+CGDCONT=
すべての＜ cid ＞の設定をクリアします。ただし、「＜ cid ＞ =1」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

AT+CGDCONT= ＜ cid ＞
指定された＜ cid ＞の設定をクリアします。ただし、「＜ cid ＞ =1」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

AT+CGDCONT= ?
設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGDCONT ?
現在の設定値を表示します。

■ コマンド名：AT+CGEQMIN=[パラメータ]

- **概要**

PPP パケット通信確立時にネットワーク側から通知される QoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

- **書式**

AT+CGEQMIN=[＜ cid ＞ [, , ＜ Maximum bitrate UL ＞ [, ＜ Maximum bitrate DL ＞]]]

- **パラメータ説明**

＜ cid ＞：1 ～ 10
＜ Maximum bitrate UL ＞：なしまたは 64
＜ Maximum bitrate DL ＞:なしまたは 384
「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA 端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

つづく

・**実行例**
(1)上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド(＜ cid ＞＝2 の場合)
AT+CGEQMIN=2
(2)上り 64kbps ／下り 384kbps の速度のみ許容する場合のコマンド(＜ cid ＞＝3 の場合)
AT+CGEQMIN=3,,64,384
(3)上り 64kbps ／下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド(＜ cid ＞＝4 の場合)
AT+CGEQMIN=4,,64
(4)上りすべての速度／下り384kbps速度のみ許容する場合のコマンド(＜ cid ＞＝5 の場合)
AT+CGEQMIN=5,,,384

・**パラメータを省略した場合の動作**
AT+CGEQMIN=
すべての＜ cid ＞の設定をクリアします。
AT+CGEQMIN= ＜ cid ＞
指定された＜ cid ＞をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQMIN=?
設定可能な値のリストを表示します。
AT+CGEQMIN?
現在の設定を表示します。

■ コマンド名：AT+CGEQREQ=［パラメータ］

・**概要**
PPP パケット通信時の発信時にネットワークへ要求する QoS(サービス品質)を設定します。

・**書式**
AT+CGEQREQ=[＜ cid ＞]

・**パラメータ説明**
上り 64kbps ／下り 384kbps の速度で接続を要求するコマンドのみ設定可能です。各 cid にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
＜ cid ＞：1 ～ 10

・**実行例**
(＜ cid ＞＝3 の場合)
AT+CGEQREQ=3

・**パラメータを省略した場合の動作**
AT+CGEQREQ=
すべての＜ cid ＞をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ= ＜ cid ＞
指定された＜ cid ＞をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=?
設定可能な値のリストを表示します。
AT+CGEQREQ?
現在の設定を表示します。

リザルトコード

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了　タイムアウトしました。
100	RESTRICTION	通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA 端末－ PC 間速度 1200bps で接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA 端末－ PC 間速度 2400bps で接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA 端末－ PC 間速度 4800bps で接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA 端末－ PC 間速度 7200bps で接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA 端末－ PC 間速度 9600bps で接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA 端末－ PC 間速度 14400bps で接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA 端末－ PC 間速度 19200bps で接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA 端末－ PC 間速度 38400bps で接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA 端末－ PC 間速度 57600bps で接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA 端末－ PC 間速度 115200bps で接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA 端末－ PC 間速度 230400bps で接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA 端末－ PC 間速度 460800bps で接続しました。

おしらせ

- ATV［n］コマンド（☛P507）が n=1 に設定されている場合には文字表示（初期値）、n=0 に設定されている場合には数字表示でリザルトコードが表示されます。
- 従来の RS-232C で接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA 端末－PC 間は FOMA USB 接続ケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUD で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
2	AV32K	AV（テレビ電話）［32K］で接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）［64K］で接続
5	PACKET	PACKET で接続

■ リザルトコード表示例

ATX 0 が設定されているとき

AT¥V コマンド（☛P508）の設定に関わらず、接続完了の際に CONNECT のみの表示となります。

文字表示例 ：ATD ＊ 99 ＊＊＊1 #
CONNECT
数字表示例 ：ATD ＊ 99 ＊＊＊1 #
1

ATX 1 が設定されているとき

- ATX1、AT¥V0 が設定されている場合（初期値）
  接続完了のときに、CONNECT ＜ FOMA 端末－ PC 間の速度＞の書式で表示します。

  文字表示例 ：ATD ＊ 99 ＊＊＊1 #
  CONNECT 460800
  数字表示例 ：ATD ＊ 99 ＊＊＊1 #
  1 21

- ATX1、AT¥V1 が設定されている場合※1
  接続完了のときに、次の書式で表示します。
  CONNECT ＜ FOMA 端末－ PC 間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先 APN ＞／＜上り方向（FOMA 端末→無線基地局間）の最高速度＞／＜下り方向（FOMA 端末←無線基地局間）の最高速度＞※2

  文字表示例 ：ATD ＊ 99 ＊＊＊1 #
  CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/64/384
  （mopera.ne.jp に、上り最大 64kbps、下り最大 384kbps で接続したことを表します。）
  数字表示例 ：ATD ＊ 99 ＊＊＊1 #
  1 21 5

※1：ATX1、AT¥V1 を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできない場合があります。AT¥V0 だけでのご利用をおすすめします。
※2：AT¥V1 が設定されている場合、＜接続先 APN ＞以降は PACKET で接続している場合のみ表示されます。

文字入力

文字入力について

FOMA 端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

- 文字の入力方式には「かな入力方式」と「スロット入力方式」があります。
  かな入力方式は、1 つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が替わります。文字の割り当てについては「ダイヤルキーの文字割り当て一覧」をご覧ください。☛P535
  スロット入力方式は、上下 2 段の入力バーに表示された文字から、 を使って入力文字を指定します。☛P523
- 文字の種類には「全角文字」と「半角文字」があります。
  全角文字や改行、全角空白は、半角文字 2 文字分にカウントされます。半角文字では、濁点・半濁点も 1 文字分にカウントされます。入力する文字の呼び出しかたがわからない場合などは、区点コードで入力することができます。☛P521
- 入力できる漢字は JIS 第一水準漢字・第二水準漢字の 6355 文字です。
- 入力方式ごとに入力できる文字の種類は次のとおりです。

○：入力可　×：入力不可　ー：入力文字なし

入力方式／文字の種類	かな入力方式		スロット入力方式	
	全角	半角	全角	半角
ひらがな／漢字	○	ー	○	ー
カタカナ	○	○	×	○
英字	○	○	×	○
数字	○	○	×	○
記号	○	○	○	○
絵文字	○	ー	○	ー

- 複雑な漢字は一部変形もしくは省略して表示されます。

文字入力画面の見かた

文字の入力方法には、画面を切り替えて文字を入力する全画面入力と、画面を切り替えずに入力欄にカーソルを合わせて文字を直接入力するインライン入力の 2 種類があります。

- 入力欄によっては、どちらか一方の方法しか利用できない場合があります。
- 貼り付けや定型文入力などで、入力可能な文字数を超えた場合、超過分は削除されます。
- 本書では最後に を押す操作も含めて「入力する」と表記しています。

全画面入力

入力欄を選択して を押すと、入力エリアが全画面表示されます。

入力モード

入力可能な範囲（これ以上入力できないことを示すマーク）

カーソル（点滅）
文字が入力（挿入）される位置を示します。
で移動できます。

ガイド行

入力エリア

インライン入力

入力欄にカーソルを合わせて 0 ～ 9、*、# を押すと、入力欄に文字が直接入力できます。
を押すと文字が確定されます。

ガイド行は文字入力用になります。

文字を確定した状態

文字入力画面のサブメニュー

文字入力中に Menu を押します。

- メール本文の入力中は、文字を入力すると表示される入力ウィンドウの文字が確定されているときに表示されます。

スロット入力画面の場合

項　目	説　明
1 コピー	文字をコピーします。☛P521
2 切り取り	文字を切り取ります。☛P521
3 貼り付け	コピー／切り取りした文字を貼り付けます。☛P521
4 電話帳引用	電話帳データの内容を引用します。☛P519
5 単語登録	入力した文字を単語登録します。☛P522
6 定型文登録	入力した文字を定型文登録します。☛P520
7 入力設定	文字入力の設定を行います。☛P524
8 データ引用	自局番号の内容や電卓の計算結果、バーコードリーダーを起動して読み取ったデータを引用します（入力欄によって表示される項目が異なります）。☛P519
9 編集終了	文字入力を終了します。スロット入力方式で文字を入力中にのみ表示されます。

入力モードを切り替える

- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードが異なります。

で切り替えるには

を押すたびに切り替わります。

入力モード

ひらがな / 漢字（全角） → カタカナ（半角） → 英字（半角） → 数字（半角）※ → ひらがな / 漢字（全角）

※：スロット入力方式では表示されません。

入力モードリストで切り替えるには

文字入力中に を押し、表示された入力モードリストから次の入力モードを選択できます。

項　目	入力モード		項　目	入力モード	
かな	ひらがな／漢字	漢	１２３※	全角数字	全数
			ｶﾅ	半角カナ	半ｶﾅ
カナ※	全角カナ	全ｶﾅ	ABC	半角英字	半英
ＡＢＣ※	全角英字	全英	123※	半角数字	半数

※：スロット入力方式では表示されません。

- 上記の他に、ひらがなしか入力できない場合は全ひらが表示されます。

入力モード

かな入力方式　　スロット入力方式

- 、、または対応するダイヤルキーを押して入力モードを選択します。
- 入力モードリストから選択して、次の操作もできます。

「記号」　：記号を入力します。☛P519

「絵文字」：絵文字を入力します。☛P519

「定型文」：定型文を入力します。☛P518

「区点入力」：区点コードで文字を入力します。☛P521

かな入力方式で文字を入力する

文字を入力する<かな漢字変換>

例 電話帳の登録で「鈴木」と入力するとき

1 名前の入力欄を選択して ● を押す

文字入力画面が表示されます。

漢と表示されます。

2 「すずき」と入力する

「す」: 3 を 3 回押します。
→ を押して、カーソルを 1 つ右に移動します。

「ず」: 3 を 3 回押し、＊ を押します。

「き」: 2 を 2 回押します。

- キーを押し間違えたときは クリア または クリア を押して取り消します。
- 文字に「゛」「゜」を付けるときは、文字を入力し ＊ を押します。
  たとえば、「ほ」を入力して ＊ を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」と入力が切り替わります。
  「゛」「゜」が付けられない文字のときは、「゛」「゜」が全角で入力されます。
- Menu を押すと全角カタカナに変換できます。

■ **ひらがなのまま確定するとき**
ひらがなを入力した状態で ● を押します。

3 □ を押す

- 目的の文字が表示されないときは、◎ または □ を押して変換候補を一覧表示し、目的の文字を選択します。
- 予測変換候補が表示されていないときは、◎ を押してもかな漢字変換されます。予測変換☛P518
- クリア または クリア を押すと、変換前の状態に戻ります。

■ **変換候補を一覧表示するとき**
□ を 1 回押しても目的の文字が表示されないときは、◎ または □ を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、✉ を押して次ページ、⊡ を押して前ページに切り替えることができます。◎ を押して変換候補を選択するか、各候補に割り当てられている番号のダイヤルキーを押して選択します。

□／◎

4 ● を押す

文字が確定します。

- 入力設定の入力予測を「ON」に設定しているときは、「閉じる」を選択します。

■ **文字を挿入するとき**
◈ を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ **文字を削除するとき**
- カーソルが入力文字の途中にある場合（例：鈴木■郎）
  - クリア または クリア を押すと、カーソル位置の 1 文字が削除されます。
  - クリア または クリア （半押し）を 1 秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合（例：鈴木一郎■）
  - クリア または クリア を押すと、カーソル位置の左の 1 文字が削除されます。

・ [クリア] または [クリア]（半押し）を1秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

■ 改行するとき
改行する位置にカーソルを移動し、[#] を押します。
・入力欄によっては改行できない場合があります。

5 [決定] を押す

文字入力が終了します。
・入力した文字を無効にして文字入力を終了するには、すべての文字を削除してから [決定] または [クリア]、[クリア] を押します。

おしらせ

● 文字入力直後に [メール] を押して1つ前の文字に戻すことができます。[メール] を押すたびに、通常の文字入力順とは逆の順に文字が切り替わります（例：…→1→お→え→う→い→あ→1→…）。
●「あい」のように同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときは、[1] を押して最初の文字「あ」を入力した後、[右] を押してカーソルを右に移動させ、[1] を2回押して次の文字「い」を入力します。「あか」のように別のキーに割り当てられている文字を続けて入力するときは、[1] を押して「あ」を入力した後、続けて [2] を押して「か」を入力します。
● 次の入力モードのときは、入力途中でキーを押さずに一定時間経過すると、自動カーソル機能によってカーソルが右に移動します。
・ひらがな／漢字　・全角／半角カタカナ
・全角／半角英字
● 自動カーソル機能によってカーソルが右に移動した後でも [＊]、[i]、[メール] を押して次の操作ができます。
・[＊]：濁点／半濁点を付ける（ひらがな、全角／半角カタカナ）
・[i]：大文字／小文字を切り替える（ひらがな、全角／半角カタカナ、全角／半角英字）
・[メール]：1つ前の文字に戻す
● カーソルが自動的に移動するまでの時間を変更したり、自動カーソル機能を使わないように設定することもできます。☛P524
● iモードメールの本文入力画面では、画面下部にマーク（■T.▣ ⁝T⁝ ⇦ ⇧ ☰ ☰ ▯ ↻）が、ガイド行には「デコレーション」が表示されます。[メール] を押し、[上下左右] でマークを選択するか、[Menu][1] を押して項目を選択すると、文字を装飾したメール（デコメール）を作成できます。☛P253
● ダイヤルキーの文字割り当て一覧 ☛P535

複数の文節を一括変換するには

複数の文節を一括変換し、文章を簡単に入力できます。
・全角で最大24文字変換できます。

例「動物園に行こう。」と入力するとき

1 文字を入力して [辞書] を押す

どうぶつえんにいこう。
候補選択　3
ドウブツエンニイコウ。
どうぶつえんにいこう。
ﾄﾞｳﾌﾞﾂｴﾝﾆｲｺｳ。

→

動物園に行こう。

■ 全確定するとき
① [Menu] を押す

動物園に行こう。
候補選択　0/1

■ 変換部分を確定するとき
① [決定] を押す

動物園に行こう。

■ 変換範囲を変更するとき
① [左右] を押す

動物園二井請う。

[左] を押したとき

おしらせ

● ひらがなで読みを入力して、記号や絵文字、アルファベット、ギリシャ文字などを入力できます。読みと文字の対応は、付録の「特殊記号入力変換表」「絵文字入力変換表」をご覧ください。☛P540、P541

入力予測機能を使って文字を入力する

FOMA端末には、文字を入力すると、読みの先頭部分が一致する予測変換候補が一覧表示される、入力予測機能が搭載されています。
予測変換候補には、一度入力した単語が自動的に予測辞書データとして登録されるので、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 次の単語や文字列が候補として表示されます。
  - ・標準搭載の単語
  - ・かな漢字変換で入力した単語
  - ・単語登録した文字列
- 予測変換は、ひらがな／漢字モードのみで利用できます。ただし、次の場合は予測変換できません。
  - ・インライン入力（入力欄を選択して文字を直接入力する方法）を行う場合
  - ・スロット入力方式の場合
- 予測変換候補を表示しないように設定することもできます。☛P524

1 文字を入力する

予測変換候補が表示されます。

- 1文字、2文字、3文字と文字を入力するたびに候補は絞り込まれます。

2 を押し、を押して候補にカーソルを合わせてを押す

- 予測変換候補にカーソルがあるときは、次の操作ができます。
  - ／：前ページ／次ページ切り替え
  - ：かな漢字変換
  - ：文字確定
- 該当する用語がない場合、を押すと、かな漢字変換になり、予測変換候補が消えます。

3 「閉じる」を選択する

予測変換候補が消えます。

おしらせ

- ●入力予測機能で登録された単語や文字列（予測辞書データ）は、各種設定リセットやデータ一括削除でお買い上げ時の状態に戻ります。☛P460、P461

定型文を入力する

定型文を一覧から入力します。

- 選択した定型文はカーソル位置に挿入されます。

1 文字入力画面で を押す

- を押して表示することもできます。

2 ～ を押す

「顔文字1」を選択した場合

- 定型文を作成・登録した場合は、を押して定型文の種類を選択できます。

3 ～ を押す

定型文が入力されます。

- を押してページを切り替えられます。
- 定型文の内容を確認するときは、定型文にカーソルを合わせてを押します。を押すと定型文が入力されます。

おしらせ

- ●顔文字を使ったメールを送信する場合、相手端末のディスプレイの大きさ、表示文字数やフォントによっては、形がくずれたり、見えかたが異なるなど、正しく表示されない場合があります。
- ●定型文一覧☛P536

記号・絵文字を入力する

記号、絵文字を一覧から入力します。
- 記号は入力可能なもののみ一覧表示されます。
- 絵文字の一部は「えもじ」と入力して変換できます。☛P541

例 記号を入力するとき

1 文字入力画面で [i] を押す

記号一覧(半角) 1/7
! " # $ % & ' ( )
* + , - . / : ; < =
> ? @ [¥] ^ _ ` {
| } ~ 。「 」、・ ・

- 絵文字を入力するときは [✉] を押します。
- [📖][1] を押して記号一覧、[📖][2] を押して絵文字一覧を表示することもできます。
- 記号一覧、絵文字一覧は複数ページあります。[i] または [✉] を押すと一覧のページが切り替わります。

2 記号を選択する

記号が入力されます。
- 次のかっこの左側（例：{ ）を選択した場合は、右側のかっこ（例：}）も自動的に入力されます。
  () [] {} 「」（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》『 』【 】
- 記号一覧または絵文字一覧で [Menu] を押すと、一覧の上部に連続入力エリアが表示され、記号または絵文字を連続して選択できます。記号の場合は全角で最大１０文字、半角で最大２０文字、絵文字の場合は最大１０文字まで連続入力でき、[📖] を押すと選択した記号または絵文字をまとめて入力できます。ただし、連続入力エリアで上記のかっこの左側を選択しても、右側のかっこは入力されません。

おしらせ

● 記号や絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
● 絵文字を入力してｉモード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
● 絵文字２（☛P539）を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。

データを引用して文字を入力する

電話帳データや自局番号の登録内容、電卓の計算結果やバーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力します。
- 引用できない文字入力画面では、メニュー項目が薄く表示されたり、メニュー項目自体が表示されないため操作できません。

電話帳データの内容を引用する

- 文字入力画面を全画面入力（☛P514）に切り替えて操作してください。
- 電話帳の文字入力画面では、電話帳データを引用できません。

1 文字入力画面で [Menu][4] を押す

2 引用する電話帳データを選択する

電話帳選択 1/2
青木一郎
アオキイチロウ
03XXXXXXXX
090XXXXXXXX
docomo.taro.△△@doc…
docomotaro@△△.□□.…
http://www.△△△.△△△…
大学のサークル
〒 XXXXXXX

3 引用する内容を選択する

引用した内容が入力されます。

自局番号の内容を引用する

- 自局番号の文字入力画面では、自局番号を引用できません。

1 文字入力画面で [Menu][8][1] を押す

2 端末暗証番号を入力する

自局番号選択 1/1
佐藤桂子
サトウケイコ
090XXXXXXXX
docomo.△△_ab1234yz…

3 引用する自局番号の内容を選択する

引用した内容が入力されます。

電卓の計算結果を引用する

- 電卓の計算結果を引用できるのは、スケジュール帳とメモ帳の文字入力画面です。

1 **文字入力画面で Menu 8 2 を押す**

2 **計算を行う** ☛P452

3 **● を押す**

計算結果が入力されます。

バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

- バーコードリーダーの読み取りデータを引用できるのは、URL 入力と i モード中の文字入力画面です。

1 **文字入力画面で Menu 8 2 を押す**

起動時に接写モードになります。

2 **JANコードまたはQRコードを読み取る** ☛P194

3 **● を押す**

読み取りデータの文字列が入力されます。

定型文登録

定型文を登録する

登録した定型文は「ユーザ作成」に登録されます。

- 最大 50 件登録できます。

1 **待受画面で Menu 8 9 2 9 を押す**

2 **「<新しい定型文>」を選択する**

定型文編集画面が表示されます。

- 登録済みの定型文を確認するときは、定型文を選択します。
- 登録済みの定型文を確認するときは、定型文の一覧で定型文にカーソルを合わせて 📖 を押します。● を押すと編集できます。

3 **● を押し、定型文を入力する**

- 全角で最大 64 文字、半角で最大 128 文字入力できます。

4 **📖 を押す**

定型文が登録されます。

- 登録済みの定型文を修正したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、登録を中止するときは「いいえ」を選択します。

定型文を削除する

1 **待受画面で Menu 8 9 2 9 を押す**

2 **削除する定型文にカーソルを合わせて Menu を押す**

3 **「はい」を選択する**

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して定型文に登録します。

1 **文字入力画面で Menu 6 を押す**

2 **開始位置にカーソルを合わせて ● を押す**

- 全文を選択する場合は、Menu を押して ● を押します。操作 4 に進みます。

3 **終了位置にカーソルを合わせて ● を押す**

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。

- 開始位置から文頭まで選択する場合は、Menu を押して ● を押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、📖 を押して ● を押します。

4 **📖 を押す**

おしらせ

- 上記操作で選択した入力済みの文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります(メール本文の入力画面から操作する場合は、空白データは有効になります)。
  - 空白のみ　：定型文として登録不可
  - 文字列の前後に空白　：文字列のみ有効
  - 文字と文字の間に空白：空白も有効
- メール本文の入力画面から操作する場合は Menu 6 2 を押しても登録できます。
- 文字が入力されていない場合に Menu 6 を押すと、すぐに定型文編集画面が表示されます。
- 定型文が既に 50 件登録されている場合は、定型文登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から登録データの削除を行うか、登録済みの定型文を修正してください。

文字コピー

文字をコピー／切り取りして貼り付ける

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

- コピーまたは切り取った文字は電源を切るまでFOMA端末に保持され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 保持できるのは1件だけです。新たにコピーまたは切り取りを行うと内容は上書きされます。

文字をコピー／切り取りする

例 文字をコピーするとき

1 文字入力画面で Menu 1 を押す

- 文字を切り取るときは Menu 2 を押します。

2 開始位置にカーソルを合わせて ● を押す

- 全文を選択する場合は、Menu を押して ● を押します。

3 終了位置にカーソルを合わせて ● を押す

選択した範囲の文字がコピーされます。

- 開始位置から文頭まで選択する場合は、Menu を押して ● を押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、📖 を押して ● を押します。

おしらせ

- ●メール本文の入力画面から操作する場合は Menu を押し、「コピー」／「切り取り」を選択しても操作できます。

文字を貼り付ける

- 貼り付けを行ったとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、入力可能な文字数以降は消去されます。

1 文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせて Menu 3 を押す

文字がカーソル位置に挿入されます。

おしらせ

- ●メール本文の入力画面から操作する場合は Menu を押し、「貼り付け」を選択します。
- ●コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しないときは、貼り付けられません。たとえば、メールアドレス欄（半角英数字）にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- ●改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合は、空白に置き換えられます。

区点コード入力

区点コードで入力する

区点コード一覧にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

例「携」（区点コード2340）を入力するとき

1 文字入力画面で 📖 8 を押す

2 4桁の区点コード（この場合は 2 3 4 0）を入力する

「携」が入力されます。

- 有効な区点コードは0101～8406です。
- 対応する文字、数字、記号がない区点コードの入力は無効です。

おしらせ

- ●区点コード一覧☛P542

単語登録

よく使う単語をあらかじめ登録する

よく使う単語をあらかじめ登録しておき、文字の変換のときに簡単に呼び出します。

- 最大 200 件登録できます。

1 待受画面で [Menu] [8] [9] [1] を押す

2 「<新しい単語>」を選択する

単語登録 0/200件
単語一覧(1/1)
<新しい単語>

- 登録済みの単語を修正するときは、修正する単語を選択します。
- 登録済みの単語を確認するときは、単語にカーソルを合わせて [□] を押します。◉ を押すと編集できます。

■ **単語を削除するとき**

① **単語一覧から削除する単語にカーソルを合わせて [Menu] を押す**

② **「削除」を選択する**

選択した単語が削除されます。

- 登録した単語を全件削除するときは、「すべて削除」を選択します。

3 単語欄を選択し、登録する単語を入力する

単語編集
単語
読み

- 全角で最大 12 文字、半角で最大 24 文字入力できます。
- 登録できる文字の種類は次のとおりです。
  - ひらがな／漢字
  - 全角／半角カタカナ
  - 全角／半角英字
  - 全角／半角数字
  - 全角／半角記号
  - 絵文字

4 読み欄を選択し、読みを入力する

- 全角で最大 16 文字入力できます。
- ひらがなのみ入力できます。

5 [□] を押す

単語が登録されます。

■ **登録済みの単語を修正したとき**

- 元の単語に上書きするときは「上書き登録」を選択します。
- 修正をした単語を新規に登録するときは「新規登録」を選択します。元の単語もそのまま残ります。

おしらせ

- 単語と読みが入力されていないと登録できません。
- 読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。空白を入力すると、その空白は保存後削除されます。
- 単語と読みの組み合わせで、同じ単語が既に登録されている場合は、登録できません。
- 同じ読みの単語は、最大 5 つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更して登録してください。
- 単語登録で登録された単語（ユーザ辞書データ）は、各種設定リセットやデーター括削除で削除されます。☛P460、P461

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して単語登録できます。

1 文字入力画面で [Menu] [5] を押す

2 開始位置にカーソルを合わせて ◉ を押す

- 全文を選択する場合は、[Menu] を押して ◉ を押します。操作 4 に進みます。

3 終了位置にカーソルを合わせて ◉ を押す

選択した範囲の文字が単語欄に表示されます。

単語編集
単語
○×（株）営業二部
読み

- 開始位置から文頭まで選択する場合は、[Menu] を押して ◉ を押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、[□] を押して ◉ を押します。

4 読みを入力し [□] を押す

文字入力

おしらせ

- ● 読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。空白を入力すると、その空白は保存後削除されます。
- ● メール本文の入力画面から操作する場合は Menu 6 1 を押しても登録できます。
- ● 文字が入力されていない場合に Menu 5 を押すと、すぐに単語編集画面が表示されます。
- ● 単語が既に 200 件登録されている場合は、単語登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から登録データの削除を行うか、登録済みの単語を修正してください。

スロット入力方式

スロット入力方式で文字を入力する

スロット入力ボードに表示された文字から、 を使って入力文字を指定します。

- スロット入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。☛P524
- スロット入力方式では予測変換機能は利用できません。
- スロット入力ボードで操作している場合に、入力エリアの操作（文字の削除やカーソル移動など）を行うときは、 を押します。スロット入力ボードの操作に戻すときは再度 を押します。

入力エリア

スロット入力ボード

入力モードが表示されます。☛P515

例 電話帳の登録で「鈴木」と入力するとき

1 名前の入力欄を選択して を押す

文字入力画面が表示されます。

2 「すずき」と入力する

「す」: を2回、 を2回押し、 を押します。
「ず」: を押し、 を3回押し、 を押します。
「き」: を4回、 を1回押し、 を押します。

- 上段と下段の入力バーを入れ替えるときは、 を押します。
- を押すと、文字を確定してカタカナ（半角）モードに切り替わります。

3 を押す

変換されます。

- 変換方法はかな入力方式と同じです。☛P516
- 変換前の状態に戻して文字入力を続けるには クリア または クリア を押します。
- ひらがなのまま確定するときは Menu を押します。確定と同時にスロット入力ボードが有効になります。操作 5 に進みます。

4 を押す

文字が確定します。

- 続けて文字を入力できます。

5 を押し、 を押す

文字入力が終了します。

おしらせ

- ● 入力バーの文字割り当て一覧 ☛P536
- ● 文字入力画面のサブメニュー ☛P515

入力方法を設定する

お買い上げ時　入力方式：かな入力　入力予測：ON
自動カーソル：普通

1 待受画面で Menu 8 9 3 を押す

2 各項目を選択して設定する

入力方式
：「かな入力」方式にするか「スロット入力」方式にするかを設定します。
- 「スロット入力」に設定した場合は、「入力予測」「自動カーソル」を設定できません。

入力予測
：予測変換候補を表示するかどうかを設定します。

自動カーソル
：カーソルが右側に自動移動するまでの時間を設定します。
- 「OFF」に設定すると、カーソルは自動移動しません。
- 「遅い」に設定すると、約 1.5 秒経過するとカーソルが移動します。
- 「普通」に設定すると、約 1 秒経過するとカーソルが移動します。
- 「速い」に設定すると、約 0.5 秒経過するとカーソルが移動します。

3 (本) を押す

設定内容が登録されます。

文字入力中に設定を変更するには

1 文字入力画面で Menu 7 を押す

2 1 ～ 3 を押す

- 「かな入力」と「スロット入力」を切り替えるときは 1 を押します。
- 「入力予測 ON」と「入力予測 OFF」を切り替えるときは 2 を押します。
- 自動カーソルの移動時間を選択するときは 3 を押し、1 ～ 4 を押して設定します。
- 入力方式に「スロット入力」を設定すると、入力予測および自動カーソルは選択できなくなります。
- インライン入力（入力欄にカーソルを合わせて文字を直接入力する方法）中は、設定を変更できません。
- メール本文の入力画面では、入力設定の変更はできません。ただし、文字確定前の入力画面では入力設定の変更ができます。

付録

困ったときには

メニュー一覧

メニューの表示は、メニューの表示形式（メニュー設定☛P31）によって異なります。

※１：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。☛P460

※２：メッセージ R/F 個別に設定できます。

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
1 メール			
1 受信メール	Menu 1 1 / ✉ 1	―	P279
2 新規メール	Menu 1 2 / ✉ 2 / ✉1 秒以上押す	―	P250
3 チャットメール	Menu 1 3 / ✉ 3	―	P304
4 未送信メール	Menu 1 4 / ✉ 4	―	P279
5 送信メール	Menu 1 5 / ✉ 5	―	P279
6 問合せ			
1 i モード問合せ	Menu 1 6 1 / ✉ 6 1 / ✉ ✉	―	P271
2 SMS 問合せ	Menu 1 6 2 / ✉ 6 2	―	P314
3 メール選択受信	Menu 1 6 3 / ✉ 6 3	―	P270
4 i モード問合せ設定	Menu 1 6 4 / ✉ 6 4	すべて選択	P297
7 SMS			
1 SMS 作成	Menu 1 7 1 / ✉ 7 1	―	P311
2 FOMA カード（UIM）受信 SMS	Menu 1 7 2 / ✉ 7 2	―	P316
3 FOMA カード（UIM）送信 SMS	Menu 1 7 3 / ✉ 7 3	―	P316
4 SMS 設定	Menu 1 7 4 / ✉ 7 4	送信文字種：日本語※１ 送達通知：要求しない 有効期間：３日※１ SMSC：ドコモ※１ アドレス：81903101652※１ Type of Number：international※１	P315
8 テンプレート読込み	Menu 1 8 / ✉ 8	―	P264

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
1 メール			
9 メール設定			
1 メール着信設定	Menu 1 9 1 / ✉ 9 1	着信音選択：メロディ／パターン 1 着信イルミネーション設定：パターン 8 バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P303
2 チャットメール着信設定	Menu 1 9 2 / ✉ 9 2	着信動作設定：メール着信動作に従う	P310
3 メール振り分け設定	Menu 1 9 3 / ✉ 9 3	受信振り分け設定：ON※1 送信振り分け設定：ON※1	P294
4 署名設定	Menu 1 9 4 / ✉ 9 4	する	P297
5 メール返信引用設定	Menu 1 9 5 / ✉ 9 5	引用：する 引用文字：>	P299
6 メール選択受信設定	Menu 1 9 6 / ✉ 9 6	OFF	P298
7 メール受信添付ファイル設定	Menu 1 9 7 / ✉ 9 7	画像：受信する メロディ：受信する	P300
8 メールグループ	Menu 1 9 8 / ✉ 9 8	―	P298
9 表示設定			
1 メール一覧表示設定	Menu 1 9 9 1 / ✉ 9 9 1	2 行表示	P300
2 添付ファイル自動再生設定	Menu 1 9 9 2 / ✉ 9 9 2	自動再生する	P301
3 受信表示設定	Menu 1 9 9 3 / ✉ 9 9 3	通知優先	P303
2 iモード			
1 iMenu	Menu 2 1 / i 1	―	P204
2 Bookmark	Menu 2 2 / i 2	―	P214
3 Internet			
1 URL 入力	Menu 2 3 1 / i 3 1	―	P212
2 URL 履歴	Menu 2 3 2 / i 3 2	―	P212
4 画面メモ	Menu 2 4 / i 4	―	P218
5 ラスト URL	Menu 2 5 / i 5	―	P206
6 iモード問合せ	Menu 2 6 / i 6	―	P271

付録

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
2 iモード			
7 メッセージ			
1 メッセージリクエスト	Menu 2 7 1 / ◎ 7 1	――	P233
2 メッセージフリー	Menu 2 7 2 / ◎ 7 2	――	P233
3 メッセージ設定			
1 自動表示設定	Menu 2 7 3 1 / ◎ 7 3 1	メッセージR優先	P232
2 iモード問合せ設定	Menu 2 7 3 2 / ◎ 7 3 2	すべて選択	P297
3 添付ファイル自動再生設定	Menu 2 7 3 3 / ◎ 7 3 3	自動再生する	P301
4 メッセージ着信設定	Menu 2 7 3 4 ※2 / ◎ 7 3 4	着信音選択：メロディ／パターン1 着信イルミネーション設定：パターン8 バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P232
8 iモード設定			
1 ツータッチサイト表示	Menu 2 8 1 / ◎ 8 1	未登録※1	P215
2 接続待ち時間設定	Menu 2 8 2 / ◎ 8 2	60秒間	P227
3 接続先設定	Menu 2 8 3 / ◎ 8 3	接続先：iモード（FOMAカード）	P227
4 証明書表示／使用設定	Menu 2 8 4 / ◎ 8 4	「CA証明書1～9」、「ドコモ証明書1」にチェック	P237
5 ユーザ証明書操作	Menu 2 8 5 / ◎ 8 5	――	P238
6 証明書発行接続先設定	Menu 2 8 6 / ◎ 8 6	接続先：ドコモ	P240
9 表示設定			
1 表示・効果設定	Menu 2 9 1 / ◎ 9 1	画像：表示する アニメーション：表示する 登録データ利用設定：利用する 照明設定：端末設定に従う 効果音設定：ON	P228
2 表示色設定	Menu 2 9 2 / ◎ 9 2	文字／背景：指定しない リンク色：指定しない	P229
3 iモーション設定	Menu 2 9 3 / ◎ 9 3	自動再生設定：自動再生する iモーションタイプ設定：標準タイプ	P351
3 iアプリ			
1 ソフト一覧	Menu 3 1 / ◎1秒以上押す	――	P326

付録

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
3 アプリ			
2 アプリ設定			
1 ソフトの並べ替え	Menu 3 2 1	ダウンロード日時順	P343
2 自動起動設定	Menu 3 2 2	ON	P336
3 ソフト情報表示設定	Menu 3 2 3	OFF	P326
4 照明設定	Menu 3 2 4	端末設定に従う	P330
5 バイブレータ設定	Menu 3 2 5	ON	P330
6 ツータッチアプリ表示	Menu 3 2 6	未登録※1	P326
3 履歴表示			
1 起動失敗履歴	Menu 3 3 1	―	P337
2 異常終了履歴	Menu 3 3 2	―	P339
3 セキュリティエラー履歴	Menu 3 3 3	―	P328
4 電話帳／履歴			
1 電話帳検索	Menu 4 1/📖	―	P110
2 電話帳登録	Menu 4 2	―	P104
3 FOMA カード（UIM）登録	Menu 4 3	―	P108
4 着信履歴	Menu 4 4/◎	―	P65
5 リダイヤル	Menu 4 5/◎	―	P53
6 伝言メモ／音声メモ			
1 伝言メモ設定	Menu 4 6 1/ クリア 1	停止する※1 応答時間：8 秒※1 伝言メモ応答ガイダンス： 内蔵音※1	P76、 P77、 P78
2 伝言メモ一覧	Menu 4 6 2/ クリア 2	―	P79
3 音声メモ録音	Menu 4 6 3/ クリア 3	―	P449
4 音声メモ一覧	Menu 4 6 4/ クリア 4	―	P450
7 自局番号	Menu 4 7/ Menu 0	―	P48、 P447
5 データ BOX			
1 マイピクチャ	Menu 5 1/◎ 1	―	P354
2 モーション	Menu 5 2/◎ 2	―	P368
3 メロディ	Menu 5 3/◎ 3	―	P386
4 キャラ電	Menu 5 4/◎ 4	―	P378
6 ツール			
1 カメラ	Menu 6 1/ クリア 1 秒以上押す	―	P179
2 ビデオカメラ	Menu 6 2/ ◎ 1 秒以上押す	―	P184
3 サウンドレコーダー	Menu 6 3	―	P418
4 バーコードリーダー	Menu 6 4	―	P194
5 赤外線／ PC データ連携			
1 赤外線全件送信	Menu 6 5 1	―	P411
2 赤外線受信	Menu 6 5 2	―	P412
3 データ送受信設定	Menu 6 5 3	通信終了音：OFF※1 自動認証：なし※1 電話帳の画像送信：あり※1	P415
4 USB モード設定	Menu 6 5 4	通信モード※1	P481

付録

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
6 ツール			
6 miniSD カード	Menu 6 6	――	P397
7 ステーショナリー			
1 スケジュール帳	Menu 7 1 / (本) 1 秒以上押す	――	P432
2 メモ帳	Menu 7 2	――	P453
3 アラーム	Menu 7 3	OFF※1	P429
4 電卓	Menu 7 4	――	P452
8 設定			
1 音／バイブ			
1 音の設定	Menu 8 1 1	電話、メール：メロディ／パターン 1 チャットメール：メール連動 メッセージ R、メッセージ F：メロディ／パターン 1 通話保留音：内蔵音（保留音・ボイス） テレビ電話：メロディ／電話・メロディ A スライドオープン：メロディ／スライド・オープン音 1 スライドクローズ：メロディ／スライド・クローズ音 1	P128
2 着信音量調整			
1 電話着信音量調整	Menu 8 1 2 1	レベル 4	P68
2 メール着信音量調整	Menu 8 1 2 2	レベル 4	P68
3 受話音量調整	Menu 8 1 3	レベル 4	P67
4 キー確認音設定	Menu 8 1 4	キー確認音 1	P132
5 電池アラーム音設定	Menu 8 1 5	ON	P45
6 マナーモード選択	Menu 8 1 6	通常マナーモード	P134
7 バイブレータ設定	Menu 8 1 7	すべて OFF	P131
8 着信呼出動作設定	Menu 8 1 8	OFF	P169
9 充電確認音設定	Menu 8 1 9	ON	P132
2 ディスプレイ			
1 待受画面設定	Menu 8 2 1	街角	P135
2 発着信画面表示設定			
1 電話発着信画像設定	Menu 8 2 2 1	人物画像表示：ON イメージ表示：標準画像	P141
2 メール送信画像設定	Menu 8 2 2 2	標準画像	P143
3 メール受信画像設定	Menu 8 2 2 3	標準画像	P143
4 問合せ画像設定	Menu 8 2 2 4	標準画像	P143
5 着信表示設定	Menu 8 2 2 5	電話番号：表示する 名前：通常表示	P143
3 カラーテーマ設定	Menu 8 2 3	ダイヤモンドブルー	P145
4 電池マーク設定	Menu 8 2 4	(電池3)→(電池2)→(電池1)	P146
5 照明設定	Menu 8 2 5	照明方法：点灯 点灯時間：10 秒 範囲：ディスプレイ＋キー 明るさ：標準 AC アダプタ接続時動作：端末設定に従う	P144

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
8 設定			
2 ディスプレイ			
6 イルミネーション設定	Menu 8 2 6	新着通知：OFF 通話中：OFF テレビ電話着信、音声着信：パターン 4 メール着信、メッセージ R 着信、メッセージ F 着信、チャットメール着信：パターン 8 アラーム、スケジュール：パターン 11 メロディ再生：メロディ連動 スライドオープン：パターン 14 スライドクローズ：パターン 15	P146
7 フォント設定	Menu 8 2 7	中（標準）	P148
8 バイリンガル	Menu 8 2 8	FOMAカードの設定に従う※1	P149
3 セキュリティ／ロック			
1 ロック			
1 オールロック	Menu 8 3 1 1	未設定	P158
2 PIM ロック	Menu 8 3 1 2	OFF※1	P159
3 遠隔ロック	Menu 8 3 1 3	遠隔ロック：OFF 監視時間（分）：3 着信回数（回）：5 発信元 1 ～ 3：未登録	P163
2 シークレットモード	Menu 8 3 2	未設定	P165
3 ダイヤル発信制限	Menu 8 3 3	OFF	P160
4 FOMA カード（UIM）			
1 PIN1 コード変更	Menu 8 3 4 1	0000※1	P155
2 PIN2 コード変更	Menu 8 3 4 2	0000※1	P155
3 PIN1 コード ON ／ OFF	Menu 8 3 4 3	OFF※1	P154
5 暗証番号変更	Menu 8 3 5	0000※1	P153
6 プライバシーモード設定	Menu 8 3 6	電話帳・履歴：表示する※1 メール：表示する※1 マイピクチャ：表示する※1 ｉ モーション：表示する※1 スケジュール：表示する※1 ｉ アプリ：表示する※1 自動起動：OFF※1	P161
7 スキャン機能			
1 パターンデータ更新	Menu 8 3 7 1	―――	P572
2 スキャン機能設定	Menu 8 3 7 2	有効	P571
3 バージョン表示	Menu 8 3 7 3	―――	P573

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
8 設定			
4 情報表示／リセット			
1 通話時間	Menu 8 4 1	―	P451
2 設定状況確認	Menu 8 4 2	―	P459
3 電池レベル表示	Menu 8 4 3	―	P44
4 通話料金	Menu 8 4 4	―	P452
5 各種設定リセット	Menu 8 4 5	―	P460
6 データ一括削除	Menu 8 4 6	―	P461
5 時計			
1 日付時刻設定	Menu 8 5 1	※1	P46
2 自動電源 ON 設定	Menu 8 5 2	OFF	P428
3 自動電源 OFF 設定	Menu 8 5 3	OFF	P428
4 時計表示設定	Menu 8 5 4	待受時計：大きく表示 形式：24 時間表示 時計デザイン：タイプ 1 表示位置：上 曜日：バイリンガルに従う	P148
5 アラーム自動電源 ON 設定	Menu 8 5 5	OFF	P431
6 発着信機能			
1 電話発着信設定	Menu 8 6 1	着信音：メロディ／パターン 1 人物画像表示：ON イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：パターン 4	P69
2 発番号なし動作設定	Menu 8 6 2	すべて設定解除	P167
3 イヤホン切替設定	Menu 8 6 3	イヤホン + 背面スピーカー	P458
4 オート着信機能設定	Menu 8 6 4	OFF	P457
5 メモリ別着信拒否／許可	Menu 8 6 5	設定解除	P166
6 メモリ登録外着信拒否	Menu 8 6 6	OFF	P170
7 応答保留ガイダンス設定	Menu 8 6 7	内蔵音	P72
8 エニーキーアンサー設定	Menu 8 6 8	ON	P63
9 優先通信モード設定	Menu 8 6 9	設定なし	P70
7 通話機能			
1 ノイズキャンセラ設定	Menu 8 7 1	ON	P60
2 再接続アラーム設定	Menu 8 7 2	アラーム高音	P59
3 通話保留音設定	Menu 8 7 3	内蔵音（保留音・ボイス）	P73
4 通話品質アラーム設定	Menu 8 7 4	アラーム高音	P133
5 プレフィックス設定	Menu 8 7 5	009130010	P58
6 国際ダイヤル自動付加	Menu 8 7 6	自動付加	P57
7 サブアドレス設定	Menu 8 7 7	ON	P59
8 通話中クローズ設定	Menu 8 7 8	通話継続	P64
9 着信中オープン応答	Menu 8 7 9	OFF	P64

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
8 設定			
8 テレビ電話			
1 テレビ電話発着信設定	Menu 8 8 1	着信音：メロディ／電話・メロディ A イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：パターン4	P98
2 テレビ電話動作設定	Menu 8 8 2	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 発信時自画像送信：ON 送信画質設定：標準 照明設定：常灯（標準）	P97
3 テレビ電話画像選択	Menu 8 8 3	代替画像：標準キャラ電 伝言メモ画像：標準画像 応答保留画像：標準画像 通話中保留画像：標準画像	P91
4 テレビ電話使用機器設定	Menu 8 8 4	本体※1	P99
9 文字入力／その他			
1 単語登録	Menu 8 9 1	――――	P522
2 定型文登録	Menu 8 9 2	――――	P520
3 入力設定	Menu 8 9 3	入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通	P524
4 セルフモード設定	Menu 8 9 4 / クリア 1 秒以上押す	OFF	P159
5 NW 検索方法	Menu 8 9 5	ネットワーク自動検索※1	P459
6 ソフトウェア更新	Menu 8 9 6	――――	P565
7 スライド編集設定	Menu 8 9 7	すべて ON	P427
9 NW サービス			
1 留守番電話			
1 留守番サービス開始	Menu 9 1 1	――――	P465
2 留守番呼出時間設定	Menu 9 1 2	――――	P466
3 留守番サービス停止	Menu 9 1 3	――――	P465
4 留守番設定確認	Menu 9 1 4	――――	P465
5 留守番メッセージ再生	Menu 9 1 5	――――	P466
6 留守番サービス設定	Menu 9 1 6	――――	P466
7 メッセージ問合せ	Menu 9 1 7	――――	P466
8 件数増加鳴動設定	Menu 9 1 8	件数通知音：ON 通知メロディ：パターン 1	P466
9 着信通知			
1 着信通知開始	Menu 9 1 9 1	――――	P467
2 着信通知停止	Menu 9 1 9 2	――――	P467
3 着信通知設定確認	Menu 9 1 9 3	――――	P467
2 キャッチホン			
1 キャッチホン開始	Menu 9 2 1	――――	P467
2 キャッチホン停止	Menu 9 2 2	――――	P467
3 キャッチホン設定確認	Menu 9 2 3	――――	P467

付録

メニュー	ショートカット操作	お買い上げ時	参照先
9 NW サービス			
3 転送でんわ			
1 転送サービス開始	Menu 9 3 1	―	P469
2 転送サービス停止	Menu 9 3 2	―	P470
3 転送先変更	Menu 9 3 3	―	P470
4 転送先通話中時設定	Menu 9 3 4	―	P470
5 転送サービス設定確認	Menu 9 3 5	―	P470
4 迷惑電話ストップ			
1 迷惑電話着信拒否登録	Menu 9 4 1	―	P470
2 迷惑電話全登録削除	Menu 9 4 2	―	P471
3 迷惑電話１登録削除	Menu 9 4 3	―	P471
5 発信者番号通知			
1 発信者番号通知設定	Menu 9 5 1	―	P47
2 発信者番号通知確認	Menu 9 5 2	―	P47
6 番号通知お願いサービス			
1 番号通知開始	Menu 9 6 1	―	P471
2 番号通知停止	Menu 9 6 2	―	P471
3 番号通知確認	Menu 9 6 3	―	P471
7 通話中着信設定			
1 通話中着信設定開始	Menu 9 7 1	―	P474
2 通話中着信設定停止	Menu 9 7 2	―	P474
3 通話中着信設定確認	Menu 9 7 3	―	P474
8 通話中着信動作選択	Menu 9 8	通常着信※1	P473
9 その他の NW サービス			
1 USSD 登録	Menu 9 9 1	―	P474
2 応答メッセージ登録	Menu 9 9 2	―	P475
3 遠隔操作設定			
1 遠隔操作開始	Menu 9 9 3 1	―	P474
2 遠隔操作停止	Menu 9 9 3 2	―	P474
3 遠隔操作設定確認	Menu 9 9 3 3	―	P474
4 英語ガイダンス			
1 ガイダンス設定	Menu 9 9 4 1	―	P472
2 ガイダンス設定確認	Menu 9 9 4 2	―	P473
5 デュアルネットワーク			
1 デュアルネットワーク切替	Menu 9 9 5 1	―	P472
2 デュアルネットワーク状態確認	Menu 9 9 5 2	―	P472
6 サービスダイヤル			
1 ドコモ故障問合せ	Menu 9 9 6 1	―	P473
2 ドコモ総合案内･受付	Menu 9 9 6 2	―	P473
7 マルチナンバー			P474
8 規制	※本端末ではご利用になれません。		
0 自局番号	Menu 0 / Menu 4 7	―	P48、 P447

付録

おしらせ

● 文字の全角／半角は、実際の表示と異なる場合があります。

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

かな入力方式では、ダイヤルキーには次のように文字が割り当てられています。
カナ、英字、数字モードでは、入力モードに従って全角文字または半角文字が入力されます。

キー	ひらがな / 漢字モード（全角）※1	カナモード（全角または半角）	英字モード（全角または半角）	数字モード（全角または半角）※3
1	あ い う え お 1	ア イ ウ エ オ 1	. / @ ￣※2 ― : _ [¥] ^ ` { | } 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
4	た ち つ て と 4	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
8	や ゆ よ 8	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0	わ を ん ー 、 。 ・ ? ! 「 」 □ 0	ワ ヲ ン ー 、 。 ・ ? ! 「 」 □ 0	! ” # $ % & ’ ( ) ＊ ＋ , ; < ＝ > ? □ 0	0 ＋※4
＊	゛ ゜	゛ ゜	半角の場合だけ、次の文字列が入力できます。 @docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm	＊ P※4
# ※5	改行	改行	改行	改行 # T※4
メール	1文字戻る	1文字戻る	1文字戻る	
文字	大文字と小文字の切り替え	大文字と小文字の切り替え	大文字と小文字の切り替え	

□: 空白を示します。

（網掛け）: 文字入力後に（文字キー）を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。

※1：全角の数字モード以外の数字は半角で入力されます。

※2：半角の英字モードは「~」で入力されます。

※3：数字モードの「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。

※4：該当するキーを1秒以上押すと入力できます。

※5：入力欄によっては改行できない場合があります。

入力バーの文字割り当て一覧（スロット入力方式）

入力バー		ひらがな／漢字モード（全角）
上段	あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ 1
	か	かきくけこ 2
	さ	さしすせそ 3
	た	たちつてとっ 4
	な	なにぬねの 5
	゛゜	゛゜
下段	は	はひふへほ 6
	ま	まみむめも 7
	や	やゆよ ゃゅょ 8
	ら	らりるれろ 9
	わ	わをんー 、。？！「」全角空白 0
	↵	改行

入力バー		カナモード（半角）
上段	ｱ	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ1
	ｶ	ｶｷｸｹｺ 2
	ｻ	ｻｼｽｾｿ 3
	ﾀ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ 4
	ﾅ	ﾅﾆﾇﾈﾉ 5
	ﾞ	ﾞﾟ
下段	ﾊ	ﾊﾋﾌﾍﾎ 6
	ﾏ	ﾏﾐﾑﾒﾓ 7
	ﾔ	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ8
	ﾗ	ﾗﾘﾙﾚﾛ9
	ﾜ	ﾜｦﾝｰ､｡?!｢｣半角空白 0
	↵	改行

※ひらがな／漢字モードでは、「゛」と「゜」は ◉ を押すたびに切り替わります。
※数字は半角で表示されます。

入力バー		英数字モード（半角）
上段	.	./@~-:_[¥]^`{|}1
	A	ABCabc 2
	D	DEF def 3
	G	GHI ghi 4
	J	JKL jkl 5
	定	@docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm
下段	M	MNOmno 6
	P	PQRS pqrs7
	T	TUV tuv 8
	W	WXYZ wxyz 9
	!	!"#$%&'()*+,; <=>?半角空白0
	↵	改行

定型文一覧

・顔文字 1（72 件）

(^-^)	m(__)m	(^^;)	(^^)v
(;_;)	o(^o^)o	＼(^O^)／	(^o^)／
d=(^o^)=b	(*^_^*)	(^^ゞ	(^｡^;)
σ(^_^;	(ToT)	(^^)/~~	(ToT)/~~
(>_<)	(*_*)	(+_+)	(@_@)
(?_?)	(=_=)	(^_-)	(^∧^)
(-_-;)	ﾍ(ﾟoﾟ)ﾉ	(^3^)/～☆	(☆o☆)
(-_-)zzz	☆彡	(^ワ^)	v(^o^)
(^◇^)	(^-^)/	o(^-^)o	(^ー゜)b
(^_-)-☆	(｡･_･｡)/	(･_･ゞ-☆	～(m~-~)m
＼(~o~)／	(#￣3￣)	(￣(エ)￣)	(^-^)_旦~
ヽ(´▽`)/	＼(*^▽^*)/	～(￣▽￣～)	^ー^)人(^ー^

付録

ε=┌(・_・)┘	(^∇^)σ)~0~)	(~∇~@)♪♪♪	ヾ(￣◇￣)ノ))
ε=ヾ(*~∇~)ノ	(^_^;	(._.)	(・_・、
(~∧~;)	(ﾟ～ﾟ)	(>_<")	(-。-)
(-_-#)	(-_-)	_(._.)_	(´□`)
(´ー`)	(´￢`)	(´ω`)	(・_・?)
(・。・)	o(T□T)o	Σ(￣□￣;)	･ﾟ･(>_<)･ﾟ･

• 顔文字 2（28 件）

_・)ｿｫｰｯ	('-'*)ｴﾍ	(-_☆)ｷﾗﾘ	(・_*)＼ﾍﾟﾁ
(^-^ゞ了解	[壁]_-) ﾁﾗｯ	(~ー~) ﾍｴ～	(;￢_￢)ｱﾔｼｲ
(-_ヾｺﾞｼｺﾞｼ	(；-_-)=3 ﾌｩ	{{(>_<)}}ｻﾑｲ	Σ(ﾟﾛﾟ;)ﾅﾆｰ!!
(ﾟ∇^)] ﾓｼﾓｼ	ヾ(*'-'*)ﾏﾀﾈｰ	(≧∇≦)/ ﾊﾊﾊ	φ(..)ﾒﾓﾒﾓ♪
(・_・)ノ~ﾟ ﾎﾟｲ	ﾁｶﾞｰｳ(-_-)ノノ	o(^-^)○☆ﾊﾟﾝﾁ	d (>◇<) ｱｳﾄ!
__(-_-)__ｾｰﾌ!	(>_<)(>_<)ｲﾔｰ	＼(o￣∇￣o)ﾊｰｲ	(~-~;)ヾ(-_-;)ｵｲ
(￣～￣) ﾓｸﾞﾓｸﾞ	<("0")> ﾅﾝﾃｺｯﾀ!	凸ヽ(^-^) ﾀｲｺﾊﾞﾝ	(・_・、ヾ(^-^)ﾖｼﾖｼ

• 一般（20 件）

おはよう	おやすみ
おはよー！今日も一日がんばりましょう。	昨日は、とっても楽しかったです。どうもありがとう。
連絡下さい。	今から電話してもいいですか？
ごめんなさい、遅れます。	今日は○○の日です。早く帰って来てね。
○○まで迎えに来て！お願いします。	○○について知っている人は○○までに○○に教えて下さい。
もう少し待ってて！	
いってらっしゃい。	留守電にメッセージをお願いします。
○○で待ってます。	ただいま電話にでることができません。メールでご用件をお知らせ下さい。
集合時間は○○、集合場所は○○です。	
今日は外で食べて帰ります。ご飯はいりません。	メールありがとう。
○○の写真送ります。	最近の○○の写真です。

• 遊び（20 件）

今なにしてるの？電話かメールを下さい。	どこか、遊びに行こーよ！
電話ちょうだい！電話番号は○○です。	おくれちゃう、ゴメン！
どこにいるの？	集合！
時間だよーん！！	トラブル発生！！
会いたい！	大好き！
みんなで飲みませんか？○○に○○。	今日○○に、○○へ行きませんか？
○○の待ち合わせ時間と場所、決めようよ。	○○に行かない？
○○のメンバー募集！詳しくは○○まで連絡下さい。	
今度みんなで○○へ行きましょう。○○までで、都合の良い日を教えて下さい。	
今度みんなで○○へ行きましょう。いいところがありましたら、お知らせ下さい。	
○○しませんか？日時：○○、場所：○○。出欠をご連絡下さい。	
メッセージ下さい！！	○○の時の写真だよ。

つづく

・ビジネス（20 件）

本日の○○会議は、○○となりました。	本日の○○訪問は、○○となりました。
○○へ直行します。	○○へ直帰します。
電車遅延のため、○○遅れます。	至急 TEL 下さい。
予定変更！ TEL 下さい。	待ち合わせ変更！場所：○○、時間：○○
○○頃まで、携帯電話の電源を切ります。	振込口座：○○銀行○○支店、口座番号○○、名義人名○○です。
○○の件、よろしくお願い致します。	
今日、一杯どうですか？連絡下さい。	FAX 確認願います。
次の指示を待て。	変更します。
延期します。	中止します。
○○での写真送ります。	今わかりません。
あとで連絡します。	

・応答（20 件）

Thank you!	Good!	OK です。
NG です。	いいよ。	行きます。
了解。	ダメ！	ごめんネ･･･
スミマセン、無理です。	本当？	おまかせっ！！
関係ないね！	うらやましー。	お疲れさま。
反対。	賛成。	待ってました！
それは残念。	写真届きました。	

・その他（20 件）

またねー！	今どこ？	お誕生日おめでとう。
おめでとう。	まじでー！？	まかせなさい！！
キャンセル。	いってきます。	頑張って！
ありがとう！	www.	.ne.jp
.co.jp	.or.jp	.ac.jp
.net	.com	.org
.html	http://	

・絵文字ことば（20 件）

絵文字ことば	意味例	絵文字ことば	意味例
	ハロー！ / またね		ごきげん
	ピース		るんるん
	落ち込む		どうしよう
	ぷんぷん		怒ってるぞ
	メロメロ		パニック
	寝ます		チュッ！
	ラブラブ		ダッシュ
	えっ何？		写真を撮る
	がんばれ！		独りぼっち
	カラオケ		サッカー

※意味例を入力しても絵文字ことばは表示できません。

・ユーザ作成（最大 50 件）
登録した定型文が表示されます。

記号・絵文字一覧

■ 記号一覧

<table>
<tr><td>半角</td><td>(ｽﾍﾟｰｽ) ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ﾞ ﾟ</td></tr>
<tr><td>全角</td><td>（ｽﾍﾟｰｽ）、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“<br>”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄
￠￡％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒
⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝ
ΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГД
ЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийк
лмнопрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳
┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦ
ⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹
㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪</td></tr>
</table>

※記号一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

■ 絵文字一覧

<table>
<tr><td>絵文字1</td><td></td></tr>
<tr><td>絵文字2</td><td></td></tr>
</table>

おしらせ

- 絵文字を入力して i モード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字 2 を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。

特殊記号入力変換表

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。☛P516

読　み	入力文字
あーる	㌃ Ｒ ｒ
あい	Ｉ ｉ
あるふぁ	α Α
あんだーばー	＿
あんど	＆
いー	Ε ε
いーた	Η η
いこーる	＝
いおた	Ι ι
いち	① Ⅰ
いぷしろん	Ε ε
えっくす	Ｘ ｘ
えっち	Ｈ ｈ
えー	Ａ ａ
えい	Ａ ａ
えいち	Ｈ ｈ
えす	Ｓ ｓ
えぬ	Ｎ ｎ
えふ	Ｆ ｆ
えむ	Ｍ ｍ
える	Ｌ ｌ
えん	￥
おー	Ｏ ｏ
おう	Ｏ ｏ
おす	♂
おみくろん	Ο ο
おめが	Ω ω
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪
かっこ	「」 【】 『』 《》 〈〉 ｛｝ 〔〕 ［］ （）
かっぱ	Κ κ
かい	Χ χ
かける	×
かぶ	㈱
かぶしきがいしゃ	㈱ ㏍
から	～
かろりー	㌍
がんま	γ Γ
きゅー	Ｑ ｑ
きゅう	⑨ Ⅸ

読　み	入力文字
きごう	〃 々 ＠ × ÷ ∴ ／＼ ∞ ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ⊿ ∑ ∮ 〝 〟 ∟ ≧ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ≫ ‰ † ‡ ∨ ¶ § ≦ ＞ ＜ ≠ ≪ ∧ ¬ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒ ∂ ∇ ≡ ±
きろ	㌔
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
く	⑨ Ⅸ
くさい	Ξ ξ
ぐらむ	㌘
けー	Ｋ ｋ
けい	Ｋ ｋ
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
ご	⑤ Ⅴ
さん	③ Ⅲ
さんかく	△▲▽▼
し	④ Ⅳ
しゃーぷ	＃
しょうわ	㍼
しー	ｃ
しーしー	㏄
しーた	θ Θ
しかく	□◆◇■
しぐま	Σ σ
しち	⑦ Ⅶ
しめ	〆
じぇー	Ｊ ｊ
じぇい	Ｊ ｊ
じゅう	⑩ Ⅹ
じゅういち	⑪
じゅうく	⑲

読　み	入力文字
じゅうご	⑮
じゅうさん	⑬
じゅうし	⑭
じゅうしち	⑰
じゅうに	⑫
じゅうはち	⑱
じゅうよん	⑭
じゅうろく	⑯
じー	Ｇ ｇ
すらっしゅ	／＼
せくしょん	§
せみころん	；
せんち	㌢ ㎝
せんちめーとる	㎝
せんと	㌣ ￠
ぜーた	Ζ ζ
ぜっと	Ｚ ｚ
たいしょう	㍽
たう	Τ τ
たす	＋
だい	㈹
だいひょう	㈹
だぶりゅ	Ｗ ｗ
だぶりゅー	Ｗ ｗ
てぃー	Ｔ ｔ
てん	… ‥ 、 ’ ” ‘ “ ｀ ´ ¨ ヽ ヾ ゝ ゞ
てんてん	‥ …
でぃー	Ｄ ｄ
でるた	Δ δ
でんわ	℡
とん	㌧
どう	々 〃
どしー	℃
どる	㌦ ＄
なな	⑦ Ⅶ
なみ	～
なんばー	№
に	② Ⅱ
にゅー	Ν ν
にじゅう	⑳

付録

読　み	入力文字
のま	々
はいふん	―
はち	⑧ Ⅷ
はてな	？
ぱい	Π π
ばつ	×
ぱーせんと	％ ㌫
ひく	－
ひしがた	◇◆
びっくり	！
びー	Ｂ ｂ
ぴー	Ｐ ｐ
ふぁい	Φ φ
ふらっと	♭
ぶい	Ｖ ｖ
ぷさい	Ψ ψ
ぷらす	＋
へいせい	㍻
へいほうめーとる	㎡

読　み	入力文字
へくたーる	㌶
べーた	β Β
ぺーじ	㌻
ほし	☆★
まいなす	－
まる	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ○ ◎ ● ⬭ 。
みゅー	Μ μ
みり	㎜ ㍉
みりぐらむ	㎎
みりばーる	㍊
みりめーとる	㎜
めーとる	㍍
めいじ	㍾

読　み	入力文字
めす	♀
やじるし	↑↓→ ←⇔⇒
ゆー	Ｕ ｕ
ゆう	㈲
ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん	〒
ゆうびんばんごう	〒
ゆぷしろん	υ Υ
よん	④ Ⅳ
らむだ	λ Λ
りっとる	㍑
ろー	Ρ ρ
ろく	⑥ Ⅵ
わっと	㍗
わい	Υ ｙ
わる	÷

※特殊記号の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。
※入力文字の中には、半角文字しか存在しないもの、全角文字しか存在しないもの、全角文字と半角文字の両方が存在するものがあります。

絵文字入力変換表

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。☛P516

・次の絵文字以外は漢字入力モードで変換して入力することができません。入力方法☛P519

入　力	変　換
えもじ	zzz ！ ！？ ！！

区点コード一覧

- 区点コード入力の操作 ☛P521
- 区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

つづく

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
						ゆ				
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
						よ				
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
						ら				
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
						り				
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
						る				
466	瑠	塁	涙	累	類					
						れ				
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
						ろ				
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
						わ				
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに、発生・実行する処理の動作可否を次に示します。

発生・実行する処理 現在の状態	音声電話通話		テレビ電話通話		iモード	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信
音声電話通話中	①	②	×	×※6	○	○	○※1
テレビ電話通話中	×	×※6	×	×※6	×	×	×
iモード中	○	○	○※4	×※7	—	○	○
iモードメール送受信中	○	○	○※4	×※7	○	○※5	○※5
ショートメッセージ(SMS)送受信中	○	○	○	○	○	○※5	○※5
64Kデータ通信中	×	③	×	×※6	×	×	×
パケット通信中	○	○	×	×※7	×	×	×
データ転送中(赤外線通信／USB接続)	×	—	×	—	×	×	—
iアプリ動作中	○※2	○※2	○※2	○※2	×	○	○
miniSDメモリーカード起動中(コピー・初期化処理中)	×	—	×	—	×	×	—
miniSDメモリーカード起動中(コピー・初期化処理中以外)	○	○	○	○	×	○	○
ソフトウェア更新中	×	○	×	×※7	×	×	×
miniSDモード切替中	×	×	×	×	×	×	×

発生・実行する処理 現在の状態	ショートメッセージ(SMS)		64Kデータ通信		パケット通信		データ転送(赤外線通信)	
	送信	受信	発信	着信	発信	着信	送信	受信
音声電話通話中	○	○※1	×	×※6	○	○	×	×
テレビ電話通話中	×	×	×	×※6	×	×	×	×
iモード中	○	○	×	×※7	×	×	×	×
iモードメール送受信中	○※5	○※5	×	×※7	×	×	×	×
ショートメッセージ(SMS)送受信中	○※5	○※5	○	○	○※3	○※3	×	×
64Kデータ通信中	×	○※1	×	×※7	×	×	×	×
パケット通信中	○※8	○※1	×	×※7	×	×	×	×
データ転送中(赤外線通信／USB接続)	×	—	×	—	×	—	×	×
iアプリ動作中	○	○	○	○	○	○	○	×
miniSDメモリーカード起動中(コピー・初期化処理中)	—	×	—	×	×	—	×	×
miniSDメモリーカード起動中(コピー・初期化処理中以外)	○	○	○	○	○	○	○	×
ソフトウェア更新中	×	×	×	×※7	×	×	×	×
miniSDモード切替中	×	×	×	×	×	×	×	×

○：現在の通信状態を維持したまま、新たに通信を実行できます。
×：発信・着信・送信・受信・接続できません。
－：実現しない組み合わせです。
①：キャッチホンをご契約の場合、通話中に別の相手に電話をかけられます。

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

②：キャッチホンをご契約の場合、通話中にかかってきた電話を受けられます。また、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は各サービスで対応できます。

③：同時にはご利用いただけません。キャッチホンをご契約の場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかを選択できます。また、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は各サービスで対応できます。

※１：着信音は鳴りません。

※２：ｉアプリのメロディは鳴らなくなります。また、ｉアプリでｉモード通信中の場合は次のようになります。

- テレビ電話をかけると、ｉモード通信が切断されます。
- テレビ電話がかかってくると、その電話着信は拒否されます。

※３：ショートメッセージ（SMS）送信中は発着信はできません。

※４：ｉモード通信中の場合は、ｉモード通信が切断されます。

※５：送信どうし、または受信どうしは実行できません。また、送信と受信を同時にできないことがあります。

※６：キャッチホンをご契約の場合、着信履歴には不在着信として残ります。ただし、ソフトウェア更新中にテレビ電話やデータ通信の着信があった場合は、キャッチホンのご契約に関わらず着信履歴に不在着信として残ります。

※７：キャッチホンのご契約に関わらず着信履歴に不在着信として残ります。

※８：かかってきた音声電話を受けて通話中に、電話帳からショートメッセージ（SMS）を作成・送信できます。

マルチタスクの組み合わせ

現在実行中／設定中の機能ごとに、新規起動メニュー項目の選択可否を次に示します。

○：選択可能　×：選択不可

実行中機能／状態 ＼ 新規起動メニュー項目	ダイヤル発信	1メール 1受信メール	1メール 2新規メール	1メール 3チャットメール	1メール 4未送信メール	1メール 5送信メール	1メール 6問合せ 1iモード問合せ	1メール 6問合せ 2SMS問合せ	1メール 6問合せ 3選択メール受信	1メール 7SMS 1SMS作成	1メール 7SMS 2FOMAカード(UIM)受信SMS	1メール 7SMS 3FOMAカード(UIM)送信SMS	1メール 8テンプレート読込み	2iモード 1iMenu	2iモード 2Bookmark	2iモード 3Internet 1URL入力	2iモード 3Internet 2URL履歴	2iモード 4画面メモ	2iモード 5ラストURL	2iモード 6iモード問合せ	2iモード 7メッセージ 1リクエストメッセージ	2iモード 7メッセージ 2フリーメッセージ
電話／ダイヤル入力	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
64Kデータ通信	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
送信／未送信／受信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール／SMS作成	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
テンプレート読込み	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージリクエスト／メッセージフリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
iモードメール問合せ	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iMenu	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
Internet URL入力／Internet URL履歴／Bookmark／画面メモ／ラストURL	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
iアプリ一覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
iモーション／メロディ／マイピクチャ／キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラ／ビデオカメラ／サウンドレコーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話帳／メモ帳／スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自局番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ／iアプリダウンロード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
iモードメール受信	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
SMS受信	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
PPPデータ通信	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アラーム／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
外部機器によるテレビ電話	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード未挿入時	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○
PINロック解除10回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○
セルフモード中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○
PIMロック中	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
FOMAカード読み込み中	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤル発信制限中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

付録

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

○：選択可能　×：選択不可

新規起動メニュー項目／実行中機能／状態	3 iアプリ一覧	4 電話帳・履歴 1 電話帳	2 着信履歴	3 リダイヤル	4 伝言メモ・音声メモ 1 伝言メモ一覧	2 録音音声メモ	3 音声メモ一覧	5 自局番号	5 データBOX 1 マイピクチャ	2 iモーション	3 メロディ	4 キャラ電	6 ツール 1 カメラ	2 ビデオカメラ	3 サウンドレコーダー	4 バーコードリーダー	7 ステーショナリー 1 スケジュール帳	2 メモ帳	3 電卓	0 自局番号
電話	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
ダイヤル入力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○
64Kデータ通信	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
送信／未送信／受信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール／SMS作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テンプレート読込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージリクエスト／メッセージフリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモードメール／SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iMenu	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Internet URL入力／Internet URL履歴／Bookmark／画面メモ／ラストURL	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ一覧	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
iモーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
メロディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイピクチャ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
カメラ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
ビデオカメラ／サウンドレコーダー	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
電話帳	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自局番号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
iアプリ／iアプリダウンロード	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
iモードメール／SMS受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PPPデータ通信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
アラーム／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
外部機器によるテレビ電話	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
FOMAカード未挿入時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PINロック解除10回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セルフモード中／ダイヤル発信制限中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PIMロック中	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
FOMAカード読み込み中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

FOMA 端末から利用できるサービス

こんなサービスが利用できます

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内 およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）　午前 8 時〜午後 10 時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋ 177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

おしらせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と 1 回の通話ごとの取扱手数料 90 円（税込 94.5 円）がかかります（2004 年 12 月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料 100 円（税込 105 円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは一般電話から 116 番（NTT 営業窓口）までお問い合わせください（2004 年 12 月現在）。
- FOMA 端末から 110 番・119 番・118 番通報の際は、発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず 10 分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」、「ボイスワープ」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116 番（NTT 営業窓口）、ダイヤル Q^2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話、公衆電話から FOMA 端末へおかけになる際のクレジット通話は利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA 端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック　D03
- 卓上ホルダ　D03
- FOMA 海外兼用 AC アダプタ　01
- 車内ホルダ　D02
- 平型ステレオイヤホンセット　P01
- スイッチ付イヤホンマイク　P001※/P002※
- イヤホンターミナル　P001※
- リアカバー　D03
- FOMA AC アダプタ　01
- FOMA DC アダプタ　01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク　P01/P02
- イヤホンジャック変換アダプタ　P001
- ステレオイヤホンセット　P001※
- FOMA USB 接続ケーブル

※：イヤホンジャック変換アダプタ　P001 が必要です。

データリンクソフトのご紹介

「FOMA D シリーズ　データリンクソフト」を使って、ブックマークなどのデータを、FOMA 端末と接続したパソコンとの間で転送できます。「FOMA D シリーズ　データリンクソフト」は、添付の CD-ROM に収録されている他、以下のホームページからダウンロードいただけます。
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/d901i/

●データリンクソフトのインストールについては、添付の CD-ROM の「DataLink」フォルダ内の「README_DL.TXT」をご覧ください。
●ダウンロード方法、転送可能データ、操作方法、動作環境など詳細については、上記ホームページ、または、データリンクソフトのヘルプをご覧ください。

- パソコンとの接続には、FOMA USB 接続ケーブル（別売）が必要です。
- FOMA 端末にダウンロードした情報は、著作権法によりデータリンクソフトでも FOMA 端末から外に転送することができません。また、FOMA 端末から外への出力が禁止されているデータも転送することができません。

対応 OS

Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows XP Home Edition
※上記 OS が動作する PC/AT 互換機

ご使用にあたって

・著作権について
本ソフトウェアはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権は三菱電機株式会社に帰属します。

・免責事項について
三菱電機株式会社は、本ソフトウェアの不稼動、稼動不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、三菱電機株式会社は、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。

データリンクソフトに関する技術的なお問い合わせ先

三菱電機データリンクサポートセンター　03-5319-3762
受付時間:平日9:00～12:00／13:00～17:00(土･日･祝日､年末年始および所定の休日を除く)
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

FOMA 端末と外部機器とのデータ連携

ここでは、FOMA 端末と外部機器との動画データの連携について説明します。

動画(MP4ファイル)
メール添付､miniSD
メモリーカードほか
動画(ASFファイル)
miniSDメモリーカード
パソコンなど
D901i
パソコンなど

外部機器で作成した動画（音楽データ含む）を FOMA 端末で再生する

パソコンなどの外部機器で作成した動画（MP4 ファイル、ASF ファイル）を miniSD メモリーカードに保存することで、FOMA 端末で再生することができます。

・miniSD メモリーカード内の動画を再生する☛P397
・再生可能な MP4 ファイル☛P177
・再生可能な ASF ファイルは次のとおりです。

ファイル形式	SD-Video(ASF)
符号化方式	映像：MPEG-4 音声：G.726

※：ASF ファイルの中にも再生できないものがあります。

・miniSD メモリーカード内の動画を再生するには、決められたフォルダに動画データを保存し、情報更新する必要があります。
miniSD メモリーカードのフォルダ構成☛P391
miniSD メモリーカードの情報更新☛P400

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

FOMA端末で撮影した動画データをパソコンなどで再生する

FOMA端末で撮影した動画（MP4ファイル）をminiSDメモリーカードやメール添付などでデータを転送し、パソコンで再生することができます。

- FOMA端末で撮影した動画ファイルの形式☛P177

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4ファイル）を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTimeは以下のホームページよりダウンロードいただけます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

故障かな？と思ったときは、まず下記の点をお調べください。

電源・充電関連

●FOMA端末の電源が入らない(FOMA端末が使えない)

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。☛P40
- 電池切れになっていませんか。☛P44
- デュアルネットワークサービスで mova が有効となっている場合、FOMA 端末でのサービスの利用はできません。FOMA 端末が有効になっているかご確認ください。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

●充電できない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。☛P40
- 充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
- AC アダプタ（別売）のコネクタが FOMA 端末の外部接続端子や卓上ホルダ（別売）の接続端子にしっかりと差し込まれていますか。☛P42
- 卓上ホルダ（別売）に FOMA 端末が正しく取り付けられていますか。☛P43

●充電中にマルチイルミネーションランプが赤く点滅する

- 通話／通信中の場合は、ただちに終了してください。FOMA 端末から別売りの AC アダプタ（卓上ホルダ）や DC アダプタを外してセットし直し、正しい方法で再度充電を行ってください。☛P42、P43
以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

●ディスプレイ上部が点滅し、ピピピというアラーム音が出ている

- 電池が少なくなってきています。充電してください。☛P41

電話関連

●ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示され、消えない

- 回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。ダイヤルキーを押すと、文字情報を消すことができます。

●ダイヤルキーを押しても発信できない

- オールロックがかかっていませんか。☛P158
- ダイヤル発信制限がかかっていませんか。☛P160
- 遠隔ロックがかかっていませんか。☛P163
- セルフモードを設定していませんか。☛P159

●ダイヤルしたが話中音（ツーツー）が出てつながらない

- 市外局番を忘れていませんか。☛P50
- 発信音を聞かず、急いでダイヤルしていませんか。
- 「圏外」の表示が出ていませんか。☛P45

●ディスプレイに「圏外」と表示され、話中音（ツーツー）が出る

- サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。☛P45

●着信音が鳴らない

- 着信音量を「消音」に設定していませんか。☛P68
- 次の機能を設定していませんか。
  - ・メモリ別着信拒否／許可 ☛P166
  - ・発番号なし動作設定 ☛P167
  - ・着信呼出動作設定 ☛P169
  - ・メモリ登録外着信拒否 ☛P170
- マナーモードに設定していませんか。☛P133
- ドライブモードに設定していませんか。☛P74
- オールロックを設定していませんか。☛P158
- セルフモードに設定していませんか。☛P159
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定していませんか。☛P465、P469

●エニーキーアンサー機能で音声電話を受けることができない

- エニーキーアンサー設定を「OFF」に設定していませんか。☛P63

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 受話音量の設定を変更していませんか。聞き取りやすい受話音量に調整してください。☛P67

●リダイヤル／着信履歴が勝手に削除される

- ダイヤル発信制限を設定しませんでしたか。☛P160
- PIM ロックを設定しませんでしたか。☛P159

●電話がかかってきたとき、設定した着信音以外の着信音が鳴る

- 複数の機能で着信音が設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
①FOMA 端末電話帳の設定
②FOMA 端末電話帳グループ別の設定
③音の設定／電話発着信設定／テレビ電話発着信設定

●電話がかかってきたとき、設定したイメージ以外のイメージが表示される

- 電話発着信設定の「着信音」に音と映像のある動画／ｉモーションが設定されている場合は、イメージは設定した動画／ｉモーションになります。
- 複数の機能で発着信画像が設定されている場合は、次の優先順位でイメージが表示されます。
①FOMA 端末電話帳の設定
②FOMA 端末電話帳グループ別の設定
③発着信画像選択／電話発着信設定／テレビ電話発着信設定

●**電話がかかってきたとき、設定したイルミネーションパターン以外でマルチイルミネーションランプが動作する**

- 複数の機能でイルミネーションパターンが設定されている場合は、次の優先順位でマルチイルミネーションランプが点滅します。
  ①FOMA 端末電話帳の設定
  ②FOMA 端末電話帳グループ別の設定
  ③イルミネーション設定／電話発着信設定／テレビ電話発着信設定

設定・操作関連

●**メニューのアイコンが鍵のアイコンになり、選択できない**

- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示され、選択できません。

●**キー確認音が鳴らない**

- キー確認音設定を「OFF」に設定していませんか。☛P132
- マナーモードに設定していませんか。☛P133

●**FOMA端末の電源を入れると「FOMAカード（UIM）を挿入してください」とメッセージが表示される**

- FOMA カードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMA カードが正しく取り付けられているかご確認ください。☛P37

●**ディスプレイに「このカードは認識できません」と表示される**

- FOMA カードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。☛P37

●**ディスプレイに「オールロック中」と表示されている**

- オールロックが設定されています。解除してください。☛P158

●**ディスプレイに「遠隔ロック中」と表示され、操作できない**

- 遠隔ロックが設定されています。解除してください。☛P163

●**ディスプレイに O━ が表示されている**

- プロテクトキーロック中のため、キーの操作が無効になっています。解除してください。☛P163

●**FOMA 端末を閉じているときにキーを押しても操作できない**

- プロテクトキーロックを設定していませんか。☛P163

●**日付が英語で表示される**

- バイリンガル設定で英語表示を設定していませんか。☛P149
- 時計表示設定で「英語」に設定していませんか。☛P148

●**ディスプレイが暗い**

- 照明設定の明るさの設定を「低輝度」に設定していませんか。☛P144

●**ディスプレイ、ダイヤルキーの照明が点灯しない**

- 照明設定の照明方法の設定を「消灯」に設定していませんか。☛P144

●**自動電源 ON を「ON」に設定しても、指定した時刻に電源が入らない**

- 電源を切る操作や自動電源 OFF 機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、自動電源 ON の機能は動作しません。

●**アラーム設定やスケジュールを設定しても、電源が切れているときに指定した時刻に動作しない**

- 電源を切る操作や自動電源 OFF 機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、これらの機能は動作しません。
- アラーム自動電源 ON 設定を「ON」に設定してください。☛P431

●**通話料金が積算されなくなった**

- 通話料金の FOMA カードへの積算が上限（約 1677 万円）に達した可能性があります。リセットすることにより 0 円に戻すことができます。☛P452

メール・データ関連

●**カメラで撮影した静止画や動画がぼやける**

- 近くの被写体を撮影するときは、オートフォーカスを利用するか、接写モードに切り替えてください。☛P189

●**ダウンロードデータ・メール添付のファイル・メッセージR/Fの表示や再生ができない**

- FOMA カード動作制限機能により、FOMA カードを差し替えた場合やFOMA カードを差し込んでいない場合は、これらの機能は動作しません。☛P38

●**メール受信時に、設定したメール着信音と違う着信音が鳴る**

- 複数の機能でメール着信音が設定されている場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
  ①FOMA 端末電話帳の設定
  ②FOMA 端末電話帳グループ別の設定
  ③音の設定
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従いメール着信音が鳴ります。
- メールの送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、メール着信音を設定していますか。

●**メール受信時に電話帳に登録されている名前や着信音が動作しない**

- 相手の電話番号またはメールアドレスと電話帳に登録されている電話番号またはメールアドレスが一致していません。正しい電話番号とメールアドレスを電話帳に登録してください。☛P103

●**メール受信時に、設定したメール着信イルミネーションパターンと違うパターンで点滅する**

- 複数の機能でメール着信イルミネーションパターンが設定されている場合は、次の優先順位でマルチイルミネーションランプが点滅します。
  ①FOMA 端末電話帳の設定
  ②FOMA 端末電話帳グループ別の設定
  ③イルミネーション設定
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従い、着信イルミネーションパターンで点滅します。
- メールの送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、メール着信イルミネーションパターンを設定していますか。

つづく

●静止画や動画が や で表示される

- データが壊れている場合は正しく表示することができず、 や で表示されます。

●キーを押したときの画面の反応が遅い

- FOMA端末とminiSDメモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときに、FOMA端末の画面の反応が遅くなることがあります。

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

こんな表示が出たら

FOMA 端末に表示される主なエラーメッセージを 50 音順に示します。

・エラーメッセージ中の「(数字)」または「XXX」は、ｉ モードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

英字

●**FOMAカード(UIM)がいっぱいです**

FOMAカードの保存領域が不足しているため、ショートメッセージ(SMS)を保存できません。FOMAカード内のショートメッセージ(SMS)を削除するか、FOMA端末に移動してください。☛P317、P318

●**FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません**

サイトやインターネットホームページからデータをダウンロードしたときや、メールの添付ファイル、メッセージR/Fを保存したときとは異なるFOMAカードを挿入しています。ダウンロードまたは保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

●**FOMAカード(UIM)が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした**

サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するソフトを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

●**FOMAカード(UIM)が挿入されていないためご利用できません**

FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入して利用してください。☛P37

●**FOMAカード(UIM)が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした**

サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するソフトを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

●**ｉ モーション再生サイズを超えています**

標準タイプのｉ モーションのデータ取得時に、データが500Kバイトを超えるため受信を中断しました。

●**ｉ モーション再生サイズを超えました**

標準タイプのｉ モーションのデータ取得時、またはデータ取得中の再生時に、データが500Kバイトを超えたため受信を中断しました。

●**ｉ モーション最大サイズを超えています**

ストリーミングタイプのｉ モーションのデータ取得時に、データが2Mバイトを超えるため受信を中断しました。

●**ｉ モーション最大サイズを超えました**

ストリーミングタイプのｉ モーションのデータ取得中に、データが2Mバイトを超えたため取り込みが完了しませんでした。

●**ｉ モードメールがつながりにくくなっています　しばらくお待ち下さい(555)**

ｉ モードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**miniSDカードが挿入されていません**

miniSDメモリーカードがFOMA端末に取り付けられていないときは、カメラで撮影した静止画や動画をminiSDメモリーカードに保存したり、FOMA端末に保存されているデータをminiSDメモリーカードにコピー／移動できません。miniSDメモリーカードを取り付けてから保存、コピー／移動してください。☛P389

●**miniSDカードの保存件数がいっぱいです。保存先を本体に変更します**

カメラの静止画設定および動画／録音設定の保存先を「miniSDカード」に設定しているときにminiSDメモリーカードの保存件数がいっぱいになると、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

●**miniSDカードの保存領域がいっぱいです**

miniSDメモリーカードの保存領域がいっぱいのため、データの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。☛P397

●**miniSDカードへの保存はできません。保存先を本体に変更します**

キャラ電ダウンロード時に、あらかじめ撮影後ファイル制限が「あり」の場合は、miniSDメモリーカードに保存できません。また、ダウンロード後もファイル制限は変更できません。☛P384

●**PIMロック中です**

PIMロック設定中は、禁止されている操作を行えません。☛P159

●**PINロック解除コードがロックされています**

ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。

●**SMSセンター設定を確認してください**

SMS設定の「SMSC」の設定が誤っています。設定を確認してください。☛P315

●**SSL通信が切断されました**

SSL通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのため中断しました。

●**SSL通信が無効です**

SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

●**SSL通信が無効に設定されています**

FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。☛P237

●**SSL通信を切断しました**

SSL通信中にサイトの証明書に問題を検出しました。接続確認画面で「いいえ」を選択した場合に表示され、SSL通信が切断されます。

●**URLが正しくありません**

入力したURLにエラーがあります。URLを確認してください。

●**URLが長すぎて登録できません**

URLが長すぎるためブックマークまたは画面メモに登録できません。

ア

●**宛先をご確認ください**

ショートメッセージ(SMS)の送信に失敗しました。宛先が正しいか確認してください。

つづく

●**アドレスをご確認ください**
メールグループに入力したメールアドレスにエラーがある、または入力されていません。メールアドレスを確認してください。☛P298

●**以下の宛先には送信出来ませんでした（561）**
いくつかの宛先にｉモードメールを送信できませんでした。(☻)を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいか確認の上、電波状態のよい場所で送信し直してください。

●**移動できませんでした**
データの複数移動または全件移動時、すべてのデータを移動できませんでした。

●**エラーが発生したため保存できません**
添付ファイル保存時にエラーが発生したため、保存できません。

●**遠隔操作可能なサービスは未契約です**
遠隔操作を行おうとした留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用するには別途ご契約が必要です。

●**応答がありませんでした（408）**
サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がありませんでした。しばらく待ってから操作し直してください。

カ

●**カード情報を認識できません**
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。FOMA カードの取り付けを確認してください。☛P37

●**画像に誤りがあり正しく動作しません**
サイトなどで Flash 画像を再生中にエラーが発生したため、正しく動作しません。

●**画像を表示できません**
添付しようとする画像がない、または画像にエラーがあるため表示できません。画像を確認してください。

●**規定のアクセス回数を超えたため参照できません（491）**
10000 バイトを超える静止画のダウンロード時に、規定のアクセス回数を超えました。

●**圏外です**
電波の届かない場所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

●**更新できませんでした**
パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了後、電波状態のよい場所で更新し直してください。

●**このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください。今すぐ設定を行いますか？**
ｉモーションタイプ設定が「標準タイプ」の設定のままストリーミングタイプのｉモーションをダウンロードしようとしました。「はい」を選択してｉモーション設定でｉモーションタイプを変更してください。設定しないときは「いいえ」を選択します。☛P351

●**このカードは認識できません**
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。FOMA カードを確認してください。☛P37

●**この画像は保存できません**
サイトや画面メモ、メッセージ R/F 内の画像にエラーがあるため、保存できません。

●**このキャラ電は表示できません**
データに不正があるキャラ電は表示できません。

●**この形式のデータは実行できません**
FOMA端末で対応していないファイル形式のデータを miniSD メモリーカードからFOMA端末にコピー／移動したり、検索することはできません。

●**このサイトとのSSL通信は無効です**
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●**このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？**
サイトの証明書が、FOMA 端末でサポートしていない証明書です。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

●**このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？**
サイトの証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

●**この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？**
FOMA 端末の証明書の有効期限前か期限が過ぎています。☛P237
接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。また、日付・時刻が未設定または間違っている場合にも表示されることがあります。その場合は日付・時刻を正しく設定してください。☛P46

●**この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？**
サイトの証明書の CN 名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。☛P237

●**このソフトは現在利用できません**
IP（情報サービス提供者）によってソフトの使用が停止されています。

●**このデータは再生できない可能性があります**
動画／ｉモーションがサポートしていない形式です。再生できない場合があります。

●**このデータは表示できません**
メールテンプレートにエラーが発生したため、表示できません。

●**このデータは保存できません。取得しますか？**
ｉモーションを保存できませんが、取得するときは「はい」を、取得しないときは「いいえ」を選択します。

●**このデータを取得するためには時刻設定をしてください**
日付・時刻が設定されていないため受信できません。日付・時刻を設定してください。☛P46

●**コピーできませんでした**
- データ BOX のデータの複数コピーまたは全件コピー時、すべてのデータをコピーできませんでした。
- コピーできない形式の PIM データをコピーしようとしました。

●**これ以上入力できません**
入力可能な最大文字数を超えています。文字数を減らしてください。

サ

●**サービス未契約です**
- ｉモードの契約がされていません。ｉモードを利用するには申し込みが必要です。
- ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA 端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直して下さい。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P389

●**サービス未提供です**
ショートメッセージサービス（SMS）が未提供です。

●**再生可能日前です。再生できません**
ｉモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。再生可能日以降に再生してください。
☛P370

●**再生制限データに誤りがあるため、取得できません**
再生制限データが誤っているため受信できません。

●**再生できません**
メロディやｉモーションのデータが再生できません。

●**最大サイズを超えたので中断しました**
- サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えたため受信を中断しました。◉を押すと正常に受信した部分までを表示します。
- キャラ電、デコメールテンプレート、または10000バイトを超える静止画のダウンロード時に最大サイズを超えたため受信を中断しました。

●**最大サイズを超えています。受信できません（452）**
サイトやインターネットホームページのサイズが大きいため、受信できません。

●**最大文字数を超えたため引用できない部分がありました**
ショートメッセージの本文が70文字（送信種別が英語の場合は160文字）を超える場合は、本文を引用して返信できません。引用せずに返信してください。☛P299

●**最大文字数を超えました**
ｉモードメールの本文が全角5000文字または半角10000文字を超えるため、本文を引用して返信できません。引用せずに返信してください。
☛P299

●**サイトが移動しました（301）**
サイトやインターネットホームページのURLが変更されています。正しいURLを確認してください。

●**サイトに接続できませんでした（403）**
指定のサイトやインターネットホームページに接続を拒否されました。

●**指定サイトがみつかりません（404）**
サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。URLが正しいかどうか確認してください。

●**指定サイトに表示データがありません（204）**
指定のサイトにデータがありませんでした。

●**指定先にジャンプできません**
ｉモーションのテロップにサイト（Web To）などのリンクが設定されているとき、URLが256文字を超えている場合や取り込みを中断した場合は、リンク先を表示できません。

●**指定されたソフトがありません**
サイトやメール、外部機器から指定されたソフトがFOMA端末に保存されていません。

●**指定されたソフトが起動できませんでした**
ｉアプリにエラーが発生したため、ソフトを起動できません。
サイトやメール、外部機器からｉアプリ To機能で指定されたソフトを起動するとき、ソフト情報設定や起動条件などに問題がある場合はソフトを起動できません。

●**指定したサイトへは接続できませんでした（504）**
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**指定したファイルが見つかりません（492）**
10000バイトを超える静止画のダウンロード時に、指定ファイルが見つかりませんでした。

●**しばらくお待ちください**
- 回線がたいへん混み合っています。しばらく待ってから送信し直してください。
- ｉモードの利用が現在規制されています。しばらく待ってから操作し直してください。

●**受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります**
受信中にエラーが発生したため、ショートメッセージ（SMS）をすべて受信できませんでした。電波状態のよい場所に移動して、SMS問合せを行ってください。☛P314

●**受信に失敗しました**
受信中にエラーが発生したため受信できませんでした。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合はしばらく待ってから操作し直してください。

●**受信メールがいっぱいです**
受信メールの保存領域の空きが不足しているため、ｉモードメールを受信できません。未読のｉモードメールを読むか、ｉモードメールの保護を解除するか、ｉモードメールを削除してください。☛P279、P288、P289

●**受信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？**
チャットメールの受信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●**受信を拒否されました**
SMSセンターにショートメッセージ（SMS）の受信を拒否されました。

●**情報が正しくないため再生できませんでした**
添付されたメロディや動画／ｉモーションのデータが不正なため再生できませんでした。

●**署名を付けることができません**
- ｉモードメールの本文と署名の合計文字数が全角5000文字／半角10000文字を超えるため、署名を添付できません。本文の文字数を減らすか、署名を添付せずに送信してください。
- SMS設定で送信文字種が「英語」に設定されているため、署名を添付できません。送信文字種を「日本語」に変更してください。
☛P315

●**既にメッセージをお預かりしています**
既にショートメッセージ（SMS）は送信済みです。

●**正常に接続できませんでした（400）**
サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLが間違っている可能性があります。URLが正しいかどうか確認してください。

●**赤外線　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした**
FOMAカードが挿入されていないため、赤外線通信で受信したデータにｉアプリ Toが設定されていても、指定されているソフトを起動できません。

●**赤外線　接続相手が見つかりません。処理を継続しますか？**
赤外線通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま5秒以上経過しました。20cm以内の距離で、相手の赤外線ポートにFOMA端末を向けてから「はい」を選択してください。☛P409

●**赤外線　中断されました**
赤外線通信中にエラーが発生しました。赤外線通信中は、データの送受信が終了するまでFOMA端末を相手の赤外線ポートに向けたまま動かさないでください。☛P409

●**赤外線　認証接続できませんでした**
認証パスワードが正しくないため、データの全件送信ができませんでした。送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力してください。☛P411

●**セキュリティエラーのため、iアプリ待受画面を解除しました**
許可されていない操作をしようとしたため、iアプリ待受画面が終了しました。

●**セキュリティエラーのため、終了しました**
許可されていない操作をしようとしたため、iアプリが終了しました。

●**接続が中断されました**
電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらく待ってから操作し直してください。

●**接続できません**
- iモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。
- テレビ電話発信時に相手が番号通知お願いサービスを設定しているため、接続できません。発信者番号を「通知する」に設定してかけ直してください。

●**接続できませんでした（562）**
iモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●**設定時間内に接続できませんでした**
iモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**セルフモード中です**
セルフモード中は禁止されている操作を行えません。☛P159

●**送信できませんでした**
iモードメールまたはショートメッセージ（SMS）の送信に失敗しました。電波状態のよい場所で送信し直してください。

●**送信できませんでした（552）**
iモードセンターまたはSMSセンター側のエラーにより、iモードメールまたはショートメッセージ（SMS）の送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

●**送信できませんでした　宛先を確認してください（451）**
iモードメールまたはショートメッセージ（SMS）が送信できません。宛先が正しいか確認してください。

●**送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？**
チャットメールの送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●**送信を拒否されました**
ショートメッセージ（SMS）の送信が拒否されました。

●**そのソフトは最新です**
既に最新のソフトにバージョンアップされているため、バージョンアップできません。

●**ソフトに誤りがあります**
ソフトのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●**ソフトに誤りがあるため、ダウンロードできません**
ソフトのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

タ

●**対応機種ではありません**
ダウンロードしようとしたソフトが本FOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。

●**対応していないコンテンツです**
FOMA端末で対応していないコンテンツがコードに含まれている場合は、バーコードリーダーで読み取れません。

●**ダイヤル発信制限中です**
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作を行えません。☛P160

●**ダウンロードできませんでした**
受信中に通信が中断されました。電波状態のよい場所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。

●**他の機能が起動中のため起動できません**
他に起動している機能をすべて終了してから、パターンデータの更新を行ってください。

●**チャットメールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？**
チャットメールのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●**データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？**
メールのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないとメールを起動できません。

●**データが不正です**
ダウンロードしたキャラ電、デコメールテンプレート、または10000バイトを超える静止画のデータにエラーがあります。

●**データまたはminiSDカードが壊れています**
mniSDメモリーカードに問題があるため、アクセスできません。miniSDメモリーカードを初期化するか、新しいminiSDメモリーカードを取り付けてください。☛P389、P400

●**データまたはminiSDカードが壊れています。保存先を本体に変更します**
カメラやキャラ電で撮影した静止画や動画の保存先を「miniSDカード」に指定しているときにminiSDメモリーカードにアクセスできない場合、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

●**電話中のため動画撮影・録音はできません**
通話中のカメラ撮影時は動画撮影および音声録音に切り替えることができません。通話を終了してから動画撮影・音声録音に切り替えてください。

●**電話帳に登録されていません**
入力した番号が電話帳に登録されていません。電話帳に登録をしてください。

●**問合せできませんでした**
電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらく待ってから操作し直してください。

●**登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）**
iモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P389

ナ

●**長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません**

サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。◉を押すと各項目の最大文字数を超えた部分が削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

●**入力データまたはURLが長すぎます**

サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。

●**入力データをご確認ください（205）**

サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。

●**認証タイプに未対応です（401）**

認証タイプに未対応のため、指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。

●**認証を中止しました**

「基本認証」の画面で認証を中止したときに表示されます。

ハ

●**バージョン表示できませんでした**

パターンデータのバージョンを確認できません。パターンデータを再度更新してください。☛P572

●**パスワードをご確認ください（401）**

サイトやインターネットホームページの基本認証画面に入力したユーザ名かパスワードに誤りがあります。再入力してください。

●**発信できません**

音声電話中、テレビ電話中、または64Kデータ通信中に音声電話およびテレビ電話の発信はできません。

●**日付時刻が設定されていません。起動できません**

日付・時刻が未設定の場合、iアプリDXを起動できません。日付・時刻を正しく設定してから起動してください。☛P46

●**ファイルを添付することができません**

静止画またはiモーションの容量が大きすぎます。添付するファイルの容量を確認してください。☛P261、P405

●**復元できませんでした**

復元できない形式のデータを復元しようとしました。

●**不正なデータが含まれています**

バーコードリーダーで読み取ったデータからソフトを起動するとき、データに不正がある場合はソフトを起動できません。

●**不正なデータのため保存できません**

ダウンロードしたキャラ電に不正があるため、キャラ電を保存できません。

●**保存できないデータです**

赤外線通信で受信したデータがFOMA端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

●**保存できません**

メールテンプレート保存時に、データにエラーがあったため保存できません。

●**保存できませんでした**

10000バイトを超える静止画の保存時に、データにエラーがあったため保存できません。

●**保存領域がいっぱいで保存できません**

FOMA端末またはFOMAカードの保存領域が不足しているため、iモードメールまたはショートメッセージ（SMS）を保存できません。ショートメッセージ（SMS）をFOMAカードまたはFOMA端末に移動、またはiモードメールを削除してください。☛P289、P315、P317

●**本体の保存件数がいっぱいです**

FOMA端末の保存件数がいっぱいのため、miniSDメモリーカードからデータの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、復元ができません。該当する不要なデータを削除してください。

マ

●**マイピクチャ／その他の画像／動画／メロディ／PIMフォルダの保存件数がいっぱいです**

miniSDメモリーカードの各フォルダの保存件数がいっぱいのため、各データの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。☛P397

●**未送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？**

チャットメールの未送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●**未保存のデータを本体に保存するか削除してください**

赤外線通信のINBOXにデータを保存したまま赤外線通信を終了できません。INBOXのデータをFOMA端末に保存するか、削除してください。☛P414

●**無効なデータを受信しました（xxx）**

- 指定のサイトやインターネットホームページがiモードに対応していません。
- URLが間違っている可能性があります。URLが正しいかどうか確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。

●**メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません**

FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域の空きが不足しているためショートメッセージ（SMS）を受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してください。☛P279、P288、P289、P318

●**メール／メッセージがいっぱいです。受信できなかったメッセージがあります**

FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため、ショートメッセージ（SMS）をすべて受信できませんでした。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してからSMS問合せを行ってください。☛P279、P288、P289、P314、P318

●**メールアドレスが登録されていません**

選択したメールグループ内にメールアドレスが登録されていません。メールアドレスを登録してください。☛P298

●**メールデータを参照できませんでした**

- 受信メール、未送信メールまたはフォルダを削除するときに、削除対象のメールデータを参照できません。しばらく待ってから操作し直してください。
- チャットメールでメールデータを参照できません。しばらく待ってから操作し直してください。

●**メールを表示できません**

受信、送信メールにエラーがあるため表示できません。

●**メッセージがいっぱいです**

受信メールとメッセージR/Fの保存領域の空きが不足しているため ｉ モードメールとメッセージR/Fを受信できません。未読のｉモードメールとメッセージR/Fを読むか、ｉモードメールとメッセージ R/F の保護を解除するか、ｉモードメールとメッセージR/Fを削除してください。☛P233、P235、P279、P288、P289

●**メモリ不足です**

メモリが不足したため処理を中断します。

●**メモリ不足です。メインメニューに戻ります**

メモリ不足が発生したため処理を中断して、メインメニューに戻ります。

ヤ

●**ユーザ証明書がありません。継続しますか？**

ユーザ証明書がダウンロードされていません。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。

●**ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？**

ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。☛P237

ラ

●**料金情報の読み込みができませんでした**

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。☛P37

●**料金情報のリセットができませんでした**

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。☛P37

●**連続撮影はできません**

マイピクチャ内の保存領域・保存件数がいっぱいのため、連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA 端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。
  記載内容および『販売店名・お買上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows XP Home Edition）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフト（P551）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA 端末の修理等を行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい FOMA 端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

■ 調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。☛P554
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

■ 保証期間が過ぎた場合は

- ご要望により有償修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA 端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の連絡先へお問い合わせください。
- 詳しくは、添付の『全国サービスステーション一覧』でご確認ください。

■ お願い

- FOMA 端末、FOMA カードおよび付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA 端末、FOMA カードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさない FOMA 端末、FOMA カードは使用できません。
  - 改造（部品の交換・改造・塗装など）が施された場合は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA 端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の ON ／ OFF 設定などの情報は、FOMA 端末の故障・修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度、設定を行ってくださるようお願いします。
- FOMA 端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本製品の修理や点検などの場合において、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。また、当社の都合によりFOMA端末を代替品に交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その場合にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることができません。当社はこれらのデータなどの変化、消失、移し替えられないことについて何らの責任を負うものではありません。
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によっては修理できないことがあります。

■ メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報のデータなどについて

- お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることができません。当社はこれらの責任を負うものではありません。

ソフトウェアを更新する

FOMA 端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよび ｉMenu の「お知らせ&ヘルプ」にてご案内させていただきます。

※：ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

- ソフトウェア更新には、次の 2 種類の方法があります。
  - 即時更新 ：更新したいときすぐに更新を行います。☛P567
  - 予約更新 ：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。☛P568
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - オールロック中
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - PIN1 コードロック中
  - PIM ロック中
  - セルフモード設定中
  - 他の機能を使用しているとき
  - FOMA カードが未挿入のとき
  - PIN1 コード入力中
  - 圏外 が表示されているとき
  - 電源が入っていないとき
  - 通話中
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

おしらせ

- 既にソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- 接続先設定を ｉ モード以外に設定している場合でもソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- PIN1 コード ON ／ OFF 機能を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1 コード入力画面が表示されます。正しい PIN1 コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けることができます。
- ダウンロード中に音声電話の着信があった場合、着信音に「着モーション」を設定しているときは、着モーションは動作せず、着信音はメロディになります。また、発着信画像に動画／ｉモーションを設定しているときは、最初のコマが表示されます。
- ダウンロード中にテレビ電話の着信があっても電話を受けることはできません。着信履歴には不在着信として残ります。
- ソフトウェア更新中にアラームなどが設定されていても、ソフトウェア更新が継続され、アラームなどは起動しません。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へ SSL 通信を行います。「証明書表示／使用設定」で SSL 証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は有効に設定されています。☛P237
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（▥）で実行してください。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが 3 本表示されている状態（Yıll）で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新後、表示されていた ｉ モードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。
  また、メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後に ｉ モードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。☛P298
- ソフトウェア更新中は電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗する恐れがあります。

- ソフトウェア更新は、FOMA 端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の FOMA 端末の状態（故障・破損・水漏れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください）。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

ソフトウェア更新を起動する

1 待受画面で Menu 8 9 6 を押す

暗証番号
暗証番号を
入力してください

2 端末暗証番号を入力し、注意事項を確認して ◉ を押す

ソフトウェア更新
注意事項
電池はフル充電
してください
OK

→

ソフトウェア更新
ソフトウェア更新が
必要かチェックします
OK

3 ◉ を 2 回押して、ソフトウェア更新が必要かどうかを確認する

ソフトウェア更新
携帯電話情報を
送信します
OK

→

ソフトウェア更新
SSL通信を
開始します
（認証中）

→

ソフトウェア更新
チェック中

→

ソフトウェア更新
更新が必要です
今すぐ更新
予 約
更新しない

- 携帯電話情報の送信画面で ◉ を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

■ **更新が必要ないとき**

ソフトウェア更新
チェック中
更新は必要ありません
このままご利用
ください
OK

ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックした結果、更新の必要がない場合は左の画面が表示されます。◉ を押して FOMA 端末をそのままご利用ください。

すぐにソフトウェアを更新する<即時更新>

• サーバが混みあっていて、即時更新ができない場合があります。

1 更新方法の選択画面を表示する ☛P566

2 「今すぐ更新」を選択して を押す

ダウンロードが開始され、マルチイルミネーションランプが点滅します。

• ダウンロードを中止するときは を押します。ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

■ サーバが混み合っているとき

• 「予約」を選択して更新日時を予約してください。☛P568

3 ダウンロード終了後、自動的にソフトウェアを書き換える

ダウンロードが終了すると、ソフトウェアの書き換えが自動的に開始されます。書き換え中はマルチイルミネーションランプが点滅します。

• ソフトウェア書き換え中はすべてのキー操作が無効となり、更新を中止することもできません。

4 書き換え終了後、自動的に再起動する

再起動すると再度サーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。

5 ◉を押す

更新が終了し、待受画面が表示されます。

日時を予約してソフトウェアを更新する＜予約更新＞

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておくことができます。

1 更新方法の選択画面を表示する ☛P566

2 「予約」を選択する

サーバと通信を行い、予約時間候補を問い合わせます。

- 予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

3 希望日時を選択する

■ 表示されている予約候補から選択するとき

① 希望日時を選択して「はい」を選択する

- 希望日時の候補が複数ページあるときは、◎を押してページを切り替えられます。

■ 表示されている予約候補以外から選択するとき

①「その他の日時」を選択する

ソフトウェア更新 1/2
1.希望日を選んでください
2005/04/19 (火)
2005/04/20 (水)
2005/04/21 (木)
2005/04/22 (金)
2005/04/23 (土)
2005/04/24 (日)
2005/04/25 (月)

② 希望日を選択する

ソフトウェア更新 1/3
2.時間帯を選んでください
△ 00:00~
○ 02:00~
○ 03:00~
○ 04:00~
△ 06:00~
△ 07:00~
○ 08:00~

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。
○：空きあり　△：空きわずか
・希望日の候補が複数ページあるときは、◎を押してページを切り替えます。

③ 希望時間帯を選択する

サーバに接続され、選択した希望日・時間帯に近い予約候補が表示されます。
・希望時間帯の候補が複数ページあるときは、◎を押してページを切り替えられます。
・[□]を押すと、時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

④ 希望日時を選択して「はい」を選択する

・希望日時の候補が複数ページあるときは、◎を押してページを切り替えられます。

4 ◉を押す

予約の設定が完了し、メニューが表示されます。
予約日時になると、FOMA 端末は自動的にソフトウェア更新を開始します。予約日時前には、電池がフル充電されていることを確認の上、電波の十分届くところで FOMA 端末を待受画面にしておいてください。
・予約中は、待受画面に[アイコン]が表示されます。

予約を確認・変更・取り消しをする

ソフトウェア更新の予約日時を確認できます。

1 待受画面で [Menu][8][9][6] を押す

2 端末暗証番号を入力する

ソフトウェア更新
4月19日 (火)
18:59 に
予約されています
OK
変更
取消

3 内容を確認する

・確認を終了するときは「OK」を選択する。

■ **予約を変更するとき**

①**「変更」を選択して を押す**

予約候補の選択画面が表示されます。

- 以降の操作は、予約更新の操作2からと同じです。☛P568
- 携帯電話情報の送信画面で を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

■ **予約を取り消すとき**

①**「取消」を選択して「はい」を選択する**

携帯電話情報の送信画面が表示されます。

②** を2回押す**

予約が取り消され、メニューが表示されます。

- 携帯電話情報の送信画面で を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

予約の日時になると

- 予約日時になると左の画面が表示され、自動的にダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動されます。
- ソフトウェア更新を中止する場合は を押し、「はい」を選択する。

おしらせ

● 他の機能を使用していると予約日時になっても起動しないことがあるのでご注意ください。

● PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信操作ができません。

● 同じ日時にアラームなどが設定されていた場合には、アラームなどが優先され、ソフトウェア更新が起動されない場合があります。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、随時更新してください。☛P572
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。
  各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能にて障害等の発生を防ぐことができませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止することがありますので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。

スキャン機能を設定する＜スキャン機能設定＞

お買い上げ時　有効

スキャン機能を「有効」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

1 **待受画面で Menu 8 3 7 2 を押す**

スキャン機能設定
1 有効
2 無効

2 **1 を押して「はい」を選択する**

- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。☛P573

■ **スキャン機能を解除するには**

① **2 を押して「はい」を選択する**

パターンデータを更新する<パターンデータ更新>

1 **待受画面で Menu 8 3 7 1 を押す**

2 **「はい」を 2 回選択してパターンデータを更新する**

3 **を押す**

パターンデータ更新が終了します。

- パターンデータ更新が必要ないときは、パターンデータが最新である旨のメッセージが表示されます。そのままお使いください。

おしらせ

- パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新は中断されます。テレビ電話の着信、外部機器や赤外線機能を利用してのデータ受信があった場合は、更新は中断されません。
- パターンデータ更新中にアラームやスケジュールアラームの設定時刻になると、設定時刻を知らせる画面が表示されてアラームが鳴動しますが、パターンデータの更新は継続されています。
- FOMA 端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。☛P46

スキャン結果の表示について

スキャンされた問題要素の表示について

① **警告メッセージ表示中に「詳細表示」を選択する**

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。

- 問題要素が 6 個以上検出された場合は、6 個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

スキャン結果の表示について

警告レベル	表示メッセージ	対応方法
レベル 0	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります OK 詳細表示	「OK」　：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
レベル 1	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細表示	「はい」　：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「いいえ」　：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
レベル 2	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細表示	「OK」　：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
レベル 3	問題要素が検出されました　正常に動作できない場合があります　データを削除しますか？ はい いいえ 詳細表示	「はい」　：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「いいえ」　：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
レベル 4	問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細表示	「OK」　：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

おしらせ

● スキャン機能によって ｉ アプリ待受画面に設定しているソフトに問題要素が見つかり、ソフトの起動を中止した場合は、ｉ アプリ待受画面が解除されます。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

1 待受画面で Menu 8 3 7 3 を押す

バージョン表示
パターンデータのバージョン
1.1
McAfee SECURITY

・確認が終わったら ◉ を押します。

付録

索引／クイックマニュアル

索引

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ナ

ニ

ネ

クイックマニュアル

クイックマニュアルのご使用方法

本誌に綴じ込みされているクイックマニュアルは切り取り線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。

切り取り線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
●切り取る際はけがにご注意ください。

上記の図のように、表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折りたたんでお使いください。

クイックマニュアル記載内容

NTT DoCoMo

FOMA® D901i

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先 〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHS からの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHS からの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話帳の登録

■FOMA 端末電話帳の登録

1. 待受画面で [Menu][4][2]
2. 名前欄を選択→名前を入力
3. [□]→各項目を設定
   - 着信音など他の項目を登録：◎／◎
   - 撮影：新規登録画面で [Menu]（静止画）／[□]（動画）
     撮影方法 ☛P8
4. [□]
5. メモリ番号（0～699）を入力→◉

■FOMA カード電話帳の登録

1. 待受画面で [Menu][4][3]
2. 名前欄を選択→名前を入力
3. [□]→各項目を設定
4. [□]

■リダイヤルや着信履歴からの登録

1. 待受画面で ◎ または ◎
2. 登録する相手にカーソルを合わせる→[Menu][1]
   - 登録済みの電話帳データへ追加：[Menu][2]
3. [1]（FOMA 端末電話帳）／[2]（FOMA カード電話帳）
   - 登録済みの電話帳データへ追加する場合は追加する相手を選択する
4. 各項目を設定→[□]
   - FOMA カード電話帳の場合は操作 6 に進む
5. メモリ番号（0～699）を入力→◉
6. 「上書き登録」または「新規登録」を選択

電話帳の修正

1. 待受画面で [□]
   - 電話帳の切り替え：[□]
2. 修正する相手にカーソルを合わせる→[Menu][3]
3. 修正する→[□]
   - FOMA カード電話帳の場合は操作 5 に進む
4. メモリ番号（0～699）を入力→◉
5. 「上書き登録」または「新規登録」を選択

電話帳の検索

1. 待受画面で [Menu][4][1]
   - 電話帳の切り替え：[□]
2. [1]～[7]
   - FOMA カード電話帳は [1]～[4] を押す

文字の入力

■かな入力方式とスロット入力方式の切り替え

●**文字入力中に切り替える**
[Menu][7][1]

●**待受中に切り替える**
[Menu][8][9][3]→入力方式欄を選択→[1]（かな入力）／[2]（スロット入力）→[□]

■入力モードの切り替え

文字入力中に ◎ を複数回
- [□] を押し、入力モードを選択しても入力モードの切り替えが可能

■文字の入力・変換（かな入力方式）

〈例〉「鈴木」と入力するとき

1. ひらがな／漢字モードで文字を入力
   「す」：[3] を 3 回→◎（カーソルを 1 つ右に移動）
   「ず」：[3] を 3 回→[＊]
   「き」：[2] を 2 回
   - 文字の挿入：カーソルを挿入位置に移動→文字を入力
   - 入力した文字の確定前にできる操作
     [Menu]：全角カタカナに変換
     [クリア]／[クリア]：入力した文字の取り消し
     [□]：大文字／小文字の切り替え
     ◎ を複数回：通常の文字入力順と逆の順で文字の切り替え（例：…→ 1 →お→え→う→い→あ→ 1 →…）
     [＊] を複数回：濁点「゛」や半濁点「゜」の付加（例：→ぼ→ぽ→ほ→…）

2. [□]
   - 変換候補一覧の表示：◎／[□]
   - 変換前の状態に戻す：[クリア]／[クリア]
3. ◉

■文字の削除

●**カーソルが文中にあるとき**
[クリア]／[クリア]：カーソル位置の文字の削除
[クリア]／[クリア]（半押し）を 1 秒以上：カーソル位置の文字と、その右側にあるすべての文字の削除

●**カーソルが文末にあるとき**
[クリア]／[クリア]：カーソル位置の左側にある文字の削除
[クリア]／[クリア]（半押し）を 1 秒以上：すべての入力文字の削除

■記号・絵文字・定型文の入力

●**記号を入力する**
文字入力中に [□] →記号を選択
- [□][1] を押しても入力可能

●**絵文字を入力する**
文字入力中に ◎ →絵文字を選択
- [□][2] を押しても入力可能

●**定型文を入力する**
文字入力中に [□][7] →定型文を選択
- [□][Menu] を押しても入力可能

■区点コードでの入力

文字入力中に [□][8] →区点コード（4 桁）を入力

キリトリ線

カメラ機能

■静止画／動画の撮影

●静止画を撮影する

1 待受画面で [カメラ/クリア] を 1 秒以上
2 被写体にカメラを向けて [決定] または [カメラ/クリア]

●オートフォーカスで撮影する

1 待受画面で [カメラ/クリア] を 1 秒以上
2 被写体にカメラを向けて [カメラ/クリア] 半押し
3 ピントが合ったら [カメラ/クリア] 全押し

●動画を撮影する

1 待受画面で [上] を 1 秒以上
2 被写体にカメラを向けて [決定] または [カメラ/クリア]
3 [本] または [カメラ/クリア]

■撮影した画像の表示／動画の再生

●画像を表示する

1 待受画面で [上] [1]
2 「カメラ」フォルダを選択
3 表示する画像を選択
・フォルダ内の別画像の表示：[左右]

●動画を再生する

1 待受画面で [上] [2]
2 「カメラ」フォルダを選択
3 再生する動画を選択
・動画再生中にできる操作
[上下]：音量調整
[右]：早送り再生
[決定]：一時停止／再開
[本]：停止
[クリア]／[カメラ/クリア]:動画／ｉモーション一覧に戻る

テレビ電話

■テレビ電話のかけかた

1 待受画面で電話番号を入力
2 [テレビ電話]
・通信速度を指定して発信：[Menu] [3] →発信方法を選択→ [Menu] →「はい」を選択
3 通話する
・通話中保留：[決定]
・スピーカーホン機能を利用：[スピーカー]／[メール]
・送信画像の切り替え：[テレビ電話]
4 通話が終了したら [終話]

■テレビ電話の受けかた

1 電話がかかってくる
・応答保留：[終話]
2 [テレビ電話]
・通話中の操作は「テレビ電話のかけかた」の操作 3 と同様
3 通話が終了したら [終話]

ｉモードメール

■送受信できる文字数

項　目	全角文字	半角文字
題名	15 文字	30 文字
メールアドレス	―	50 文字
本文	5000 文字	10000 文字

■ｉモードメールの作成・送信

未送信メールと送信メールは、それぞれ最大 200 件保存できます。

1 待受画面で [メール] を 1 秒以上

宛先欄
題名欄
添付欄
本文欄
本文に半角で入力できる残りの文字数

2 宛先欄を選択→入力方法を選択→宛先を入力または選択

3 題名欄を選択→題名を入力
4 本文欄を選択→本文を入力
・デコメールの作成：本文入力画面で [メール] →装飾方法を選択→文字を入力
5 [本]
・メールの保存：[Menu] [2]

■ファイルの添付

1 メール作成画面で添付欄を選択
メール作成画面の表示方法☛P11
2 添付するファイルの種類を選択
3 フォルダを選択
4 ファイルを選択
・添付ファイルの解除：解除する添付欄にカーソルを合わせる→ [メール] →「はい」を選択
5 [本]

■送信・保存したｉモードメールの編集・送信

〈例〉未送信メールを編集するとき

1 待受画面で [メール] [4]
・送信メールの編集：待受画面で [メール] [5]
2 フォルダを選択
3 メールを選択
・送信メールの編集：[本]
4 編集→ [本]

■ｉモードメールの受信

受信メールは、最大 1000 件保存できます。

1 メールを受信する
メール着信音が鳴り、マルチイルミネーションランプが点滅して受信結果画面が表示される
2 [決定] または [1]
3 フォルダを選択
4 メールを選択

■ｉモード問合せ

待受画面で [メール] [メール]

メニュー一覧

待受画面で [Menu] を押してから、各項目の番号を入力してください。
〈例〉カメラを起動するとき
[Menu] → [6] → [1]

1 メール
- 1 受信メール　2 新規メール
- 3 チャットメール　4 未送信メール
- 5 送信メール
- 6 問合せ
  - 1 ｉモード問合せ　2 SMS 問合せ
  - 3 メール選択受信　4 ｉモード問合せ設定
- 7 SMS
  - 1 SMS 作成　2 FOMA カード(UIM)受信 SMS
  - 3 FOMA カード(UIM)送信 SMS　4 SMS 設定
- 8 テンプレート読込み
- 9 メール設定
  - 1 メール着信設定　2 チャットメール着信設定
  - 3 メール振り分け設定　4 署名設定
  - 5 メール返信引用設定　6 メール選択受信設定
  - 7 メール受信添付ファイル設定　8 メールグループ
  - 9 表示設定
    - 1 メール一覧表示設定　2 添付ファイル自動再生設定
    - 3 受信表示設定

キリトリ線

2 iモード
- 1 i Menu　2 Bookmark
- 3 Internet
  - 1 URL入力　2 URL履歴
- 4 画面メモ　5 ラストURL
- 6 iモード問合せ
- 7 メッセージ
  - 1 メッセージリクエスト　2 メッセージフリー
  - 3 メッセージ設定
    - 1 自動表示設定　2 iモード問合せ設定
    - 3 添付ファイル自動再生設定　4 メッセージ着信設定
- 8 iモード設定
  - 1 ツータッチサイト表示　2 接続待ち時間設定
  - 3 接続先設定　4 証明書表示／使用設定
  - 5 ユーザ証明書操作　6 証明書発行接続先設定
- 9 表示設定
  - 1 表示・効果設定　2 表示色設定
  - 3 iモーション設定

3 iアプリ
- 1 ソフト一覧
- 2 iアプリ設定
  - 1 ソフトの並べ替え　2 自動起動設定
  - 3 ソフト情報表示設定　4 照明設定
  - 5 バイブレータ設定　6 ツータッチiアプリ表示

3 iアプリ
- 3 履歴表示
  - 1 起動失敗履歴　2 異常終了履歴
  - 3 セキュリティエラー履歴

4 電話帳／履歴
- 1 電話帳検索　2 電話帳登録
- 3 FOMAカード(UIM)登録　4 着信履歴
- 5 リダイヤル
- 6 伝言メモ／音声メモ
  - 1 伝言メモ設定　2 伝言メモ一覧
  - 3 音声メモ録音　4 音声メモ一覧
- 7 自局番号

5 データBOX
- 1 マイピクチャ　2 iモーション
- 3 メロディ　4 キャラ電

6 ツール
- 1 カメラ　2 ビデオカメラ
- 3 サウンドレコーダー　4 バーコードリーダー
- 5 赤外線／PCデータ連携
  - 1 赤外線全件送信　2 赤外線受信
  - 3 データ送受信設定　4 USBモード設定
- 6 miniSDカード

7 ステーショナリー
- 1 スケジュール帳　2 メモ帳
- 3 アラーム　4 電卓

8 設定
- 1 音／バイブ
  - 1 音の設定
  - 2 着信音量調整
    - 1 電話着信音量調整　2 メール着信音量調整
  - 3 受話音量調整　4 キー確認音設定
  - 5 電池アラーム音設定　6 マナーモード選択
  - 7 バイブレータ設定　8 着信呼出動作設定
  - 9 充電確認音設定
- 2 ディスプレイ
  - 1 待受画面設定
  - 2 発着信画面表示設定
    - 1 電話発着信画像設定　2 メール送信画像設定
    - 3 メール受信画像設定　4 問合せ画像設定
    - 5 着信表示設定
  - 3 カラーテーマ設定　4 電池マーク設定
  - 5 照明設定　6 イルミネーション設定
  - 7 フォント設定　8 バイリンガル
- 3 セキュリティ／ロック
  - 1 ロック
    - 1 オールロック　2 PIMロック
    - 3 遠隔ロック
  - 2 シークレットモード　3 ダイヤル発信制限

8 設定
- 4 FOMAカード（UIM）
  - 1 PIN1コード変更　2 PIN2コード変更
  - 3 PIN1コードON/OFF
- 5 暗証番号変更
- 6 プライバシーモード設定
- 7 スキャン機能
  - 1 パターンデータ更新　2 スキャン機能設定
  - 3 バージョン表示
- 4 情報表示／リセット
  - 1 通話時間　2 設定状況確認
  - 3 電池レベル表示　4 通話料金
  - 5 各種設定リセット　6 データ一括削除
- 5 時計
  - 1 日付時刻設定　2 自動電源ON設定
  - 3 自動電源OFF設定　4 時計表示設定
  - 5 アラーム自動電源ON設定
- 6 発着信機能
  - 1 電話発着信設定　2 発番号なし動作設定
  - 3 イヤホン切替設定　4 オート着信機能設定
  - 5 メモリ別着信拒否／許可　6 メモリ登録外着信拒否
  - 7 応答保留ガイダンス設定　8 エニーキーアンサー設定
  - 9 優先通信モード設定

8 設定
- 7 通話機能
  - 1 ノイズキャンセラ設定　2 再接続アラーム設定
  - 3 通話保留音設定　4 通話品質アラーム設定
  - 5 プレフィックス設定　6 国際ダイヤル自動付加
  - 7 サブアドレス設定　8 通話中クローズ設定
  - 9 着信中オープン応答
- 8 テレビ電話
  - 1 テレビ電話発着信設定　2 テレビ電話動作設定
  - 3 テレビ電話画像選択　4 テレビ電話使用機器設定
- 9 文字入力／その他
  - 1 単語登録　2 定型文登録
  - 3 入力設定　4 セルフモード設定
  - 5 NW検索方法　6 ソフトウェア更新
  - 7 スライド編集設定

9 NWサービス
- 1 留守番電話
  - 1 留守番サービス開始　2 留守番呼出時間設定
  - 3 留守番サービス停止　4 留守番設定確認
  - 5 留守番メッセージ再生　6 留守番サービス設定
  - 7 メッセージ問合せ　8 件数増加鳴動設定
  - 9 着信通知
    - 1 着信通知開始　2 着信通知停止
    - 3 着信通知設定確認

9 NWサービス
- 2 キャッチホン
  - 1 キャッチホン開始　2 キャッチホン停止
  - 3 キャッチホン設定確認
- 3 転送でんわ
  - 1 転送サービス開始　2 転送サービス停止
  - 3 転送先変更　4 転送先通話中時設定
  - 5 転送サービス設定確認
- 4 迷惑電話ストップ
  - 1 迷惑電話着信拒否登録　2 迷惑電話全登録削除
  - 3 迷惑電話1登録削除
- 5 発信者番号通知
  - 1 発信者番号通知設定　2 発信者番号通知確認
- 6 番号通知お願いサービス
  - 1 番号通知開始　2 番号通知停止
  - 3 番号通知確認
- 7 通話中着信設定
  - 1 通話中着信設定開始　2 通話中着信設定停止
  - 3 通話中着信設定確認
- 8 通話中着信動作選択

9 NWサービス
- 9 その他のNWサービス
  - 1 USSD登録　2 応答メッセージ登録
  - 3 遠隔操作設定
    - 1 遠隔操作開始　2 遠隔操作停止
    - 3 遠隔操作設定確認
  - 4 英語ガイダンス
    - 1 ガイダンス設定　2 ガイダンス設定確認
  - 5 デュアルネットワーク
    - 1 デュアルネットワーク切替　2 デュアルネットワーク状態確認
  - 6 サービスダイヤル
    - 1 ドコモ故障問合せ　2 ドコモ総合案内・受付

0 自局番号

ボタン操作一覧

※待受画面から操作します。

機　能	操作方法
電源ON／OFF	を2秒以上
セルフモード	を1秒以上→「はい」を選択
プロテクトキーロック	プロテクトキーを下にスライドさせてから離す

機　能	操作方法
ドライブモード	を1秒以上
iモードメニュー	
iアプリフォルダ一覧	を1秒以上
着信履歴	
プライバシーモード※	を1秒以上（解除時は を1秒以上→端末暗証番号入力）
リダイヤル	
マナーモード	Menu または # を1秒以上
新規起動メニュー	
伝言メモ／音声メモメニュー	

※：プライバシーモード設定を行っているときのみ有効

キリトリ線

ネットワークサービス

■留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

●サービスを開始する

1 待受画面で Menu 9 1 1
2 「はい」を選択
3 「はい」を選択
4 呼出時間を入力→ ●

●サービスを停止する

1 待受画面で Menu 9 1 3
2 「はい」を選択

●伝言メッセージを再生する

1 待受画面で Menu 9 1 5
2 「はい」を選択
3 音声ガイダンスに従って操作する

■キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

●サービスを開始／停止する

1 待受画面で Menu 9 2
2 1（開始）／ 2（停止）
3 「はい」を選択

●通話中にかかってきた電話を受ける

通話中に ◎
・通話相手の切り替え：◎

●通話中に電話をかける

通話中に Menu 7 →電話番号をダイヤル→ ◎
・通話相手の切り替え：◎

●通話を終了する

一方の相手との通話が終了したら ◎
・保留中相手との通話再開：◎

■転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（無料）サービスです。

●サービスを開始する

1 待受画面で Menu 9 3 1
2 「はい」を選択
3 「はい」を選択
4 転送先電話番号を入力→ ●
・電話帳から転送先を入力：Menu
5 ◎ →「はい」を選択
6 呼出時間を入力→ ●

●サービスを停止する

1 待受画面で Menu 9 3 2
2 「はい」を選択

■番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます（無料）。

●サービスを開始／停止する

1 待受画面で Menu 9 6

2 1（開始）／ 2（停止）
3 「はい」を選択

■利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）（電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

ディスプレイの見かた

■ディスプレイ上部

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬

①：電池残量表示　漢：文字入力モード表示
②：受信レベル　圏外：圏外表示
self：セルフモード中 ☛P20、P23
：データ転送モード中など
③：ｉモード（接続）中
：ｉモード（パケット通信）中
④：赤外線通信中など
⑤：スピーカーホン機能動作中
：USBハンズフリー通信中
⑥：ｉモードセンター蓄積状態表示
⑦：受信メール状態表示
⑧：受信メッセージR状態表示
⑨：受信メッセージF状態表示

⑩：ｉアプリ待受画面表示中
：ｉアプリDX待受画面表示中
：ｉアプリ／ｉアプリDX実行状態表示
⑪：SSLページ表示中など
⑫：シークレットモード中
⑬：ｉアプリ自動起動失敗

■ディスプレイ下部

①②③④
⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯

①：不在着信件数
②：伝言メモ件数
③：留守番電話新メッセージ件数
④：未読メール件数
⑤：マナーモード中 ☛P18、P23
：オリジナルマナーモード中

⑥：電話着信音消音
：音声電話のバイブレータ ☛P18
：電話着信音消音と音声電話のバイブレータ
⑦：ドライブモード中 ☛P23
⑧：伝言メモ設定中
：伝言メモ満杯
⑨：プロテクトキーロック中 ☛P23
⑩：USBケーブル接続状態表示など
⑪：フォーカスモード時のイージーセレクタープラスの有効キー表示
⑫：miniSDメモリーカード装着中
⑬：FOMAカード読み込み中
⑭：PIMロック中
：ダイヤル発信制限中
⑮：アラーム設定中
：スケジュールアラーム設定中
：アラームとスケジュールアラーム設定中
⑯：ソフトウェア更新予約中

総合お問い合わせ先〈DoCoMoインフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA 端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ず FOMA 端末の電源を切ってください。

・航空機内　・病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中の FOMA 端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所で FOMA 端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で FOMA 端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA 端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード／オリジナルマナーモード

キー確認音・着信音など FOMA 端末から鳴る音をすべて消します。ただし、カメラ撮影時の撮影確認音（シャッター音）は鳴ります（マナーモード）。☛P133

マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。☛P134

●ドライブモード

電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。☛P74

●バイブレーター

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。☛P131

●伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。☛P76

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。☛P465、P468

「留守番電話サービス」、「キャッチホン」、「転送でんわサービス」、「迷惑電話ストップサービス」、「WORLD CALL」、「WORLD WING」はドコモeサイトにてお申し込みいただけます。

- ｉモードはこちら ｉMenu ▶ □料金&お申込 ▶ ■ドコモeサイト パケット通信料無料
- パソコンなどはこちら http://www.nttdocomo.co.jp/ ▶ オンライン手続き/照会サービス ▶ ドコモeサイト
  または http://www.esite.nttdocomo.co.jp/

※ｉモードからご利用になる場合、ドコモにお申し込みいただいた「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。ただし、一部パケット通信料がかかる場合があります。
※パソコンなどからご利用になる場合、「ユーザID」「パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「ユーザID」「パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元 NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道 株式会社NTTドコモ東北 株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海 株式会社NTTドコモ北陸 株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国 株式会社NTTドコモ四国 株式会社NTTドコモ九州

製造元 三菱電機株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。
Li-ion (Li-polymer)

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK
この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

860D122C
'05.2（2版）